

特記仕様書

工事名称	市営新宮沖住宅建設工事(建築主体工事)
工事場所	三原市宮沖一丁目
工事内容	市営新宮沖住宅を新築する。 [建物概要] (1)住棟 ・鉄筋コンクリート造8階建て ・床面積 4,299.87㎡ ・80戸 (2)集会所 ・木造平屋建て ・床面積 85.12㎡ (3)付属棟 ・トランクルーム ・駐輪場
準 則	公共建築工事標準仕様書(平成31年版),公共建築改修工事標準仕様書(平成31年版),建築物解体工事共通仕様書(平成31年版)に基づき施工する。
関係法令等	本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 ・建築基準法, 同施行令, 同施行規則 ・消防法, 同施行令 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 同法施行令, 同法施行規則 ・建設業法, 同施行令, 同施行規則 ・労働安全衛生法, 同法施行令, 同法施行規則 ・建設工事公衆災害防止対策要綱 ・石綿障害予防規則 ・大気汚染防止法, 振動規制法及び土壌汚染対策法 ・建設工事に係る再資源化等に関する法律, 同法施行令 ・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の大要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義を生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けるものとする。また、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けるものとする。
工 期	本工事は請負契約締結の後、令和6年9月30日をもって工期とする。このうち検査期間として13日間を見込んでいる。
別途工事	・市営新宮沖住宅建設工事(電気設備工事) ・市営新宮沖住宅建設工事(機械設備工事)
留意事項	・入札に先立ち現地調査を十分に行い、質疑がある場合は入札前に確認すること。

- ・別途工事間では互いに協力しあい、相互の工程を考慮したうえで、各自の工程を計画すること。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音、振動及び粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・作業日は原則、月曜日から金曜日及び祝日とし、土曜日及び日曜日は休工日とすること。
- ・近隣への騒音や振動に配慮すること。
- ・粉じん対策のため、解体作業中の散水を十分に実施すること。
- ・「低騒音型、低振動型建設機械」として指定を受けた機械を使用すること。
- ・敷地境界付近には仮囲い(高さ3m以上)を設置すること。
- ・工事車両は、場内を5km/h以下で徐行すること。
- ・アンカー工事等の騒音、振動及び粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等、最大限配慮した計画のもと行うこと。
- ・工事着種前に、西日本旅客鉄道株式会社三原保線区と覚書を取り交わすこと。
- ・使用する重機ごとに、線路近接工事に該当する位置を確認して、線路近接工事に該当しないような位置に重機を配置して作業すること。
- ・使用重機と線路の平面・断面関係については、事前に検討し、西日本旅客鉄道株式会社三原保線区と協議をすること。
- ・線路近接工事とする必要がある場合は、事前に西日本旅客鉄道株式会社三原保線区と協議を行い、必要な対策を実施したうえで作業すること。
- ・工事区域内に、残置する設備配管等があるので、事前に位置を十分確認してから作業を行うこと。
- ・工事関係者等、作業に関わる全員について、周辺住民への心遣いとして、挨拶を徹底すること。
- ・近隣建物への損害を与えた場合は、誠意をもって対応し、原状復旧に努めること。
- ・隣接家屋へ工事による汚れ、損傷、粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、清掃、補修等を実施すること。
- ・騒音計、振動計、デジタル粉塵計、表示盤を設置し常時監視し、地域住民へ十分に配慮のうえ作業を行うこと。
- ・騒音測定については、騒音規制法(特定建設作業)の測定方法により測定し、工事中の作業音は許容限度である85デシベルを厳守すること。
- ・工事中に粉塵の発生が予想される工種については、周辺の環境対策のため散水を確実にすること。
- ・行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・工事用出入り口には誘導員を常時配置すること。
- ・工事期間中は付近の交通の安全を図ると共に、必要な場合には交通誘導員を配置し事故及び危険防止に努めること。
- ・交通誘導員について、実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更(減額)の対象とする。
- ・交通誘導員は本工事で見込んでいます。
- ・周辺道路の保全及び清掃については、常に注意を払い定期的に清掃を行うこと。
- ・工事車両等により周辺の道路や敷地を汚した場合は、清掃を行なうこと。
- ・工事に支障を及ぼす雨水及び湧水等の排水については、ノッチタンクにより汚泥等の処理を行ったうえで、適切に排水すること。
- ・沸水発生時は、ノッチタンクを準備し上水を放流すること。
- ・敷地の出入口付近には、敷鉄板(下部に砕石敷)を敷き、高圧洗浄機・水中ポンプ・ノッチタンク等を適切に設置すること。工事車両のタイヤ洗浄等により、道路を汚さないように配慮すること。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のため、必要に応じて監督員の指示する範囲に、バリケード等を設置すること。
- ・近隣でその他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
- ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・入札に先立ち現地調査を十分に行ない、質疑がある場合は入札前に確認すること。
- ・施工面積(外構工事含む)が3,000㎡以上の場合、土壤汚染対策法第4条第1項に規定する届け出を

- 工事着手30日前までに所轄官庁へ提出すること。
- ・本敷地内の別途工事及び近隣で行われる工事について、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
 - ・石綿含有建材の調査について、工事着手前までに書面及び目視調査を、一般建築物石綿含有建材調査者、特定建築物石綿含有建材調査者、建築物石綿含有建材調査者、日本アスベスト調査診断協会の登録者が行うこと。
 - ・石綿含有建材の事前調査結果を工事着手前までに発注者に対し説明を行い、労働基準監督署及び所轄官庁へ報告すること。
 - ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令(令和3年4月1日施行)に基づくこと。
 - ・仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の手続きについては、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
 - ・施工箇所周囲の備品、機器等については、養生及び清掃等を確実に行うこと。
 - ・住民の私物に養生や移動を行う場合は、事前に所有者に伝えること。
 - ・雨水の浸入を防止する部分、屋根、外壁又はこれらの開口部に設ける戸、わくその他の建具周り等からの雨水の浸入に関する瑕疵については引渡しの日から10年間責任を負うこと。
 - ・図面に明示されていない事項であっても、工事に必要とされる事は工事範囲とする。
 - ・工事に伴い各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
 - ・配筋検査は、受注者による自主検査を行ったうえで、監理者及び監督員による検査を受検すること。なお、これらの検査は、種類、径及び数量については全数検査を行うこと。
 - ・杭頭余盛の撤去については、騒音を最小限とする工法や対策を施すこと。
 - ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ、理由を添えて発注者の承認を受けること。
 - ・本工事は週休2日(4週8休以上の現場閉所)の対象工事として全体工期の設定及び積算している。
 - ・契約後、受注者が工事着手前に発注者に対して週休2日に取り組む旨を協議したうえで取り組むこととする。なお、工事着手前に週休2日に取り組むことについて協議が整わなかった場合(受注者が週休2日の取り組みを希望しない場合を含む)及び達成状況を確認後、4週8休に満たないものは、その達成状況に応じて労務費の補正分を減額変更する。
 - ・枠組足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部側の両方に設置すること。
 - ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
 - ・足場、交通誘導員、工事関係者駐車場用地は、建築主体工事に見込んでいるが、別途工事業者も使用できるものとする。
 - ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
 - ・工事完了後、完成図として製本図面(二つ折り・A3縮小版)を3部提出すること。
 - ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。(縮小率約70.7%)
 - ・建設工事請負契約約款第35条(前払金)については、令和5年4月以降の適用とする。
 - ・請負契約の締結日から令和5年3月31日までは解体工事期間中のため、本工事は休止期間とし、現場代理人及び主任(監理)技術者の専任を要しないものとする。

意匠						構造					
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-000	表紙・図面リスト	A-040	2DK展開図(1)	A-080	キッチン詳細図(7)	A-120	自転車置場詳細図(1)	S-001	構造関係共通事項(1)	S-041	雑配筋図(1)
A-001	建築工事特記仕様書(1)	A-041	2DK展開図(2)	A-081	キッチン詳細図(8)	A-121	自転車置場詳細図(2)	S-002	構造関係共通事項(2)	S-042	雑配筋図(2)
A-002	建築工事特記仕様書(2)	A-042	3DK平面詳細図	A-082	ミニキッチン仕様書	A-122	自転車置場詳細図(3)	S-003	構造関係共通事項(3)	S-043	梁スリーブ位置図(1)
A-003	建築工事特記仕様書(3)	A-043	3DK展開図(1)	A-083	ミニキッチン詳細図(1)	A-123	物置詳細図	S-004	構造関係共通事項(4)	S-044	梁スリーブ位置図(2)
A-004	建築工事特記仕様書(4)	A-044	3DK展開図(2)	A-084	ミニキッチン詳細図(2)	A-124	雨水排水配置図	S-005	土質柱状図(1)	S-045	高強度せん断補強筋特記仕様書(参考図)
A-005	建築工事特記仕様書(5)	A-045	1階天井伏図	A-085	洗面化粧台仕様書	A-125	雨水排水詳細図(1)	S-006	土質柱状図(2)	S-046	梁貫通孔補強筋標準図(参考図)
A-006	建築工事特記仕様書(6)	A-046	2~7階天井伏図	A-086	洗面化粧台詳細図(1)	A-126	雨水排水詳細図(2)	S-007	土質柱状図(3)	S-047	機械式定着板施工標準仕様書(参考図)
A-007	建築工事特記仕様書(7)	A-047	8階天井伏図	A-087	洗面化粧台詳細図(2)	A-127	雨水排水詳細図(3)	S-008	杭伏図		
A-008	建築工事特記仕様書(8)	A-048	1階建具配置図	A-088	洗面化粧台詳細図(3)	A-128	雨水排水詳細図(4)	S-009	杭施工要領図		
A-009	建築工事特記仕様書(9)(構造関係)	A-049	2~8階建具配置図	A-089	洗面化粧台詳細図(4)	A-129	タイプ別面積表	S-010	杭リスト		
A-010	工事区分表	A-050	建具表(1)	A-090	ユニットバス詳細図(1)	A-130	法規チェック図(1)	S-011	基礎伏図		
A-011	付近見取図・配置図	A-051	建具表(2)(金属製建具)	A-091	ユニットバス詳細図(2)	A-131	法規チェック図(2)	S-012	基礎リスト(1)		
A-012	敷地面積求積図	A-052	建具表(3)(金属製建具)	A-092	木造工事特記仕様書(1)	A-132	法規チェック図(3)	S-013	基礎リスト(2)		
A-013	基準法面積表(1)	A-053	建具表(4)(木製建具)	A-093	木造工事特記仕様書(2)	A-133	日影図	S-014	基礎梁・基礎小梁リスト		
A-014	基準法面積表(2)	A-054	建具表(5)(木製建具)	A-094	木造工事特記仕様書(3)	A-134	断熱範囲図 ピット平面図(見上げ図)	S-015	柱芯線図(1)		
A-015	基準法面積表(3)	A-055	部分詳細図(1)	A-095	木造工事特記仕様書(4)	A-135	断熱範囲図 1階平面図(見下げ図)	S-016	柱芯線図(2)		
A-016	公営住宅法面積表(1)	A-056	部分詳細図(2)	A-096	木造工事特記仕様書(5)	A-136	断熱範囲図 1階平面図(見上げ図)	S-017	1階柱壁1階梁床伏図		
A-017	公営住宅法面積表(2)	A-057	部分詳細図(3)	A-097	木造工事特記仕様書(6)	A-137	断熱範囲図 2~8階平面図(見下げ図)	S-018	2階柱壁2階梁床伏図		
A-018	凡例1	A-058	パネル詳細図(1)	A-098	木造工事特記仕様書(7)	A-138	断熱範囲図 2~7階平面図(見上げ図)	S-019	3-8階柱壁3-8階梁床伏図		
A-019	凡例2・外部仕上表	A-059	パネル詳細図(2)	A-099	木造工事特記仕様書(8)	A-139	断熱範囲図 8階平面図(見上げ図)	S-020	R階梁床伏図		
A-020	内部仕上表	A-060	パネル詳細図(3)	A-100	集会所 内・外部仕上表	A-140	仮設計画図(総合) 参考図	S-021	軸組図(1)		
A-021	ピット平面図	A-061	パネル詳細図(4)	A-101	集会所 平面詳細図	A-141	仮設計画図(土留め) 参考図	S-022	軸組図(2)		
A-022	1階平面図	A-062	パネル詳細図(5)	A-102	集会所 立面図	A-142	仮設計画図(表層改良範囲区分図) 参考図	S-023	軸組図(3)		
A-023	2階平面図	A-063	パネル詳細図(6)	A-103	集会所 矩計図			S-024	軸組図(4)		
A-024	3~8階平面図	A-064	パネル詳細図(7)	A-104	集会所 展開図(1)			S-025	軸組図(5)		
A-025	屋根平面図	A-065	パネル詳細図(8)	A-105	集会所 展開図(2)			S-026	柱リスト		
A-026	立面図(1)	A-066	パネル詳細図(9)	A-106	集会所 部分詳細図			S-027	大梁リスト(1)		
A-027	立面図(2)	A-067	パネル詳細図(10)	A-107	集会所 土質柱状図			S-028	大梁リスト(2)		
A-028	立面図(3)	A-068	パネル詳細図(11)	A-108	集会所 杭伏図、基礎伏図			S-029	小梁リスト		
A-029	断面図(1)	A-069	エレベーター詳細図(1)	A-109	集会所 杭施工標準(1)			S-030	壁リスト		
A-030	断面図(2)	A-070	エレベーター詳細図(2)	A-110	集会所 杭施工標準(2)			S-031	スラブリスト		
A-031	矩計図(1)	A-071	エレベーター詳細図(3)	A-111	集会所 基礎部材リスト			S-032	ボイドスラブ設計・施工標準図-1(参考図)		
A-032	矩計図(2)	A-072	エレベーター詳細図(4)	A-112	集会所 構造図(1)			S-033	ボイドスラブ設計・施工標準図-2(参考図)		
A-033	屋外階段(1)詳細図	A-073	キッチン仕様書	A-113	集会所 構造図(2)			S-034	1階床ダイヤモンド配置図(参考図)		
A-034	屋外階段(2)詳細図	A-074	キッチン詳細図(1)	A-114	集会所 構造図(3)			S-035	2階床ダイヤモンド配置図(参考図)		
A-035	エントランス平面詳細図	A-075	キッチン詳細図(2)	A-115	集会所 構造図(4)			S-036	3-8階床ダイヤモンド配置図(参考図)		
A-036	エントランス断面詳細図	A-076	キッチン詳細図(3)	A-116	集会所 構造図(5)			S-037	R階床ダイヤモンド配置図(参考図)		
A-037	1DK平面詳細図	A-077	キッチン詳細図(4)	A-117	外構配置図			S-038	配筋リスト・配筋要領図(参考図)		
A-038	1DK展開図	A-078	キッチン詳細図(5)	A-118	外構詳細図(1)			S-039	補強要領図(参考図)		
A-039	2DK平面詳細図	A-079	キッチン詳細図(6)	A-119	外構詳細図(2)			S-040	架構詳細図		

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE	 さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21(1)第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn	市営新宮沖住宅建設工事(建築主体工事)			設計図	DATE	2022/9/20
	△	凡例			SCALE			JOB	20080				
	△				No.			A	000				

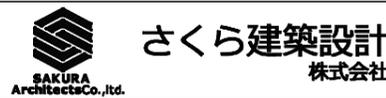
3 土工工事	①	埋戻し及び盛土	材料及び工法 ※ 標準仕様書表3.2.11による種別 ○ A種 適用場所 () ・ B種 適用場所 () ・ C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・ D種 適用場所 () (品質: 細粒分 (75μm以下) の含有率 (重量百分率) の上限を50%未満とする。) 工法: () (材料:)	(3.2.3) (表3.2.1)
	②	建設発生土の処理	※ 現場説明書の施工条件明示による ・ 構内指示場所に敷き均し ・ 構内指示場所に堆積	(3.2.5)
	③	山留めの撤去	鋼矢板等の抜き後の処理 ※ 直ちに砂で充填する 山留めの存置 ・ 行う (存置範囲) ※ 現場説明書の施工条件明示による	(3.3.3)
4 地業工事	5	鉄筋工事	特記仕様書 (構造関係) による	
	6	コンクリート工事		
	7	鉄骨工事		
B コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1	補強コンクリート ブロック造	ブロックの種類等 断面形状及び圧縮強さによる区分 ・ 空洞ブロックC (16) ・ モルタルの割合 (容積比) ※ 標準仕様書表8.2.11による セメント () : 砂 () 各部の配筋 ※ 図示 モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲 ※ 図示	(8.2.2, 3, 5)
	2	コンクリート ブロック積壁及び塀	ブロックの種類 断面形状及び圧縮強さによる区分 ・ 空洞ブロックC (16) ・ 型枠状ブロック20 ・ 塀の厚さ (mm) 塀の高さが2m以下 ※120 塀の高さが2mを超え ※150 壁鉄筋の継手、定着及び束端部の折り曲げ形状 ※ 図示 各部の配筋 ※ 図示	(8.3.2, 3)
	3	ALCパネル	パネルの区分 単位荷重 (N/m ²) 厚さ (mm) 長さ (mm) 幅 (mm) 耐火性能 表面加工 構造の種類 ・ 外壁パネル ・ 間仕壁パネル ・ 屋根パネル ・ 床パネル	(8.4.2~5)
	4	押出成形セメント板 (ECP)	パネルの種類 形状 厚さ (mm) 幅 (mm) 工法の種別 備考 ・ 外壁パネル ・ D (デザインパネル) ・ T (タイルベースパネル) ・ 間仕壁パネル ・ D (デザインパネル) ・ T (タイルベースパネル)	(8.5.2~5)

9 防水工事	1	アスファルト防水	屋根保護防水 防水層の種類 種類 施工箇所 断熱材 総縁用シート 立上り部の保護方法 ・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ・ B-1 ・ B-2 ・ B-3 ・ A1-1 ・ A1-2 ・ A1-3 ・ B1-1 ・ B1-2 ・ B1-3 (材質) JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 bA (スキ層付き) (厚さ) (mm) ※25・50 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 標準仕様書表9.2.3から表9.2.6による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm) 以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 標準仕様書表9.2.5から表9.2.6による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm) 以上 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※ 水下 80mm以上 床タイル張り ※ 水下 60mm以上 乾式保護材 窯業系パネル: 無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの。 (品質・性能) 分類・規格 寸法 (mm) 厚さ (mm) 幅 (mm) 寸法の許容差 厚さ: +10%, -5%, 幅: ±1% 出荷時の含水率 出荷時において10%以下 曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm) 標準時 550以上 450以上 300以上 凍結融解完了時 (試験サイクル数) 400以上 (300) 320以上 (200) 250以上 (300) 吸水率 (%) 20以下 20以下 1以下 吸水による長さ変化率 (%) 0.07以下 0.07以下 0.01以下 難燃性 不燃 不燃 表面材は不燃 耐凍融解性能 300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 耐衝撃性能 質量500 (窯業系パネルⅠ類は1,000) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/10以下。 剛性 (E×I) (スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重20Nの時、たわみ4mm以下となる剛性) (試験方法) (1) 寸法の測定方法 (厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。 (幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金属直尺」に規定する目量1mmの1級直尺を用いて測定する。 (2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。(窯業系パネルⅠ類は200サイクルまでとする。) なお、荷重を加える時の平均速度は、1~3分間で予想最大荷重に達する程度とする。 (3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。 (4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。 (5) 吸水による長さ変化率試験は、試験体 (幅40mm×長さ160mm×素材厚さ) を乾燥機に入れ、その温度を60±3℃に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム (試薬)」に規定する塩化カルシウム又は JIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調湿したデジケータに入れ、室温まで冷却する。次に、試験体の繊維間隔が140mmになるように繊維を割む。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて繊維間の長さ測定し、それを基準 (L1) とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼしてし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び繊維間の長さ (L2) を測る。 吸水による長さ変化率 (ΔL) は、次式によって求める。 (ΔL) = (L2 - L1) / L1 × 100 ΔL: 吸水による長さ変化率 (%) L1: 乾燥時の繊維間の長さ (mm) L2: 吸水時の繊維間の長さ (mm) (6) 耐凍融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の空中凍結水中融解法によって行う。100、200、300各サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。(窯業系パネルⅠ類は200サイクルまでとする。) 凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5~35℃の清水中	(9.2.2~5) (表9.2.3~6)
-----------	---	----------	--	----------------------

2	改質アスファルトシート防水	20±3℃の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。 (7) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S2対辺単純支持方法による。試験体の大きさは、4号 (長さ400mm、幅300mm) とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号 (W1-1000) の質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くぼみ深さを測定する。 屋根露出防水 (表9.2.7~8) 防水層の種類 種類 施工箇所 断熱材 仕上塗料 高日射反射率 防水 種類 使用量 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4 ・ D1-1 ・ D1-2 JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類) ※ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 (厚さ) (mm) ※25・50 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 標準仕様書表9.2.7から表9.2.8による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm) 以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 標準仕様書表9.2.7から表9.2.8による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm) 以上 絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示 脱気装置の種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 脱気装置の設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 (個) 屋内防水 (表9.2.9) 防水層の種類 種類 施工箇所 種類 施工箇所 ・ E-1 ・ E-2 E-1の場合で工程3を行う部位 (※ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位) 保護層 ・ 設ける (※ 図示) 防水層の地下の立上り ※ コンクリート打直し仕上げ 標準仕様書表6.2.4の種別B種 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 防水層の地下のモルタル塗り ※ 適用しない (適用する (施工範囲) ※ 図示) 屋上排水溝 ※ 図示 屋根露出防水 (9.3.2~3) (表9.3.1~3) 防水層の種類 種類 施工箇所 断熱材 防湿シート 仕上塗料 高日射反射率 防水 種類 使用量 ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS1-T1 ・ AS1-J1 JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類) ※ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 (厚さ) (mm) ※25・50 改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm) 以上 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 標準仕様書表9.3.2から表9.3.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm) 以上 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※ 標準仕様書表9.3.2から表9.3.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ (mm) 以上 立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 脱気装置の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の仕様 脱気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の仕様 (個)	(9.2.2~5) (表9.2.3~6)
---	---------------	---	----------------------

3	合成高分子系ルーフィングシート防水	屋根防水 防水層の種類 (9.4.2~4) (表9.4.1~3) 種類 施工箇所 断熱材 仕上塗料 高日射反射率 防水 種類 使用量 ・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2 ・ S-M3 ・ S1-F1 ・ S1-F2 ・ S1-M1 ・ S1-M2 標準仕様書9.4.2(3)(b) (a) による (種類) ※ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 (厚さ) (mm) ※25 標準仕様書9.4.2(3)(a) による (種類) ※ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号 (厚さ) (mm) ※25 S1-F1, S1-F2, S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルムの設置 ※ 設置しない ・ 設置する S1-M2の総縁用シートの材質 ・ 発泡ポリエチレンシート S-M2及びS1-M2の立上り部の工法 ※ 接着工法 (立ち上がり面のシートの厚さ ※ 1.5mm) ・ 機械的固定工法 屋内防水 防水層の種類 種類 施工箇所 保護層 立上り部の保護 種類 使用量 厚さ (mm) 工法 モルタルの塗厚 ・ S-C1 ・ 床塗り ・ 下地モルタル塗り ※ 7mm以下 屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※ 標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による ・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 種類 厚さ (mm) 以上 固定金具の材質及び寸法形状 ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの 接着工法の場合の脱気装置の種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 接着工法の場合の脱気装置の設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 (個) プレキャストコンクリート部材下地の目地処理 (接着工法の場合) ・ 行う (※ 図示) ・ 行わない プレキャストコンクリート部材の隅部増張り (種別S-F1, S1-F1の場合) ・ 行う (※ 図示) ・ 行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 1章 15 適用区分による風圧力の (1) ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法	(9.4.2~4) (表9.4.1~3)
	5 ケイ酸系塗布防水	防水層の種類 (9.5.3) (表9.5.1, 2) 種類 施工箇所 ※ C-U1 ・ C-U2 壁及び天井部の防水層の地下 ※ コンクリート打直し仕上げ (標準仕様書表6.2.4の種別B種) コンクリートの打継ぎ箇所の地下処理 ※ 打継ぎ部分に対し、幅30mm及び深さ30mmにV形にはつり、水洗い清掃した後、防水材の製造所の指定する材料を充填 型枠締め材にコーンが使用されている部位及び防水材の塗布面以外の地下処理 ※ 図示 下地以外は、標準仕様書表9.7.1による (9.7.2, 3) (表9.7.1) ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による シーリング材の種類 (記号) シーリング材表面に仕上塗料、塗装等 ※ 行う ・ 行わない シーリング材の目地寸法 ※ 標準仕様書9.7.3(1)(7) (a) による 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験	(9.5.3) (表9.5.1, 2)

	変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
	△			凡例
	△			



広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康
 Checked
 一級建築士登録 第243707号
 氏名 中島 義行
 Draw

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
建築工事特記仕様書 (2)		SCALE	JOB	20080
		No.	A	002

10 石工事	1	施工	石材の割付け ※ 図示 (10. 1. 3. 5) 箱面仕上げの場合のみ込みとなる部分の仕上げ ※ 図示 屋内の床を本磨きとする場合のフックスがけ ・ 行う (適用場所 ※ すべて ・) ・ 行わない	1.1 タイル工事	1 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地 2 セメントモルタルによる タイル張り	ファスナー ※ 標準仕様書表10.2.4のスライド方式に準ずる あと施工アンカーの材質、寸法 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 乾式工法の場合の取付け ※ 標準仕様書10.5.3(2)による 石材の裏面の補強用モルタル ・ 適用する ・ 適用しない 目地 外壁湿式工法の場合 目地 一般目地 目地幅 ※ 6mm以上 シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※ 標準仕様書表11.1.1による ・ 図示 シーリング材の目地寸法 ※ 標準仕様書9.7.3(1)(f)による ・ 図示 乾式工法の場合 目地 目地幅 ※ 8mm以上 シーリング材 ※ 標準仕様書9.7による ・ 図示 位置 ※ 標準仕様書表11.1.1による ・ 図示 (11. 1. 3) (表11. 1. 1)	(6) 長さ変化率の試験方法 JIS A 6203 「セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化粉未樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。 (7) 曲げ強さの試験方法 JIS A 6916 「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態：試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。 既調合目地材 (品質・性能) 項目 品質・性能 項目 品質・性能 保水率 30.0%以上 吸水量 50以下 長さ変化率 0.2%以下 (収縮) 単位容積質量 1.80k/L以上 (試験方法) (1) 試験の条件 試験室は、温度20±2℃、湿度65±5% RHの標準状態とする。また、試験に使用する材料、器具などを、予め24時間以上標準状態に置いた後使用する。 (2) 試験の調整 正味質量と標準練り上がり量より、1.0～1.2Lの試料を練り上げるのに要する材料に相当する量を計算して用意し、さらに標準加水量より用意した材料に相当する量の練り混ぜ水を計算して用意する。練り混ぜは、JIS R 5201 「セメントの物理試験方法」11.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し3分間練り混ぜて試料とする。 (3) 保水性 (ろ紙法) JIS R 3202 「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦200mm、横200mm、厚さ5mm) の上にJIS P 3801 「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径18.5cm) をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(2) で練り混ぜた試料を金べらで平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当て上下を逆さにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。10分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて1mmまで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率 (%) = 50 / 平均値 × 100 (注) 50: リング型わくの径 (mm) (4) 単位容積質量 (2) で練り混ぜた試料を、JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方法」の6.4に規定する方法で求める。 (5) 長さ変化率 (2) で調整した試料を用いてJIS A 1171の7.8長さ変化率試験に従って行う。 (6) 吸水量 (2) で調整した試料を用いてJIS A 1404 「建築用セメント防水剤の試験方法」7.5に規定する方法で24時間の吸水量を求める。試験体数は3個とし、その平均値とする。	(3) 造作用集材材 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 (12. 2. 1) ・ 「集材材の日本農林規格」による造作用集材材 施工箇所 樹種 寸法 見付け材面積 見付け材面の品質 間伐材等の適用 ※ 1等 ・ 2等 ・ 「集材材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集材材 施工箇所 樹種 寸法 化粧薄板の面積 見付け材面積 見付け材面の品質 間伐材等の適用 化粧薄板: ※ 1等 芯材: ・ 2等 ・ 「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集材材 施工箇所 樹種 寸法 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面積 見付け材面の品質 間伐材等の適用 化粧薄板: ※ 15%以下 芯材: ※ 15%以下 ・ 「集材材の日本農林規格」以外の造作用集材材 施工箇所 樹種 寸法 見付け材面積の品質 含水率 間伐材等の適用 ※ 15%以下 ・ 「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材材 施工箇所 樹種 寸法 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面積の品質 含水率 間伐材等の適用 化粧薄板: ※ 15%以下 芯材: ※ 15%以下 ・ 「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集材材 施工箇所 樹種 寸法 化粧薄板の厚さ (mm) 見付け材面積の品質 含水率 間伐材等の適用 化粧薄板: ※ 15%以下 芯材: ※ 15%以下				
	2	石材等	天然石 (10. 2. 1. 3) (表10. 2. 1. 2) 施工箇所 岩石の種類 等級 形状及び寸法 (mm) 厚さ (mm) 表面仕上げの種類 備考 ※ 床 ※ 2等品 ※ 正方形に近い短形 (1枚の面積0.8m2以下) テラゾブロック 施工箇所 種石の種類 種石の大きさ (mm) 形状による区分 仕上げ面による区分 寸法 (mm) 表面仕上げの種類 備考 ※ 大理石 ※ 1.5~12 ・ 平もの ・ 片面 ・ 花こう岩 ・ 役もの ・ 両面 テラゾタイル 施工箇所 種石の種類 種石の大きさ (mm) 寸法による区分 表面仕上げの種類 備考 ※ 大理石 ※ 1.5~12 ・ 300型 ・ 花こう岩 ・ 400型 取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料 ※ 専門工業者者の指定する製品			1 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地 2 セメントモルタルによる タイル張り	1 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地 2 セメントモルタルによる タイル張り	タイルの形状、寸法等 (11. 2. 2. 7) 施工 種類 形状/寸法 再生材料 吸水率による区分 うわぐすり 吸物 色 耐凍害性 耐摩 損傷 備考 目地 種類 (mm) の適用 I類 II類 III類 地中うめゆり 有 無 標準 特注 有 無 有 無 有 無 有 無 耐滑り性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法-第12部:耐滑り性試験方法) で規定する C.S.R値は0.4~1.0とする。 標準的な曲がりの吸物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※ 目直し工法 (高圧水洗処理) ・ MCR工法 壁タイル張りの工法 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り 既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能) 項目 品質・性能 項目 品質・性能 保水率 70.0%以上 長さ変化率 0.20%以下 単位容積質量 1.80k/L以上 曲げ強さ 4.0N/mm2以上 接着強さ 標準時 0.60N/mm2以上 温冷繰返し後 0.40N/mm2以上 (試験方法) (1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R 5201 「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R 3202 「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P 3801 「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11.0cm) をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調製した試料を平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当て上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率 = 50 / 平均値 × 100 (注) 50: リング型わくの径 (mm) (3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 (4) 接着強さ (標準時) の試験方法 1) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371 「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209 「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施仲うの「50角ユニットタイル (外寸寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909 「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、シリンダ接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエボキ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。 (全てが0.6N/mm2以上を確保していること) また、試験後の部材破断位置の表示を下記のの中から選び明記する。 T: タイルの母材破断 TM: 既調合モルタルとタイルの界面破断 M: 既調合モルタルの母材破断 B: 既調合モルタルと下地板に界面破断 下地板の母材破断 ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371 「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で 調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209 「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施仲うの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 (5) 接着強さ (温冷繰返し後) の試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4) 接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909 「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返し後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 (温冷繰返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静養生させた後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm2以上を確保していること)	有機系接着剤による タイル張り	タイルの形状、寸法等 (11. 2. 2. 7) 施工 種類 形状/寸法 再生材料 吸水率による区分 うわぐすり 吸物 色 耐凍害性 耐摩 損傷 備考 目地 種類 (mm) の適用 I類 II類 III類 地中うめゆり 有 無 標準 特注 有 無 有 無 有 無 標準的な曲がりの吸物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※ 目直し工法 (高圧水洗処理) ・ MCR工法 壁タイル張りの工法 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り 既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能) 項目 品質・性能 項目 品質・性能 保水率 70.0%以上 長さ変化率 0.20%以下 単位容積質量 1.80k/L以上 曲げ強さ 4.0N/mm2以上 接着強さ 標準時 0.60N/mm2以上 温冷繰返し後 0.40N/mm2以上 (試験方法) (1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R 5201 「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R 3202 「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P 3801 「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11.0cm) をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調製した試料を平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当て上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率 = 50 / 平均値 × 100 (注) 50: リング型わくの径 (mm) (3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 (4) 接着強さ (標準時) の試験方法 1) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371 「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209 「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施仲うの「50角ユニットタイル (外寸寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909 「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、シリンダ接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエボキ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。 (全てが0.6N/mm2以上を確保していること) また、試験後の部材破断位置の表示を下記のの中から選び明記する。 T: タイルの母材破断 TM: 既調合モルタルとタイルの界面破断 M: 既調合モルタルの母材破断 B: 既調合モルタルと下地板に界面破断 下地板の母材破断 ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371 「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で 調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209 「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施仲うの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 (5) 接着強さ (温冷繰返し後) の試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4) 接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909 「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返し後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 (温冷繰返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静養生させた後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm2以上を確保していること)	12 木工事	① 表面仕上げ (12. 1. 4) (表12. 1. 2) 表面仕上げの種類 適用箇所 機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種 手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 ② 製材 (12. 2. 1) (12. 4. 1) (12. 5. 1) ・ 「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 (12. 6. 1) (12. 7. 1) 施工箇所 樹 種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 保存 間伐材等の適用 ※ 2級 ※ A種・B種 ・ ※ 2級 ※ A種・B種 ・ ・ 「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 施工箇所 樹 種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 保存 間伐材等の適用 見え掛り面 ※ 小節 ※ A種・B種 ・ ※ 小節以上 ※ A種・B種 以外 ・ ・ 「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 施工箇所 樹 種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 保存 間伐材等の適用 ※ 1等 ※ 10%以下・A種 ・ ※ 1等 ※ 10%以下・A種 ・ B種 ・ B種 ・ 「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹 種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 () ・ 適用する ※ A種 造作材の場合 ・ 適用しない ・ B種 (※ A種・B種) ・
	3	外壁湿式工法	受金物 材質 ※ SUS304 (10. 2. 2. 3) (10. 3. 2. 3) 形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ150mm アンカーの材質及び寸法 ※ SS400 M12 あと施工アンカーの材質、寸法等 () ドレンパイプの材質 ・ 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 下地ごしらえ ※ 洗し筋工法 ・ あと施工アンカー工法 ・ あと施工アンカー・横筋流し工法 目地 一般目地 目地幅 ※ 6mm以上 シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※ 標準仕様書表11.1.1による ・ 図示 シーリング材の目地寸法 ※ 標準仕様書9.7.3(1)(f)による ・ 図示			1 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地 2 セメントモルタルによる タイル張り	1 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地 2 セメントモルタルによる タイル張り	耐滑り性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法-第12部:耐滑り性試験方法) で規定する C.S.R値は0.4~1.0とする。 標準的な曲がりの吸物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※ 目直し工法 (高圧水洗処理) ・ MCR工法 壁タイル張りの工法 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り 既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能) 項目 品質・性能 項目 品質・性能 保水率 70.0%以上 長さ変化率 0.20%以下 単位容積質量 1.80k/L以上 曲げ強さ 4.0N/mm2以上 接着強さ 標準時 0.60N/mm2以上 温冷繰返し後 0.40N/mm2以上 (試験方法) (1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R 5201 「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R 3202 「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P 3801 「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11.0cm) をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調製した試料を平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当て上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率 = 50 / 平均値 × 100 (注) 50: リング型わくの径 (mm) (3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 (4) 接着強さ (標準時) の試験方法 1) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371 「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209 「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施仲うの「50角ユニットタイル (外寸寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909 「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、シリンダ接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエボキ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。 (全てが0.6N/mm2以上を確保していること) また、試験後の部材破断位置の表示を下記のの中から選び明記する。 T: タイルの母材破断 TM: 既調合モルタルとタイルの界面破断 M: 既調合モルタルの母材破断 B: 既調合モルタルと下地板に界面破断 下地板の母材破断 ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371 「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で 調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209 「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施仲うの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 (5) 接着強さ (温冷繰返し後) の試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4) 接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909 「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返し後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 (温冷繰返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静養生させた後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm2以上を確保していること)	有機系接着剤による タイル張り	タイルの形状、寸法等 (11. 2. 2. 7) 施工 種類 形状/寸法 再生材料 吸水率による区分 うわぐすり 吸物 色 耐凍害性 耐摩 損傷 備考 目地 種類 (mm) の適用 I類 II類 III類 地中うめゆり 有 無 標準 特注 有 無 有 無 有 無 標準的な曲がりの吸物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※ 目直し工法 (高圧水洗処理) ・ MCR工法 壁タイル張りの工法 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り 既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能) 項目 品質・性能 項目 品質・性能 保水率 70.0%以上 長さ変化率 0.20%以下 単位容積質量 1.80k/L以上 曲げ強さ 4.0N/mm2以上 接着強さ 標準時 0.60N/mm2以上 温冷繰返し後 0.40N/mm2以上 (試験方法) (1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R 5201 「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R 3202 「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P 3801 「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11.0cm) をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調製した試料を平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当て上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率 = 50 / 平均値 × 100 (注) 50: リング型わくの径 (mm) (3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 (4) 接着強さ (標準時) の試験方法 1) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371 「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209 「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施仲うの「50角ユニットタイル (外寸寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909 「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、シリンダ接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエボキ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。 (全てが0.6N/mm2以上を確保していること) また、試験後の部材破断位置の表示を下記のの中から選び明記する。 T: タイルの母材破断 TM: 既調合モルタルとタイルの界面破断 M: 既調合モルタルの母材破断 B: 既調合モルタルと下地板に界面破断 下地板の母材破断 ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371 「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で 調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209 「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施仲うの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 (5) 接着強さ (温冷繰返し後) の試験方法 (試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4) 接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A 6909 「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返し後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及び膨れの有無を目視によって調べる。 (温冷繰返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静養生させた後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm2以上を確保していること)	12 木工事	① 表面仕上げ (12. 1. 4) (表12. 1. 2) 表面仕上げの種類 適用箇所 機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種 手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種 ② 製材 (12. 2. 1) (12. 4. 1) (12. 5. 1) ・ 「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 (12. 6. 1) (12. 7. 1) 施工箇所 樹 種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 保存 間伐材等の適用 ※ 2級 ※ A種・B種 ・ ※ 2級 ※ A種・B種 ・ ・ 「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 施工箇所 樹 種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 保存 間伐材等の適用 見え掛り面 ※ 小節 ※ A種・B種 ・ ※ 小節以上 ※ A種・B種 以外 ・ ・ 「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 施工箇所 樹 種 寸法 (mm) 等級 形状 含水率 保存 間伐材等の適用 ※ 1等 ※ 10%以下・A種 ・ ※ 1等 ※ 10%以下・A種 ・ B種 ・ B種 ・ 「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹 種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 () ・ 適用する ※ A種 造作材の場合 ・ 適用しない ・ B種 (※ A種・B種) ・
	4	内壁空積工法	受金物 材質 ※ SUS304 (10. 2. 2) (10. 4. 2. 3) 形状及び寸法 ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm ・ L-75×75×6(mm)の加工 長さ150mm アンカーの材質及び寸法 ※ SS400 M12 あと施工アンカーの材質、寸法等 () 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 下地ごしらえ ※ あと施工アンカー・横筋流し工法 ・ あと施工アンカー工法 目地 一般目地 目地幅 ※ 6mm以上 シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※ 6m程度ごと ・ 図示 シーリング材の目地寸法 ※ 標準仕様書9.7.3(1)(f)による ・ 図示			1 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地 2 セメントモルタルによる タイル張り	1 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地 2 セメントモルタルによる タイル張り	耐滑り性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法-第12部:耐滑り性試験方法) で規定する C.S.R値は0.4~1.0とする。 標準的な曲がりの吸物は一体成形とする 試験張り ・ 行う ※ 行わない 見本焼き ・ 行う ・ 行わない 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ※ 目直し工法 (高圧水洗処理) ・ MCR工法 壁タイル張りの工法 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良積上げ張り ・ 改良圧着張り 内装タイル以外のユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り 既調合モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能) 項目 品質・性能 項目 品質・性能 保水率 70.0%以上 長さ変化率 0.20%以下 単位容積質量 1.80k/L以上 曲げ強さ 4.0N/mm2以上 接着強さ 標準時 0.60N/mm2以上 温冷繰返し後 0.40N/mm2以上 (試験方法) (1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R 5201 「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R 3202 「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P 3801 「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11.0cm) をのせ、その中央部に真鍮製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調製した試料を平滑に詰め込む。その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当て上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率 = 50 / 平均値 × 100 (注) 50: リング型わくの径 (mm) (3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171 「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 (4) 接着強さ (標準時) の試験方法 1) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371 「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209 「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施仲うの「50角ユニットタイル (外寸寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A 6909 「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、シリンダ接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエボキ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。 (全てが0.6N/mm2以上を確保していること) また、試験後の部材破断位置の表示を下記のの中から選び明記する。 T: タイルの母材破断 TM: 既調合モルタルとタイルの界面破断 M: 既調合モルタルの母材破断 B: 既調合モルタルと下地板に界面破断 下地板の母材破断 ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A 5371 「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿しを行い直ちに(1) で 調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209 「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施仲うの「小口タイル				

17 カーテンウォール工事	1	取付方法、性能等 (17.1.3) (17.2.2) (17.3.2) 取付方法 ・ 層間方式 ・ 柱、梁方式 ・ 方立方式 ・ スパンドレル方式 性能 水密性 気密性 遮音性 断熱性 耐火性 耐温度差性 (°C) ・ 30分 ・ 80 ・ 1時間 ・ 70 ・ 60	④	④ 塗料 (18.4.1~18.13.2) 塗装 種類 塗料の種類 高日射反射率塗料 ・ 合成樹脂塗合ペイント ※A種 ・ B種 ※1種 ・ 2種 ・ 弾性ウレタン樹脂系塗料 ※B種 ・ A種 ※1種 ・ 2種 ・ 厚膜型塗料 ※B種 ・ A種 ※1種 ・ 2種 ・ 適用する エポキシ樹脂系塗料 ※1種 ・ 2種 ・ 適用する ・ クリヤラッカー塗料 (CL) ※B種 ・ A種 ・ 透明 ・ 不透明 ・ アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD) ※B種 ・ A種 ・ 耐候性塗料 (DP) 鉄鋼面 上塗り等級 () 級 ・ 適用する 垂れめつき鋼面 ※B種 ・ A種 コンクリート面及び 押出成形セメント板面 ・ A種 上塗り等級1級 ・ B種 上塗り等級2級 ・ C種 上塗り等級3級 ・ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗料 (EP) ※B種 ・ A種 ・ 合成樹脂エマルジョン塗料 (EP) ※B種 ・ A種 ・ 合成樹脂エマルジョン模倣塗料 (EP) ※B種 ・ A種 ・ ウレタン樹脂ワニス塗料 (UC) ※B種 ・ A種 ・ 透明 ・ 不透明 ・ オイルステイン塗料 (OS) (塗料 ・ 水性 ・ 油性) ・ 木材保護塗料 (WP) ※B種 ・ A種 ・ 透明 ・ 不透明 高日射反射率塗料 を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする
		耐風圧性 1章 15 適用区分による風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 主要部材の耐風圧性能 (ガラスを除く) 支点間距離 (h) 耐風圧性能 4m以下 ・ たわみ量が ± (1/150) × h かつ絶対量20mm以下であること 4mを超える ・ 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による シーリング材 下表以外は標準仕様書表 9.7.1 による 被着体の組合せ シーリング材の種類 記号 主成分による区分 金属 ガラス 石、タイル ガラス ガラス カーテンウォール板間目地 構造用ガスケット ・ 適用する (施工箇所 ・ 図示 ・) 材質 ・ クロプロレン系 ・ EPDM系 ・ シリコーン系 形状 ・ H型 ・ Y型 ・ C型 寸法 (mm) ガラス板厚 () ・ 支持棒の厚さ () ・ ウェブの寸法 () ・ 適用しない 断熱材 種類 () 厚さ (mm) () 施工箇所 ・ 図示 ・ 耐火材料 施工部位 種類 規格帯 ・ ファスター部 ・ 取付けブラケット ・ パネル目地部 ・ 層間ふさぎ ・ ・		
2	メタルカーテンウォール	(17.2.2, 3, 5) カーテンウォールの材料 金属系材料の種類 規格等 表面処理 映像調整 ※ アルミニウム材 ※ 標準仕様書 種類 () 種 ・ 行わない 16.2.3による 色合等 ・ 標準色 () ・ 行 ・ 特注色 ()	19 内装工事	① 接着剤 接着剤のホルムアルデヒド放散量 (19.2.2) ※ 規制対象外 接着剤は可塑剤 (難揮発性の可塑剤を除く) が添加されていないものとする 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・ 図示 ・ ② ビニル床シート (19.2.2, 3) 種類の記号 色柄 特殊機能 厚さ (mm) 備考 ※ FS ・ 無地 ※ 2.0 ○ KS ・ マーブル柄 ・ 耐動荷重性 ○ 柄物 ・ 防汚性 ※ 目地処理 (工法 ※ 熱溶接工法 ・) ・ 突付け (施工箇所:) 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ¹⁰ ~1×10 ¹² Ω程度
		③ ビニル床タイル (19.2.2) 種類の記号 色柄 寸法 特殊機能 厚さ (mm) 備考 ※ KT ・ 無地 ※ 300×300 ・ 帯電防止 ※ 2.0 ・ TT ・ FT ・ 柄物 ・ 450×450 ・ 防汚性 ・ 2.5 ・ FOA ・ FOB ・ 500×500 ・ 3.0		
3	P Cカーテンウォール	(17.3.2~5) (表17.3.1, 2) カーテンウォールの材料 コンクリート ※ 標準仕様書17.3.2(1)(7)~(9)による 鉄筋 ※ SD295A (・D13 ・ D10) 補強鉄線の径 (mm) ※ 3.2 ・ 4.0 ・ 5.0 ・ 6.0 配筋 ※ 図示 先付けの材料 ・ 建具枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール 表面仕上材 ・ タイル ・ 石材 (・ 花こう岩 ・ 大理石 ・) ・ ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差 (mm) ・ 深さ (h) =1~2, 溝幅及び底幅 (W1及びW2) =±1 製品及び取付位置の寸法許容差 ※ 標準仕様書表17.3.1~2による	④	④ ビニル幅木 (19.2.2) 材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 高さ (mm) ※ 60 ・ 75 ・ 100 厚さ (mm) ※ 1.5以上
		⑤ ゴム床タイル (19.2.2) 種類 ・ 単層品 ・ 複層品 色柄 () 厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法 (mm) () ⑥ カーペット敷き (19.3.2, 3) (表19.3.1) ・ 織じゅうたん 織り方 パイルの形状 帯電性 備考 ・ ウィルトンカーペット ・ カットパイル ・ 適用する ・ ダブルフェースカーペット ・ ループパイル ・ 適用しない ・ アキスミンターカーペット ・ カット、ループ併用 パイル糸の種類等 ※ 模様のない無地のもの (改修標準仕様書表6.9.1による種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種) ・ タフテッドカーペット パイルの形状 パイル長さ (mm) 工法 帯電性 備考 ・ カットパイル ・ 5~7 ・ ※ 全面接着工法 ・ 適用する ・ ループパイル ・ 4~6 ・ ・ グリッター工法 ・ 適用しない ・ カット、ループ併用 ・		
18 塗装工事	① 材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3) ※ 規制対象外 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)	②	② 素地ごしらえ (18.2.2~7) 下地面等 種類 木部 不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種 透明塗料塗りの場合 ※ B種 ・ A種 鉄鋼面 ※ C種 ・ A種 ・ B種 垂れめつき鋼面 ・ A種 ・ B種 モルタル面及びプラスター面 ※ B種 ・ A種 コンクリート面 (DP以外) 及びALC/パネル面 ※ B種 ・ A種 押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP) ・ A種 ・ B種 せっこうボード面及び 目地: 継目処理工法 ※ A種 ・ B種 その他ボード面 目地: 継目処理工法以外 ※ B種 ・ A種
		③ 錆止め塗料塗り (18.3.2, 3) 下地面等 工程の種類 塗料の種類 鉄鋼面 見え隠れ部分 ※ A種 ・ B種 A種 見え隠れ部分 ※ B種 ・ A種 E P-の場合 ※ B種 ・ A種 垂れめつき鋼面 鋼製建具等 ※ A種 ・ B種 ※ A種 ・ B種 鋼製建具等以外 ※ B種 ・ A種 B種 E P-の場合はC種		

7	合成樹脂塗料 (19.4.2, 3) (表19.4.4, 5) 種類 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・ 厚膜型塗料 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 弾性ウレタン樹脂系塗料 ・ つや消し仕上げ ・ 厚膜型塗料 ・ 薄膜流しのペ工法 ・ 平滑仕上げ エポキシ樹脂系塗料 ・ 厚膜流しのペ工法 ・ 防汚仕上げ ・ 樹脂モルタル工法 ・ 厚膜型塗料 ※ 平滑仕上げ 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外	8	防じん用塗料 材料 水性アクリル系樹脂塗料とし、製造所の指定する製品とする 工法 製造所の指定する工法とする なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m ² 以上とする 仕上げの種類 (※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ) (※ 標準色 ・) JIS K 5970Iに基づく塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外	
				9
19 内装工事	① 接着剤	② ビニル床シート (19.2.2, 3) 種類の記号 色柄 特殊機能 厚さ (mm) 備考 ※ FS ・ 無地 ※ 2.0 ○ KS ・ マーブル柄 ・ 耐動荷重性 ○ 柄物 ・ 防汚性 ※ 目地処理 (工法 ※ 熱溶接工法 ・) ・ 突付け (施工箇所:) 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ¹⁰ ~1×10 ¹² Ω程度	③	③ ビニル床タイル (19.2.2) 種類の記号 色柄 寸法 特殊機能 厚さ (mm) 備考 ※ KT ・ 無地 ※ 300×300 ・ 帯電防止 ※ 2.0 ・ TT ・ FT ・ 柄物 ・ 450×450 ・ 防汚性 ・ 2.5 ・ FOA ・ FOB ・ 500×500 ・ 3.0
				④ ビニル幅木 (19.2.2) 材質の種類 ※ 軟質 ・ 硬質 高さ (mm) ※ 60 ・ 75 ・ 100 厚さ (mm) ※ 1.5以上
5	ゴム床タイル (19.2.2) 種類 ・ 単層品 ・ 複層品 色柄 () 厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法 (mm) ()	⑤	⑤ ゴム床タイル (19.2.2) 種類 ・ 単層品 ・ 複層品 色柄 () 厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法 (mm) ()	
				⑥
19 内装工事	① 材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 (18.1.3) ※ 規制対象外 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)	②	② 素地ごしらえ (18.2.2~7) 下地面等 種類 木部 不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種 透明塗料塗りの場合 ※ B種 ・ A種 鉄鋼面 ※ C種 ・ A種 ・ B種 垂れめつき鋼面 ・ A種 ・ B種 モルタル面及びプラスター面 ※ B種 ・ A種 コンクリート面 (DP以外) 及びALC/パネル面 ※ B種 ・ A種 押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP) ・ A種 ・ B種 せっこうボード面及び 目地: 継目処理工法 ※ A種 ・ B種 その他ボード面 目地: 継目処理工法以外 ※ B種 ・ A種
		③ 錆止め塗料塗り (18.3.2, 3) 下地面等 工程の種類 塗料の種類 鉄鋼面 見え隠れ部分 ※ A種 ・ B種 A種 見え隠れ部分 ※ B種 ・ A種 E P-の場合 ※ B種 ・ A種 垂れめつき鋼面 鋼製建具等 ※ A種 ・ B種 ※ A種 ・ B種 鋼製建具等以外 ※ B種 ・ A種 B種 E P-の場合はC種		

7	合成樹脂塗料 (19.4.2, 3) (表19.4.4, 5) 種類 施工箇所 工法 仕上げの種類 ・ 厚膜型塗料 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ 弾性ウレタン樹脂系塗料 ・ つや消し仕上げ ・ 厚膜型塗料 ・ 薄膜流しのペ工法 ・ 平滑仕上げ エポキシ樹脂系塗料 ・ 厚膜流しのペ工法 ・ 防汚仕上げ ・ 樹脂モルタル工法 ・ 厚膜型塗料 ※ 平滑仕上げ 塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外	8	防じん用塗料 材料 水性アクリル系樹脂塗料とし、製造所の指定する製品とする 工法 製造所の指定する工法とする なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m ² 以上とする 仕上げの種類 (※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ) (※ 標準色 ・) JIS K 5970Iに基づく塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外
10	畳敷き	①	① 断熱材 (19.9.2, 3) フェノールフォームを使用した断熱材、保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ○ 断熱材打込み工法 種類 厚さ (mm) 施工箇所 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ※ 25 ・ ※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキャンナシ) ※ 2種 b A ※ 25 ※ 外壁 ・ ※ 3種 b A ※ 25 ※ スラブ ・ ○ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ○ 図示 ○ 図示 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 ・ 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による ○ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※ A種 1 ○ A種 1 H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ○ 図示 施工箇所 ※ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版下等、部分的に後張りしなければならない箇所 ・ 図示

11	せっこうボードその他のボード及び合板張り (19.7.2, 3) (表19.7.1) 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 種 記号 JISの厚さ (mm) ・ 規格等 ・ 硬質木毛セメント板 HW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ・ 中質木毛セメント板 HW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ・ 普通木毛セメント板 HW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ・ 硬質木片セメント板 HF ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ ・ 普通木片セメント板 HF ・ 30 ・ ○ けい酸カルシウム板 0.8FK タイプ 2 (無石棉) ・ 6 ・ 8 1.0FK ・ ロックウール化粧吸音板 DR ・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃)) ・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃)) ・ ロックウール吸音ボード号 RW-B ・ 25 ・ ・ グラスウール吸音ボード32K GW-B ・ 25 (ガラスクロス色) ・ ○ せっこうボード GB-R ※ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様) ○ シンジングせっこうボード GB-S 12.5 (※不燃 ・ 準不燃) ・ 強化せっこうボード GB-F 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ せっこうラスボード GB-L 9.5 ・ 化粧せっこうボード (木目) GB-D 12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 柾目 ・ 板目) 専用下地材有り ○ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様) GB-D 9.5 (準不燃) 表板の樹種名 生地、透明塗料塗り (※ ラワン程度 ・) 不透明塗料塗り (※ しな程度 ・) 板面の品質 () 厚さ (mm) () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない) ・ 天然木化粧合板 樹種名 () 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) () 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない) ・ 特殊加工化粧合板 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・ 1類 ・ 2類) 厚さ (mm) () 防虫処理 (・ 行う ・ 行わない) JIS K 6903 による厚さ (※ 1.2 ・) ・ メラミン樹脂化粧板 ・ ポリエステル樹脂化粧板 ・ ミチアムデンシティブァイバーボード MDF ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・ ・ 単板張り ・ 無研磨板 VN ・ 研磨板 VS パーティクルボード ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ ・ 化粧パーティクルボード ・ 単板オーバーレイ DV ・ プラスチックオーバーレイ DO ・ 塗装 DC ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃) ・ ・ ハードボード (素地) HB ・ 無研磨板 (・ スタンダード ・ テンバード RN) ・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンバード RS) ・ ハードボード (化粧) ・ 内装用 DI ・ 外装用 DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7 ・ ・ インシュレーションボード IB A級 (・ 天井仕上げ ・ 内装仕上げ) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ せっこうボード等の下地 ※ 図示 軽量鉄骨下地ボード遮音壁に用いる遮音シール材 ※ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド 合板類の張付け ※ B種 ・ A種 せっこうボードの目地工法 ※ 仕上表による
13	断熱材 (19.9.2, 3) フェノールフォームを使用した断熱材、保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ○ 断熱材打込み工法 種類 厚さ (mm) 施工箇所 ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ※ 25 ・ ※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキャンナシ) ※ 2種 b A ※ 25 ※ 外壁 ・ ※ 3種 b A ※ 25 ※ スラブ ・ ○ 硬質ウレタンフォーム断熱材 ・ 25 ○ 図示 ○ 図示 ・ フェノールフォーム断熱材 ・ 25 ・ 施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による ○ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※ A種 1 ○ A種 1 H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ○ 図示 施工箇所 ※ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版下等、部分的に後張りしなければならない箇所 ・ 図示

20	ユニット及びその他の工事	1	フリーアークセフロア	(2.0.2.2)		<p>現場発泡断熱材 (品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>難燃性</td> <td>下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コンクカラリー試験) に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>発熱性</td> <td>準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)～(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m²以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m²を超えないこと。</td> </tr> </table> <p>(試験方法)</p> <p>(1) 原液試験 (原液粘度試験) JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」に規定する6.11による。</p> <p>(2) 発泡品試験</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 <p>(3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。 		項目	品質・性能	難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コンクカラリー試験) に適合していること。	発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)～(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。																																																												
				項目	品質・性能																																																																				
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コンクカラリー試験) に適合していること。																																																																								
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)～(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が9MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。																																																																								
2	可動間仕切	(2.0.2.3)		<p>②試験方法-1 イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300) に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。</p> <p>③試験方法-2 イ、試験は、コンクリート (JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類: N300) に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の、適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。 ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数を除いた値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重板1,900N (3,000N/1m²相当) を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。</p> <p>④零点補正及び測定記録 試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して“0”にした状態を零点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。</p> <p>3) 共通事項 試験に使用する表面仕上げ材 種類: タイルカーベット 繊維素材: ナイロン100 % バイル携帯: ループバイル 梱装素材: ナイロン100 % バイル長: 3.0mm~4.0mm バッキング素材: 強化ビニル樹脂 全厚: 6.0mm~7.0mm 単位質量: 4.0k/m²~6.0k/m² 人体耐電圧: 2KV以下</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">構造形式による種類</th> <th colspan="2">構成基材の種類</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th colspan="2">表面仕上げ材</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>スタッド</td> <td>パネル</td> <td></td> <td>材質</td> <td>パネル表面仕上げ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※スタッド式 (内蔵)</td> <td>・スタッド式 (露出)</td> <td>・鋼板</td> <td>・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付塗装</td> <td>・36以上</td> <td>・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付塗装</td> <td>・壁紙張り</td> <td>・0</td> <td>・不燃</td> </tr> <tr> <td>・スタッドパネル式</td> <td>・パネル式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具・あり (※ 図示) ・なし ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章9節の建具用金物に対応する材質とする。 表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※JIS A 6512によりF☆☆☆☆以上</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">走行方向</th> <th>操作方法</th> <th>圧接装置の操作方法</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th colspan="2">表面仕上げ材</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>による種類</td> <td></td> <td></td> <td>材質</td> <td>パネル表面仕上げ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・平行方向移動式</td> <td>・手動式</td> <td>・フッシュ式</td> <td>・鋼板</td> <td>・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付塗装</td> <td>・壁紙張り</td> <td>・0</td> <td>・36未満</td> </tr> <tr> <td>・二方向移動式</td> <td>・電動式</td> <td>・ハンドル式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・36以上</td> </tr> </table> <p>表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガールールの取付け下地の補強 ※ 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・ 図示 パネルをランナーに取り付ける部品 ※ パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。 ・ 図示 (品質・性能及び試験方法) (1) パネル (表面材、心材、フレーム材、幅木、笠木及び補強材) 及びハンガールールは、JIS A 6512「可動間仕切」の表9又はこれらと同等以上の品質性能を有し、かつ、接触腐食をおこなないもの又は防食処理を施したものとす。 (2) 吊りボルト JIS B 1051「炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質-第一部: ボルト、ネジ及び補込みボルト」による。 (3) パネルの外観 JIS A 6512「可動間仕切」の5(a)～(c)による。 (4) ホルムアルデヒド等 JIS A 6512「可動間仕切」7材料による。 (5) パネルの操作性 パネル操作の初動力は98N以下とする。 (6) 耐衝撃性 質量50kgにおける衝撃試験において構造部材の折れ、曲りの異常がなく表面の、割れ、はがれがないものとする。また、接点・接床部が外れないこと及び多少のずれがあっても圧接装置の調整で元に戻せるものとする。 (7) 遮音性能 遮音性試験はJIS A 6512に規定する透過損失単位による各区分ごとに、500Hzの音について透過損失の規定値に適合するものとする。 (8) パネル圧接装置の耐久性 パネル圧接装置の固定・解除は、7,500回の繰返し耐久試験実施後、質量50kg衝撃試験で異常のないものとする。 (9) レールの耐久性 レールは普通パネルで吊り車2個が通過する部分を1m以上とし、吊り車の通過回数が30,000回以上で異常のないものとする。 (10) 吊り車の耐久性 吊り車は、走行距離60kmで操作性に異常がなく、レールに大きな変形がないものとする。 (11) 吊りボルトの引張強度 一本にかかる荷重の15倍以上の引張強度があるものとする。 (12) ランナーの引張強度 引張試験を実施し、普通パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナーの数で除した値以上の強度があるものとする。</p>		構造形式による種類		構成基材の種類		総厚さ (mm)	表面仕上げ材		遮音性 (dB/500Hz)	防火性能			スタッド	パネル		材質	パネル表面仕上げ			※スタッド式 (内蔵)	・スタッド式 (露出)	・鋼板	・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付塗装	・36以上	・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付塗装	・壁紙張り	・0	・不燃	・スタッドパネル式	・パネル式								走行方向		操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	表面仕上げ材		遮音性 (dB/500Hz)			による種類			材質	パネル表面仕上げ		・平行方向移動式	・手動式	・フッシュ式	・鋼板	・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付塗装	・壁紙張り	・0	・36未満	・二方向移動式	・電動式	・ハンドル式					・36以上
構造形式による種類		構成基材の種類		総厚さ (mm)	表面仕上げ材		遮音性 (dB/500Hz)	防火性能																																																																	
		スタッド	パネル		材質	パネル表面仕上げ																																																																			
※スタッド式 (内蔵)	・スタッド式 (露出)	・鋼板	・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付塗装	・36以上	・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付塗装	・壁紙張り	・0	・不燃																																																																	
・スタッドパネル式	・パネル式																																																																								
走行方向		操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	表面仕上げ材		遮音性 (dB/500Hz)																																																																		
		による種類			材質	パネル表面仕上げ																																																																			
・平行方向移動式	・手動式	・フッシュ式	・鋼板	・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付塗装	・壁紙張り	・0	・36未満																																																																		
・二方向移動式	・電動式	・ハンドル式					・36以上																																																																		
3	移動間仕切	(2.0.2.4)		<table border="1"> <tr> <th colspan="2">走行方向</th> <th>操作方法</th> <th>圧接装置の操作方法</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th colspan="2">表面仕上げ材</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>による種類</td> <td></td> <td></td> <td>材質</td> <td>パネル表面仕上げ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・平行方向移動式</td> <td>・手動式</td> <td>・フッシュ式</td> <td>・鋼板</td> <td>・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付塗装</td> <td>・壁紙張り</td> <td>・0</td> <td>・36未満</td> </tr> <tr> <td>・二方向移動式</td> <td>・電動式</td> <td>・ハンドル式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・36以上</td> </tr> </table> <p>表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガールールの取付け下地の補強 ※ 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。 ・ 図示 パネルをランナーに取り付ける部品 ※ パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。 ・ 図示 (品質・性能及び試験方法) (1) パネル (表面材、心材、フレーム材、幅木、笠木及び補強材) 及びハンガールールは、JIS A 6512「可動間仕切」の表9又はこれらと同等以上の品質性能を有し、かつ、接触腐食をおこなないもの又は防食処理を施したものとす。 (2) 吊りボルト JIS B 1051「炭素鋼及び合金鋼製締結用部品の機械的性質-第一部: ボルト、ネジ及び補込みボルト」による。 (3) パネルの外観 JIS A 6512「可動間仕切」の5(a)～(c)による。 (4) ホルムアルデヒド等 JIS A 6512「可動間仕切」7材料による。 (5) パネルの操作性 パネル操作の初動力は98N以下とする。 (6) 耐衝撃性 質量50kgにおける衝撃試験において構造部材の折れ、曲りの異常がなく表面の、割れ、はがれがないものとする。また、接点・接床部が外れないこと及び多少のずれがあっても圧接装置の調整で元に戻せるものとする。 (7) 遮音性能 遮音性試験はJIS A 6512に規定する透過損失単位による各区分ごとに、500Hzの音について透過損失の規定値に適合するものとする。 (8) パネル圧接装置の耐久性 パネル圧接装置の固定・解除は、7,500回の繰返し耐久試験実施後、質量50kg衝撃試験で異常のないものとする。 (9) レールの耐久性 レールは普通パネルで吊り車2個が通過する部分を1m以上とし、吊り車の通過回数が30,000回以上で異常のないものとする。 (10) 吊り車の耐久性 吊り車は、走行距離60kmで操作性に異常がなく、レールに大きな変形がないものとする。 (11) 吊りボルトの引張強度 一本にかかる荷重の15倍以上の引張強度があるものとする。 (12) ランナーの引張強度 引張試験を実施し、普通パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナーの数で除した値以上の強度があるものとする。</p>		走行方向		操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	表面仕上げ材		遮音性 (dB/500Hz)			による種類			材質	パネル表面仕上げ		・平行方向移動式	・手動式	・フッシュ式	・鋼板	・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付塗装	・壁紙張り	・0	・36未満	・二方向移動式	・電動式	・ハンドル式					・36以上																																				
走行方向		操作方法	圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	表面仕上げ材		遮音性 (dB/500Hz)																																																																		
		による種類			材質	パネル表面仕上げ																																																																			
・平行方向移動式	・手動式	・フッシュ式	・鋼板	・メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付塗装	・壁紙張り	・0	・36未満																																																																		
・二方向移動式	・電動式	・ハンドル式					・36以上																																																																		

	変更日・・・変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE	 さくら建築設計株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn	市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)	設計図 DATE 2022/9/20 SCALE 20080	No. A 007
	図面: A 2 (縮尺: A 1→141%、A 3→71%)	印刷日付: 22' 12' 3								

17	耐震スリット	(品質・性能)	部材名	材質	屋内外用	屋内用	
		受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出成形材 (表面処理) JIS H 4100のA6063S-T5 ステンレス製	JIS H 4100のA6063S-T5 JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 HL又は2B仕上げ程度	
		鋼製	—	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの		
		二重蓋の中蓋	鋼板	JIS G 5501のFC150、FC200	—	塩化ビニル樹脂製等	
		その他	—	—	塩化ビニル樹脂製等		
		目地材	黄銅	JIS H 3100のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250のC3602、C3604	—	—	
		ステンレス	—	—	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304		
		底板材コーナーピース底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430	—	
		アルミニウム板	JIS H 4000(A1100F H24)	—	—		
		表面処理	—	—	表面処理 陽極酸化塗装検査被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)		
		鋼材	—	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの		
		パッキン材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの	—	—		
		アンカー材	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの	—	—		
		取手	黄銅鋼製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金鋼製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする	—	—		
		鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする施設・開錠は、鍵又は閉閉用ハンドル式とする	—	—		
		蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値P=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。	—	—		
		受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、径見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返し行った後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかると加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。	—	—			
		耐火性能	防火性能	備考	—		
		○耐火型 ○非耐火型	○有り ○無し	—	—		
		目地	内壁	外壁	—		
		目地材	○シーリング材(見え掛り部のみ)	○シーリング材(見え掛り部のみ)	○シーリング材(内外共)		
		目地寸法(mm)	○幅20×深さ10	○幅20×深さ10	—		
		シーリング材の種類は標準仕様書表9.7.1による	—	—	—		
止水板	形式	差込式	据置式	壁張り式			
材質	塩化ビニル製(種類)	—	—	非加硫ブチルゴム製			
寸法(mm)	—	—	—	—			
施工箇所	—	—	—	—			
19	エキスパンションジョイント金物	耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による	—	—			
20	旗竿	材質	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考
○アルミニウム合金製	・テーパー式 ・同一断面式	—	・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・ハンド式	—	—	
21	旗竿受金物	材質	※ ステンレス製(SUS 304)	—	—	—	
22	止めさく	形式	標準品	標準品	標準品	標準品	
・上下式鎖内蔵式	・標準品	・ステンレス製	—	—	—	—	
・スプリング式	—	—	—	—	—	—	
23	フェンス	フェンスの種類	・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス	○樹脂塗装メッシュフェンス	—	—	
高さ	※ 図示	—	—	—	—	—	
24	プレキャストコンクリート	コンクリートの設計基準強度 ※ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300k/m3を満足する調合強度 ・ 図示 配筋 ※ 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する。 ・ 図示 取付け方法 ※ 図示	—	—	—	(2.0.3.3.4)	

25	間知石及びコンクリート間知ブロック積み	(2.0.4.2.3)	種類	備考		
・間知石	・花こう岩	—	—	—		
・コンクリート	—	—	・A	・B		
・間知ブロック	—	—	—	—		
積み方	※ 積積み	・ 布積み	—	—		
目差し	・ 図示	—	—	—		
伸縮調整目地	材質	・ 図示	—	—		
厚さ	・ 図示	—	—	—		
26	鋼製書架、物品棚及び移動式書架	種類	規格等	JISによる種類		
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種	・2種	・3種		
・鋼製物品棚	JIS S 1039の規格による	・4種	・5種	・6種		
・移動式書架	形状等は図示による	—	—	—		
27	壁内掲示板	枠の材質	※ アルミニウム製	—		
表面の材質	※ 塩化ビニルシート張り	—	—	—		
形状寸法	※ 図示による	—	—	—		
28	洗面カウンター	材質	※メラミン樹脂化粧板張り(心材:集成材)	・人工大理石		
奥行き(mm)	※ 約450	・約600	—	—		
29	防煙垂れ壁	・固定式	—	—		
材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考			
※ 網入り磨板ガラス	※ 6.8	※ 500	アルミ製特付き			
・ 網入り磨板ガラス	—	—	—			
・ 可動式	—	—	—			
種類	材質	高さ(mm)	備考			
・垂直降下式(巻取り型)	※ 不燃布(不燃認定品)	※ 500 ・ 800	ガイドレール ※ 固定式(壁埋込型) ・ 可動式(天井収納型)			
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※ 500 ・ 800	表面仕上げ ※ 天井材張り			
降下機構	煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型)	—	—			
30	収納家具	材質、形状、寸法	※ 図示	—		
合板製、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量	※ 規制対象外	—	—	—		
31	壁内掲示板	本体材質	※ ステンレス製	—		
照明器具	・有り	・無し	—	—		
掲示板面積	—	—	—	—		
施設装置	※ 有り	・無し	—	—		
形状寸法	※ 図示による	—	—	—		
32	くつふきマット	材質	受け枠	備考		
・塩化ビニル又はゴム製	・ステンレス鋼(SUS304)	—	—	—		
・硬質アルミニウム合金製	・硬質アルミニウム合金製	—	—	—		
・ステンレス鋼(SUS304)製	—	—	—	—		
33	階段手すり(金属工事以外)	材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	
※ 集成材	・ クリアラッカー	・ 35	・ 45	—		
・ ビニル製ハンドレール	—	—	—	—		
34	天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材質	※ アルミニウム既製品	○ビニル既製品		
35	ピクチャーレール	・見切り縁兼用タイプ 移動フック	ケ/㎡ 安全荷重	※ 15k以上		
36	視覚障害者用床タイル(視覚障害者誘導用ブロック)	(1.1.2.2.1.9.2.2)	施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
屋内	○塩化ビニル製	※ 300×300	・	・7.0	—	—
・セラミックタイル	※ 300×300	・	—	—	—	—
・レジンコンクリート製	※ 300×300	・	—	—	—	—
・コンクリート製	—	—	—	—	—	—
屋外	・セラミックタイル	※ 300×300	・	—	—	—
・レジンコンクリート製	※ 300×300	・	—	—	—	—
・コンクリート製	—	—	—	—	—	—
突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による	—	—	—	—	—	—
37	流し台ユニット	種類	寸法(mm)	備考		
○流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品(木製扉・木製キャビネット) 仕上げ: ※ 化粧パーティクルボード		
○コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	トラップ付き 天板ステンレス製 市販品(木製扉・木製キャビネット) 仕上げ: ※ 化粧パーティクルボード		
○つり戸棚	・1200 ・900	・450 ・700	・500 ・700	市販品(木製扉・木製キャビネット) 仕上げ: ※ 化粧パーティクルボード		
・水切り	・1200 ・900 ・600	—	—	市販品 ステンレス製 ・1段式		
(品質・性能)	(1) 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 (2) 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。 形状	※ 図示	—	—		

2	1	屋外雨水排水	材料	(2.1.2.1.2)(表2.1.2.1.2)
種類	種類	呼び径	備考	
・遠心力鉄筋コンクリート管	※ 外圧管(1種)	・B形管	※ 図示	
○硬質ポリ塩化ビニル管	・RS-V P	※ 図示	・	
・RS-V U	※ 図示	・	・	
・V P	※ 図示	・	・	
○V U	※ 図示	・	・	
基礎の厚さ及び種類	※ 図示	—	—	
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料	※ 接着剤	—	—	
側溝の形状及び寸法	※ 図示	—	—	
排水網の種類	※ 図示	—	—	
砂地帯に用いる材料	※ シルト、有機物の混入しない練固めに適した山砂、川砂又は砕砂	—	—	
砂利地帯に用いる材料	※ 再生クラッシュラン ・切込砂利又は切込砕石	—	—	
現場打ちの場合のコンクリート材料	設計基準強度	※ 18N/mm2	—	
スラブ	※ 15cm又は18cm	—	—	
現場打ちの場合の鉄筋	種類の記号	※ SD295A	—	
排水網が現場打ちの場合の足掛け金物	材質	※ ステンレス製	・鋼製	
・合成樹脂被覆加工を行った足掛け金物	—	—	—	
凍上抑制層に用いる材料	砂を用いる場合の粒度試験	・ 行う	・ 行わない	
(2.1.2.1)	—	—	—	
名称	種類	適用荷重	備考	
鋼鉄製マン	・水封形	・T-2用	・有り	
ホールふた	・簡易密閉形(パッキン式)	・T-6用	・無し	
・密閉形(テーパー・パッキン式)	・T-20用	—	—	
・中ふた付き密閉形(テーパー・パッキン式)	—	—	—	
塩ビ製	・RS-V U	—	—	
(2.1.2.1)	—	—	—	
3	2	グレーチング	材料(鋼製、ステンレス製)、用途(濡ふた【換気用、側溝用】、併ふた用、U字溝用)、適用荷重(歩行用、T-2、T-6、T-14、T-20)、形式(受枠付きボルト固定の有無)、メインバーピッチ(細目、普通目)、上面形状(凹凸形、平形)は、図示による	
(品質・性能等)	—	—	—	
<鋼製グレーチング>	項目	品質・性能	—	
メインバー、サイドバー	JIS G 3101 SS400	—	—	
及びエンドプレート	—	—	—	
クロスバー	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3505「軟鋼線材」SWRH	—	—	
受け枠用アングル材	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3132「鋼管用熱間延焼素鋼鋼管」SPHT	—	—	
溶融亜鉛めっきの付着量	JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」による試験において溶融亜鉛めっきの付着量が90240以上又は、HDZ 50以上	—	—	
アンカー	間隔	側溝の場合500mm内外	—	
ふた	幅及び長さの許容差	±3.0mm	—	
荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする	—	—	
<ステンレス製グレーチング>	項目	品質・性能	—	
メインバー、クロスバー	JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4318のSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430J1L	—	—	
エンドバー、サイドバー	JIS G 4303、JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4308、JIS G 4317、JIS G 4318のSUS304、JIS G 4320のSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430J1L	—	—	
受け枠用アングル材	JIS G 4304、JIS G 4305、JIS G 4317、JIS G 4320のSUS304又はJIS G 4304、JIS G 4305のSUS430J1L	—	—	
アンカー	IS G 3101 SS400	・塩害の多い地区は塩害に対する防錆処理を行う	—	
間隔	側溝の場合500mm内外	—	—	
表面仕上げ	2B程度	—	—	
ふた	幅及び長さの許容差	±3.0mm	—	
荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする	—	—	
(荷重試験方法)	設計荷重は以下の通りとする	—	—	
歩車道	荷重	側溝用	横溝用	加圧面積
区分	種類	(KN)	(KN)	(cm)
車道	T-20	78.5	109.8	20×50
	T-14	54.9	76.9	20×50
	T-6	23.5	33.0	20×24
	T-2	7.8	11.0	20×16
歩道	4,903N/m2の等分布荷重	—	—	—
試験体は、下記の種別ごとに強度計算における応力度が最大となる製品について試験を行う。	—	—	—	—
イ) 溝ふた	横溝用	T-20~T-2のうち1体	—	—
歩道用	のうち1体	—	—	—
側溝用	T-20~T-2のうち1体	—	—	—
側溝用	T-14~T-2のうち1体	—	—	—
歩道用	のうち1体	—	—	—
設計荷重を基準として一方方向繰り返し加力を行う。加力速度は、4,903N/eとする。繰り返し加力は3回行った後、残留ひずみ等がないか確認する。その後設計荷重の1.5倍まで加力し、溶接部のはずれ等異常の有無について確認する。	—	—	—	—
4	3	街きよ、縁石及び側溝	街きよ、縁石、側溝	(2.1.3.1.2)(表2.1.3.1)
種類	形状、寸法	備考		
○縁石	※ 図示	—		
○L形側溝	※ 図示	—		
○U形側溝	※ 図示	—		
・U形側溝ふた	※ 図示	—		
・	※ 図示	—		
砂地帯に用いる材料	※ シルト、有機物の混入しない練固めに適した山砂、川砂又は砕砂	—	—	
砂利地帯に用いる材料	※ 再生クラッシュラン ・切込砂利又は切込砕石	—	—	
現場打ちの場合のコンクリート材料	設計基準強度	※ 18N/mm2	—	
スラブ	※ 15cm又は18cm	—	—	
砂利地帯の厚さ	※ 100mm	・ 図示	—	

5	4	舗装工事	5	1	埋戻し土	※ B種	(2.1.2.1)
2	1	舗装工事	2	1	路床	路床材料	(2.2.2.2.3.5)(表2.2.2.1)
種類	材料	厚さ(mm)	備考				
○盛土	・A種 ○B種	・C種	・D種				
・建設汚泥から再生した処理工	—	—	—				
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン	・クラッシュラン	※ 図示				
・切込み砂利	・砂	—	—				
・フィルター層	・砂	—	※ 図示				
・	—	—	—				
路床安定処理の方法	・追加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰(・特号・1号) ・消石灰(・特号・1号) 添加量 ・k/m3(目標CBR ・3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験	・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60/m2以上 厚さ(mm) ・0.5-1.0 引張強度 ・98N/5cm(10kf/5cm)以上 透水係数 ・1.5×10 ⁻⁶ sec以上	—				
試験	路床土の支持力比(CBR)試験	・ 行う	・ 行わない				
路床締固めの試験	・ 行う	・ 行わない	—				
現場CBR試験	・ 行う	・ 行わない	—				
2	2	路盤	路盤の厚さ	※ 図示	(2.2.3.2.3.5)(表2.2.3.1)		
路盤材料の種類	路盤材料の種類	路盤材料の種類	路盤材料の種類	—			
・クラッシュラン	・粒状調整砕石	・再生クラッシュラン	・再生粒状調整砕石	—			
・クラッシュラン鉄鋼スラグ	・粒状調整鉄鋼スラグ	・水硬性粒状調整鉄鋼スラグ	—				
路盤締固めの試験	※ 行う	・ 行わない	—				
3	3	アスファルト舗装	アスファルト舗装の構成及び厚さ	※ 図示	(2.2.4.2~6)(表2.2.4.4)		
材料	アスファルト	※ 再生アスファルト(種類	※ 60~80	・ 80~100)			
骨材	・道路用砕石	※ アスファルトコンクリート再生骨材	—	—			
加熱アスファルト混合物の種類	・密粒度アスファルト混合物(13)	・細粒度アスファルト混合物(13)	・密粒度アスファルト混合物(13F)	—			
シールコートの施工	※ 行わない	・ 行う(乳材の種類	※ PK-1ただし、冬期はPK-2	—			
試験	アスファルト混合物等の抽出試験	・ 行う	・ 行わない				
舗装の平坦性	※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度	—	—				
4	4	コンクリート舗装	コンクリート舗装の構成及び厚さ	(2.2.5.2~4.6)(表2.2.5.1.3)			
舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)				
コンクリート舗装	車路及び駐車場	図示	図示				
歩行者用通路	歩行者用通路	図示	※ 70				
寒冷地の縁部立下り寸法等	・ 図示	—	—				
材料	コンクリート	※ 標準仕様書表22.5.1による	—				
・早強ポルトランドセメント	・使用する	・使用しない	—				
注入目地材料	※ 低弾性タイプ	・高弾性タイプ	—				
目地	種類、間隔、構造	※ 標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による					

特記仕様書(構造関係)

適用範囲 4章から7章までの適用範囲は下記の工事項目とする。
・特記仕様書1仕様書 1工事概要 3工事種目に掲げる下記の工事項目番号(番号〇～番号〇までの工事項目)

4 地業工事

Table with 4 main sections: 1 支持地盤等, 2 杭共通事項, 3 既設コンクリート杭地業, 4 鋼杭地業. Each section contains detailed specifications and tables for construction details.

5 場所打ちコンクリート杭地業

Table with 5 main sections: 5 場所打ちコンクリート杭地業, 6 砂利地業, 7 捨コンクリート地業. Contains specifications for cast-in-place pile construction, gravel, and cast concrete disposal.

5 鉄筋工事

Table with 8 main sections: 1 鉄筋, 2 溶接金網, 3 鉄筋の継手及び定着, 4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔, 5 各部配筋, 6 圧接完了後の圧接部の試験, 7 機械式継手, 8 溶接継手. Contains detailed specifications for reinforcement work.

6 コンクリート工事

Table with 16 main sections: 1 コンクリートの種類, 2 コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等, 3 セメント, 4 骨材, 5 混和剤. Contains detailed specifications for concrete work.

Table with 3 columns: 変更日, 変更事項, NOTE. Includes a small map of Japan.

SAKURA Architects Co., Ltd. logo and company name.

Project information: 広島市東区牛田早福田1-22-13, 一級建築士事務所登録 21(1)第0232号, 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康.

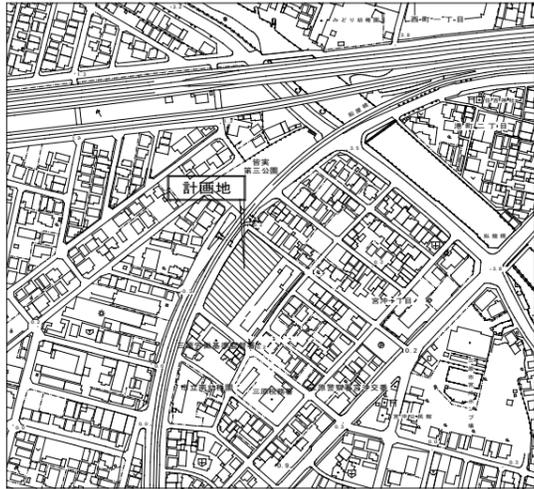
Project information: 市営新宮沖住宅建設工事(建築主体工事), 設計図 No. A, DATE 2022/9/20, SCALE JOB 20080.

項目	工事内容	建築	電気	機械	ガス	EV	別途							備考
1. スリーブ 仮枠補強	(1) 地中梁を貫通する銅管スリーブ													
	(2) 地中梁を貫通する銅管以外のスリーブ		0	0	0									
	(3) 梁（地中梁を除く）、壁、床等の貫通スリーブ		0	0	0									
	(4) 上記の貫通部分の鉄筋補強	0												
	(5) 盤及びボックス類の仮枠		0	0										
	(6) 上記の開口部の補強	0												
	(7) 天井埋め込み照明器具類取り付け用切り込み及び補強	0補強	0											
	(8) 換気口、排気口、給気口等取り付け用切り込み及び補強	0補強		0										
	(9) 上記の墨出し	0	0	0										
	(10) スリーブ穴モルタル埋め補強	0仕上	0	0	0									
2. ビット シャフト	(1) PS、MB、EPS	0												
	(2) エレベーターシャフト及びビット	0												
	(3) 1階床下ビット	0												
3. 点検口	(1) 1階ビット	0												
	(2) 屋上	0												
	(3) 上記の鉄筋補強	0												
	(4) 床、壁、天井の点検口	0												
4. コンクリート 基礎	(1) 受水槽・給水加圧ポンプ基礎・屋上水槽基礎	0												
	(2) テレビアンテナ基礎	0												
	(3) 分電盤基礎	0												
	(4) 避雷針基礎	0												
	(5) 機器類のアンカー打ち込み		0	0	0									
5. エレベーター	(1) エレベーター本体	0												
	(2) エレベーター化粧三方枠	0												
	(3) カゴ内非常ボタン(及びバトランプ)	0機器取付	0配管 0配線											
	(4) エレベーター用インターホン取り付け	0機器取付 (B0X共)	0配管 0配線											
	(5) EVシャフト躯体穴明け及び型枠入れ	0												
	(6) 各階出入口穴明け及び穴塞ぎ	0												
	(7) エレベーター用配管配線		0											
	(8) シャフト内点検用コンセント		0											
	(9) ビット内防水工事	0												
	(10) 動力・照明用電源のシャフト内引き込み		0											
	(11) シャフト内吊りフック	0												
6. 排水設備	(1) 雨水排水用ルーフトレイン及び竪樋	0												
	(2) バルコニー及び開放廊下他建物内雨掛り部排水	0												
	(3) 屋外・屋内雨水排水工事	0												
	(4) 屋外・屋内汚水・雑排水工事			0										
	(5) 屋外マンホール蓋・化粧蓋	0 雨水		0 汚水・雑排水										
	(6) 雨水側溝（グレーチング共）	0												
7. カーテン ブラインド	(1) カーテンレール	0												
8. 換気設備	(1) 天井扇（ベンドキャップ含む）		0給電 0配管配線	0本体 (ダクト共) 0ダクト										スイッチは電気工事
	(2) レンジフードファン（住戸内）スイッチは本体附属	0本体	0給電 0配管配線	0ダクト ベンドキャップ										
9. ガラリー	(1) ドア取り付け又はこれに準じるもの（給気用レジスター含む）	0												
10. 操作盤 2次側配管配線 及び接続	(1) 給水加圧ポンプ用操作盤			0										本体キャビネット内
	(2) 2次側配管配線及び接続			0										本体キャビネット内

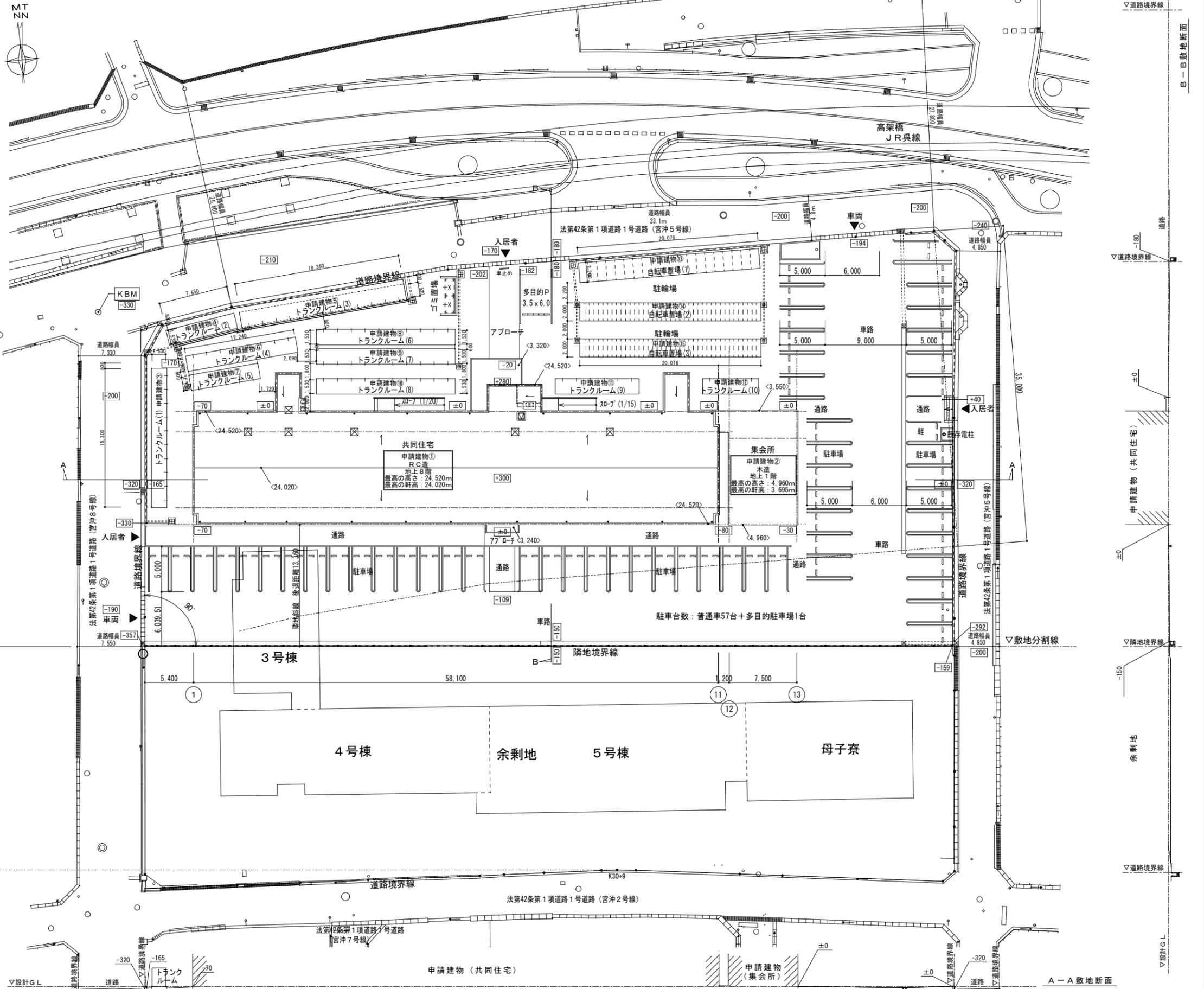
項目	工事内容	建築	電気	機械	ガス	EV	別途							備考
11. 衛生器具 流し台等	(1) 洗濯機パン（排水トラップ共）			0										
	(2) 洗面化粧台・化粧鏡及び収納キャビネット	0本体	0給電	0 配管接続										
	(3) 便器			0										
	(4) 住戸内手摺	0												
	(5) 便所内手摺	0												
	(6) 既製品流し台・吊戸棚・コンロ台	0本体	0給電	0水栓 配管接続										
	(7) 同上排水トラップ	0												
	(8) 同上ガスコック				0									
	(9) ガスコック、排水、取付用ステンレス水切の穴あけ加工	0												
	(10) ペーパーホルダー			0										
	(11) 給湯器		0給電	0配管接続 排気筒	0本体 配管接続									
	(12) 給湯器リモコン用配管配線		0配管、入結線	0本体、配線										リモコンは機械-電気 工事に支給
	(13) 追い焚き機能													
12. ユニットバス	(1) ユニットバス本体	0												
	(2) 浴槽（蓋なし）	0												
	(3) ユニットバス内手摺	0												
	(4) ユニットバス内混合水栓及びシャワー金具	0												
	(5) ユニットバス内照明、給排水器具	0	0給電	0接続										
	(6) ユニットバス外設備			0排水接続										
	(7) 器具等取り付け用穴明け及び補強板取り付け	0												
13. その他	(1) 消火器	0 (B0X共)		0										
	(2) 設備配管用天井、壁及び床仕上材の穴あけ		0	0										
	(3) 畳	0												
	(4) ガス漏れ警報器		0 取付・給電		0本体									本体は広島ガス（株） より支給
	(5) クーラー用スリーブ（化粧カバー共）	0												
	(6) 給気ユニット	0												
	(7) エアコン用室内機壁掛け支持用アンカーボルト	0												
	(8) 物干金物	0												
	(9) 外部廻り植栽	0												
	(10) 外構等器具（花台、ベンチ）	0												
	(11) 内装パネル内の電気配管配線及びスイッチ・コンセントボックス	0ボタ 0配管	0取付 0配線											
14. 給水、電気、ガス 下水本管接続	(1) 給水引き込み工事			0										
	(2) 水道施設整備納付金、給水加入分担金						0							
	(3) 電力引き込み工事		0											
	(4) ガス管引き込み工事				0									本体は広島ガス（株） より支給
	(5) 電話引き込み工事		0											
	(6) 下水本管接続			0										
15. 既存建物他 解体	(1) 設備プラグ止め以降の建物内給排水衛生配管、屋外給排水衛生配管及び樹													
	(2) 設備プラグ止め以降の建物内ガス配管、屋外ガス配管													
	(3) 設備電気遮断後の建物内電気配線、屋外配線													
16. 工費用	(1) 工費用の水道料金及び電気料金	0	0	0	0									
	(2) 完了引き渡し後指定する日迄の水道・電気及びガス料金	0	0	0	0									
17. 引込み切替 (電気・給水)	(1) 電気引込み設備切替工事一式			0										舗装撤去復旧を含む
	(2) 給水引込み設備切替工事一式													
18. 受水槽設備	(1) 受水槽(チャンネルベース共)													
	(2) 受水槽・加圧ポンプ用コンクリート基礎													
	(3) 受水槽(電極棒)													
	(4) 受水槽(電極棒取り付け開口)													
19. 水道集中検針 設備	(1) 集中検針盤・端末伝送器													
	(2) 同上用端末伝送器		0給電	0H型 型 排水口										
	(3) 同上用配管・配線		0給電	0H型 型 配管接続										

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE	 さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn	市営新宮沖住宅建設工事（建築主体工事）			設計図	DATE	2022/9/20
		凡例									SCALE	JOB	20080
												No.	A

図面：A2（縮尺：A1→141%、A3→71%） 印刷日付 22' 12' 3



付近見取図



特記事項
 ・ ① は、建物の番号を示す。
 ・ < > 内の数値は、接地最低GL (設計GL-80) からの高さを示す。
 ・ □ 内の数値は設計G.L ±0からの計画高さを示す。

建物①②
 建物周辺の地盤高は、-80±0
 建物の高さは、不利側のGL-80からの高さとする。

建物④~⑮
 建物の高さは、各建物周辺の接地最低GLからの高さとする。
 トランクルーム：最高の高さ：2.085m、最高の軒高：2.030m
 駐輪場：最高の高さ：2.213m、最高の軒高：2.216m

【北側道路斜線の検討】
 前面道路 (道路幅員25.60m) の反対側の境界線からの距離が20m以上より支障なしとする。
【東側道路斜線の検討】 **【西側道路斜線の検討】**
 北側道路巾員を採用 (25.60m×2かつ35m以内の範囲に該当) より前面道路の反対側の境界線からの距離が20m以上より支障なしとする。

【隣地斜線の検討】
 建物後退距離13.64m×2×1.25=34.10 ≧ 24.40m → OK

設計GL=KBM+0.33 (FH=0.40)

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例



さくら建築設計株式会社

広島市東区牛田早福田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

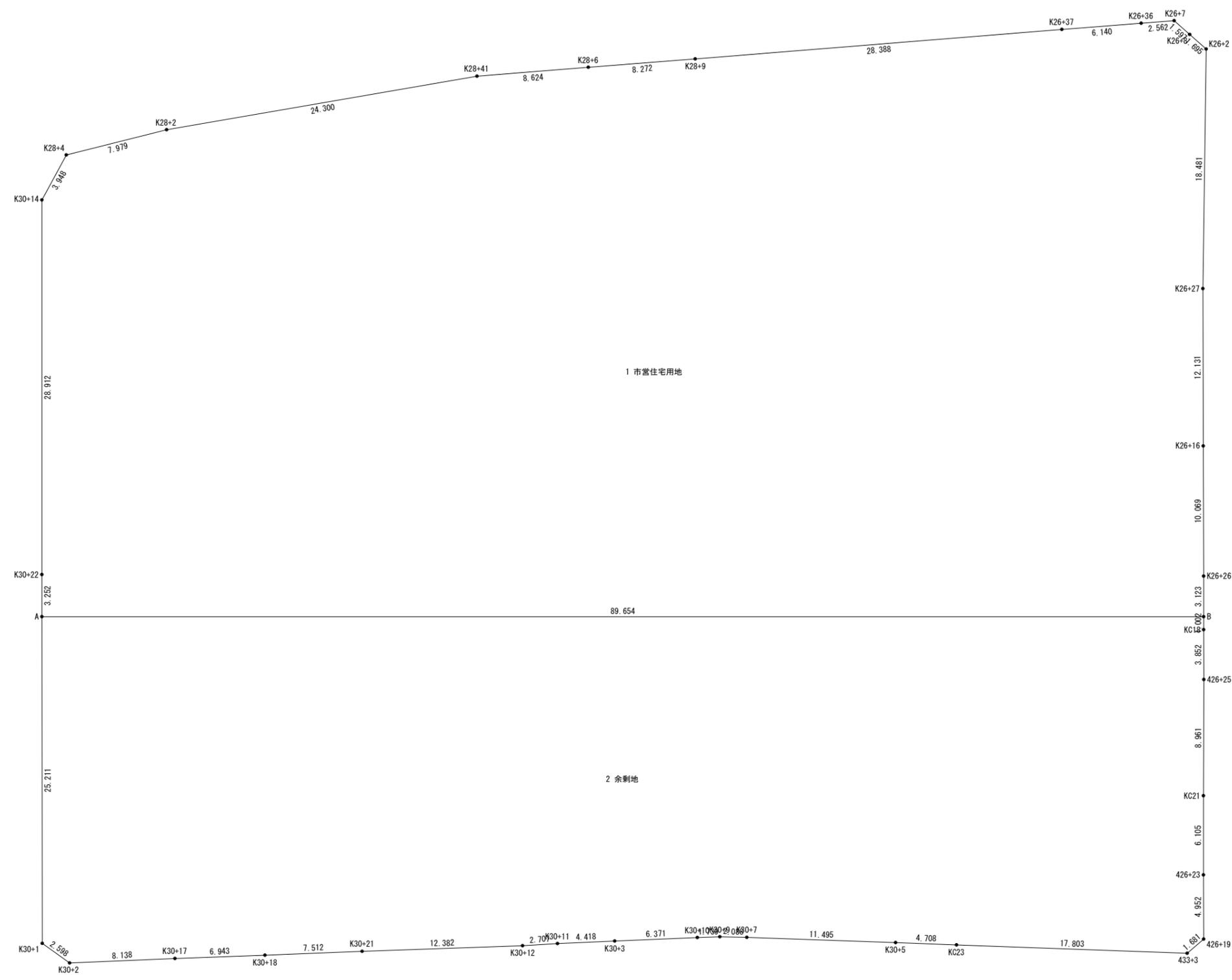
Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
付近見取図・配置図		SCALE	JOB	20080
1/300	No.	A	011	

図面：A 2 (縮尺：A 1→141%、A 3→71%)

印刷日付 '22' 12' 3



求積表

地番	1 市営住宅用地			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn · (Yn+1-Yn-1)
A	-177324.145	83314.131	-57.436	10184789.592220
K30+22	-177322.157	83311.557	-25.441	4511252.996237
K30+14	-177304.465	83288.690	-24.454	4335803.387110
K28+4	-177300.850	83287.103	1.601	-283858.660850
K28+2	-177293.536	83290.291	14.577	-2584407.874272
K28+41	-177272.070	83301.680	16.105	-2854966.687350
K28+6	-177264.850	83306.396	9.249	-1639522.597650
K28+9	-177257.931	83310.929	20.050	-3554021.516550
K26+37	-177234.159	83326.446	18.888	-3347598.795192
K26+36	-177229.027	83329.817	4.782	-847509.207114
K26+7	-177226.889	83331.228	2.981	-528313.356109
K26+8	-177226.599	83332.798	3.235	-573328.047765
K26+2	-177226.284	83334.463	16.126	-2857951.055784
K26+27	-177237.791	83348.924	24.073	-4266645.342743
K26+16	-177245.192	83358.536	17.596	-3118806.398432
K26+26	-177251.328	83366.520	10.457	-1853517.136896
B	-177253.236	83368.993	-52.389	9286119.780804
合計				7519.079664
合計面積				3759.5398320
地積				3759.53 m ²

地番	2 余剰地			
NO	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn · (Yn+1-Yn-1)
B	-177253.236	83368.993	55.655	-9865028.849580
KC18	-177253.848	83369.786	3.844	-681363.791712
426+25	-177256.200	83372.837	10.124	-1794541.768800
KC21	-177261.702	83379.910	11.899	-2109236.992098
426+23	-177265.441	83384.736	8.753	-1551604.405073
426+19	-177268.458	83388.663	4.012	-711201.053496
433+3	-177270.137	83388.748	-11.311	2005102.519607
KC23	-177283.814	83377.352	-14.410	2554659.759740
K30+5	-177287.431	83374.338	-10.374	1839179.809194
K30+7	-177296.261	83366.978	-8.665	1536272.101565
K30+9	-177297.891	83365.673	-2.329	412926.788139
K30+10	-177299.296	83364.649	-4.697	832774.793312
K30+3	-177304.502	83360.976	-6.222	1103188.611444
K30+11	-177308.110	83358.427	-4.074	722353.240140
K30+12	-177310.346	83356.902	-8.757	1552706.699922
K30+21	-177320.397	83349.670	-11.583	2053902.158451
K30+18	-177326.521	83345.319	-8.393	1488301.490753
K30+17	-177332.166	83341.277	-8.748	1551301.788168
K30+2	-177338.805	83336.571	-7.193	1275598.024365
K30+1	-177339.555	83334.084	-22.440	3979498.614200
A	-177324.145	83314.131	34.909	-6190208.577805
合計				4581.960436
合計面積				2290.9802180
地積				2290.98 m ²

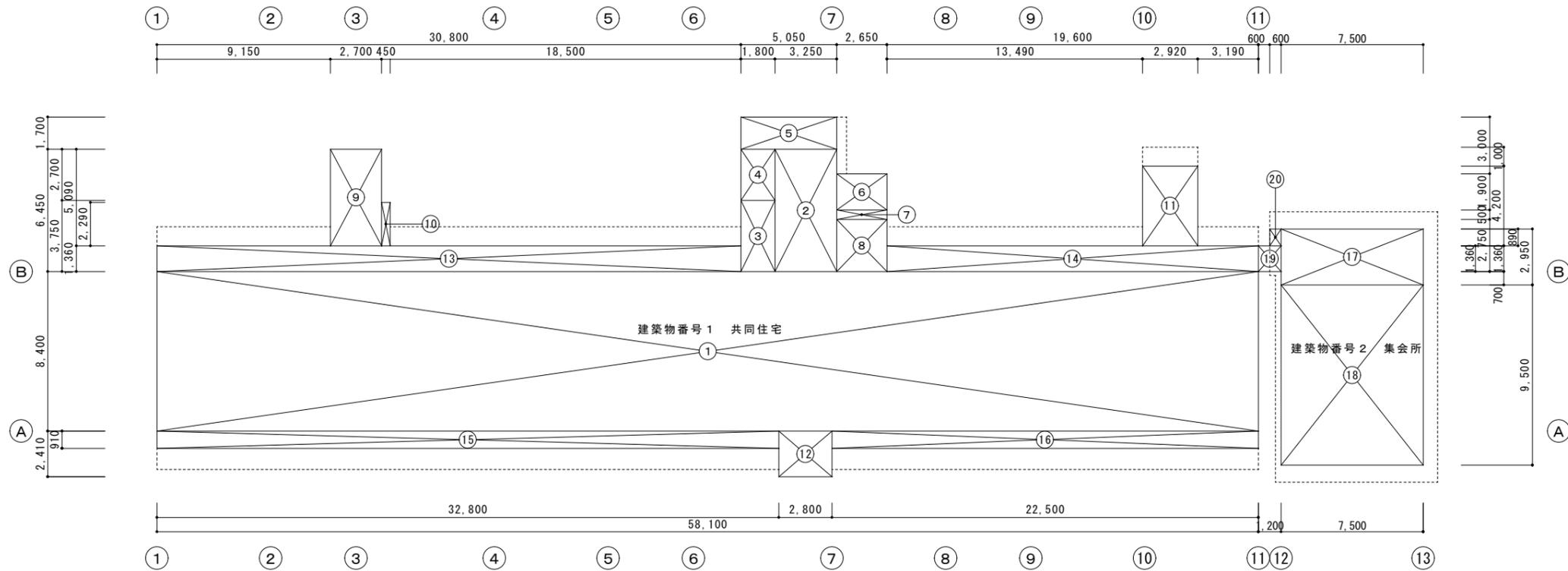
変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

SAKURA Architects Co., Ltd.	さくら建築設計株式会社
-----------------------------	-------------

広島市東区牛田早福田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)	設計図	DATE	2022/9/20
敷地面積求積図	SCALE	JOB	20080
	1/250	No.	A 012

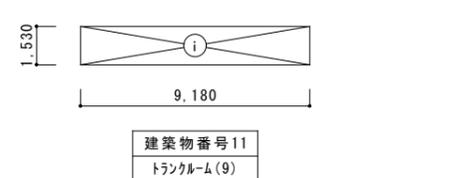
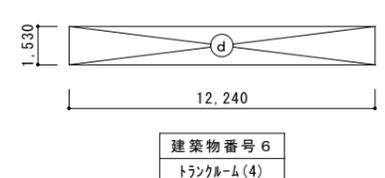
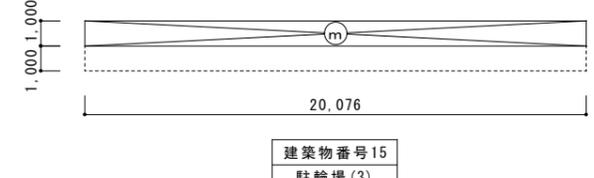
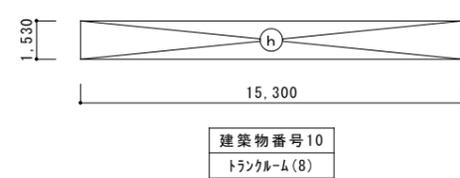
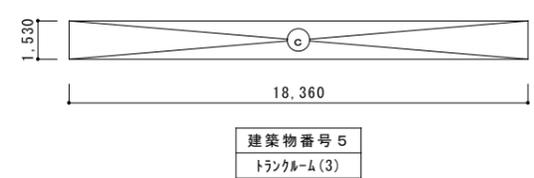
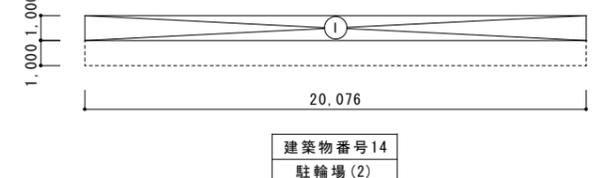
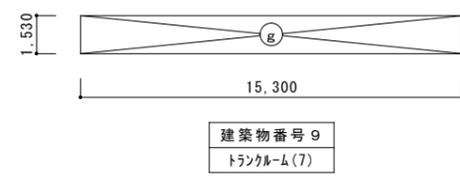
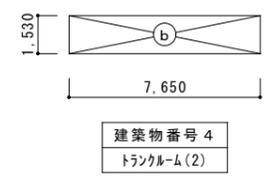
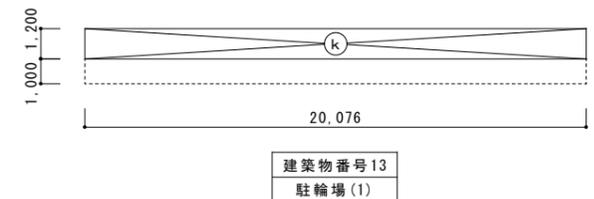
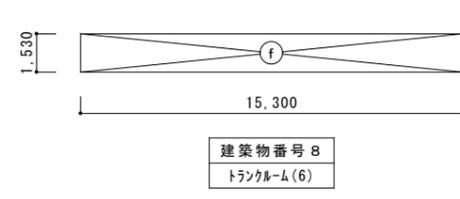
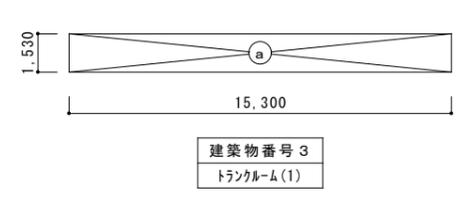


□ 建築物番号1 共同住宅

符号	横	縦	積 m ²
1	58.10	8.40	488.0400
2	3.25	6.45	20.9625
3	1.80	3.75	6.7500
4	1.80	2.70	4.8600
5	5.05	1.70	8.5850
6	2.65	1.90	5.0350
7	2.65	0.50	1.3250
8	2.65	2.75	7.2875
9	2.70	5.09	13.7430
10	0.45	2.29	1.0305
11	2.92	4.20	12.2640
12	2.80	2.41	6.7480
13	30.80	1.36	41.8880
14	19.60	1.36	26.6560
15	32.80	0.91	29.8480
16	22.50	0.91	20.4750
小計			695.49 0
合計			695.49

□ 建築物番号2 集会所

符号	横	縦	積 m ²
17	7.50	2.95	21.9750
18	7.50	9.50	71.2500
19	1.20	1.36	1.6320
20	0.60	0.89	0.5340
小計			95.54 0
合計			95.54



□ 建築物番号3 トランクルーム(1)

符号	横	縦	積 m ²
あ	15.30	1.53	23.4090
小計			23.40 0
合計			23.40

□ 建築物番号4 トランクルーム(2)

符号	横	縦	積 m ²
b	7.65	1.53	11.7045
小計			11.70 45
合計			11.70

□ 建築物番号10 トランクルーム(8)

符号	横	縦	積 m ²
h	15.30	1.53	23.4090
小計			23.40 90
合計			23.40

□ 建築物番号5 トランクルーム(3)

符号	横	縦	積 m ²
c	18.36	1.53	28.0908
小計			28.09 08
合計			28.09

□ 建築物番号11 トランクルーム(9)

符号	横	縦	積 m ²
i	9.18	1.53	14.0454
小計			14.04 54
合計			14.04

□ 建築物番号6 トランクルーム(4)

符号	横	縦	積 m ²
d	12.24	1.53	18.7272
小計			18.72 72
合計			18.72

□ 建築物番号12 トランクルーム(10)

符号	横	縦	積 m ²
j	6.12	1.53	9.3636
小計			9.36 36
合計			9.36

□ 建築物番号7 トランクルーム(5)

符号	横	縦	積 m ²
e	7.65	1.53	11.7045
小計			11.70 45
合計			11.70

□ 建築物番号13 駐輪場(1)

符号	横	縦	積 m ²
k	20.076	1.20	24.0912
小計			24.09 12
合計			24.09

□ 建築物番号8 トランクルーム(6)

符号	横	縦	積 m ²
f	15.30	1.53	23.4090
小計			23.40 90
合計			23.40

□ 建築物番号14 駐輪場(2)

符号	横	縦	積 m ²
l	20.076	1.00	20.0760
小計			20.07 60
合計			20.07

□ 建築物番号9 トランクルーム(7)

符号	横	縦	積 m ²
g	15.30	1.53	23.4090
小計			23.40 90
合計			23.40

□ 建築物番号15 駐輪場(3)

符号	横	縦	積 m ²
m	20.076	1.00	20.0760
小計			20.07 60
合計			20.07

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

設計者	DATE	2022/9/20
SCALE	JOB	20080
No.	A	013

さくら建築設計株式会社
SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早福田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

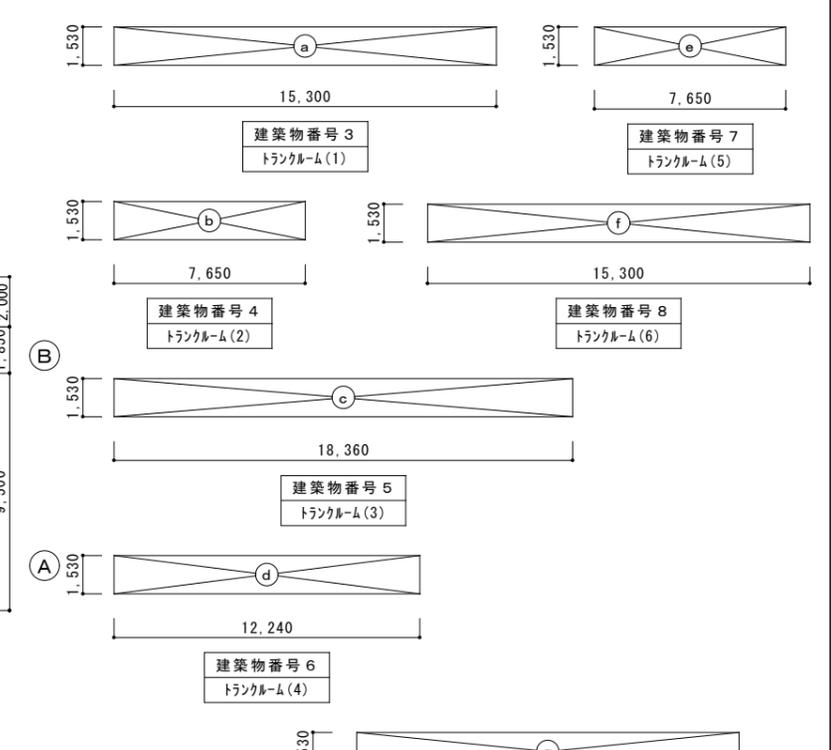
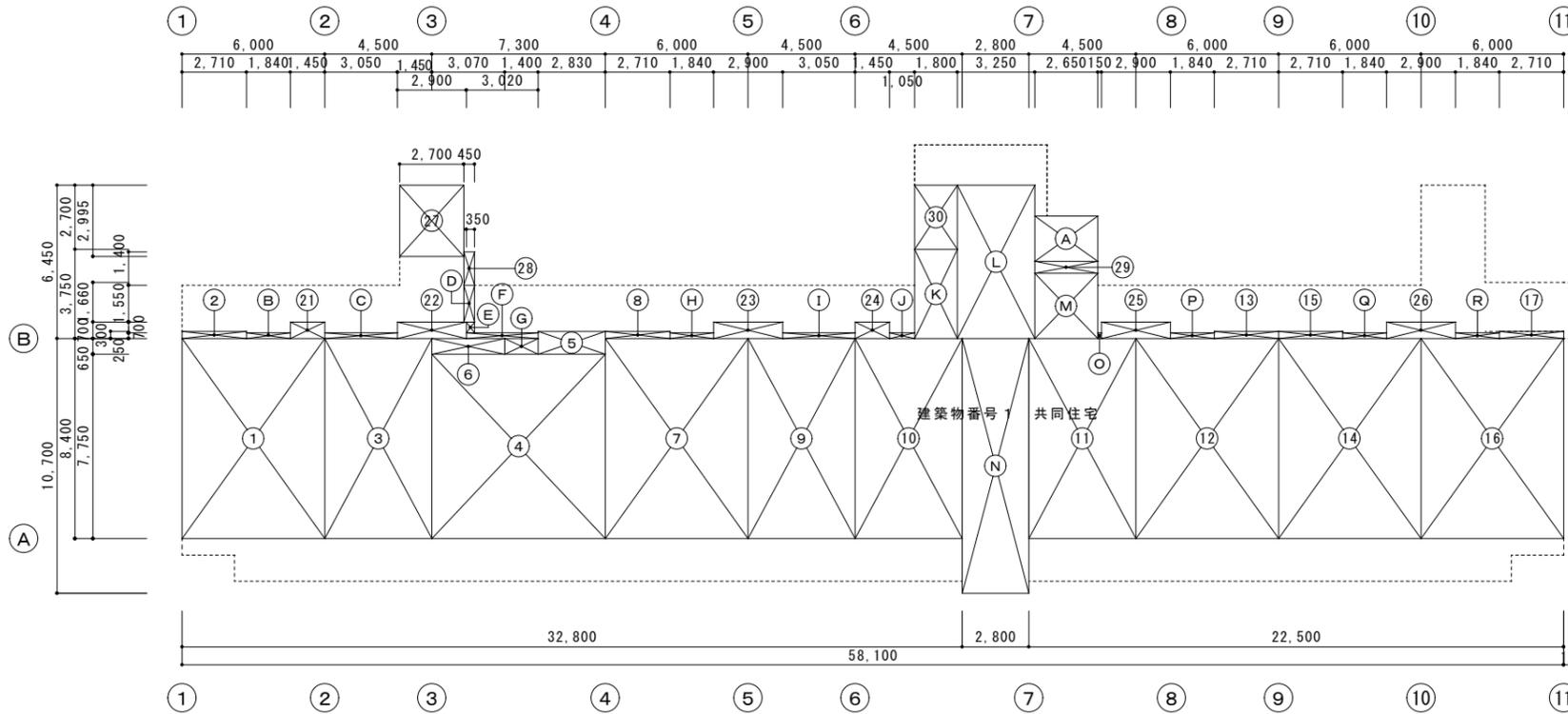
Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

設計図 No. A 013

図面: A2 (縮尺: A1→141%, A3→71%)

印刷日付 '22' 12' 3



容積対象床面積				容積対象外床面積			
符号	横	縦	積㎡	符号	横	縦	積㎡
住戸専有部				共用部			
1	6.00	8.40	50.4000	21	1.45	0.70	1.0150
2	2.71	0.30	0.8130	22	2.90	0.70	2.0300
3	4.50	8.40	37.8000	23	2.90	0.70	2.0300
4	7.30	7.75	56.5750	24	1.45	0.70	1.0150
5	2.83	0.95	2.6885	25	2.90	0.70	2.0300
6	3.07	0.65	1.9955	26	2.90	0.70	2.0300
7	6.00	8.40	50.4000	27	2.70	2.995	8.0865
8	2.71	0.30	0.8130	28	0.45	1.40	0.6300
9	4.50	8.40	37.8000	29	2.65	0.50	1.3250
10	4.50	8.40	37.8000	30	1.80	2.70	4.8600
11	4.50	8.40	37.8000				
12	6.00	8.40	50.4000				
13	2.71	0.30	0.8130				
14	6.00	8.40	50.4000				
15	2.71	0.30	0.8130				
16	6.00	8.40	50.4000				
17	2.71	0.30	0.8130				
小計			468.5240	小計			25.0515
小計			468.52	小計			25.05
小計			468.52	小計			25.05
合計			493.57	合計			76.63

□ 建築物番号4 トラックルーム(2)

符号	横	縦	積㎡
b	7.65	1.53	11.7045
小計			11.70

□ 建築物番号10 トラックルーム(8)

符号	横	縦	積㎡
h	15.30	1.53	23.4090
小計			23.40

□ 建築物番号5 トラックルーム(3)

符号	横	縦	積㎡
c	18.36	1.53	28.0908
小計			28.09

□ 建築物番号11 トラックルーム(9)

符号	横	縦	積㎡
i	9.18	1.53	14.0454
小計			14.04

□ 建築物番号6 トラックルーム(4)

符号	横	縦	積㎡
d	12.24	1.53	18.7272
小計			18.72

□ 建築物番号12 トラックルーム(10)

符号	横	縦	積㎡
j	6.12	1.53	9.3636
小計			9.36

□ 建築物番号7 トラックルーム(5)

符号	横	縦	積㎡
e	7.65	1.53	11.7045
小計			11.70

□ 建築物番号13 駐輪場(1)

符号	横	縦	積㎡
k	20.076	2.20	44.1672
小計			44.16

□ 建築物番号8 トラックルーム(6)

符号	横	縦	積㎡
f	15.30	1.53	23.4090
小計			23.40

□ 建築物番号14 駐輪場(2)

符号	横	縦	積㎡
l	20.076	2.00	40.1520
小計			40.15

□ 建築物番号2 集会所

符号	横	縦	積㎡
17	7.50	9.50	71.2500
18	7.50	1.85	13.8750
小計			85.1250
合計			85.12

□ 建築物番号3 トラックルーム(1)

符号	横	縦	積㎡
a	15.30	1.53	23.4090
小計			23.40

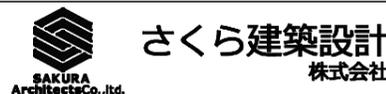
□ 建築物番号9 トラックルーム(7)

符号	横	縦	積㎡
g	15.30	1.53	23.4090
小計			23.40

□ 建築物番号15 駐輪場(3)

符号	横	縦	積㎡
m	20.076	2.00	40.1520
小計			40.15

変更日... 変更事項(△変更マーク 月 / 日) NOTE 凡例

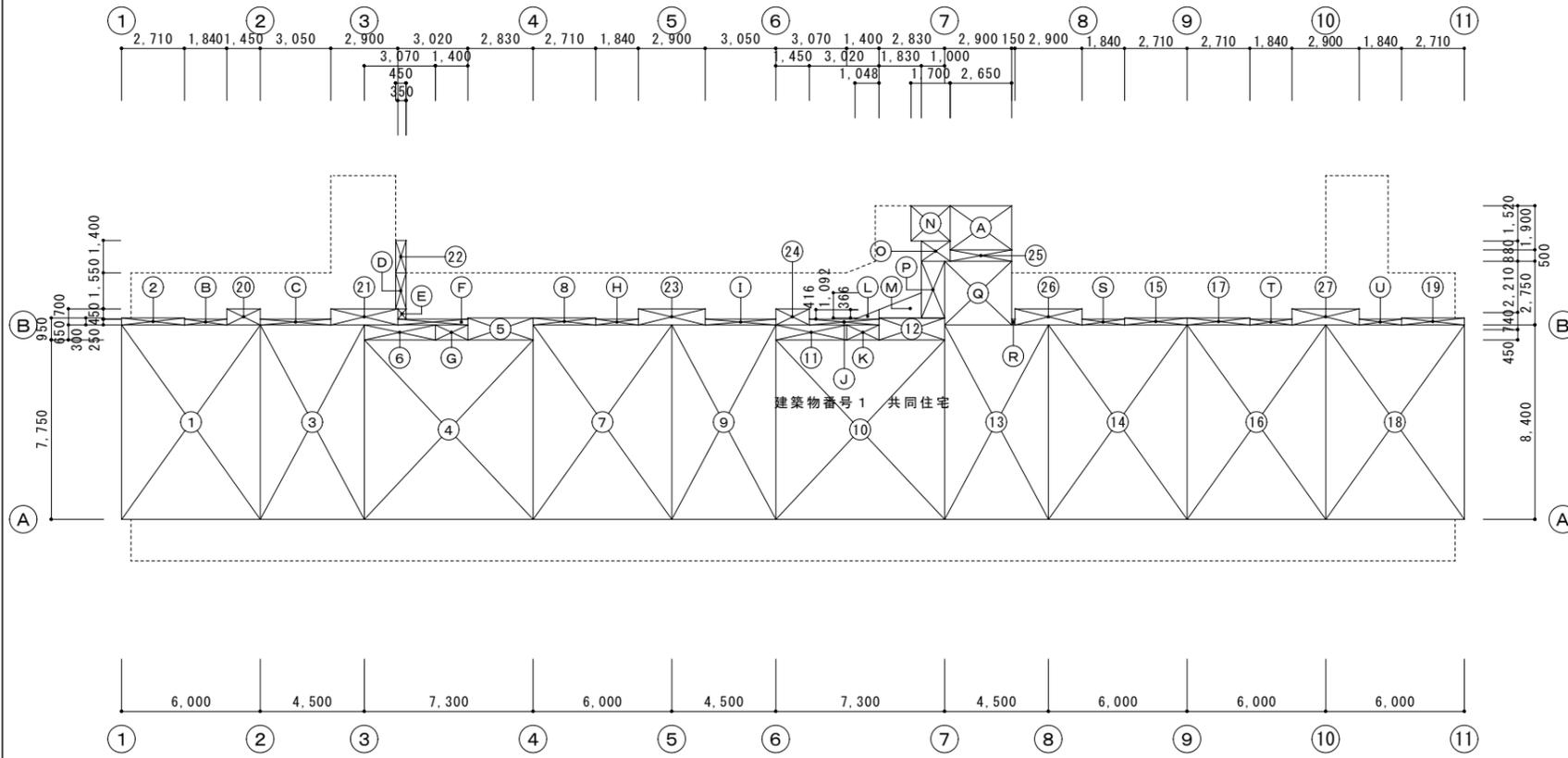


広島市東区牛田早福田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行

Drawn

市新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事) 設計図 DATE 2022/9/20
SCALE 20080
基準法面積表 (2) No. A 014
1/150



□ 建築物番号 1

容積対象床面積				容積対象外床面積			
符号	横	縦	積 m ²	符号	横	縦	積 m ²
住戸専有部				共用部			
1	6.00	8.40	50.4000	20	1.45	0.70	1.0150
2	2.71	0.30	0.8130	21	2.90	0.70	2.0300
3	4.50	8.40	37.8000	22	0.45	1.40	0.6300
4	7.30	7.75	56.5750	23	2.90	0.70	2.0300
5	2.83	0.95	2.6885	24	1.45	0.70	1.0150
6	3.07	0.65	1.9955	25	2.65	0.50	1.3250
7	6.00	8.40	50.4000	26	2.90	0.70	2.0300
8	2.71	0.30	0.8130	27	2.90	0.70	2.0300
9	4.50	8.40	37.8000				
10	7.30	7.75	56.5750				
11	3.07	0.65	1.9955				
12	2.83	0.95	2.6885				
13	4.50	8.40	37.8000				
14	6.00	8.40	50.4000				
15	2.71	0.30	0.8130				
16	6.00	8.40	50.4000				
17	2.71	0.30	0.8130				
18	6.00	8.40	50.4000				
19	2.71	0.30	0.8130				
小計	491.98			小計	12.10		
小計	491.98			小計	12.10		
合計				504.08			

階別床面積表・集計

□ 建築物番号 1

(単位 m²)

階数	容積対象面積 (A)			容積対象外面積 (B)			A + B
	住戸専有部	共用部	小計	エレベーターの昇降路の部分	共用の廊下等の部分	宅配ボックスの設置部分	
8階	491.98	12.10	504.08	5.03	23.70	28.73	532.81
7階	491.98	12.10	504.08	5.03	23.70	28.73	532.81
6階	491.98	12.10	504.08	5.03	23.70	28.73	532.81
5階	491.98	12.10	504.08	5.03	23.70	28.73	532.81
4階	491.98	12.10	504.08	5.03	23.70	28.73	532.81
3階	491.98	12.10	504.08	5.03	23.70	28.73	532.81
2階	491.98	12.10	504.08	5.03	23.70	28.73	532.81
1階	468.52	25.05	493.57	5.03	71.60	76.63	570.20
合計	3,912.38	109.75	4,022.13	40.24	237.50	277.74	4,299.87

□ 集計

(単位 m²)

建築物番号	場所	容積対象面積 (A)	容積対象外面積 (B)			小計	駐車場等 (C)			A + B + C	建築面積
			エレベーターの昇降路の部分	共用の廊下等の部分	宅配ボックスの設置部分		駐車場	駐輪場	小計		
建築物番号 1	共同住宅	4,022.13	40.24	237.50	277.74				4,299.87	695.49	
建築物番号 2	集会所	71.25		13.87	13.87				85.12	95.54	
建築物番号 3	トランクルーム (1) 棟	23.40							23.40	23.40	
建築物番号 4	トランクルーム (2) 棟	11.70							11.70	11.70	
建築物番号 5	トランクルーム (3) 棟	28.09							28.09	28.09	
建築物番号 6	トランクルーム (4) 棟	18.72							18.72	18.72	
建築物番号 7	トランクルーム (5) 棟	11.70							11.70	11.70	
建築物番号 8	トランクルーム (6) 棟	23.40							23.40	23.40	
建築物番号 9	トランクルーム (7) 棟	23.40							23.40	23.40	
建築物番号 10	トランクルーム (8) 棟	23.40							23.40	23.40	
建築物番号 11	トランクルーム (9) 棟	14.04							14.04	14.04	
建築物番号 12	トランクルーム (10) 棟	9.36							9.36	9.36	
建築物番号 13	駐輪場 (1) 棟						44.16	44.16	44.16	24.09	
建築物番号 14	駐輪場 (2) 棟						40.15	40.15	40.15	20.07	
建築物番号 15	駐輪場 (3) 棟						40.15	40.15	40.15	20.07	
合計		4,280.59	40.24	251.37	291.61	—	124.46	124.46	4,696.66	1,042.47	

〔基準法上の床面積〕

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例



さくら建築設計 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

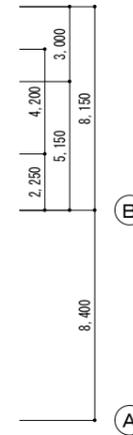
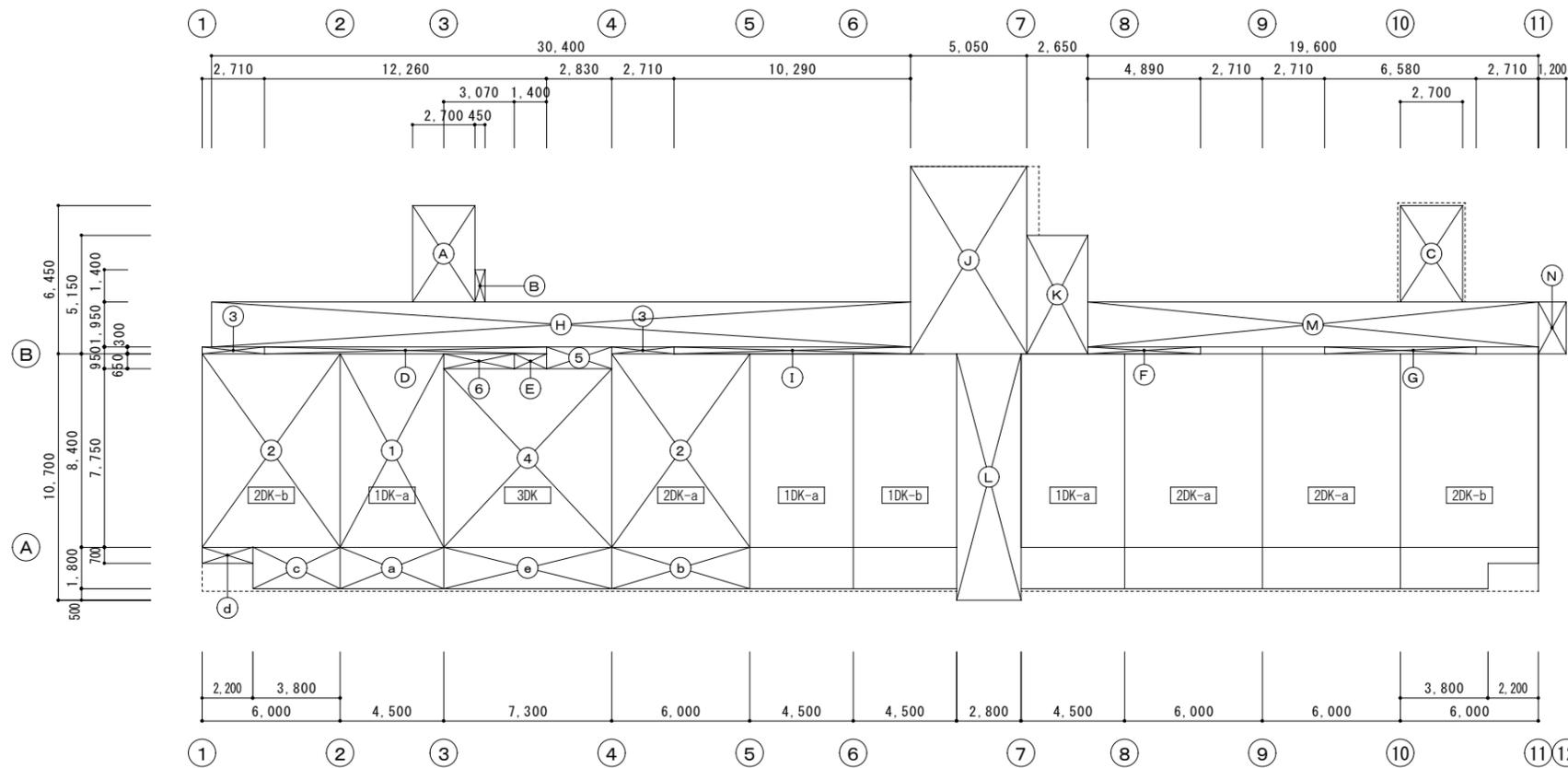
Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

基準法面積表 (3)

設計図 DATE 2022/9/20
SCALE JOB 20080
No. A 015



□ 全体共用面積

$$219.39 + 165.95 \times 7 = 1381.04 \text{ m}^2$$

□ 1DK-a（戸当たり共用面積）

$$1,381.04 \times 37.80 \div 3,912.15 = 13.34 \text{ m}^2$$

□ 1DK-b（戸当たり共用面積）

$$1,381.04 \times 37.80 \div 3,912.15 = 13.34 \text{ m}^2$$

□ 2DK-a（戸当たり共用面積）

$$1,381.04 \times 51.21 \div 3,912.15 = 18.08 \text{ m}^2$$

□ 2DK-b（戸当たり共用面積）

$$1,381.04 \times 51.21 \div 3,912.15 = 18.08 \text{ m}^2$$

□ 2DK-c（戸当たり共用面積）

$$1,381.04 \times 51.21 \div 3,912.15 = 18.08 \text{ m}^2$$

□ 3DK（戸当たり共用面積）

$$1,381.04 \times 61.25 \div 3,912.15 = 21.62 \text{ m}^2$$

□ タイプ別公営住宅法床面積

専用	37.80
バルコニー	2.70
共用	13.34
計	53.84 m ²

□ 1DK-a戸当り公営住宅法床面積

専用	37.80
バルコニー	2.70
共用	13.34
計	53.84 m ²

□ 1DK-b戸当り公営住宅法床面積

専用	37.80
バルコニー	2.70
共用	13.34
計	53.84 m ²

□ 2DK-a戸当り公営住宅法床面積

専用	51.21
バルコニー	3.60
共用	18.08
計	72.89 m ²

□ 2DK-b戸当り公営住宅法床面積

専用	51.21
バルコニー	2.79
共用	18.08
計	72.08 m ²

□ 2DK-c戸当り公営住宅法床面積

専用	51.21
バルコニー	3.36
共用	18.08
計	72.65 m ²

□ 3DK戸当り公営住宅法床面積

専用	61.25
バルコニー	4.38
共用	21.62
計	87.25 m ²

□ 公営住宅法床面積

	床面積	戸数	積 m ²
1DK-a	53.84	24	1,292.16
1DK-b	53.84	1	53.84
2DK-a	72.89	24	1,749.36
2DK-b	72.08	2	144.16
2DK-c	72.65	14	1,017.10
3DK	87.25	15	1,308.75
公営住宅法延べ床面積			5,565.37
戸当り標準床面積			
			5,565.37 ÷ 80 = 69.57 m ²

□ 共用部面積（1階）

符号	横	縦	積 m ²
A	2.70	4.20	11.3400
B	0.45	1.40	0.6300
C	2.70	4.20	11.3400
D	12.26	0.30	3.6780
E	1.40	0.65	0.9100
F	4.89	0.30	1.4670
G	6.58	0.30	1.9740
H	30.40	1.95	59.2800
I	10.29	0.30	3.0870
J	5.05	8.15	41.1575
K	2.65	5.15	13.6475
L	2.80	10.70	29.9600
M	19.60	1.95	38.2200
N	1.20	2.25	2.7000
計			219.39 m ²

□ 1DK-a（戸当たり）

符号	横	縦	積 m ²
1	4.50	8.40	37.8000
住戸専用面積			37.80
a	4.50	1.80	8.1000
ハコニ-面積（1/3）			2.70

□ 1DK-b（戸当たり）

符号	横	縦	積 m ²
1	4.50	8.40	37.8000
住戸専用面積			37.80
a	4.50	1.80	8.1000
ハコニ-面積（1/3）			2.70

□ 2DK-a（戸当たり）

符号	横	縦	積 m ²
2	6.00	8.40	50.4000
3	2.71	0.30	0.8130
小計			51.2130
住戸専用面積			51.21
b	6.00	1.80	10.8000
ハコニ-面積（1/3）			3.60

□ 2DK-b（戸当たり）

符号	横	縦	積 m ²
2	6.00	8.40	50.4000
3	2.71	0.30	0.8130
小計			51.2130
住戸専用面積			51.21
c	3.80	1.80	6.8400
d	2.20	0.70	1.5400
小計			8.3800
ハコニ-面積（1/3）			2.79

□ 2DK-c（戸当たり）

符号	横	縦	積 m ²
2	6.00	8.40	50.4000
3	2.71	0.30	0.8130
小計			51.2130
住戸専用面積			51.21
e	5.60	1.80	10.0800
ハコニ-面積（1/3）			3.36

□ 3DK（戸当たり）

符号	横	縦	積 m ²
4	7.30	7.75	56.5750
5	2.83	0.95	2.6885
6	3.07	0.65	1.9955
小計			61.2590
住戸専用面積			61.25
e	7.30	1.80	13.1400
ハコニ-面積（1/3）			4.38

□ 全体住戸専用面積

	専用面積	戸数	積 m ²
1DK-a	37.80	24	907.20
1DK-b	37.80	1	37.80
2DK-a	51.21	24	1,229.04
2DK-b	51.21	2	102.42
2DK-c	51.21	14	716.94
3DK	61.25	15	918.75
住戸専用面積 計			3,912.15 m ²

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

設計者	DATE	2022/9/20
SCALE	JOB	20080
No.	A	016

さくら建築設計 株式会社

SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

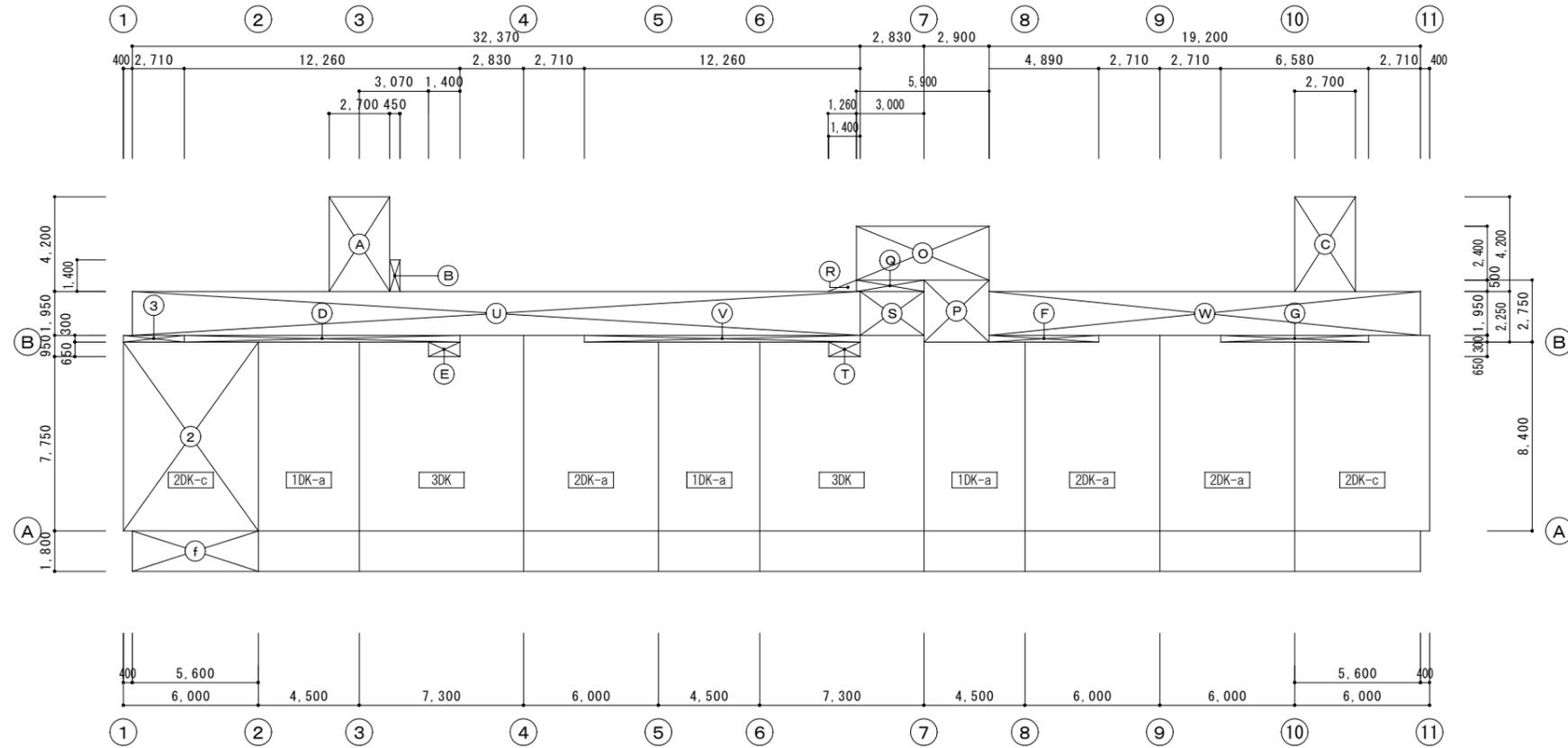
Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住居建設工事（建築主体工事）

設計図 No. A 016

図面：A2（縮尺：A1→141%、A3→71%） 印刷日付：22' 12' 3



□ 共用部面積（2～8階）

A	2.70	4.20	11.3400
B	0.45	1.40	0.6300
C	2.70	4.20	11.3400
D	12.26	0.30	3.6780
E	1.40	0.65	0.9100
F	4.89	0.30	1.4670
G	6.58	0.30	1.9740
O	5.90	2.40	14.1600
P	2.90	2.75	7.9750
Q	3.00	0.50	1.5000
R	1.26 × 0.50 × 1/2		0.3150
S	2.83	1.95	5.5185
T	1.40	0.65	0.9100
U	32.37	1.95	63.1215
V	12.26	0.30	3.6780
W	19.20	1.95	37.4400
小小計			165.9570
小計			165.95



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			



さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事（建築主体工事）		設計図	DATE	2022/9/20
公営住宅法面積表（2）		SCALE	JOB	20080
		1/150	No.	A 017

凡例・大臣認定				大臣認定凡例			
略号	表示事項	略号	表示事項	防火性能（同等品とする）		防火設備認定	
C	コンクリート	GB-R	せっこうボード	9.5t	QM-9828	防耐火構造認定	
M	モルタル			12.5t, 15t, 16t, 18t, 21t, 25t	NM-8619	## ※※※ ※※※※	
Cコテ	コンクリート金ゴテ押え	GB-S	シーリングせっこうボード	9.5t	QM-9826	構造種別時間部位通算番号	
Mコテ	モルタル金ゴテ押え			12.5t, 15t, 16t, 18t, 21t, 25t	NM-9639	構造種別	
S	鉄骨（一般形鋼・軽量形鋼）	GB-F	強化せっこうボード	12.5t, 15t, 16t, 18t, 21t, 25t	NM-8615	部位	
W	木	GB-D	化粧せっこうボード	9.5t	NM-1864	FP：耐火構造 BE：耐力壁 外壁	
SL	セルフレベリング材	GB-L	せっこうラスボード	7t+せっこうブラスター8t	NM-8617	QF：準耐火構造 BP：耐力壁 間仕切壁	
AS	アスファルト	GB-NC	不燃積層せっこうボード	9.5t	NM-0441	PC：防火構造 NE：非耐力壁 外壁	
LGS	軽量鉄骨	GB-R-H	普通硬質せっこうボード			QP：準防火構造 NP：非耐力壁 間仕切壁	
TB	テラゾブロック	GB-St-A	構造用せっこうボードA種	9.5t, 12.5t	NM-8615	CN：柱	
CB	コンクリートブロック	GB-St-B	構造用せっこうボードB種	12.5t, 15t, 16t, 18t, 21t, 25t	NM-8615	FL：床	
ALC	軽量気泡コンクリートパネル	GB-R-Hc	吸放湿せっこうボード			BM：梁	
ECP	押出成形セメント版	GB-S-Hc	吸放湿せっこうボード			RF：屋根	
PC	プレキャストコンクリートパネル	GB-P	吸音用あなあきせっこうボード	9.5t	QM-9827	RS：軒裏	
GL工法	GLボンド貼工法	<繊維強化セメント板>				ST：階段	
		SC	小波スレート		NM-8576	PR：庇	
塗装略号		LC	大波スレート		NM-8576	防火材料認定	
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	F	フレキシブル板		NM-8576	## ※※※※	
CL	クリアラッカー塗り	ACP	あなあきスレートボード		NM-8576	材料種別 通算番号	
NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り		化粧繊維強化セメント板		NM-8577	飛火認定	
DP	耐候性塗料塗り	0.8FK/1.0FK	繊維混入けい酸カルシウム板		NM-8578	## ※※※※	
DP-1	常温乾燥形ふっ素樹脂珪矽塗り（DP1級）	化粧FK	化粧繊維混入けい酸カルシウム板		NM-8579	材料種別 通算番号	
DP-2	アクリルシリコン樹脂珪矽塗り（DP2級）	HW	硬質木毛セメント板		QM-9701	ホルムアルデヒド発散建築材料認定	
DP-3	2液形ポリウレタンエナメル塗り（DP3級）	NW	普通木毛セメント板		QM-9701	MF # ※※※※	
EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り		木毛パーライトセメント板		QM-9702	材料種別	
EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	HF	硬質木片セメント板（センチュリーボード）		NM-0234~0238	DR：防火地域又は準防火地域における屋根	
EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り	NF	普通木片セメント板		QM-9705	DW：防火地域又は準防火地域における屋根	
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	DR	ロックウール化粧吸音板（岩綿吸音板）		NM-8599	(不燃性の物品を保管する倉庫等)	
OS	オイルステイン塗り	RW-B	ロックウール吸音ボード（裸品）			UR：法22条地域における屋根	
WP	木材保護塗料塗り	GW-B	グラスウール吸音ボード（裸品）			UW：法22条地域における屋根	
NP	自然塗料塗り（一回塗り）	GW	グラスウール			(不燃性の物品を保管する倉庫等)	
			メラミン不燃化粧板（アイカ：セラール同等品）			CC：柱の防火被覆	
FE	フタル酸樹脂エナメル塗り		コンクリート/れんが/瓦/陶磁器質タイル/石綿スレート/鉄鋼/アルミニウム			法第30条	
AE	アクリル樹脂エナメル塗り		金属板/ガラス/モルタル/しっくい/石/ロックウール/グラスウール			不燃告示第1400号	
BE	焼付塗装	<薄付け仕上塗材>				遮音構造認定	
			内装薄塗材C	内装セメント系薄付け仕上塗材		SOI ※※※※	
			外装薄塗材Si	外装けい酸質系薄付け仕上塗材		通算番号	
床略号	表示事項		内装薄塗材Si	内装けい酸質系薄付け仕上塗材		法第30条	
HT	ホモジニアスピニル床タイル		外装薄塗材E	外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材		軸組壁倍率認定	
FT	複層ビニル床タイル		内装薄塗材E	内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材		FRM ※※※※	
KT	コンポジションビニル床タイル		内装薄塗材L	内装消石灰・ドロマイトブラスター系薄付け仕上塗材		通算番号	
FOA	置敷きビニル床タイル		外装薄塗材S	外装合成樹脂溶液系薄付け仕上塗材		令第46条第4項表1(八)	
RT	ゴム床タイル		内装薄塗材W	内装水溶性樹脂系薄付け仕上塗材			
			<厚付け仕上塗材>				
			外装厚塗材C	外装セメント系厚付け仕上塗材			
			内装厚塗材C	内装セメント系厚付け仕上塗材			
			外装厚塗材Si	外装けい酸質系厚付け仕上塗材			
			内装厚塗材Si	内装けい酸質系厚付け仕上塗材			
			外装厚塗材E	外装合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材			
			内装厚塗材E	内装合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材			
			内装厚塗材L	内装消石灰・ドロマイトブラスター系厚付け仕上塗材			
			外装厚塗材C	内装せっこう系厚付け仕上塗材			
			<軽量骨材仕上塗材>				
			吹付用軽量塗材	吹付用軽量骨材仕上塗材			
			こて塗用軽量塗材	こて塗用軽量骨材仕上塗材			
			<複層仕上塗材>				
			複層塗材Si	けい酸質系複層仕上塗材			
			複層塗材CE	ポリマーセメント系複層仕上塗材			
			複層塗材E	合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材			
			複層塗材RE	反応硬化形成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材			
			複層塗材RS	合成樹脂溶液系複層仕上塗材			
			マスチックA	マスチック塗材塗りA			
			マスチックC	マスチック塗材塗りB			
				※指定建築材料ごとに国土交通大臣の指定する日本工業規格又は日本農林規格に適合するものを使用する。			
				シーリング凡例			
				SR-1 シリコーン系		幅 W, w	
				SR-2 シリコーン系		長さ L, l	
				MS-2 変成シリコーン系		高さ H, h	
				PU-2 ポリウレタン系		直径 d, φ, D	
				PS-2 ポリサルファイド系		半径 R, r	
				・被着体の組合わせと使用材		縮尺 S	
				金属と金属		SR-2 センターライン CL	
				金属とコンクリート		MS-2 間隔 @	
				金属とガラス		SR-1 厚さ OOt	
				金属と石又はタイル		MS-2 スチール St	
				金属とALC（仕上げあり）		PU-2 アルミ AL	
				金属とECP		MS-2 ステンレス304 SUS	
				ガラスとガラス		SR-1 真鍮 BR	
				コンクリートとコンクリート		PS-2 プレート PL, P	
				（打ち継ぎ・ひび割れ誘発目地）（仕上げなし）		PU-2 フラットパー FB	
				コンクリートとコンクリート		PU-2 ベンチマーク BM	
				（打ち継ぎ・ひび割れ誘発目地）（仕上げあり）		基準地盤面 設計GL	
				コンクリートとECP（仕上げあり）		PU-2 基準床面 FL	
						当該地盤面 当該GL	

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE	 さくら建築設計株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21(1)第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn	市営新宮沖住宅建設工事（建築主体工事）		設計図	DATE	2022/9/20
		凡例						SCALE	JOB	20080	
							凡例 1	No.	A	018	

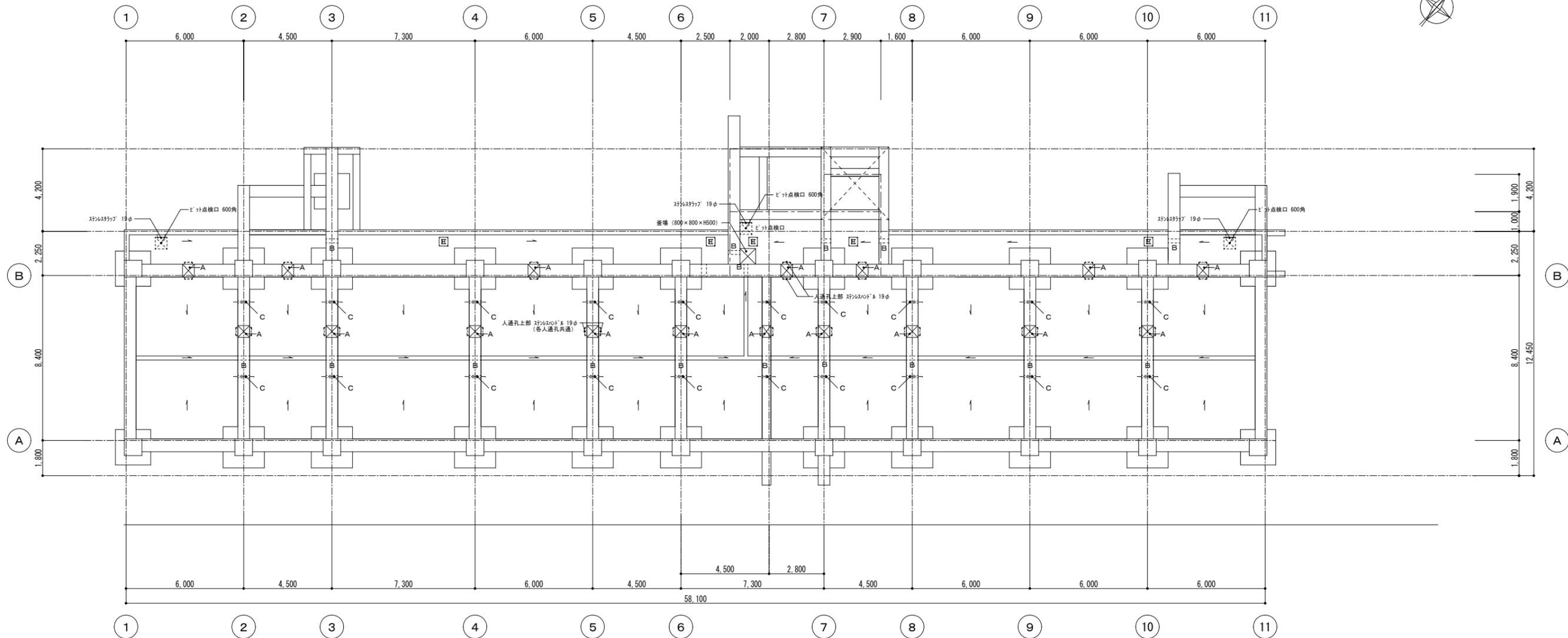
断熱材・配管	最上階屋根	A種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号JIS A9511-2006R (t=50 熱伝導率0.023W/mk以下)			特記事項	1、「建築材料の品質」は法第37条に基づいた材料を使用すること。	21、 外部に面する給排気口およびクーラースリーブ等は、全てコーキングを施すこと。
	外壁	硬質ウレタンフォームA種1H JIS A 9526 (t=30 現場吹付工法 熱伝導率0.026W/mk以下)				2、 結露防止 放散基準規制対象の塗料・接着剤・建材はF☆☆☆☆等級のものとする。	22、 住戸PS内の排水堅管および集合管は、GW24K巻きの上、遮音シート(面密度3.8kg/m3以上、セメント系珪藻土S10同等)巻きとする。
	1階スラブ下(住戸)	A種押出法ポリスチレンフォーム3種b JIS A9511 (t=50 外断熱 熱伝導率0.028W/mk以下)				3、 化学物質の濃度測定対象室は、内部仕上げ表 室名欄に○印記載室とする。	23、 壁面に使用する石こうボード(防水共)のうち、塗装仕上げとなる部分は、突き付けV目地処理工法とする。
		グラスウール吸音(ロール)厚100 24kg/m3				4、 C打放は特記なき限り、コンクリート打放し(B種)とする。	24、 (ジョイントはV目地とし、目地底をコーキ打ちにて隙間を渡した上で塗装を行うこと。)
	VP	硬質ポリ塩化ビニル管	RD	ルーフトレン(鋳鉄製)		5、 また、増打は厚20とし外部出隅は特記なき限り20×20の面取りとする。	木軸部にエアコン取付ボルトを取り付ける場合は、下地補強(珪藻土合板t12張り)を行う。
	VU	硬質塩化ビニル管(薄肉管)	CD	コーナードレン(鋳鉄製)		一般鉄部錆止めは、屋外・屋内はA種(JIS K5674)とし、工場・現場各1回塗りとする。	25、「同等」「同等品」は「同等品以上」と読み替える。
	SGP	配管用炭素鋼鋼管	MD	中継ドレン(鋳鉄製)		6、 ステンレスは特記なき限り ヘアライン仕上とする。	26、 開口部より500mm以内の堅樋、または堅樋より500mm以内に給排気口がある場合は、その堅樋を銅管φ90 SOP塗装とする。
			OF	SUS製 オーバーフロー管 50φ		7、 特記なき限り化粧ケイカル板は目透かし貼り 目地シーリング打ちとする。	27、 (クーラースリーブは除く)
			目皿	黄銅製 排水目皿 65φ		8、 仕上げボードは9尺版を使用すること。	カーテン等は、防災検定品とする。
						9、 図中のメーカー記載は同等品以上とする。	28、 特記なき限り、共用部分の壁および天井の内装仕上げ(吹付タイルの吹付材)は準不燃以上とする。
その他の符号	可間仕	可動間仕切り壁	カ	カーテン	10、 住戸間防火区画の水平距離は、900以上確保すること	29、 カーテン等は、防災検定品とする。	
	移間仕	移動間仕切り壁	レ	カーテンレール	11、 PS、MB部分は、水平区画とする(スラブ打設)	30、 各住戸の自火報知器の無い納戸等は4㎡未満である。	
	OA	フリーアクセスフロア	吊レ	吊カーテンレール	12、 コンロ部分の換気用ダクトは、スチールスパイラル150φ+断熱材 t=50 亀甲金網巻とする		
	CB	カーテンボックス	OHP	スクリーン	13、 台所の吊戸棚の下面は、不燃材で仕上げる。フードに接する部分は全て厚さ3mm以上の不燃材料を貼ること。		
	VB	ブラインドボックス	消	消火器	14、 ガス台上方は、800以上の消火空間を確保する		
	横ブ	ブラインド(横型)	屋内消	屋内消火栓	15、 コンロ側方150mm以内は、不燃材料(15mm以上)で、下地石膏ボード12.5mm+化粧ケイカル6mmとする。	使用材料	
	縦ブ	ブラインド(縦型)		仕上げ見切りを示す。	16、 防火ダンパーの取り付け付近には、点検口450角(アルミ製)を設置する事	超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水	エバーコートSP-100同等品(ダイフレックス)
					17、 バルコニー・共用廊下の開放有効寸法は、1,100以上天井高の1/2以上とし、手摺のスリット幅は100以下、手摺の高さは、1,100以上1,200以下とし 又、開放廊下の有効幅員は1200以上とする	カーآمد製縦格子手摺	三協立山(株)三協7mm社 61型 1段タイプ・手摺子同等品以上
					18、 各住戸和室の畳は敷き込み番号図(A4版用紙記入の上ラミネート処理)を作成のこと。	木目調7mm製縦格子	三協立山(株)三協7mm社 シェードGR 手摺子20×40@60同等品以上
					19、 ビニルシートの施工は、特記なき限り全て耐水工法とする。	アルミ製木目調ルーバー(エンラス)	三協立山(株)三協7mm社 ターンスクリーン スリムタイプ グレインクリス 100×20@80 2色ミックス同等品以上
				20、 特記なき限り、木製建具枠・建具棚板額縁および木製見え掛かり部はSOP塗装とする。			

外部仕上表			
屋上	超速硬化ウレタンゴム系塗膜防水X-1(密着工法)シルバー仕上	バルコニー	床:コンクリート金こて押え、角型フロアドレン 75φ
	立上り、パラベット天端:ウレタンゴム系塗膜防水X-2(密着工法)シルバー仕上		(1、2階)手摺 天端、内壁:コンクリート打放し補修の上、複層塗材ローラー塗(アクリル系)、(一部コンクリート手摺の外側に木目調7mm製縦格子取付(持ち出しタイプW1000))
	RD 鋳鉄製75φ、オーバーフロー管SUS40φ		2階一部手摺上部:侵入防止用縦格子
	防水型点検用ハッチ 600角(オールステンレス製南京錠付、R階天井部に点検口、SUSタラップ(内部4段、外部2段))		(3~8階)手摺:カーآمد製縦格子手摺(一部カーآمد製縦格子手摺の外側に木目調7mm製縦格子取付(持ち出しタイプW1000))
	堅樋:カラーVP75φ(SUS既製品 掘み金物@1200)		壁:コンクリート打放し補修の上、複層塗材Eフ吹付(アクリル系)
2階屋根	ウレタンゴム系塗膜防水X-1(密着工法)	エントランス(北側)	天井:コンクリート打放し補修の上、外装薄塗材Si吹付
	端部押え:アルミ製W150t5		折りたたみ式物干金物(各戸1セット)
	RD 鋳鉄製75φ		隔て板:ケイカル板 t=5.0 EP-G、枠:カラーアルミ 有効巾=600以上、H=1,800、避難案内ステッカー貼(両面)
	堅樋:カラーVP75φ(SUS既製品 掘み金物@1200)		避難器具(Aタイプ):埋込ハッチ式(ナカ工業 タスカールSPタイプ同等品以上)
外壁	コンクリート打放し補修の上、複層塗材E吹付(アクリル系)	エントランス(南側)	床:磁器質300×300角タイル貼(階段共、段鼻ノスリフタイプ貼)
	コンクリート打放し補修の上 DP-2		壁:コンクリート打放し補修の上 DP-2
根廻り	コンクリート打放し補修の上、複層塗材E吹付(アクリル系)	エントランス(南側)	天井:LGS下地ケイカル板 t=6下地 DP-2
軒裏	コンクリート打放し補修の上、外装薄塗材Si吹付		アルミ製木目調ルーバー
開放廊下 EVホール	床:コンクリート金こて押え	樋・ルーフトレン	タテ樋:カラーVPパイプ(伸縮継手使用)75φ、支持金物 SUS@1,200内外
	(ジョイント部溶接工法、建物側周囲シーリング処理、共用廊下面の各住戸洋室部エアコンよりドレン排水用溝(既製品))		タテ型、ヨコ型ルーフトレン(鋳物製)75φ
	手摺 天端、内壁、巾木:コンクリート打放し補修の上、複層塗材E吹付(アクリル系)、一部手摺上部:侵入防止用縦格子	外部建具	スチールドア(焼付塗装・SOP塗)、アルミサッシ(シルバー艶消し)
	壁:コンクリート打放し補修の上、複層塗材E吹付(アクリル系)		外構
	EPS塞ぎ壁:LGS下地ケイカル板 t=6 コンクリート打放し補修の上、複層塗材ローラー塗(アクリル系)	外 構	
	天井:コンクリート打放し補修の上、外装薄塗材Si吹付(一部LGS下地ケイカル板 t=6)		
	排水溝:モルタル金こて押えの上、ウレタンゴム系塗膜防水X-2(密着工法)(W=90)、消火器(壁掛型):消防法により設置(ABC-10型)シロキ ステンレス製 消火器フックB形 FEX-1 95		
	EVホール・階段部分:階数表示プレート(各階1ヶ所)、掲示板:ナスタ KS-EX915A-9012A同等品1F2か所(EVホール、集会所)、室名札:ナスタ KS-N20AS(シールドタイプ付)		
EVホール:防風スクリーン(カラーアルミ枠 網入型板ガラス t=6.8)、煙感知器点検ボックス:ホーチキ KUS-1C同等品			
宅配ボックス:ナスタ KS-TL03R、ユニットAN、B、C 3列同等品、メールボックス:ナスタ KS-MB6202PU-L-S同等品80個			
屋外階段(1)(2)	床:防水モルタル金こて押え(蹴上、踏面)、巾木:コンクリート打放し補修の上、複層塗材E吹付(アクリル系)		
	壁(中壁含む):コンクリート打放し補修の上、複層塗材E吹付(アクリル系)		
	天井:コンクリート打放し補修の上、外装薄塗材Si吹付		
	排水溝:モルタル金こて押えの上 塗膜防水 W=80、段鼻:モルタル V字溝切(2本)		
	耐力壁面に硬質塩ビ樹脂製手摺34φ、階段に階数表示板設置(各階ごとに1ヶ所、ナスタ KS-EX04F-BK同等品)		

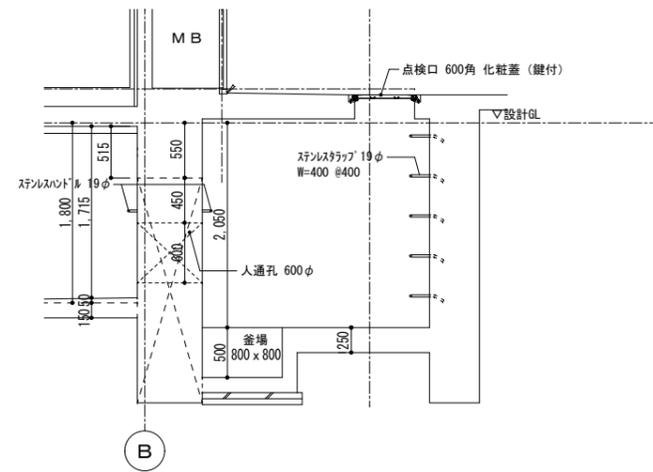
	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE		さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21(1)第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn	市営新宮沖住宅建設工事(建築主体工事)			設計図	DATE	2022/9/20
	△	凡例				SCALE			JOB	20080				
	△					凡例2・外部仕上表			No.	A	019			

室名	床			幅木	壁		天井				備考	
	床高	下地	仕上		下地	仕上	下地	仕上	廻縁	天井高さ		
住戸部	玄関	-28	M	モルタル直均しの上 ビニル床シート t1.8	ビニル巾木 H=60	C GB-R t=12.5	EP塗	W	GB-D t9.5	塩ビ	2,230	I型手摺：木製L=600 上り框：タモ化粧貼造作用集成材 UC
	廊下	±0	C	セパレリングの上 ビニル床シート t1.8	ビニル巾木 H=60	C GB-R t12.5	EP塗	W	GB-D t9.5	塩ビ	2,200	
						W GB-R t=12.5	EP塗					
	DK	±0	C	セパレリングの上 ビニル床シート t1.8	ビニル巾木 H=60	C GB-R t12.5 GB-R t9.5 (梁型) 化粧ケイ酸系浸透塗防水材 t5.0 (流し台廻り)	EP塗	W	GB-D t9.5	塩ビ	2,400	ステンレス製キッチン L=1200、ステンレス製コンロ台 L=600、吊戸棚 (1DKのみ)、レンジフード クーラースリーブ (75φ)、給気レジスター (150φ) ヴェニチナ付、クーラー取付化粧板 10φ x 2箇所 カーテンレール (W)
						W GB-R t=12.5	EP塗					
	洋室	±0	C	セパレリングの上 ビニル床シート t1.8	ビニル巾木 H=60	C GB-R t12.5 GB-R t9.5 (梁型)	EP塗	W	GB-D t9.5	塩ビ	2,400	クーラースリーブ (75φ)、給気レジスター (100φ) ヴェニチナ付、クーラー取付化粧板 10φ x 2箇所 カーテンレール (W)
						W GB-R t=12.5	EP塗					
	和室	±0	C	モルタル直均しの上 ホリフレットt0.2敷 畳 t25 (D種KT-1)	畳寄せ	C GB-R t12.5 GB-R t9.5 (梁型)	EP塗	W	GB-D t9.5	塩ビ	2,400	クーラースリーブ (75φ)、給気レジスター (100φ) ヴェニチナ付、クーラー取付化粧板 10φ x 2箇所 カーテンレール (W)
						W GB-R t=12.5	EP塗					
	物入	±0	C	セパレリングの上 ラワン合板1類t12 素地	雑巾摺 (木製)	C ソフ リン合板 t4		W	ソフ リン合板 t4	木製	2,400	ハンガーパイプ、枕棚
W ソフ リン合板 t4												
押入	±0	C	セパレリングの上 ラワン合板1類t12 素地	雑巾摺 (木製)	C ソフ リン合板 t4		W	ソフ リン合板 t4	木製	2,400	中段、枕棚	
					W ソフ リン合板 t4							
洗面・脱衣	±0	C	ラワン合板1類t9捨て貼りの上 ビニル床シート t1.8	ビニル巾木 H=60	C GB-S t12.5 GB-S t9.5 (梁型)	EP塗	W	GB-S t9.5	塩ビ	2,200	床下点検口 アルミ製450角 (1箇所) I型手摺：木製L=600	
					W GB-S t=12.5	EP塗						
便所	±0	C	ラワン合板1類t9捨て貼りの上 ビニル床シート t1.8	ビニル巾木 H=60	C GB-S t12.5 GB-R t9.5 (梁型)	EP塗	W	GB-D t9.5	塩ビ	2,200		
					W GB-S t=12.5	EP塗						
共用部	倉庫	±0	C	コンクリート直均し仕上	-	C コンクリート打放し素地 (B種)		-	コンクリート打放し補修 外装薄塗材Si吹付	-	直天	
	屋外階段(1)下機械室	±0	C	コンクリート直均し仕上	-	C コンクリート打放し素地 (B種)		-	コンクリート打放し素地 (B種)	-	直天	
	MB PS	±0	C	コンクリート直均し仕上	-	C コンクリート打放し素地 (B種)		-	コンクリート打放し素地 (B種)	-	直天	
	EVシャフト	±0	C	浸透性防水処理 ケイ酸系浸透塗防水材	浸透性防水処理 ケイ酸系浸透塗防水材	C コンクリート打放し素地 (B種)		-	コンクリート打放し素地 (B種)	-	直天	

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE	さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn	市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)			設計図	DATE	2022/9/20
								SCALE	JOB	20080		
	内部仕上表						No.	A	020			



ピット平面図 S=1/150



ピット点検口断面詳細図 1:50

符号	凡例
A	人通り (600φ)
B	排水連通管 (W200×100)
C	通気連通管 (75φ)
E	1階床下設備用点検口450角
-1800	設計GLからのレベル

特記なき限り基礎梁天端レベルは 設計GL-80 とする
() の数値は設計GLからの基礎梁天端レベルとする

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

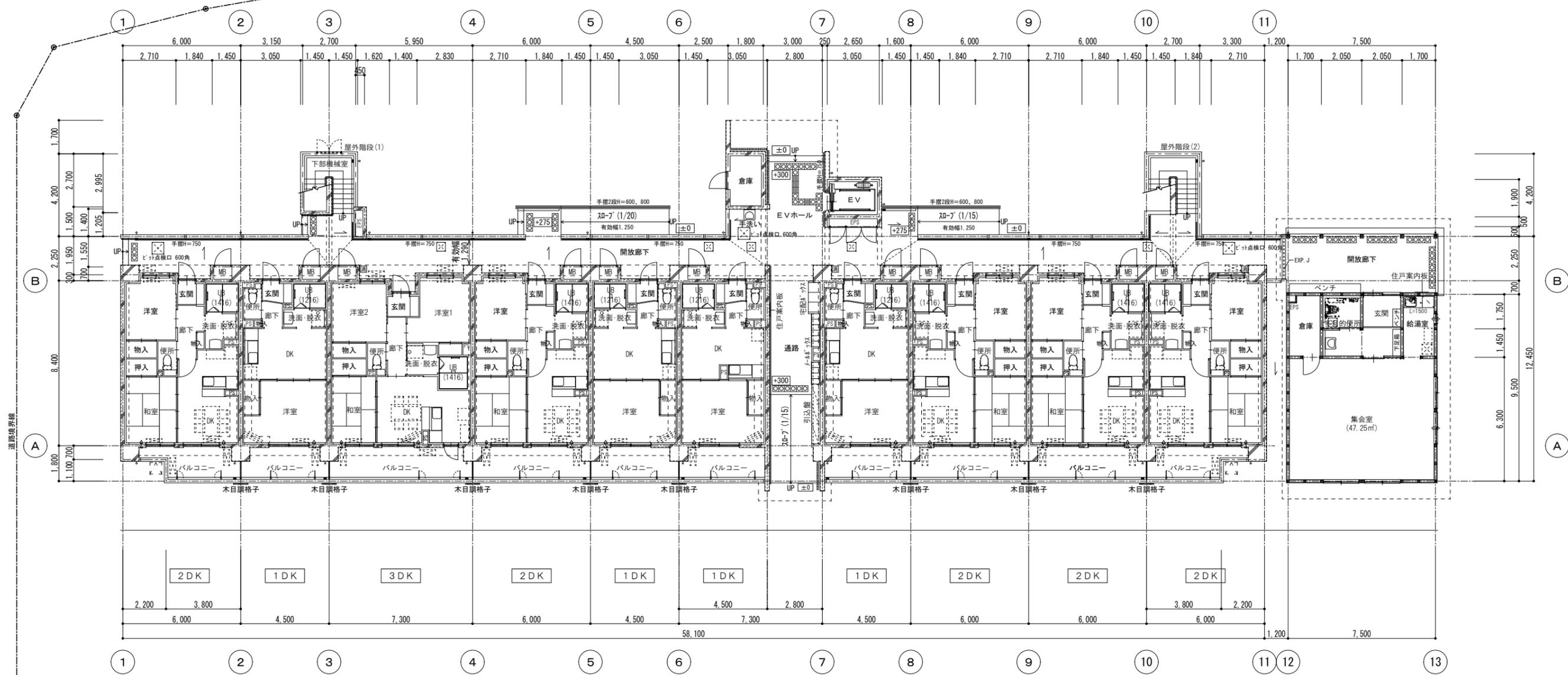
Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行
Drawn	


さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

設計図	DATE	2022/9/20
SCALE	JOB	20080
No.	A	021

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		
設計図	DATE	2022/9/20
SCALE	JOB	20080
No.	A	021



1階平面図 S=1/150

屋外階段(1)(2) RC造	
階段幅	1,110
踊場	1,140
蹴上	181.25
踏面	250
腰壁(外側)の高さ	1,100
手摺(内側)の高さ	850

※各部の数値は1~8階共通とする
 ※各部の高さは踏面からとする
 ※手摺の壁からの設置出幅は100mm以内とする
 ※開放性: 1,100以上かつ、
 天井高の1/2以上開放とする

凡例	
	鉄筋コンクリート造
	LGS下地壁
	給気用レジスター 100φ (防虫網付ガラリ、フィルター付) ※延焼の恐れがある箇所は、 外部面の鋼製ガラリを防火覆いと判断する
	給気用レジスター 150φ (防虫網付ガラリ、フィルター付) ※延焼の恐れがある箇所は、FD付とする クーラー用スリーブ 100φ (外部面SUS製キャップ付)
	エアコン室内外機の想定設置位置
	ABC10型消火器 (BOX埋込み型)
	視覚障害者用誘導ブロックを示す
	床下設備用点検口 特記以外450角

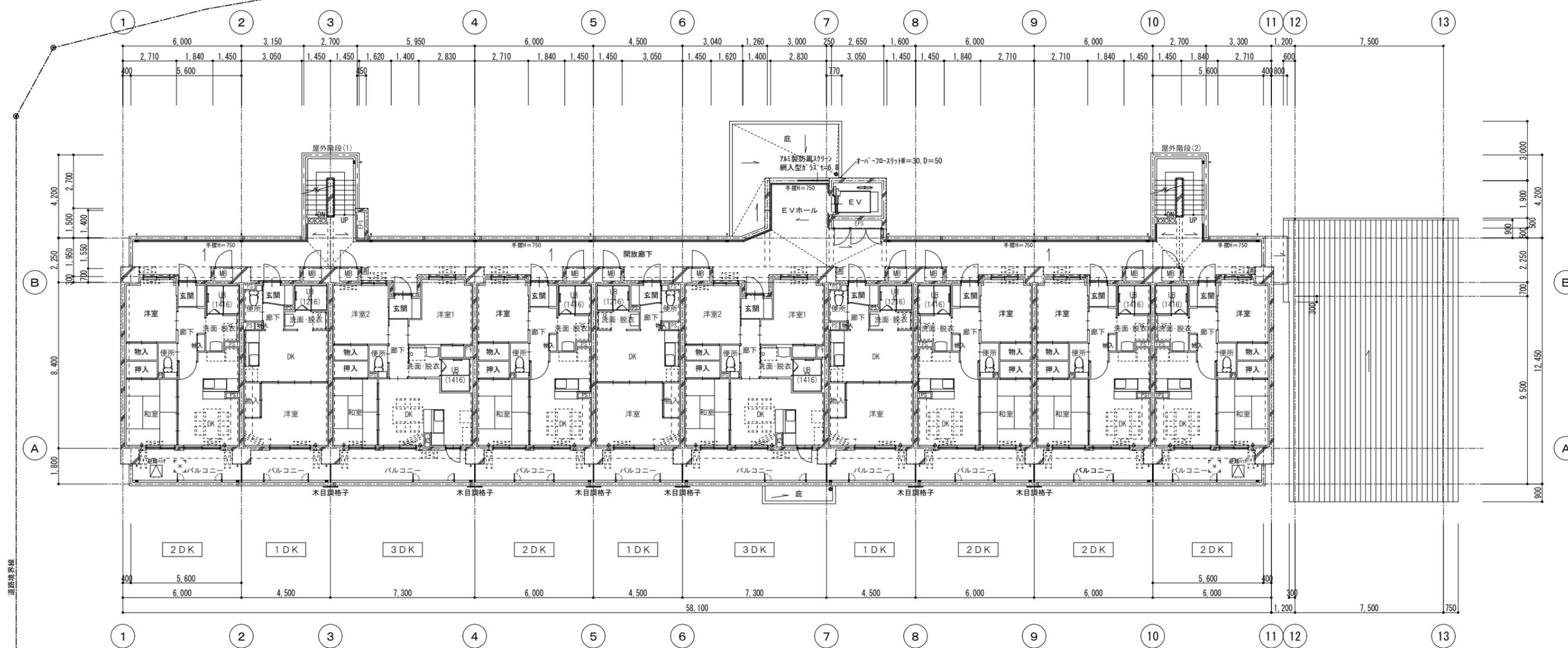
変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

SAKURA Architects Co., Ltd.	さくら建築設計 株式会社
-----------------------------	--------------

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
1階平面図		SCALE	JOB	20080
		No.	A	022



2階平面図 S=1/150

凡例	
	鉄筋コンクリート造
	LGS下地壁
	給気用レジスター 100φ (防虫網付ガラリ、フィルター付) ※延焼の恐れがある箇所は、 外部面の鋼製ガラリを防火覆いと判断する
	給気用レジスター 150φ (防虫網付ガラリ、フィルター付) ※延焼の恐れがある箇所は、FD付とする クーラー用スリーブ 100φ (外部面SUS製キャップ付)
	エアコン室内外機の想定設置位置
	ABC10型消火器 (BOX埋込み型)
	視覚障害者用誘導ブロックを示す

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

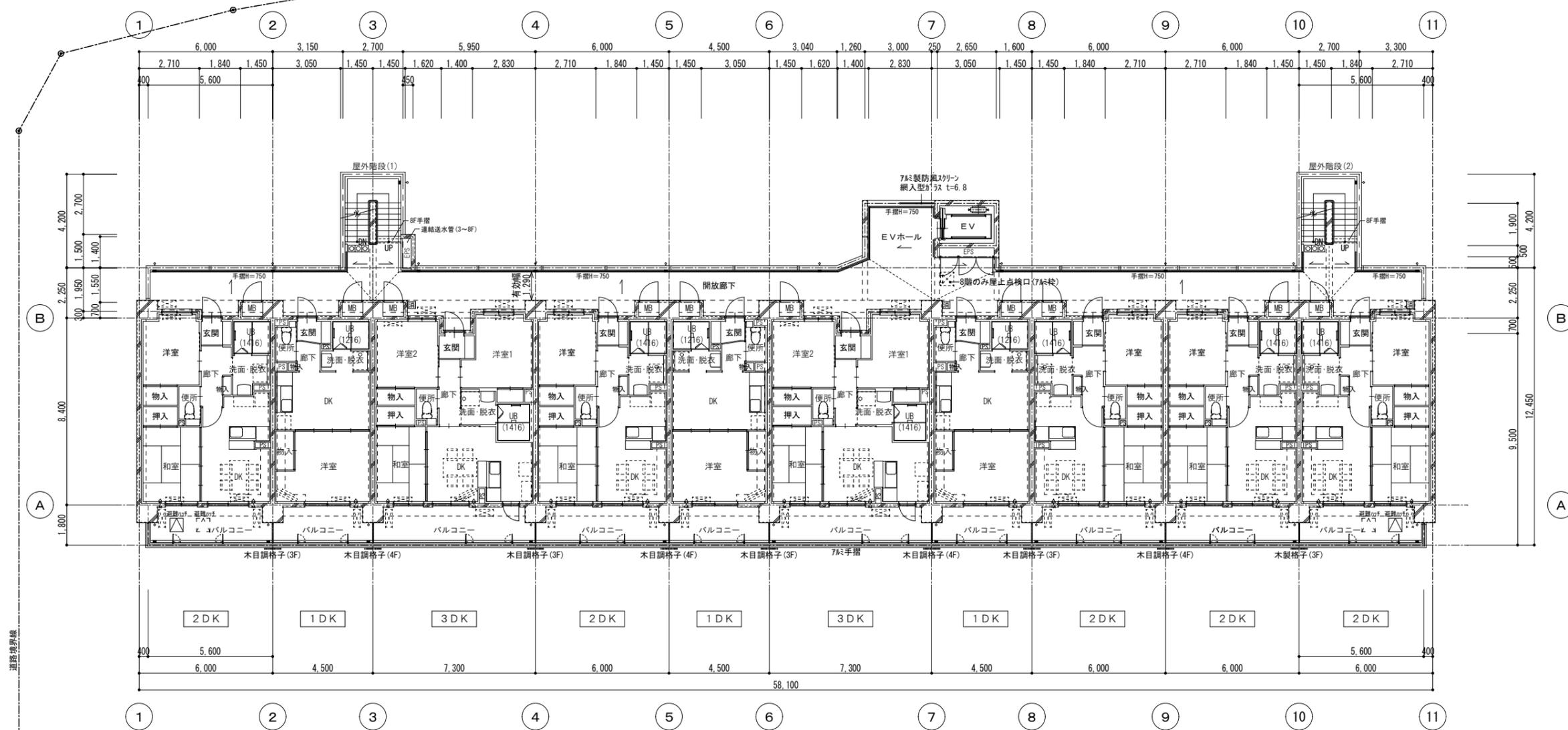
NOTE	凡例
------	----

さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早福田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
2階平面図		SCALE	JOB	20080
		No.	A	023



3～8階平面図 S=1/150

凡例	
	鉄筋コンクリート造
	LGS下地壁
	給気用レジスター 100φ (防虫網付ガラリ、フィルター付) ※延焼の恐れがある箇所は、 外部面の鋼製ガラリを防火覆いと判断する
	給気用レジスター 150φ (防虫網付ガラリ、フィルター付) ※延焼の恐れがある箇所は、FD付とする クーラー用スリーブ 100φ (外部面SUS製キャップ付)
	エアコン室内外機の想定設置位置
	ABC10型消火器 (BOX埋込み型)
	視覚障害者用誘導ブロックを示す

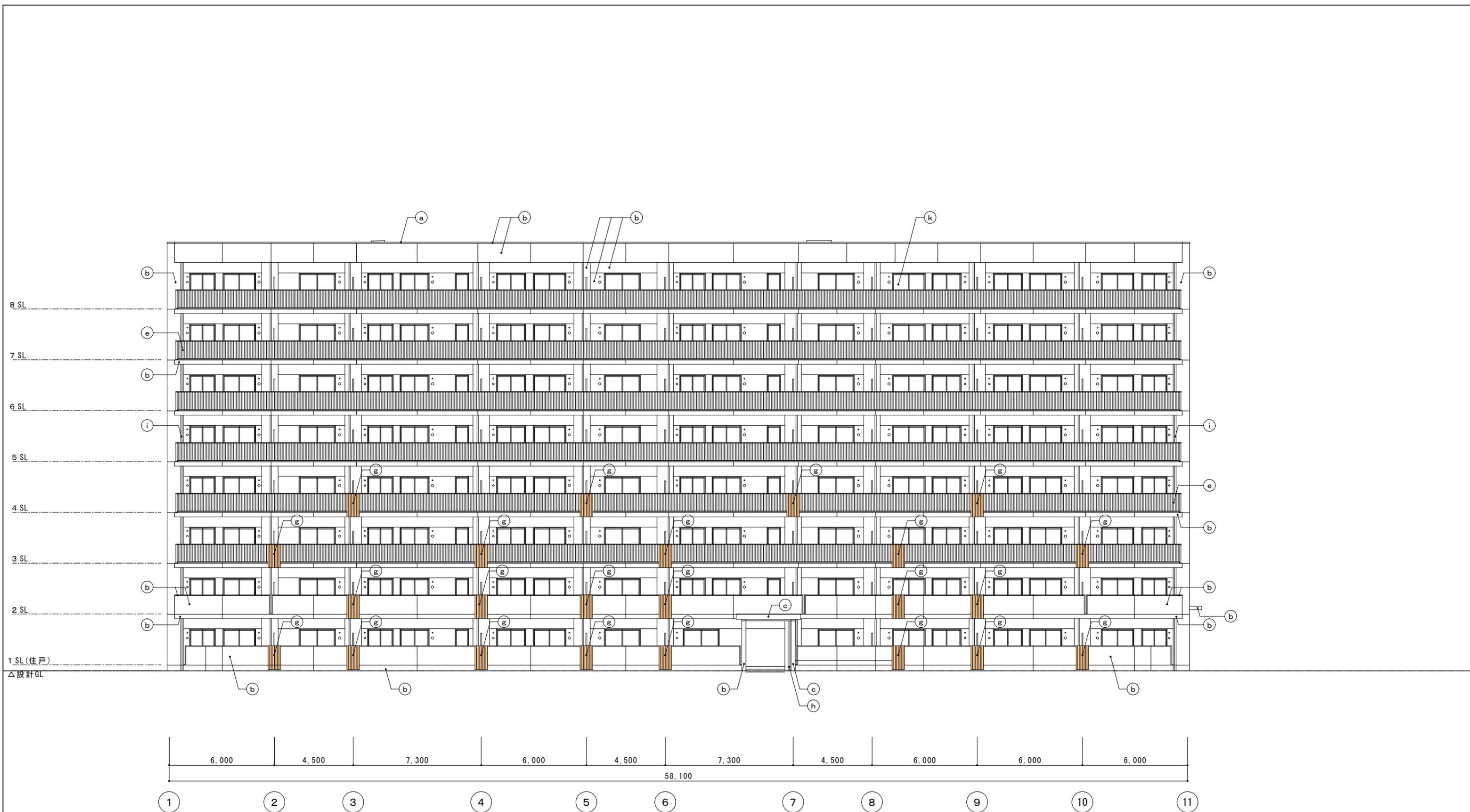
変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

SAKURA Architects Co., Ltd.	さくら建築設計株式会社
-----------------------------	-------------

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
3～8階平面図		SCALE	JOB	20080
		No.	A	024



南立面図 S=1/150

凡例

(a)	パラペット天端：コンクリート金こて押えの上 ウレタン系塗膜防水(X-2工法)シムバ-仕上	(e)	手摺：カラーアルミ製縦格子手摺	(i)	タテ種：カラー塩ビパイプ（伸縮継手使用）75φ、支持金物 SUS@1,200内外	(m)	市章：珐-ステルス（焼付塗装）箱文字 1,500 x 1,200 t=30
(b)	C打放しの上 複層塗材E吹付（アクリル系）	(f)	侵入防止用縦格子	(j)	オーバーフロー管 SUS40φ		
(c)	C打放しの上 アクリルシリコン樹脂塗装	(g)	木目調アルミ製縦格子	(k)	隔て板：ケイカル板 t=5.0 VP		
(d)	C打放しの上 外装薄塗材Si吹付	(h)	アルミ製木目調ルーバー	(l)	アルミ製防風スクリーン（網入型ガラス t=6.8）		

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			



さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事（建築主体工事）		設計図	DATE	2022/9/20
立面図 (1)	SCALE	JOB	20080	
	1/150	No.	A	026



北立面図 S=1/150

凡例

(a)	パラペット天端：コンクリート金こて押えの上 ウレタン系塗膜防水(X-2工法)シール仕上	(e)	手摺：カラーアルミ製縦格子手摺	(i)	タテ種：カラー塩ビパイプ（伸縮継手使用）75φ、支持金物 SUS@1,200内外	(m)	市章：ステンレス（焼付塗装）箱文字 1,500 x 1,200 t=30
(b)	C打放しの上 複層塗材E吹付（アクリル系）	(f)	侵入防止用縦格子	(j)	オーバーフロー管 SUS40φ	(n)	手摺：ステンレスHL 42.7φ x 2.0
(c)	C打放しの上 アクリルシリコン樹脂塗装	(g)	木目調アルミ製縦格子	(k)	隔て板：ケイカル板 t=5.0 VP		
(d)	C打放しの上 外装薄塗材Si吹付	(h)	アルミ製木目調ルーバー	(l)	アルミ製防風スクリーン（網入型ガラス t=6.8）		

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			



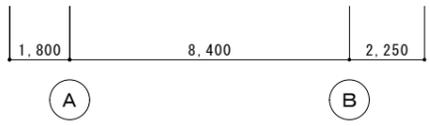
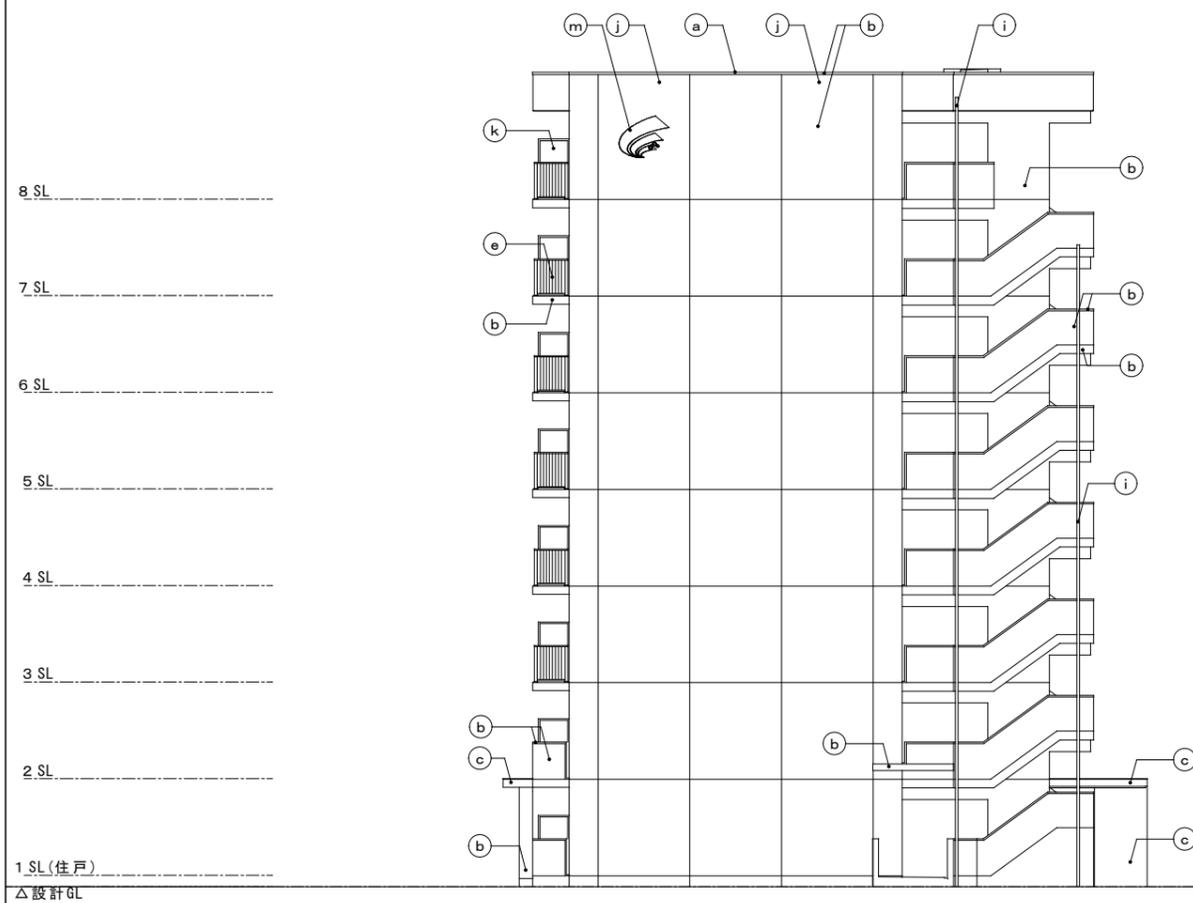
さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

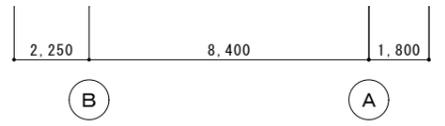
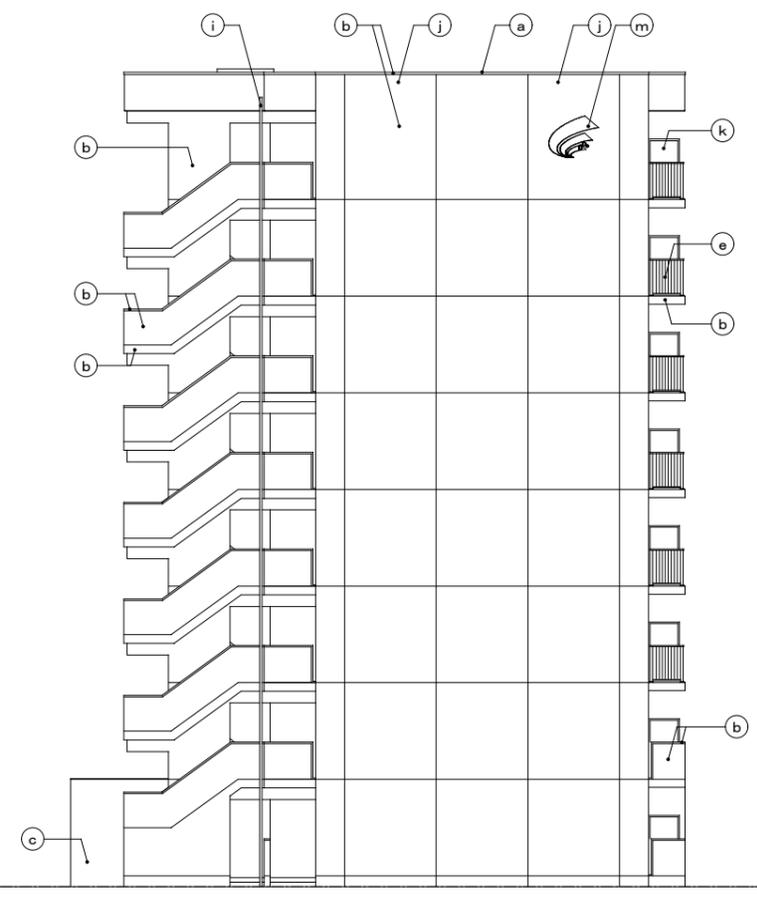
Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事（建築主体工事）		設計図	DATE	2022/9/20
立面図 (2)	SCALE	JOB	20080	
	1/150	No.	A	027



東立面図 S=1/150



西立面図 S=1/150

凡例

a	パラペット天端：コンクリート金こて押えの上 ウレタン系塗膜防水(X-2工法)シール仕上	e	手摺：カラーアルミ製縦格子手摺	i	タテ種：カラー塩ビパイプ（伸縮継手使用）75φ、支持金物 SUS@1,200内外	m	市章：珐瑯（焼付塗装）箱文字 1,500 x 1,200 t=30
b	C打放しの上 複層塗材E吹付（アクリル系）	f	侵入防止用縦格子	j	オーバーフロー管 SUS40φ		
c	C打放しの上 アクリルシリコン樹脂塗装	g	木目調アルミ製縦格子	k	隔て板：ケイカル板 t=5.0 VP		
d	C打放しの上 外装薄塗材Si吹付	h	アルミ製木目調ルーバー	l	アルミ製防風スクリーン（網入型ガラス t=6.8）		

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			



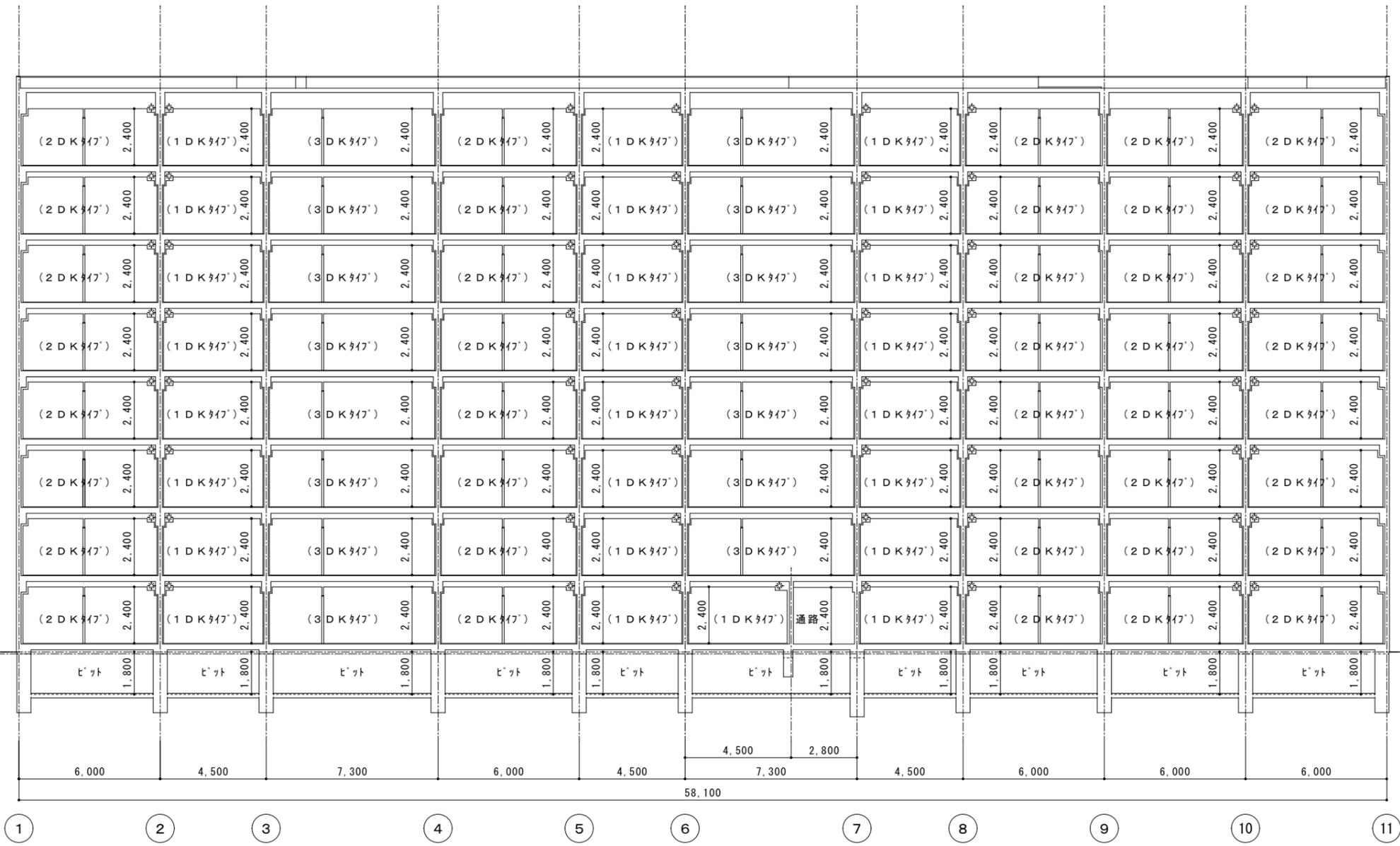
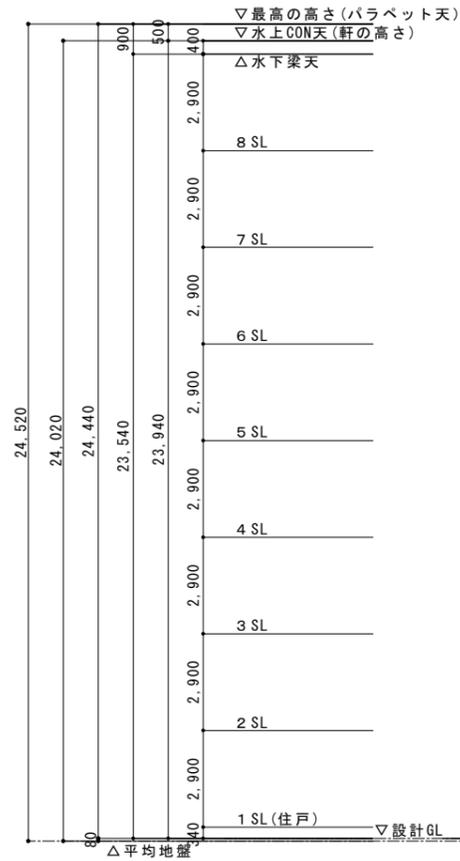
さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事（建築主体工事）		設計図	DATE	2022/9/20
立面図 (3)	SCALE	JOB	20080	
	1/150	No.	A	028



断面図 (2) S=1/150

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE
	△	凡例
	△	

さくら建築設計
株式会社

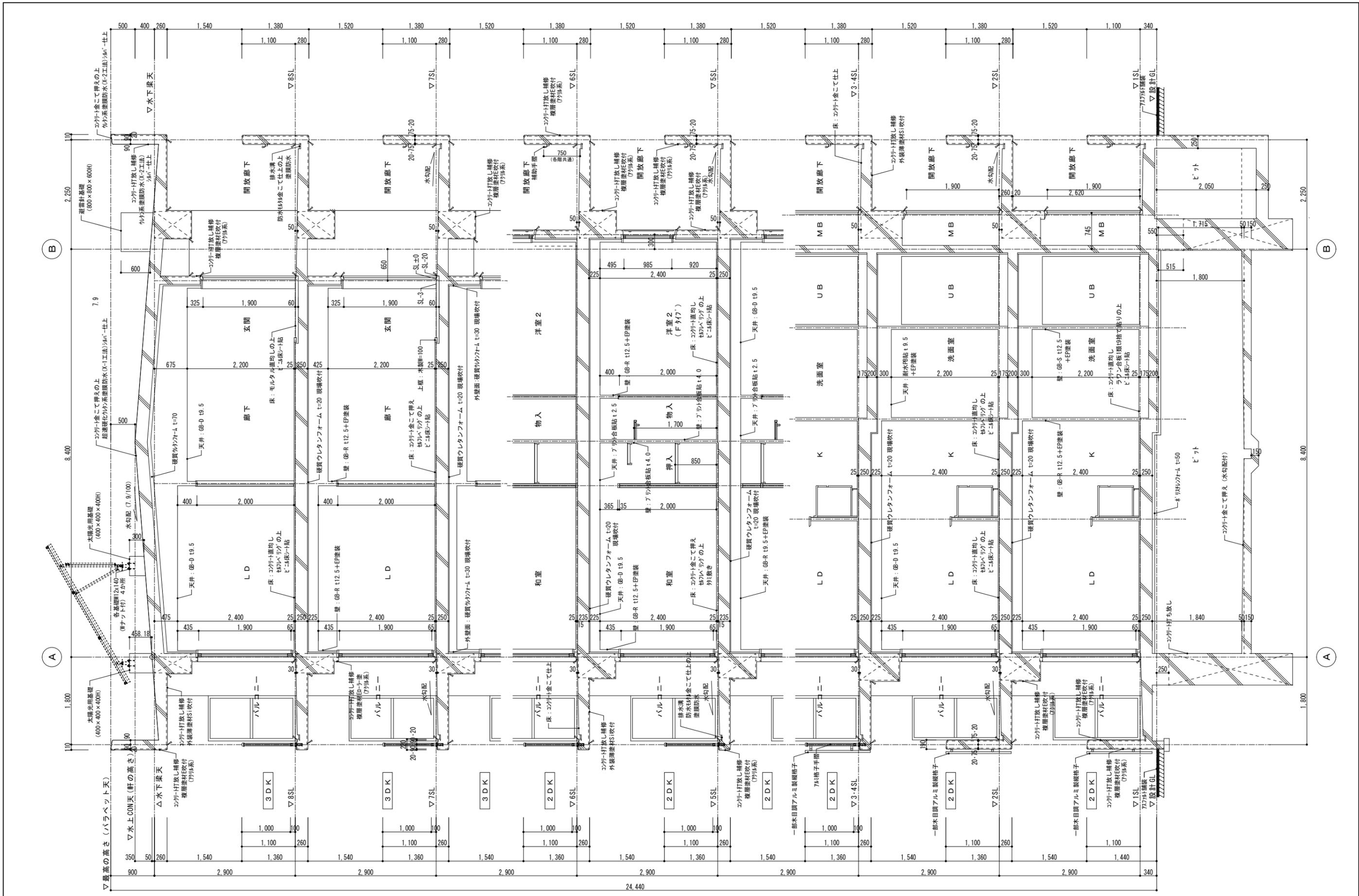
SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早福田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
断面図 (2)		SCALE	JOB	20080
		No.	A	030
		1/150		



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日

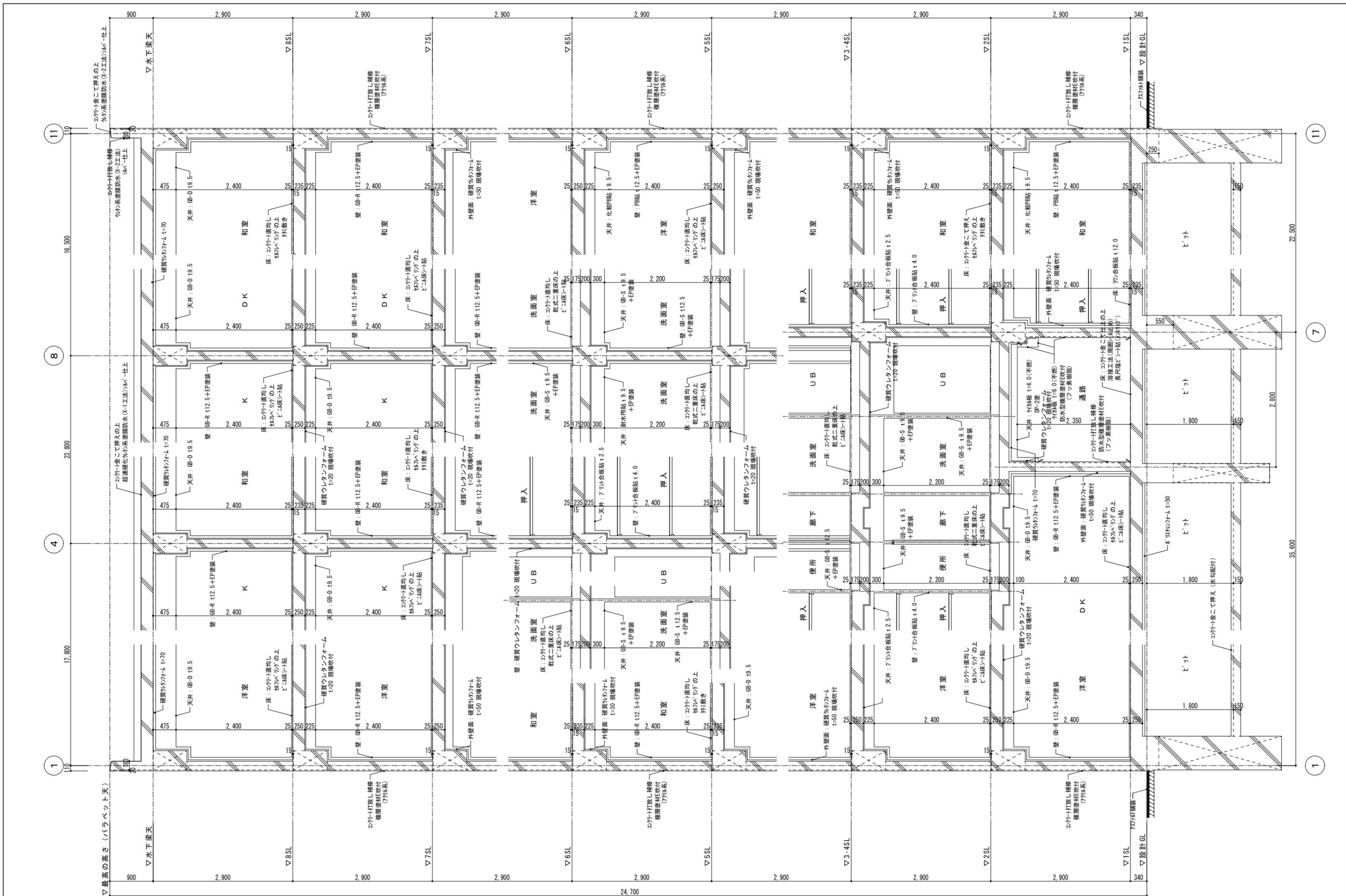
NOTE
凡例


さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早福田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島 義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
矩計図 (1)		SCALE	JOB	20080
1/50	No.	A	031	



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日
△		
△		
△		

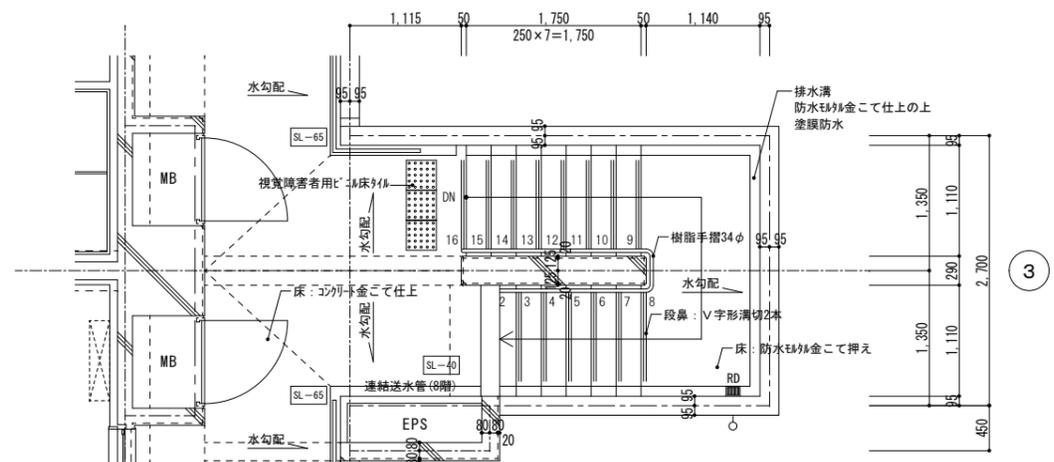
NOTE	凡例


さくら建築設計
 株式会社

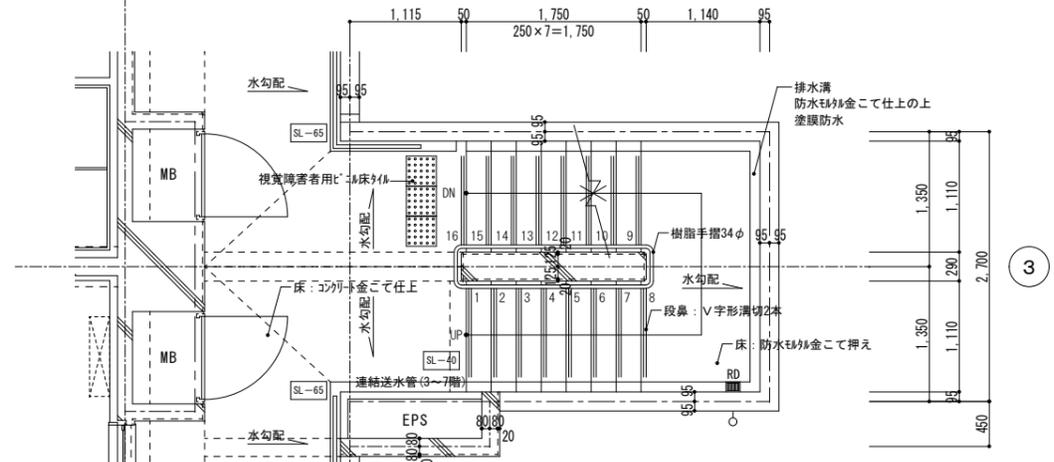
広島市東区牛田早福田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

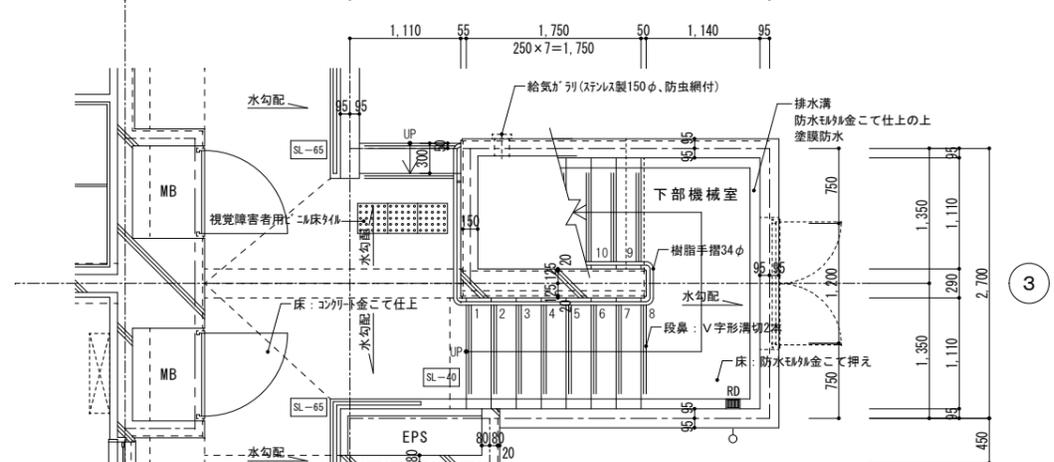
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
矩計図 (2)		SCALE	JOB	20080
1/50	No.	A	032	



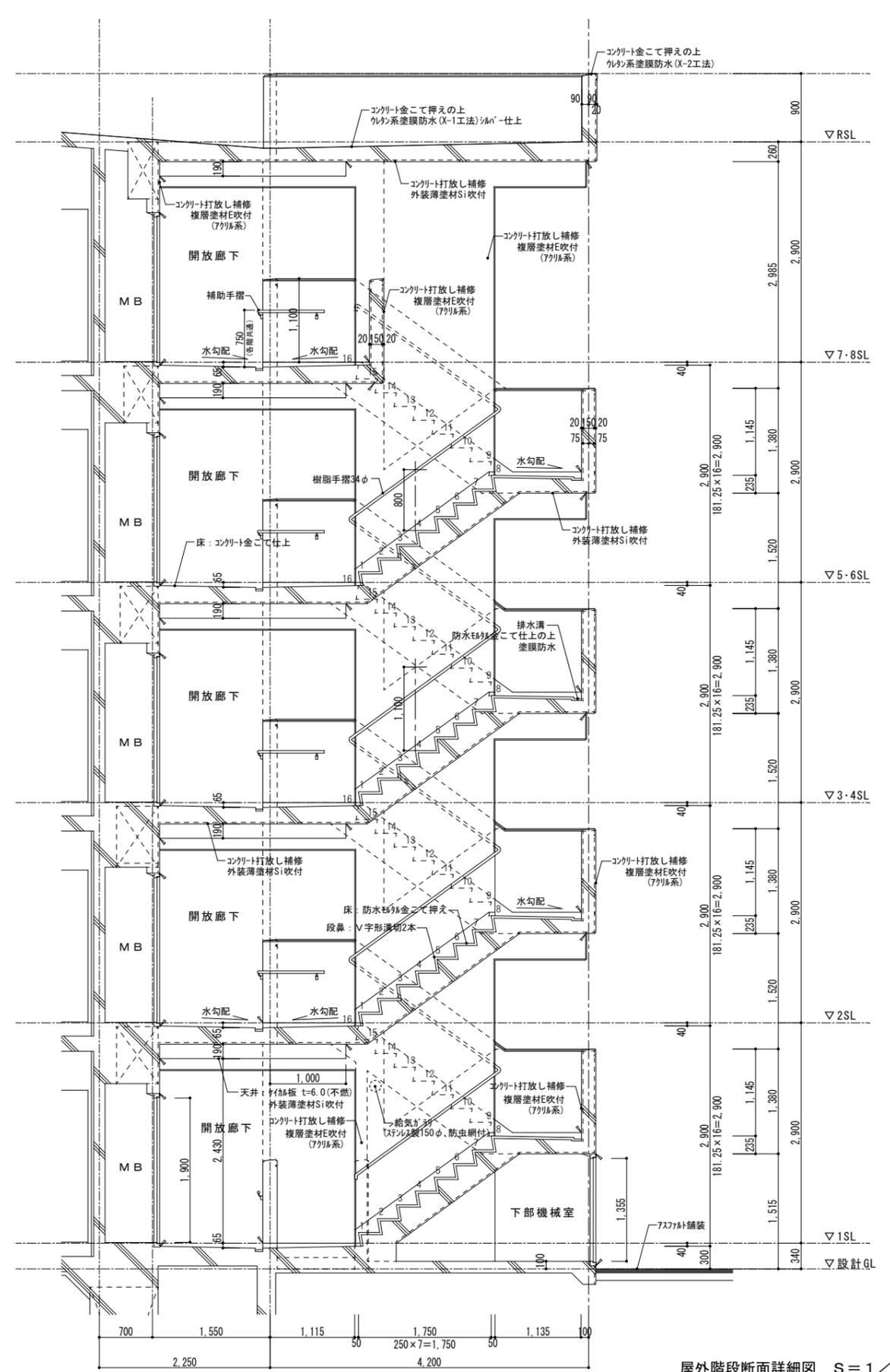
8階 屋外階段平面詳細図 S=1/50



2~7階 屋外階段平面詳細図 S=1/50



1階 屋外階段平面詳細図 S=1/50



屋外階段断面詳細図 S=1/50

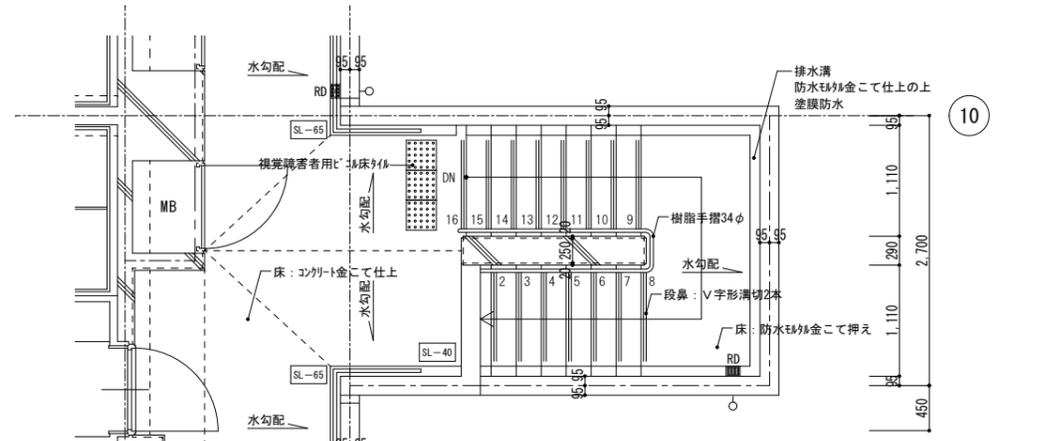
変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

設計者	設計図	DATE	2022/9/20
監理者	SCALE	JOB	20080
製図者	No.	A	033

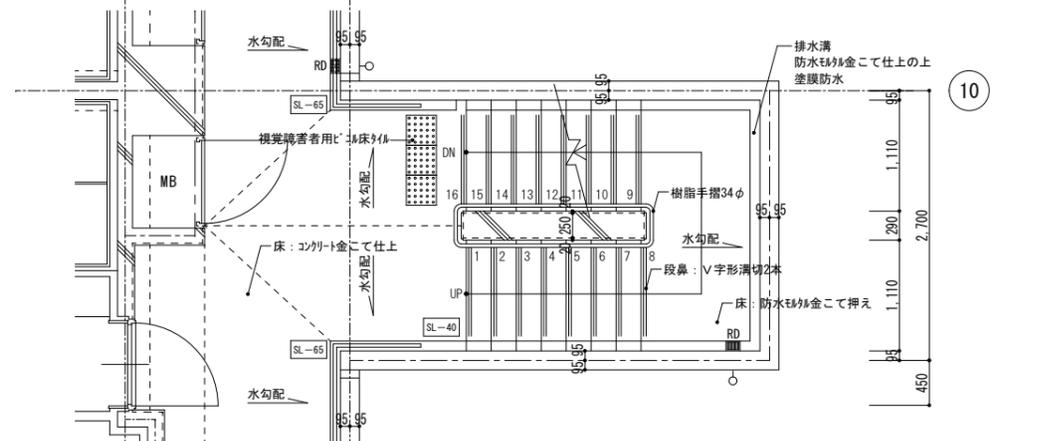
さくら建築設計株式会社
 広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21(1)第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn	
---------	--------------------------------	-------	--

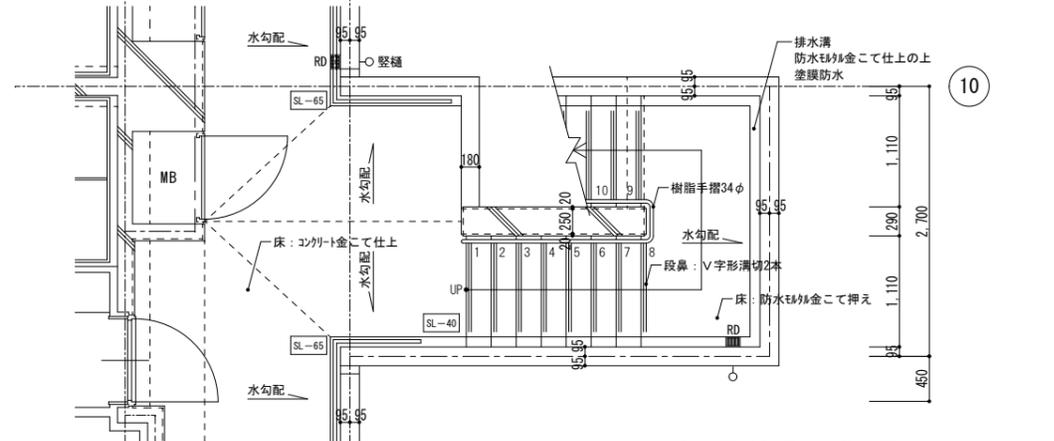
市営新宮沖住宅建設工事(建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
屋外階段(1)詳細図		SCALE	JOB	20080
		No.	A	033



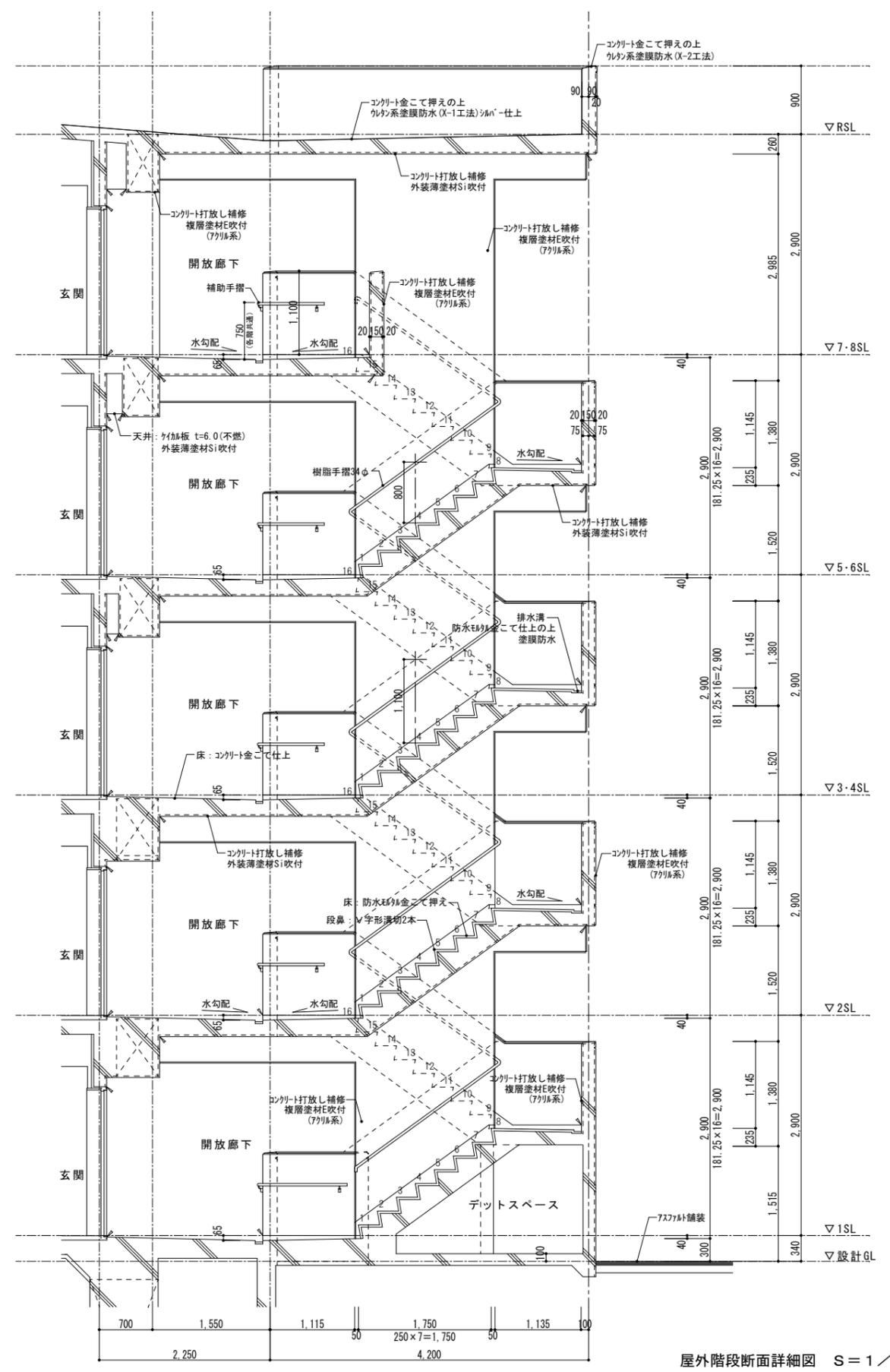
8階 屋外階段平面詳細図 S=1/50



2~7階 屋外階段平面詳細図 S=1/50



1階 屋外階段平面詳細図 S=1/50



屋外階段断面詳細図 S=1/50

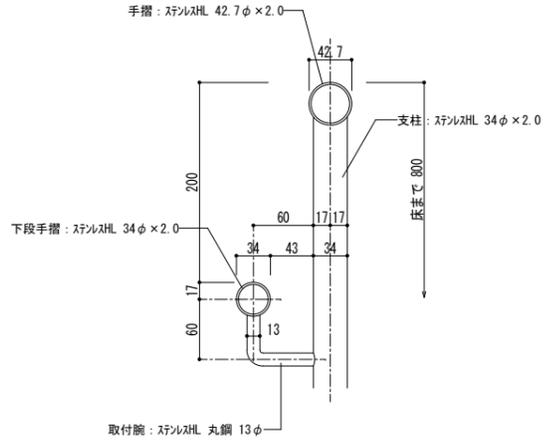
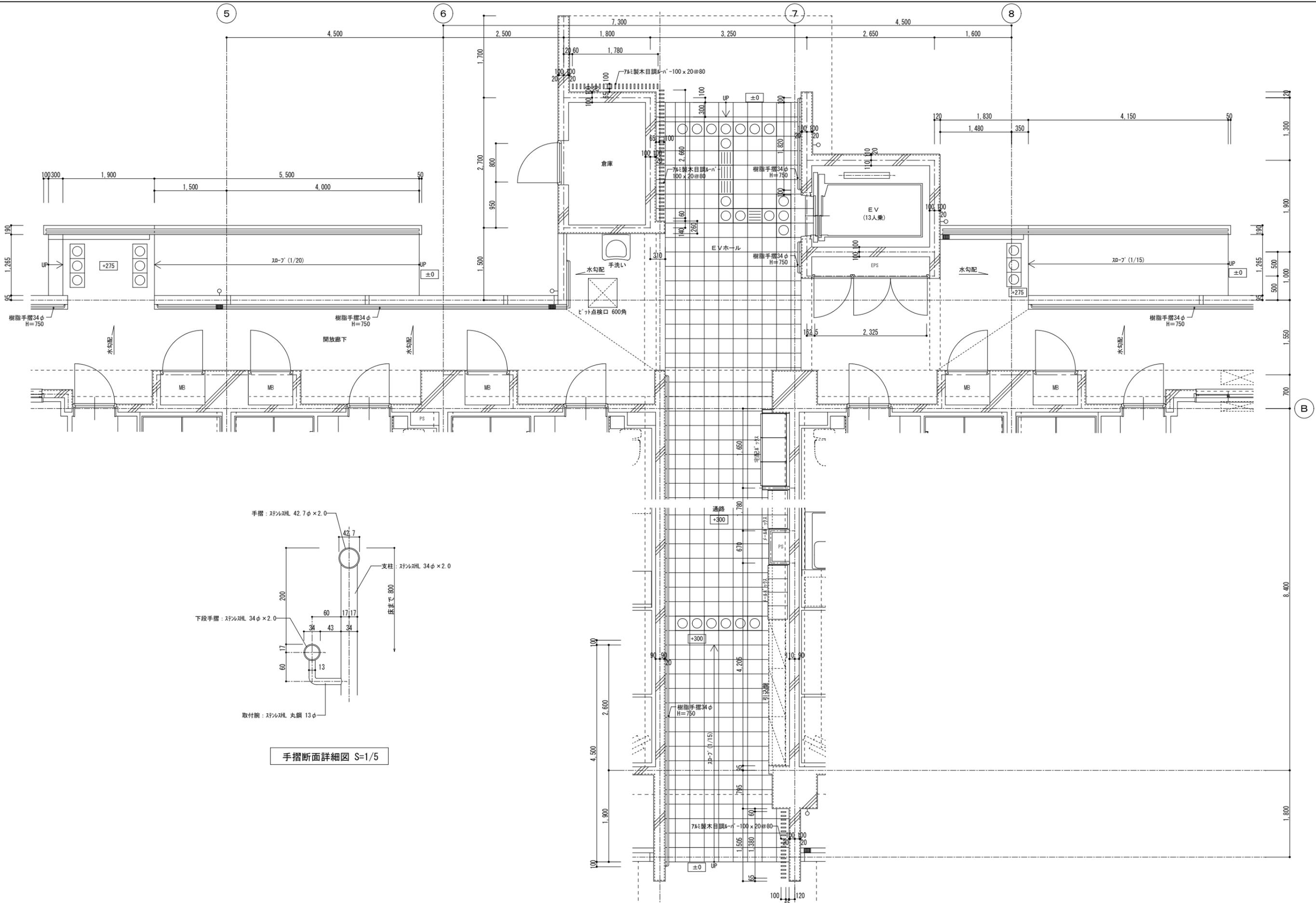
	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE
	△ /	凡例
	△ /	

NOTE	
凡例	

さくら建築設計株式会社
 広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked	Drawn
一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
屋外階段 (2) 詳細図		SCALE	JOB	20080
		No.	A	034



手摺断面詳細図 S=1/5

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

設計図	DATE	2022/9/20
SCALE	JOB	20080
1/50	No.	A
1/5		035



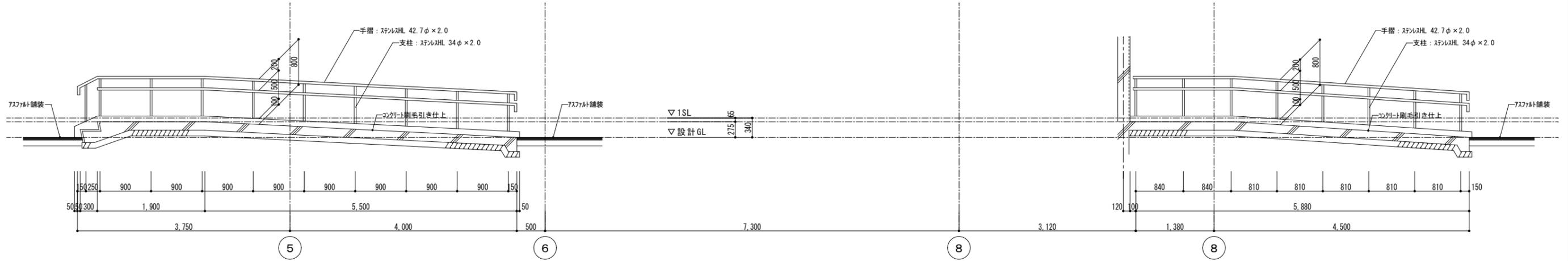
さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早福田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

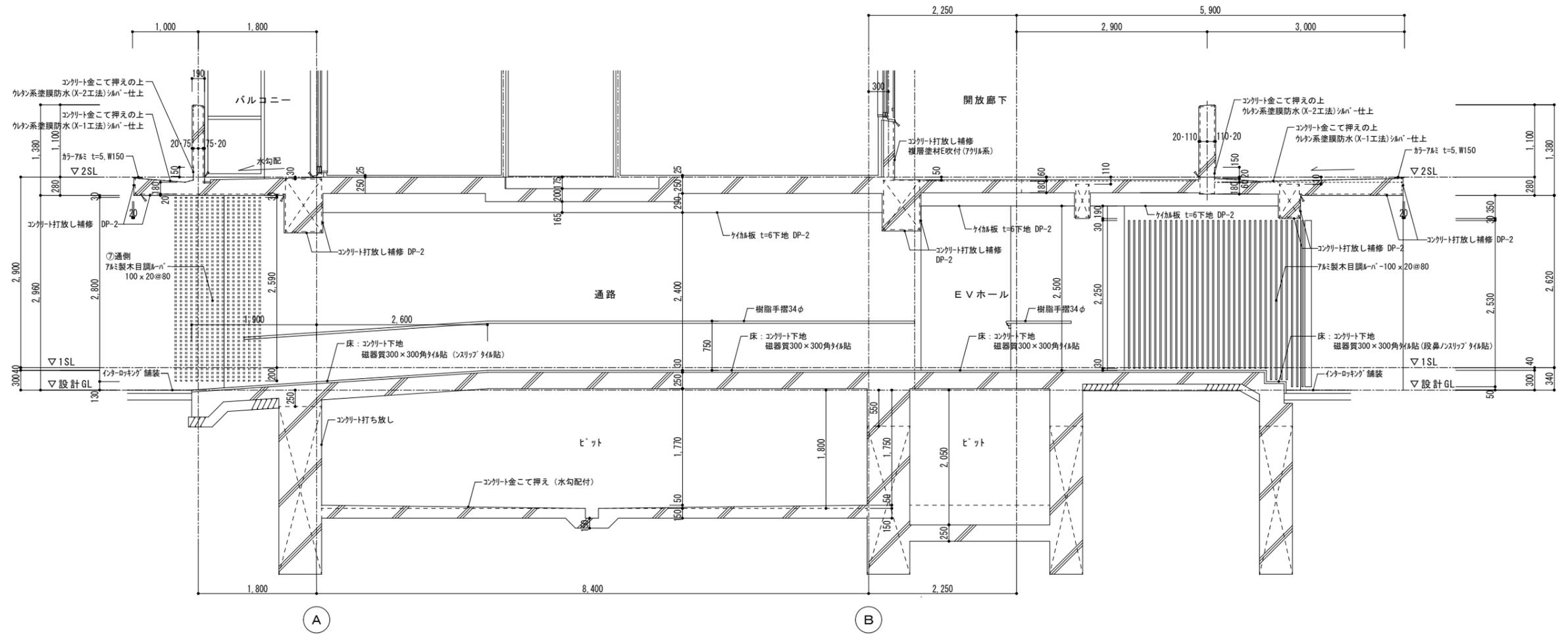
Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
エントランス平面詳細図		SCALE	JOB	20080
		1/50	No.	A
		1/5		035



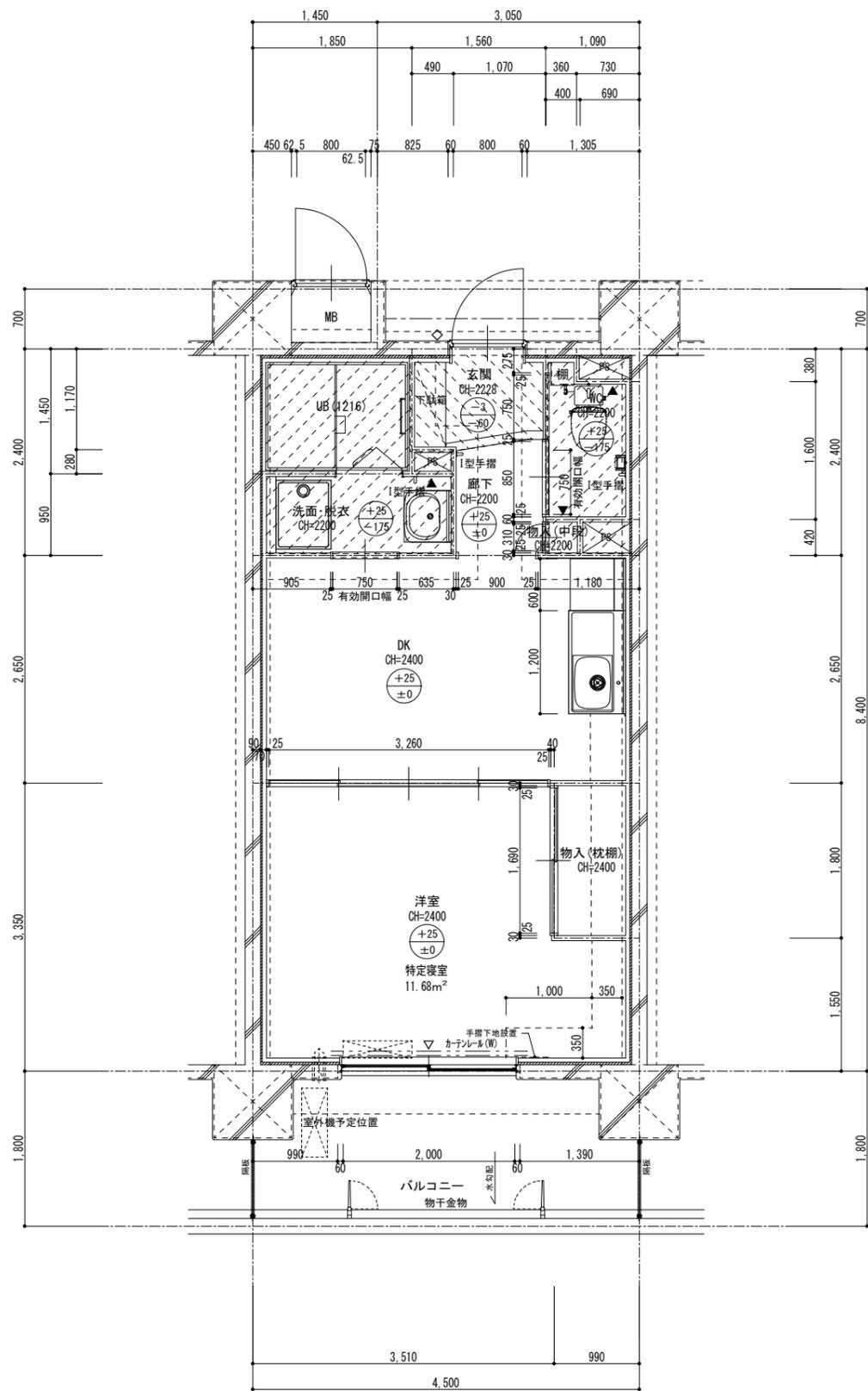
スロープ(1)詳細図 S=1/50

スロープ(2)詳細図 S=1/50



エントランス断面詳細図 S=1/50

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE		さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn	市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20			
														SCALE	JOB	20080
															No.	A
エントランス断面詳細図										1/50						



	スラブ下り範囲 (洗面室廻り SL-175)
	スラブ下り範囲 (玄関廻り SL-60)
	鉄筋コンクリート造
	硬質ウレタンフォーム t=30 現場吹付
	基準SLからの仕上げ高さ
	基準SLからのスラブ天高さ
	給気用スリーブ 100φ・150φ
	空調用スリーブ 75φ
	点検口250角
	掃出し窓
	住戸室名札取付位置

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

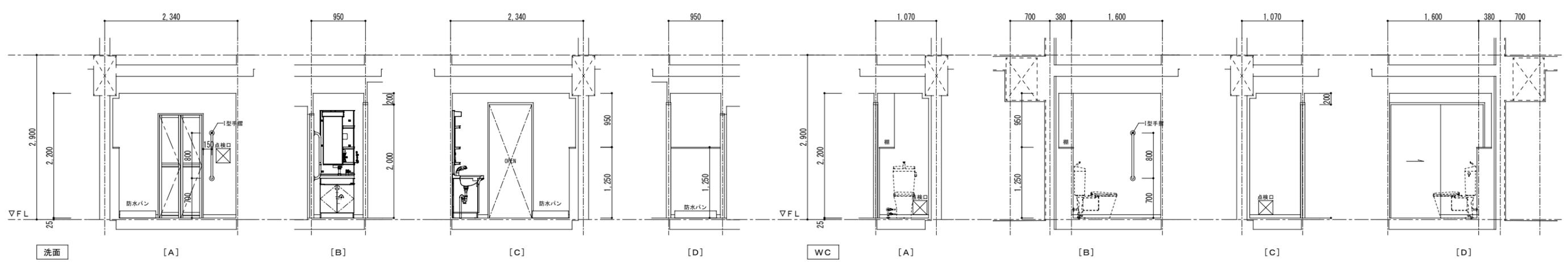
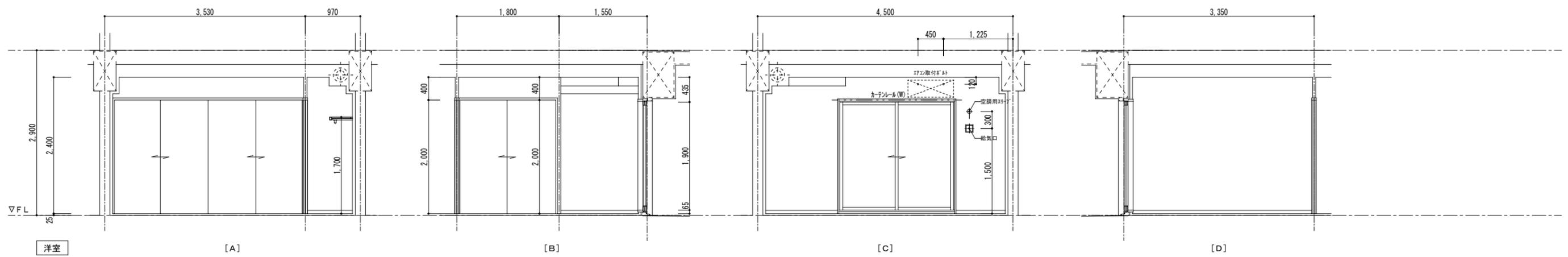
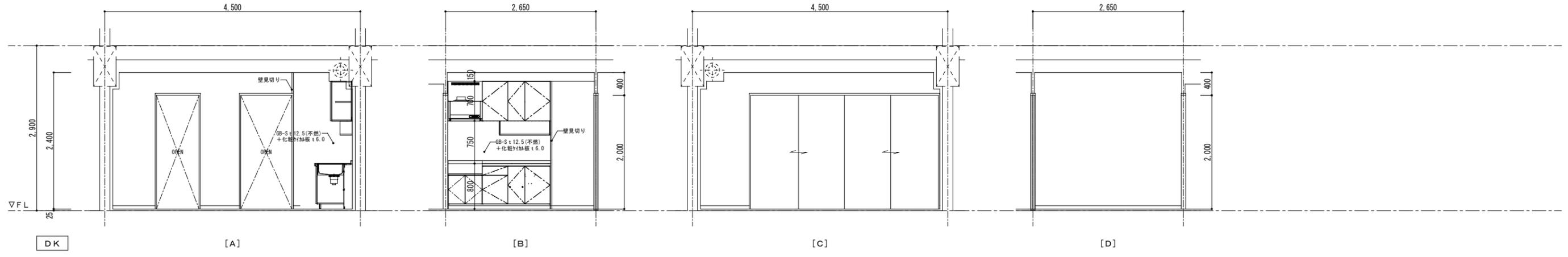
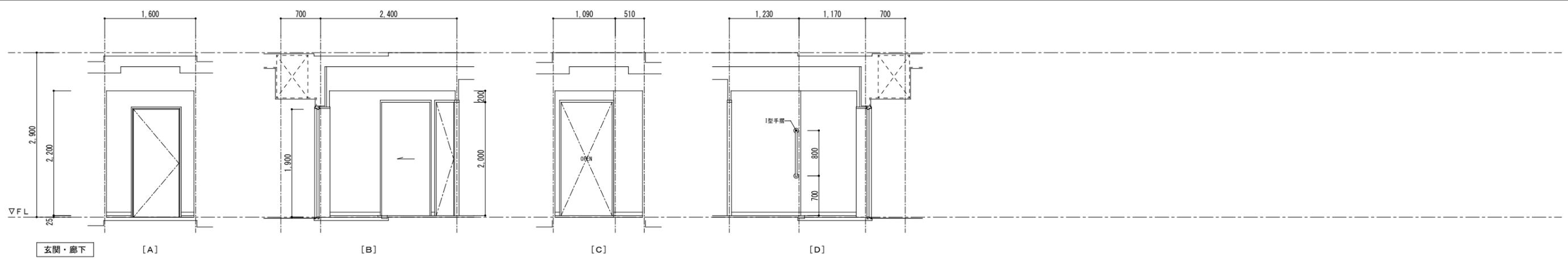
SAKURA Architects Co., Ltd.	さくら建築設計 株式会社
-----------------------------	--------------

広島市東区牛田早福田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
1DK 平面詳細図		SCALE	JOB	20080
		No.	A	037



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

DATE	2022/9/20
JOB	20080
No.	A 038



さくら建築設計
株式会社

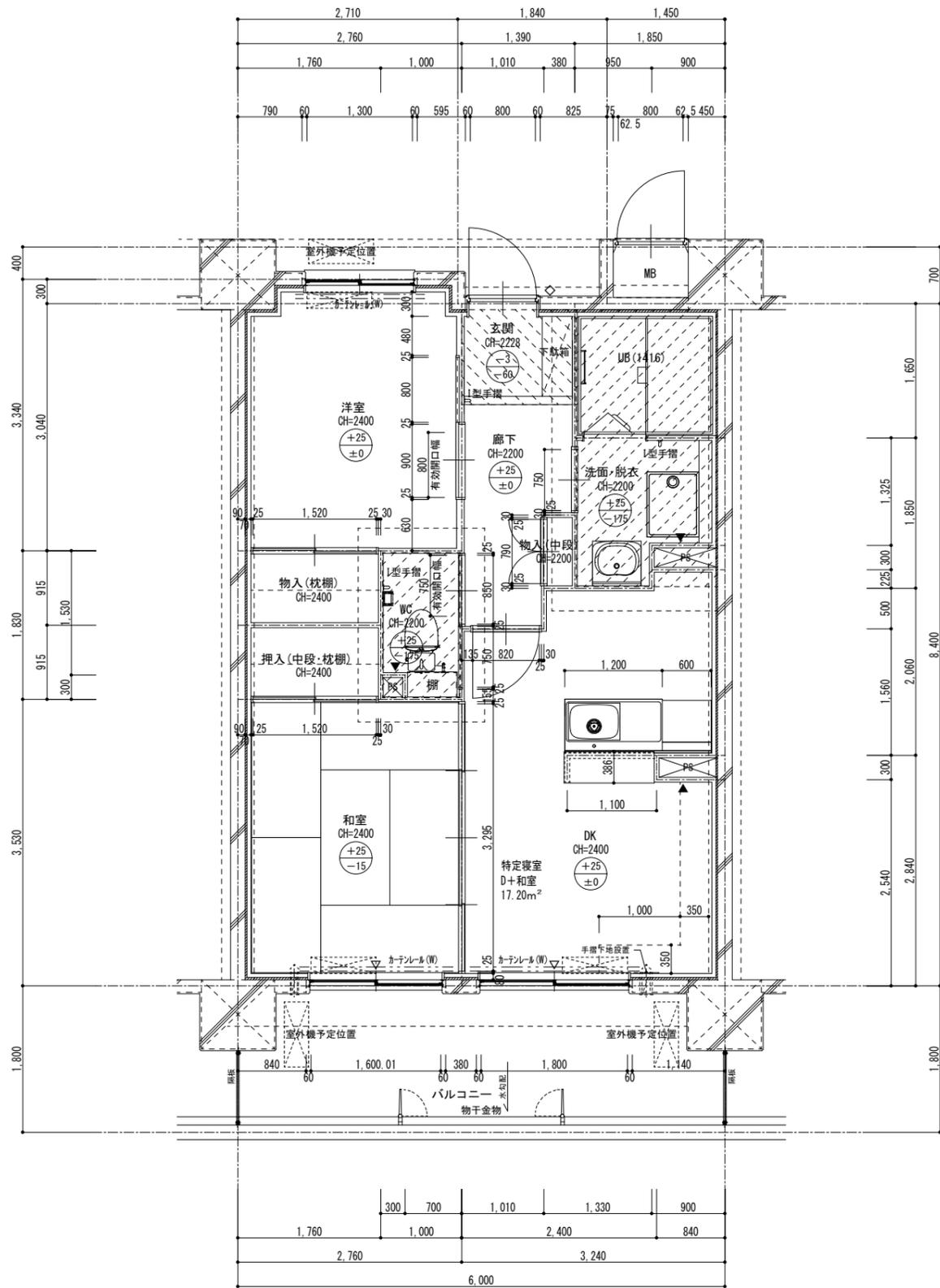
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

設計図
SCALE 1/50
JOB No. A 038



	スラブ下り範囲 (洗面室廻り SL-175)
	スラブ下り範囲 (玄関廻り SL-60)
	鉄筋コンクリート造
	硬質ウレタンフォーム t=30 現場吹付
	基準SLからの仕上げ高さ
	基準SLからのスラブ天高さ
	給気用スリーブ 100φ・150φ
	空調用スリーブ 75φ
	点検口250角
	掃出し窓
	住戸室名札取付位置

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

凡例	



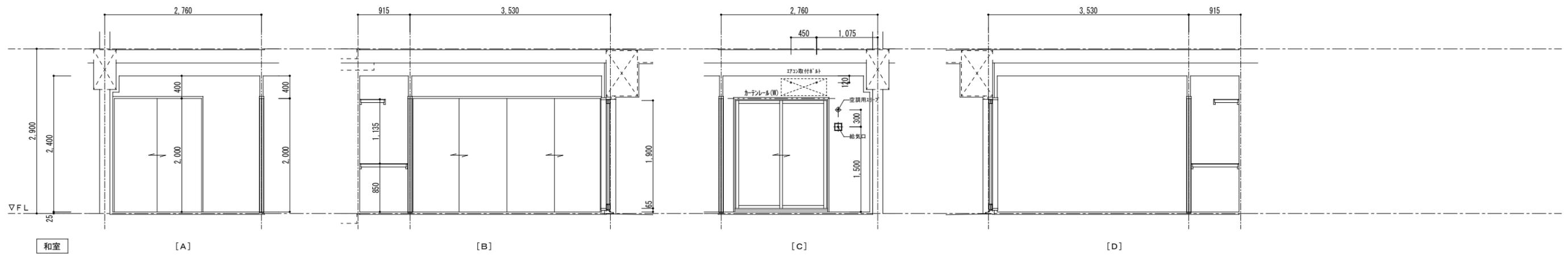
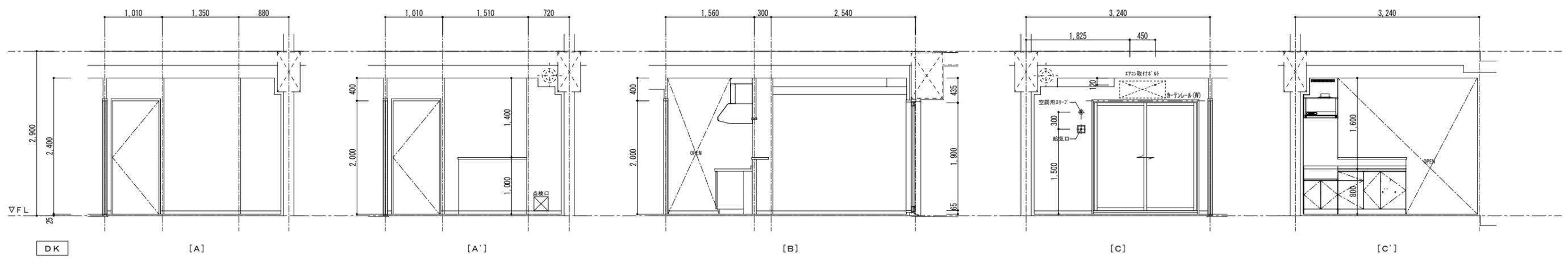
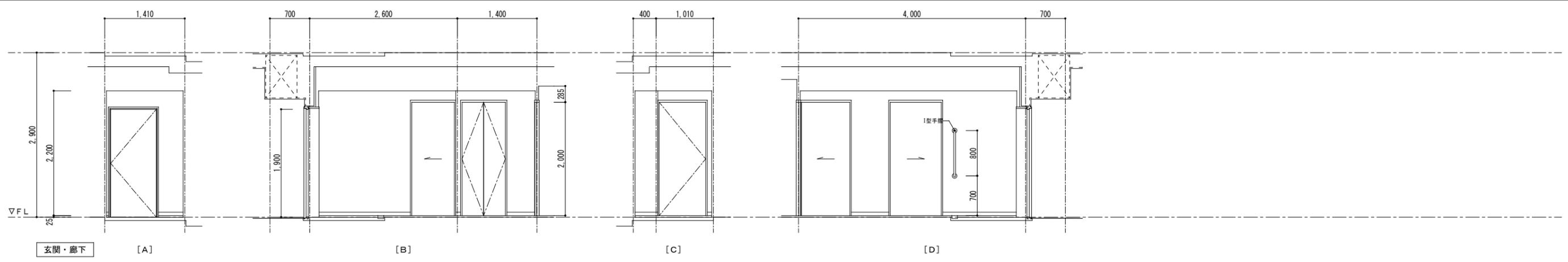
さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早福田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
2DK 平面詳細図		SCALE	JOB	20080
		No.	A	039



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日
△		
△		
△		

NOTE
凡例



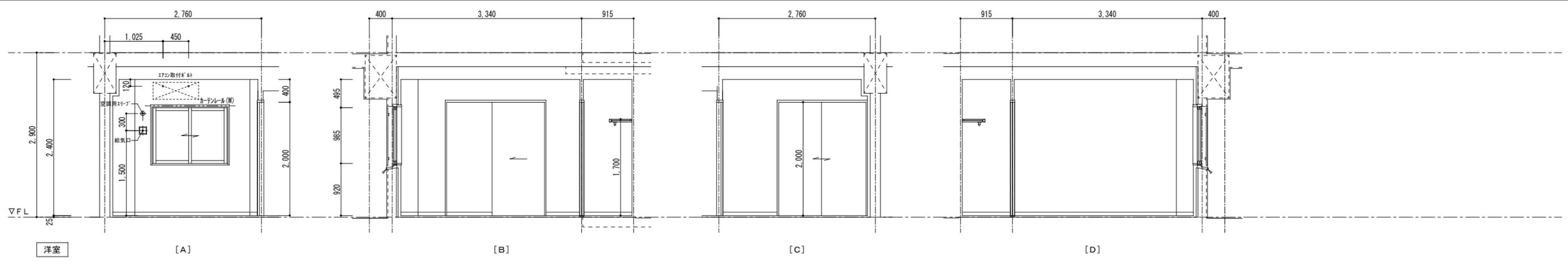
さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

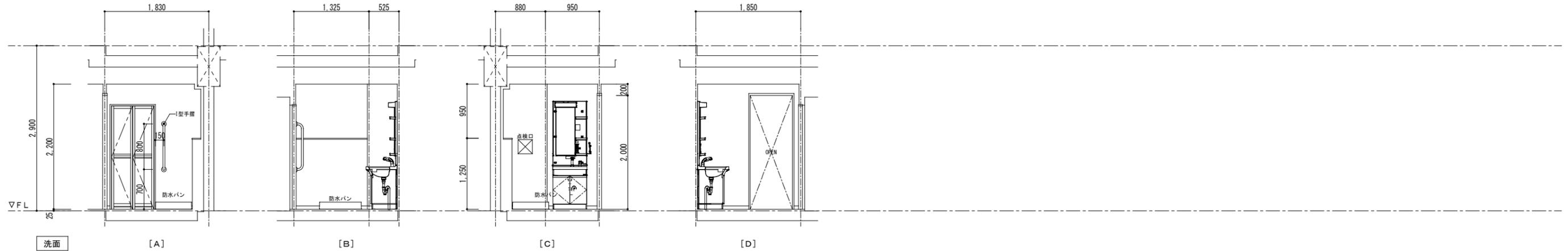
Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

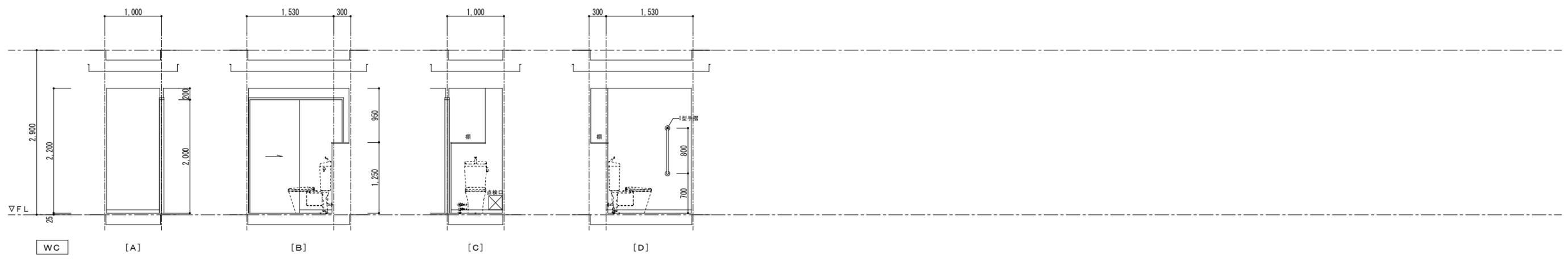
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
2DK 展開図 (1)		SCALE	JOB	20080
		No.	A	040



洋室 [A] [B] [C] [D]



洗面 [A] [B] [C] [D]



WC [A] [B] [C] [D]

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日
△		
△		
△		

NOTE
凡例

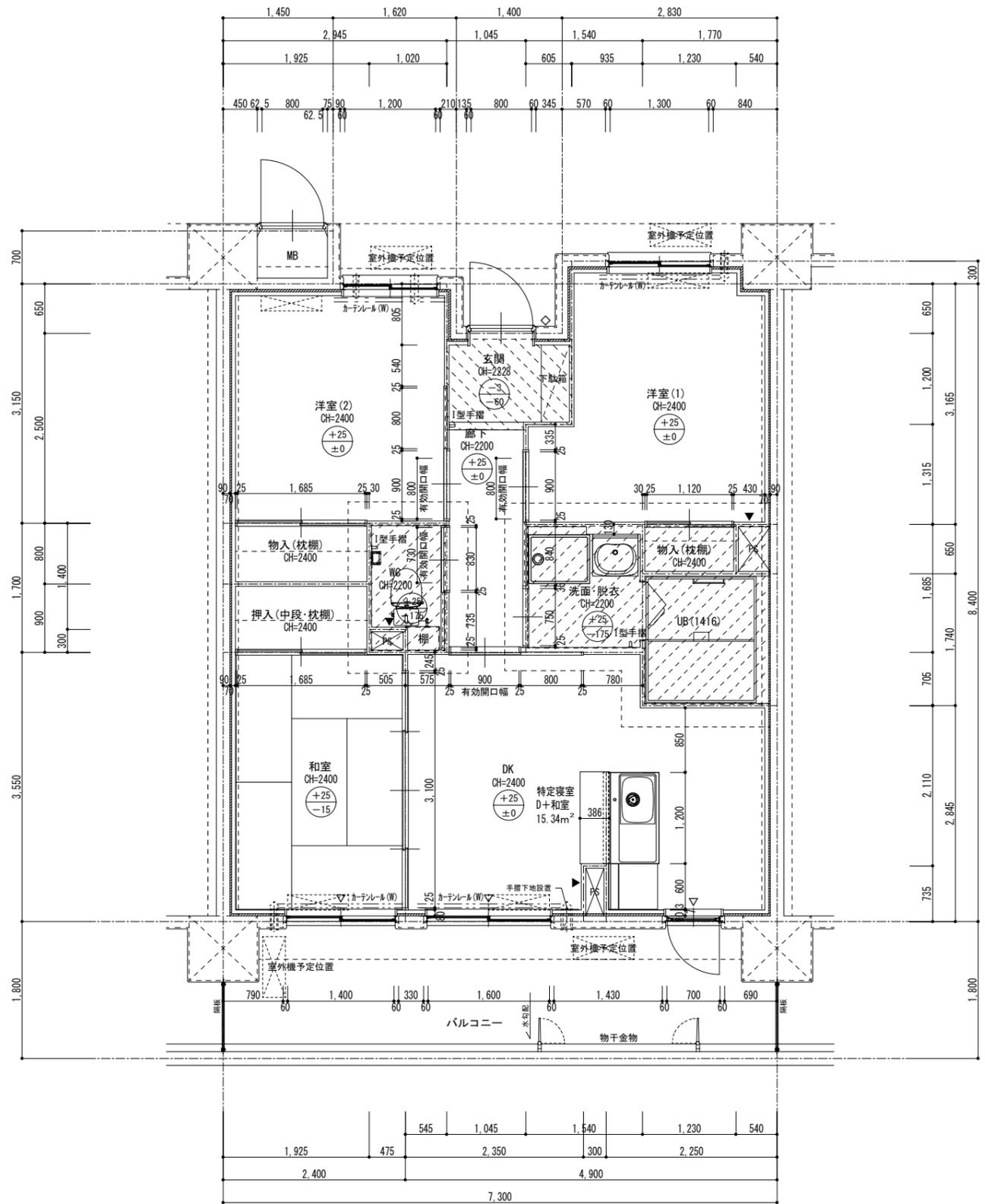

さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
2DK 展開図 (2)		SCALE	JOB	20080
		No.	A	041



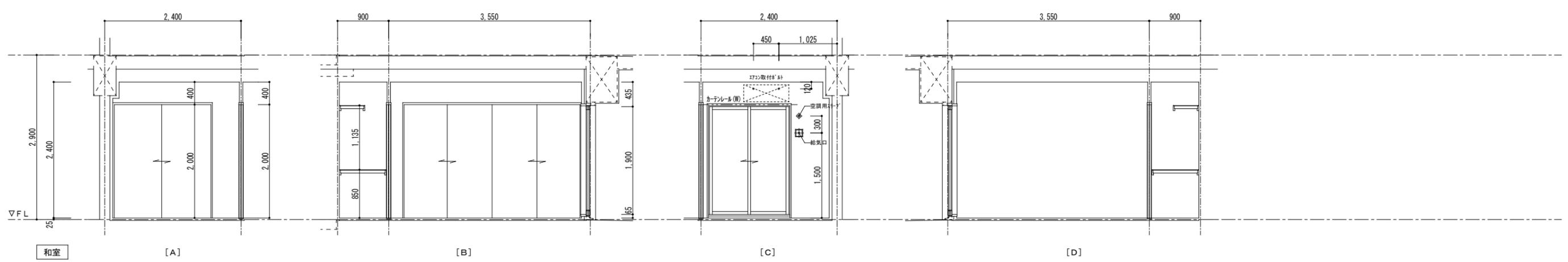
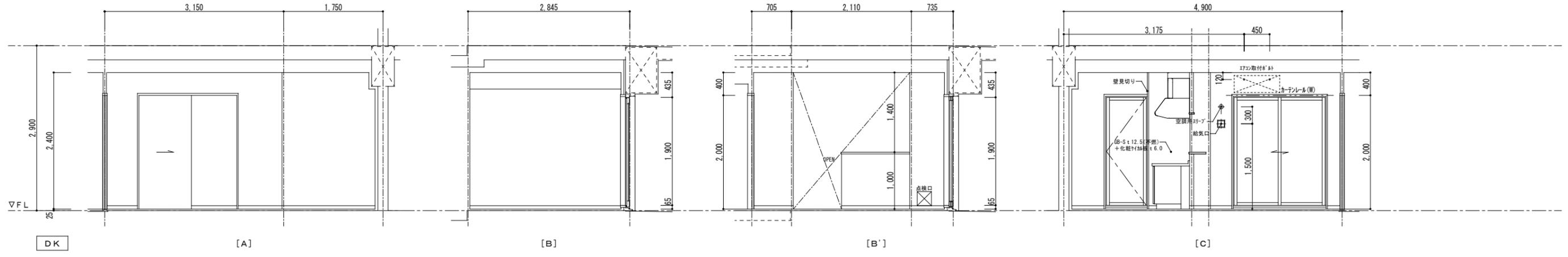
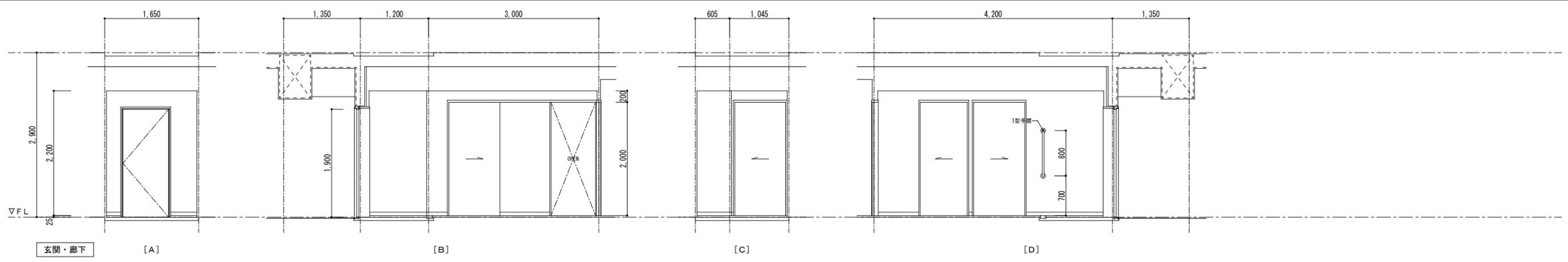
	スラブ下り範囲 (洗面室廻り SL-175)
	スラブ下り範囲 (玄関廻り SL-60)
	鉄筋コンクリート造
	硬質ウレタンフォーム t=30 現場吹付
	基準SLからの仕上げ高さ
	基準SLからのスラブ天高さ
	給気用スリーブ 100φ・150φ
	空調用スリーブ 75φ
	点検口250角
	掃出し窓
	住戸室名札取付位置

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE
	△	凡例
	△	

さくら建築設計 株式会社	
広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	

Checked	Drawn
一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
3DK 平面詳細図		SCALE	JOB	20080
		No.	A	042



変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

NOTE	
凡例	

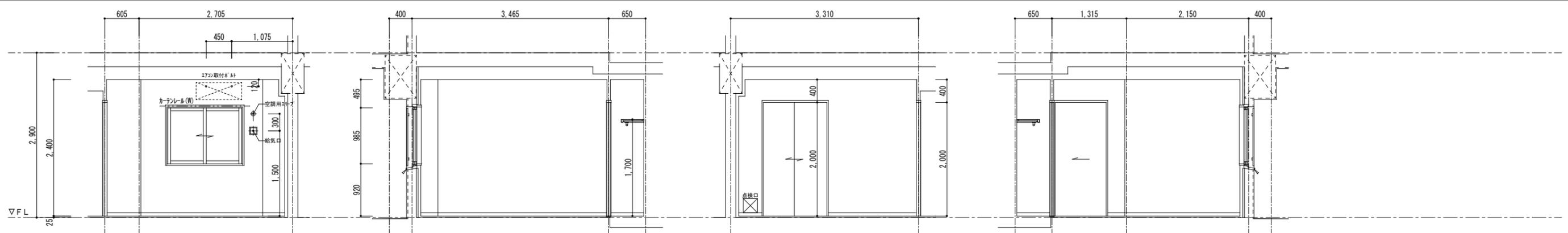

さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

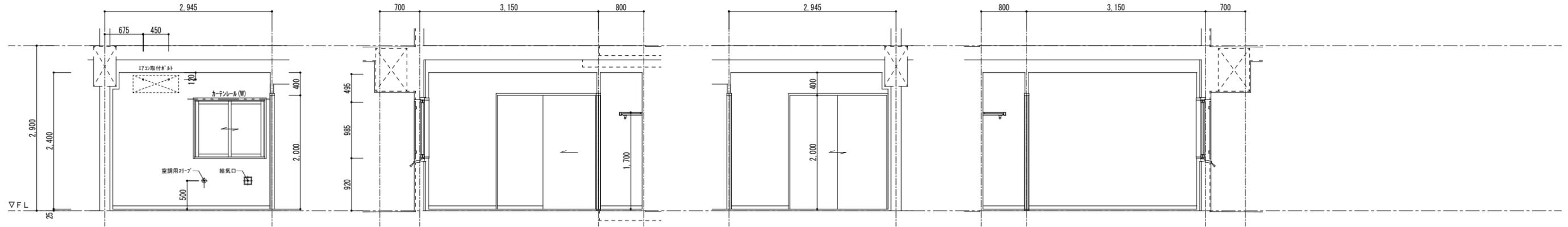
Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

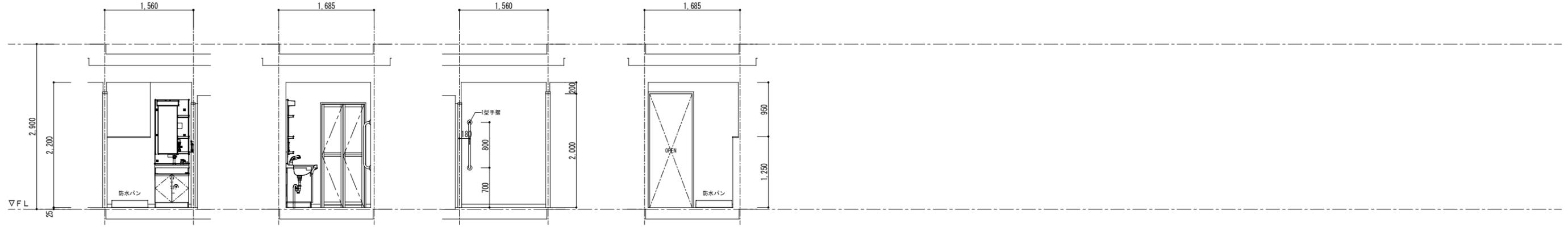
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
3DK 展開図 (1)		SCALE	JOB	20080
		No.	A	043



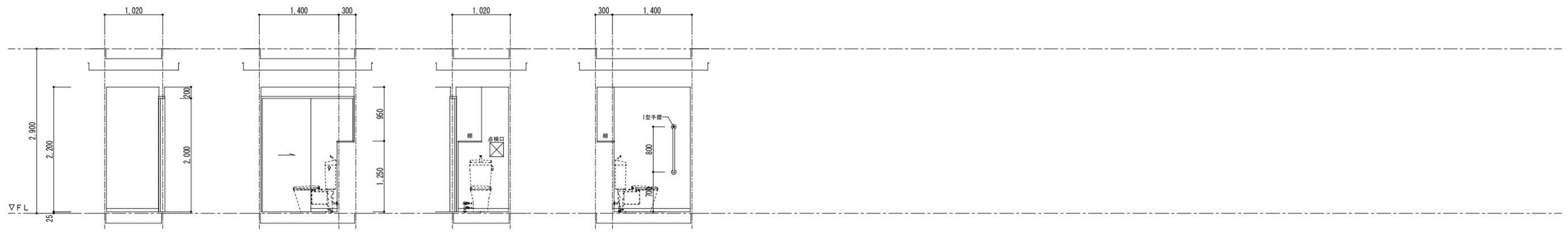
洋室(1) [A] [B] [C] [D]



洋室(2) [A] [B] [C] [D]



洗面 [A] [B] [C] [D]



WC [A] [B] [C] [D]

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日
△		
△		
△		

NOTE	凡例
------	----

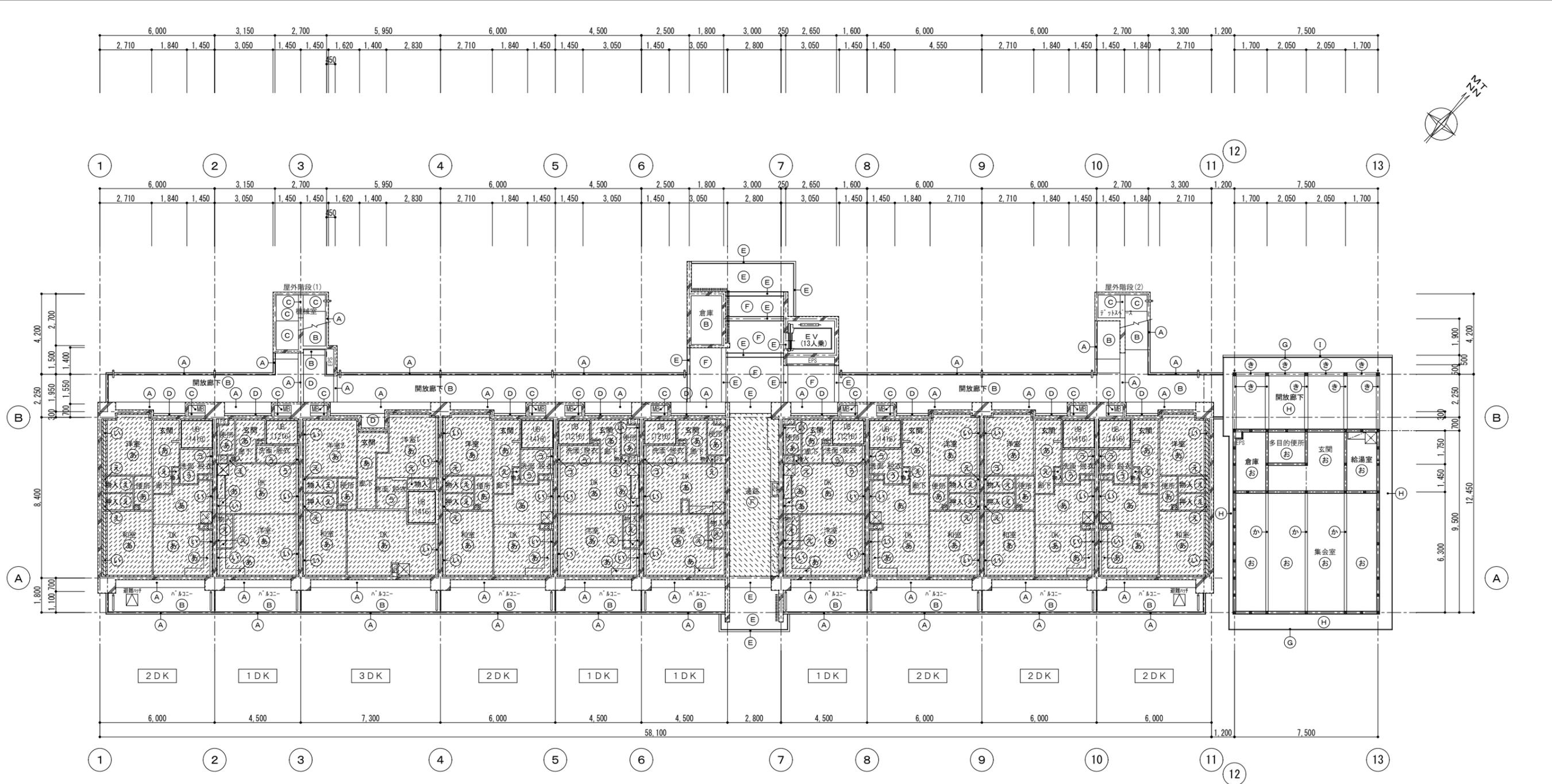

さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早福田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
3DK 展開図 (2)		SCALE	JOB	20080
1/50	No.	A	044	



1階天井伏図 S=1/150

凡例					
あ	GB-D t=9.5	A	コンクリート打放し補修 複層塗材E吹付(アクリル系)		天井断熱: 硬質ウレタンフォーム種IH (現場吹付工法) t=20を示す
い	GB-D t=12.5	B	コンクリート打放し補修 外装薄塗材S1吹付		(梁部: t=20、スラブ部: t=20)
う	GB-S t=9.5	C	コンクリート打放し補修		梁断熱: 硬質ウレタンフォーム種IH (現場吹付工法) t=50を示す
え	シブレット合板 t=4.0	D	ケイカル板 t=6.0貼 外装薄塗材S1吹付		天井断熱: A種押出法* リスレンフォーム種b t=70を示す
お	GB-D t=9.5 EP塗装	E	コンクリート打放し補修 DP-2		
か	登り梁120×420 自然系保護塗装	F	ケイカル板 t=6.0貼 DP-2		換気グリッドを示す。
き	梁化粧貼: ケイカル板(木目) t=12	G	破風: 押出成形ポリ板(木目) H=215		天井点検口(450角 スリムタイプ) 1F共用部:5ヶ所
		H	軒裏: ケイカル板(木目) t=12		K: レジューブ
		I	軒樋		K: 吊戸棚
<p>※ へ'&#226;、開放廊下については、@2,500内外で、 クワシ誘発目地(シム処理)をとること。</p>					

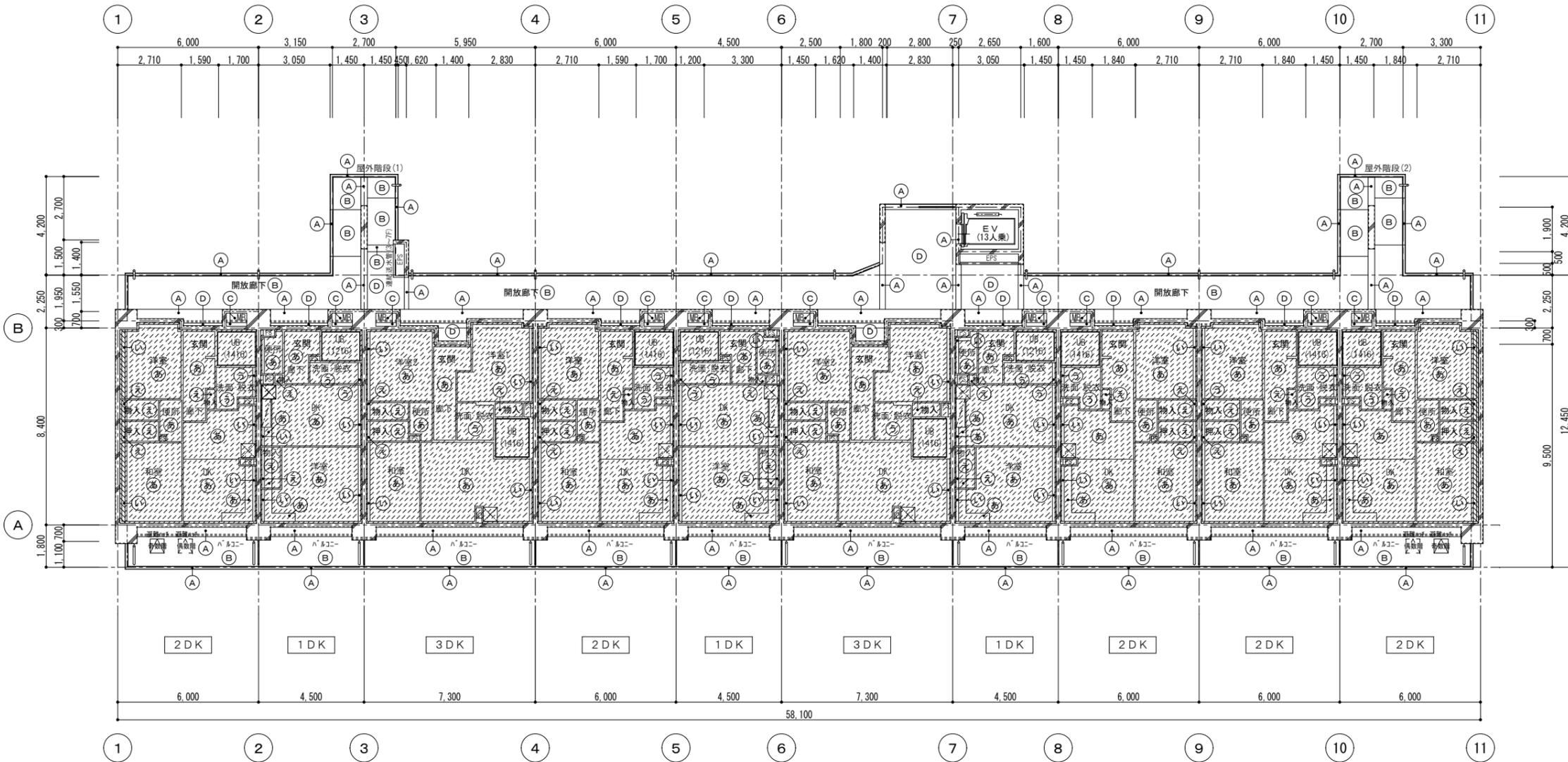
変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

Checked	Drawn
一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	

さくら建築設計
 株式会社
 広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

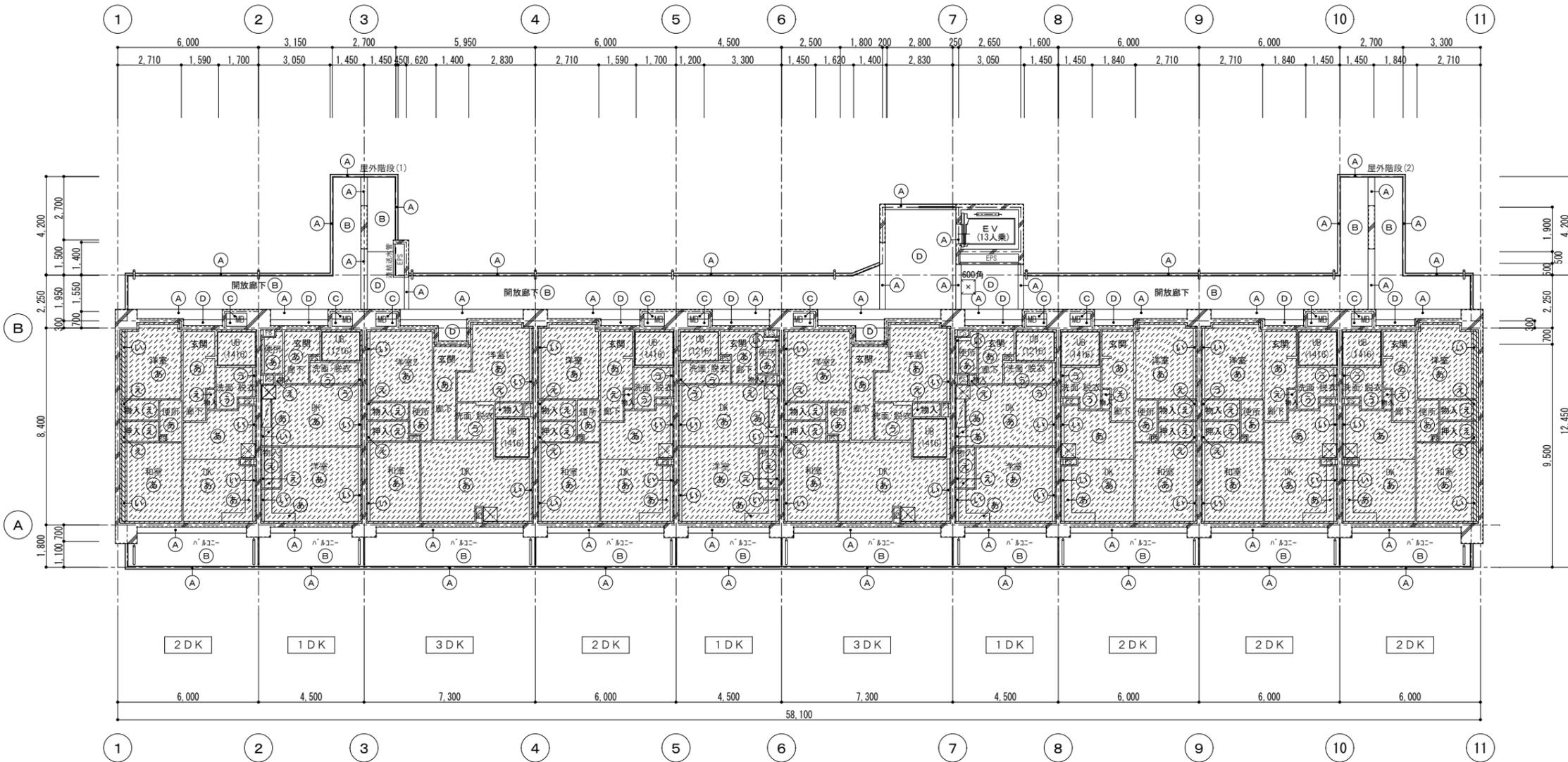
設計図	DATE	2022/9/20
1階天井伏図	SCALE	20080
	No.	A 045

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)	
設計図	DATE
1階天井伏図	2022/9/20
SCALE	JOB
1/150	20080
No.	
A	045



2～7階天井伏図 S=1/150

凡例	
あ	GB-D t=9.5
い	GB-D t=12.5
う	GB-S t=9.5
え	ソフ'リット合板 t=4.0
お	GB-D t=9.5 EP塗装
か	登り梁120×420 自然系保護塗装
A	コクリト打放し補修 複層塗材E吹付(アクリル系)
B	コクリト打放し補修 外装薄塗材Si吹付
C	コクリト打放し補修
D	ケイ加板 t=6.0貼 外装薄塗材Si吹付
E	コクリト打放し補修 DP-2
F	ケイ加板 t=6.0貼 DP-2
G	破風: 押出成形セト板(木目) H=215
H	軒裏: ケイ加板(木目) t=12
I	軒樋
	天井断熱: 硬質ウレタンフォーム種1H (現場吹付工法) t=20を示す (梁部: t=20、ｽﾌﾟﾗ'部: t=20)
	梁断熱: 硬質ウレタンフォーム種1H (現場吹付工法) t=50を示す
	天井断熱: A種押出法ｽ'ﾘｽﾌﾟﾛﾌﾞｰﾙ種b t=70を示す
	換気ﾀﾞｸﾄﾙｰﾄを示す。
	天井点検口(450角 ｽﾘｯﾌﾟ) 1F共用部:5ヵ所
	K: ﾚｯｼﾞ'ﾌﾞｰﾄﾞ
	K: 吊戸棚
	※ ﾈ'ﾙｰﾄ-開放廊下については、@2,500内外で、 ｸﾞﾗｯｸ'誘発目地(ｼｰﾙ'処理)をとること。



8階天井伏図 S=1/150

凡例	
あ	GB-D t=9.5
い	GB-D t=12.5
う	GB-S t=9.5
え	シフト合板 t=4.0
お	GB-D t=9.5 EP塗装
か	登り梁120×420 自然系保護塗装
A	コクリト打放し補修 複層塗材E吹付(アクリル系)
B	コクリト打放し補修 外装薄塗材Si吹付
C	コクリト打放し補修
D	付加板 t=6.0貼 外装薄塗材Si吹付
E	コクリト打放し補修 DP-2
F	付加板 t=6.0貼 DP-2
G	破風：押出成形珪藻土板(木目) H=215
H	軒裏：付加板(木目) t=12
I	軒樋
	天井断熱：硬質ウレタンフォーム種1H(現場吹付工法) t=20を示す (梁部：t=20、ｽﾌﾟﾗ部：t=20)
	梁断熱：硬質ウレタンフォーム種1H(現場吹付工法) t=50を示す
	天井断熱：A種押出法ｽﾌﾟﾗﾌﾟﾗﾝﾄﾞ種b t=70を示す
	換気ダクト
	天井点検口(特記以外450角 スリムﾀﾞｯｸ) 1F共用部5ヵ所
	K：ｼｯｼﾞﾌﾞｰﾄﾞ
	K：吊戸棚
	※ ｼｯｼﾞﾌﾞｰﾄﾞ、開放廊下については、@2,500内外で、 クック誘発目地(ｼｰﾙ処理)をとること。

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

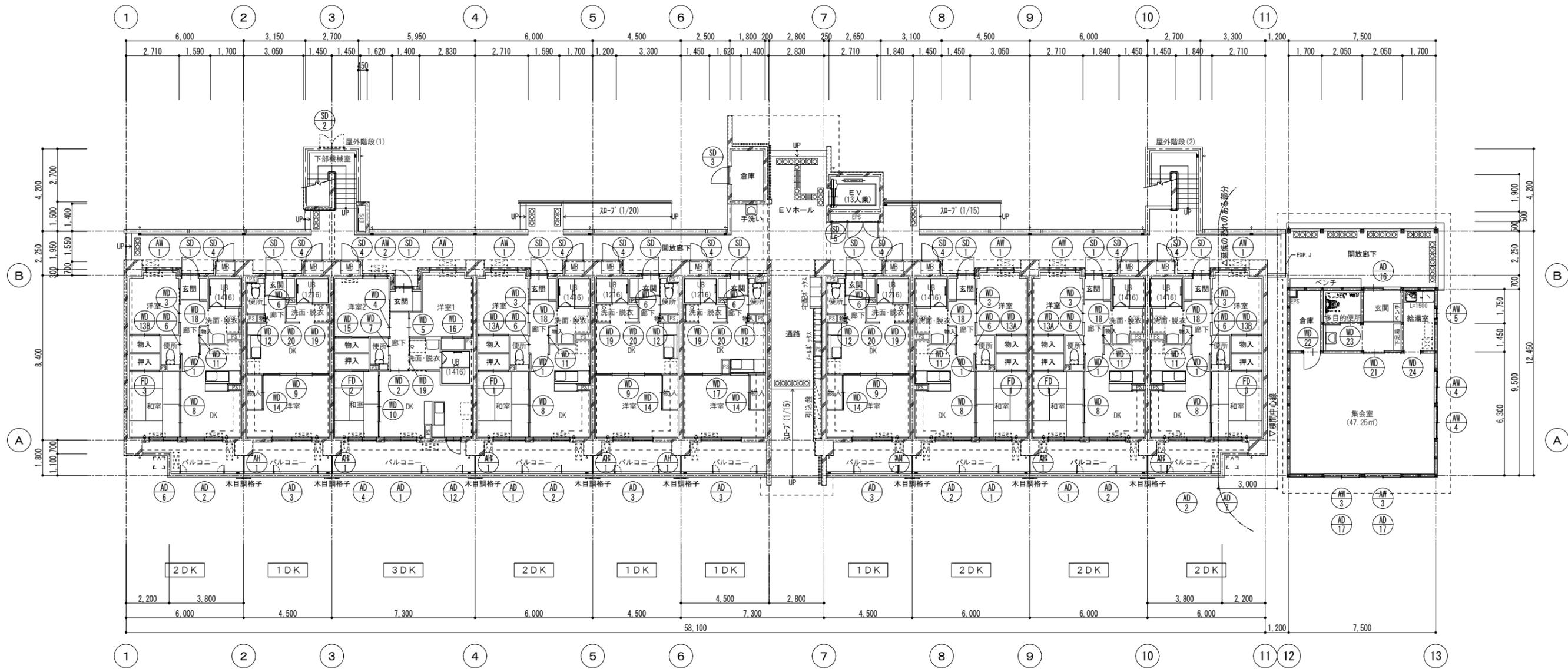
Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行
Drawn	


さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21(1)第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事(建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
8階天井伏図		SCALE	JOB	20080
		No.	A	047
		1/150		



1階建具配置図 S=1/150

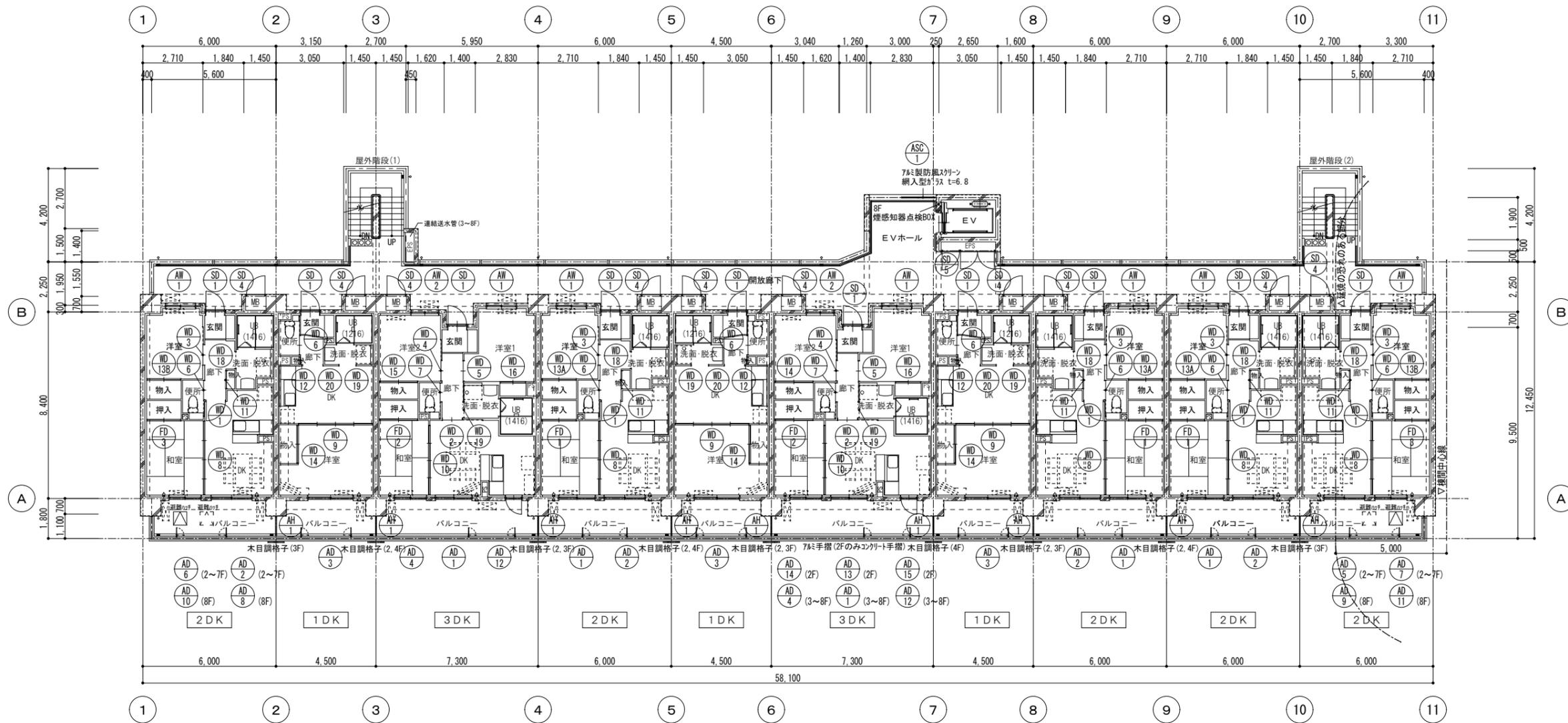
	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE
	△	凡例
	△	

NOTE	
凡例	

さくら建築設計株式会社
 広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked	Drawn
一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	

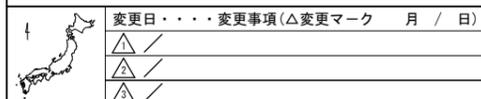
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
1階建具配置図		SCALE	JOB	20080
		No.	A	048
		1/150		



2～8階建具配置図 S=1/150

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE		さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn 	市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)			設計図	DATE	2022/9/20			
														SCALE	JOB	20080
															No.	A
								2～8階建具配置図		1/150						

符号	SD 1	鋼製片開きフラスコ戸 (特)	SD 2	鋼製両開きフラスコ戸	SD 3	鋼製片開きフラスコ戸	SD 4	鋼製片開き戸 (片面フラスコ)	SD 5	鋼製両開き+片開き戸 (片面フラスコ)
形状										
位置/数量	住戸玄関 × 80		機械室 × 1		倉庫 × 1		住戸MB × 80		EPS × 8	
仕上	SOP塗装		SOP塗装		SOP塗装		SOP塗装		SOP塗装	
見込み	80 わく形状: S1型 沓摺形状: G型		80 わく形状: S1型 沓摺形状: G型		80 わく形状: S1型 沓摺形状: F型		33 わく形状: S1型 沓摺形状: F型		33 わく形状: - 沓摺形状: A	
金物	3枚SUS丁番、レバーハンドル錠、ドアコーブ、ドアガード、AT枠ガード、ホスト受箱付、他標準金物一式		SUS丁番、シリンダー錠、グレンホルド錠、フラスコとし、4周気密ゴム、他標準金物一式		SUS丁番、レバーハンドル錠、ドアコーブ、他標準金物一式		SUS丁番、ケスレ錠、ワイヤロック錠、換気口、他標準金物一式		SUS丁番、ケスレ錠、他標準金物一式、フラスコ	
備考	特定防火設備 (常時閉鎖式、ドアストップ無し)		I77付							
符号	ASC 1	7mm製防風スクリーン			AH 1	7mm製隔て板				
形状										
位置/数量	EV室 × 7				バルコニー × 71					
仕上	7mm製、B-1 (艶消し)				ケイカル板 t=5.0 EP-G					
見込み	55 わく形状: - 沓摺形状:		わく形状: 沓摺形状:		40 わく形状: - 沓摺形状: -		わく形状: 沓摺形状:		わく形状: 沓摺形状:	
金物	水切り、他標準金物一式				避難案内ステッカー貼 (両面)					
備考										
符号										
形状										
位置/数量										
仕上										
見込み	わく形状: 沓摺形状:		わく形状: 沓摺形状:		わく形状: 沓摺形状:		わく形状: 沓摺形状:		わく形状: 沓摺形状:	
金物										
備考										
符号										
形状										
位置/数量										
仕上										
見込み	わく形状: 沓摺形状:		わく形状: 沓摺形状:		わく形状: 沓摺形状:		わく形状: 沓摺形状:		わく形状: 沓摺形状:	
金物										
備考										



変更日・・・変更事項 (△変更マーク 月 / 日)	NOTE
△ /	凡例
△ /	
△ /	

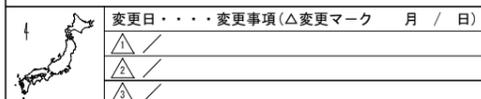

さくら建築設計
 株式会社
 SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

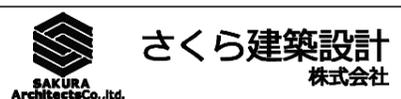
Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

市宮新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
建具表 (2) (金属製建具)		SCALE	JOB	20080
1/100	No.	A	051	

符号	WD 1	木製片開き戸	WD 2	木製片引き戸	WD 3	木製片引き戸	WD 4	木製片引き戸	WD 5	木製片引き戸	WD 6	木製片引き戸	WD 7	木製片引き戸
形状														
位置/数量	DK × 40		DK × 15		洋室 × 40		洋室 × 15		洋室 × 15		WC × 65		WC × 15	
仕上	#リ合板(ワッパ) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(ワッパ) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(ワッパ) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(ワッパ) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(ワッパ) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(ワッパ) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(ワッパ) 枠: SOP塗、厚厚: 33	
見込み	80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -		115 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -		115 わく形状: - 沓摺形状: -	
金物	SUS丁番、レール、戸当り、ドアホヰ - 他標準金物一式		埋込ワッパ、戸車、掘込引手、引き戸スリッパ-2箇所 他標準金物一式		埋込ワッパ、戸車、掘込引手、引き戸スリッパ-2箇所 他標準金物一式		埋込ワッパ、戸車、掘込引手、引き戸スリッパ-2箇所 他標準金物一式		埋込ワッパ、戸車、掘込引手、引き戸スリッパ-2箇所 他標準金物一式		埋込ワッパ、戸車、掘込引手、引き戸スリッパ-2箇所、表示錠 他標準金物一式		埋込ワッパ、戸車、掘込引手、引き戸スリッパ-2箇所、表示錠 他標準金物一式	
備考			引き残し 100		引き残し 100		引き残し 100		引き残し 100		引き残し 100		引き残し 100	
符号	WD 8	木製4連引き戸	WD 9	木製4連引き戸	WD 10	木製4連引き戸	WD 11	木製両開き戸	WD 12	木製片開き戸	WD 13A	木製引違い戸	WD 13B	木製引違い戸
形状														
位置/数量	和室 × 40		洋室 × 24		和室 × 15		廊下 × 40		廊下 × 25		洋室 × 24		洋室 × 16	
仕上	#リ合板(DK側)、新鳥の子紙(和室側) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(ワッパ) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(DK側)、新鳥の子紙(和室側) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(表)、沓合板(裏) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(表)、沓合板(裏) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(表)、沓合板(裏) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(表)、沓合板(裏) 枠: SOP塗、厚厚: 33	
見込み	80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -	
金物	埋込ワッパ、戸車、掘込引手、引き戸スリッパ-4箇所 他標準金物一式		埋込ワッパ、戸車、掘込引手、引き戸スリッパ-4箇所 他標準金物一式		埋込ワッパ、戸車、掘込引手、引き戸スリッパ-4箇所 他標準金物一式		取手、スライド丁番、マグネット付 他標準金物一式		取手、スライド丁番、マグネット付 他標準金物一式		埋込ワッパ、戸車、掘込引手 他標準金物一式		埋込ワッパ、戸車、掘込引手 他標準金物一式	
備考														
符号	WD 14	木製引違い戸	WD 15	木製引違い戸	WD 16	木製引違い戸	WD 17	木製4連引き戸	WD 18	木製3方枠	WD 19	木製3方枠	WD 20	木製引違い戸
形状														
位置/数量	洋室 × 25		洋室 × 15		洋室 × 15		洋室 × 1		洗面 × 40		洗面 × 25		DK × 25	
仕上	#リ合板(表)、沓合板(裏) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(表)、沓合板(裏) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(表)、沓合板(裏) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(ワッパ) 枠: SOP塗、厚厚: 33		SOP塗		SOP塗		SOP塗	
見込み	80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -	
金物	埋込ワッパ、戸車、掘込引手 他標準金物一式		埋込ワッパ、戸車、掘込引手 他標準金物一式		埋込ワッパ、戸車、掘込引手 他標準金物一式		埋込ワッパ、戸車、掘込引手、引き戸スリッパ-4箇所 他標準金物一式		-		-		-	
備考														
符号	WD 21	木製片引き戸	WD 22	木製片開き戸	WD 23	木製片引き戸	WD 24	木製引違い戸	FD 1	引違い襖	FD 2	引違い襖	FD 3	引違い襖
形状														
位置/数量	集会所: 集会所 × 1		集会所: 倉庫 × 1		集会所: 多目的便所 × 1		集会所: 給湯室 × 1		和室 × 24		和室 × 15		和室 × 16	
仕上	#リ合板(ワッパ) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(ワッパ) 枠: SOP塗、厚厚: 33		#リ合板(ワッパ) 枠: SOP塗、厚厚: 33		SOP塗		新鳥の子(表)、雲花紙(裏)、枠: 素地、框: スリッパ、厚厚: 21		新鳥の子(表)、雲花紙(裏)、枠: 素地、框: スリッパ、厚厚: 21		新鳥の子(表)、雲花紙(裏)、枠: 素地、框: スリッパ、厚厚: 21	
見込み	165 わく形状: - 沓摺形状: -		165 わく形状: - 沓摺形状: -		165 わく形状: - 沓摺形状: -		165 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -		80 わく形状: - 沓摺形状: -	
金物	埋込ワッパ、戸車、掘込引手、引き戸スリッパ-2箇所 他標準金物一式		SUS丁番、レール、戸当り、ドアホヰ - 他標準金物一式		埋込ワッパ、戸車、引き棒(L=450)、表示錠 引き戸スリッパ-2箇所、他標準金物一式		-		引手		引手		引手	
備考	引き残し 100				引き残し 100									



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例



広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn	市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)	設計図	DATE	2022/9/20
			建具表 (4) (木製建具)	SCALE	JOB	20080
				1/100	No.	A 053

符号	WD 101 木製片引き戸	WD 102 木製片引き戸	WD 103 木製片開き戸	WD 104 木製3方枠			
形状							
位置/数量	廊下 ×1	多目的便所 ×1	集会室 ×1	洗面 ×1			
確子	-	F4	-	-			
仕上	合板ワラック 枠: SOP塗、厚厚: 33	合板ワラック 枠: SOP塗、厚厚: 33	合板ワラック 枠: SOP塗、厚厚: 33	SOP塗			
見込み	165 わく形状: - 沓摺形状: -	165 わく形状: - 沓摺形状: -	165 わく形状: - 沓摺形状: -	165 わく形状: - 沓摺形状: -			
金物	埋込ワットレール、戸車、掘込引手、引き戸スライド-2箇所 他標準金物一式	埋込ワットレール、戸車、掘込引手、引き戸スライド-2箇所 他標準金物一式	SUST番、レール、戸当り、ドアロ-ザ- 他標準金物一式	-			
備考	引き残し 120	引き残し 120					
符号							
形状							
位置/数量							
確子							
仕上							
見込み							
金物							
備考							
符号							
形状							
位置/数量							
確子							
仕上							
見込み							
金物							
備考							
符号							
形状							
位置/数量							
確子							
仕上							
見込み							
金物							
備考							

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日
△		
△		
△		

NOTE	
凡例	


さくら建築設計
 株式会社

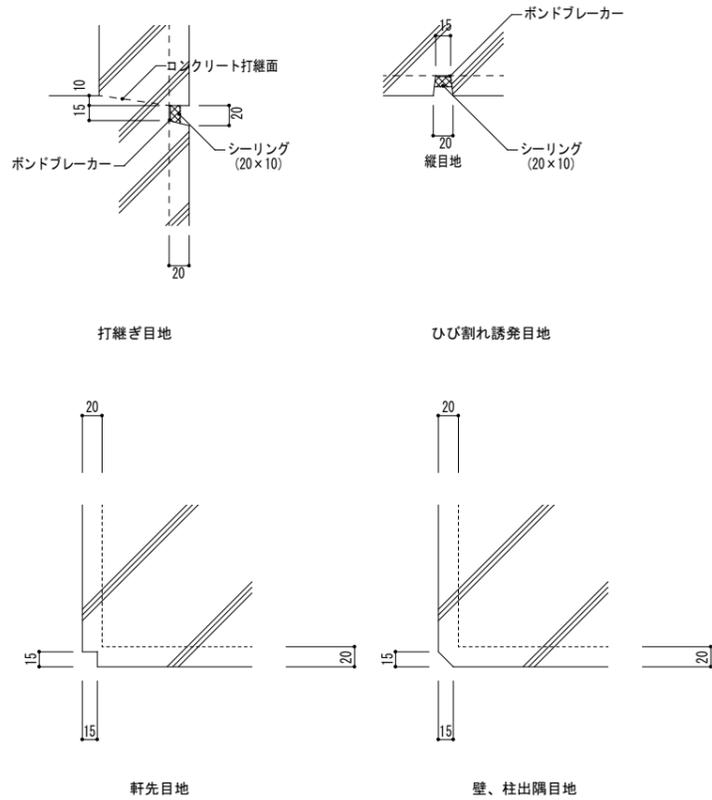
広島市東区牛田早福田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

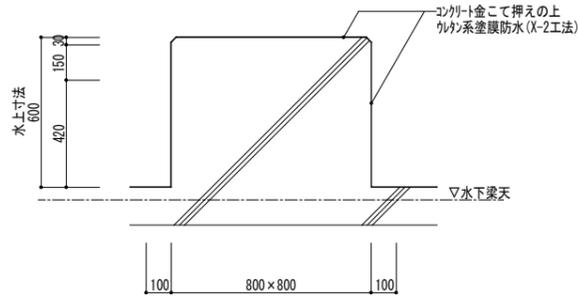
Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
建具表 (5) (木製建具)		SCALE	JOB	20080
1/100	No.	A	054	

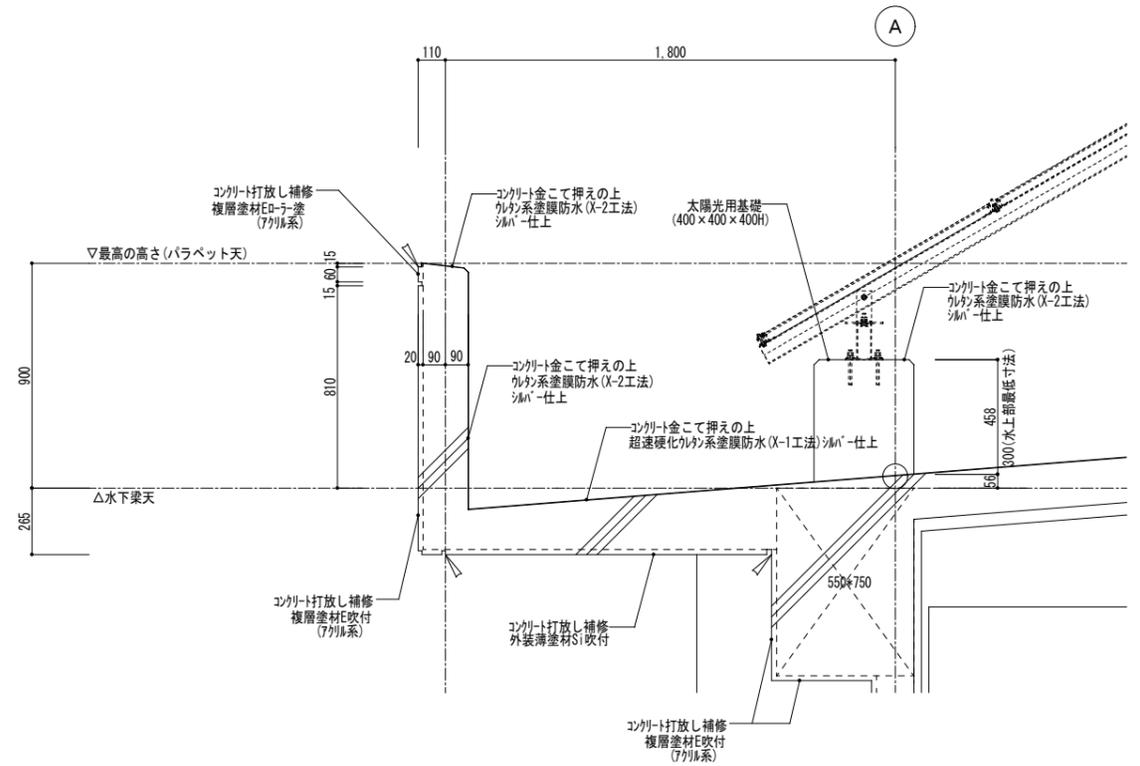
コンクリート目地詳細図 1/5



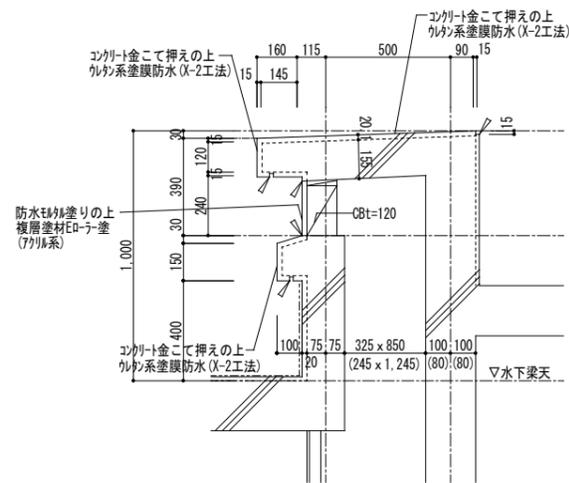
屋上設備基礎詳細図 1/20



パラペット廻り詳細図 1/20

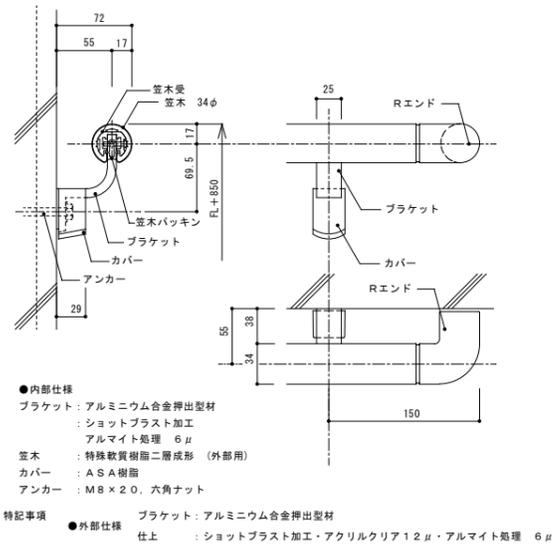


ハト小屋詳細図 1/20

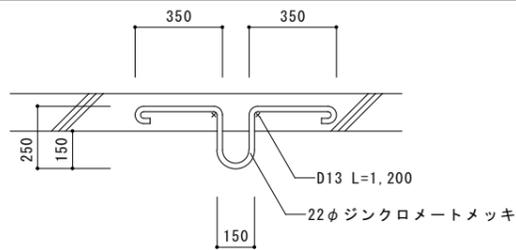


※ () の数値は③通側のハト小屋を示す

1F 階段、屋内スロープ 手摺詳細図 1/5

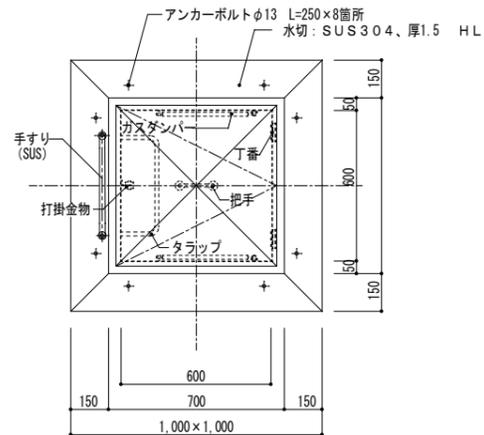


EVメンテ用吊りフック詳細図 1/20

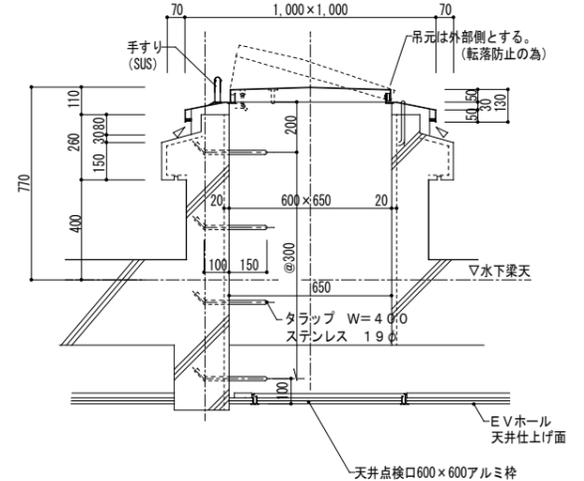


※ EV機械室内 2ヶ所取付 (取付位置はEV詳細図参照)

屋上点検口詳細図 1/20



点検用ハッチ: 600×600角 (内寸)
材質: SUS304、厚1.5 HL
金物: 丁番、把手、打掛金物、ガスダンパー
南京錠
鍵付: KS-RM6060SKH 同等品



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

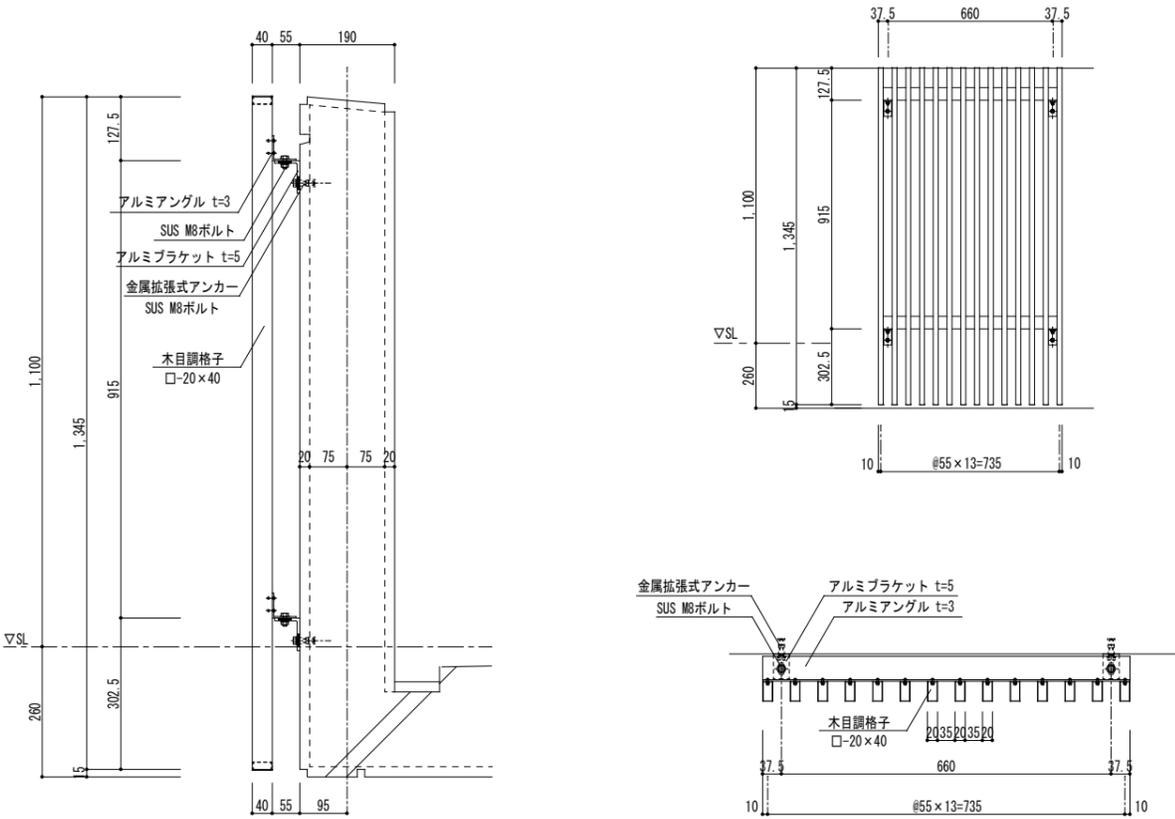
設計図	DATE	2022/9/20
部分詳細図 (1)	SCALE	JOB
	No.	A 055

さくら建築設計
株式会社
SAKURA Architects Co., Ltd.

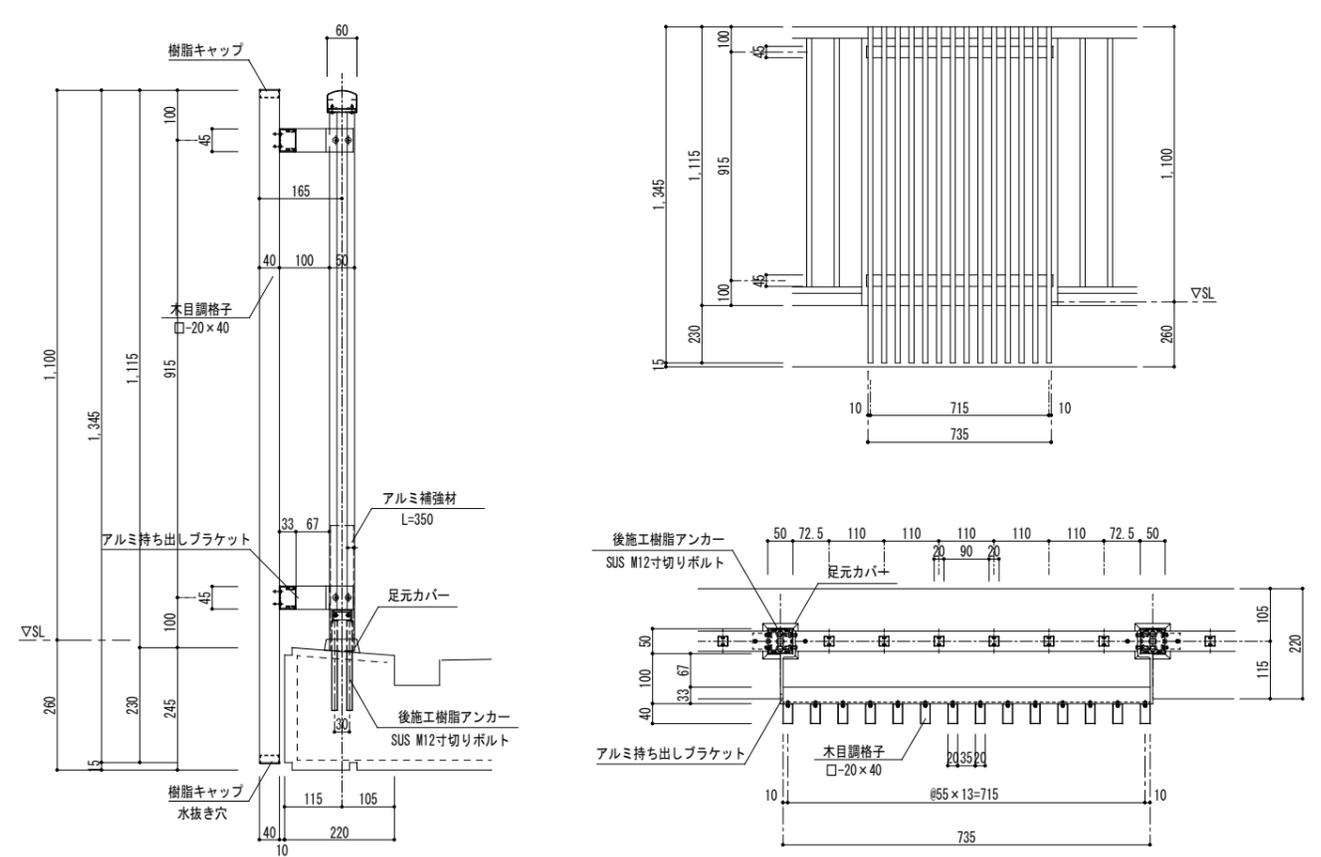
広島市東区牛田早福田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)
Checked 一級建築士登録 第243707号
Drawn 氏名 中島義行

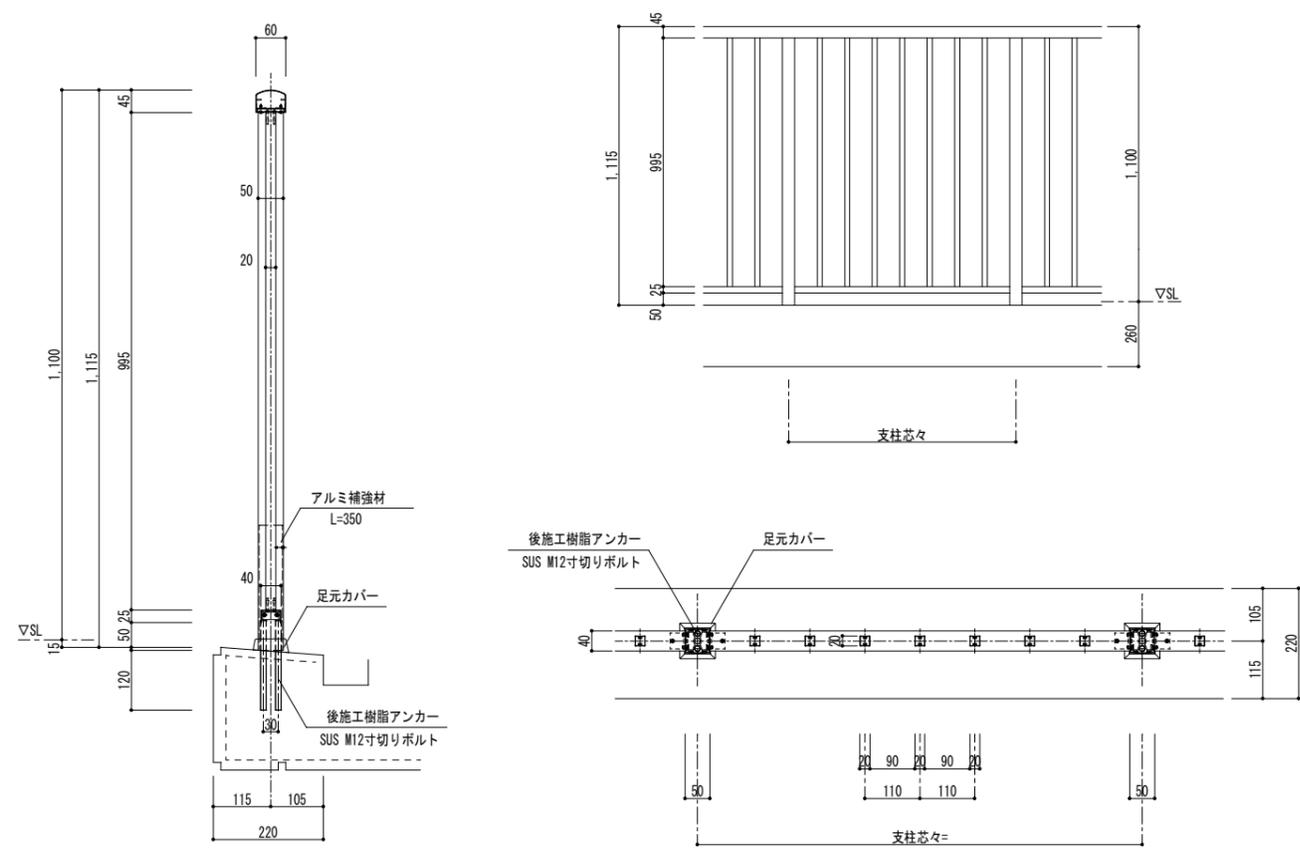
バルコニー手摺 木調格子 (コンクリート下地) 詳細図 1/10



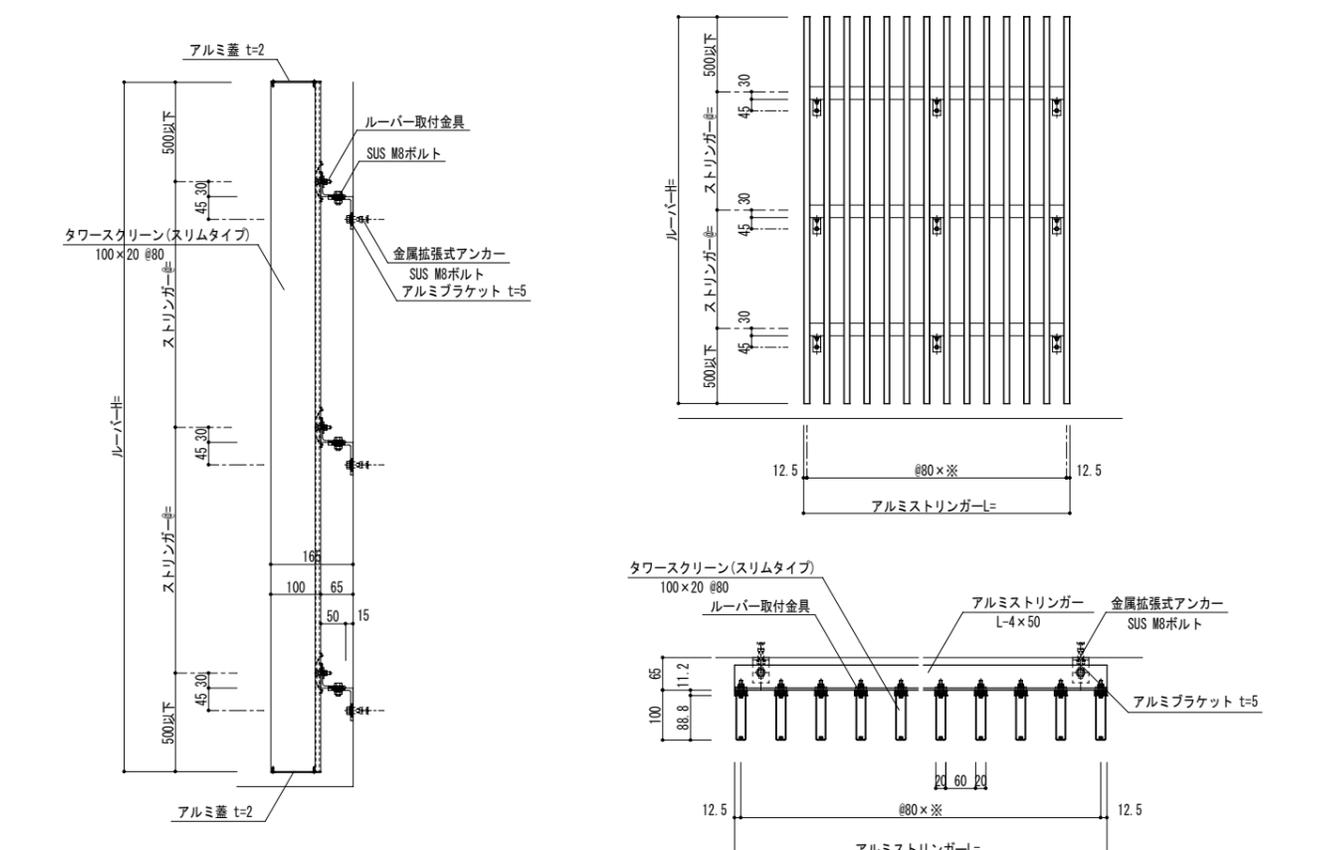
バルコニー手摺 木調格子 (アルミ手摺下地) 詳細図 1/10



バルコニー手摺 アルミ手摺詳細図 1/10



アルミ製木目調ルーバー詳細図 1/10



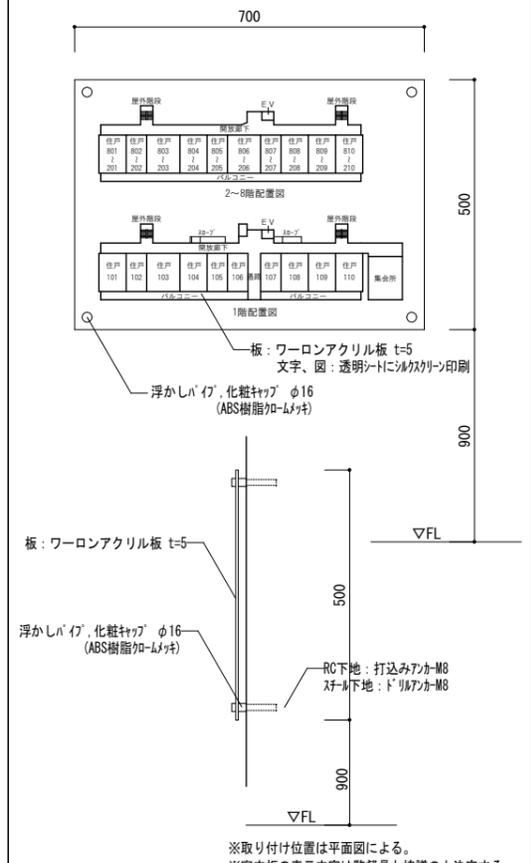
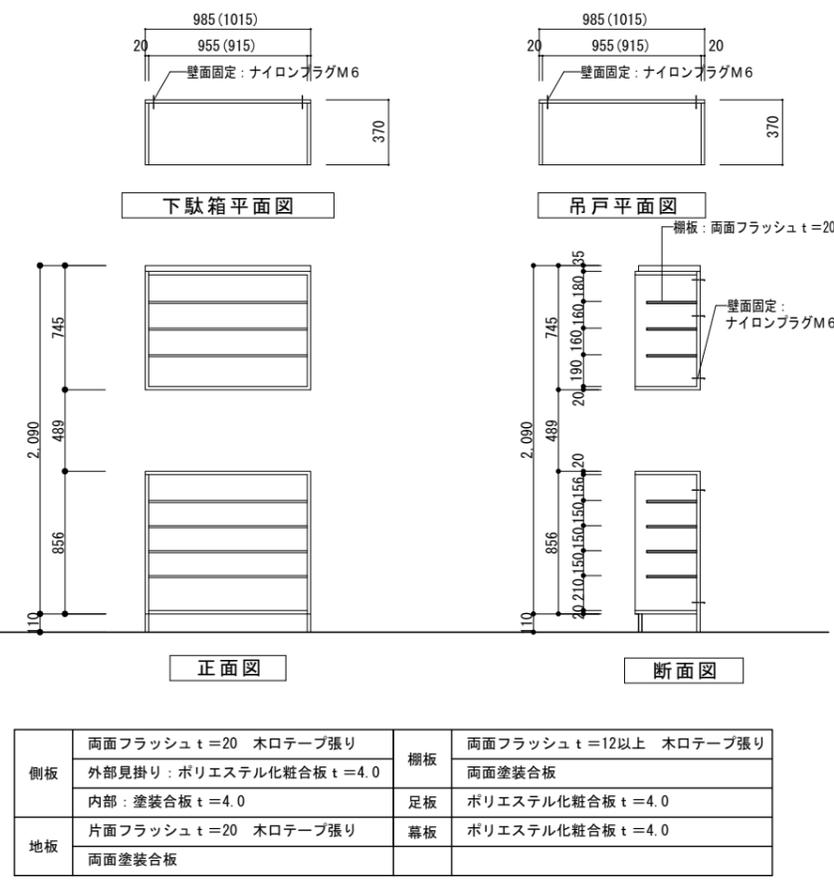
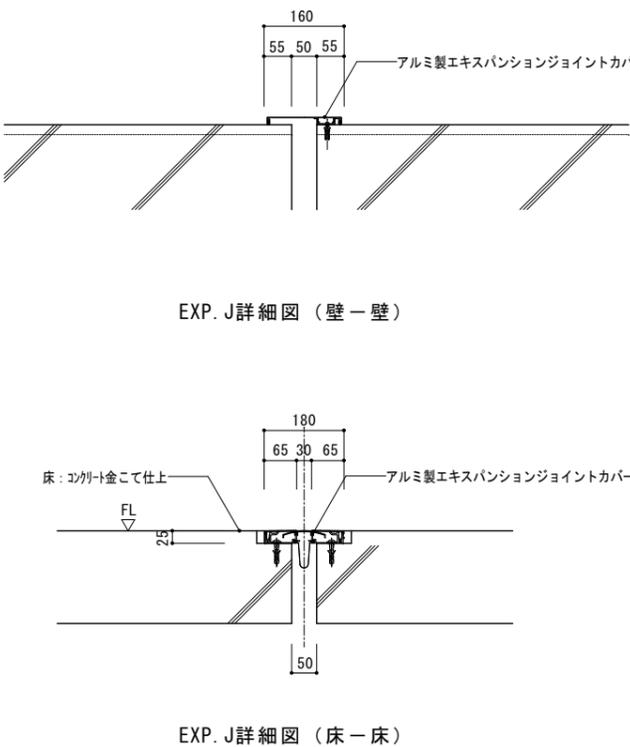
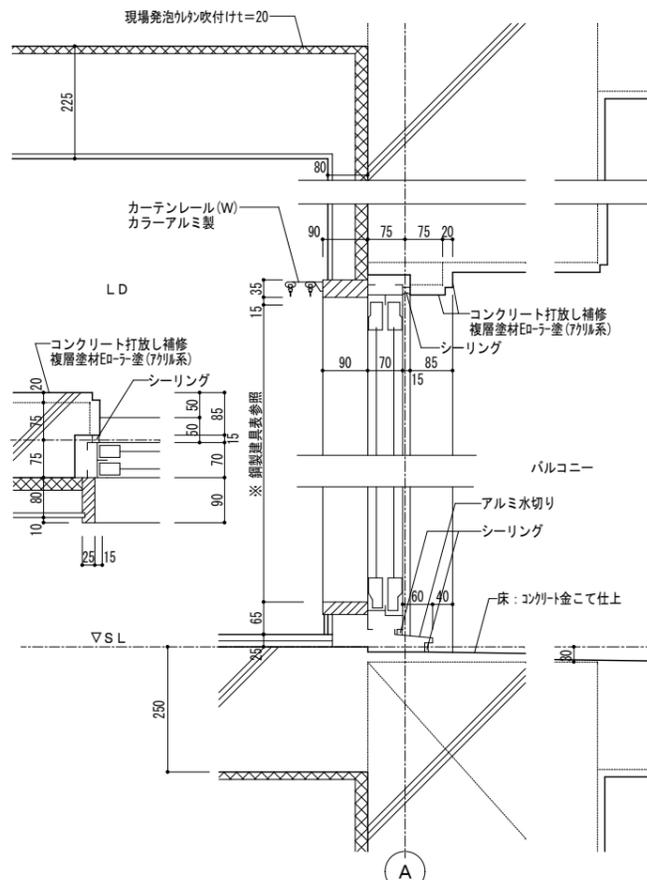
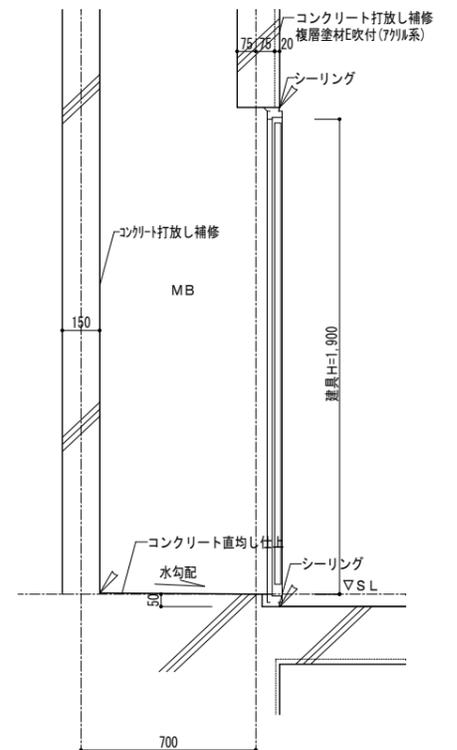
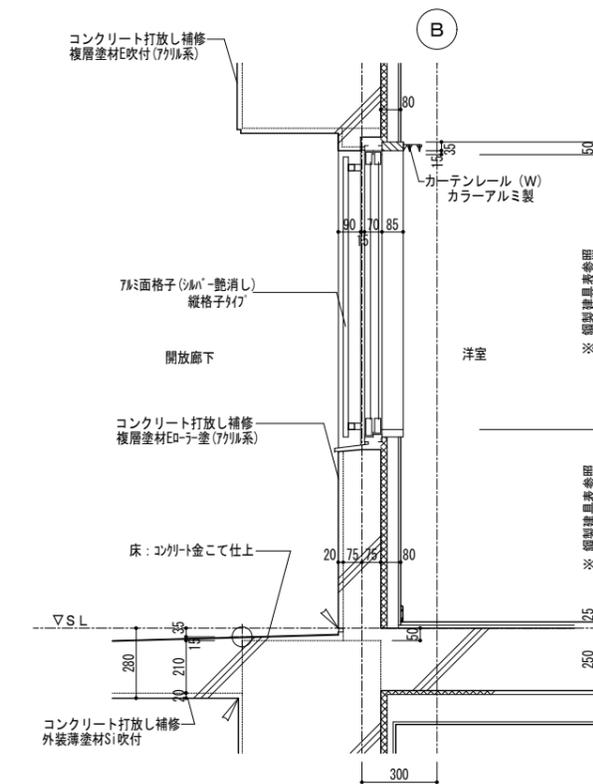
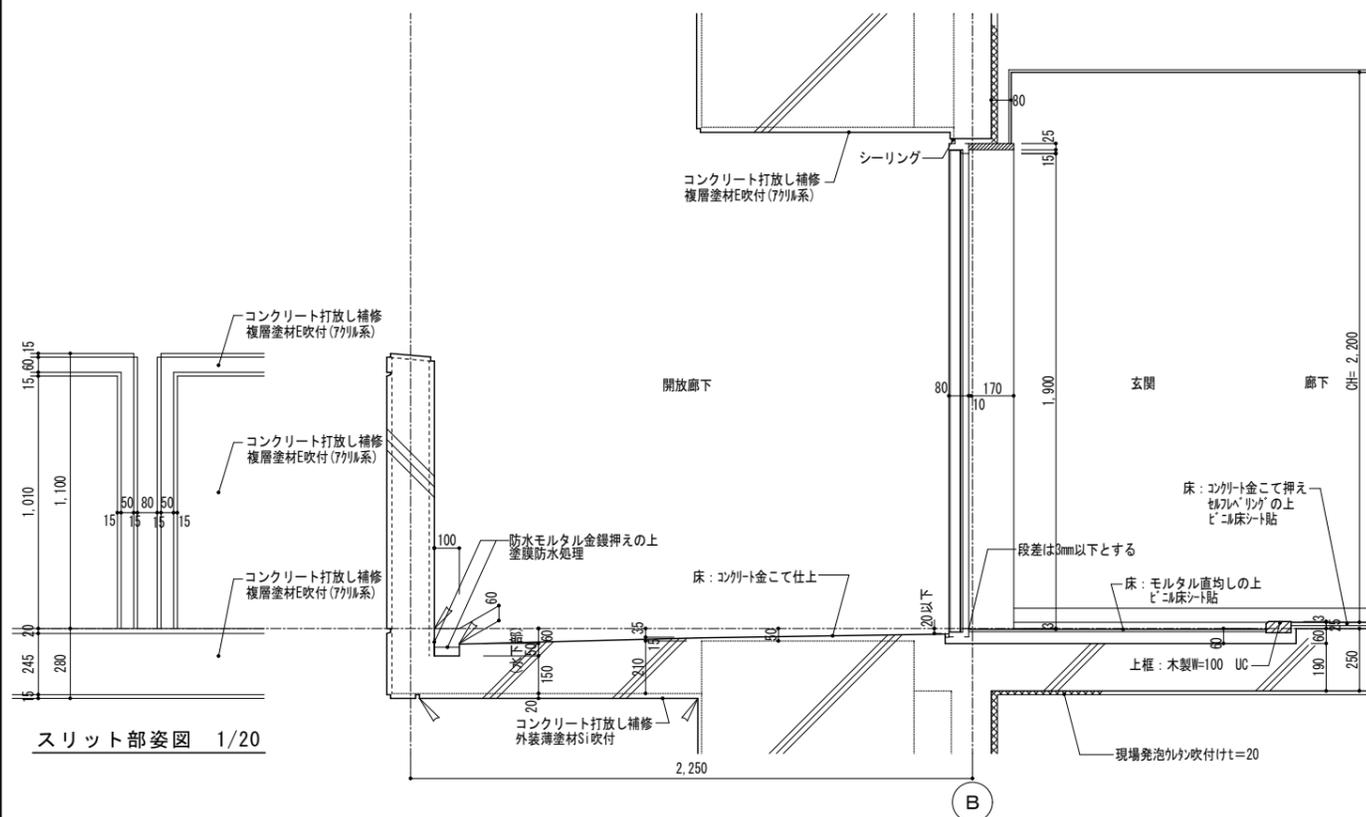
	変更日 変更事項 (△変更マーク 月 / 日)	NOTE
	△	凡例
	△	

Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行
Drawn	

さくら建築設計
 株式会社
 広島市東区牛田早福田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
部分詳細図 (2)		SCALE	JOB	
		No.	A 056	

図面: A 2 (縮尺: A 1→141%, A 3→71%)	印刷日付: '22' 12' 3
---------------------------------	------------------



変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
			凡例

さくら建築設計
株式会社
SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早福田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島 義行

市宮新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計日	DATE	2022/9/20
部分詳細図 (3)		SCALE	JOB	
No.	A			057

内装プレハブ工事標準仕様書

1. 適用範囲

本仕様書は、内装プレハブ工事における工場製作する内装部品について適用する。

- 1) 床・欄パネル
- 2) 外周壁パネル
- 3) 間仕切パネル
- 4) 天井パネル
- 5) 化粧貼造作用集材
- 6) 造作用製材
- 7) 下地用製材

2. 仕様書

内装プレハブ工事における仕様書は下記のとおりとする。

- 1) 公共住宅建設工事共通仕様書【公共住宅事業者等連絡協議会編集】最新年度版
- 2) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修】最新年度版
- 3) 例外となる事項については、監督員と協議のうえ決定する。

3. 材料規格

1) 木材及び合板等

① 含水率

木材の含水率は、下地材については15%以下、造作材については15%以下とする。

② 下地用針葉樹製材

下地用針葉樹製材は「製材の日本農林規格」第7条「下地用製材の規格」により、乾燥処理を施した木材とし、等級は2級とする。

③ 造作用針葉樹製材

造作用針葉樹製材は「製材の日本農林規格」第4条「造作用製材の規格」により、乾燥処理を施した木材とし、板類における等級は、見え掛り面は上小節、それ以外は小節以上とする。

④ 造作用集成材

造作用集成材は「集成材の日本農林規格」第3条「造作用集成材の規格」により、見付け材面の品質は1等とする。

また、ホルムアルデヒド放散量は、「F☆☆☆☆」とする。

⑤ 化粧ばり造作用集成材

化粧ばり造作用集成材は「集成材の日本農林規格」第4条「化粧ばり造作用集成材の規格」により、見付け材面の品質は1等とする。

また、ホルムアルデヒド放散量は、「F☆☆☆☆」とする。

⑥ 造作用単板積層材

造作用単板積層材は「単板積層材の日本農林規格」第3条「造作用単板積層材の規格」により、見え隠れ部分に使用する場合は表面の品質の基準は3等とする。また、含水率については14%以下とし、ホルムアルデヒド放散量は、「F☆☆☆☆」とする。

⑦ 普通合板

普通合板は「合板の日本農林規格」第4条「普通合板の規格」により、見え掛りの板面の品質は1等とする。また、屋内の湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を1類とする。

ホルムアルデヒド放散量は、「F☆☆☆☆」とする。

⑧ パーティクルボード

ベースパネルに使用するパーティクルボードは、JIS A 5908によるものとし、ホルムアルデヒド放散量は「F☆☆☆☆」とする。

2) せっこうボード等

せっこうボード製品は、JIS A 6901によるものとし、建築基準法に基づく防火材料の指定または認定を受けたものとする。

また、水掛り範囲に使用するボード類は、耐水性のあるものとする。

3) 接着剤

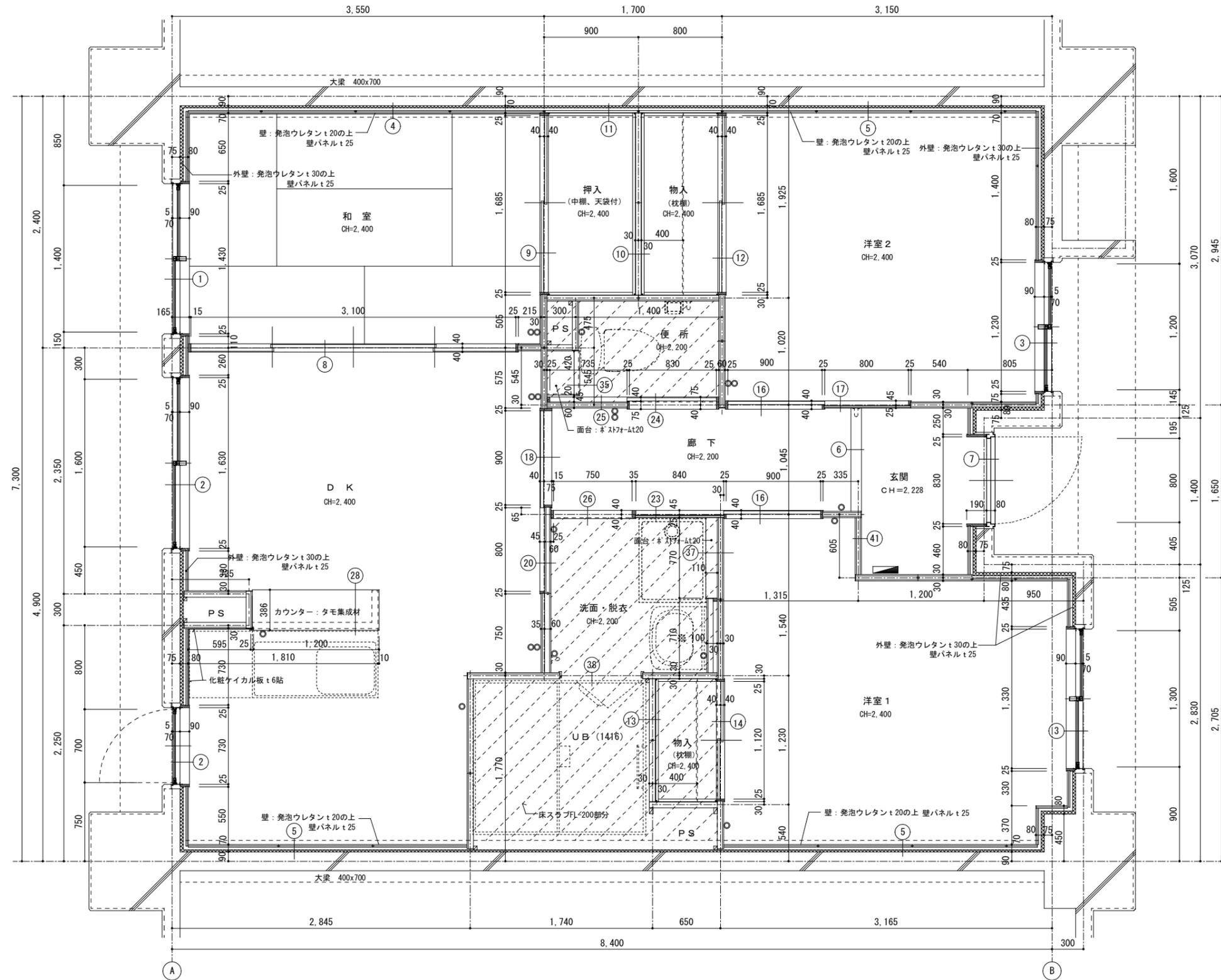
工場において接着する場合の接着剤は、製造所の仕様によるものとし、ホルムアルデヒド放散量は「F☆☆☆☆」とする。

名称	欄パネル		外周壁パネル		外周壁パネル（押入・物入内）		間仕切パネル（両面）		間仕切パネル（片面）			
	記号	厚み	TF	35	WC	25	WC	25	PL	60	PLK	60
パネル仕様図	中横ピッチ225mm以内		中横ピッチ450mm以内		中横ピッチ450mm以内		中横ピッチ450mm以内		中横ピッチ450mm以内		中横ピッチ450mm以内	
パネル断面図	427		520・530・536		427		520・530・536		520・530・536		520・530・536	

名称	間仕切小壁パネル		間仕切（片引き戸袋）パネル		天井パネル（押入・物入内）		パネル内電気ボックス納まり詳細図	
	記号	厚み	PL	60	PC	25	CA	15
パネル仕様図	中横ピッチ450mm以内		中横ピッチ225mm以内		中横ピッチ450mm以内		※電気ボックス・PF管は塩ビ製品とし、パネル付属品とする。	
パネル断面図	520・530・536		588		427			

内装パネルリスト				内装パネル表面材リスト				内装部品木材リスト			
記号	用途	厚み	仕上	記号	品名	規格	厚み	使用部位	材種	規格	使用部位
TF	欄パネル（押入・物入）	35	両面	427	押入用プリント合板	JAS 2類	4.0	押入・物入 壁・欄・天井	米桐化粧貼造作用集材	JAS 1等	縦枠・上枠・軌居・サッシュ額縁・見切・畳寄せ・前框・後框・欄受
WC	外周壁パネル	25	片面	520	石膏ボード	不燃	12.5	居室 壁	タモ化粧貼造作用集材	JAS 1等	敷居
PL	間仕切パネル	60	両面	530	耐水石膏ボード	準不燃	12.5	洗面・便所 壁	タモ造作用集材（積層材）	JAS 1等	敷居・下枠（浴槽）・キッチンカウンター
PLK	間仕切パネル	60	片面	536	不燃耐水石膏ボード	不燃	12.5	コンロ台・流し台廻り 壁	米桐造作用製材	JAS 上小節	上記以外の造作材（隔柱・戸当り等）
PC	間仕切パネル（戸袋）	25	両面	588	繊維混入石膏板	不燃	5.0	片引き戸袋壁部分	杉単板積層材（LVL）	JAS 3等	パネルコア材・パネル受板
CA	天井パネル（押入・物入）	15	片面						米桐下地用製材	JAS 2級	各種ガイド材
									杉下地用製材	JAS 2級	野縁・野縁受・胴縁・パネル補助材
									米松下地用製材	JAS 2級	敷土台・際根太・束

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE		さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn	市営新宮沖住宅建設工事（建築主体工事）		設計図	DATE	2022/9/20
									SCALE	JOB	20080	
	パネル詳細図（1）							No.	A	058		



変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例



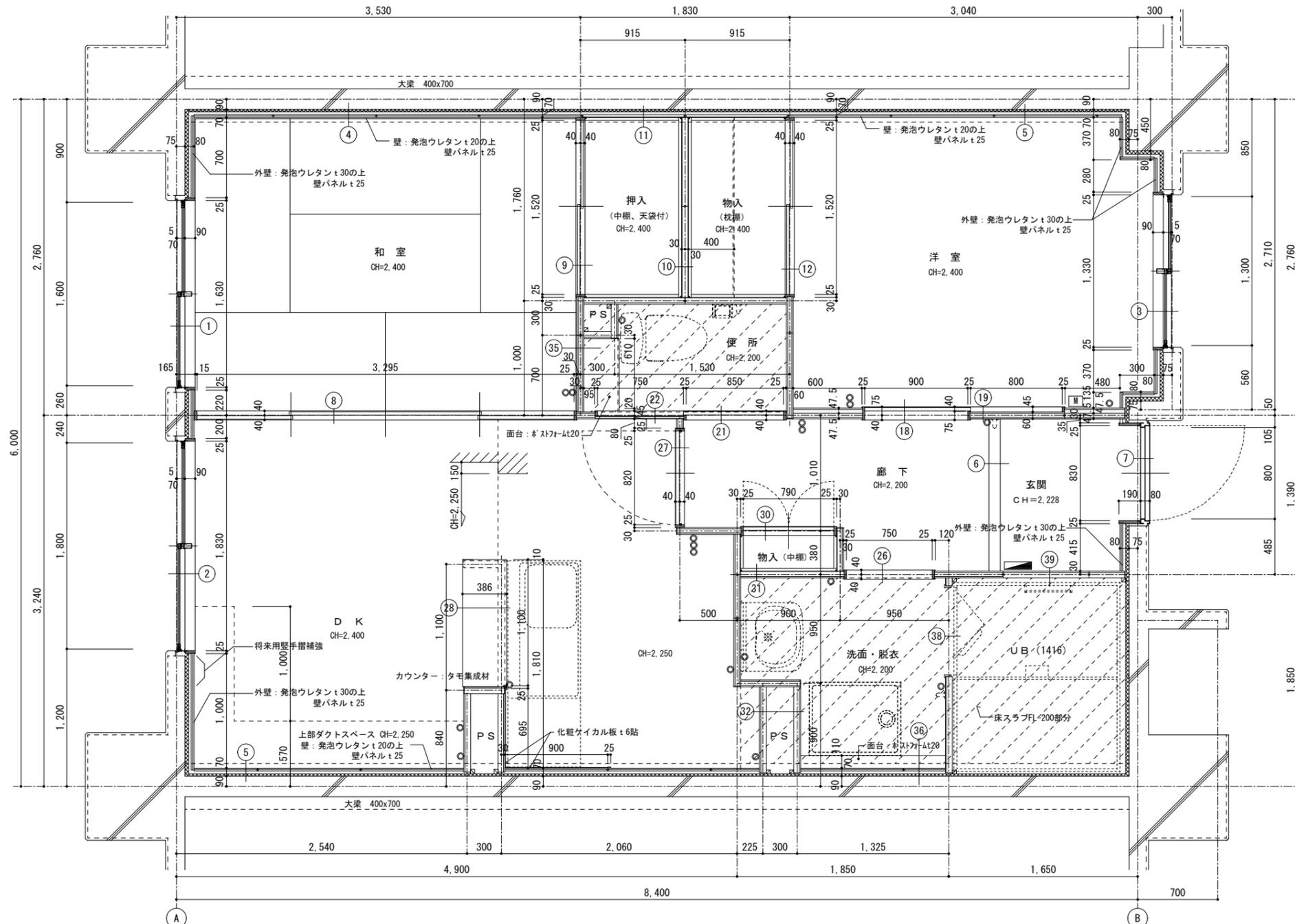
さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
パネル詳細図 (2)		SCALE	JOB	20080
3DK平面詳細図		No.	A	059



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			



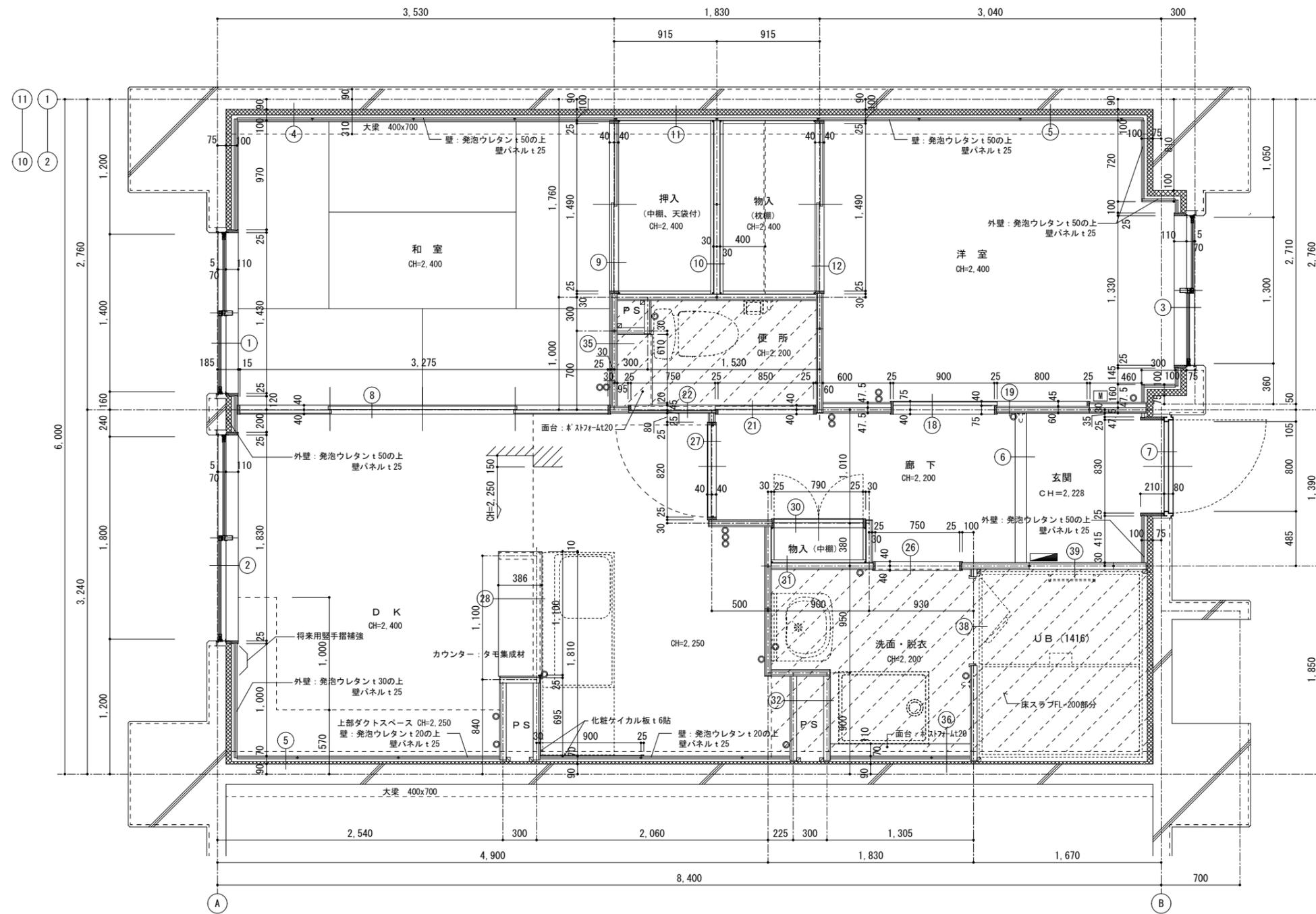
さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市宮新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
パネル詳細図 (3)		SCALE	JOB	20080
2DK平面詳細図 (中住戸)		1/30	No.	A 060



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

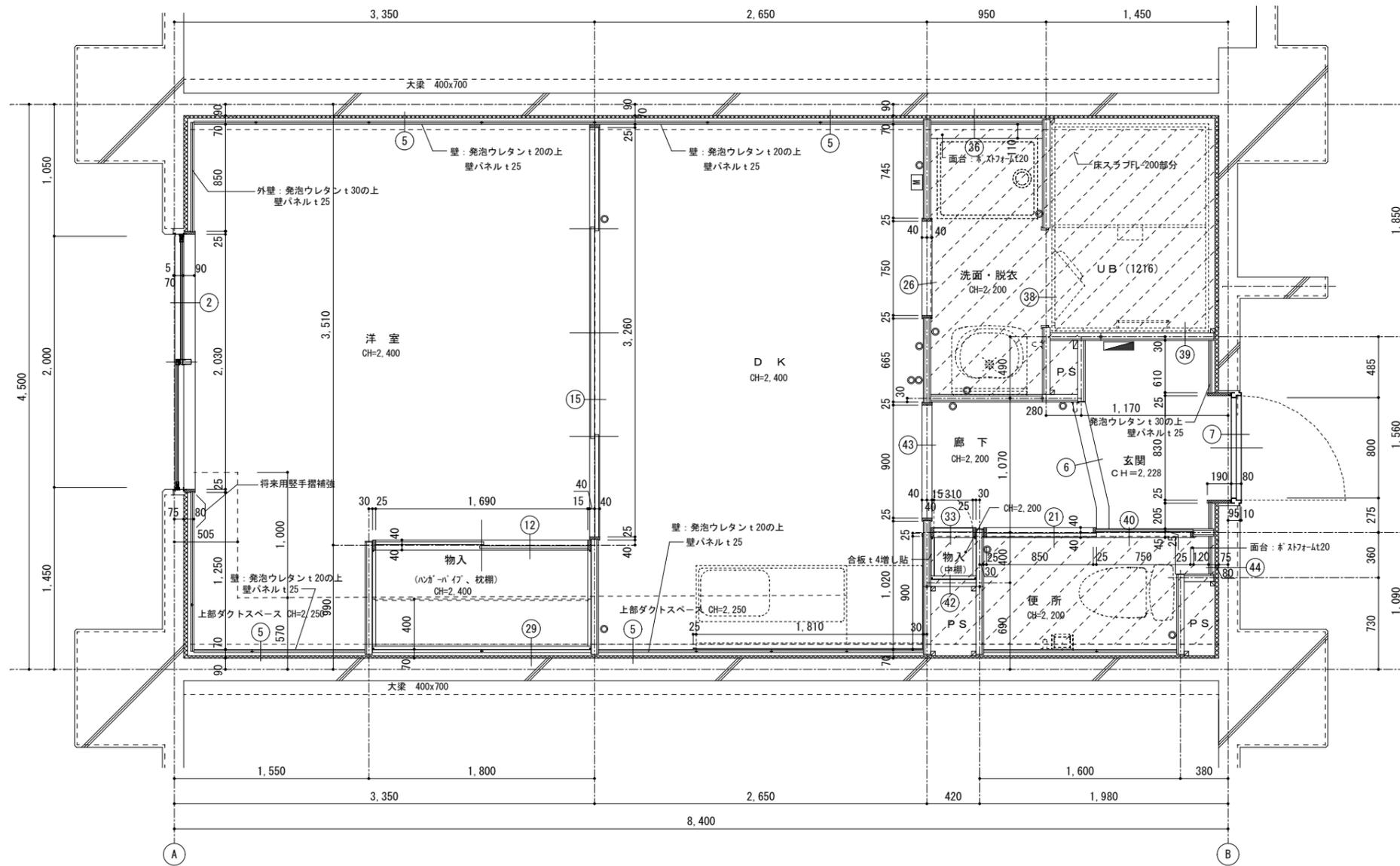

さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市宮新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
パネル詳細図 (4)		SCALE	JOB	20080
2DK平面詳細図(妻住戸)		No.	A	061



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

NOTE	凡例

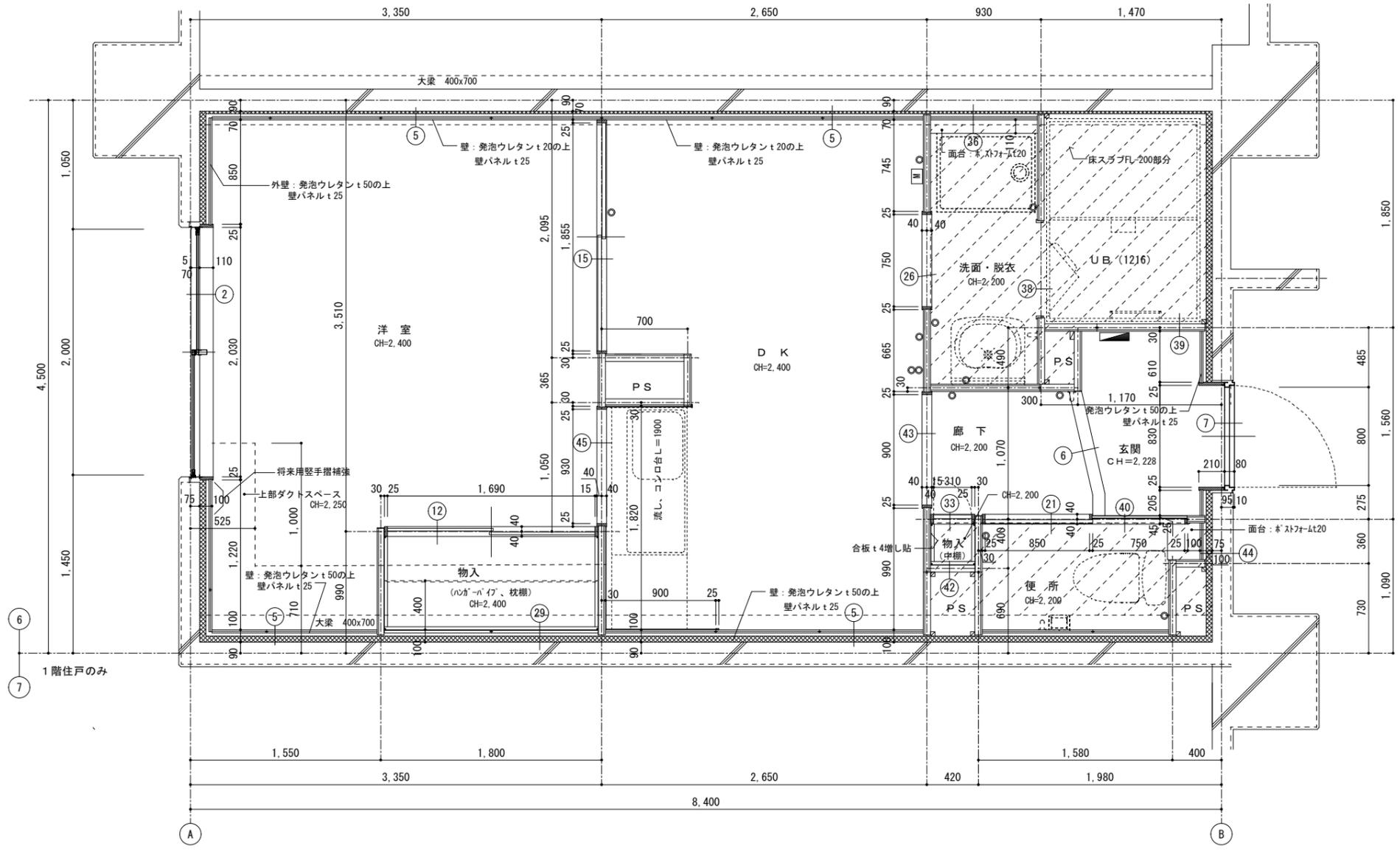

さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
パネル詳細図 (5)		SCALE	JOB	20080
1DK平面詳細図 (中住戸)		No.	A	062



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

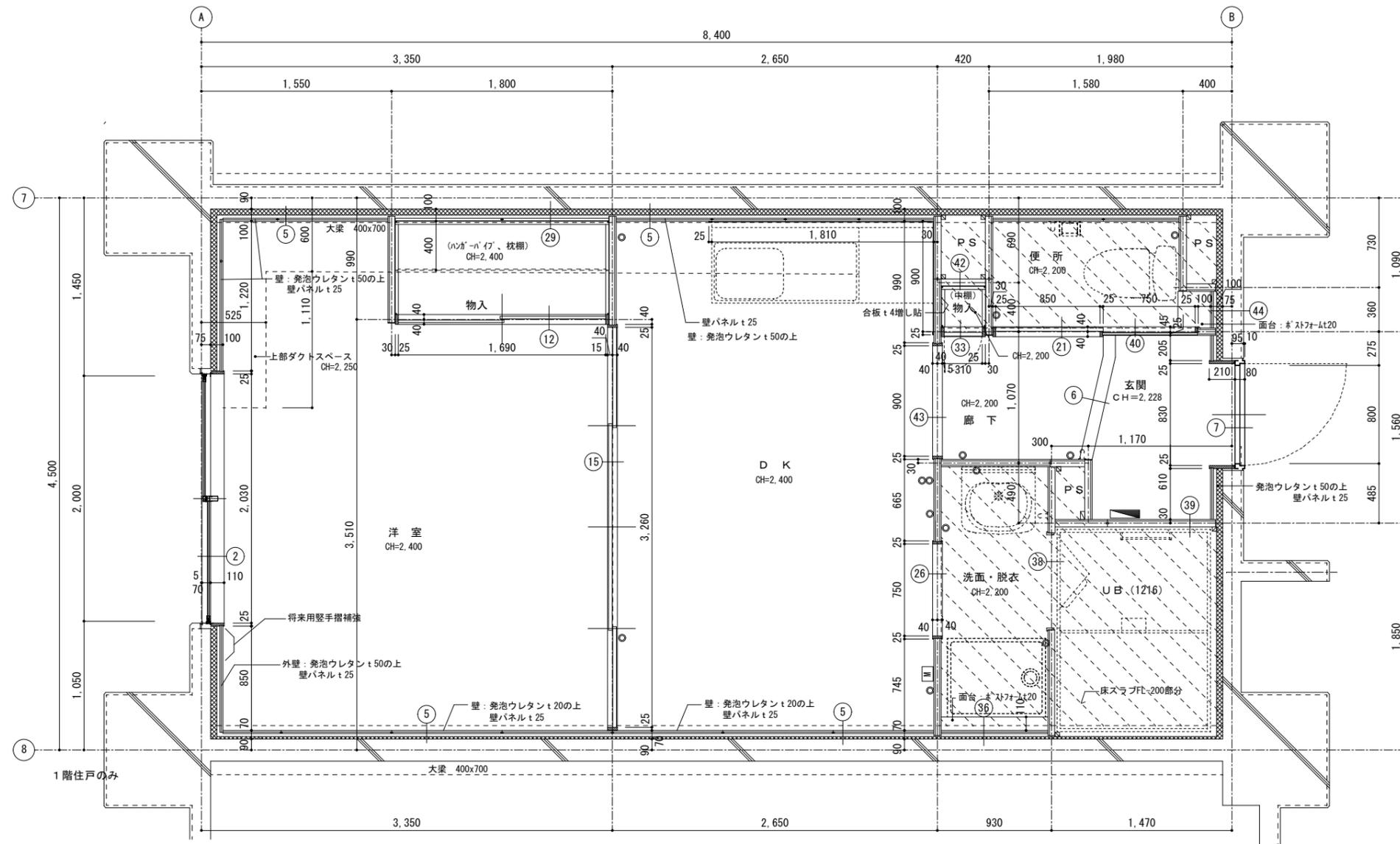

さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市宮新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
パネル詳細図 (6)		SCALE	JOB	20080
1DK平面詳細図(妻住戸1)		1/30	No.	A 063



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

1階住戸のみ

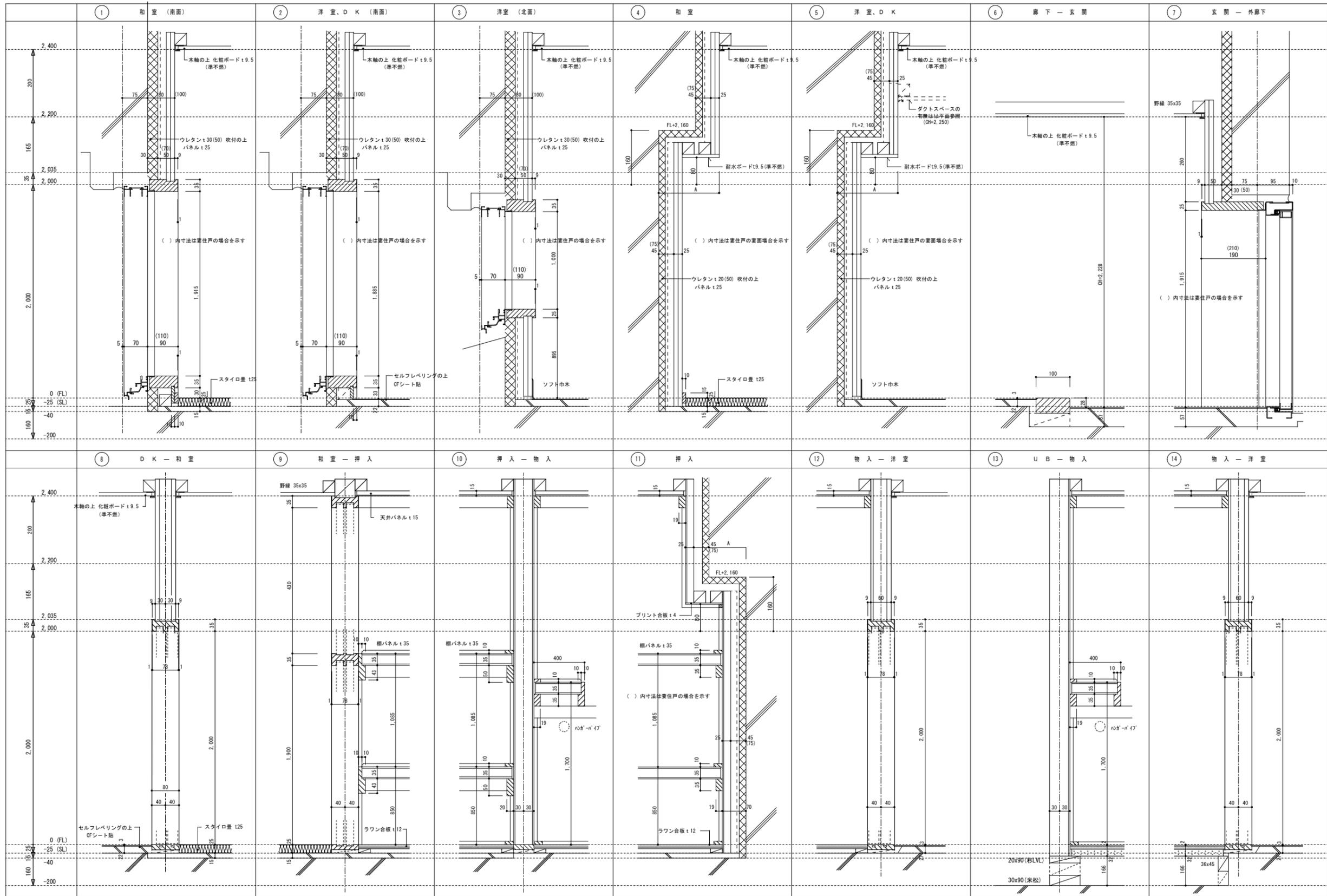

さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
パネル詳細図 (7)		SCALE	JOB	20080
1DK平面詳細図 (妻住戸2)		No.	A	064
		1/30		



	変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
	△			凡例
	△			

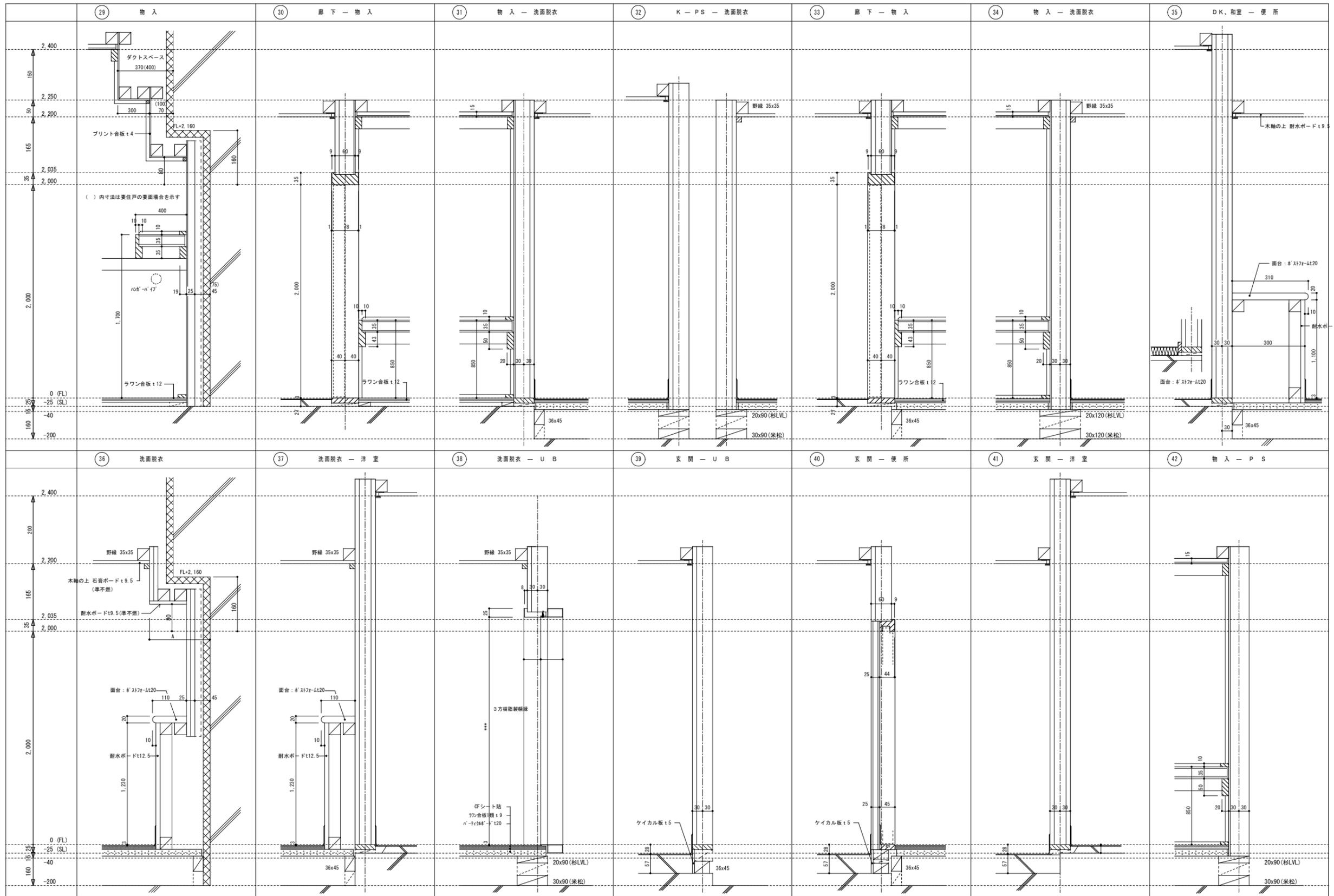
さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
パネル詳細図 (8)		SCALE	JOB	20080
1/8	No.	A	065	



	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE
	△	凡例
	△	

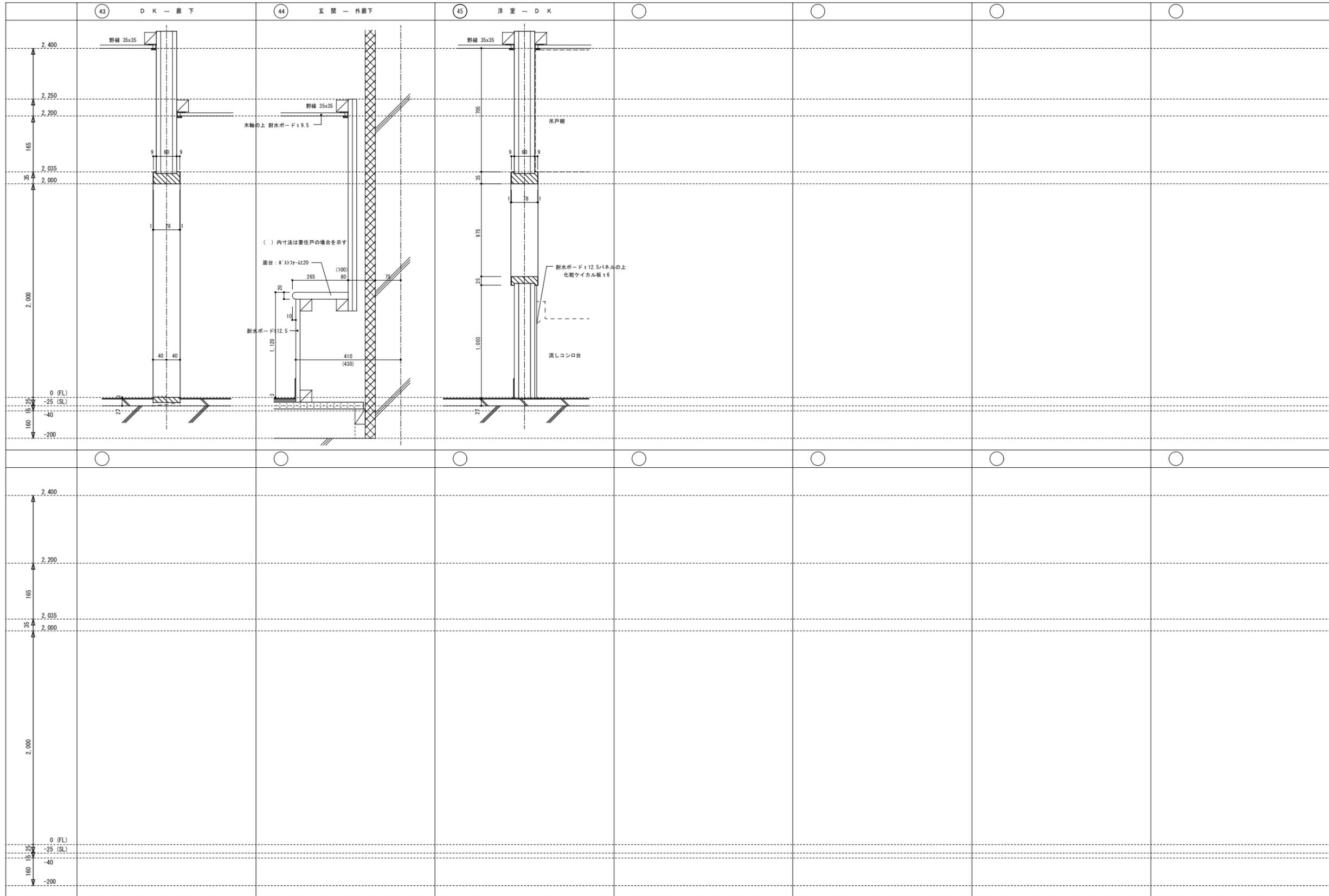
さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
パネル詳細図 (10)		SCALE	JOB	20080
1/8	No.	A	067	



変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

NOTE	
凡例	

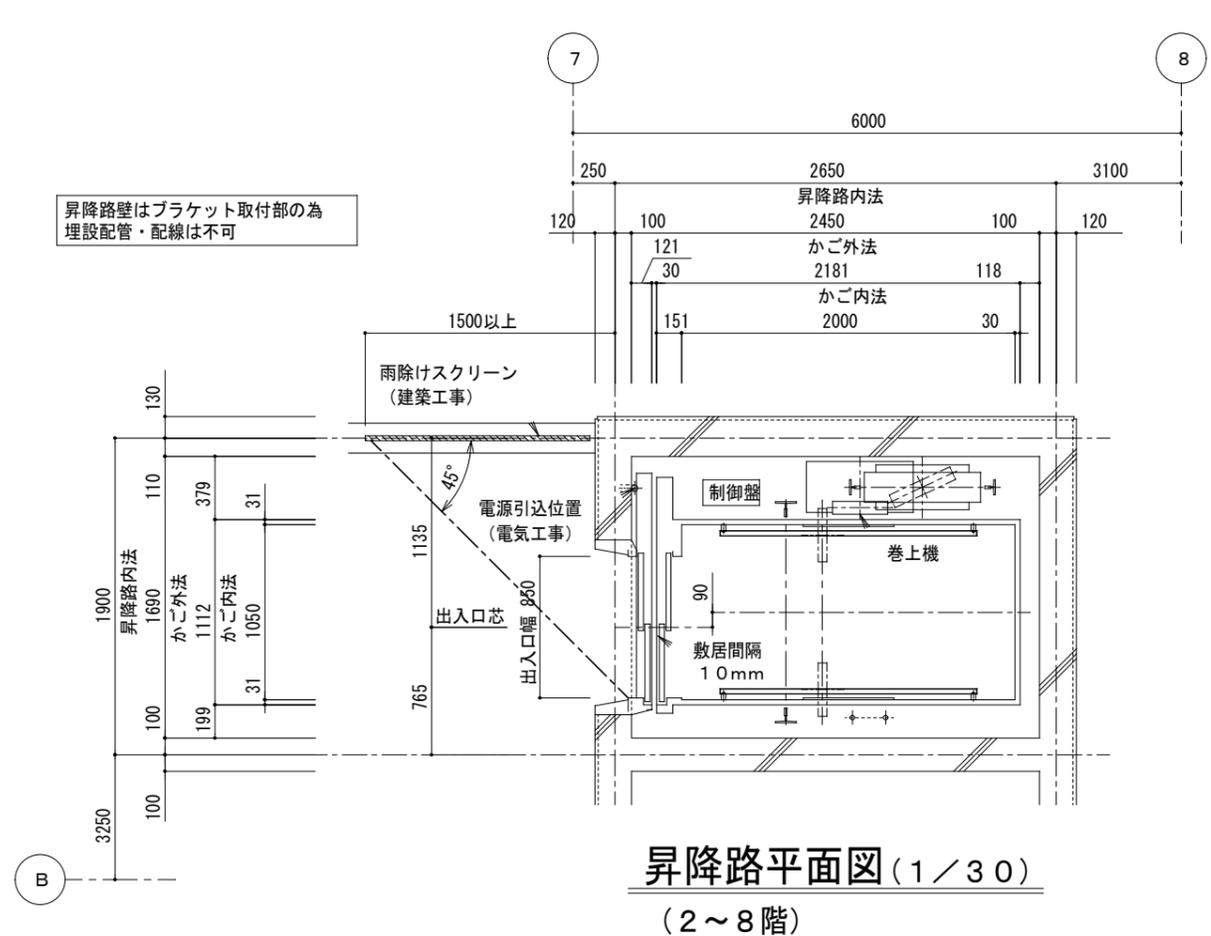
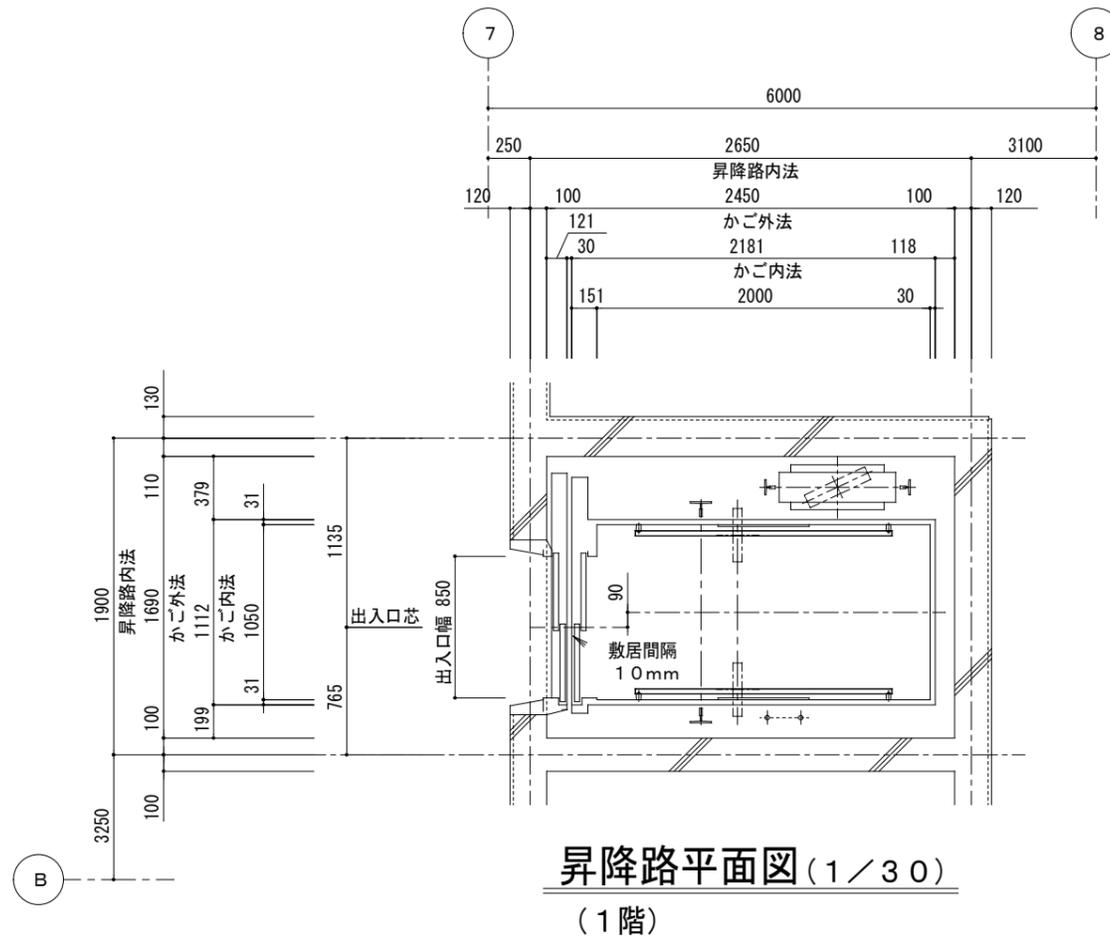

さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
パネル詳細図 (11)		SCALE	JOB	20080
1/8	No.	A	068	



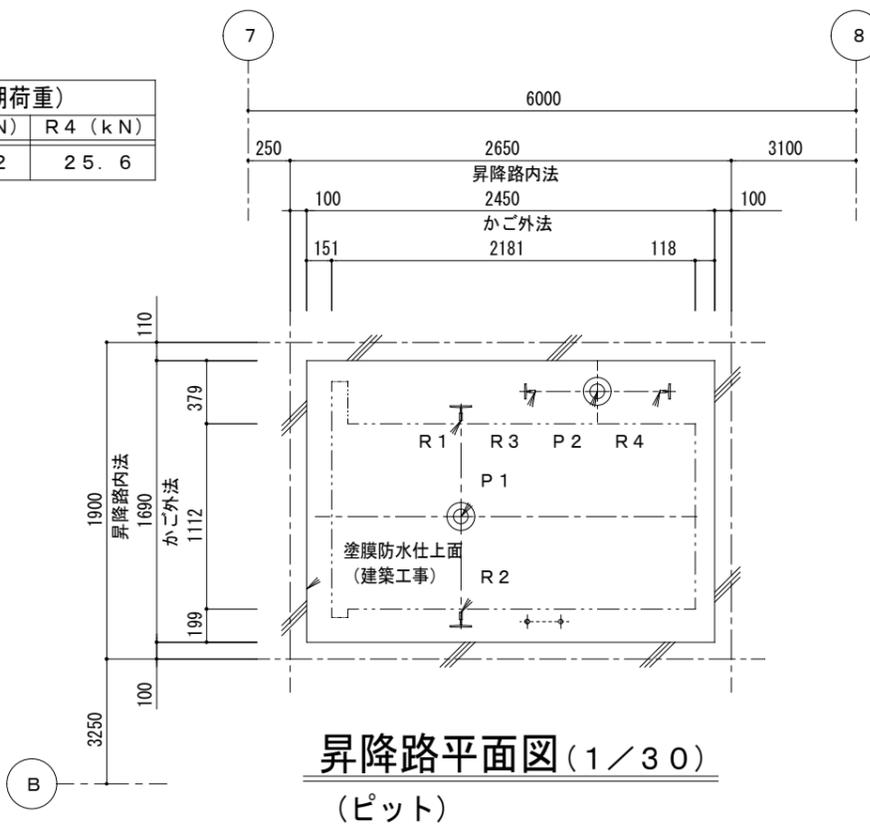
レール下端部荷重 (長期荷重)

R1 (kN)	R2 (kN)	R3 (kN)	R4 (kN)
8.3	30.6	53.2	25.6

ピット荷重 (短期荷重)

P1 (kN)	P2 (kN)
104.3	87.3

ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階FL面まで立ち上げて下さい (建築工事)



動力電源設備 (CV-T電線使用時) (* 電源側に漏電遮断器を設置する場合)

号機名	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値 (* 動作時間)	電線サイズ	接地線サイズ
O1	6.1 kW	5 kVA	50 A T	100 mA 以上 0.2 秒以上	5.2 m まで 8 mm ² 9.0 m まで 14 mm ² 3.8 m まで 2.2 mm ²	3.5 mm ²

照明用電源 AC1φ-100V-60Hz (設備容量: 1kVA/台・電源側NF容量: 20A/台)

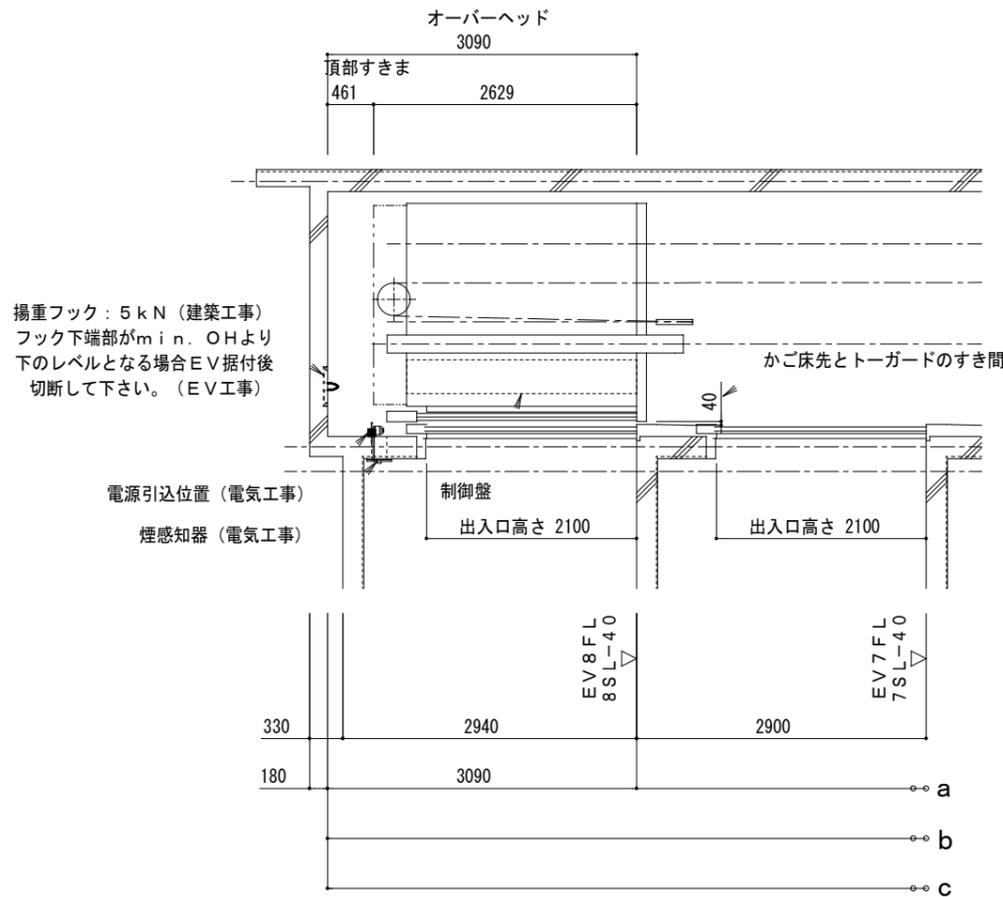
高調波対策 (高調波流出電流計算値)

高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 Pi (kVA)	回路分類 細分No.	6パルス換算係数 (Ki)	6パルス等価容量 [Ki x Pi] (kVA)	機器最大稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 In (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
○ ノイズフィルタのみ (標準)	O1号機: AXIEZ-LINKs (850kg-60m/min)	7.6	1	7.6	31	3.4	25.9	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
DCリアクトル追加 (Ki=1.8相当)					33	1.8	13.7	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

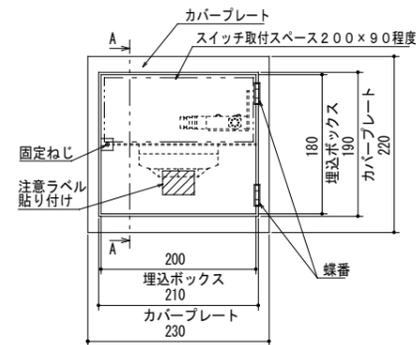
高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

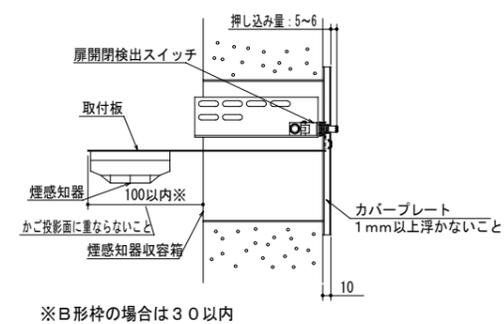
$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$



- 煙感知器（電気工事）
- ・外部より点検可能な構造として下さい
 - ・雨水浸入が無い様配慮下さい
 - ・EV連動スイッチ付（EV工事）
 - ・煙感知器はかご投影面にかからない位置として下さい
 - ・点検口は下記①または②として下さい
- ①EV昇降路専用品（スイッチ取付台座付き）（1）～（4）のいずれか
- （1）ホーチキ KUS-1C
 - （2）能美防災 FXSJ001A-HU
 - （3）ニッタン NID-T-G
 - （4）パナソニック BV95351（BOX）+BV95381H（扉）
- ②以下2項目を満足する点検口 ～「煙感知器・点検ボックス（参考例）」参照
- （1）スイッチ取付スペース200×90程度確保できる。
 - （2）錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、1mm以上浮かないこと。

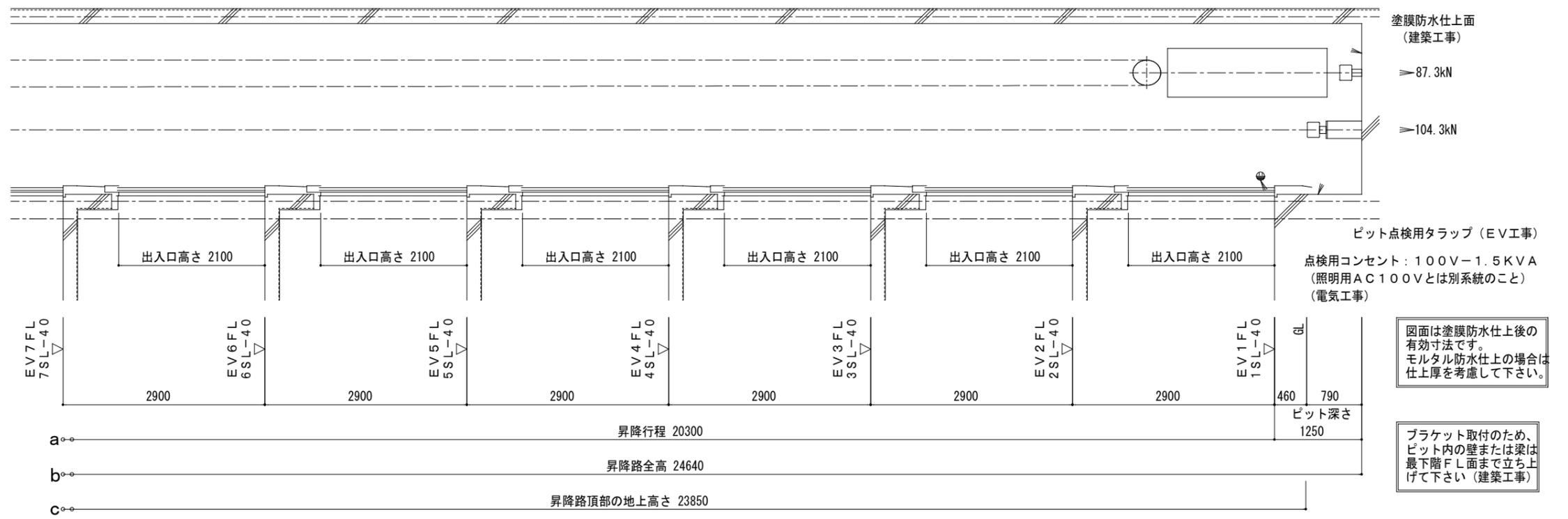


煙感知器・点検ボックス（参考例）

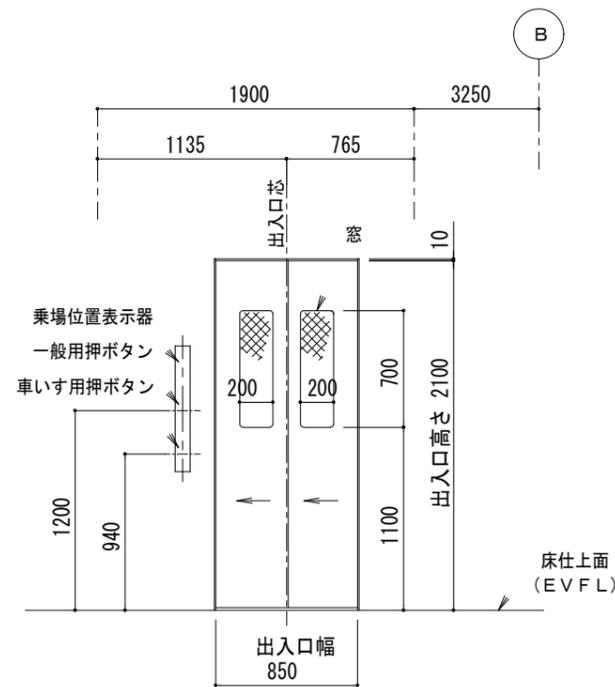
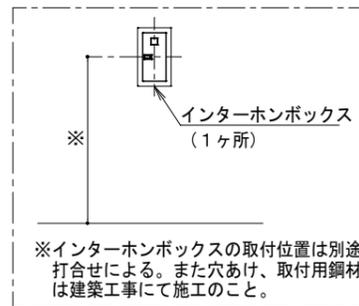


矢視A-A

昇降路内の温度は40℃以下とする



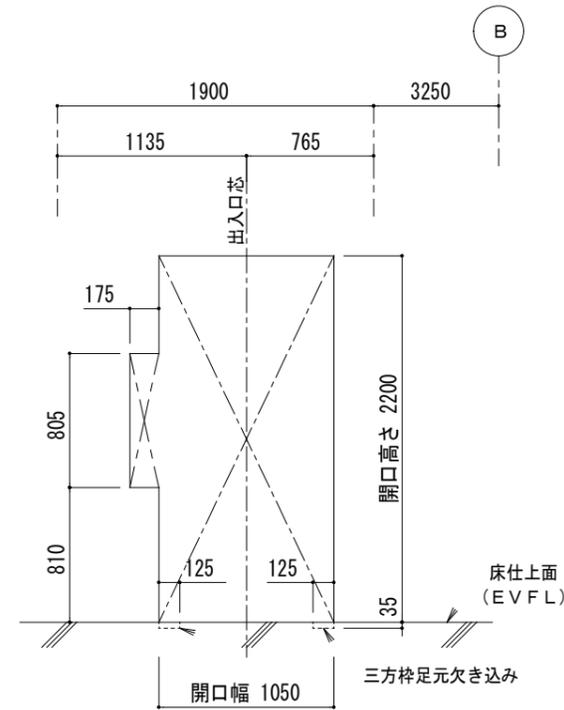
昇降路断面図（1/50）



乗場正面図 (1/30)

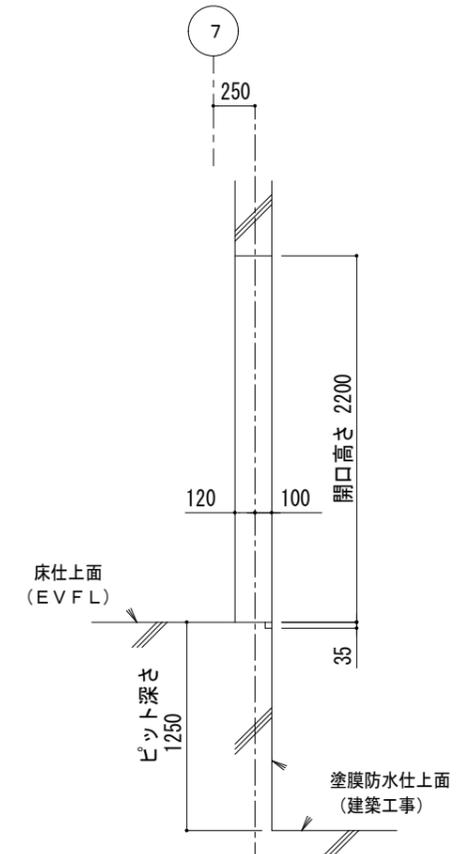
(1~8階)

※窓付の場合は、特定防火設備に該当しません



乗場穴あけ図 (1/30)

(1~8階)



断面図 (1/30)

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			


さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
エレベーター詳細図 (4)		SCALE	JOB	20080
		1/30	No.	A
				072

<M型>

品名	仕様	F☆☆☆☆仕様
天板	材質	SUS304
ワークトップ	シンク種類	Sシ
下台	扉	特殊化粧シート扉
	丁番	スライド丁番 (標準品)
	本体	化粧合板、化粧ボード
	巾木	化粧シート巻材
	底板	化粧合板 (本体同色)
	部品	1段引出 (木製)
	包丁差し	D X N 包丁差し
吊戸棚 <1DKタイプのみ>	側面板	SUS304
	扉	特殊化粧シート扉 (引手付)
	丁番	スライド丁番 (標準品)
	本体	化粧合板、化粧ボード
レンジフード	部品	棚板
	ラッチ種類	H7
	機種	VMR-BL
	風量	標準タ
加熱機器	排気仕様	排気風圧
	プラグ形状	2極接地型
	加熱機器	(別途)
照明器具	照明器具	(電気工事)
水栓	水栓種類	(設備工事)
水切棚	水切棚	2B1段900J (1DKタイプのみ)
幕板	幕板	(建築工事)
仕様確認項目	扉の色	未定
	扉種類	M型扉
	本体の色	ホワイト TW色
	本体の前木口色	※見え掛かり部本体同色
	巾木の色	ダークブラウン (No. 53色)
	引手	GN引手・横使い
	フード前面パネルの色	未定

設備工事	給水・給湯の配管工事及び水栓金具との接続工事 (止水栓別途)
	排水配管及び排水トラップとの接続工事
	メーカー支給の塩ビ排水蓋取付工事
	点検作業後のキッチンキャビネット点検口蓋取付 (復旧) 工事
	ガス配管及びガス管用コック取付工事 (コックは付属していません)
	ダクト工事及びレンジフード接続工事 (最終エルボはフード施工後に取り付けて下さい)
	最終まで固定されますとアタッチメントが取付けできません
建築工事	壁仕上げ工事
	コーキング工事
	幕板工事
	吊戸棚・レンジフード取付用下地の造作取付工事
建築との取り合い工事	
電気工事	レンジフード用電源及びコンセント取付工事
	棚下灯用電源 (VVF線含む) 及び棚下灯取付工事

コンセント (電気工事)

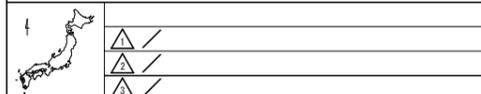
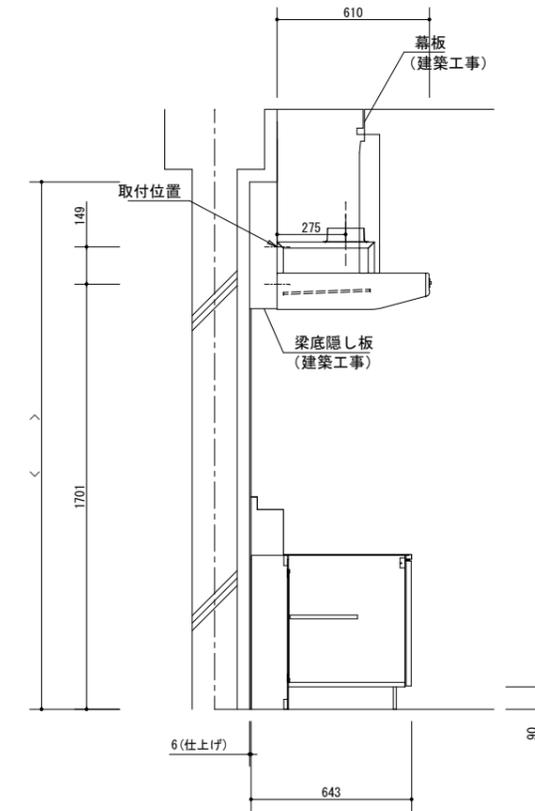
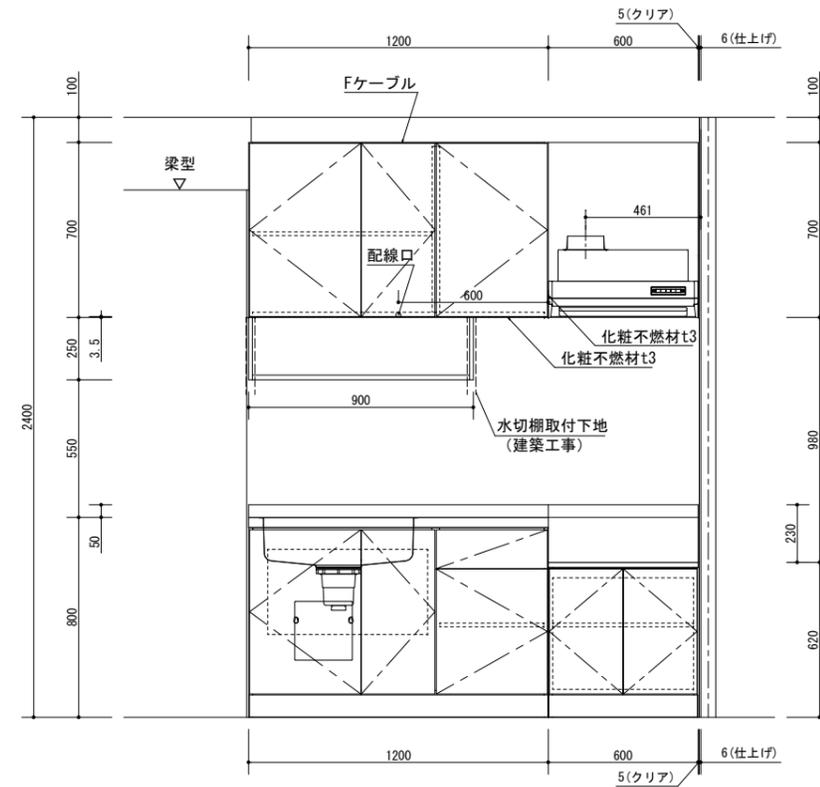
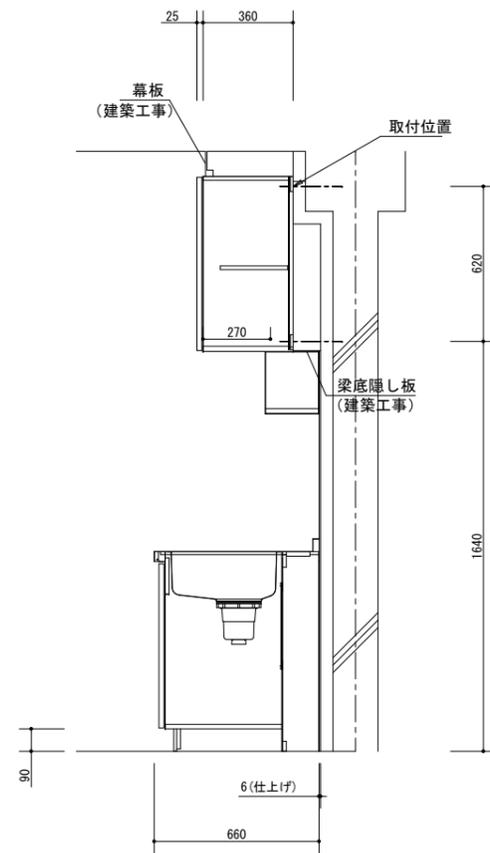
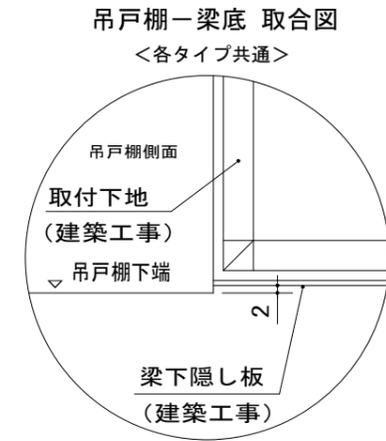
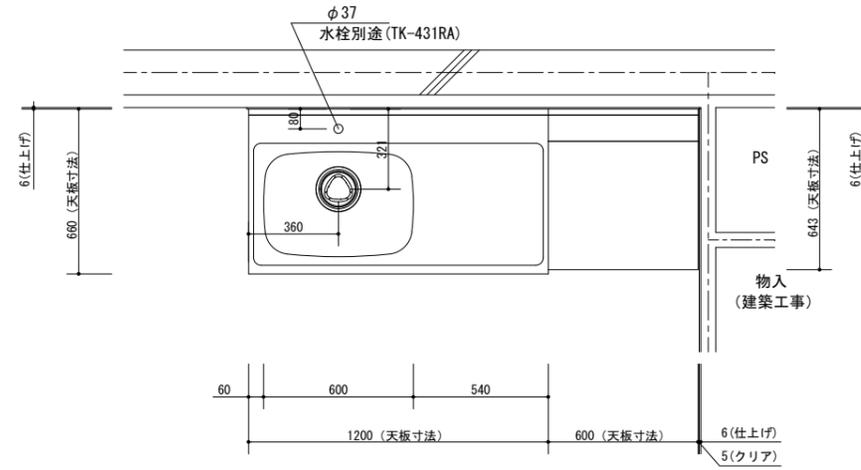
レンジフード	① 2極接地型コンセント
--------	--------------

	NOTE	 さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn	市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)	設計図	DATE	2022/9/20
	凡例					SCALE	JOB	20080	
						No.	A	073	

本図は 左 勝手を示す。

左 勝手 8 戸

タイプ名	戸数
1DK(1-8F)	8



NOTE
凡例

さくら建築設計
株式会社

SAKURA
Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
キッチン詳細図 (1)		SCALE	JOB	20080
		1/20	No.	A 074

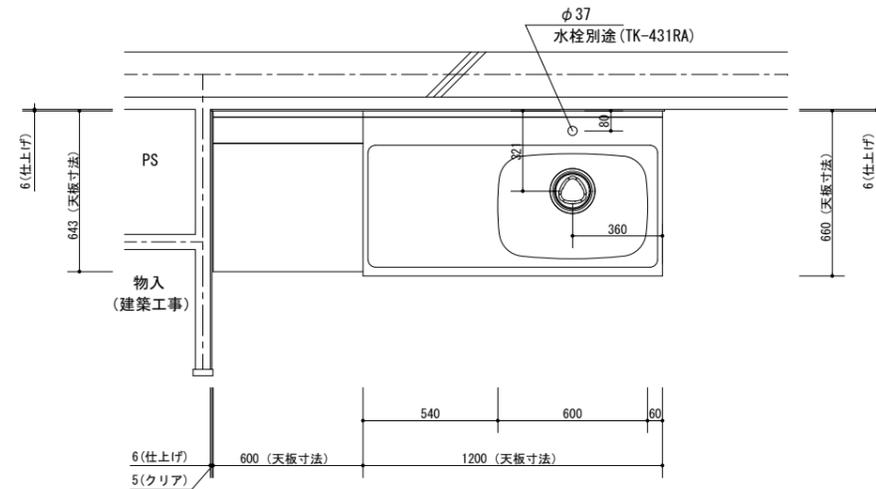
本図は 右 勝手を示す。

右 勝手 16 戸

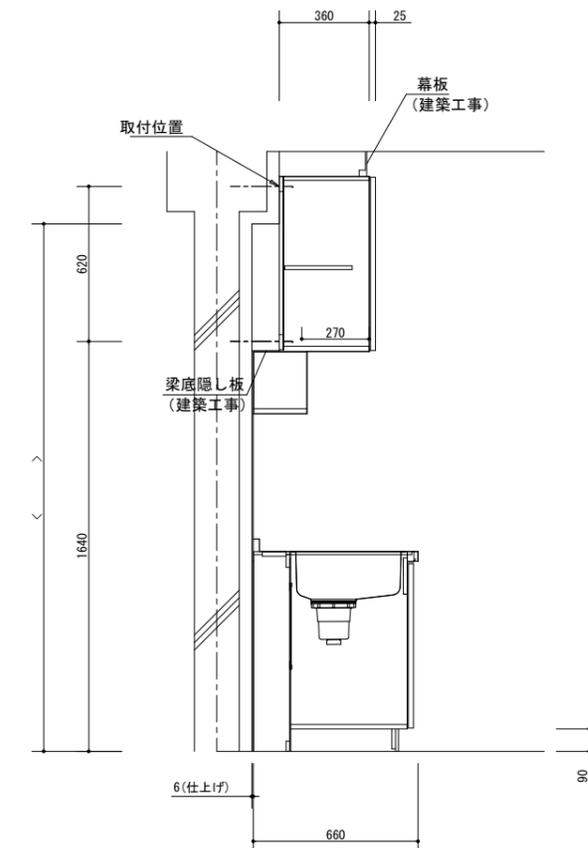
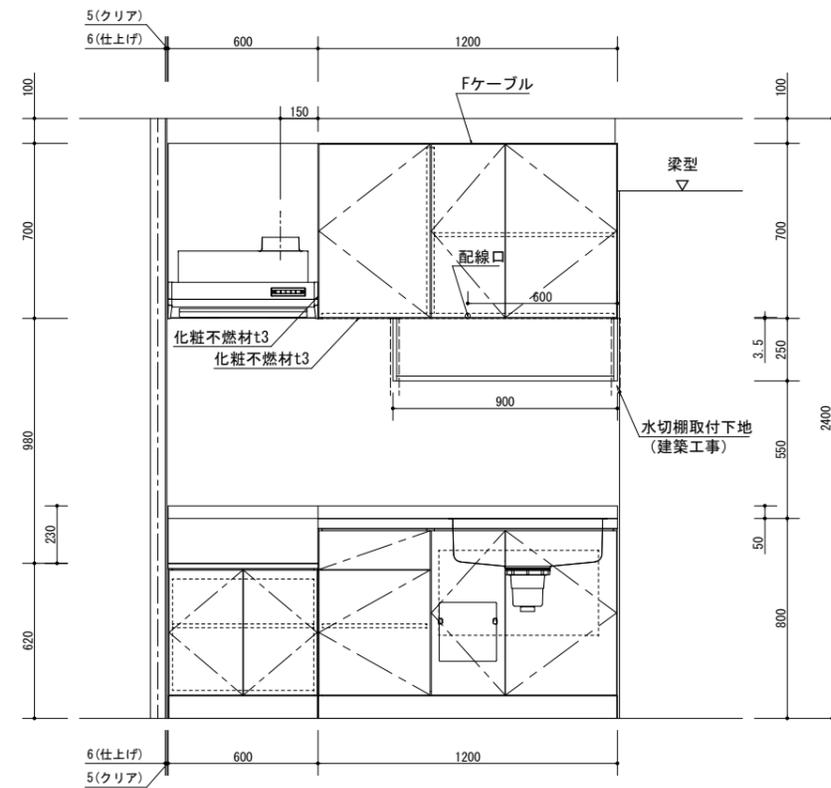
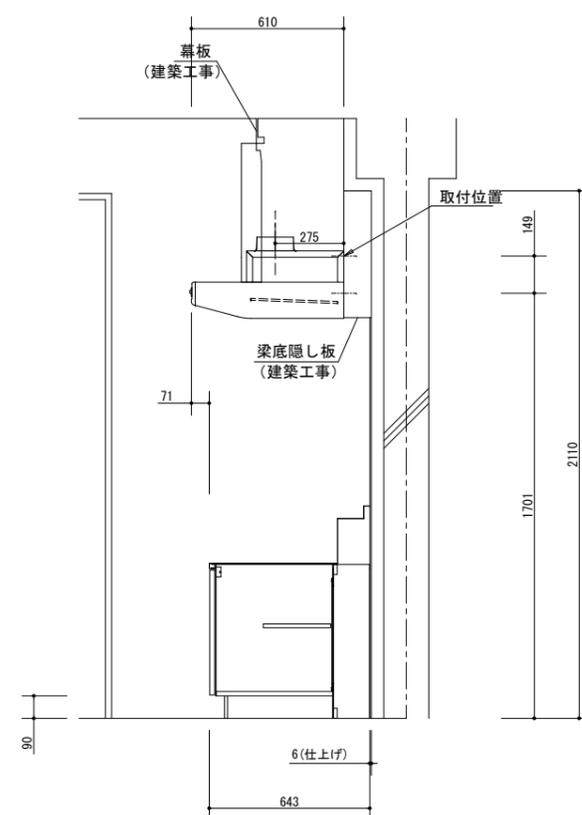
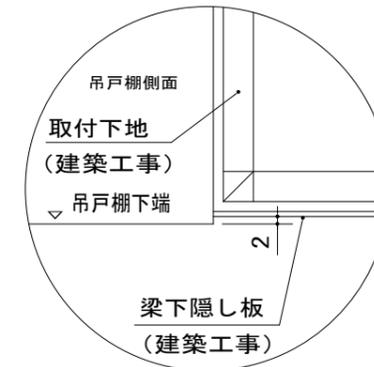
タイプ名 戸数

1DK(1-8F)

16



吊戸棚-梁底 取合図
<各タイプ共通>



△	／
△	／
△	／

NOTE
凡例

さくら建築設計
株式会社
SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
キッチン詳細図 (2)		SCALE	JOB	20080
		1/20	No.	A
				075

本図は 右 勝手を示す。

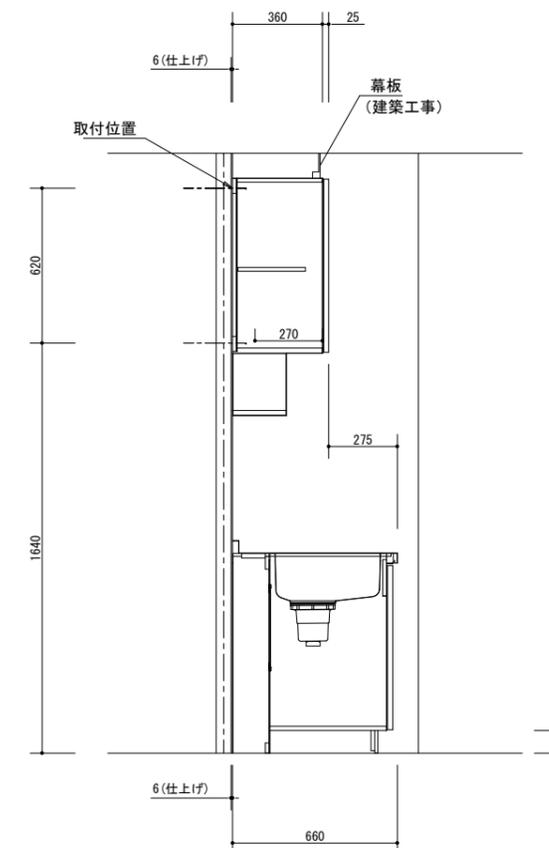
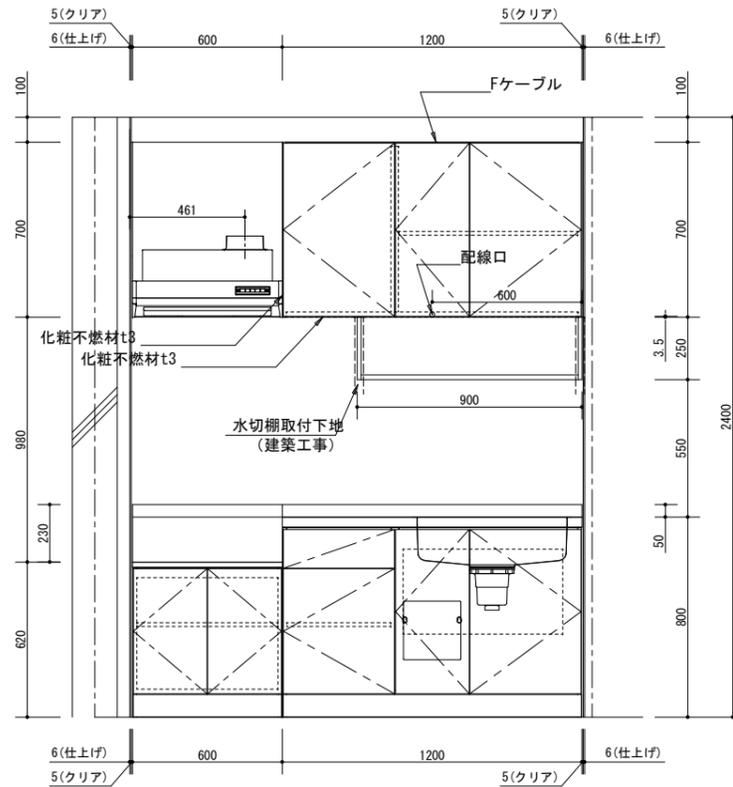
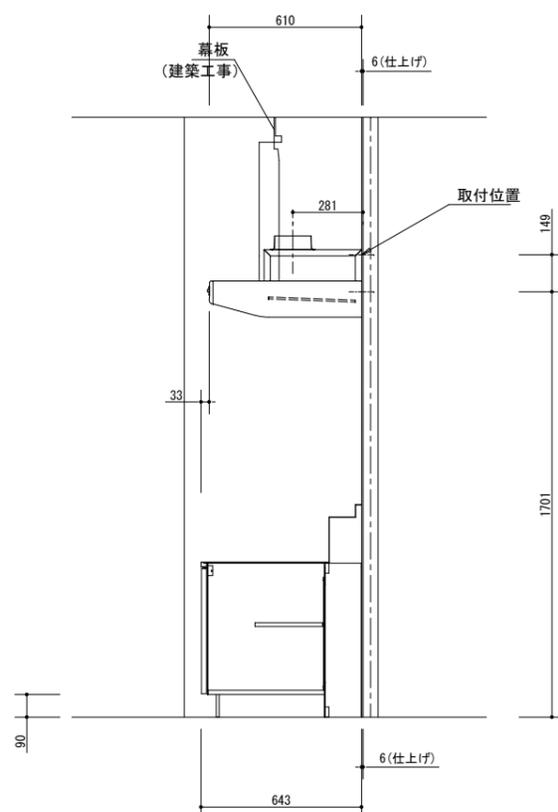
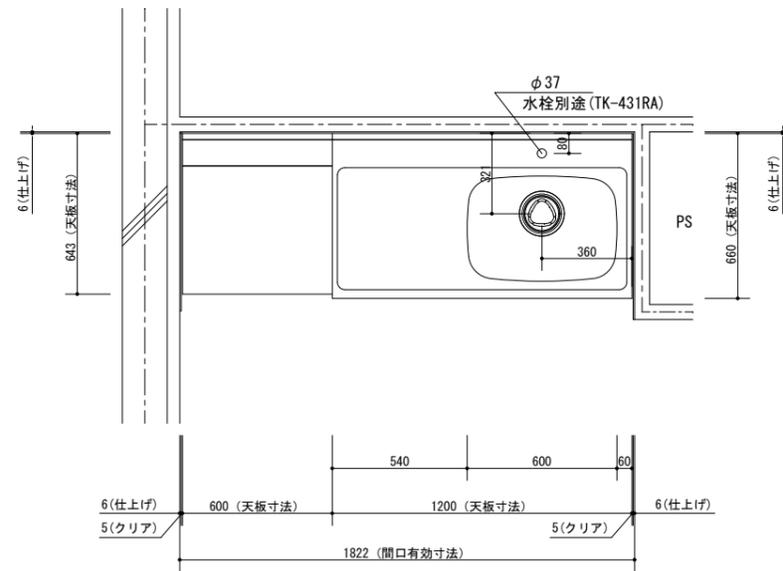
右 勝手 1 戸

タイプ名

戸数

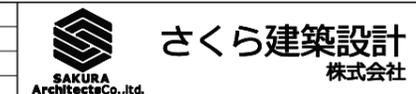
1DK(1F)

1



△	△	△
△	△	△
△	△	△

NOTE
凡例



広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

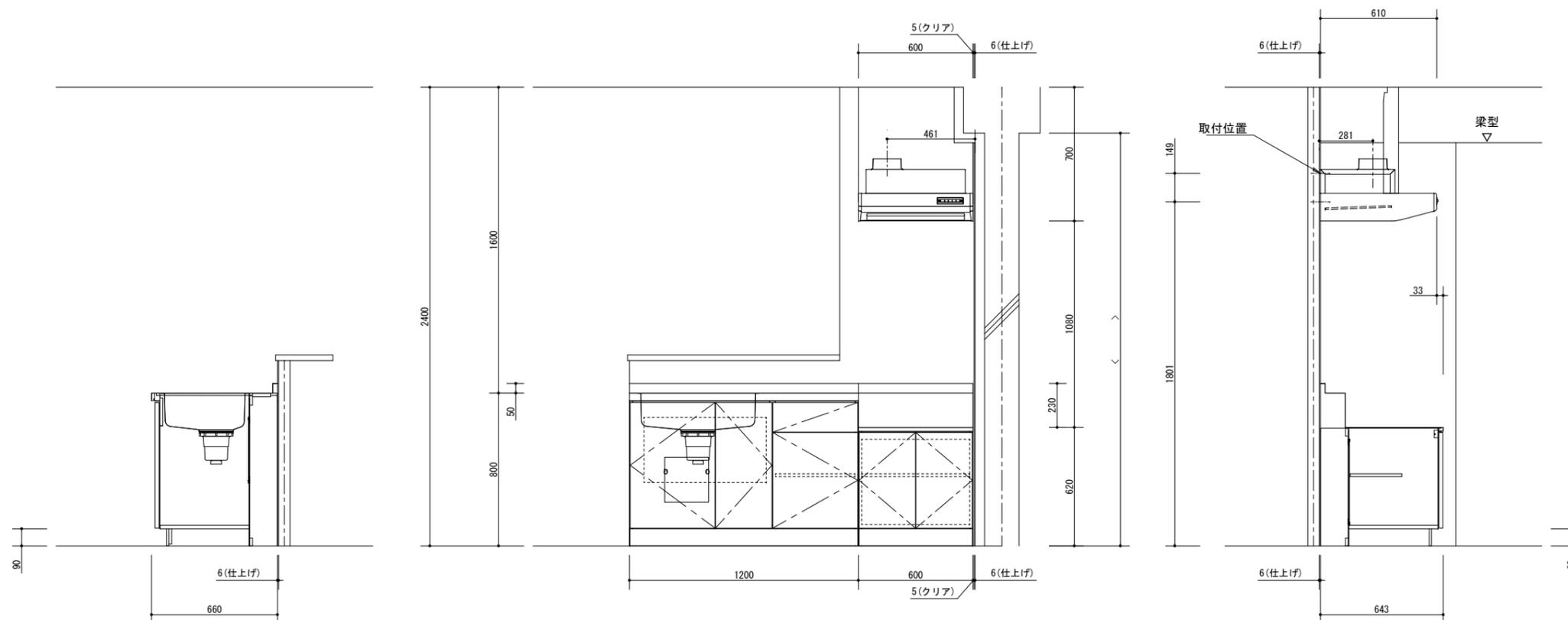
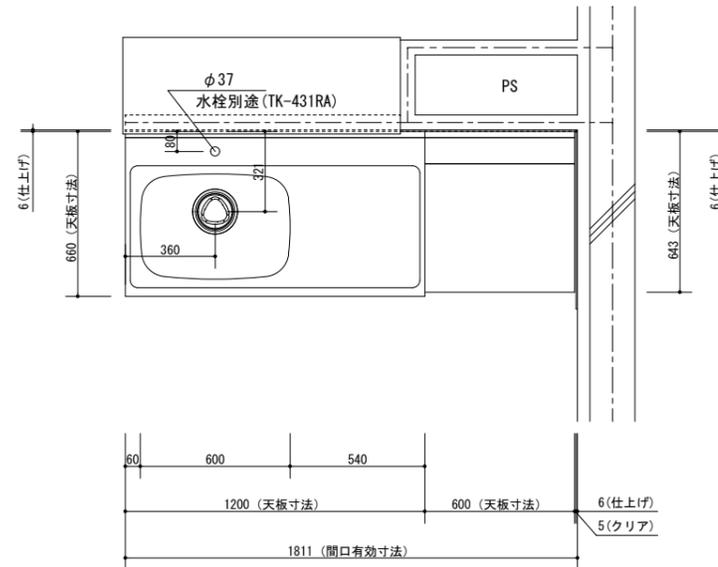
Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
キッチン詳細図 (3)		SCALE	JOB	20080
		1/20	No.	A
				076

本図は左 勝手を示す。

左 勝手 8 戸

タイプ名	戸数
2DK(1-8F)	8



△	NOTE
△	凡例
△	

NOTE	
凡例	


さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

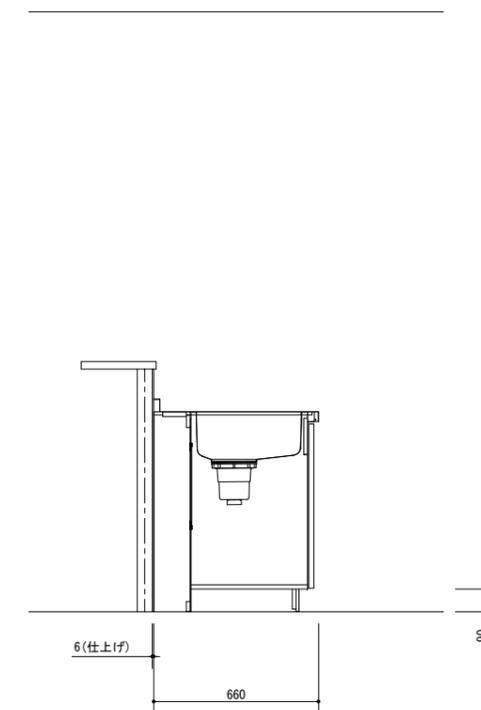
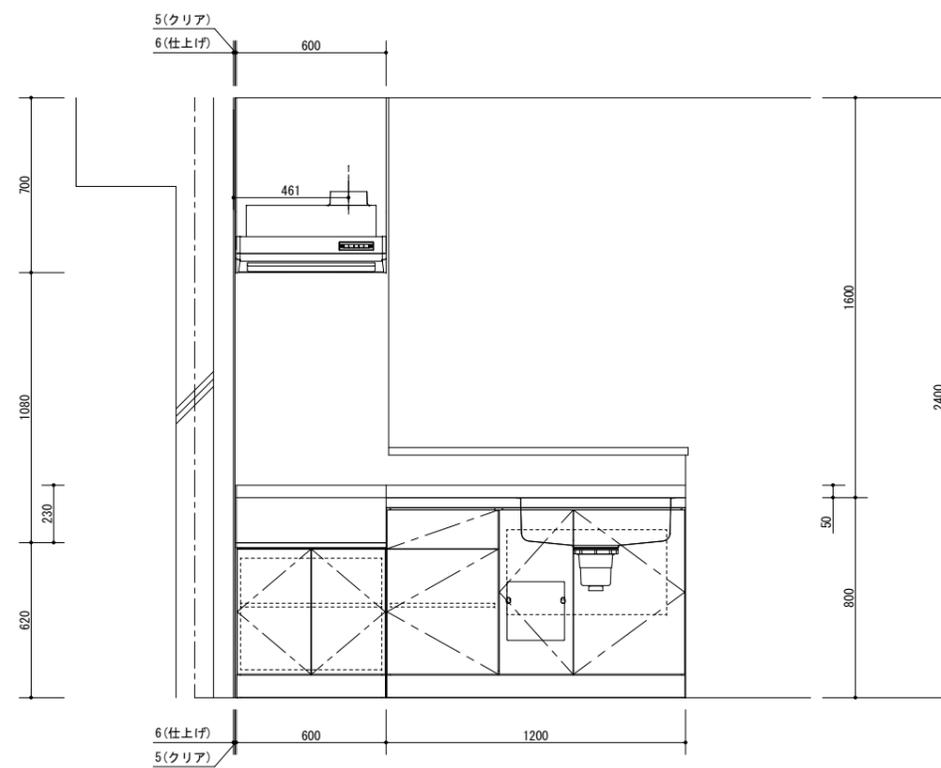
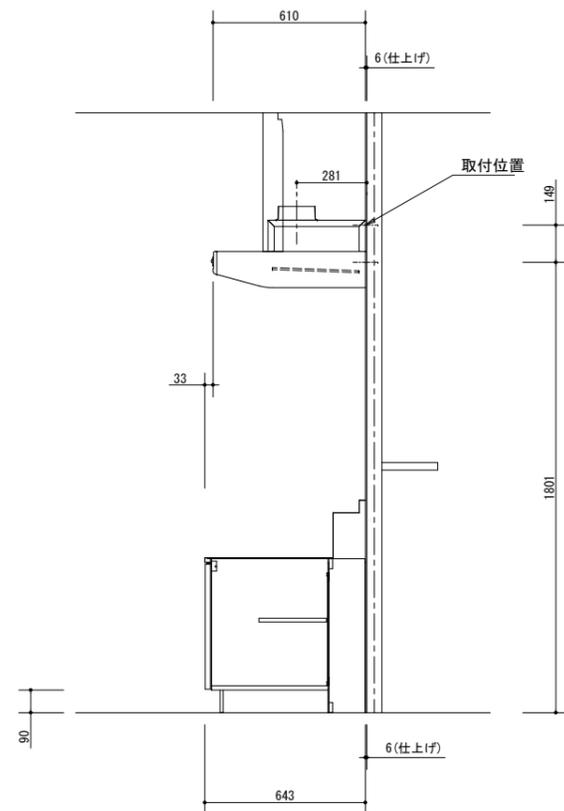
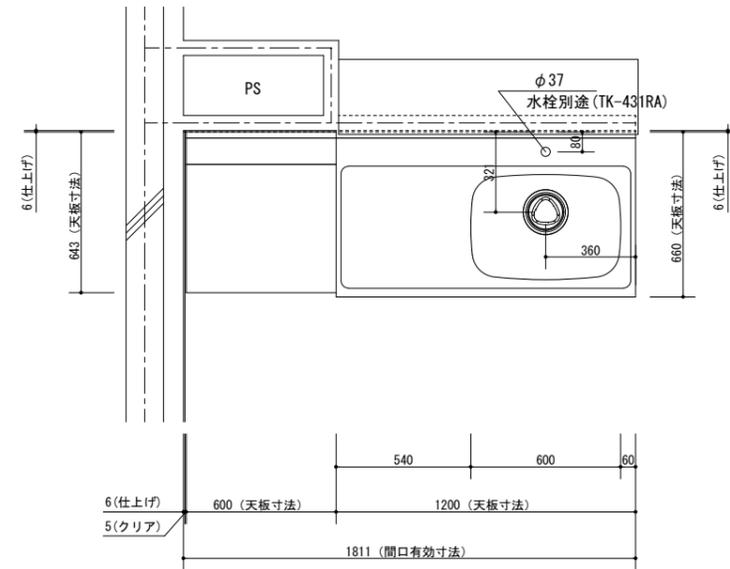
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
キッチン詳細図 (5)		SCALE	JOB	20080
		1/20	No.	A 078

本図は 右 勝手を示す。

右 勝手 8 戸

タイプ名 戸数

3DK (1-8F) 8



△	凡例
△	
△	

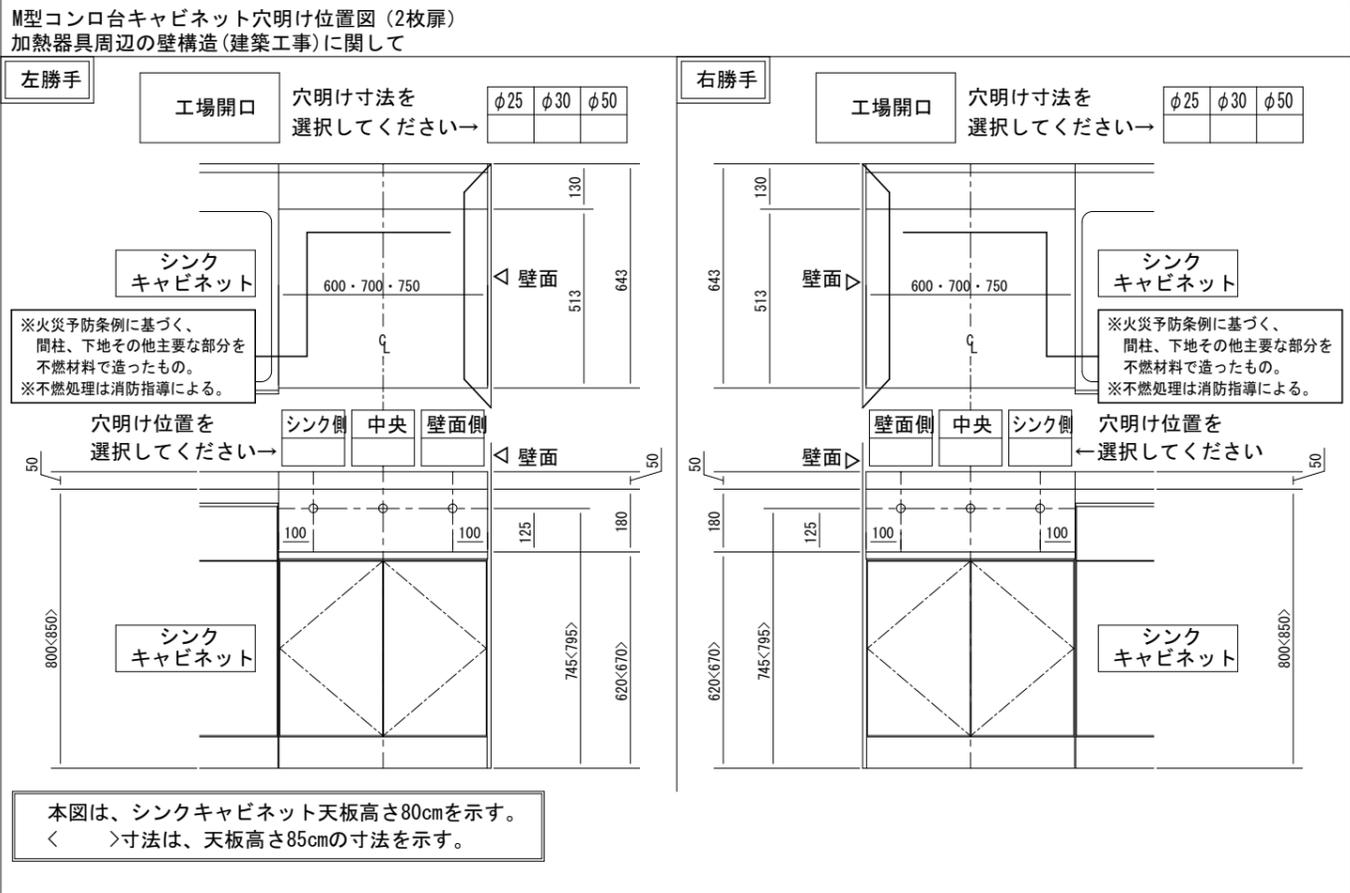
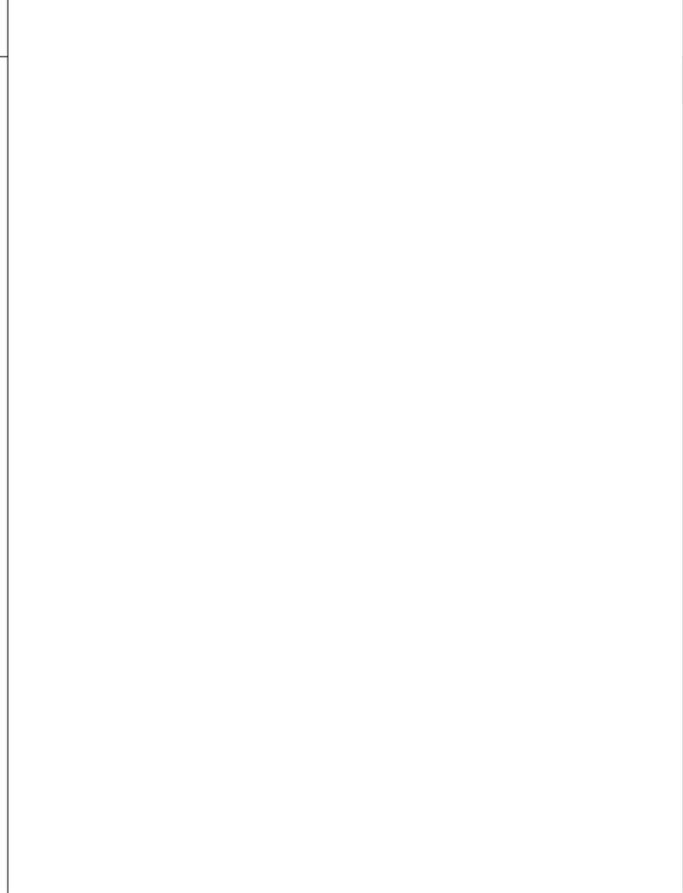
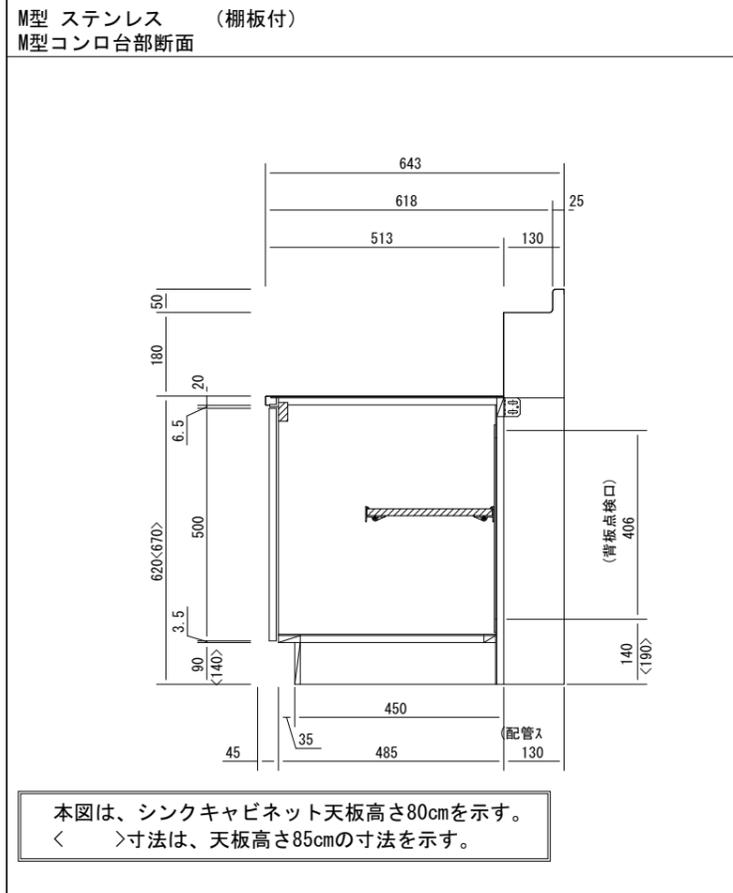
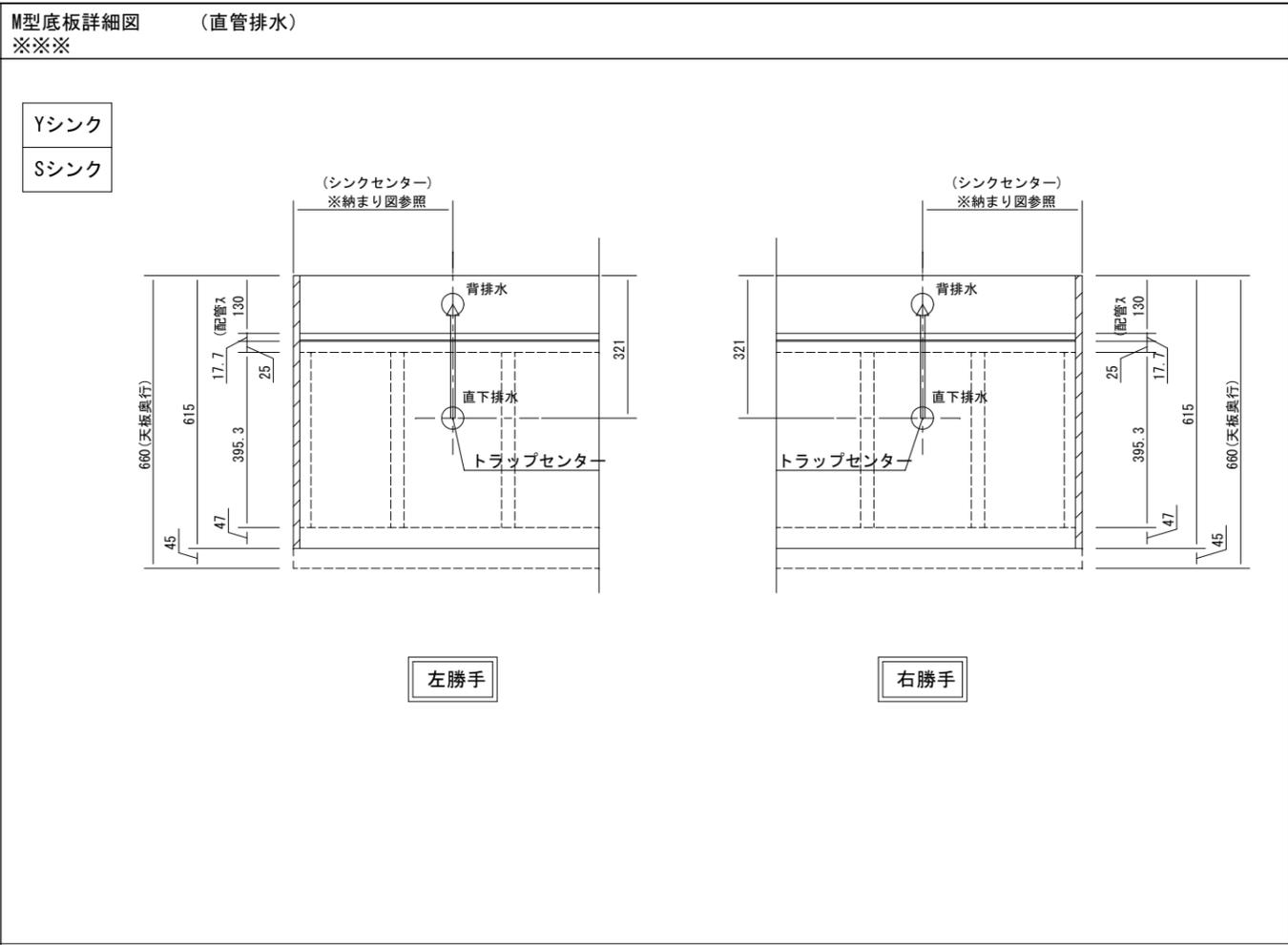
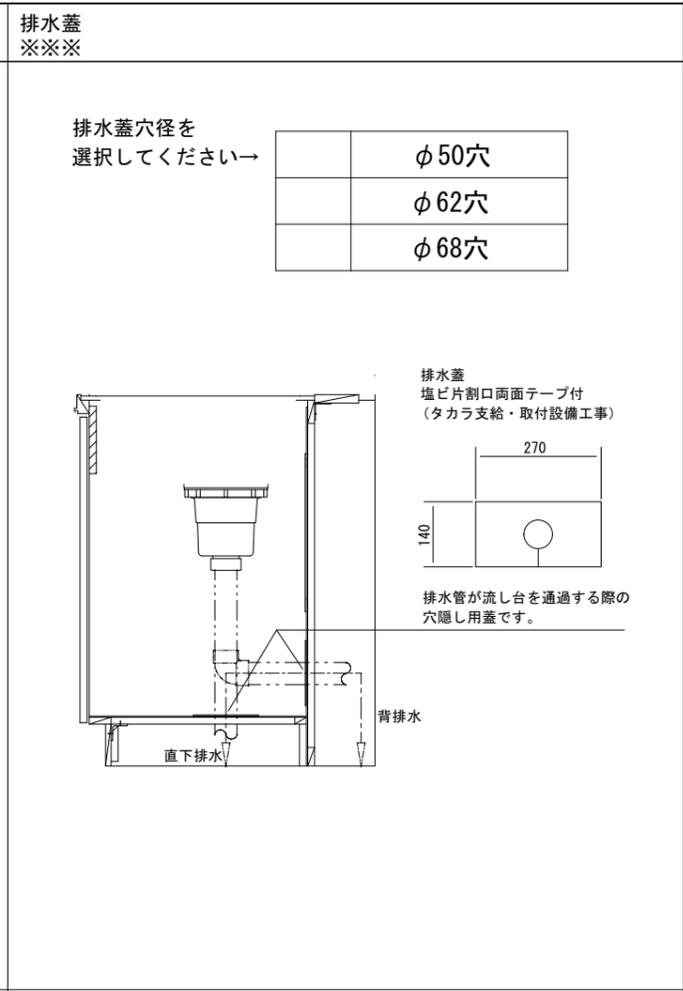
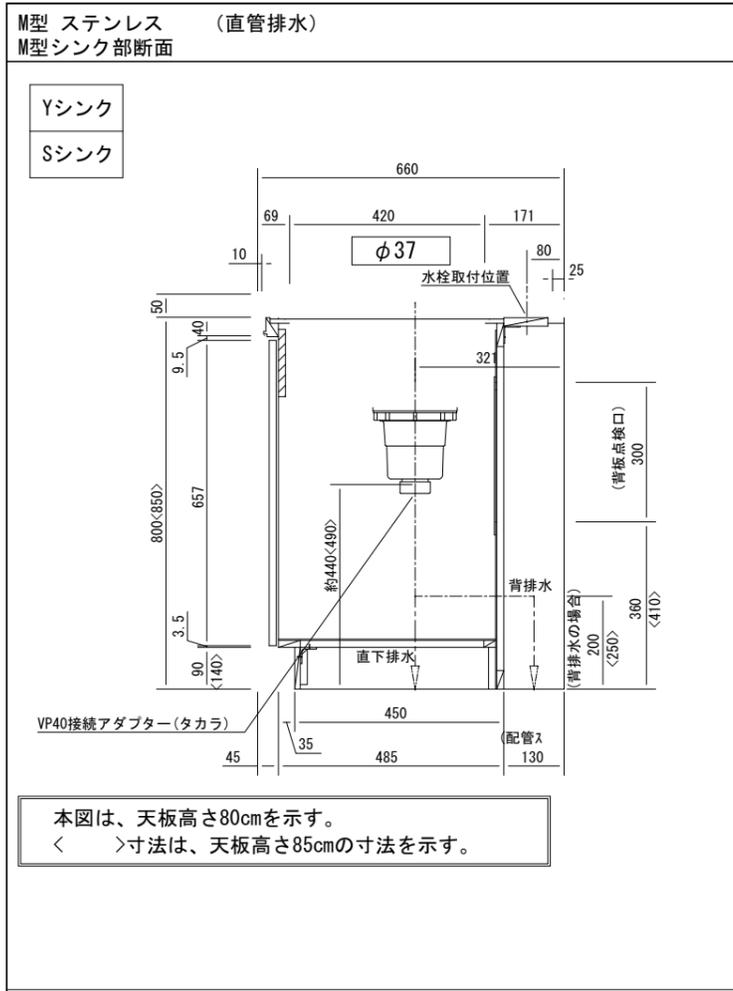
NOTE
凡例

さくら建築設計
株式会社
SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
キッチン詳細図 (6)		SCALE	JOB	20080
		1/20	No.	A 079



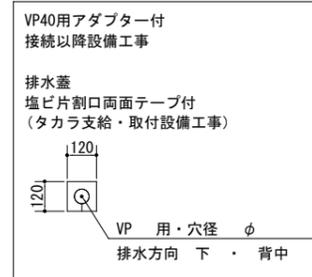
<KUW>

品名	仕様	F☆☆☆☆仕様
天板		ステンレスSUS430
下台	水栓種類	A57JT (単水栓)
	換気扇スイッチ	有り
	加熱機器	CH-11C (1口IH-100V)
上台	食器棚仕様	オ
	換気扇	有り(Φ150)
廻し縁	幕板・廻し縁	幕板 (建築工事)
仕様確認項目	巾木の色	ホワイト TW色
	扉の色	ホワイト TW色
	扉種類	化粧木

別途工事範囲

給水・排水配管 接続工事(止水栓別途)
ダクトへの接続
電源及び、一次結線用フルコネクターへの一次電源接続工事 (アース付)
壁、天井 (幕板) との取合い工事

排水接続



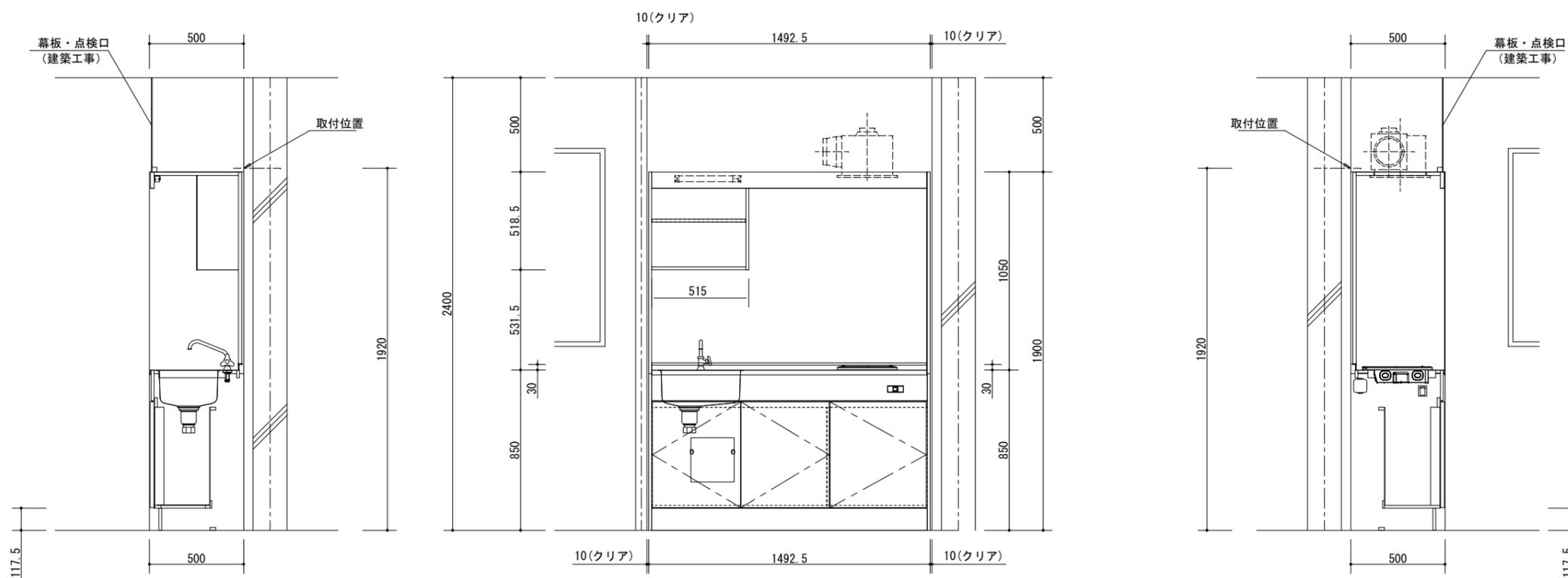
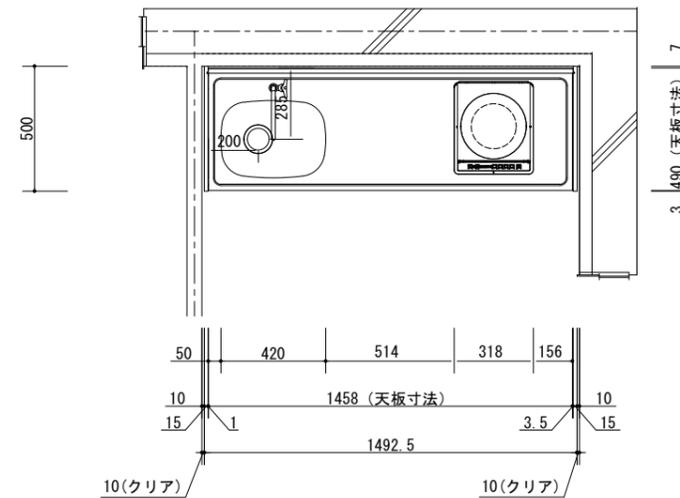
	NOTE		さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn	市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)	設計図	DATE	2022/9/20	
									SCALE	JOB	20080
									No.	A	082

本図は 左 勝手を示す。

左 勝手 1 戸

タイプ名 戸数

集会室(1F) 1



△	NOTE
△	凡例
△	

NOTE
凡例

さくら建築設計
株式会社

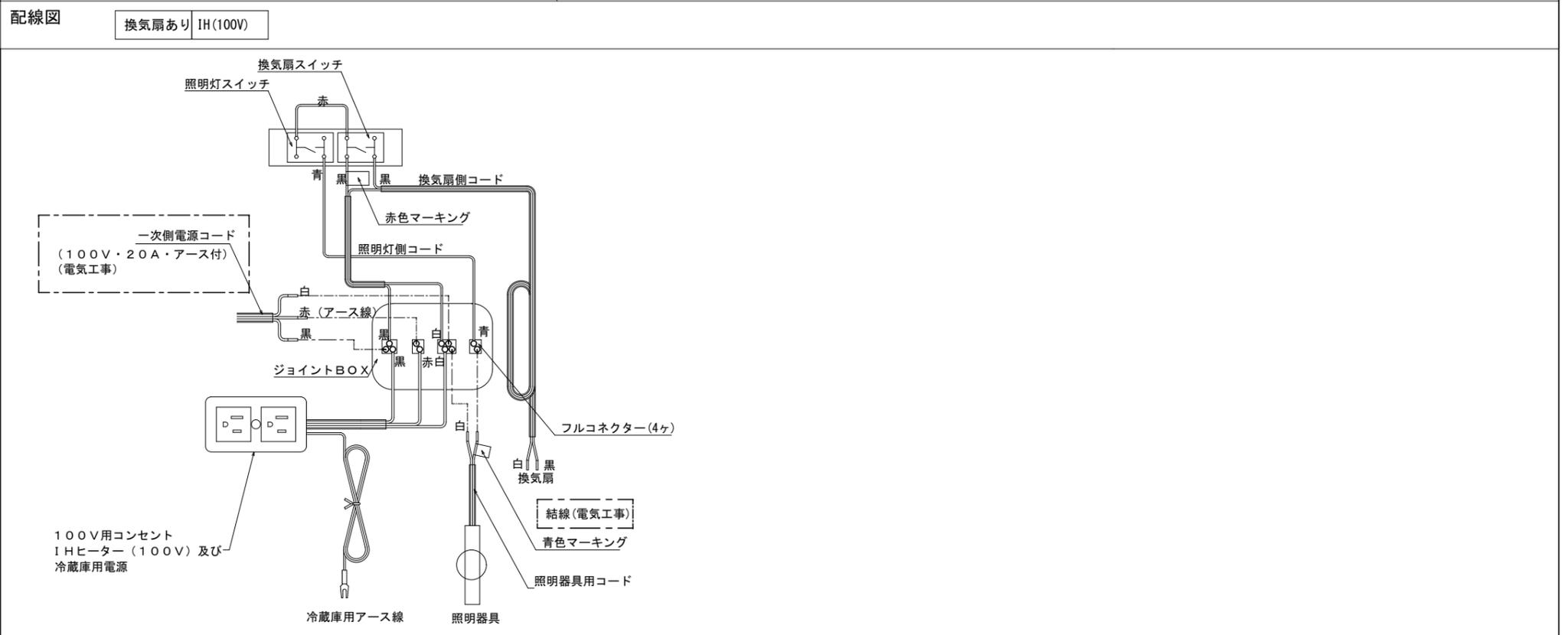
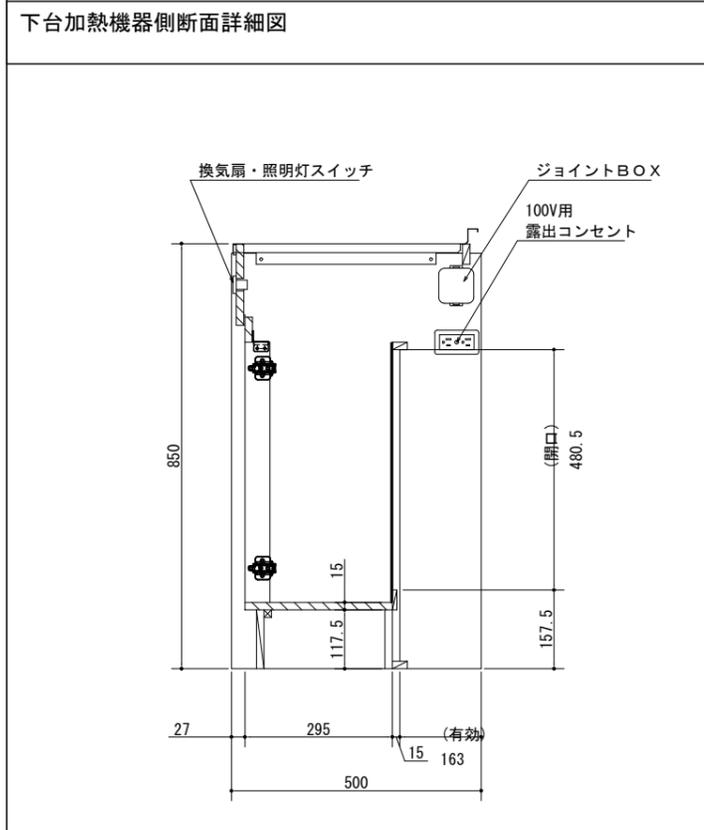
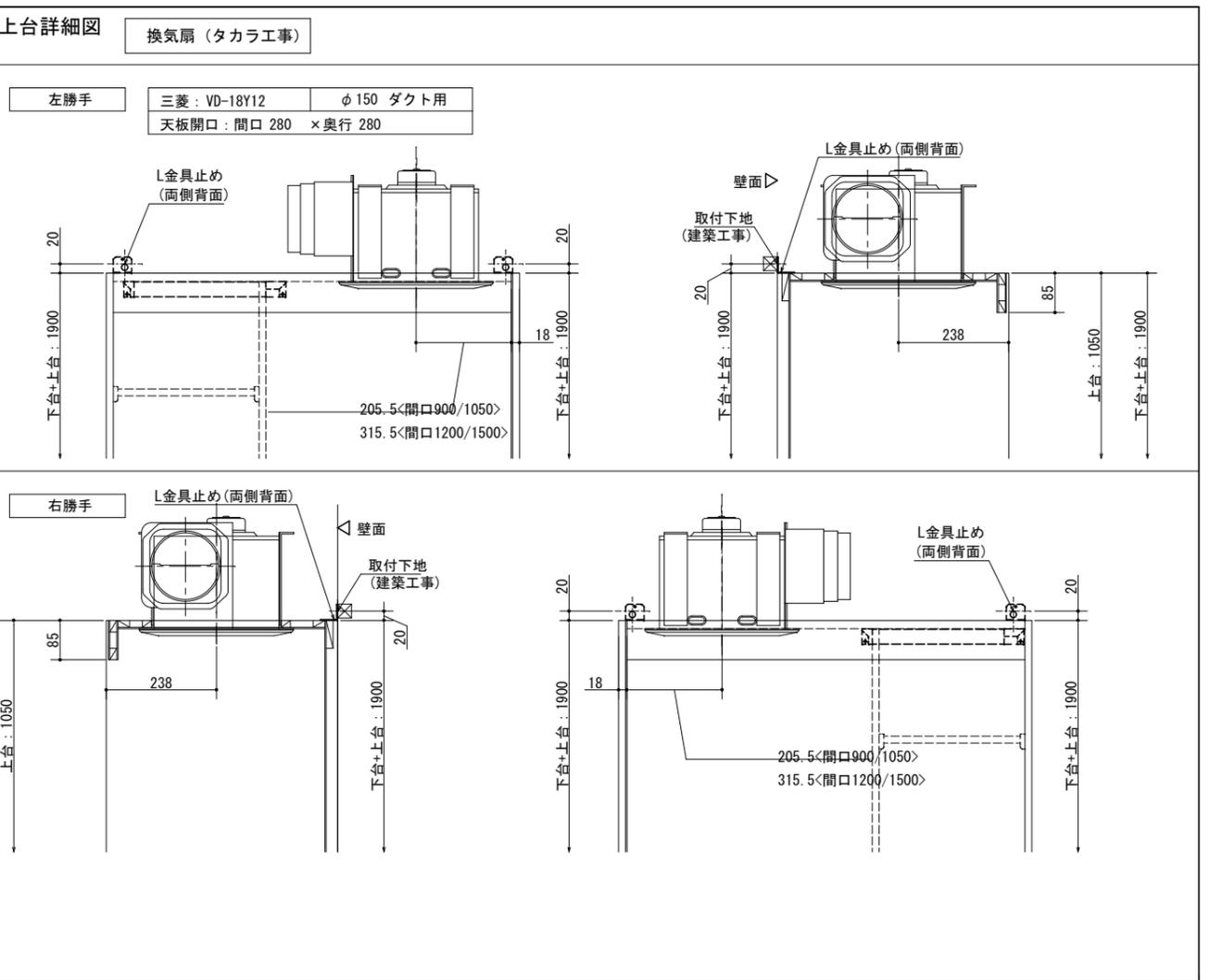
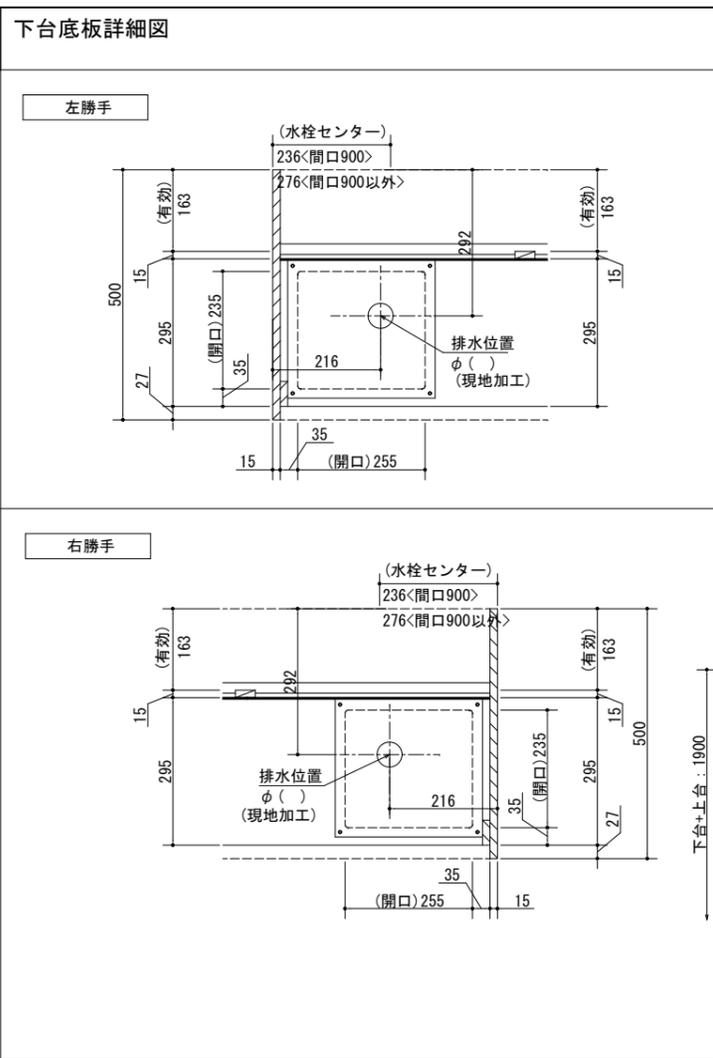
SAKURA
Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
ミニキッチン詳細図 (1)		SCALE	JOB	20080
		1/20	No.	A 083

工事区分	換気扇あり IH(100V)
※建築工事※	<input type="checkbox"/> 壁、天井（幕板）との取合工事
※電気工事※	<input type="checkbox"/> 電源及び一次結線用フルコネクターへの一次側電源接続工事（アース付） <input type="checkbox"/> 換気扇スイッチから換気扇コードと換気扇の結線工事 <input type="checkbox"/> 照明器具コードからジョイントBOXの結線工事
※設備工事※	<input type="checkbox"/> 換気扇ダクトの接続工事 <input type="checkbox"/> 給水・給湯・排水配管接続工事（単水栓、電気温水器の場合は給湯は除く） <input type="checkbox"/> 止水栓材料及び接続工事 <input type="checkbox"/> φ40用アダプターへの配管接続
※タカラ工事※	<input type="checkbox"/> 換気扇本体取付 <input type="checkbox"/> 換気扇コード（付属品） <input type="checkbox"/> 換気扇・照明灯用スイッチは本体に組み込み <input type="checkbox"/> IHヒーター取付のコンセント（100V） <input type="checkbox"/> IHヒーター設置 <input type="checkbox"/> コンセントプラグへの差込 <input type="checkbox"/> 水栓支給 <input type="checkbox"/> 水栓の天板取付工事 <input type="checkbox"/> 排水については、トラップ部のφ40用アダプターまで <input type="checkbox"/> 配管接続後のトラップ接続部の増し締め及びマーキング（封印） <input type="checkbox"/> キャビネット内排水管用穴開け工事（現場加工）



NOTE	
凡例	

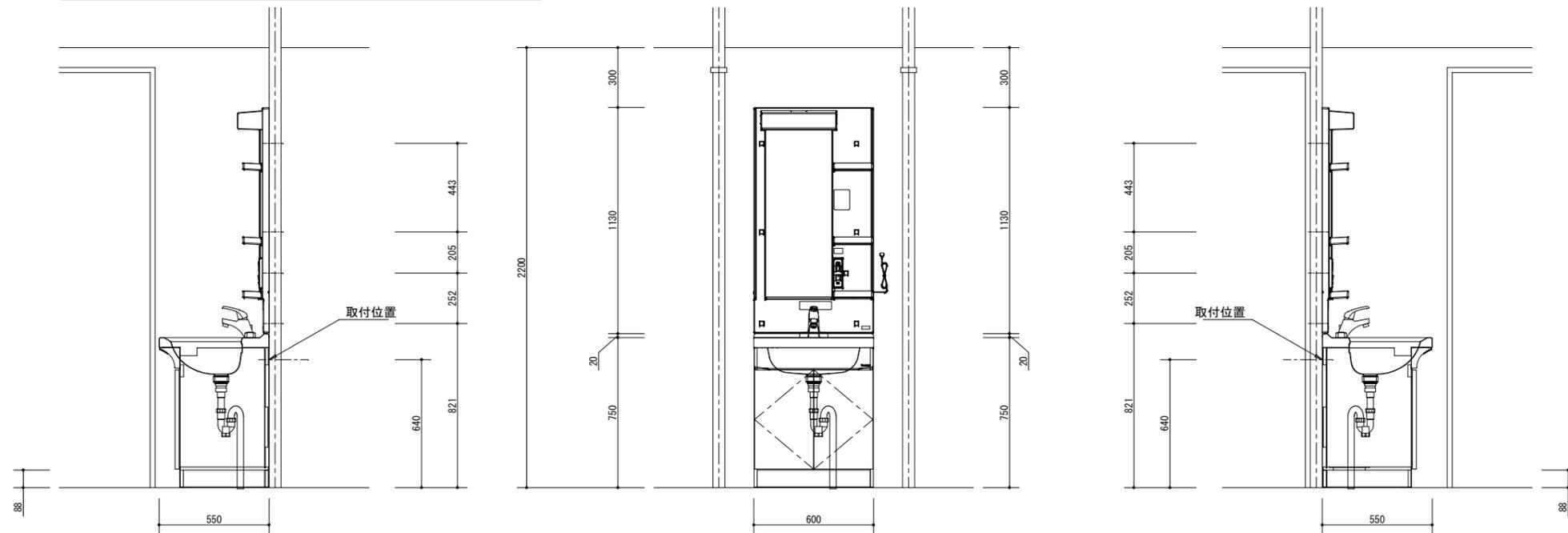
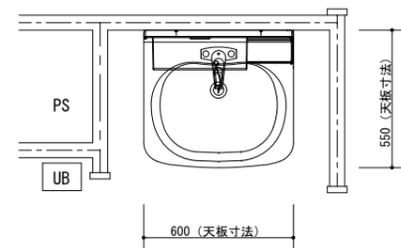
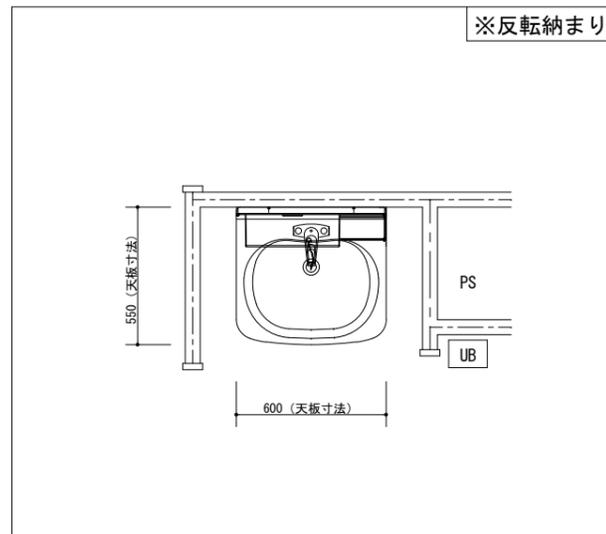
<p>さくら建築設計 株式会社</p>	<p>広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21(1)第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康</p>	<p>Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行</p>	<p>Drawn</p>	<p>市営新宮沖住宅建設工事（建築主体工事）</p>	設計図	DATE	2022/9/20
				<p>ミニキッチン詳細図（2）</p>	SCALE	JOB	20080
				No.	A	084	

<SLD+SHM>

品名	仕様	F☆☆☆☆仕様
下台	寸法	W600 x D550 x H770 (mm)
	天板/ボール	硬質ホーロー
	水栓種類	TKM7014 (シングルレバー水栓)
	扉	特殊化粧シート扉
	丁番	スライド丁番 (標準品)
	本体	化粧合板、化粧ボード
ミラー	巾木	化粧ボード
	寸法	W600 x D159 x H1130 (mm)
	照明器具	LED電球 (5W)
	コンセント	消費電力1300Wまで
シーリング	本体	合成樹脂製
	ミラー	防湿塗装鏡 くもり止めコーティング付
止水栓	止水栓	(建築工事)
仕様確認項目	ストレート止水栓 (支給タカラ・取付接続設備工事)	
	ポウル種類一色	ホ
	扉の色	未定
	引手	P-1引手
	本体の色	ホワイト TW色
巾木の色	ホワイト TW色	

設備工事	給湯・給水の配管工事及び水栓金具との接続工事
	排水トラップ・Y防臭キャップの取付・接続工事
	止水栓の取付・接続工事
	底板点検口への排水管・止水栓用の穴明け、配管後の点検口取付
電気工事	メディシンボックス・3面鏡(コンセント/スイッチ)への1次電源接続工事、配線後のスイッチプレート取付工事(プレート外しとコード引き込みはタカラ)
建築工事	洗面化粧台用の 取付用下地
	メディシンボックス正面取付タイプ用の 取付用下地
	建築との取り合い工事
	コーキング工事
タカラ	タカラ商品へのコード引き込み

本図勝手のみとする。	
25 戸	
タイプ名	戸数
1DK(1-8F)	25



△	NOTE
△	凡例
△	

NOTE
凡例

さくら建築設計
株式会社

SAKURA
Architects Co., Ltd.

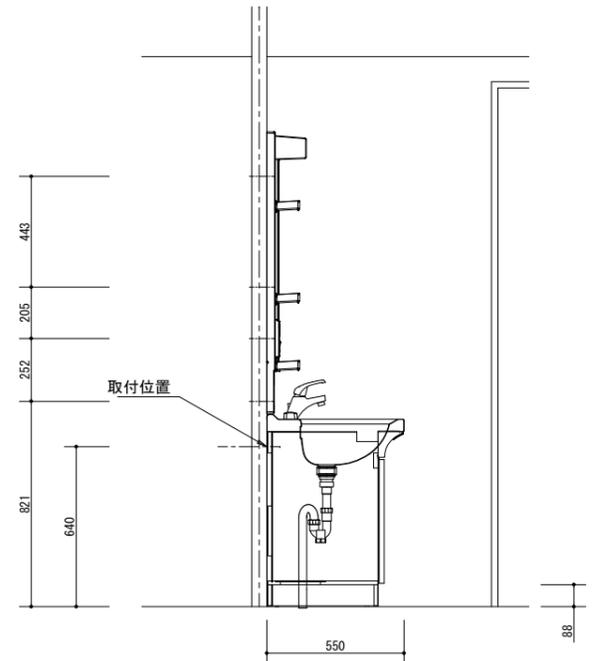
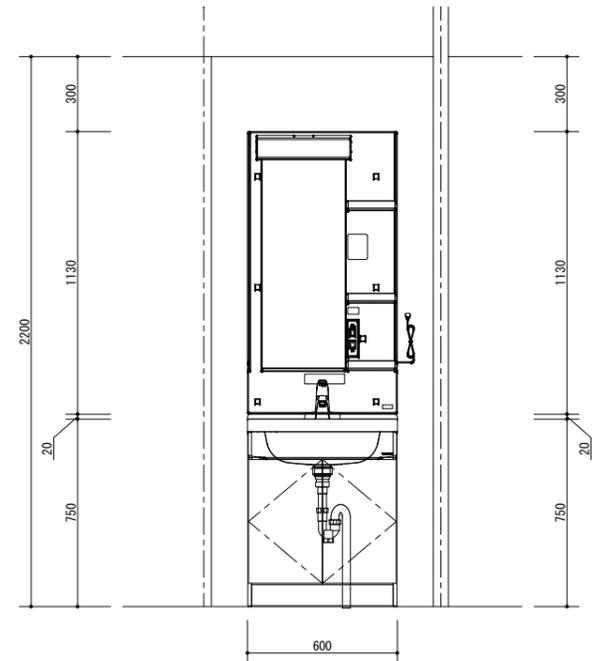
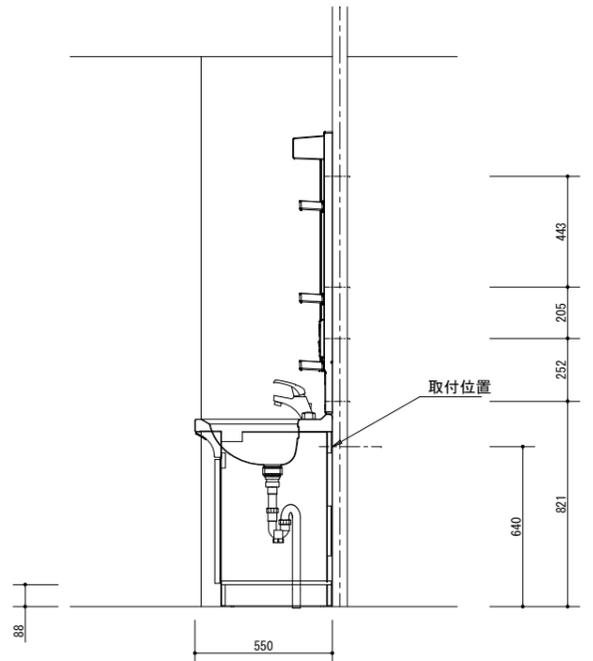
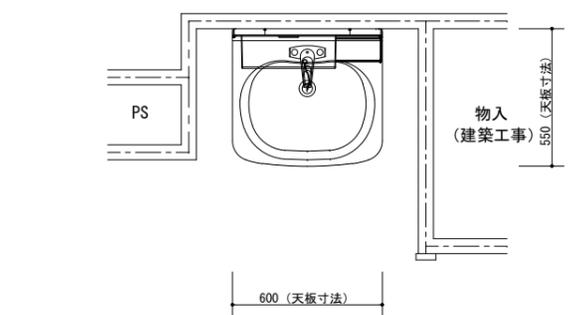
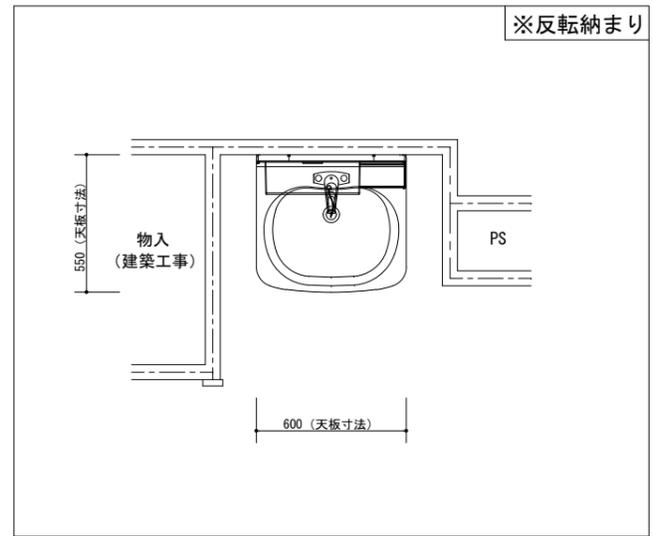
広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
洗面化粧台詳細図 (1)		SCALE	JOB	20080
		1/20	No.	A
				086

本図勝手のみとする。	
40 戸	
タイプ名	戸数
2DK(1-8F)	40



	△	NOTE
	△	凡例
	△	

NOTE
凡例

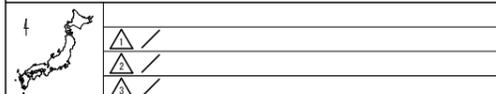
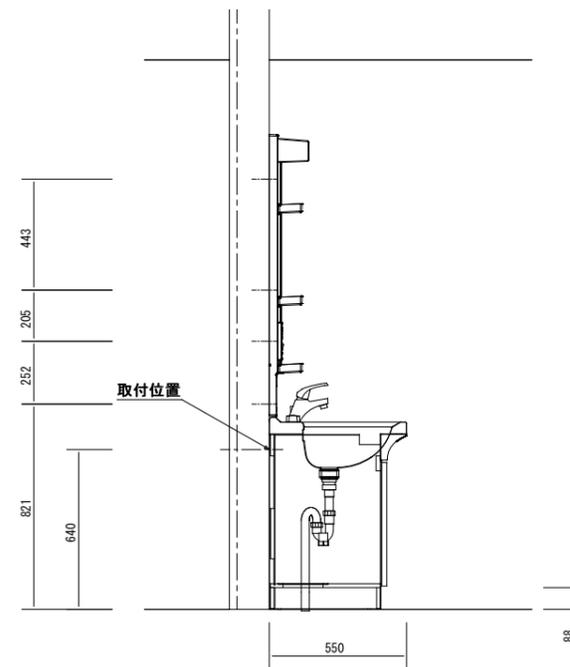
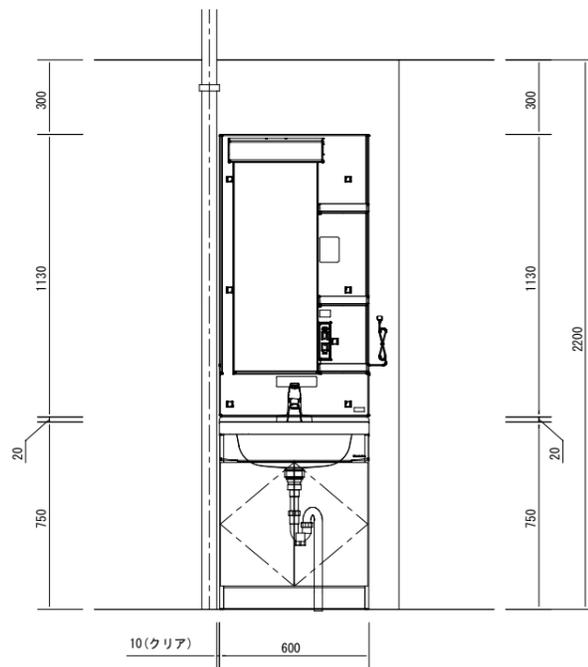
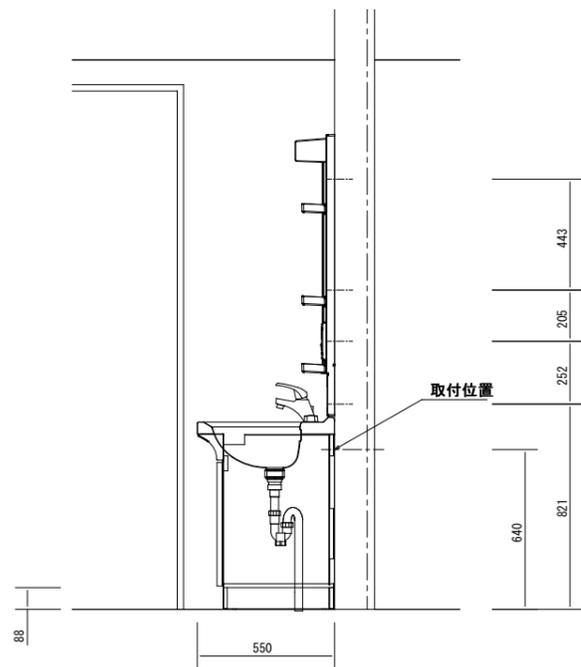
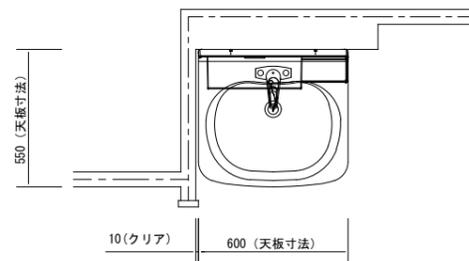
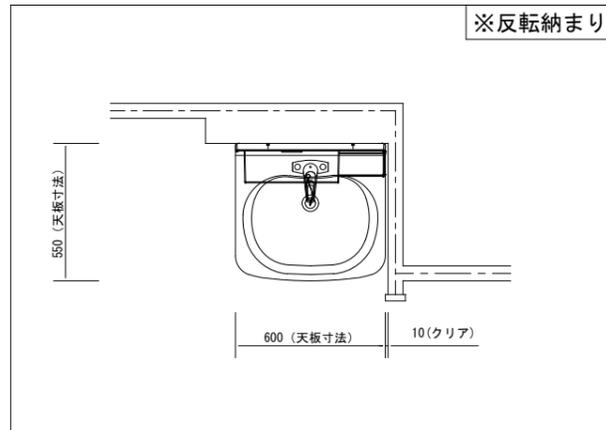
さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
洗面化粧台詳細図 (2)		SCALE	JOB	20080
		1/20	No.	A 087

本図勝手のみとする。	
15 戸	
タイプ名	戸数
3DK (2-8F)	15



NOTE	
凡例	

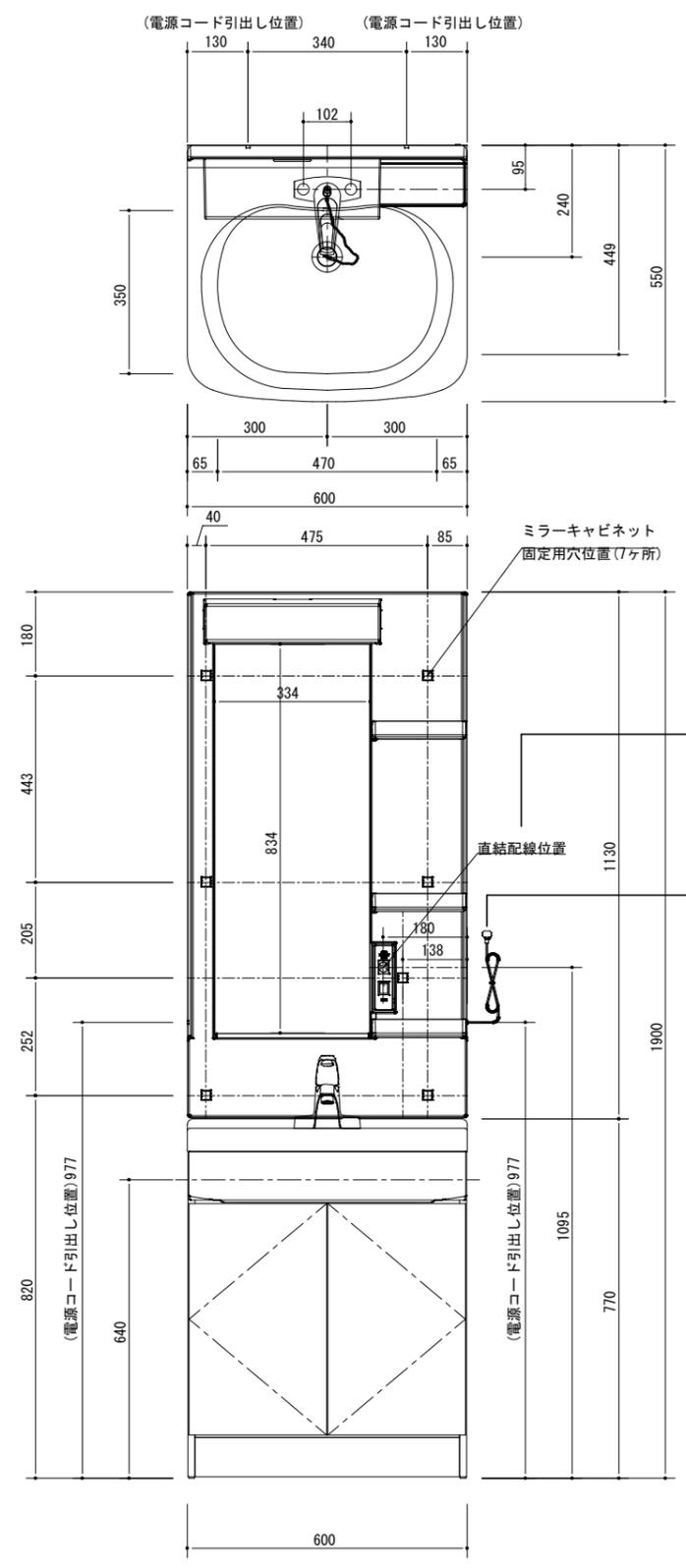
さくら建築設計
株式会社
SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
洗面化粧台詳細図 (3)		SCALE	JOB	20080
1/20	No.	A	088	

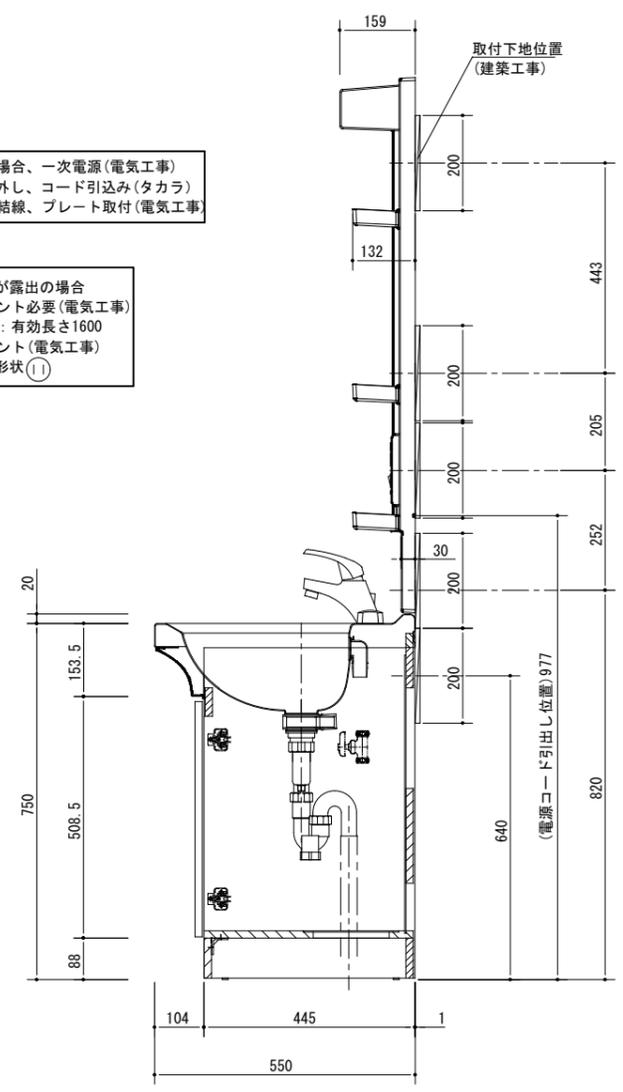


ミラーキャビネット
固定用穴位置 (7ヶ所)

直結配線の場合、一次電源 (電気工事)
プレート取外し、コード引込み (タカラ)
一次側電源結線、プレート取付 (電気工事)

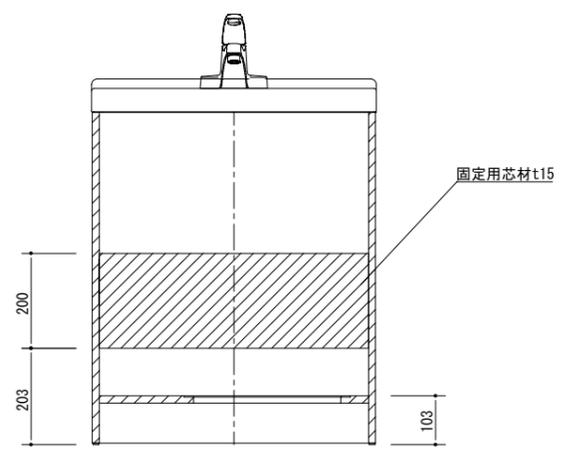
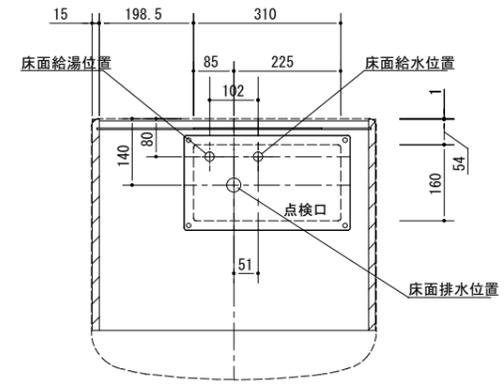
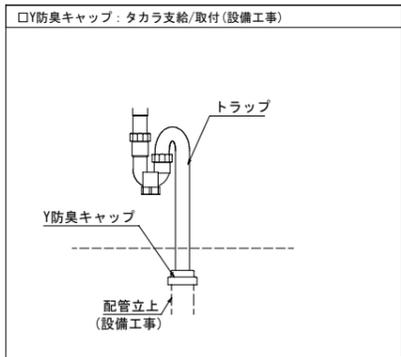
コンセントが露出の場合
電源コンセント必要 (電気工事)
電源コード：有効長さ1600
電源コンセント (電気工事)
コンセント形状 ㊶

直結配線位置



取付下地位置
(建築工事)

くもり止めコーティングあり	SHM-060M1NFYEBL-1
水栓	TKM7014
下台	SLD60



△	凡例
△	
△	

NOTE	
凡例	

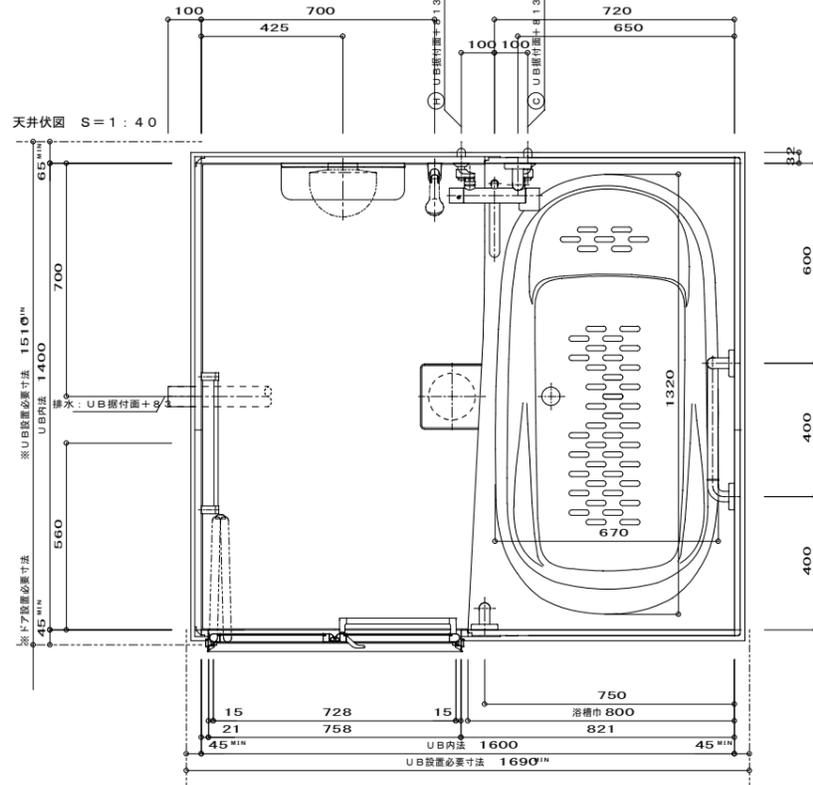
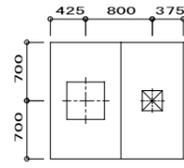
さくら建築設計
株式会社

SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

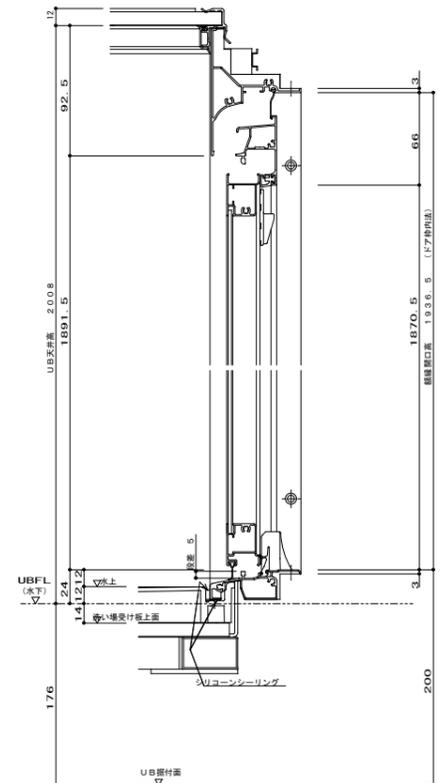
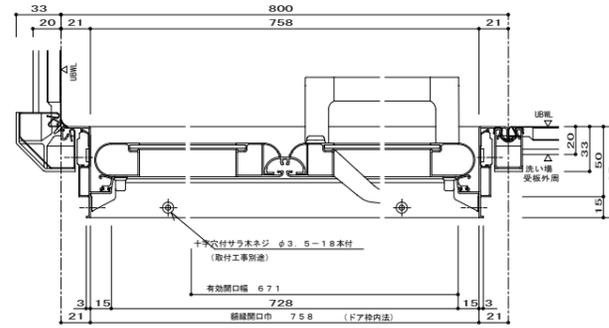
Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)	設計図	DATE	2022/9/20
洗面化粧台詳細図 (4)	SCALE	JOB	20080
	1/20	No.	A
			089



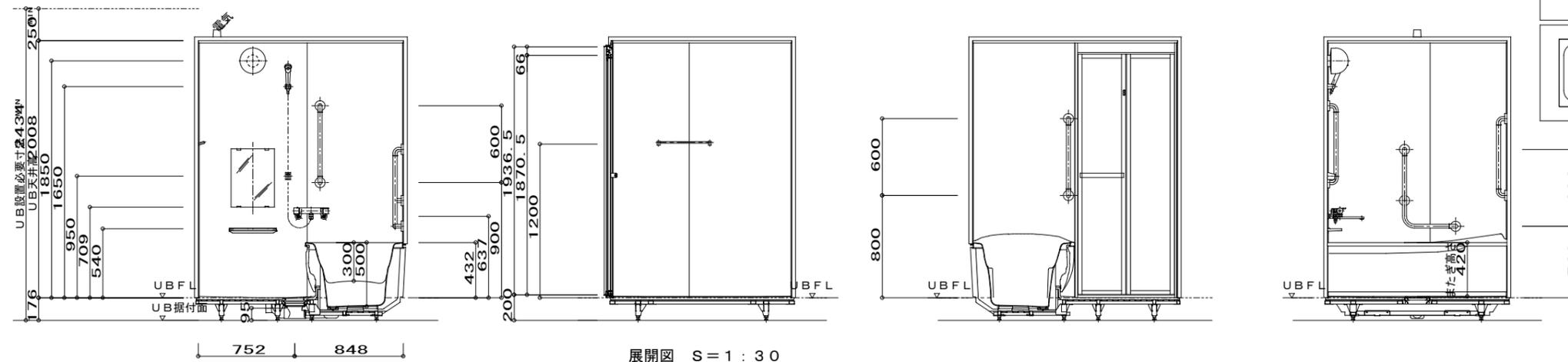
※UB設置必要寸法に
ドア設置必要寸法は含んでいません。
ドア納まりについての詳細は必ず
矩計図をご確認ください。

平面図 S=1:15



矩計図 S=1:7

RWV1416US		コロガシ *は特注点を示す		
名称	仕様・寸法	色・柄	特記事項	備考
天井パネル	化粧鋼板複合パネル(抗菌防カビ仕様・モール式) 点検口φ450(絞り点検口・落下防止用紐付・ 石膏ボード2枚貼り)	ホワイト		
壁パネル	HQパネル	ベースホワイト		
床パネル	FRP カラリ床(単色)	ホワイト		
* ドア枠	アルミアルマイト処理	ホワイト	(付枠用取付ネジUB支給。 ネジ取付および付枠別途)	HDSA W
* ドアパネル	折戸(スッキリドア)中横なし 面材:型板ステン板 W=800(有効開口幅 671mm)H=2000	ホワイト 面材:半透明		HDSA W
浴槽	ゆるり浴槽 FRPバス(ステップ付) ゴム栓 断熱防水パン付	ホワイト エプロン:ホワイト		
* アクセントカウンター	ABS樹脂製	ホワイト		TKBS W
* 浴槽水栓	TBV03438JA 壁付サーモスタットシャワー金具 (スバウトL=170)			SSLJA
* シャワーヘッド	スプレーシャワー ホース:L=1600	ヘッド:ホワイトグレー ホース:シルバー	(現場加工)	
シャワーハンガー	TH556F6	ホワイト	(現場加工)	
照明	半球形照明(LEDランプ) 消費電力9W以下 60W相当 電球色 VVF1.6φ×2C L=2.0m付		(以降接続別途)	
ジョイントボックス	エコノミージョイント WJ3107相当品		(ジョイントボックスま での配線及びジョイント ボックス内の結線別途)	
* 換気扇	□240 開口および補強木取付のみUB組立		(材工共別途)	IKA03
給水エルボ	浴槽用 青銅鋳物製 接続口 Rc1/2		(以降接続別途)	
給湯エルボ	浴槽用 青銅鋳物製 接続口 Rc1/2		(以降接続別途)	
排水トラップ	ABS樹脂製 封水深50mm 接続口 VP50受口 取っ手付ヘアキャッチャー 浴槽側逆流防止機構付			
* 排水管	VP50 末端開放し		(以降接続別途)	AHV02
* タオル掛け	ステンレスパイプ φ13 L=400	座:ホワイト	(取付位置変更)	HDSA W
* 手摺り(浴槽側短辺)	インテリアバー φ32 L型 L=600×400	ホワイト		KNR3N
* 手摺り(浴槽正面)	インテリアバー φ32 I型 L=600	ホワイト		KBR6N
* 手摺り(ドア横)	インテリアバー φ32 I型 L=600	ホワイト		KAR6N
* 鏡	お掃除ラクラク鏡 四角ミラー ツメ式 W340×H455			KURS1



展開図 S=1:30

変更日	変更事項(△変更マーク 月/日)	NOTE
△		凡例

Checked	Design
一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	

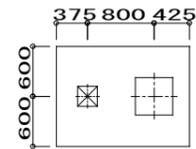


さくら建築設計
株式会社

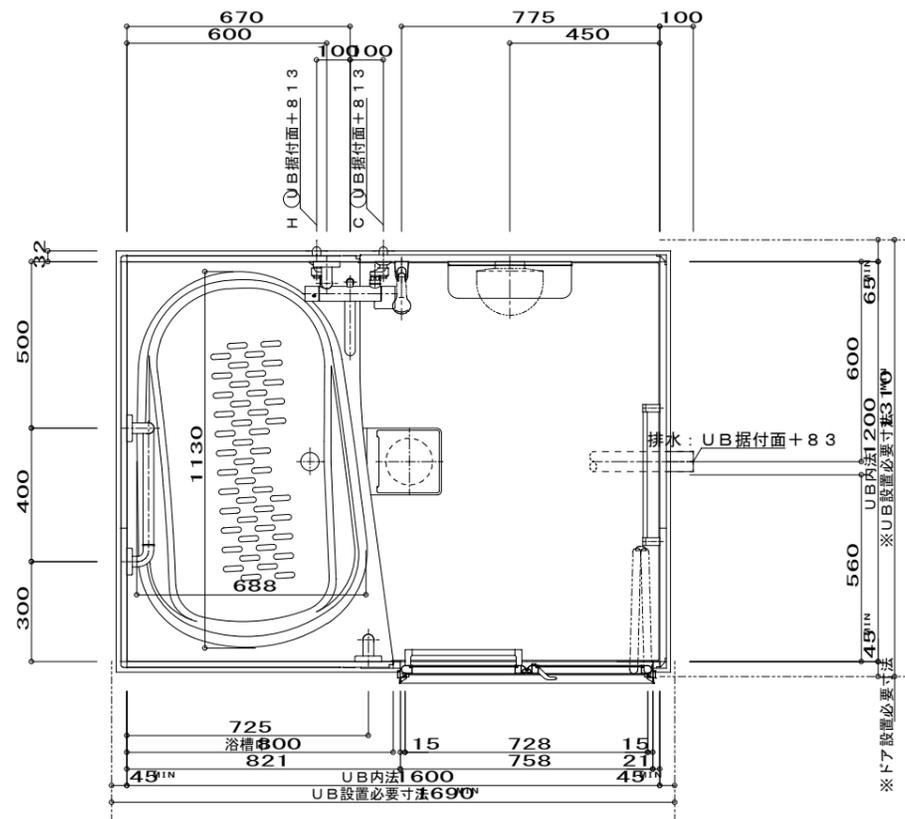
広島市東区牛田早福田1-22-13
一級建築士事務所登録 21(1)第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

市営新宮沖住宅建設工事(建築主体工事)	設計図	DATE	2022/9/20
ユニットバス詳細図(1)	SCALE	JOB	20080
	1/30, 15, 7	No.	A 090

図面: A2 (縮尺: A1→141%, A3→71%)	印刷日付: 22' 12' 3
------------------------------	-----------------

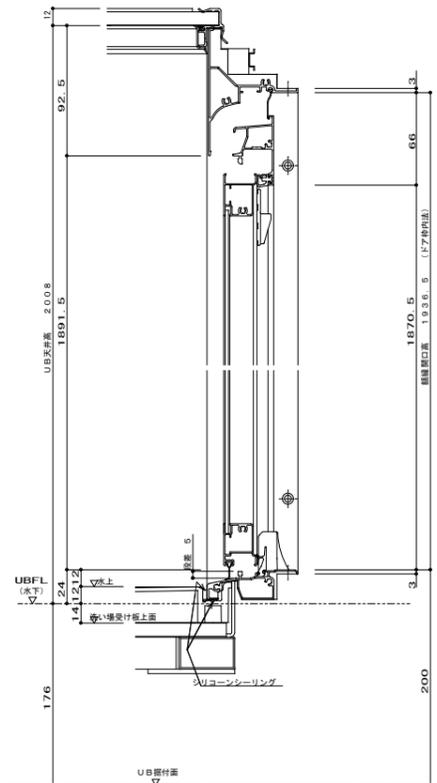
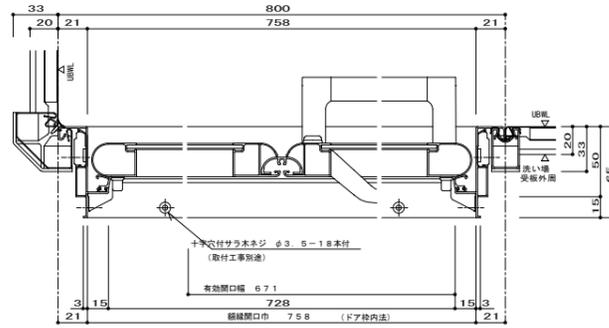


天井伏図 S=1:40



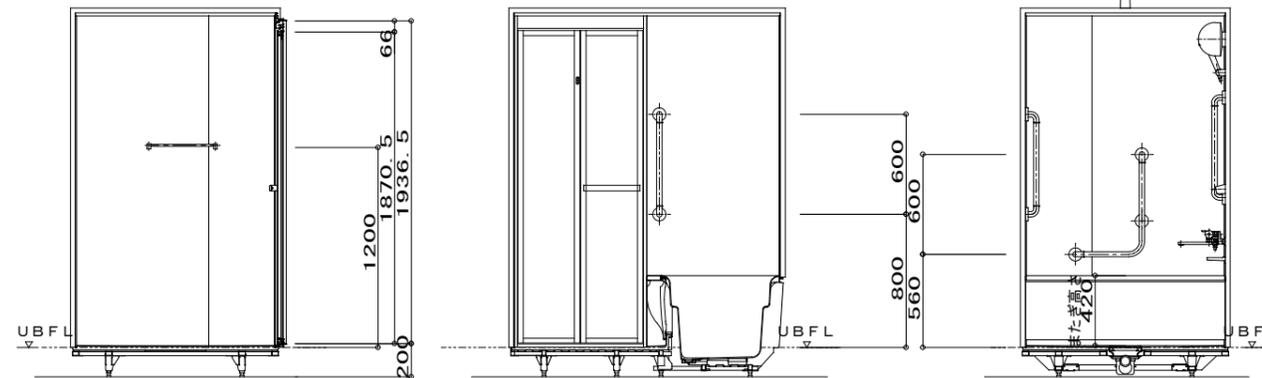
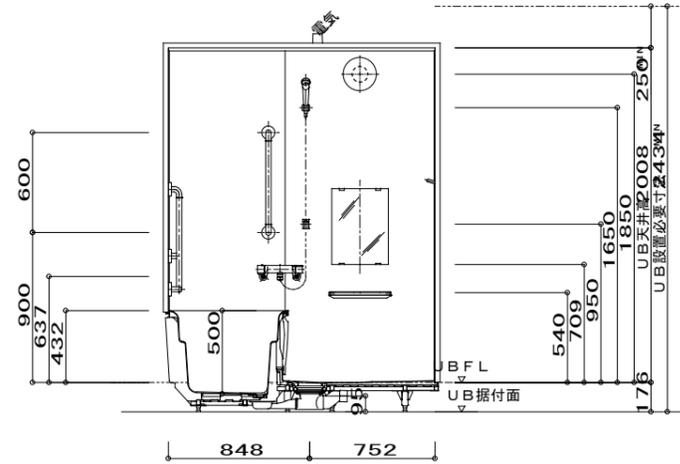
平面図 S=1:15

※UB設置必要寸法に
ドア設置必要寸法は含んでいません。
ドア納まりについての詳細は必ず
矩計図をご確認ください。

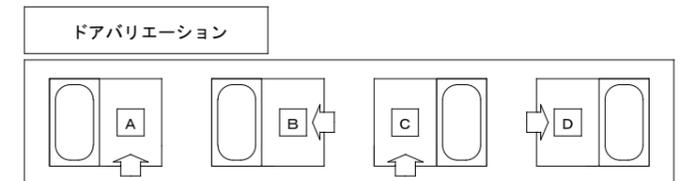


矩計図 S=1:7

RWV1216US		コロガシ		*は特注点を示す	
名称	仕様・寸法	色・柄	特記事項	備考	
天井パネル	化粧鋼板複合パネル(抗菌防カビ仕様・モール式) 点検口φ450(絞り点検口・落下防止用紐付・ 石膏ボード2枚貼り)	ホワイト			
壁パネル	HQパネル	ベージュホワイト			
床パネル	FRP カラリ床(単色)	ホワイト			
* ドア枠	アルミアルマイト処理	ホワイト	(付枠用取付ネジUB支給。 ネジ取付および付枠別途)	HDSA W	
* ドアパネル	折戸(スッキリドア)中線なし 面材:型板ステン板 W=800(有効開口幅 671mm)H=2000	ホワイト 面材:半透明		HDSA W	
* 浴槽	ラウンド浴槽 FRPバス ゴム栓 断熱防水パン付	ホワイト エプロン:ホワイト		Y Y R 3 W	
* アクセントカウンター	ABS樹脂製	ホワイト		T K B S W	
* 浴槽水栓	TBV03438JA 壁付サーモスタットシャワー金具 (スパウトL=170)			S S L J A	
* シャワーヘッド	スプレーシャワー ホース:L=1600	ヘッド:ホワイトグレー ホース:シルバー	(現場加工)		
シャワーハンガー	TH556F6	ホワイト	(現場加工)		
照明	半球形照明(LEDランプ) 消費電力9W以下 60W相当 電球色 VVF1.6φ×2C L=2.0m付		(以降接続別途)		
ジョイントボックス	エコノミージョイント WJ3107相当品		(ジョイントボックスま での配線及びジョイント ボックス内の結線別途)		
* 換気扇	□240 開口および補強木取付のみUB組立		(材工共別途)	I K A 0 3	
給水エルボ	浴槽用 青銅鋳物製 接続口 Rc1/2		(以降接続別途)		
給湯エルボ	浴槽用 青銅鋳物製 接続口 Rc1/2		(以降接続別途)		
排水トラップ	ABS樹脂製 封水深50mm 接続口 VP50受口 取っ手付ヘアキャッチャー 浴槽側逆流防止機構付				
* 排水管	VP50 末端開放し		(以降接続別途)	A H V 0 2	
* タオル掛け	ステンレスパイプ φ13 L=400	座:ホワイト	(取付位置変更)	HDSA W	
* 手摺り(浴槽側短辺)	インテリアバー φ32 L型 L=600×400	ホワイト		K N R 3 N	
* 手摺り(浴槽正面)	インテリアバー φ32 I型 L=600	ホワイト		K B R 6 N	
* 手摺り(ドア横)	インテリアバー φ32 I型 L=600	ホワイト		K A R 6 N	
* 鏡	お掃除ラクラク鏡 四角ミラー ツメ式 W340×H455			K U R S 1	



展開図 S=1:20



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

さくら建築設計
株式会社
SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行
Drawn	

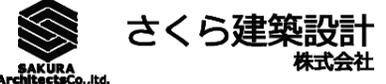
市営新宮沖住宅建設工事(建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
ユニットバス詳細図(2)		SCALE	JOB	20080
		1/30, 15, 7	No.	A 091

16 左官工事 2 ラス系下地 (15. 2. 4) 17 建築工事 3 床コンクリート直均し仕上げ (15. 4. 2) (6. 2. 5) 4 セルフレベリング材塗り (15. 5. 2) (表15. 5. 1) 5 仕上塗材仕上げ (15. 6. 2) 6 ALCパネルの場合の下地処理 (15. 6. 4) 7 マスチック塗材塗り (15. 7. 2) 8 せっこうプラスタ塗材塗り (15. 8. 3) 9 ロックウール吹付け (15. 12. 2. 3) 10 しっくい塗り (15. 10. 2. 3) 11 こまい塗り (15. 11. 2~5, 7, 8) 17 建築工事 1 防火戸 (16. 1. 3) 2 建具見本の製作 (16. 1. 4) 3 防犯建物部品 (16. 1. 6)

4 アルミニウム製建具 (16. 2. 2, 4, 5) (表14. 2. 1) (表16. 2. 1, 2) 5 網戸等 (16. 2. 3) 6 樹脂製建具 (16. 2. 5) (16. 3. 2~5) (表16. 3. 1~4) 7 鋼製建具 (16. 2. 2) (16. 4. 2~4) (表16. 4. 2) 8 鋼製軽量建具 (16. 2. 2) (16. 5. 2~4) 9 ステンレス製建具 (16. 2. 2) (16. 4. 2) (16. 6. 2~5)

10 木製建具 (16. 7. 2~4) 11 建具用金物 (16. 8. 2, 3) (表16. 8. 1)

17 建築工事 クローザー類 (品質・性能) 性能試験項目 GradeI 番手 閉じモーメント効率 (N・m) (%) 閉じモーメント効率 (N・m) (%) 閉じモーメント効率 (N・m) (%) 閉じモーメント効率 (N・m) (%) 1 5以上 30以上 5以上 30以上 5以上 30以上 2 10以上 30以上 10以上 30以上 10以上 30以上 3 15以上 35以上 15以上 35以上 15以上 35以上 4 25以上 40以上 25以上 40以上 25以上 40以上 5 35以上 45以上 35以上 45以上 35以上 45以上 6 45以上 45以上 45以上 45以上 45以上 45以上 閉じ速度 (秒) 常温 (5~35℃) 無風状態において、開閉 (70°) から全開 (0°) までの時間を5~8秒に調整できること。 温度依存性 (℃) 緩衝油の流動点は、JIS K 2269 (原油及び石油製品の流動点並びに石油製品量り点試験方法) により測定し、-15℃以下であること。 ストップ入り力 (N・m) ドア開閉方向に荷重60N/m² 但し、コンシールド型は 200N・m以下 100N・m以下 100N・m以下 ストップ解除力 (N・m) 3N・m以上 2N・m以上 10N・m以上 パックチェック性能 (秒) ドア開閉方向に荷重60N/m² から負荷する。パックチェック開始角度 (70~85°) から更に20°まで開く間時間は0.8秒以上としていること。 ディレードアクション性能 (秒) 開閉90°の位置からディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。 戸の閉鎖位置 (中心吊り込み面自由のみに適用) ±3mm以内 繰返し開閉 GradeI 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 繰返し開閉 GradeI 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 繰返し開閉後の閉じ速度 (秒) 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 繰返し開閉後のパックチェック性能 (秒) 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 繰返し開閉後のディレードアクション性能 (秒) 耐久試験後も上記初期値を満足していること。 繰返し開閉後の戸閉鎖位置 (mm) 以内 耐久試験後±6mm以内 耐久性の試験 GradeI 20万回 10万回 30万回 注1. パラレル取付けは、右記の閉じモーメントの70%程度までとする。 注2. コンシールド型は右記の閉じモーメントの50%程度までとする。 GradeI を決定する場合は、閉じモーメントを (試験方法) 1) 性能試験は、JIS A 1510-3 (建築用ドア金物の試験方法-第3部: フロアヒンジ、ドアローザ及びヒンジローザ) に規定する試験方法による。 2) 試験ドアの質量は、1番手は25k、2番手は40k、3番手は60k、4番手は80k、5番手は100k、6番手は120kとする。 (16. 8. 4) マスターキー ※製作する (組) ・製作しない ・既存に相込む 鍵の製作本数 ※各室3本1組 (個名札付き) 鍵箱 ⊙ 設ける (個用組) ・設けない (表16. 9. 1) (表16. 9. 2) (16. 9. 2. 3) 13 自動ドア開閉装置 引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書表16. 9. 1による 種類 ・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSL-1 ・DSL-2 多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書表16. 9. 2による 引き戸用検出装置の種類は、多機能トイレスイッチとする 引き戸用検出装置 性能値 ※標準仕様書表16. 9. 3による 種類 ・光線 (反射) センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ 戸の開閉方式 ※建具による 防錆 ・適用する ・適用しない 凍結防止措置 ・適用する ・適用しない 14 自閉式上吊り引戸装置 性能値等 ※標準仕様書表16. 10. 1による (16. 10. 3) (試験方法) (1) 耐久性 (開閉繰り返し) 試験 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から閉端位置までの作動を確認できる試験を行う。同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回の時点での調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性試験成績書において2万回以上の耐久性試験を確認することで、試験に代えることができるものとする。 (2) 耐衝撃性試験 落下高さ170cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。 (3) 気密性試験 JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。



広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康 Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行 Draw

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事) 設計図 DATE: 2022/9/20 SCALE: JOB: 20080 木造工事特記仕様書 (3) No. A 094 図面: A 2 (縮尺: A 1-141%, A 3-71%) 印刷日付: 22' 12' 3

17 建築工事 15 重量シャッター シャッターの種類 ・ 管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m2 (16. 11. 2, 3) ・ 外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m2 ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 閉鎖方式の種類 ※ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※ 図示 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※ 図示 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構の設置箇所 ※ 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日建設省告示第2563号)に定める基準に適合するもの 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ※ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ※ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき及び鋼帯) めっきの付着量 ※ Z12又はF12を満足するもの ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ※ ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS434J1 (16. 12. 2~4)

17 建築工事 19 ガラスブロック積み 表面形状 ・ 正方形 ・ 125×125 ・ 80 ・ 160×160 ・ 95 ・ 125 ・ 200×200 ・ 95 ・ 125 ・ 320×320 ・ 95 ・ 250×125 ・ 80 ・ 320×160 ・ 95 色調 クリア 乳白 平積み 曲面積み 伸縮調整目地 位置(mm) ※6mm以下 下に幅10~25 ※無し ・ 有り 防火性能 ※無し ・ 有り (16. 14. 5)

19 内装工事 ① 接着剤 接着剤のホルムアルデヒド放放量 ※ 規制対象外 ・ 接着剤は可塑剤 (難揮発性の可塑剤を除く) が添加されていないものとする 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 ・ 図示 ・ (19. 2. 2)

19 内装工事 ② せっこうボード等の下地 ※ 図示 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放放量 ※ 規制対象外 ・ 種類 JISの記号 厚さ (mm)、規格等 (19. 7. 2, 3) (表 19. 7. 1)

変更日... 変更事項 (△変更マーク 月 / 日) NOTE 凡例

さくら建築設計 株式会社 SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康 Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行 Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事) 設計図 DATE 2022/9/20 SCALE 20080 木造工事特記仕様書 (4) No. A 095

4	1	防蟻・防蟻処理	<p><4.2.1~3></p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">処理の種類及び処理の方法</th> </tr> <tr> <td>適用部材</td> <td>防蟻・防蟻処理が必要な樹種 薬剤の加圧注入 薬剤の塗布等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4 ・行方</td> </tr> </table>		処理の種類及び処理の方法		適用部材	防蟻・防蟻処理が必要な樹種 薬剤の加圧注入 薬剤の塗布等		・K2 ・K3 ・K4 ・行方	5	6	ラグスクリュー	<p>Z、C、D、Sマーク表示金物 <5.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、D、Sマークの規格</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ラグスクリュー</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		種類	Z、C、D、Sマークの規格	その他	・ラグスクリュー			6	5	ボルト、アンカーボルト、ナット及び産金	<p>Z、C、D、Sマーク表示金物 <6.2.4><6.5.11></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、D、Sマークの規格</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・アンカーボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・六角ボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・産金</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		種類	Z、C、D、Sマークの規格	その他	・アンカーボルト			・六角ボルト			・産金			7	1	木材等	<p>特組壁工法工事に使用する木材等は、使用材料表5による <7.2.2.3></p>	
			処理の種類及び処理の方法																																								
適用部材	防蟻・防蟻処理が必要な樹種 薬剤の加圧注入 薬剤の塗布等																																										
	・K2 ・K3 ・K4 ・行方																																										
種類	Z、C、D、Sマークの規格	その他																																									
・ラグスクリュー																																											
種類	Z、C、D、Sマークの規格	その他																																									
・アンカーボルト																																											
・六角ボルト																																											
・産金																																											
2	防蟻措置	<p>基礎外周部の換気孔 材質等 () <4.2.4></p> <p>・ねこ土台 材質等 () ※防蟻スクリーン又は防虫網</p> <p>・換気孔 ※防蟻スクリーン又は防虫網</p>		6	7	ドリフトピン	<p>ドリフトピン <5.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質等</th> <th>径・寸法等</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・ドリフトピン</td> <td>※SS400</td> <td>※丸鋼</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質等	径・寸法等	表面処理	・ドリフトピン	※SS400	※丸鋼		7	2	釘及び木ねじ	<p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 <7.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製											
		種類	材質等				径・寸法等	表面処理																																			
・ドリフトピン	※SS400	※丸鋼																																									
種類	材質	その他																																									
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																										
3	防火被覆処理	<p>防火被覆材の材料 ※図示 <4.3.1~3></p> <p>防火被覆材の厚さ ※図示</p> <p>接合部等の防火被覆処理 ※図示</p>		7	8	木栓及び木だば	<p>木栓及び木だば <5.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>樹種</th> <th>形状・長さ等</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・木栓</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木だば</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		種類	樹種	形状・長さ等	その他	・木栓				・木だば				7	3	接合金物	<p>C、Z、X、D、Sマーク表示金物 <7.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>C、Z、X、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力 (kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・引き寄せ金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		種類	C、Z、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他	・引き寄せ金物				・梁受け金物									
		種類	樹種				形状・長さ等	その他																																			
・木栓																																											
・木だば																																											
種類	C、Z、X、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他																																								
・引き寄せ金物																																											
・梁受け金物																																											
5	1	木材	<p>軸組構法(壁構造系)工事に使用する木材は、使用材料表1による <5.2.2></p>		8	9	接着剤	<p>床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類 (床根太用接着剤JIS A 5550) 種類 () <5.2.4></p> <p>・接着剤による接合 ・接着剤を併用した接合 接着剤の種類 ()</p>		7	4	ボルト、アンカーボルト、ナット及び産金	<p>C、Z、X、D、Sマーク表示金物 <7.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>C、Z、X、D、Sマークの規格</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・アンカーボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・六角ボルト</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・産金</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		種類	C、Z、X、D、Sマークの規格	その他	・アンカーボルト			・六角ボルト			・産金																			
			種類	C、Z、X、D、Sマークの規格				その他																																			
・アンカーボルト																																											
・六角ボルト																																											
・産金																																											
2	構造用面材	<p>軸組構法(壁構造系)工事に使用する構造用面材は、使用材料表2による <5.2.3></p>		9	10	孔あけ加工	<p>ボルト孔の径 ※木造標準仕様書5.4.2による <5.4.3></p> <p>・図示</p> <p>ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示 <5.4.4>(18.13.2)</p>		7	5	接着剤	<p>C、Z、X、D、Sマーク表示金物に付属する接合金物も含む。 <7.2.4></p> <p>・C、Z、X、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 ※図示</p>																															
		3	接合金物				<p>Z、C、D、Sマーク表示金物 <5.2.4></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力 (kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・火打金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防かいはりプレート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・引き寄せ金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					種類	Z、C、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他	・火打金物				・防かいはりプレート				・引き寄せ金物				・梁受け金物															
種類	Z、C、D、Sマークの規格			短期許容耐力 (kN)	その他																																						
・火打金物																																											
・防かいはりプレート																																											
・引き寄せ金物																																											
・梁受け金物																																											
4	釘及び木ねじ	<p>木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ <5.2.4><5.5.7><5.5.9></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・十字穴付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1112</td> </tr> <tr> <td>・すりわり付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1135</td> </tr> </table>		種類	材質	その他	・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	・すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135	10	11	基礎天端及び柱底均し	<p>材料 ・木造標準仕様書5.5.4(7)による ・無収縮モルタル <5.5.4></p> <p>モルタルの厚さ ※図示</p>		7	6	アンカーボルトの設置	<p>埋込み深さ ※図示 <5.5.3></p> <p>保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種</p> <p>埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示</p>																						
		種類	材質	その他																																							
・十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																																									
・すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135																																									
5	ボルト、アンカーボルト、ナット及び産金	<p>Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合金物も含む。 <5.2.4><5.5.7><5.5.9></p> <p>・Z、C、D、Sマーク表示金物以外の接合金物 ※図示</p>		8	12	表面の仕上げ	<p>見え掛り面の表面の仕上げの程度 <5.5.6></p> <p>・製材</p> <p>機械加工 ・A種 ・B種 ・C種 <表5.4.3></p> <p>手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 <表5.4.5></p>		7	7	基礎天端均しモルタルの仕上げ	<p>材料 ・木造標準仕様書7.5.4(7)による ・無収縮モルタル <7.5.4></p> <p>モルタルの厚さ ※図示</p>																															
		6	軸組構法(軸構造系)工事に使用する木材は、使用材料表3による <6.2.2>				<p>軸組構法(軸構造系)工事に使用する構造用面材は、使用材料表4による <6.2.3></p>					8	13	アンカーボルトの設置	<p>埋込み深さ ※図示 <6.5.3></p> <p>保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種</p> <p>埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示</p>		7	8	1	丸太組壁用木材	<p>丸太組壁用に使用する木材は、使用材料表6による <8.2.2></p>																						
7	接合金物			<p>・Z、C、D、Sマーク表示金物以外 <6.2.4></p> <p>※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Z、C、D、Sマークの規格</th> <th>短期許容耐力 (kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・火打金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防かいはりプレート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・引き寄せ金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・梁受け金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		種類	Z、C、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他	・火打金物											・防かいはりプレート				・引き寄せ金物				・梁受け金物														
		種類	Z、C、D、Sマークの規格	短期許容耐力 (kN)	その他																																						
・火打金物																																											
・防かいはりプレート																																											
・引き寄せ金物																																											
・梁受け金物																																											
8	釘及び木ねじ	<p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 <6.2.4><6.5.10></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製		9	14	基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ	<p>建入れ直し後の建方精度の許容値 <5.5.8></p> <p>※垂直、水平の誤差の範囲1/1000以下 ・図示</p>		7	8	14	基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ	<p>建入れ直し後の建方精度の許容値 <6.5.7></p> <p>※垂直、水平の誤差の範囲1/1,000以下 ・図示</p>		7	2	丸太組壁以外に用いる木材	<p>丸太組壁以外に使用する木材は、使用材料表6による <8.2.3></p>													
		種類	材質	その他																																							
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																										
9	軸組構法(軸構造系)工事に使用する木材は、使用材料表3による <6.2.2>	<p>軸組構法(軸構造系)工事に使用する構造用面材は、使用材料表4による <6.2.3></p>		8	15	建方精度	<p>熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 <6.5.9></p> <p>・埋め木</p> <p>・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 (JIS A 9526) ()</p>		7	3	構造用面材	<p>丸太組壁工事に使用する構造用面材は、使用材料表7による <8.2.4></p>																															
		10	床東				<p>・木製床東 ・鋼製床東 ・樹脂製床東 <5.8.2></p>					8	16	接合金物の工法	<p>構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち <6.5.10></p> <p>・隠し釘打ち ・釘頭埋め木</p> <p>・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し</p>		7	4	接合金物	<p>M、Z、C、D、Sマーク表示金物 <8.2.5></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>M、Z、C、D、Sマークの規格等</th> <th>短期許容耐力 (kN)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・支柱高さ調整金物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		種類	M、Z、C、D、Sマークの規格等	短期許容耐力 (kN)	その他	・支柱高さ調整金物																	
種類	M、Z、C、D、Sマークの規格等			短期許容耐力 (kN)	その他																																						
・支柱高さ調整金物																																											
10	床東	<p>・木製床東 ・鋼製床東 ・樹脂製床東 <5.8.2></p>		10	17	釘及び木ねじの工法	<p>木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木 <6.5.11></p>		7	5	だば	<p>Zマーク表示金物 <8.2.5></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>Zマークの規格等</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・ラグスクリューだば</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		種類	Zマークの規格等	その他	・ラグスクリューだば																										
		種類	Zマークの規格等				その他																																				
・ラグスクリューだば																																											
11	構造用面材	<p>軸組構法(軸構造系)工事に使用する木材は、使用材料表3による <6.2.2></p>		11	18	輪型ジベル	<p>輪型ジベル <6.5.15></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質・形状・寸法等</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質・形状・寸法等	・		7	6	ジャッキボルト	<p>ジャッキボルト <8.2.5></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質等</th> <th>寸法・形状</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・SS400</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> </table>		種類	材質等	寸法・形状	表面処理	・	・SS400	図示	図示	・	・	図示	図示														
		種類	材質・形状・寸法等																																								
・																																											
種類	材質等	寸法・形状	表面処理																																								
・	・SS400	図示	図示																																								
・	・	図示	図示																																								
12	接合金物	<p>Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合金物も含む。 <6.2.4></p>		12	19	圧入型ジベル	<p>圧入型ジベル <6.5.16></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質・形状・寸法等</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質・形状・寸法等	・		7	7	垂木用スライド金物	<p>垂木用スライド金物 <8.2.5></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質等</th> <th>寸法・形状</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・SS400</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> </table>		種類	材質等	寸法・形状	表面処理	・	・SS400	図示	図示	・	・	図示	図示														
		種類	材質・形状・寸法等																																								
・																																											
種類	材質等	寸法・形状	表面処理																																								
・	・SS400	図示	図示																																								
・	・	図示	図示																																								
13	アンカーボルトの設置	<p>埋込み深さ ※図示 <6.5.3></p> <p>保持及び埋込み工法 ・A種 ・B種</p> <p>埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示</p>		13	20	火打土台	<p>・木製の火打土台 <6.6.2></p> <p>・鋼製火打土台</p>		7	8	釘及び木ねじ	<p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 <8.2.5></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																			
		種類	材質				その他																																				
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																										
14	基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ	<p>建入れ直し後の建方精度の許容値 <5.5.8></p> <p>※垂直、水平の誤差の範囲1/1000以下 ・図示</p>		14	21	火打梁	<p>小屋組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁 <6.7.8><6.8.6></p> <p>床組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁</p>		7	8	釘及び木ねじ	<p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 <8.2.5></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																			
		種類	材質				その他																																				
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																										
15	建方精度	<p>熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 <6.5.9></p> <p>・埋め木</p> <p>・簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材 (JIS A 9526) ()</p>		15	22	床東	<p>・木製床東 ・鋼製床東 ・樹脂製床東 <6.8.2></p>		7	8	釘及び木ねじ	<p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 <8.2.5></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																			
		種類	材質				その他																																				
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																										
16	接合金物の工法	<p>構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち <6.5.10></p> <p>・隠し釘打ち ・釘頭埋め木</p> <p>・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し</p>		16	22	床東	<p>・木製床東 ・鋼製床東 ・樹脂製床東 <6.8.2></p>		7	8	釘及び木ねじ	<p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 <8.2.5></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																			
		種類	材質				その他																																				
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																										
17	釘及び木ねじの工法	<p>木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木 <6.5.11></p>		17	22	床東	<p>・木製床東 ・鋼製床東 ・樹脂製床東 <6.8.2></p>		7	8	釘及び木ねじ	<p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 <8.2.5></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																			
		種類	材質				その他																																				
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																										
18	輪型ジベル	<p>輪型ジベル <6.5.15></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質・形状・寸法等</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質・形状・寸法等	・		18	22	床東	<p>・木製床東 ・鋼製床東 ・樹脂製床東 <6.8.2></p>		7	8	釘及び木ねじ	<p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 <8.2.5></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製															
		種類	材質・形状・寸法等																																								
・																																											
種類	材質	その他																																									
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																										
19	圧入型ジベル	<p>圧入型ジベル <6.5.16></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質・形状・寸法等</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質・形状・寸法等	・		19	22	床東	<p>・木製床東 ・鋼製床東 ・樹脂製床東 <6.8.2></p>		7	8	釘及び木ねじ	<p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 <8.2.5></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製															
		種類	材質・形状・寸法等																																								
・																																											
種類	材質	その他																																									
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																										
20	火打土台	<p>・木製の火打土台 <6.6.2></p> <p>・鋼製火打土台</p>		20	22	床東	<p>・木製床東 ・鋼製床東 ・樹脂製床東 <6.8.2></p>		7	8	釘及び木ねじ	<p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 <8.2.5></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																			
		種類	材質				その他																																				
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																										
21	火打梁	<p>小屋組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁 <6.7.8><6.8.6></p> <p>床組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁</p>		21	22	床東	<p>・木製床東 ・鋼製床東 ・樹脂製床東 <6.8.2></p>		7	8	釘及び木ねじ	<p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 <8.2.5></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																			
		種類	材質				その他																																				
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																										
22	床東	<p>・木製床東 ・鋼製床東 ・樹脂製床東 <6.8.2></p>		22	22	床東	<p>・木製床東 ・鋼製床東 ・樹脂製床東 <6.8.2></p>		7	8	釘及び木ねじ	<p>釘 (JIS A 5508)、コンクリート用釘、特殊な釘 <8.2.5></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>・鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> </table>		種類	材質	その他	・鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																			
		種類	材質				その他																																				
・鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																																										
・ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																																										

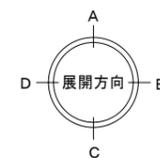
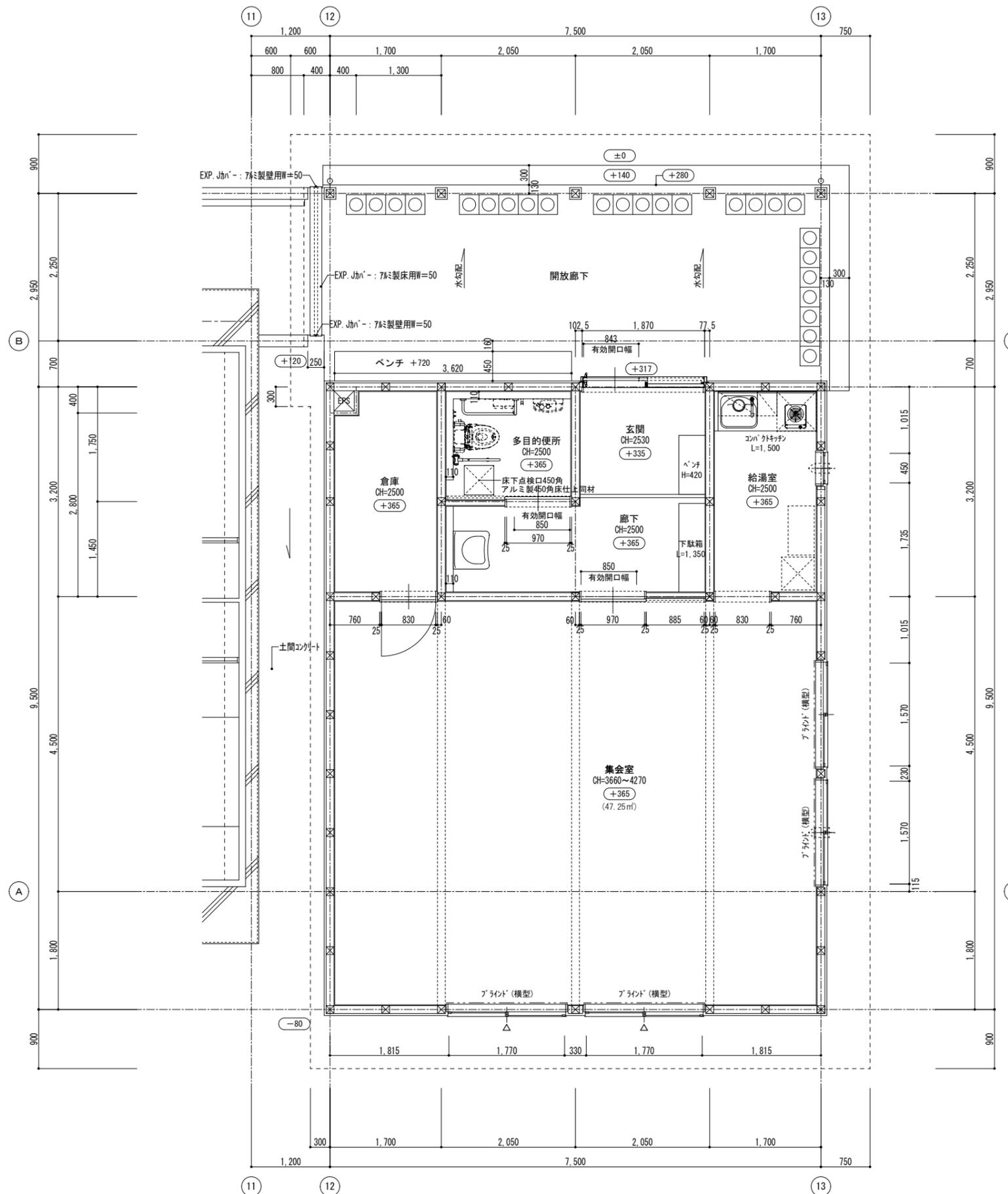
	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE	<p>さくら建築設計 株式会社</p>	広島市東区牛田早福田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn	市新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
		凡例			SCALE			JOB	20080			
								木造工事特記仕様書 (7) (構造)		No.	A	098

断熱材・配管	A種押出法ポリスチレンフォーム3種b JIS A9511 (t=50 外断熱 熱伝導率0.028W/mk以下)			特記事項	1、「建築材料の品質」は法第37条に基づいた材料を使用すること。		
	グラスウール吸音(ロール)厚100 24kg/m3				2、 ホルムアルデヒド 放散基準規制対象の塗料・接着剤・建材はF☆☆☆☆等級のものとする。		
					3、化学物質の濃度測定対象室は、内部仕上げ表 室名欄に○印記載室とする。		
					4、C打放は特記なき限り、コンクリート打放し(B種)とする。 また、増打は厚20とし外部出隅は特記なき限り20×20の面取りとする。		
	VP	硬質ポリ塩化ビニル管	RD		ルーフトレン(鋳鉄製)	5、ステンレスは特記なき限りヘアライン仕上とする。	
	VU	硬質塩化ビニル管(薄肉管)	CD		コーナードレン(鋳鉄製)	6、特記なき限り化粧ケイカル板は目透かし貼り 目地シーリング打ちとする。	
	SGP	配管用炭素鋼鋼管	MD		中継ドレン(鋳鉄製)	7、仕上げボードは9尺版を使用すること。	
					OF	SUS製 オーバーフロー管 50φ	8、図中のメーカー記載は同等品以上とする。
					目皿	黄銅製 排水目皿 65φ	9、コンロ部分の換気用ダクトは、スチールスパイラル150φ+断熱材 t=50 亀甲金網巻とする
							10、台所の吊戸棚の下面は、不燃材で仕上げる。フードに接する部分は全て厚さ3mm以上の不燃材料を貼ること。
その他の符号	可間仕	可動間仕切り壁	カ	カーテン	11、ガス台上方は、800以上の消火空間を確保する		
	移間仕	移動間仕切り壁	レ	カーテンレール	12、コンロ側方150mm以内は、不燃材料(15mm以上)で、下地石膏ボード 12.5mm+化粧ケイカル板6mmとする。		
	OA	フリーアクセスフロア	吊レ	吊カーテンレール	13、ビニル床シートの施工は、特記なき限り全て耐水工法とする。		
	CB	カーテンボックス	OHP	スクリーン	14、特記なき限り、木製建具枠・建具棚板額縁および木製見え掛かり部はSOP塗装とする。		
	VB	ブラインドボックス	消	消火器	15、外部に面する給排気口およびクレーン等等は、全てコーキングを施すこと。		
	横ブ	ブラインド(横型)	屋内消	屋内消火栓	16、壁面に使用する石膏ボード(防水共)のうち、塗装仕上げとなる部分は、突き付け目地処理工法とする。		
	縦ブ	ブラインド(縦型)		仕上げ見切りを示す。	17、(ジョイントはV目地とし、目地底をコーキングにて隙間を渡した上で塗装を行うこと。)		
						18、木軸部にエアコン、衛生器具、棚、手摺等を取り付ける場合は、下地補強(5ワン合板t12張り)を行う。	

外部仕上表				
基礎	鉄筋コンクリート造ベタ基礎t=150 D10@250 端部はD13 防湿シートt=0.2		開放廊下	床：コンクリート直均しの上モルタル塗りt=40
屋根	カラー鋼板 縦ハゼ葺 t=0.4(遮熱タイプ) ゴムアスファルトルーフィングt=1.2 構造用合板(野地板)t=12			壁：構造用合板t=9下地 透湿防水シート及び通気胴縁の上防火サイディング貼t=16
外壁	構造用合板t=9下地 透湿防水シート及び通気胴縁の上防火サイディング貼t=16		破風・鼻隠し	柱：防火サイディング貼t=16
軒裏	ニチハ 軒天12 化粧ケイカル板(木目)t=12 軒裏換気口：城東テクノ FV-N1218KF-L27同等品		断熱材	屋根・床下：ポリスチレンフォーム t=50
軒樋・壁樋	軒樋：パナソニック KAKU RK85同等品 壁樋：パナソニック レクステン 瞬水S15 40×40同等品			天井裏・壁：高性能グラスウールt=100(24K)

内部仕上表											
室名	床			幅木	壁		天井				備考
	床高	下地	仕上		下地	仕上	下地	仕上	廻縁	天井高さ	
玄関	-30	C	磁器質タイル貼300×300角	タイル H=90	W	GB-R t=12.5下地 EP塗装	W	GB-R t=9.5下地 EP塗装	木製	2,530	木製ベンチ(家具詳細図参照)
廊下	±0	W	ビニル床シートt=2.8	木製 H=60	W	GB-R t=12.5下地 EP塗装	W	GB-R t=9.5下地 EP塗装	木製	2,500	木製下駄箱(家具詳細図参照)
多目的便所	±0	W	ビニル床シートt=2.8	木製 H=60	W	GB-S t=12.5下地 EP塗装	W	GB-R t=9.5下地 EP塗装	木製	2,500	跳ね上げ手摺(TOTO T112HK7R同等品)、L型手摺(TOTO T112CL9同等品)、ライニング天板：フミンボード 背もたれ(TOTO EWC283CR#NW1同等品)、床下点検口 アルミ製450角床仕上同材(1箇所)
倉庫	±0	W	ビニル床シートt=2.8	木製 H=60	W	GB-R t=12.5下地 EP塗装	W	GB-R t=9.5下地 EP塗装	木製	2,500	天井点検口 アルミ製450角天井仕上同材(1箇所)
給湯室	±0	W	ビニル床シートt=2.8	木製 H=60	W	GB-R t=12.5下地 EP塗装 一部化粧ケイカル板t=6貼	W	GB-R t=9.5下地 EP塗装	木製	2,500	コンパクトキッチンL=1500(キッチン詳細図参照) 給気レジスター(150φブラッケット付)
集会室	±0	W	ビニル床シートt=2.8	木製 H=60	W	GB-R t=12.5下地 EP塗装	W	GB-R t=9.5下地 EP塗装	木製	3,660~4,270	ブラインド(横型、全ての窓) 給気レジスター(150φブラッケット付)

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE		さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21(1)第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn	市営新宮沖住宅建設工事(建築主体工事)			設計図	DATE	2022/9/20
									SCALE	JOB	20080			
	集会所内・外部仕上表					No.			A	100				



凡例	
(+000)	設計GLからの仕上げ高さ
⋯⋯⋯	給気用スリブ 150φ
▽	掃出し窓
□	視覚障害者用誘導ブロック

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

設計者	DATE	2022/9/20
設計図	SCALE	JOB
集会所 平面詳細図	1/50	No. A 101

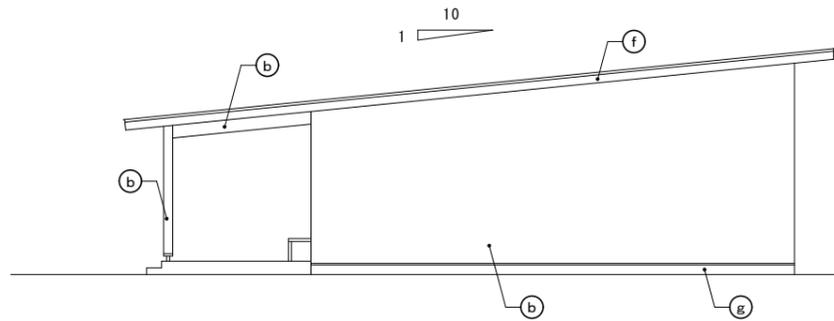

さくら建築設計
 株式会社
 SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

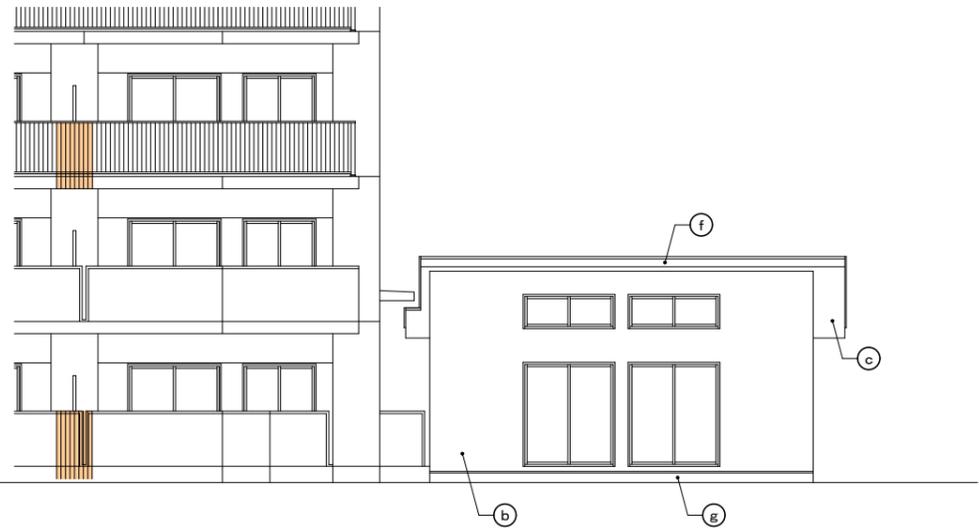
Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

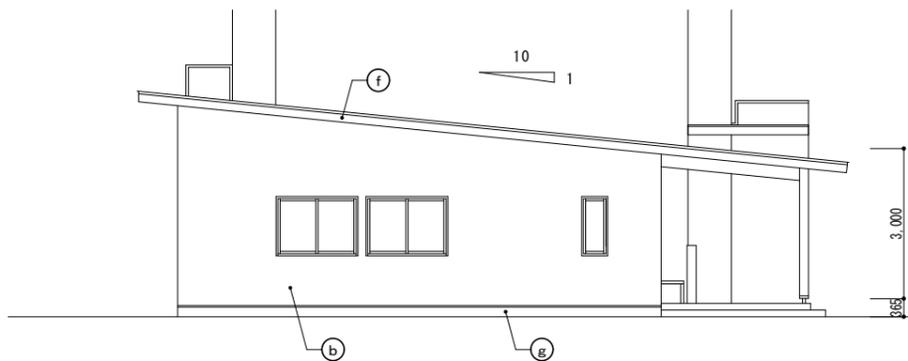
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)	設計者	DATE	2022/9/20
	SCALE	JOB	20080
集会所 平面詳細図	1/50	No. A	101



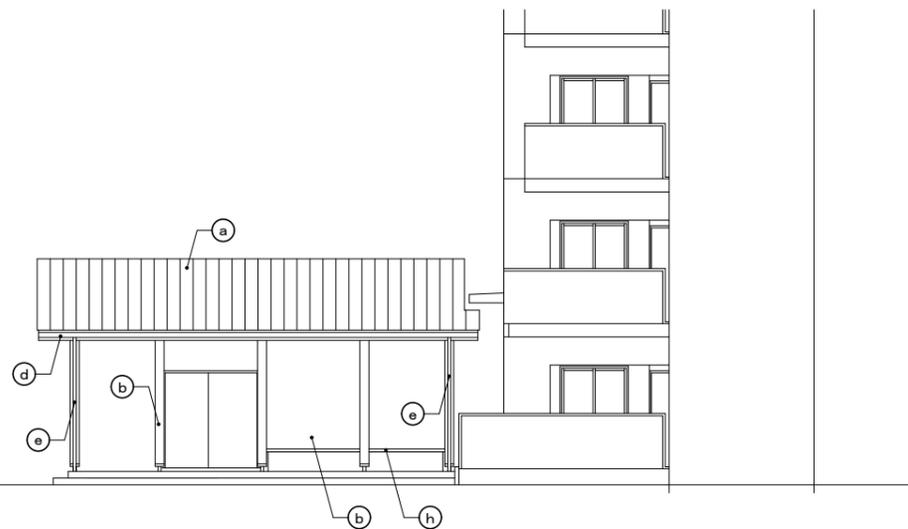
西立面図 S=1/150



南立面図 S=1/150



東立面図 S=1/150



北立面図 S=1/150

凡例

(a)	カーガム® リム鋼板 縦ハゼ葺 t=0.4	(e)	縦樋：パナソニック レクステン 隠水S15 40×40同等品
(b)	防火サイディング貼t=16	(f)	破風：既製塗装品t=16
(c)	軒天：化粧ケイカル板(木目)t=12	(g)	根廻り：コンクリート打放補修の上アクリルシリコン塗装
(d)	軒樋：パナソニック KAKU RK85同等品	(h)	ベンチ：木材・プラスチック再生複合材

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			



さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

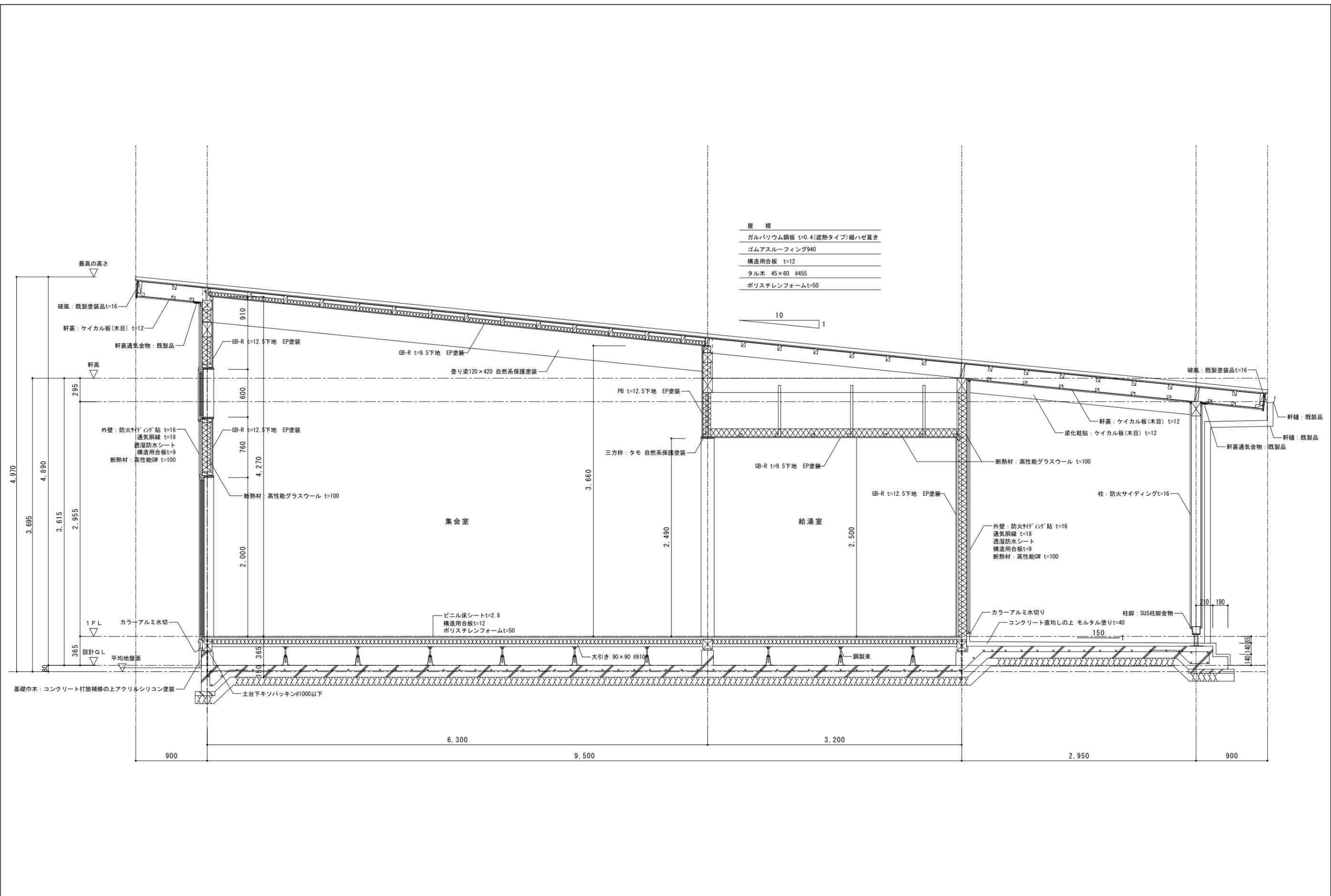
市新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

集会所 立面図

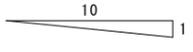
設計図 DATE 2022/9/20

SCALE JOB 20080

1/150 No. A 102



屋根
 ガルバリウム鋼板 t=0.4(遮熱タイプ)縦ハゼ葺き
 ゴムアスルーフィング940
 構造用合板 t=12
 タル木 45×60 #455
 ポリスチレンフォームt=50



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

基礎中木: コンクリート打放補修の上アクリルシリコン塗装	土台下キソパッキン#1000以下
------------------------------	------------------



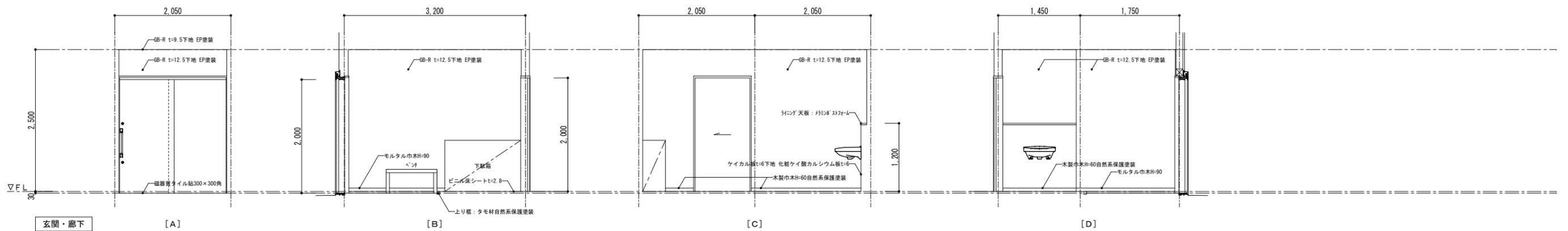
さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
集会所 矩計図		SCALE	JOB	20080
		No.	A	103



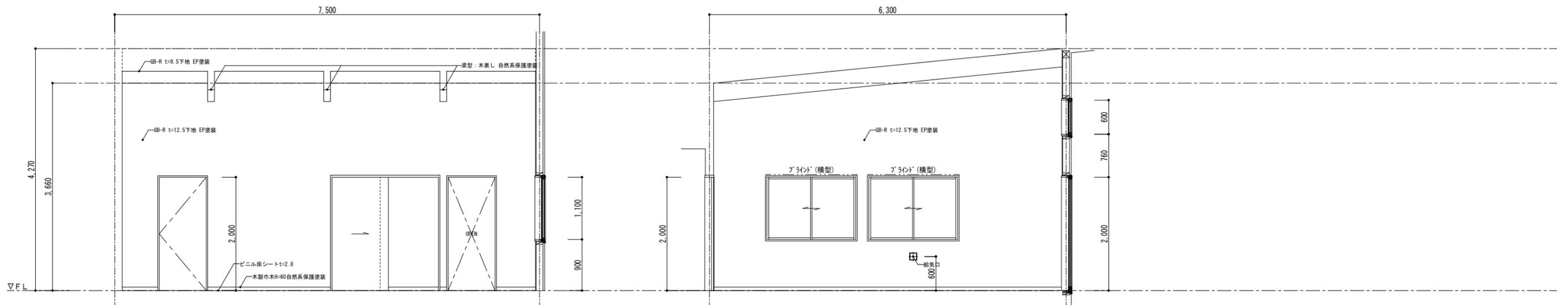
玄関・廊下

[A]

[B]

[C]

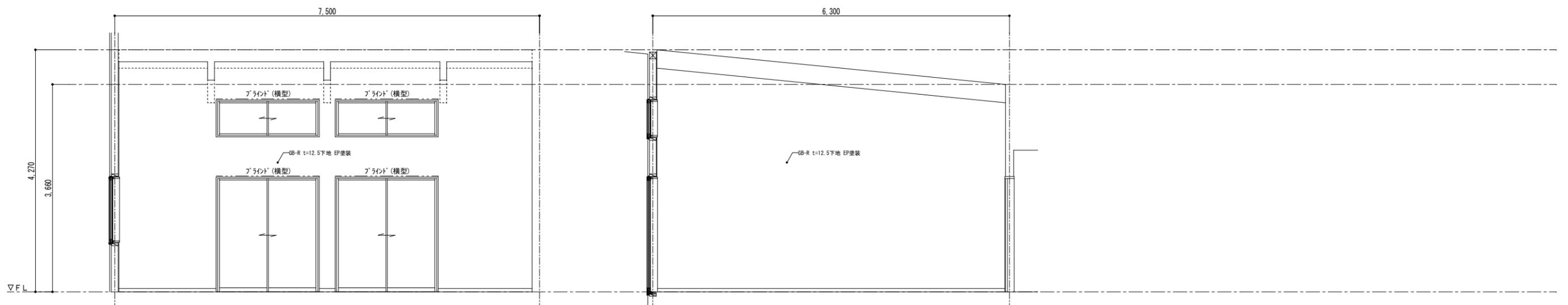
[D]



集会室

[A]

[B]



[C]

[D]

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			



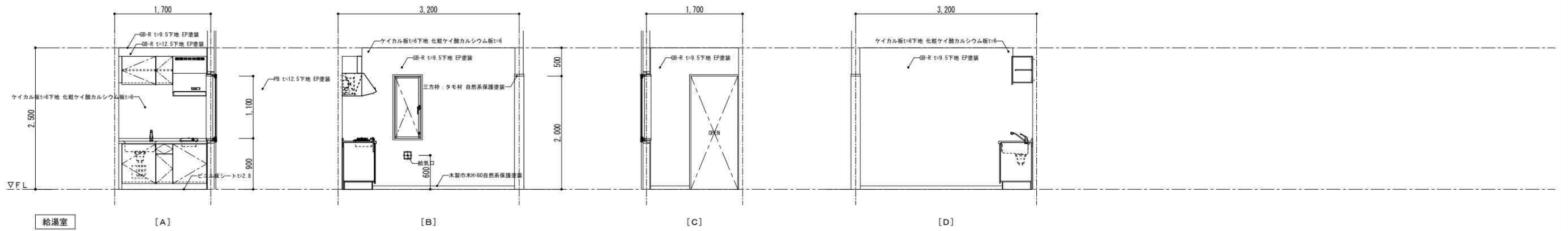
さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

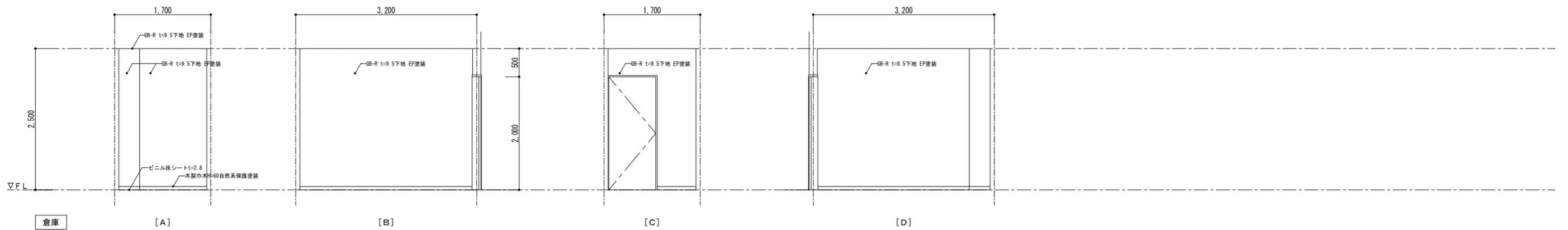
Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

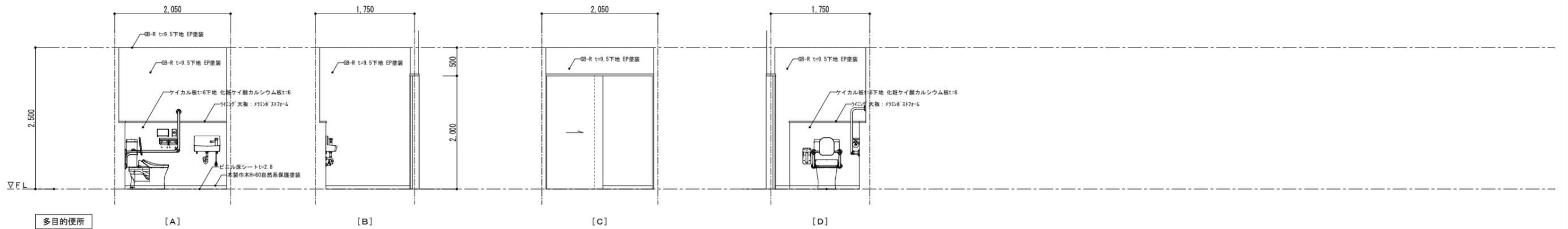
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
集会所 展開図 (1)		SCALE	JOB	20080
1/50	No.	A	104	



給湯室 [A] [B] [C] [D]



倉庫 [A] [B] [C] [D]



多目的便所 [A] [B] [C] [D]

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

NOTE	
凡例	

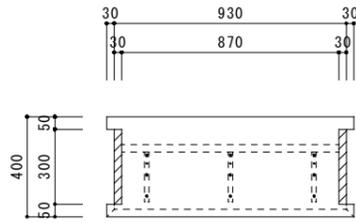

さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

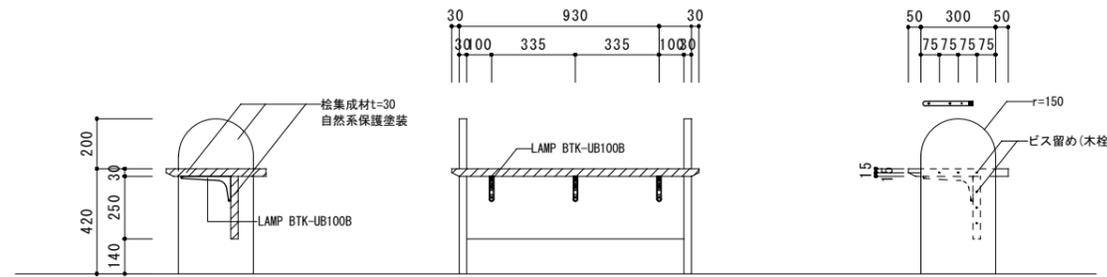
Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
集会所 展開図 (2)		SCALE	JOB	20080
1/50	No.	A	105	

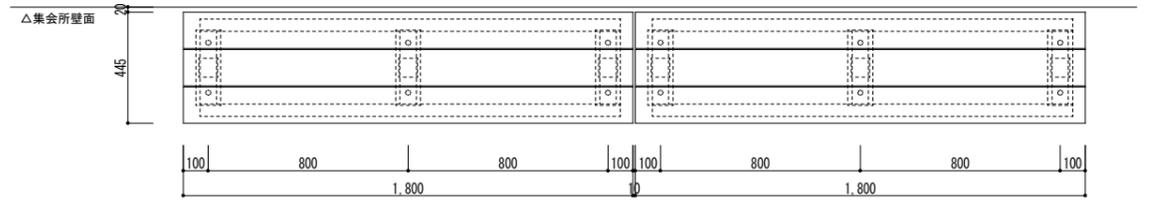


平面図

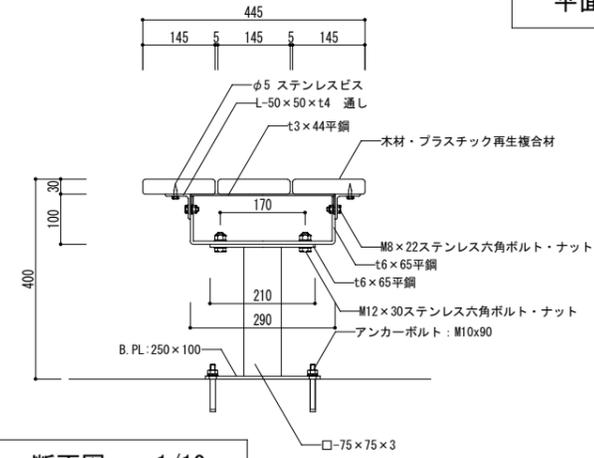


断面図

側面図

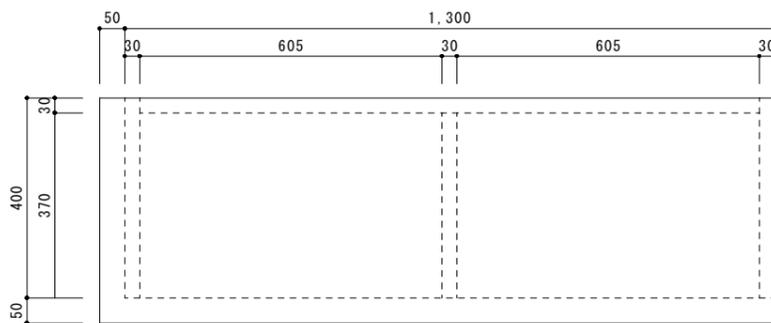


平面図 1/20

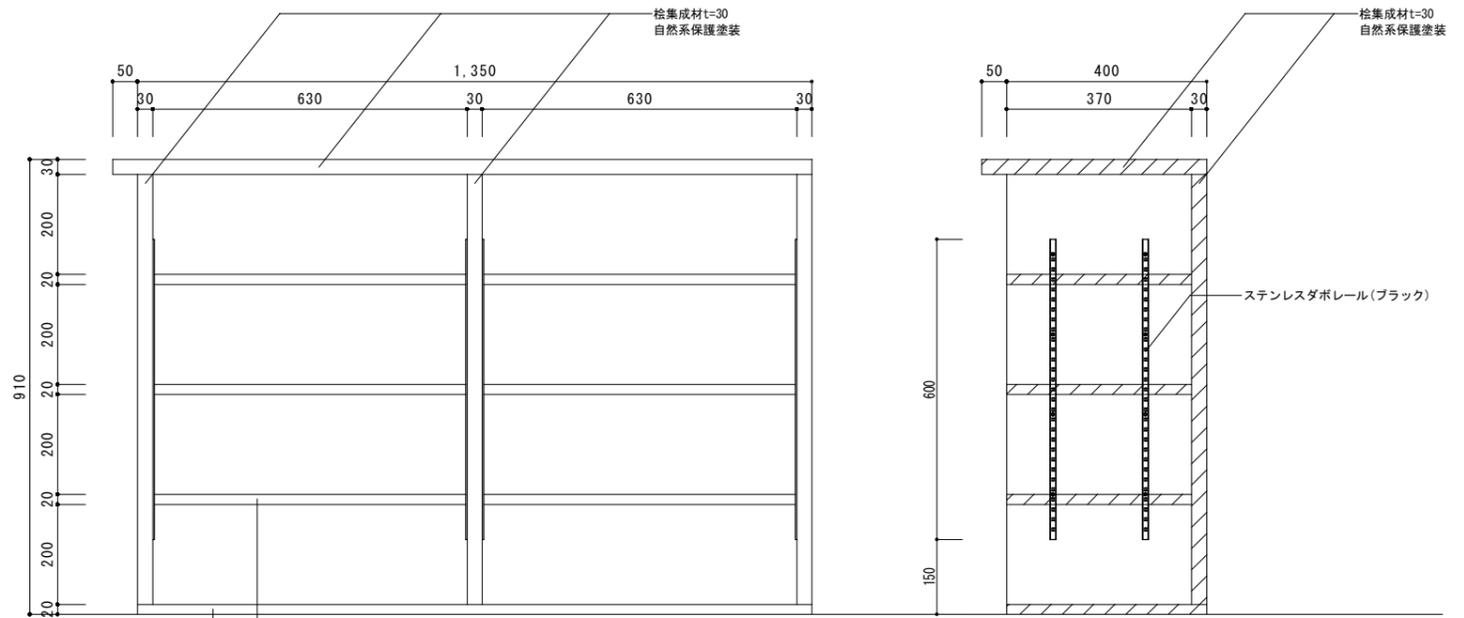


断面図 1/10

※木材・プラスチック再生複合材
(株)エコウッド Wシリーズ無垢タイプ
145×30同等品以上
※使用鋼材は全てステンレスHLとする



平面図



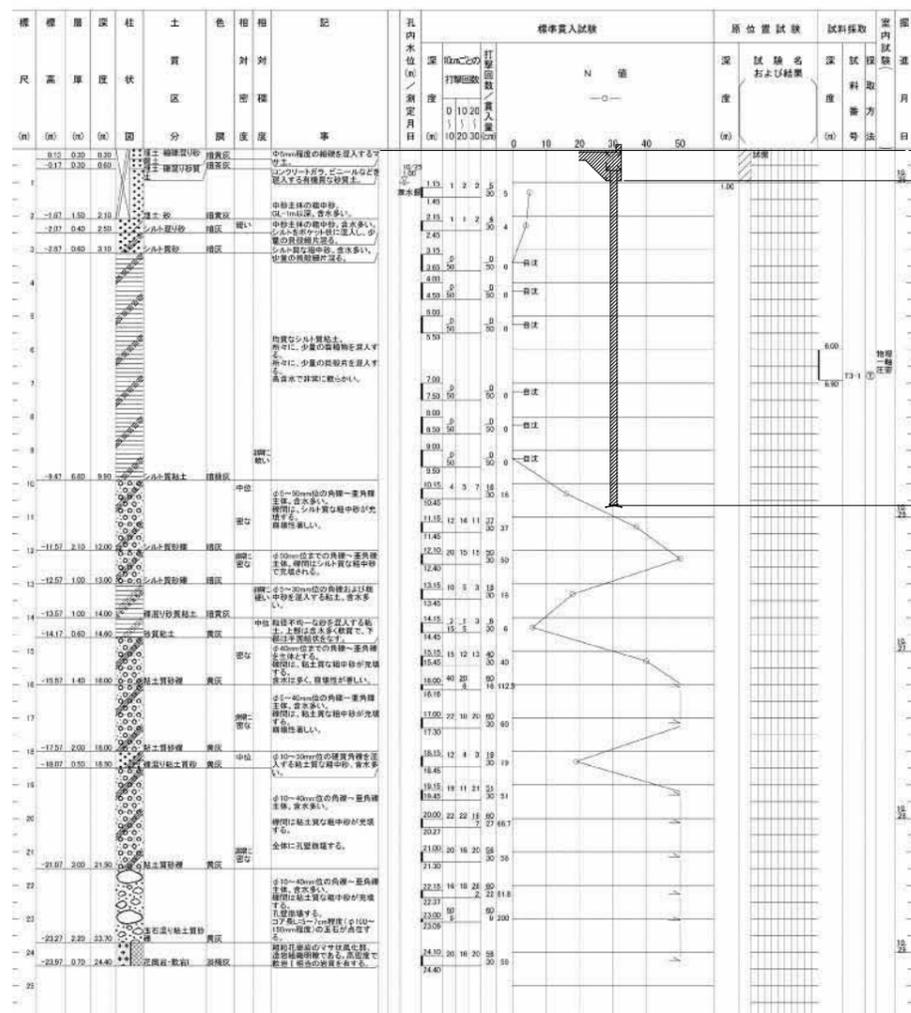
正面図

断面図

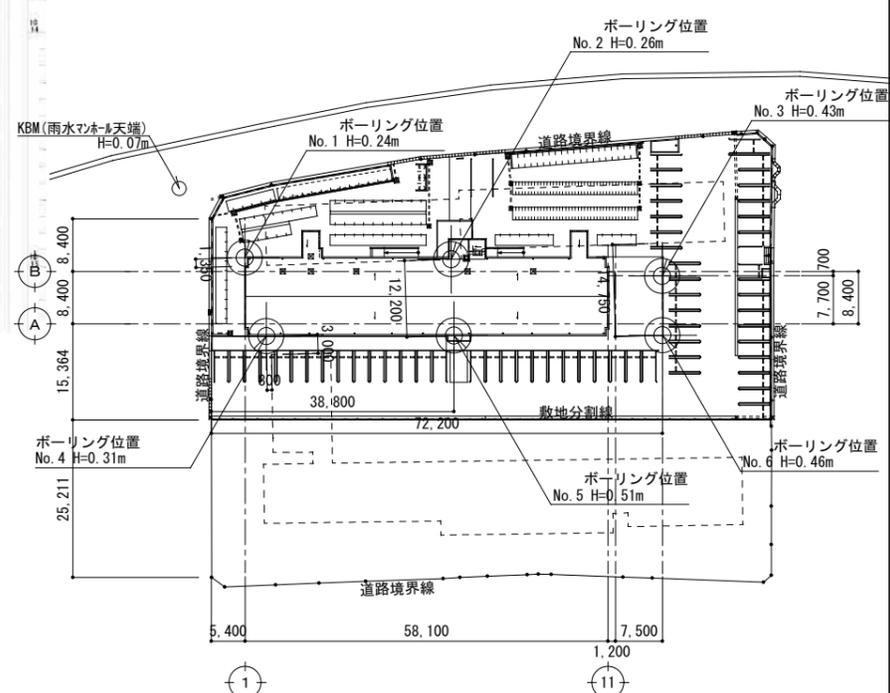
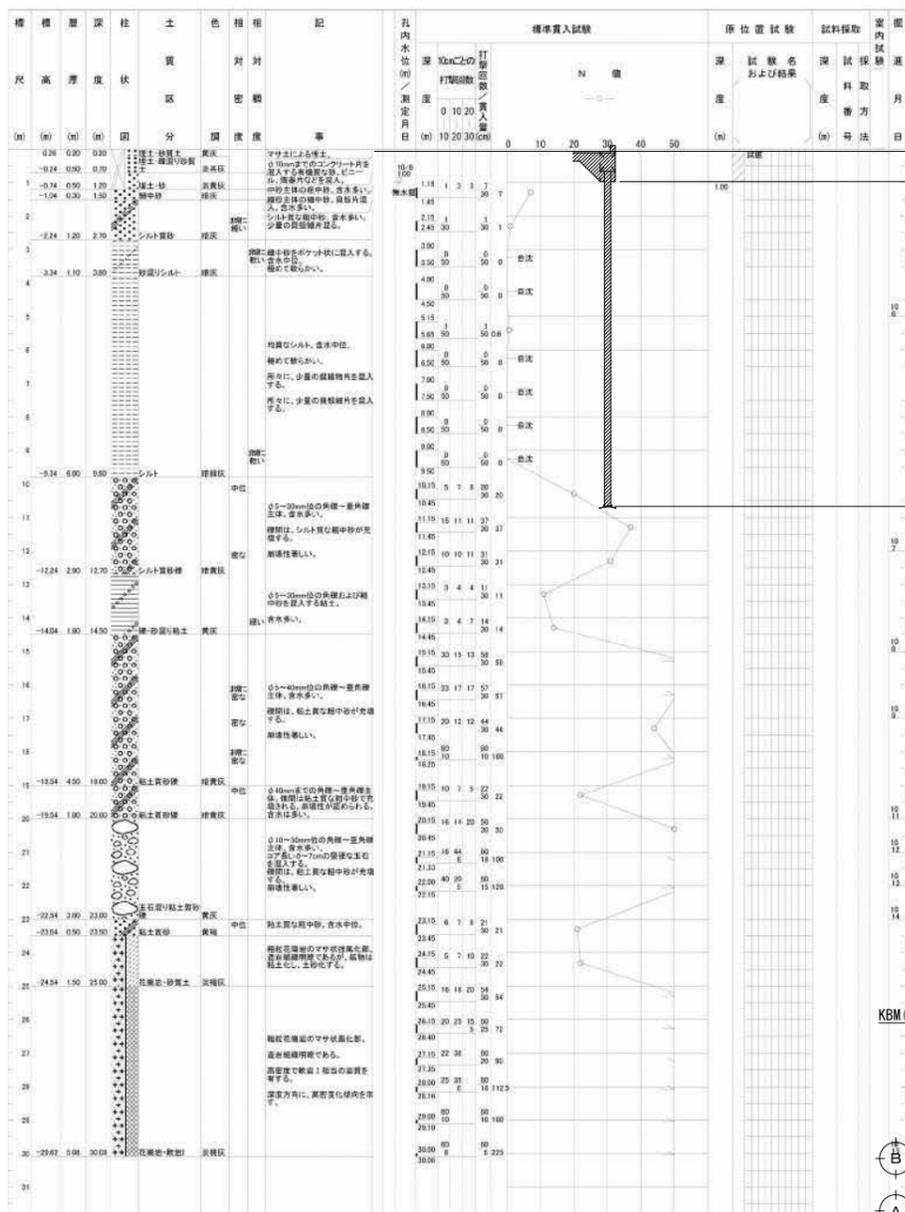
※ビス留め部分は木栓をする

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE	<p>さくら建築設計 株式会社</p>	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn	市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
	△	凡例			SCALE			JOB	20080			
	△				1/10			No.	A	106		

ボーリング名	No.3	調査位置	広島県三原市宮沖一丁目外	北緯	°	'	"
発注機関	三原市都市部建設課	調査期間	2021年10月25日～2021年10月29日	東経	°	'	"
調査業者名	さくら建築設計株式会社 082-502-7720	主任技師	赤井 秀利	現場代理人	文谷 健二郎	コ 定 者	文谷 健二郎
ボーリング責任者	加藤 正明	試験機	東邦D-1	ハンマー	落下用具	半自動落下	
エンジン	ヤンマーNF-D-13	ポンプ	東邦BG-3				



ボーリング名	No.6	調査位置	広島県三原市宮沖一丁目外	北緯	°	'	"
発注機関	三原市都市部建設課	調査期間	2021年10月6日～2021年10月15日	東経	°	'	"
調査業者名	さくら建築設計株式会社 082-502-7720	主任技師	赤井 秀利	現場代理人	文谷 健二郎	コ 定 者	文谷 健二郎
ボーリング責任者	二井 佑希	試験機	東邦D-1	ハンマー	落下用具	半自動落下	
エンジン	ヤンマーNF-D-12	ポンプ	東邦BG-3				



ボーリング位置図 S=1:800 ※ 設計GL=KBM+0.33(H=0.40)とする。
 一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第 5499号
 岡本 良直

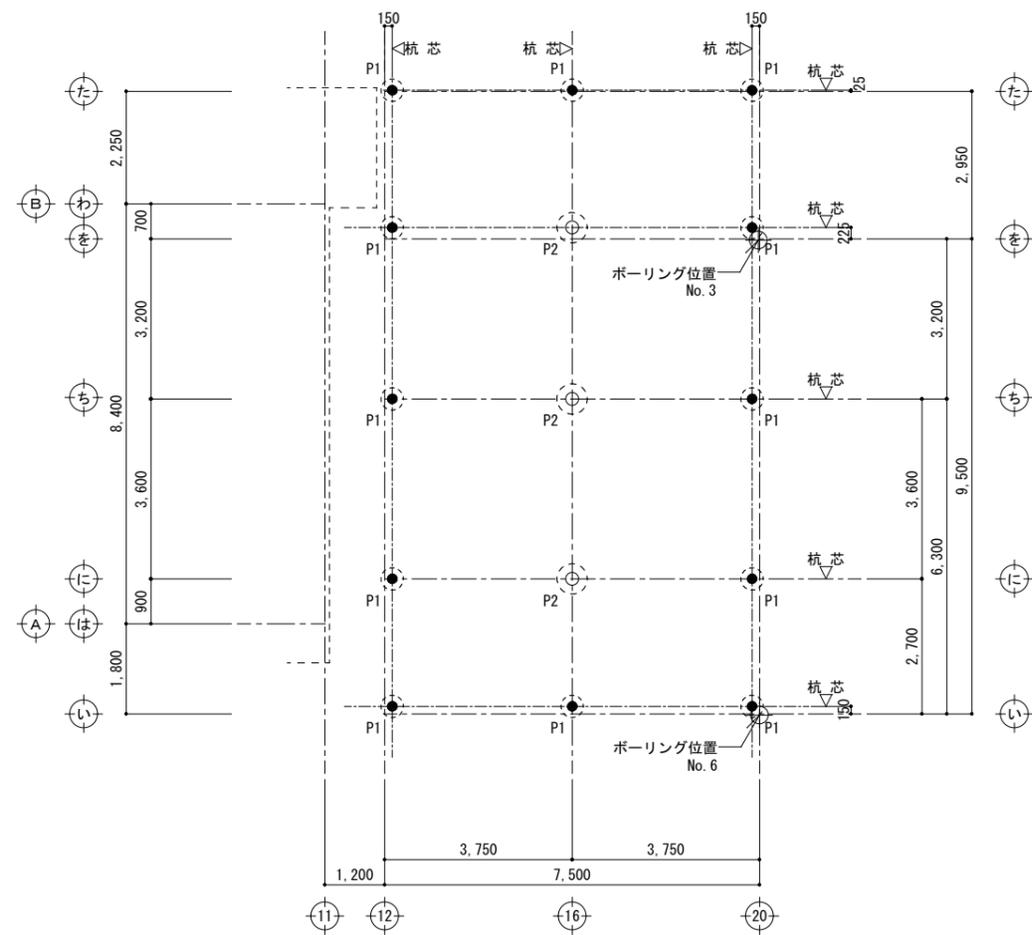
変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

さくら建築設計株式会社
 広島市東区牛田早福田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

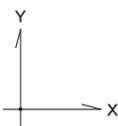
Checked
 一級建築士登録 第243707号
 氏名 中島 義行

Drawn

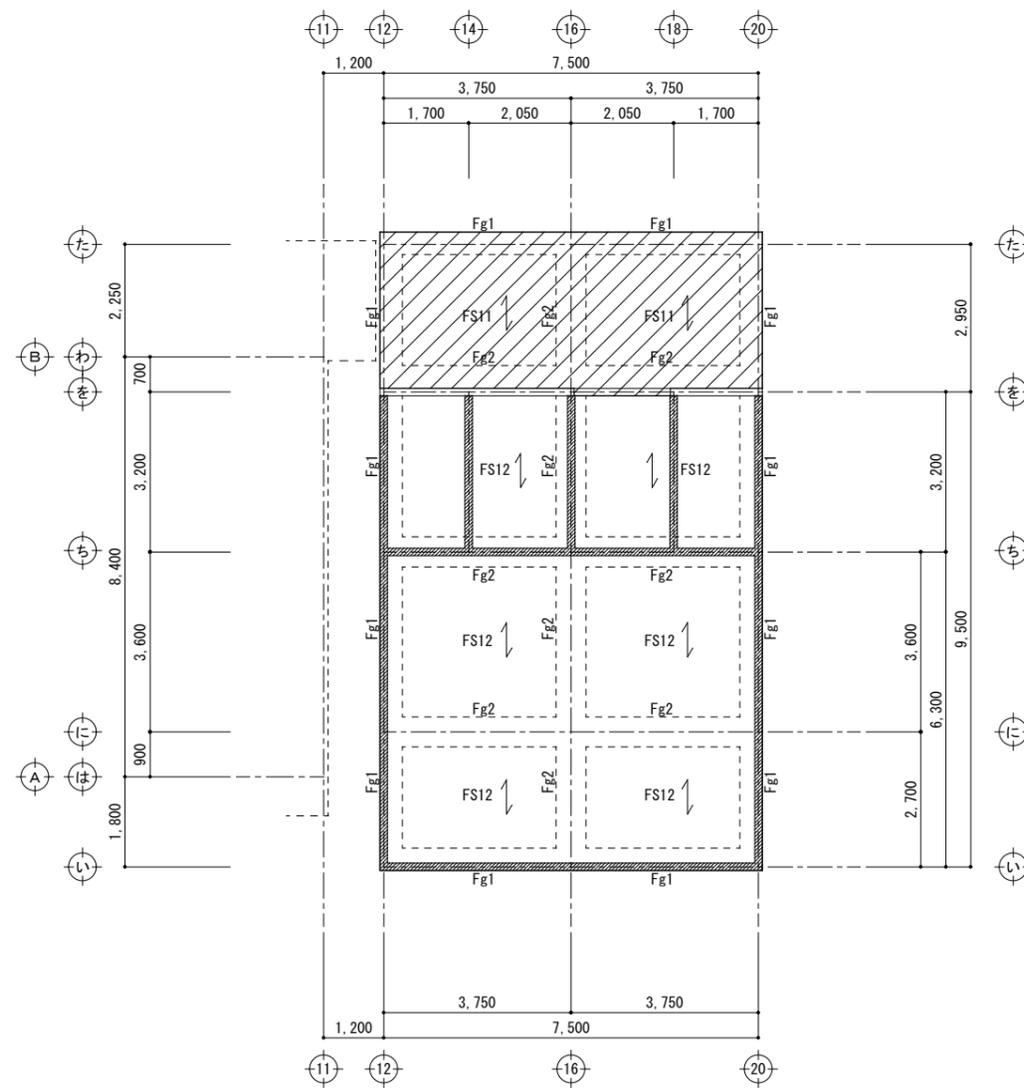
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
集会所 土質柱状図		SCALE	JOB	20080
1/800	No.	A	107	



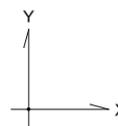
杭伏図 S=1:100



【註記】 特記なき限り下記による
 杭天端は 設計GL-600 とする
 杭先端は 設計GL-10,600 とする



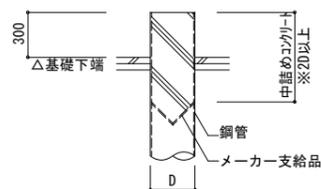
基礎伏図 S=1:100



【註記】 特記なき限り下記による
 集会所1FL=設計GL+365 とする
 基礎梁天端レベルは 設計GL-40 を示す
 基礎下端は 設計GL-900とする
 FS11, 12の天端レベルは 設計GL-40とする
 図中の ← は主筋方向を示す
 〰〰〰 は 設計GL+240 を示す (開放廊下)
 〰〰〰〰 は RC立上り を示す

杭リスト (G-ECSパイル工法)

符号	記号	杭径	杭種・杭長		杭頭補強筋	許容支持力 (KN/本)		本数
			上杭	下杭		長期	短期	
P1		φ190.7	STK490 (t=7.0mm, L=6.0m)	STK490 (t=7.0mm, L=4.0m)	-	150	300	12
P2		φ267.4	STK490 (t=8.0mm, L=6.0m)	STK490 (t=8.0mm, L=4.0m)	-	280	560	3



杭頭補強要領図

※中詰めコンクリートは基礎と同時打ちとする。

	変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
	△			凡例
	△			

さくら建築設計株式会社
 SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked 一級建築士登録 第243707号
 氏名 中島義行
 Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
集会所 杭伏図、基礎伏図		SCALE	JOB	20080
1/100	No.	A	108	

G-ECSパイロ工法設計施工標準 (1)

【回転貫入鋼管杭 ジー・エクスパイル】

【許容支持力および適用範囲】

1 件名

G-ECSパイロ工法

(先端地盤：砂質地盤 (れき質地盤を含む))

(先端地盤：粘土質地盤)

2 押込み方向支持力

本工法により施工される基礎ぐいの許容支持力を定める際に求める長期並びに短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力

1) 長期に生ずる力に対する地盤の許容支持力 (kN)

$$Ra = \frac{1}{3} [\alpha \bar{N}Ap + (\beta \bar{N}sLs + \gamma \bar{q}uLc) \psi]$$

2) 短期に生ずる力に対する地盤の許容支持力 (kN)

$$Ra = \frac{2}{3} [\alpha \bar{N}Ap + (\beta \bar{N}sLs + \gamma \bar{q}uLc) \psi]$$

ここで、

α : くい先端支持力係数 (砂質地盤 (れき質地盤を含む) $\alpha=184$
(粘土質地盤 $\alpha=150$)

β : 砂質地盤におけるくいの周面摩擦係数 ($\beta=0$)

γ : 粘土質地盤におけるくいの周面摩擦係数 ($\gamma=0$)

\bar{N} : 基礎ぐいの先端付近 (くい先端より下方に1Dw (Dw: 基礎ぐい先端の実断面積 (Ag) と等価な円の直径 以下、等価円直径と呼ぶ) の範囲) の地盤の標準貫入試験による打撃回数 (N値) の平均値 (回)

(砂質地盤 (れき質地盤を含む) ($5 \leq \bar{N} \leq 60$)
(粘土質地盤 ($10 \leq \bar{N} \leq 50$))

A_p : 基礎ぐいの先端翼部の有効断面積 (m²)

$A_p = e \cdot A_g$
e : 有効率 (くい径300mm未満で1.0 300mm以上で0.97)
A_g : 基礎ぐい先端の実断面積 (m²)

\bar{N}_s : 基礎ぐい周囲の地盤のうち砂質地盤の標準貫入試験による打撃回数の平均値 (回)

L_s : 基礎ぐい周囲の地盤のうち砂質地盤に接する有効長さの合計 (m)

$\bar{q}u$: 基礎ぐい周囲の地盤のうち粘土質地盤の一軸圧縮強度の平均値 (kN/m²)

L_c : 基礎ぐい周囲の地盤のうち粘土質地盤に接する有効長さの合計 (m)

ψ : 基礎ぐい周囲の有効長さ (m)

基礎ぐい先端の実断面積 (Ag)

くい径 Dp (mm)	114.3	139.8	165.2	190.7	216.3	267.4	318.5	355.6	406.4 (400)
基礎ぐい先端の実断面積 Ag (m ²)	0.0514	0.0780	0.1089	0.1562	0.1993	0.2884	0.4184	0.4359	0.5263

※ Dp : 一般部くい径

基礎ぐいの先端翼部の有効断面積 (Ap) および等価円直径 (Dw)

くい径 Dp (mm)	114.3	139.8	165.2	190.7	216.3	267.4	318.5	355.6	406.4 (400)
基礎ぐい先端の有効断面積 Ap (m ²)	0.0514	0.0780	0.1089	0.1562	0.1993	0.2884	0.4058	0.4228	0.5105
等価円直径 Dw (mm)	256.9	314.7	372.3	446.0	503.7	606.0	729.9	745.0	818.6

※ Dp : 一般部くい径

3 くい体から決まる長期許容支持力

$$Na = \frac{F^*}{1.5} Ae (1 - \alpha 1 - \alpha 2)$$

$$F^* = F \cdot (0.80 + 2.5 \cdot te/r) \quad (0.01 \leq te/r < 0.08)$$

$$F^* = F \quad (te/r \geq 0.08)$$

F : 設計基準強度 (N/mm²) Ae : 腐食しを除外した鋼管の断面積 (mm²)

r : 鋼管の半径 (mm) te : 腐食しを除外した鋼管の厚さ (mm)

$\alpha 1$: 長さ径比による低減率 (L>100 Dp の場合 $\alpha 1 = (L/Dp - 100)/100$)

$\alpha 2$: 溶接継手による低減率 ($\alpha 2 = 0$)

4 引抜き方向の短期支持力

1) 地盤から定まる引抜き方向の短期支持力 (kN)

$$tRa = \frac{2}{3} \kappa \bar{N}tAtp + Wp$$

ここで、

κ : 先端抵抗係数 (砂質地盤 (れき質地盤を含む) : $\kappa=56$)

(粘土質地盤 : $\kappa=56$)

$\bar{N}t$: 基礎ぐいの先端付近 (くい先端より上方に3Dw (Dw: 基礎ぐい先端の実断面積 (Ag) と等価な円の直径 以下、等価円直径と呼ぶ) の範囲) の地盤の標準貫入試験

による打撃回数 (N値) の平均値 (回)

*砂質地盤 (れき質地盤を含む) の場合 : $10 \leq \bar{N}t \leq 60$

ただし、 $\bar{N}t$ を求めるための個々のN値については $N < 5$ の場合は $N=0$

$N > 100$ の場合は $N=100$ とする。

*粘土質地盤の場合 : $5 \leq \bar{N}t \leq 50$

ただし、 $\bar{N}t$ を求めるための個々のN値については $N < 2$ の場合は $N=0$

$N > 50$ の場合は $N=50$ とする。

Atp : 基礎ぐいの先端の有効面積 (m²)

$$Atp = (Dw^2 - Dp^2) \pi / 4$$

Dw : 等価円直径

Dp : くい径

Wp : 浮力を考慮したくい有効自重 (kN)

2) くい体から定まる引抜き方向の短期支持力※

$$tNa = FAe$$

F : 設計基準強度 (N/mm²) Ae : 腐食しを除外した鋼管の断面積 (mm²)

※ 明らかにtRaより大きいので、特に検討の必要はない。

5 適用範囲

1) 適用する地盤の種類

*くいの許容支持力 (押込み方向)

基礎ぐいの先端地盤 : 砂質地盤 (れき質地盤を含む)
粘土質地盤 (φ267.4まで)

*引抜き方向の短期支持力

基礎ぐいの先端地盤 : 砂質地盤 (れき質地盤を含む)
粘土質地盤 (φ267.4まで)

最小くい長 : 砂質地盤 3mと100Dp (Dp: 軸部鋼管径) の大きい方
粘土質地盤 5m

2) 最大施工深さ

基礎ぐいの軸部径Dpの130倍とする。

	最大施工深さ (施工地盤面より)									
杭径 Dp (mm)	114.3	139.8	165.2	190.7	216.3	267.4	318.5	355.6	406.4 (400)	
最大施工深さ (m)	14.86	18.17	21.48	24.79	28.12	34.76 ※1	41.40	46.22	52.83 (52.00)	

※1 杭先端が粘土質地盤で引抜き方向支持力を使用する場合は31.70m。

3) 適用する建築物の規模

床面積の合計が500,000m²以下のものとする。

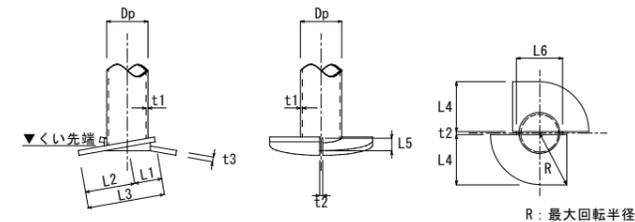
【G-ECSパイロの構造・規格】

1 G-ECSパイロ寸法

(単位は全て mm)

Dp	t1	t2	t3	L1	L2	L3	L4	L5	L6	R
114.3	4.5 6.0	12	16 (SS400)	70	140	210	140	52	135	162
139.8	4.5 6.6	12	19 (SS400)	90	170	260	170	60	165	198
165.2	5.0 7.1	12	19 (SS400)	110	200	310	200	65	185	234
190.7	5.3 7.0	16	22 (SS400)	130	240	370	240	80	225	280
216.3	8.2 10.3 12.7	16	22 (SM490A)	150	270	420	270	90	250	316
267.4	8.0 9.3 12.7 16.0 19.0	19	28 (SS400)	180	325	505	325	110	305	380
318.5	6.9 10.3 12.7 16.0 19.0	22	32 (SS400)	220	390	610	390	115	360	457
355.6	9.5 12.7 16.0※ 19.0	22	32 (SS400)	220	400	620	400	120	390	466
(400)	9.0 12.0	25	36 (SS400)	240	440	680	440	135	440	512
406.4	9.5 12.7 16.0※ 19.0	25	36 (SS400)	240	440	680	440	135	440	512

※は特注品となりますので、事前にご相談ください。



※掘進が困難と想定される地盤では掘削刃付きタイプを使用する。

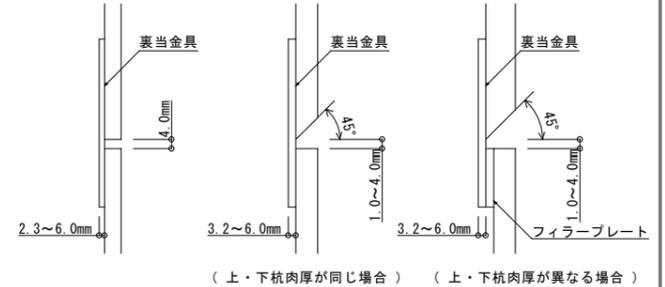
2 G-ECSパイロの材質

部位	使用材料
基礎ぐいの軸部	○ JIS G 3444 (1994) に定めるSTK400及びSTK490 ○ JIS A 5525 (1994) に定めるSKK400及びSKK490 ○ JIS G 3475 (1996) に定めるSTKN400W、STKN400B及びSTKN490B
くい先端部の翼及び組立板	○ JIS G 3101 (1995) に定めるSS400 ○ JIS G 3106 (1999) に定めるSM400A、SM400B、SM400C、SM490A、SM490B、SM490C、SM490YA、SM490YB
キー材、掘削刃及び裏当て金具	○ JIS G 3101 (1995) に定めるSS400 ○ JIS G 3106 (1999) に定めるSM400A、SM400B、SM400C、SM490A、SM490B、SM490C、SM490YA、SM490YB

3 継手

1) 溶接継手標準図

○ φ139.8以下の場合 ○ φ165.2以上の場合



(上・下杭肉厚が同じ場合) (上・下杭肉厚が異なる場合)

【現場自動溶接ロボット工法】 ECS-AW

・ロボット本体仕様	
本体外形寸法	幅 388mm 奥行き 120mm 高さ 236mm
レール寸法	幅 120mm 厚さ 20mm
本体重量	約 4.5kg
・溶接方法	セルフシールドアーク溶接
・適用くい径	Dp=165.2mm~406.4mm

2021.4.16 改訂

一級建築士 第219563号
構造一級建築士 第5499号
岡本良直

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

集会所 杭施工標準 (1)

設計図	DATE	2022/9/20
SCALE	JOB	20080
No.	A	109

図面 : A 2 (縮尺 : A 1 → 141%、A 3 → 71%)

印刷日付 '22' 12' 3

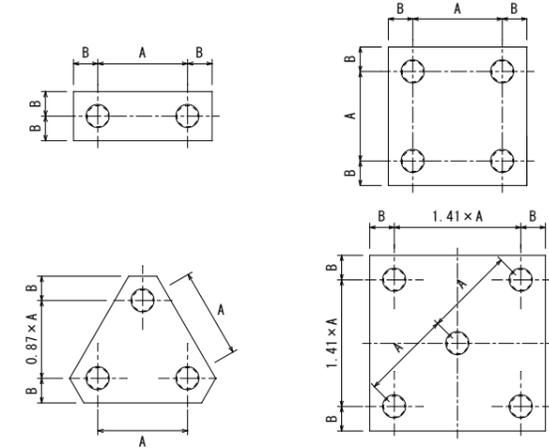
G-ECSパイロ工法設計施工標準 (2)

【回転貫入鋼管杭 ジー・エクスパイル】

【くい芯間隔とへりあきの推奨値】

・くい芯間隔とへりあきの推奨値を以下に示す。

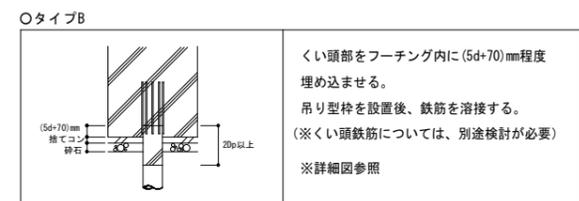
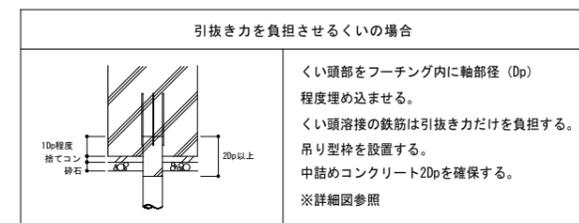
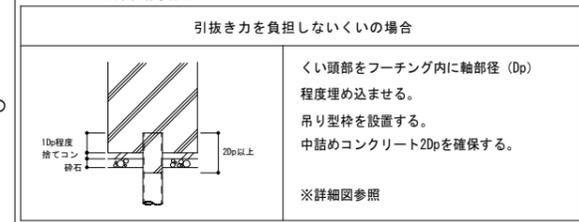
くい芯間隔とへりあきの推奨値	(単位は全て mm)								
くい径 Dp (mm)	114.3	139.8	165.2	190.7	216.3	267.4	318.5	355.6	406.4 (400)
くい芯間隔 A	440	540	640	760	850	1030	1300	1300	1500
へりあき B	140	150	175	210	240	300	400	400	500



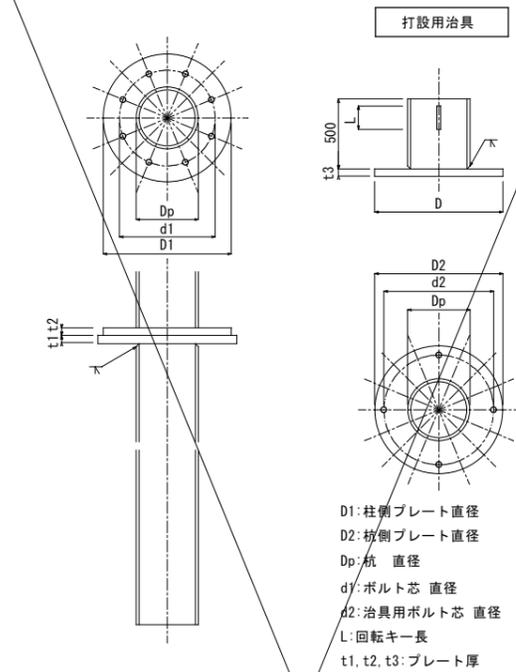
【くい頭部の接合例】

・くい頭部の接合例を以下に示す。

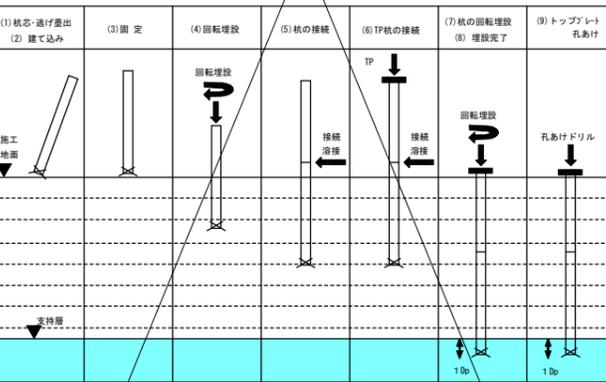
○タイプA (弊社推奨例)



【ECS-TP工法】



【ECS-TP工法施工手順図】



- 管理値
ECS-TP工法の水平方向施工管理許容値は±20mm以内、鉛直方向の施工管理許容値は0~10mmとし、これを超える場合は対処方法について監理者と協議を行うものとする。
- 施工手順
(1) (2) 逃げくいは、直角方向2箇所設定する。基準は、地面に固定したもの(鉄板等)に印す。
(6) (7) TPくい(上)くに、TP治具を取付け、回転埋設する。
(8) G-ECSパイロ工法打止め管理基準を満足していることを確認し、所定レベル 0~10mmで埋設完了とする。
(9) テンプレートを用いて、トッププレートの上にボルト孔の墨出を行い、位置再確認の後、ボルト孔あけドリルにより施工する。
(10) レベル調整用のフィラープレートを敷設し、柱の建方を行う。(鉄骨建て方歪み直しの前工程で、杭頭周辺に捨てコンクリートを打設しておくことが望ましい。

【施工管理方法】

G-ECSパイロ工法では、以下の管理方法により現場ごとの「支持層確認管理値」を決定し、くいの先端が確実に支持層に到達していることを確認して、打ち止め管理を行う。

(PR値)

・G-ECSパイロ工法では、「PR値」により施工管理を行う。

「PR値」・・・くい1回転あたりの地中への貫入量(mm)

(施工管理方法)

- 本ぐいの施工に先立ち、地盤調査(標準貫入試験)位置または近傍にて試験ぐいの施工を行う。試験ぐいでは、地表面からくい先端所定位置まで全長に渡り、深度・PR値・トルクを測定し、地盤調査資料と比較して整合性を検証する。このとき、地盤調査位置近傍に本ぐいがある場合には、これを試験ぐいとして行うことができる。
※くい先端所定位置：設計上必要とされるN値の発現深度
- 試験ぐいに不整合が無ければ、試験ぐいの施工データと比較しながら本ぐいを3本施工し、支持層上端より1.0m上部(引抜き方向の支持力を負担させるくいについては3Dwかつ1.0m上部)から試験ぐいと同一の押圧力でPR値を測定する。
- 試験ぐいを含めた管理値設定ぐい計4本について、支持層上端におけるPR値の平均値を求める。また、合わせてトルクの最小値を求める。
- 3) で求めた平均値の130%を当該現場における「支持層確認管理値」とする。また、トルクの最小値とバラつきを考慮して打止め参考トルクを設定する。

- 本ぐいの施工時には、支持層上端と想定される深度より1.0m上部(引抜き方向の支持力を負担させるくいについては3Dwかつ1.0m上部)から試験ぐいと同一の押圧力でPR値・トルクを測定し、「支持層確認管理値」以下となった深度を支持層上端とする。

- 支持層上端より1Dp以上くいを根入れし、打ち止めとする。根入れの時は杭を正転させ、打ち止める。

但し、Dp：くいの軸径の直径。

※ PR値が「支持層確認管理値」以下となった後、根入れの際に

- ・施工トルクがくいの短期許容ねじり強さを超える場合、
 - ・PR値が「支持層確認管理値」の30%以下となる場合、
- には、1Dpの根入れと同等として扱う。

- くいの高止まり時の処置

打ち止め条件は満たしているが、貫入が困難な場合で支持層上端より深の地盤にN値の落ち込みがないことが確認な場合は、その位置で打ち止めとし、くい頭部は地面で切断とする。

高止まり時の支持層上端より深の地盤にN値の落ち込みが予想される場合には、くいに逆回転を与えて引抜き、アースオーガー等にて掘削して施工困難な層を打抜き後、再施工とする。アースオーガー等による先行掘削は層上端の1.0m程度上部(引抜き方向の支持力を適用するくいについては3Dwかつ1.0m上部)とする。

- くい長不足の処置

打ち止め条件を満たさない場合は適宜継いで、「支持層確認管理値」以下になるまで施工する。
但し、最大施工深さを超える場合には、監理者・設計者と協議の上、指示に拠ることとする。

国土交通省大臣認定

G-ECSパイロ工法

認定年月日	令和元年 7月23日
認定番号	TACP - 0585
認定書	(国住指第755号)
指定書	(国住指第755-2号)
性能評価書(砂質・れき質)	(BCJ基評-FD0124-04)

財団法人 日本建築センター 性能評価

性能評価書(粘土質)	(BCJ基評-FD0178-01)
------------	-------------------

財団法人 日本建築総合試験所 性能証明

建築技術性能証明書(引抜き方向の鉛直支持力)	(GBRC 性能証明 第 11-05号 改2)
------------------------	-------------------------

株式会社 三誠

本社	東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル9F	TEL: 03-3551-0211	FAX: 03-3551-0217
東日本支店	埼玉県さいたま市南区南浦和2-40-2 南浦和ガーデンビル6階	TEL: 048-813-6612	FAX: 048-813-6615
北関東営業所		TEL: 022-217-8105	FAX: 022-217-8137
東北営業所		TEL: 025-242-2180	FAX: 025-242-2183
新潟営業所		TEL: 076-231-0750	FAX: 076-231-0751
北海道営業所		TEL: 011-252-2556	FAX: 011-252-2557

東京支店	東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル9F	TEL: 03-3551-0211	FAX: 03-3551-0217
東京支店		TEL: 043-302-7080	FAX: 043-302-7080
千葉出張所		TEL: 045-263-1625	FAX: 045-263-1626
神奈川出張所			

西日本支店	大阪府大阪市中央区今橋3-2-20 洪庵日生ビル3F	TEL: 06-6233-7300	FAX: 06-6233-7310
関西営業所		TEL: 082-568-1310	FAX: 082-568-1311
中部営業所		TEL: 052-203-8551	FAX: 052-203-8552

九州支店	福岡県福岡市博多区博多駅前1-31-17 東宝福岡ビル5F	TEL: 092-433-5833	FAX: 092-433-5834
九州営業所		TEL: 098-860-3700	FAX: 098-860-3750
沖縄営業所			

2021. 6. 07 改訂

一級建築士 第219563号
構造一級建築士 第 5499号
岡本 良直

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例



さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

設計図	DATE	2022/9/20
SCALE	JOB	20080
集会所 杭施工標準(2)	No.	A 110

図面：A 2 (縮尺：A 1→141%、A 3→71%)

印刷日付 22' 12' 3

特記事項

1. 使用材料			
①コンクリート	区分	設計基準強度	スランプ
	RC躯体	Fc=21	15cm
	捨てコンクリート	Fc=18	18cm
②鉄筋	D10, D13	SD295A	
	D19	SD345	
2. 地業			
基礎下	捨てコン 厚50	砕石 厚100	

基礎梁リスト 1:30

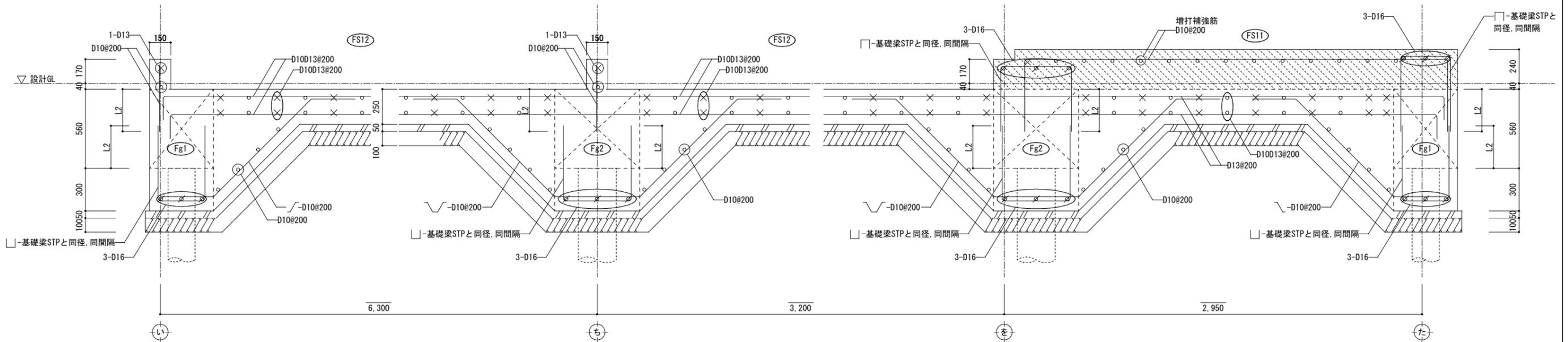
註記：幅止め筋 D10@1000内とする。

符号	Fg1	Fg2
断面名	全断面	全断面
断面		
B x D	450x560	600x560
上端筋	3-D19	4-D19
下端筋	3-D19	4-D19
スターラップ	□ D13@200	□ D13@200
腹筋	-	-

耐圧版リスト

符号	厚さ	位置	主筋方向配筋	配力筋方向配筋	備考
FS11	250	上	D13@200	D10D13@200	底版
		下	D13@200	D10D13@200	
FS12	250	上	D10D13@200	D10D13@200	底版
		下	D10D13@200	D10D13@200	

配筋要領図 1:20



一級建築士 第219563号
構造一級建築士 第 5499号
岡本 良直

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

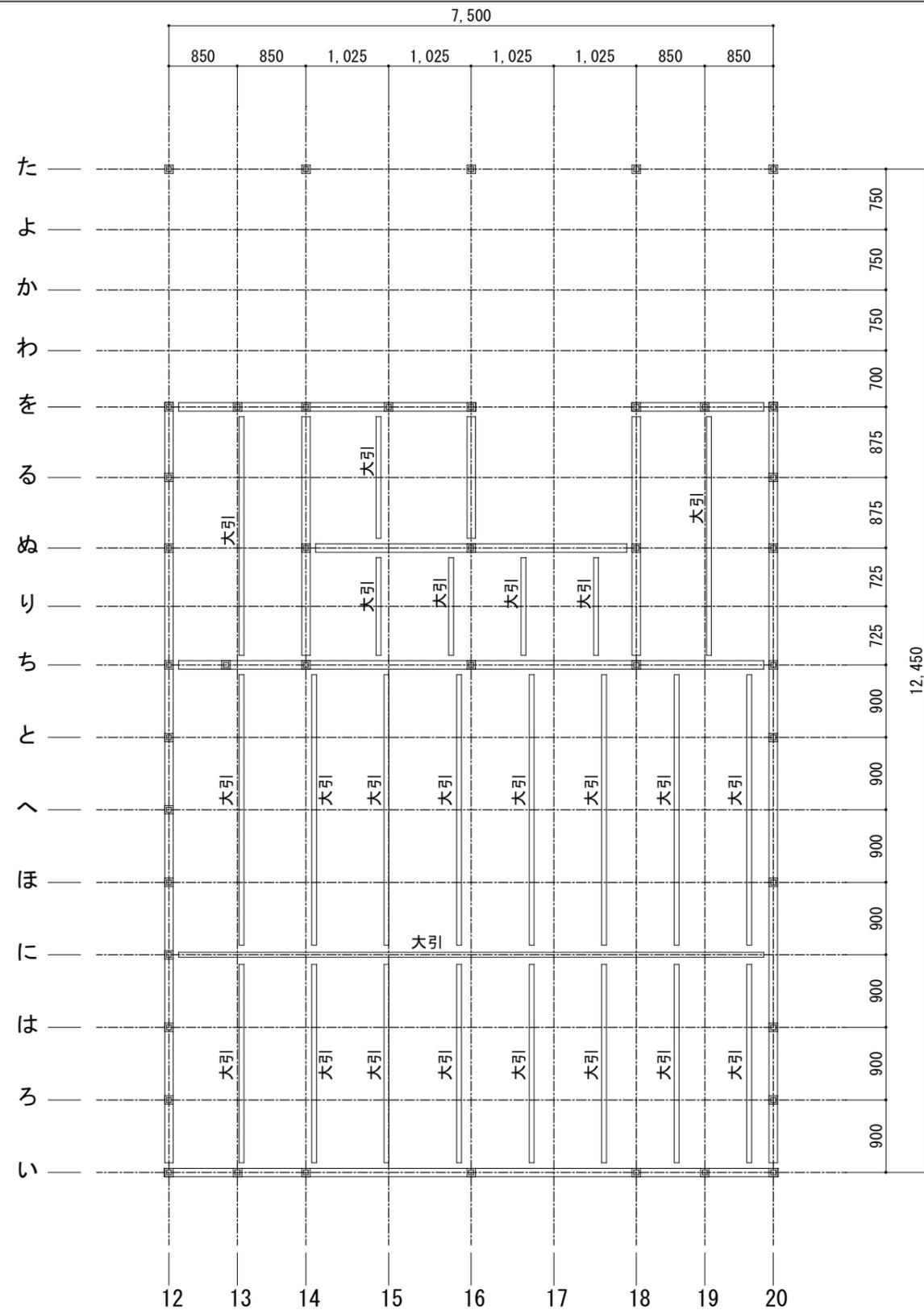
さくら建築設計
株式会社
SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早福田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
集会所 基礎部材リスト		SCALE	JOB	20080
		1/20, 30	No.	A 111



- 凡例
- 土台 (105×105 樹2)
 - 大引 (90×90 樹2) @900
 - ▽ 継手 (5メートル以内で設ける)
 - 1階柱

根太レス構造用合板24mm

記号と仕様の対応

分類	記号	仕様
樹種	樹2	無等級製材ひのき

土台伏図 S=1/50

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

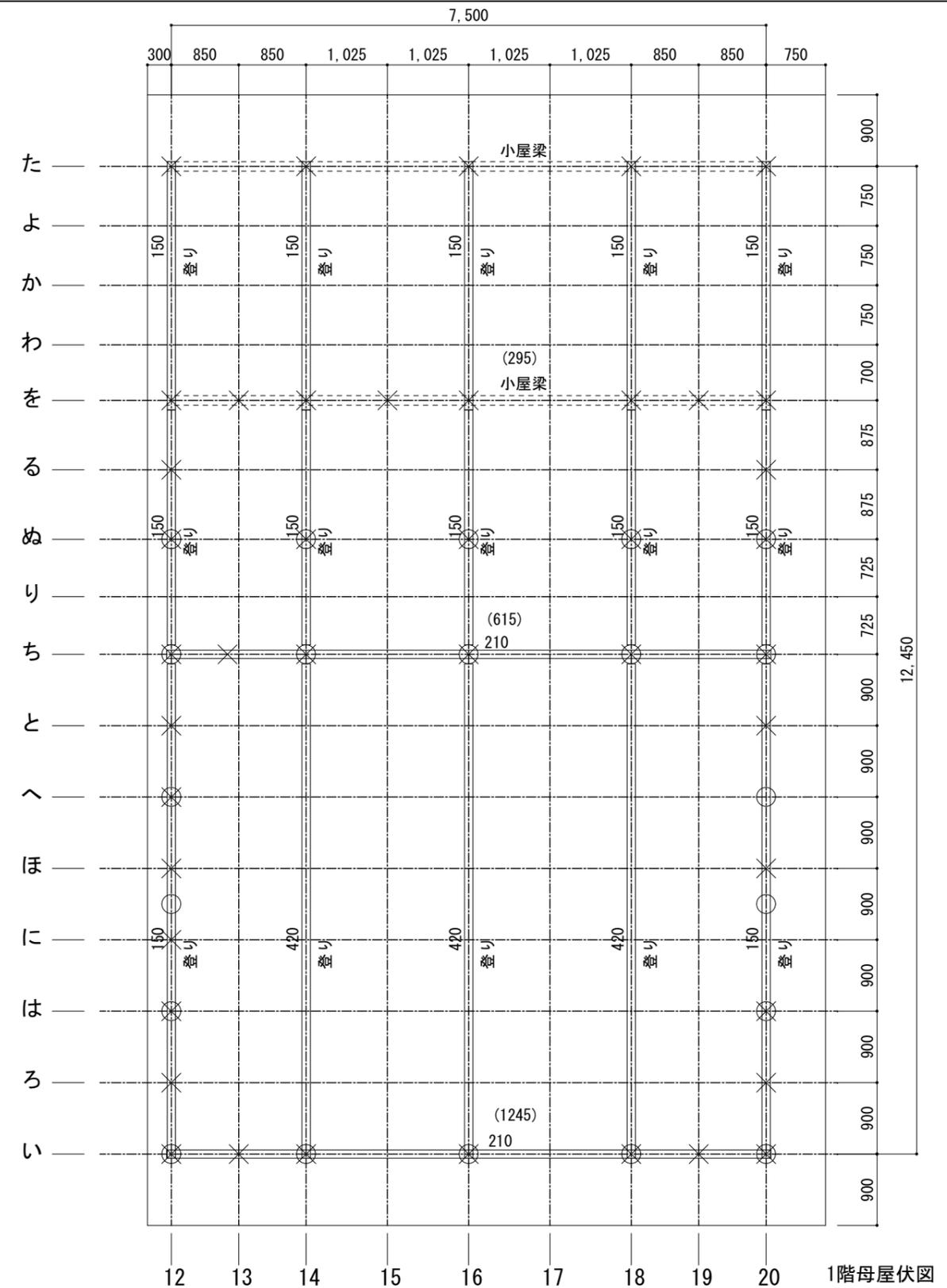
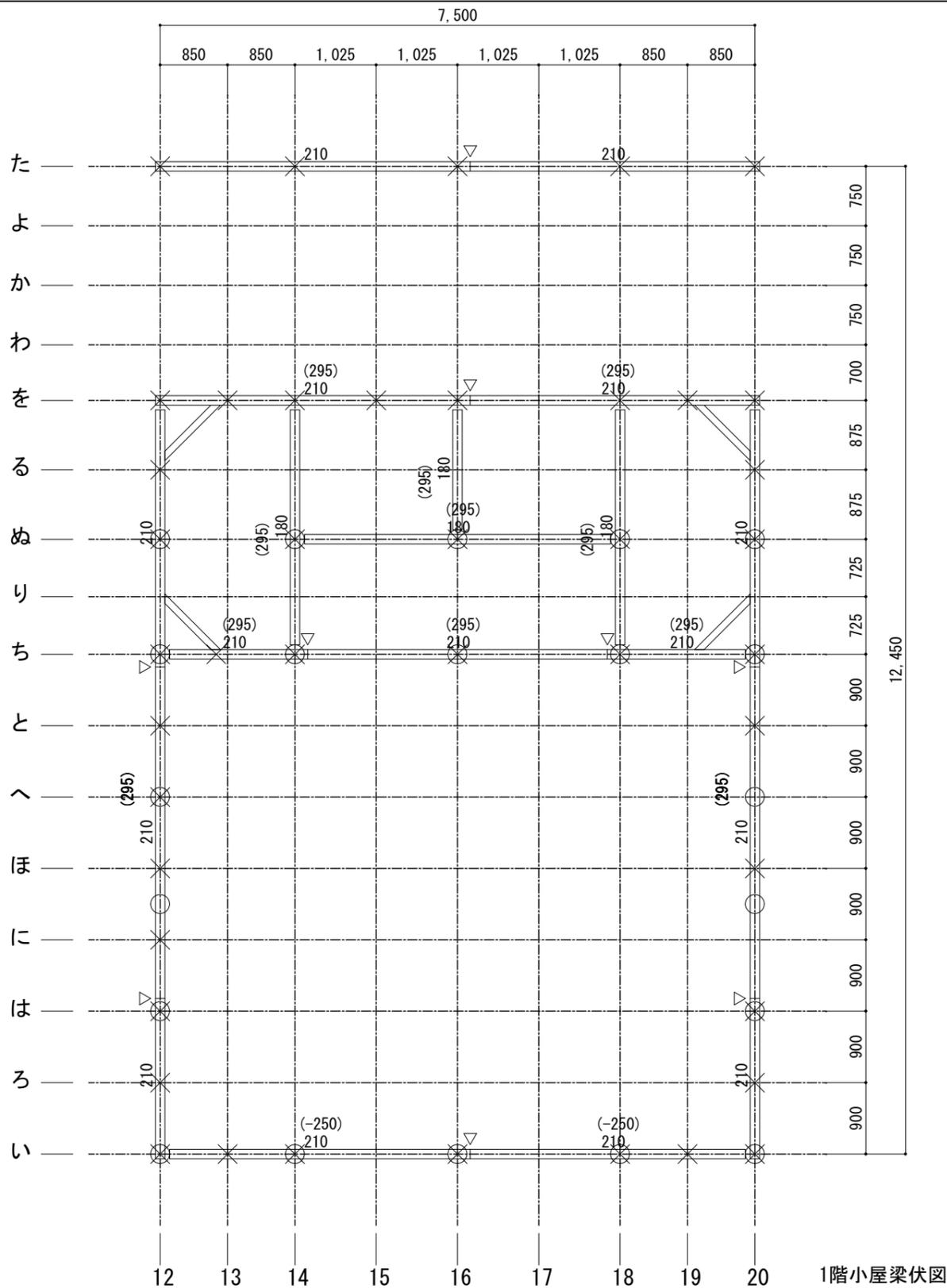
SAKURA Architects Co., Ltd.	さくら建築設計株式会社
-----------------------------	-------------

広島市東区牛田早福田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
集会所 構造図 (1)		SCALE	JOB	20080
		No.	A	112



※接合部記号表記の無い仕口の仕様はJ1、継手の仕様はT1 ※樹種番号表記の無い横架材の樹種は樹3 地廻りを基準高さ1F L+2955

※樹種番号表記の無い横架材の樹種は樹3 横垂木 45 x 90@455 樹1

- 凡例
- 梁・桁 (寸法、樹種番号を表示 寸法は幅105のものについては梁せいのみ表示 括弧付きの数値は地廻りを基準とした配置高さ)
 - 小屋束 (90角)
 - × 1階柱 (105角 樹4)
 - 火打金物
 - 継手

1階小屋梁伏図 S=1/50

1階母屋伏図 S=1/50

分類	記号	仕様
樹種	樹1	無等級製材すぎ
	樹3	対称異等級構成集成材おうしゅうあかまつE105-F300
	樹4	同一等級構成集成材スプルスE65-F255
横架材接合部	J1	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト
	T1	腰掛け蟻+短ざく金物

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

さくら建築設計株式会社
 SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

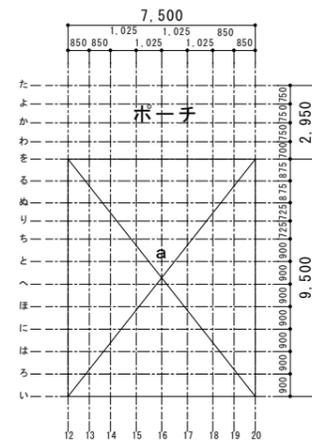
集会所 構造図 (2)

設計図 DATE 2022/9/20

SCALE JOB 20080

No. A 113

■ 1階床面積根拠図



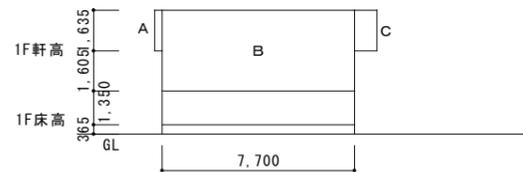
■ 1階ブロック別床面積計算表

区画	縦 (m)	横 (m)	床面積 (m ²)	備考
a	9.500	7.500	71.250000	

■ 壁量計算用床面積

階	部位	計算式	壁量計算用床面積 (m ²)
2階	床		0.00
	小屋裏収納等		0.00
	合計	(2階床) + (2階小屋裏収納等) × 1.4 ÷ 2.1	0.00
1階	床	a	71.25
	小屋裏収納等		0.00
	合計	(1階床) + (1階小屋裏収納等) × 1.4 ÷ 2.1	71.25

■ X方向見付面積根拠図



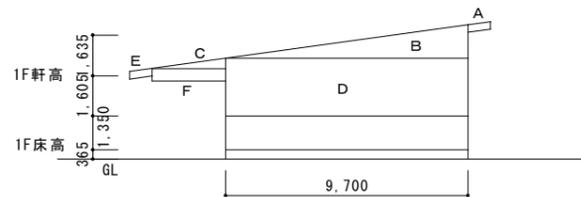
■ X方向見付面積計算表

区画	計算式	面積 (m ²)
A	0.200 × 1.725	0.345000
B	7.700 × 3.240	24.948000
C	0.650 × 1.725	1.121250

■ X方向見付面積計算結果

区画	計算式	見付面積 (m ²)
2階	-	0.00
1階	A+B+C	26.41

■ Y方向見付面積根拠図



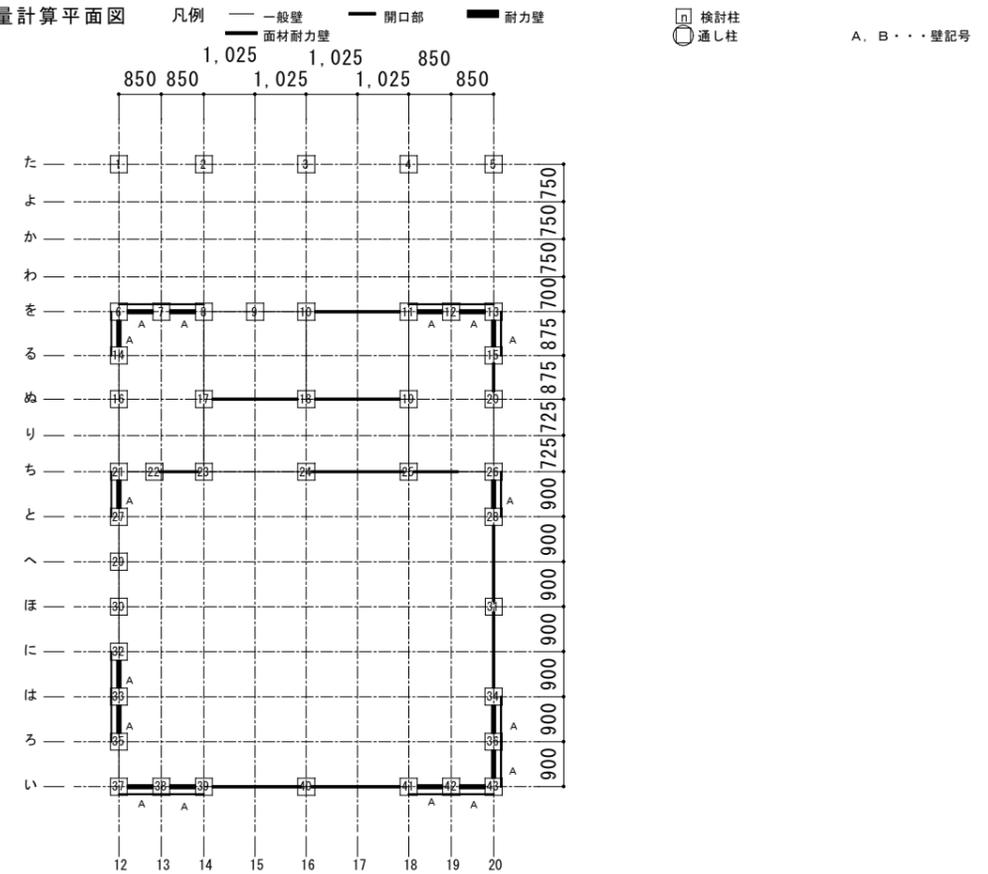
■ Y方向見付面積計算表

区画	計算式	面積 (m ²)
A	0.800 × 0.300	0.240000
B	9.700 × 0.970 ÷ 2	4.704500
C	2.950 × 0.295 ÷ 2	0.435125
D	9.700 × 2.190	21.243000
E	0.800 × 0.300	0.240000
F	2.950 × 0.490	1.445500

■ Y方向見付面積計算結果

区画	計算式	見付面積 (m ²)
2階	-	0.00
1階	A+B+C+D+E+F	28.31

■ 1階壁量計算平面図



■ 耐力壁仕様一覧

壁記号	材種名	壁倍率	面材の厚さ (mm)	規格 (mm)	釘打ちの方法 種類 間隔 (mm)
A	構造用合板 (大壁)	2.50	9.0	JAS/H15告示第233号	N50 @150以下

■ 1階X方向存在壁量

壁記号	壁倍率	壁長 (mm)	存在壁量 (mm)
A	2.50	6,800	17,000.0
存在壁量合計			17,000.0

■ 1階Y方向存在壁量

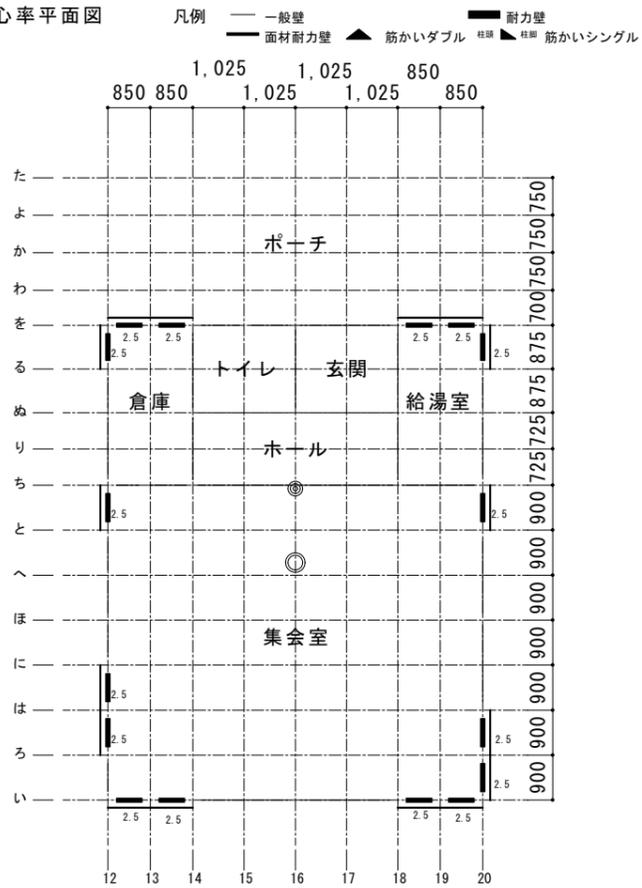
壁記号	壁倍率	壁長 (mm)	存在壁量 (mm)
A	2.50	7,150	17,875.0
存在壁量合計			17,875.0

■ 壁量計算判定

階・方向	地震力			風圧力			存在壁量 (cm)	壁量充足率		判定 H ≥ 1.00 かつ J ≥ 1.00	壁量計算判定
	床面積 (m ²)	壁倍率 (cm/m ²)	必要壁量 (cm)	見付面積 (m ²)	係数 (cm/m ²)	必要壁量 (cm)		地震力	風圧力		
2階X方向	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	適合
2階Y方向	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
1階X方向	71.25	11	783.75	28.31	50	1415.50	1700.00	2.16	1.20	○	
1階Y方向			783.75	26.41		1320.50	1787.50	2.28	1.35	○	

・屋根の重さ：軽い屋根 ・風力区分：一般地域
 ・地震力の必要壁量は「地盤割増」「必要壁量割増」を含む (地盤割増：1.00 必要壁量割増：1.00)

■ 1階偏心率平面図



◎ 重心
○ 剛心

■ 偏心率計算表

要素名	階	方向	計算式	計算値	備考
床面積 (㎡)	2	—	2階床面積 (バルコニーは含まず、吹抜を含む)	—	
	1	—	1階床面積 (オーバーハングは含まず、ポーチは含む)	93.38	
重心 (軽い屋根)	2	X座標	$\Sigma (\text{分割した三角形の重心X座標} \times \text{面積}) \div 2 \text{階床面積}$	—	
		Y座標	$\Sigma (\text{分割した三角形の重心Y座標} \times \text{面積}) \div 2 \text{階床面積}$	—	
	1	X座標	$\{11 \Sigma (\text{1階三角形重心X座標} \times \text{面積}) + 18 \Sigma (\text{2階三角形重心X座標} \times \text{面積})\} \div (11 \times \text{床面積 [1階]} + 18 \times \text{床面積 [2階]})$	3.75	
		Y座標	$\{11 \Sigma (\text{1階三角形重心Y座標} \times \text{面積}) + 18 \Sigma (\text{2階三角形重心Y座標} \times \text{面積})\} \div (11 \times \text{床面積 [1階]} + 18 \times \text{床面積 [2階]})$	6.23	
有効耐力壁量 (m)	2	X方向	$\Sigma (\text{壁倍率} \times 2 \text{階X方向壁長})$	—	イ
		Y方向	$\Sigma (\text{壁倍率} \times 2 \text{階Y方向壁長})$	—	イ
	1	X方向	$\Sigma (\text{壁倍率} \times 1 \text{階X方向壁長})$	17.00	イ
		Y方向	$\Sigma (\text{壁倍率} \times 1 \text{階Y方向壁長})$	17.88	イ
耐震要素	2	X方向	$\Sigma (\text{壁倍率} \times 2 \text{階X方向壁長} \times \text{壁のY座標})$	—	口
		Y方向	$\Sigma (\text{壁倍率} \times 2 \text{階Y方向壁長} \times \text{壁のX座標})$	—	口
	1	X方向	$\Sigma (\text{壁倍率} \times 1 \text{階X方向壁長} \times \text{壁のY座標})$	80.75	口
		Y方向	$\Sigma (\text{壁倍率} \times 1 \text{階Y方向壁長} \times \text{壁のX座標})$	67.03	口
剛心座標	2	X座標	耐震要素 [2階Y方向] \div 有効耐力壁量 [2階Y方向]	—	
		Y座標	耐震要素 [2階X方向] \div 有効耐力壁量 [2階X方向]	—	
	1	X座標	耐震要素 [1階Y方向] \div 有効耐力壁量 [1階Y方向]	3.75	
		Y座標	耐震要素 [1階X方向] \div 有効耐力壁量 [1階X方向]	4.75	
偏心距離 (m)	2	X方向	絶対値 (剛心 [2階X座標] - 重心 [2階X座標])	—	
		Y方向	絶対値 (剛心 [2階Y座標] - 重心 [2階Y座標])	—	
	1	X方向	絶対値 (剛心 [1階X座標] - 重心 [1階X座標])	0.00	
		Y方向	絶対値 (剛心 [1階Y座標] - 重心 [1階Y座標])	1.48	
ねじり剛性	2	X方向	2階X方向各壁のねじり剛性の合計	—	ハ
		Y方向	2階Y方向各壁のねじり剛性の合計	—	ハ
		合計	ねじり剛性 [2階X方向] + ねじり剛性 [2階Y方向]	—	
	1	X方向	1階X方向各壁のねじり剛性の合計	383.56	ハ
		Y方向	1階Y方向各壁のねじり剛性の合計	251.37	ハ
		合計	ねじり剛性 [1階X方向] + ねじり剛性 [1階Y方向]	634.93	
弾性半径	2	X方向	$\sqrt{(\text{ねじり剛性 [2階合計]} \div \text{有効耐力壁量 [2階X方向]})}$	—	
		Y方向	$\sqrt{(\text{ねじり剛性 [2階合計]} \div \text{有効耐力壁量 [2階Y方向]})}$	—	
	1	X方向	$\sqrt{(\text{ねじり剛性 [1階合計]} \div \text{有効耐力壁量 [1階X方向]})}$	6.11	
		Y方向	$\sqrt{(\text{ねじり剛性 [1階合計]} \div \text{有効耐力壁量 [1階Y方向]})}$	5.96	
偏心率	2	X方向	偏心距離 [2階Y方向] \div 弾力半径 [2階X方向]	—	
		Y方向	偏心距離 [2階X方向] \div 弾力半径 [2階Y方向]	—	
	1	X方向	偏心距離 [1階Y方向] \div 弾力半径 [1階X方向]	0.25	
		Y方向	偏心距離 [1階X方向] \div 弾力半径 [1階Y方向]	0.00	

※備考に記号のあるものは、「偏心率明細表」を参照してください。
 ※重心 (1階) は、1階および2階の形状を考慮して算出しています。
 ※1階重心 (X, Y座標) における係数は屋根の重さによって変動します。
 (重い屋根: 15 軽い屋根: 11)

偏心率判定
適合

■ 1階X方向偏心率明細表

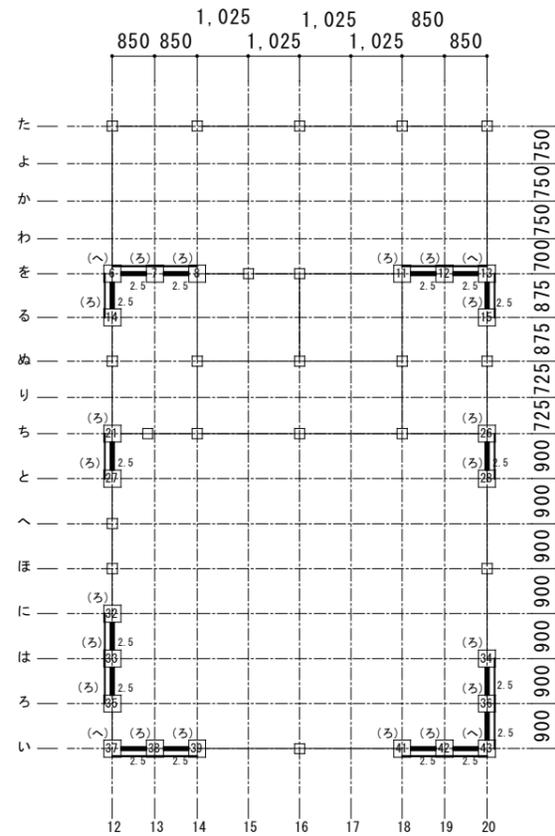
通り	Y座標	壁倍率	壁長さ (m)	有効耐力壁量 (m)	耐震要素	剛心Y座標	ねじり剛性
	A						
い	0.00	2.50	0.85	2.13	0.00	4.75	47.95
い	0.00	2.50	0.85	2.13	0.00	4.75	47.95
い	0.00	2.50	0.85	2.13	0.00	4.75	47.95
い	0.00	2.50	0.85	2.13	0.00	4.75	47.95
を	9.50	2.50	0.85	2.13	20.19	4.75	47.95
を	9.50	2.50	0.85	2.13	20.19	4.75	47.95
を	9.50	2.50	0.85	2.13	20.19	4.75	47.95
を	9.50	2.50	0.85	2.13	20.19	4.75	47.95
				17.00	80.75		383.56
				イ	口		ハ

■ 1階Y方向偏心率明細表

通り	X座標	壁倍率	壁長さ (m)	有効耐力壁量 (m)	耐震要素	剛心X座標	ねじり剛性
	A						
12	0.00	2.50	0.875	2.19	0.00	3.75	30.76
12	0.00	2.50	0.900	2.25	0.00	3.75	31.64
12	0.00	2.50	0.900	2.25	0.00	3.75	31.64
12	0.00	2.50	0.900	2.25	0.00	3.75	31.64
20	7.50	2.50	0.875	2.19	16.41	3.75	30.76
20	7.50	2.50	0.900	2.25	16.88	3.75	31.64
20	7.50	2.50	0.900	2.25	16.88	3.75	31.64
20	7.50	2.50	0.900	2.25	16.88	3.75	31.64
				17.88	67.03		251.37
				イ	口		ハ

■ 1階柱頭柱脚金物算定平面図

— 一般壁 ■ 耐力壁 □ 検討柱 □ 検討外柱 ※検討外柱は(い)の金物を使用する。
 — 面材耐力壁 ▲ 筋かいダブル ■ 筋かいシングル ○ 通し柱



■ 使用金物一覧

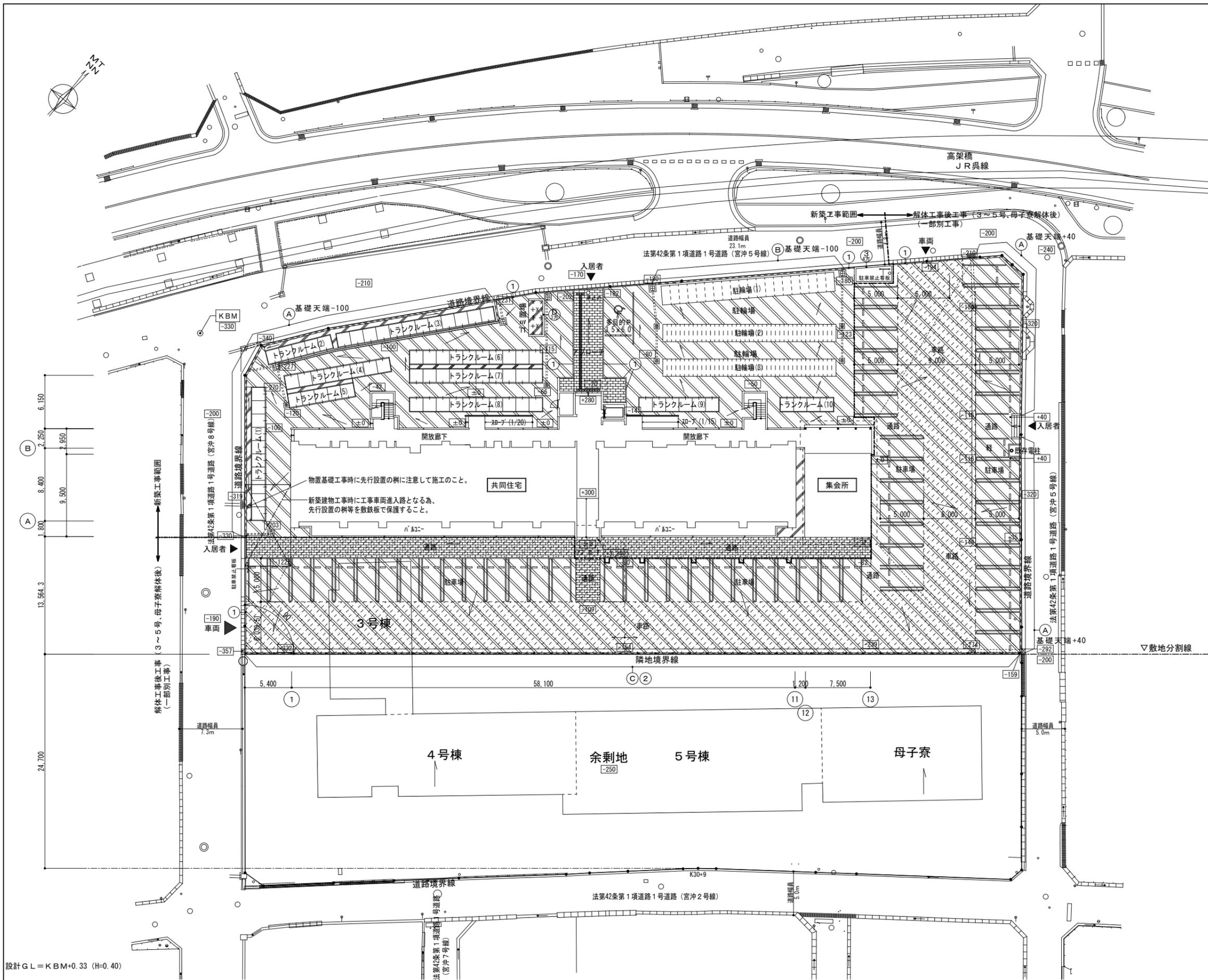
N 値	告示表三	金物名 (同等以上)	略称
0		↓	
~0.65	(ろ)	長ほぞ差し込み栓又はかど金物CP-L、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	CP-L
~1.0	(は)	山形プレートVP又はかど金物CP-T、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	VP
~1.4		↓	
~1.6		↓	
~1.8	(へ)	10kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B10
~2.8	(と)	15kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B15
~3.7	(ち)	20kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B20
~4.7	(り)	25kN引き寄せ金物、又はこれらと同等以上の接合方法としたもの	HD-B25
~5.6		↓	
4.7超	(-)		N>4.7

■ 1階柱頭柱脚金物算定表

柱	方向	1階					2階					L	N	接合金物		
		柱状況	パターン	補正値	A	B	柱	柱状況	パターン	補正値	A			B	柱頭	柱脚
6	X	下屋/出隅	0.0 □2.5	0.0	2.5	0.8							0.4	1.60	(へ)	(へ)
	Y		2.5□ 0.0	0.0	2.5									1.60		
7	X	下屋/他柱	2.5□ □2.5	0.0	0.0	0.5							0.6	-0.60	(ろ)	(ろ)
8	X	下屋/他柱	2.5□ 0.0	0.0	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
11	X	下屋/他柱	0.0 □2.5	0.0	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
12	X	下屋/他柱	2.5□ □2.5	0.0	0.0	0.5							0.6	-0.60	(ろ)	(ろ)
13	X	下屋/出隅	2.5□ 0.0	0.0	2.5	0.8							0.4	1.60	(へ)	(へ)
	Y		2.5□ 0.0	0.0	2.5									1.60		
14	Y	下屋/他柱	0.0 □2.5	0.0	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
15	Y	下屋/他柱	0.0 □2.5	0.0	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
21	Y	下屋/他柱	2.5□ 0.0	0.0	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
26	Y	下屋/他柱	2.5□ 0.0	0.0	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
27	Y	下屋/他柱	0.0 □2.5	0.0	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
28	Y	下屋/他柱	0.0 □2.5	0.0	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
32	Y	下屋/他柱	2.5□ 0.0	0.0	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
33	Y	下屋/他柱	2.5□ □2.5	0.0	0.0	0.5							0.6	-0.60	(ろ)	(ろ)
34	Y	下屋/他柱	2.5□ 0.0	0.0	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
35	Y	下屋/他柱	0.0 □2.5	0.0	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
36	Y	下屋/他柱	2.5□ □2.5	0.0	0.0	0.5							0.6	-0.60	(ろ)	(ろ)
37	X	下屋/出隅	0.0 □2.5	0.0	2.5	0.8							0.4	1.60	(へ)	(へ)
38	X	下屋/他柱	2.5□ □2.5	0.0	0.0	0.5							0.6	-0.60	(ろ)	(ろ)
39	X	下屋/他柱	2.5□ 0.0	0.0	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
41	X	下屋/他柱	0.0 □2.5	0.0	2.5	0.5							0.6	0.65	(ろ)	(ろ)
42	Y	下屋/他柱	2.5□ □2.5	0.0	0.0	0.5							0.6	-0.60	(ろ)	(ろ)
43	X	下屋/出隅	2.5□ 0.0	0.0	2.5	0.8							0.4	1.60	(へ)	(へ)
	Y		0.0 □2.5	0.0	2.5									1.60		

■ 記号の説明

- ・「方向」・・・柱に斜め方向の耐力壁が取り付く場合は方向が「Z1方向」「Z2方向」となります。(最大斜め2方向まで)
- ・「パターン」・・・柱両側の耐力壁の取り付けを表しています。 X:筋かいダブル /:筋かいシングル □:面材耐力壁
- ・「パターン」・・・#は、同位置の耐力壁の合計壁倍率を上限値の7.0に低減して計算していることを表しています。
- ・「2階柱状況」・・・() 表記は、1階の柱から見た2階の柱の平面位置を表しています。
- ・「接合金物(柱頭・柱脚)」・・・#は1階柱の金物をよりN値の大きい2階の柱の金物に合わせたことを表しています。
 (2階柱引抜き力を土台・基礎に伝達するため)
 ※は2階柱脚金物をN値の大きい1階柱頭の金物に揃えたことを表しています。
 (1つの金物で上下階の柱を接合するため)
 *は設計者により編集された金物を表しています。



凡例	
	アスファルト舗装 (4t耐圧仕様) (7Aコン t=50, 再生クラッシュラン t=150程度)
	アスファルト舗装 (4t耐圧仕様) 7Aコン t=50 (別工事) 粒調砕石 t=100程度 再生砕石 t=100程度 (本工事)
	コンクリート舗装 (土間コンクリート t=150 D10 @200 シングルロス, 再生クラッシュラン t=100程度)
	インターロッキング舗装 t=80 (車路用 4t以下) (空線モルタル t=30, 土間コン t=150 ワイヤメッシュΦ6@150, 再生クラッシュラン t=150程度)
	インターロッキング舗装 t=60 砂敷 t=30程度 (別工事) クラッシュラン t=100程度 (本工事)
	視覚障害者用誘導ブロック300角
	設計G.L.±0からの計画高さを示す。
(A)	メッシュフェンス H=1,200 + コンクリート基礎 朝日スチール工業(株)ユニフェンスA型同等品以上
(B)	目隠しフェンス H=1,200 + コンクリート基礎 朝日スチール工業(株)目隠しフェンスXW型同等品以上
(C)	メッシュフェンス H=1,200 + PC基礎180×180×450 朝日スチール工業(株)ユニフェンスA型同等品以上
(D)	コンクリート塀 H=1,800 複層塗材E吹付 (アクリル系)
①	緑石: 地先境界ブロック 120×120×600
②	緑石: 地先境界ブロック 150×150×600
③	歩車道境界ブロック 200×150×600
特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場ライン引き (W=100)、駐車場番号、車椅子マークはラインファルトにて施工すること。 ・ 各平置駐輪場には、車輪止めパイプ設置 ・ 停止ライン引き (W=150) (STOP文字入共) は、ラインファルトにて施工 ・ 各駐車スペースには車止めPCブロックを設置する。 (アンカー固定 2本/箇所) 多目的駐車スペースは1列L=3000を設置する。 	

設計G.L.=KBM+0.33 (H=0.40)

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
			凡例

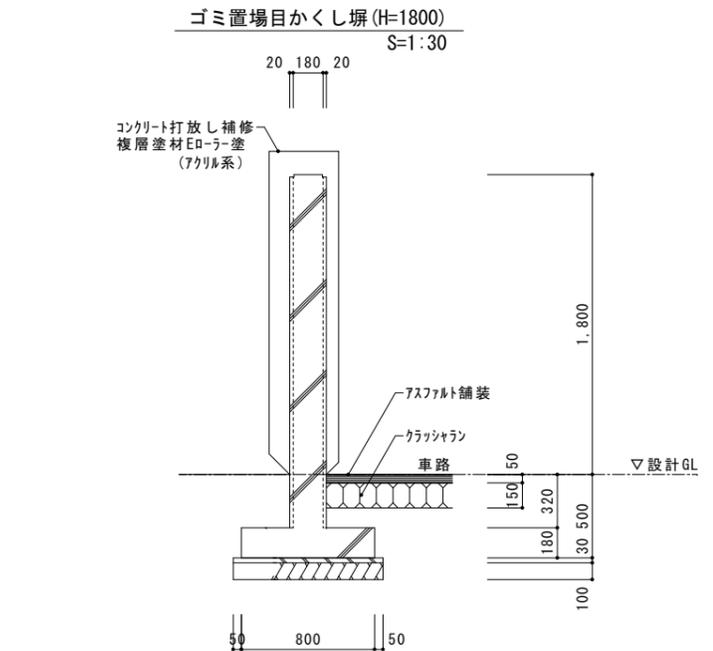
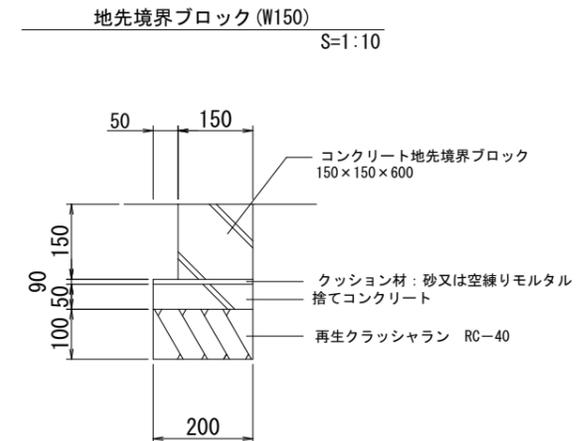
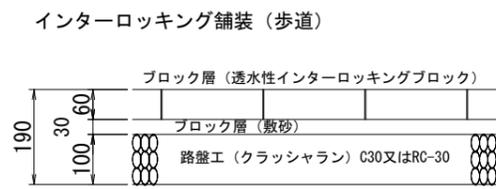
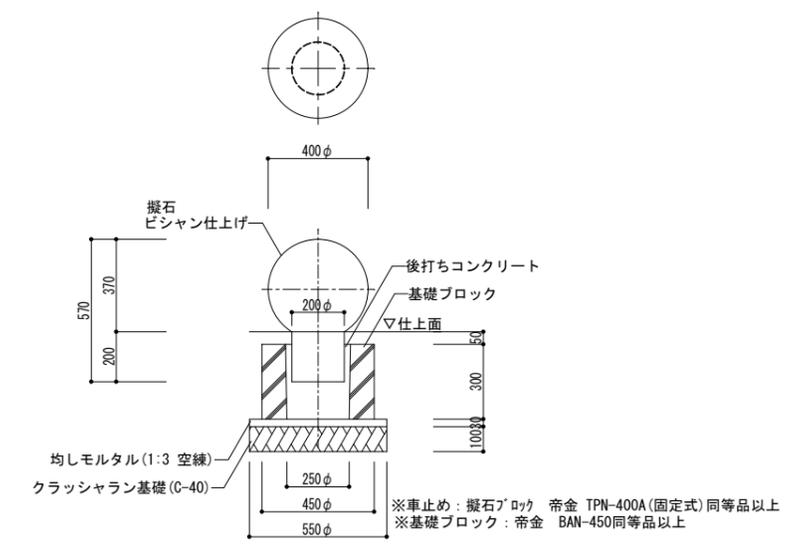
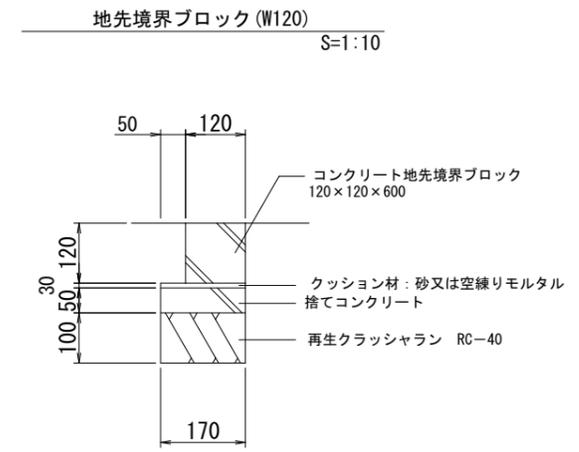
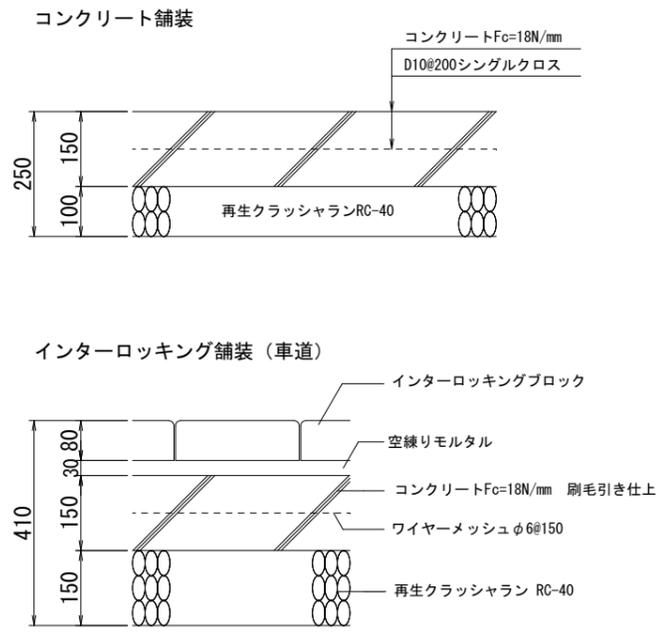
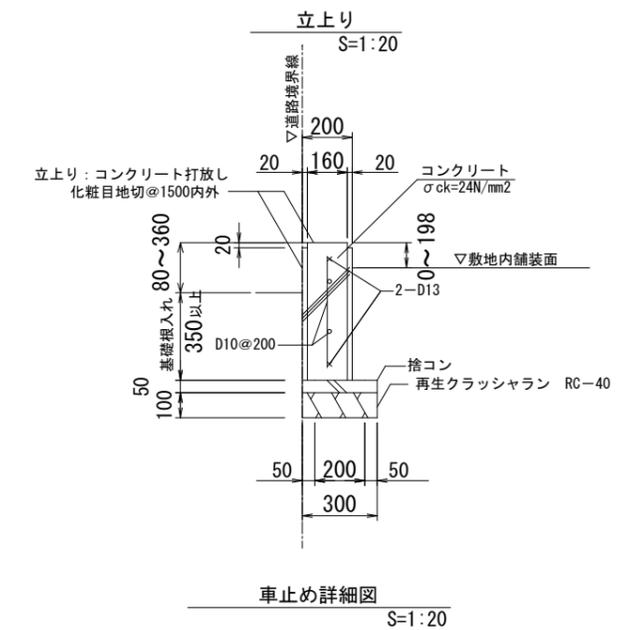
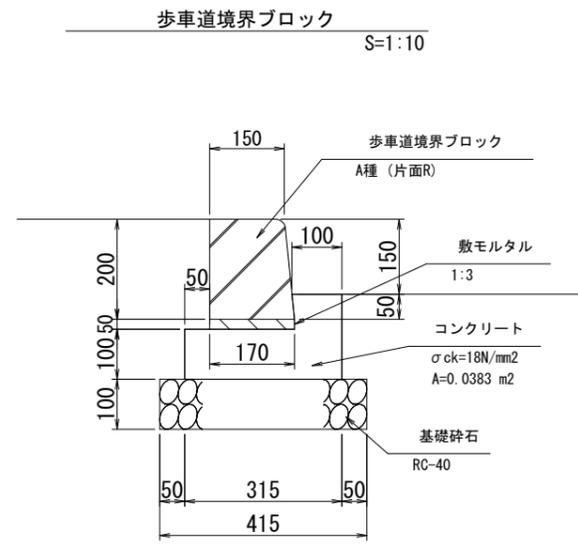
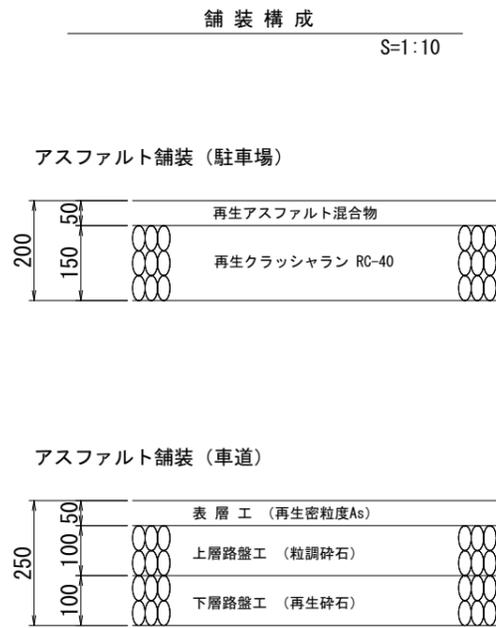

さくら建築設計
 株式会社
 SAKURA Architects Co., Ltd.

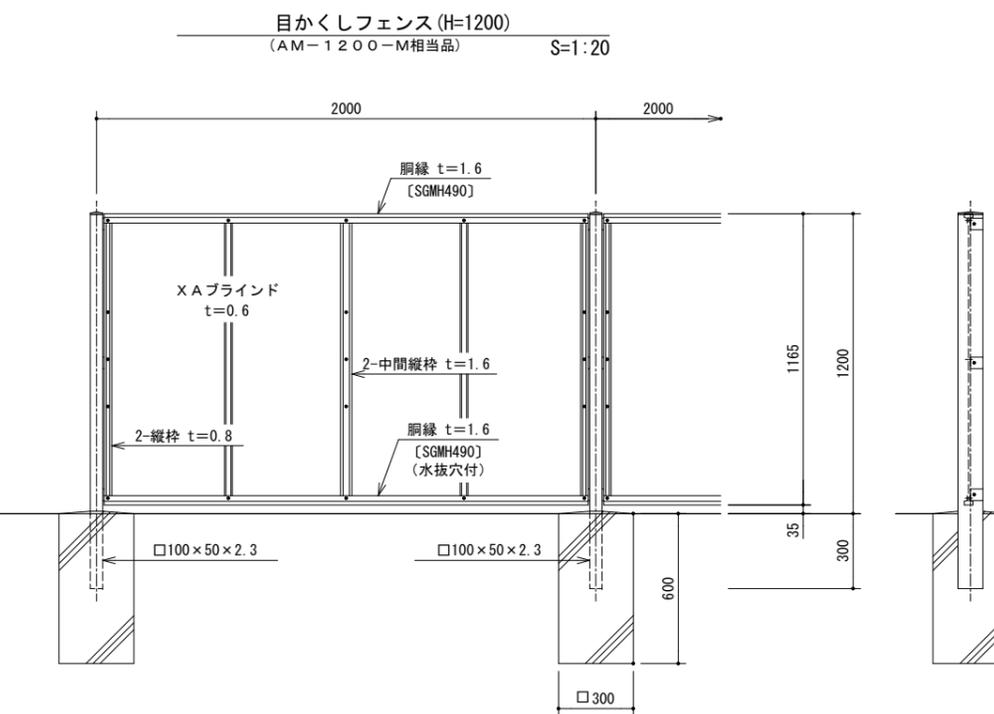
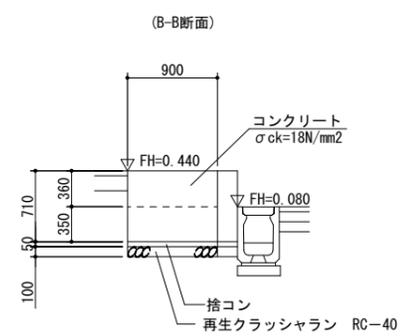
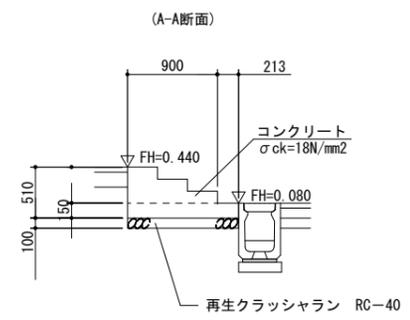
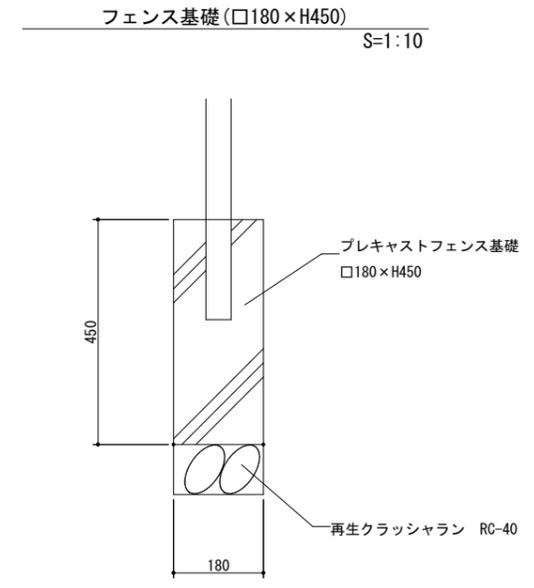
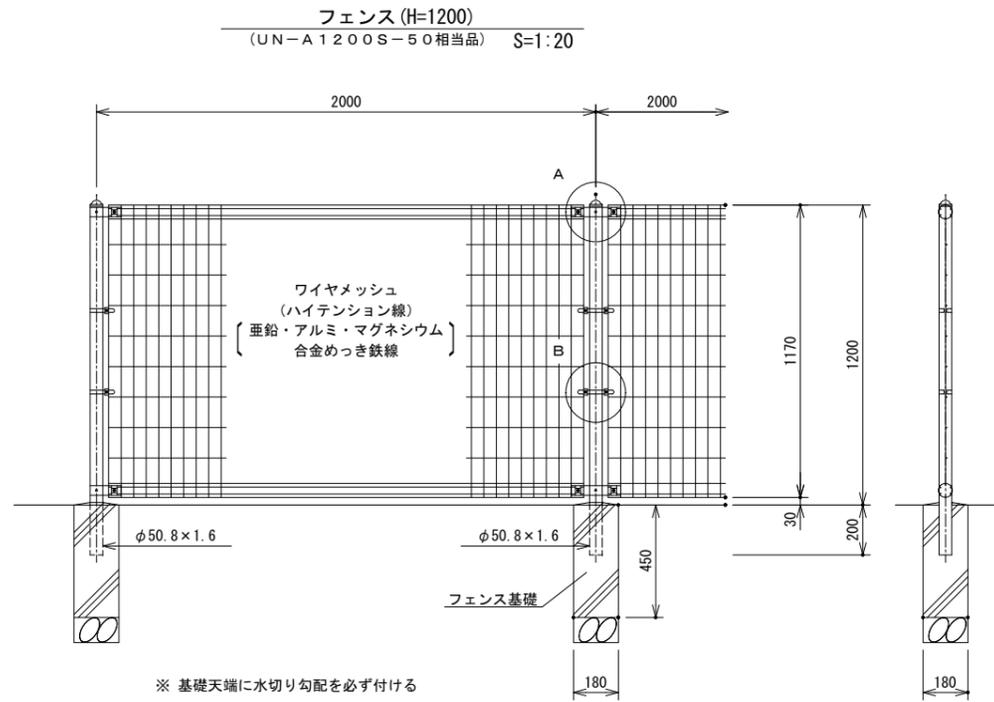
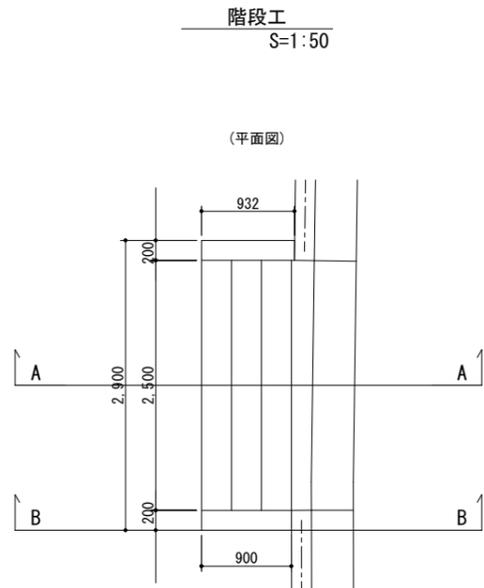
広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE
外構配置図		SCALE	2022/9/20
		No.	20080
		1/300	A
			117





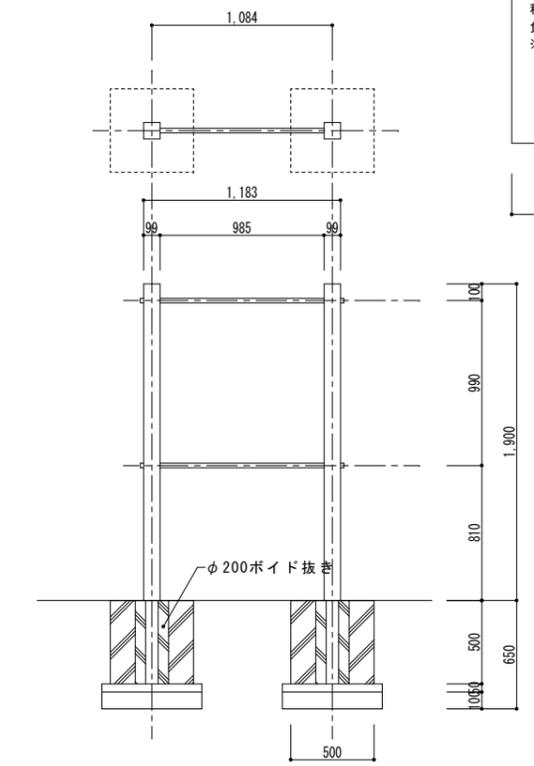
駐車場禁止看板 (H=1900) S=1:30

数量: 2ヶ所
 支柱: □75×t2.3角鋼管 電気亜鉛メッキ
 支柱化粧: 再生木材
 表示基板: t6.0アルミポリエチレン複合板
 案内図印刷 (CAPPタフテクト)
 上下枠: φ28×t7.0アルミパイプボルト
 アルマイト

駐車禁止看板 記述内容 S=1:20

ここは、有料駐車場です。
 承認された者以外は駐車できません。
 承認された者が駐車した場合は、
 移動することがあります。
 移動に要する費用は、駐車した本人の
 負担となります。
 ※客用駐車区画を利用したい方は、
 自治会に届け出てください。

三原市

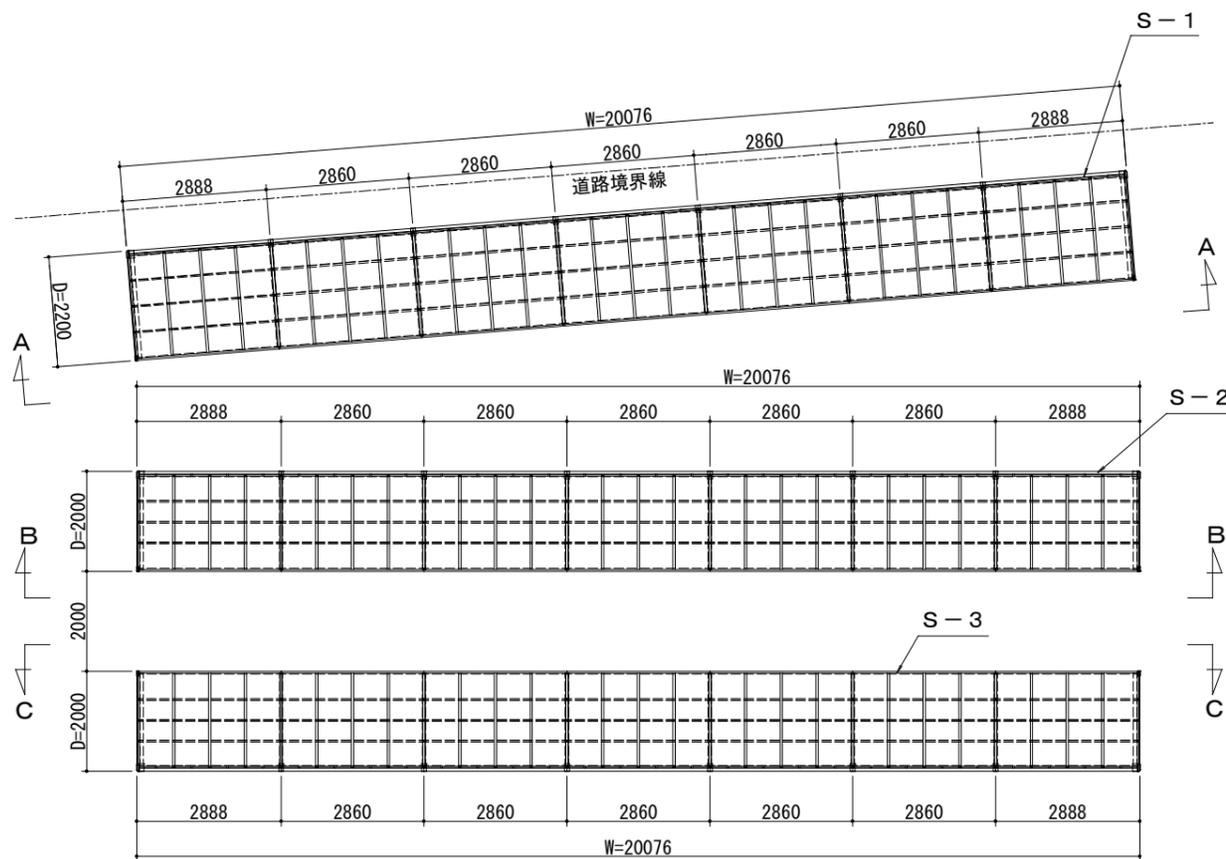


窓番	S-1~S-3	数量	各1	備考
シリーズ	サイクルポート	リンリンスラッシュ同等品		耐積雪荷重: 600N/m ²
仕上	本体	規格色		耐風圧力: 830N/m ² (V ₀ =34m/s、地表面粗度区分Ⅲ)
	屋根パネル (材質)	規格色		オープンタイプ
		アルミニウム板 t=1.0		車止め
	壁パネル			
	側壁パネル (材質)			
取付場所				

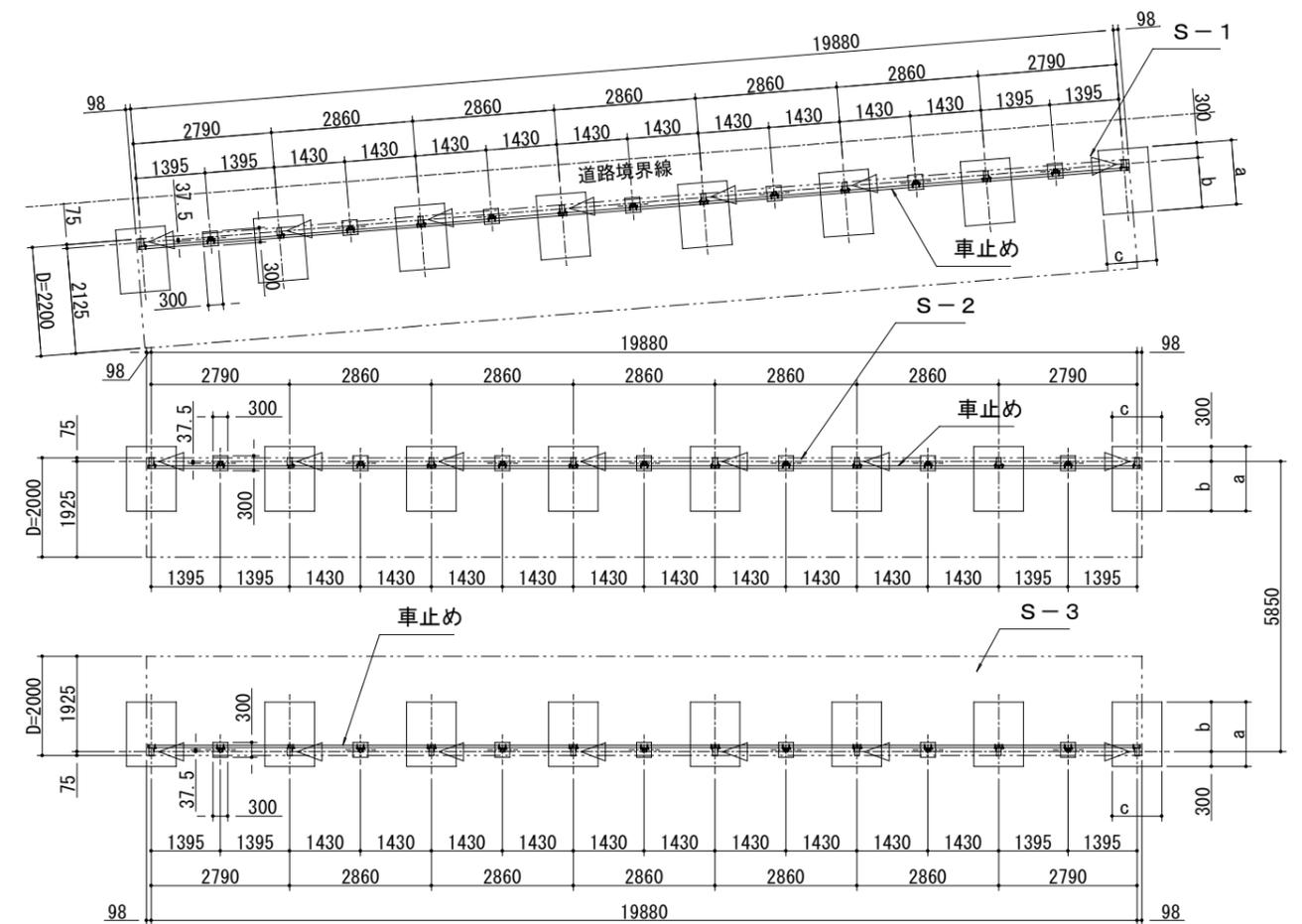
※アルミ材複合皮膜性能: A1種

基礎寸法表

長期地耐力 (KN/m ²)	隣地境界線までの距離 (mm)	a (mm)	b (mm)	c (mm)
N≥50	L≤500	1300	1000	1000
	L>500	1000	700	1000



平面図 (S=1/00)



柱・基礎位置図 (S=1/100)

▷ : 排水位置を示す

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

NOTE	
凡例	



さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

自転車置場詳細図 (1)

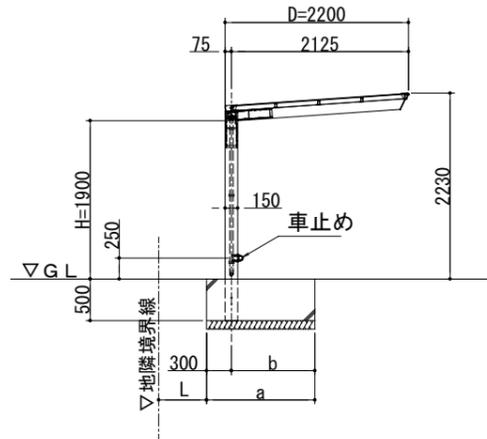
設計図 DATE 2022/9/20

SCALE JOB 20080

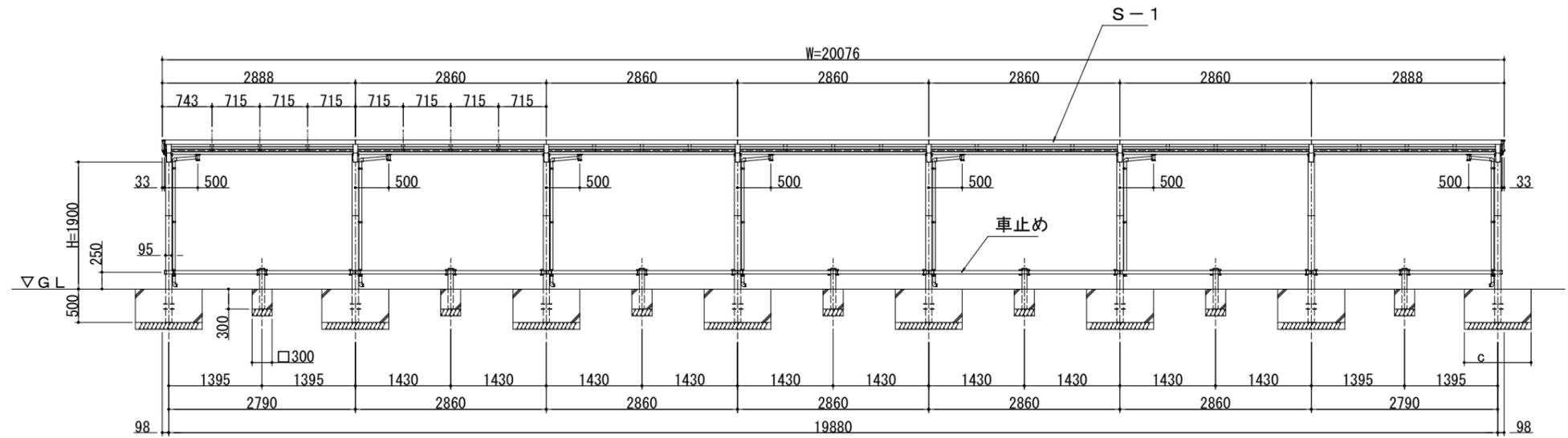
No. A 120

図面: A2 (縮尺: A1→141%、A3→71%)

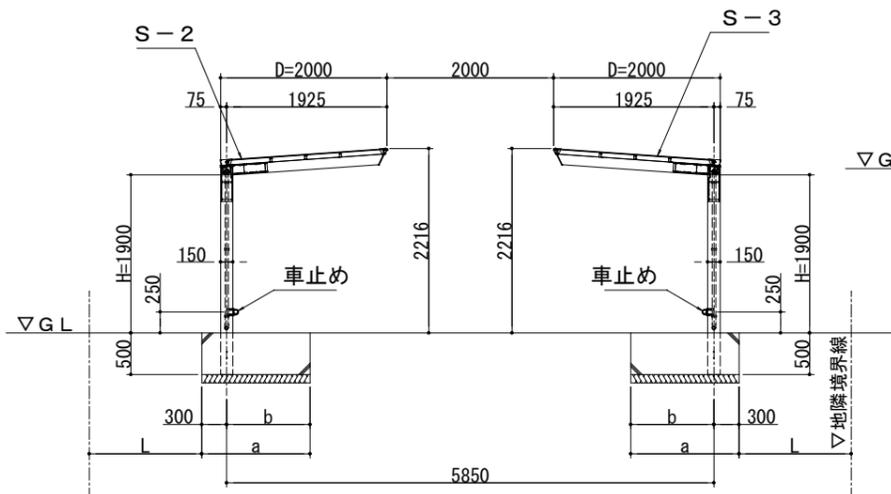
印刷日付 '22' 12' 3



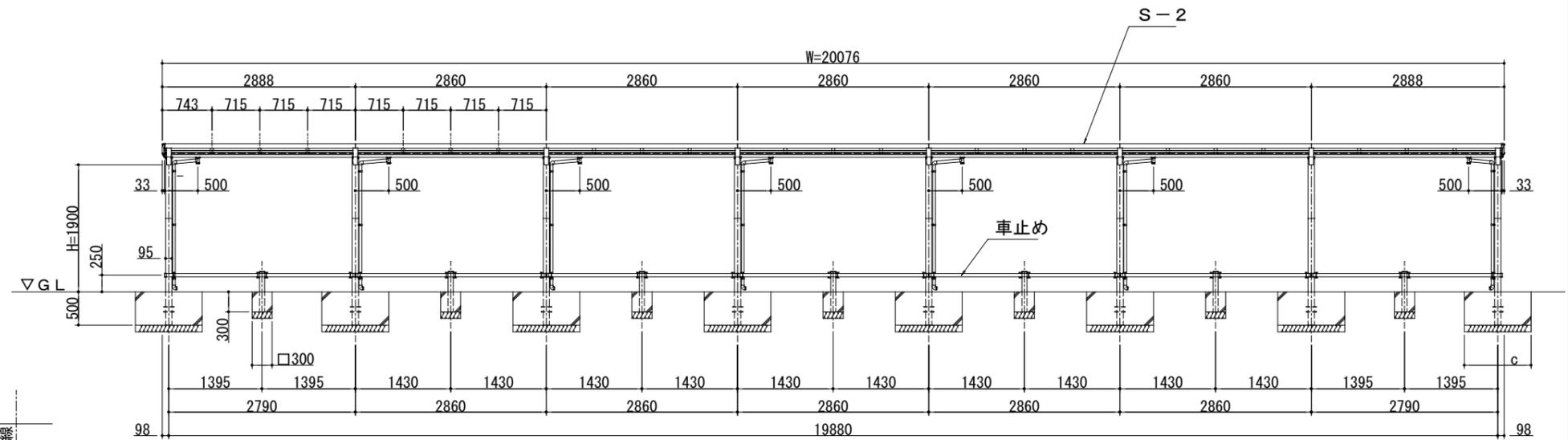
S-1 側面図 (S=1/60)



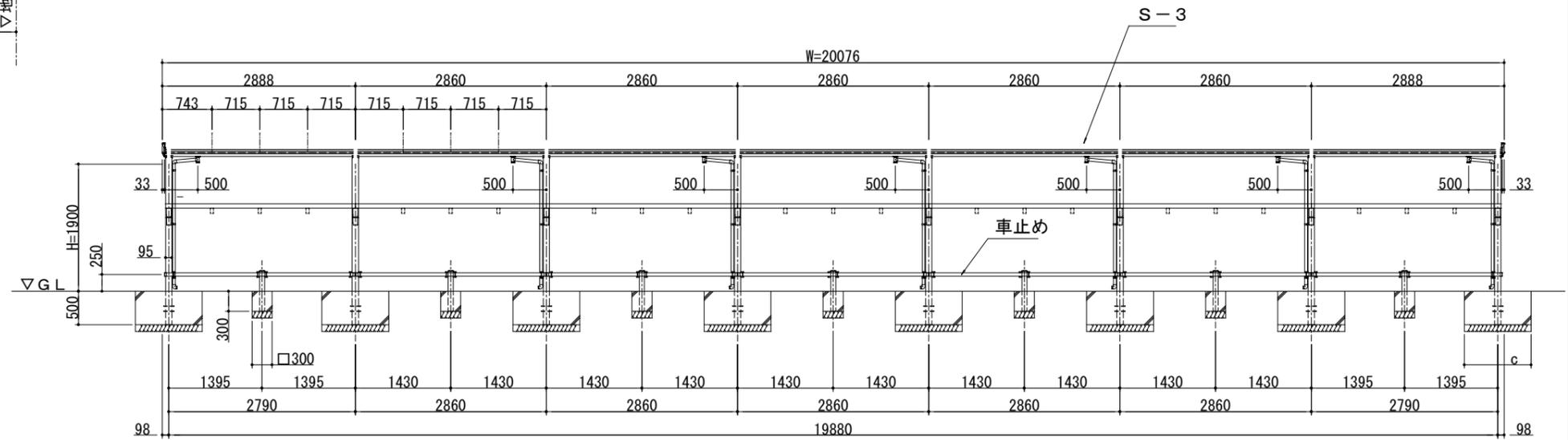
立面図 (S=1/60) A-A 矢視図



S-2、S-3 側面図 (S=1/60)



立面図 (S=1/60) B-B 矢視図



立面図 (S=1/60) C-C 矢視図

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

NOTE	
凡例	


さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

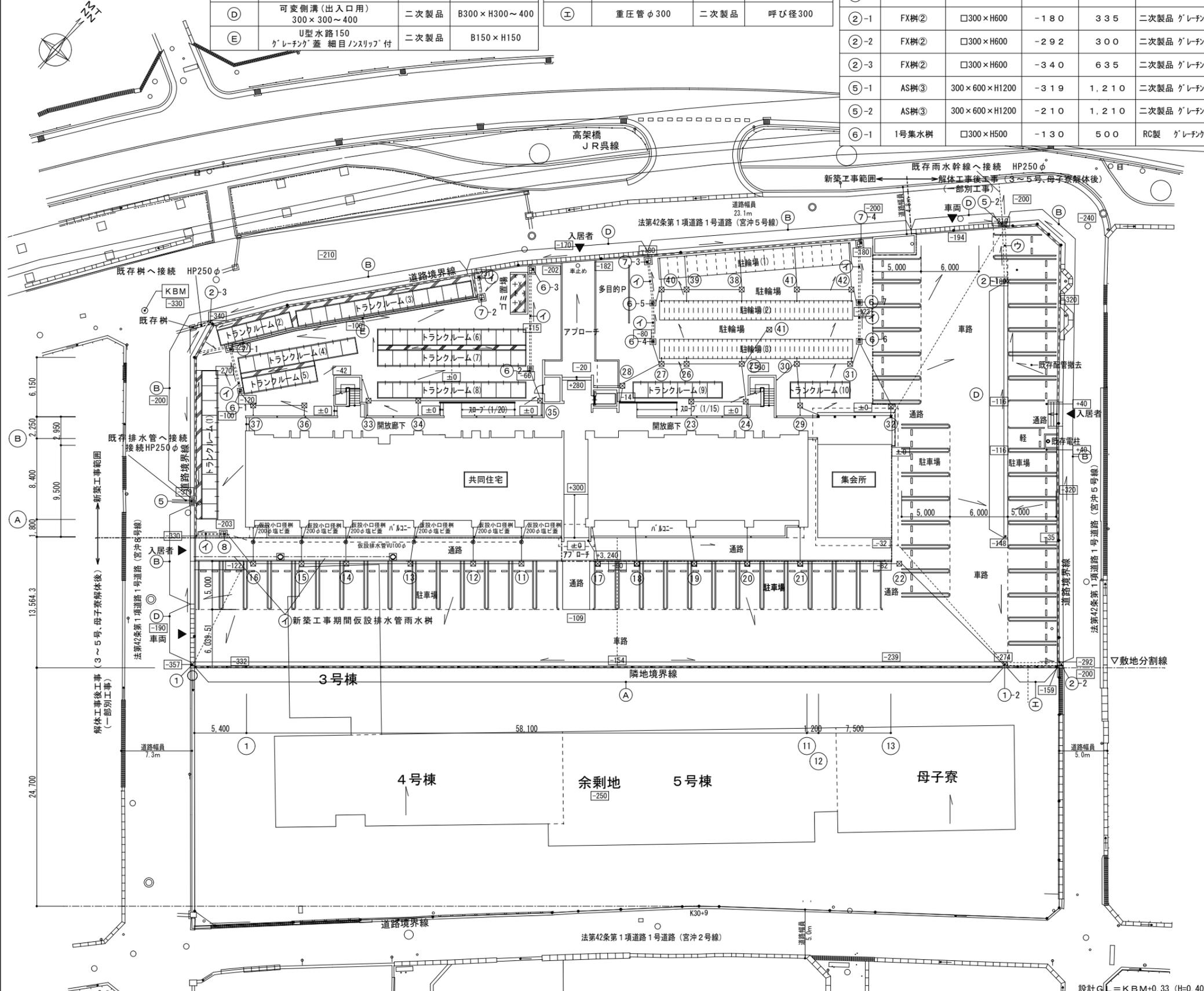
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
自転車置場詳細図 (2)		SCALE	JOB	20080
1/60	No.	A	121	

種類・形状	内法・寸法
(A) 側溝300×300 (蓋付)	二次製品 B300×H300
(B) 可変側溝 300×300~700	二次製品 B300×H300~700
(C) 可変側溝(暗渠) 300×700	二次製品 B300×H700
(D) 可変側溝(出入口用) 300×300~400	二次製品 B300×H300~400
(E) U型水路150 「グレーチング」蓋 細目ノンスリップ付	二次製品 B150×H150

種類・形状	内法・寸法
(ア) VUφ100	二次製品 呼び径100
(イ) VUφ150	二次製品 呼び径150
(ウ) HP管φ250(全巻)	現場打ち 呼び径250
(エ) 重圧管φ300	二次製品 呼び径300

樹リスト (雨水)				
記号	名称	樹寸法	設計GLより	地盤より
①-1	FX樹①	□300×H500	-357	385
①-2	FX樹①	□300×H500	-274	385
②-1	FX樹②	□300×H600	-180	335
②-2	FX樹②	□300×H600	-292	300
②-3	FX樹②	□300×H600	-340	635
⑤-1	AS樹③	300×600×H1200	-319	1,210
⑤-2	AS樹③	300×600×H1200	-210	1,210
⑥-1	1号集水樹	□300×H500	-130	500

樹リスト (雨水)				
記号	名称	樹寸法	設計GLより	地盤より
⑥-2	1号集水樹	□300×H500	-66	500
⑥-3	1号集水樹	□300×H500	-202	500
⑥-4	1号集水樹	□300×H500	-80	500
⑥-5	1号集水樹	□300×H500	-128	500
⑥-6	1号集水樹	□300×H500	-86	500
⑥-7	1号集水樹	□300×H500	-123	500
⑦-1	2号集水樹	□500×H500	-227	500
⑦-2	2号集水樹	□500×H500	-231	500
⑦-3	2号集水樹	□500×H500	-180	500
⑦-4	2号集水樹	□180×H500	-180	500
⑧	3号集水樹	□500×H500/539	-203	500



⑧	RC製ため樹	350×350	-70	300	RC-1	グレーチング
⑨	RC製ため樹	350×350	-75	350	RC-1	グレーチング
⑩	RC製ため樹	350×350	-90	390	RC-1	グレーチング
⑪	RC製ため樹	350×350	-100	450	RC-1	グレーチング
⑫	RC製ため樹	350×350	-110	490	RC-2	グレーチング
⑬	RC製ため樹	350×350	-120	530	RC-2	グレーチング
⑭	RC製ため樹	350×350	-55	300	RC-1	グレーチング
⑮	RC製ため樹	350×350	-50	365	RC-1	グレーチング
⑯	RC製ため樹	350×350	-55	410	RC-1	グレーチング
⑰	RC製ため樹	350×350	-60	465	RC-2	グレーチング
⑱	RC製ため樹	350×350	-65	510	RC-2	グレーチング
⑲	RC製ため樹	350×350	-70	615	RC-3	グレーチング
⑳	RC製ため樹	350×350	-10	300	RC-1	グレーチング
㉑	RC製ため樹	350×350	-10	370	RC-1	グレーチング
㉒	RC製ため樹	350×350	-50	320	RC-1	グレーチング
㉓	RC製ため樹	350×350	-65	345	RC-1	グレーチング
㉔	RC製ため樹	350×350	-70	370	RC-1	グレーチング
㉕	RC製ため樹	350×350	-30	300	RC-1	グレーチング
㉖	RC製ため樹	350×350	-10	300	RC-1	グレーチング
㉗	RC製ため樹	350×350	-60	300	RC-1	グレーチング
㉘	RC製ため樹	350×350	-70	350	RC-1	グレーチング
㉙	RC製ため樹	350×350	-10	300	RC-1	グレーチング
㉚	RC製ため樹	350×350	-10	300	RC-1	グレーチング
㉛	RC製ため樹	350×350	-10	300	RC-1	グレーチング
㉜	RC製ため樹	350×350	-10	350	RC-1	グレーチング
㉝	RC製ため樹	350×350	-10	480	RC-2	グレーチング
㉞	RC製ため樹	350×350	-30	300	RC-1	グレーチング
㉟	RC製ため樹	350×350	-85	360	RC-1	グレーチング
㊱	RC製ため樹	350×350	-110	300	RC-1	グレーチング
㊲	RC製ため樹	350×350	-130	340	RC-1	グレーチング
㊳	RC製ため樹	350×350	-140	360	RC-1	グレーチング
㊴	RC製ため樹	350×350	-120	300	RC-1	グレーチング
㊵	RC製ため樹	350×350	-140	340	RC-1	グレーチング

※排水管勾配は原則1/100以上とする。
 ※グレーチングは全て細目ノンスリップ付とする。
 ※樹深さは参考とし現場にて調整のこと。
 ※ため樹は泥溜め150H以上を確保する。

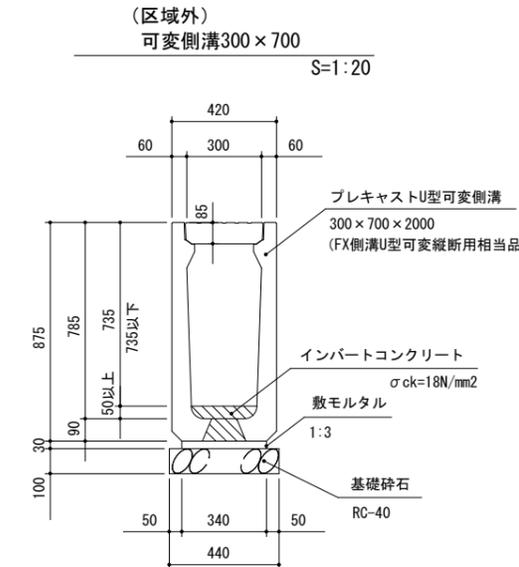
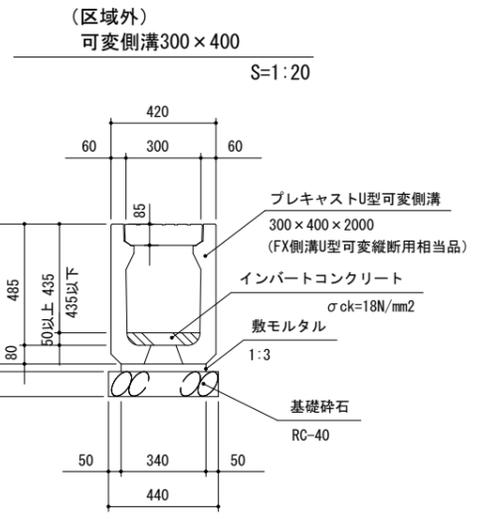
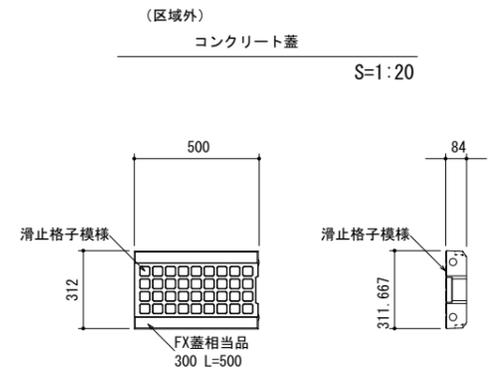
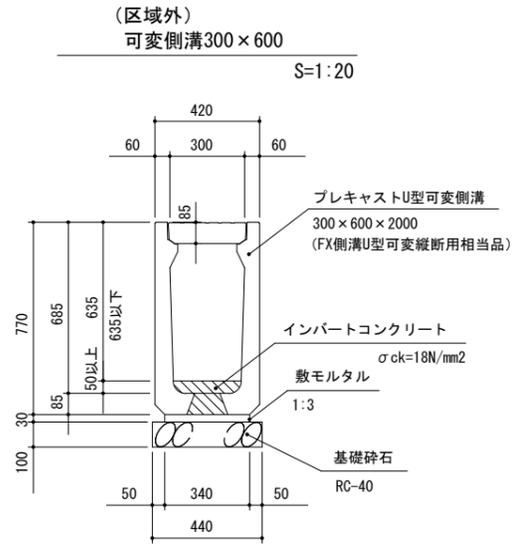
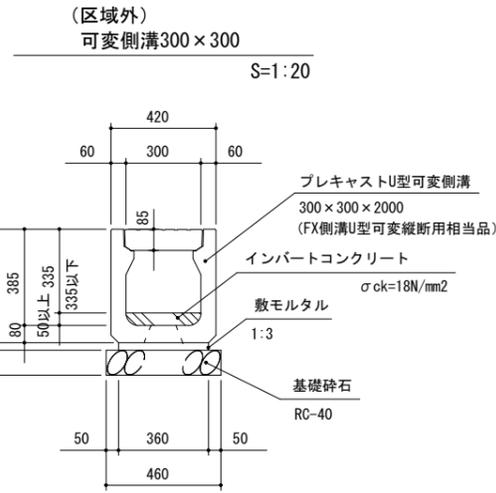
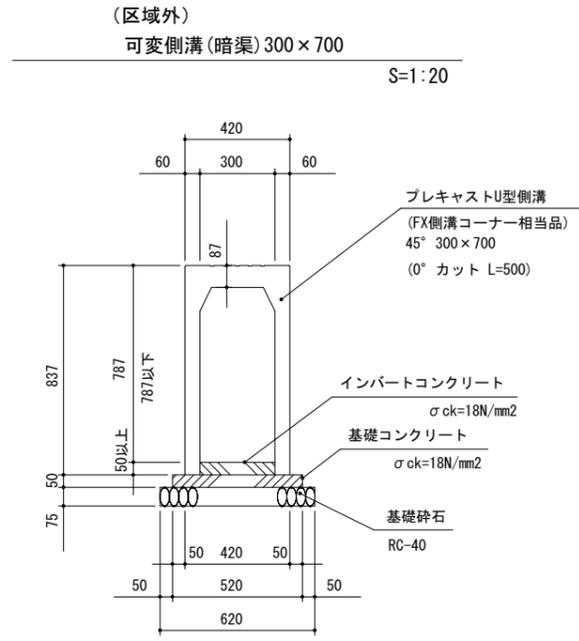
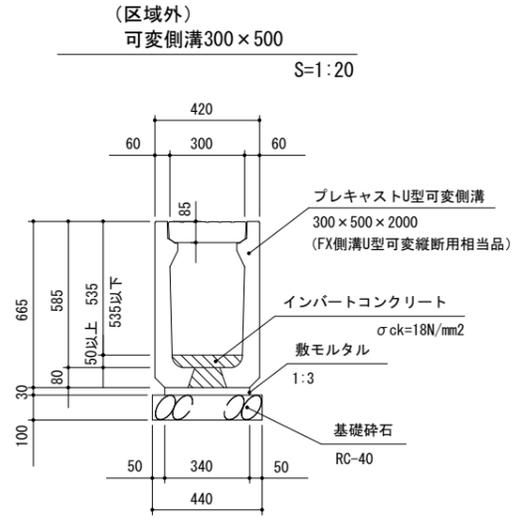
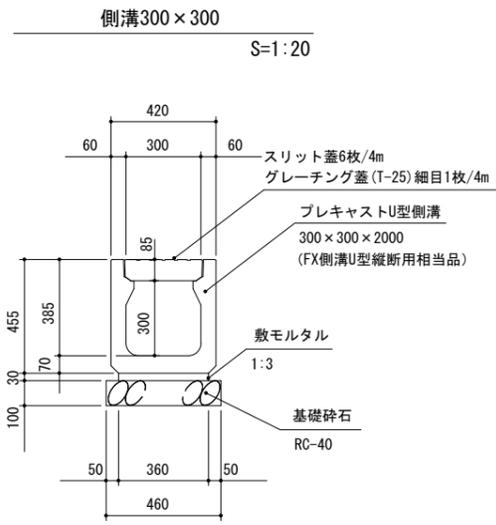
変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

設計	DATE
設計	2022/9/20

さくら建築設計 株式会社
 SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計	DATE
雨水排水計画図		SCALE	20080
		No.	124



	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE
	△	凡例
	△	

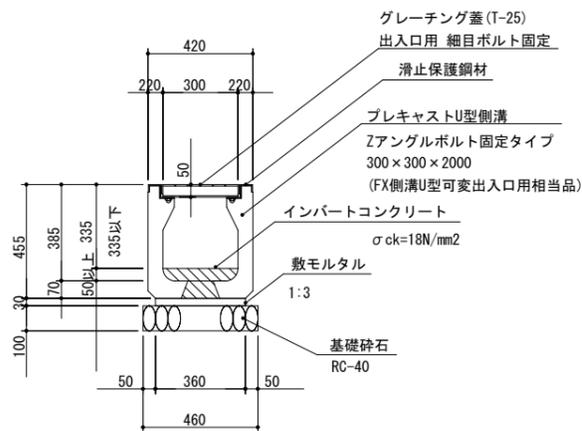
さくら建築設計株式会社
 広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked	Drawn
一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
雨水排水詳細図 (1)		SCALE	JOB	20080
1/20	No.	A	125	

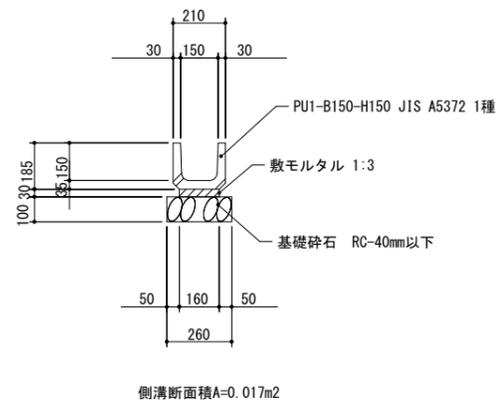
可変側溝 (出入口用) 300×300

S=1:20



U型水路150×150

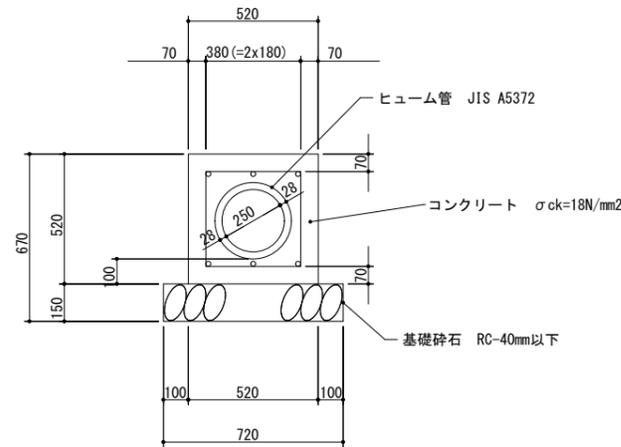
S=1:20



(区域外)

HP管φ250 (全巻)

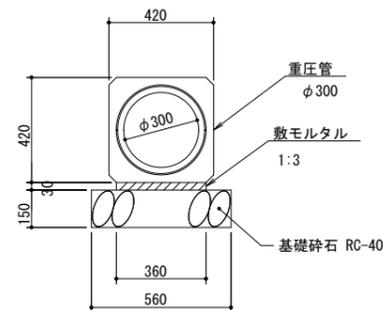
S=1:20



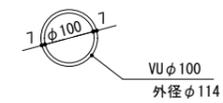
(区域内) (区域外)

重圧管φ300

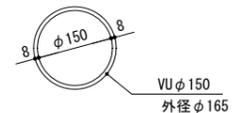
S=1:20



VUφ100
S=1:10



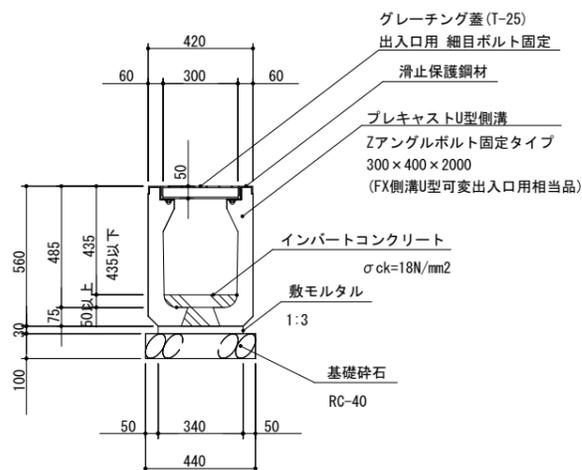
VUφ150
S=1:10



(区域外)

可変側溝 (出入口用) 300×400

S=1:20



変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			



さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

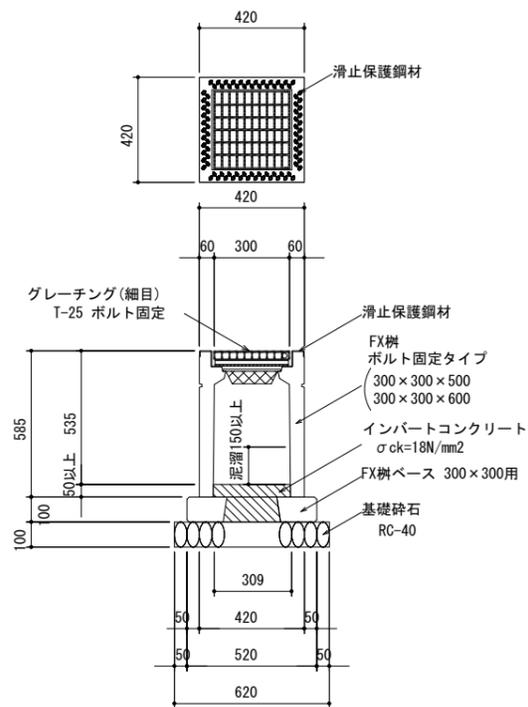
Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
雨水排水詳細図 (2)		SCALE	JOB	20080
		No.	A	126
		1/20, 10		

(区域内) (区域外)

FX樹①②

S=1:20

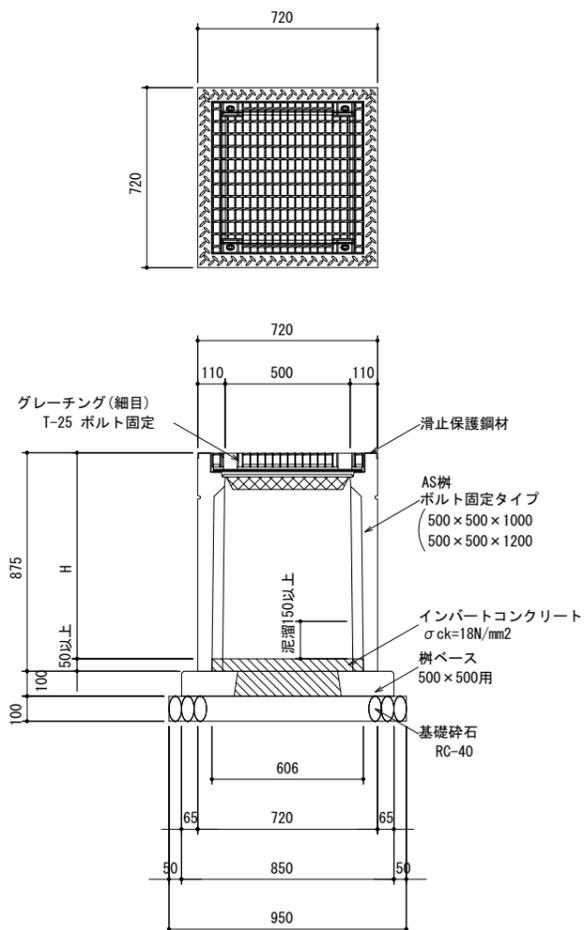


	H	H1	呼び名
FX樹①	535	585	□300×500
FX樹②	635	685	□300×600

(区域外)

AS樹①②

S=1:20

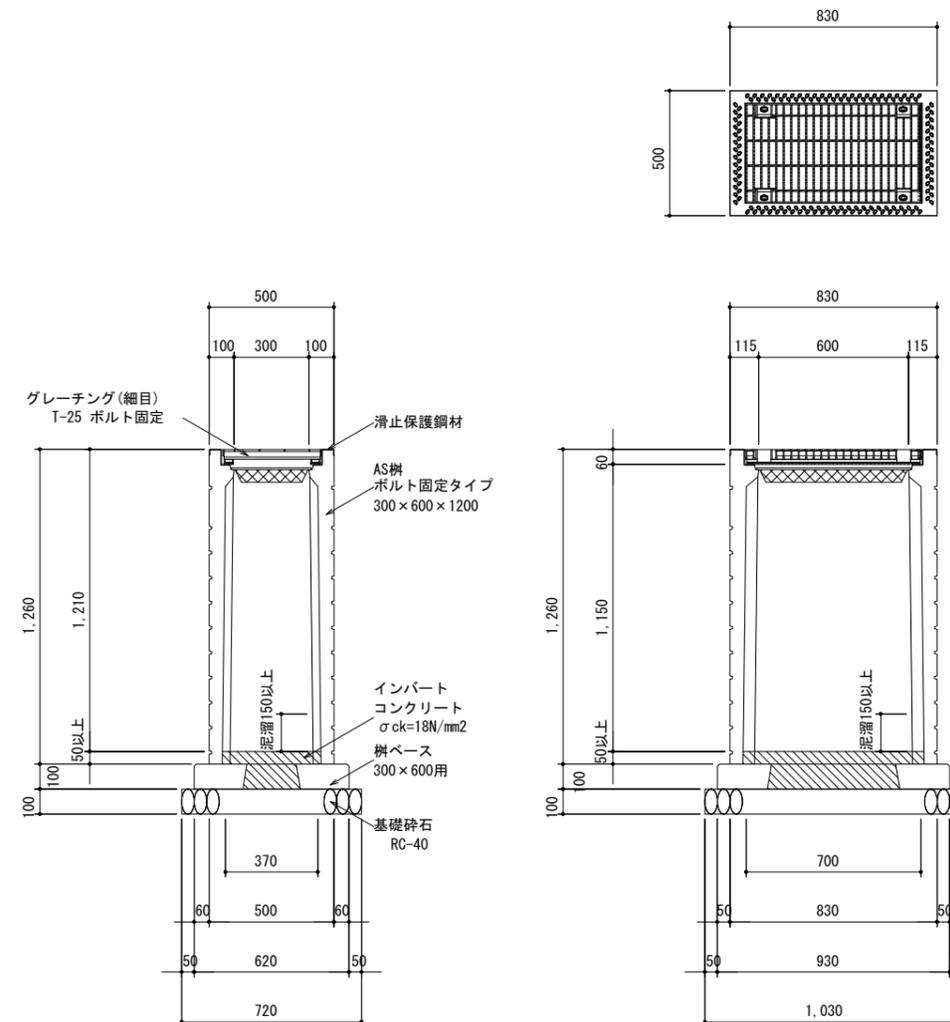


	H	H1	呼び名
AS樹①	1025	1075	□500×1000
AS樹②	1225	1275	□500×1200

(区域外)

AS樹③

S=1:20



	H	H1	呼び名
AS樹③	1210	1260	300×600×1200

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

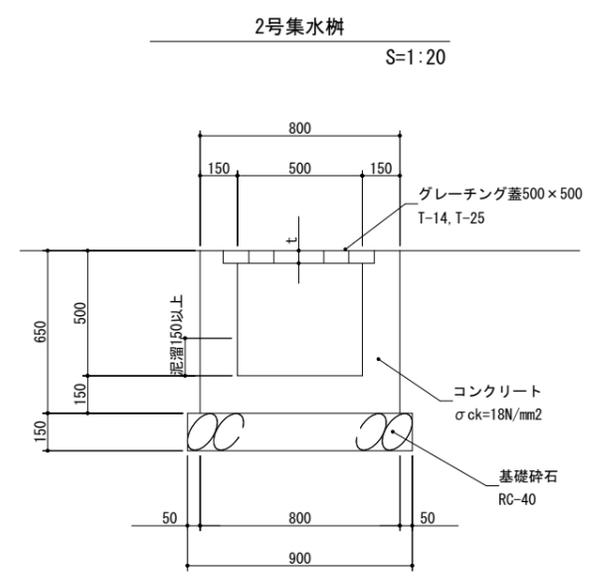
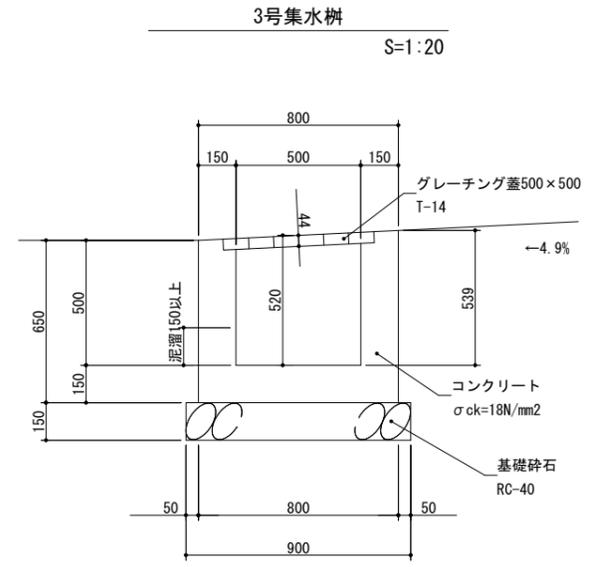
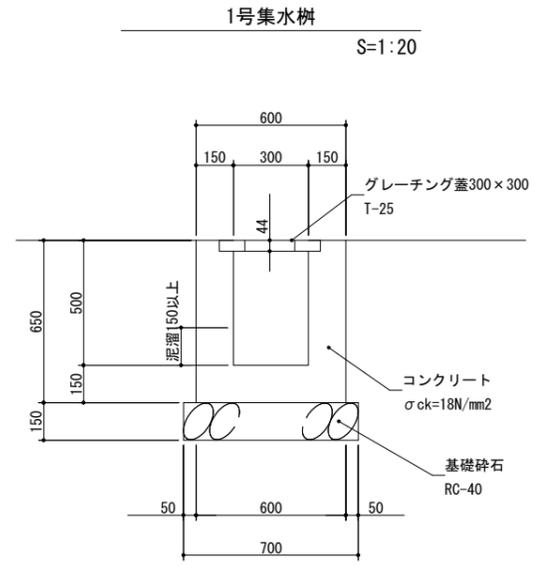

さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市宮新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
雨水排水詳細図 (3)		SCALE	JOB	20080
		1/20	No.	A 127



2号集水樹① t=44 (T-14)
2号集水樹② t=56 (T-25)

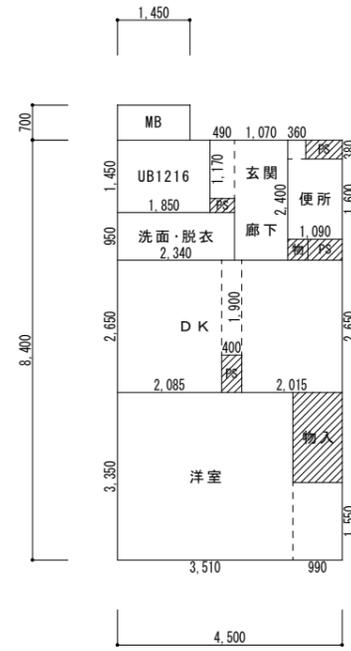
1DK



室名	算定式 (㎡)
専有面積	4.50 × 8.40 = 37.80
MB	1.45 × 0.70 = 1.015

室名	算定式 (㎡)
DK	4.50 × 2.65 = 11.925
洋室	3.51 × 3.35 + 0.99 × 1.55 = 13.293
居室合計	= 25.21
玄関・廊下	1.07 × 2.40 + 0.49 × 1.17 = 3.1413
洗面・脱衣	2.34 × 0.95 = 2.223
便所	1.09 × 1.60 + 0.36 × 0.38 = 1.8808
UB	1.85 × 1.45 = 2.6825
24H換気対象面積	= 35.13

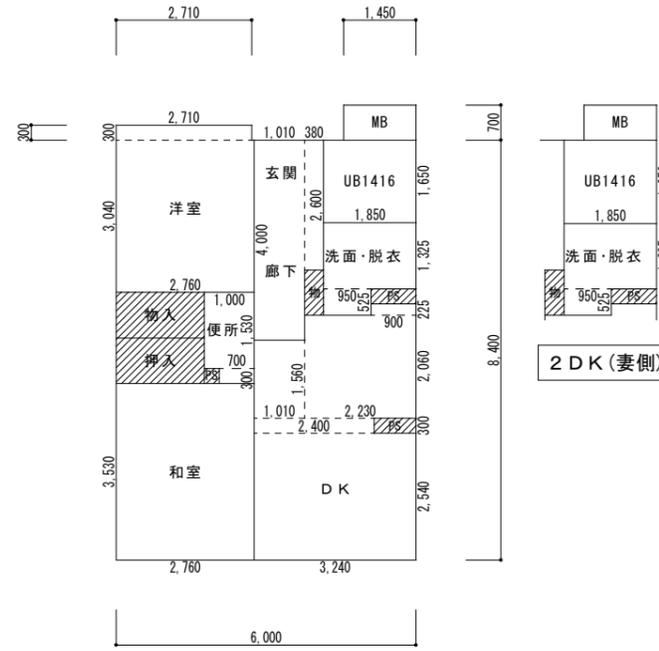
1DK (1階 ⑥~⑦通り)



室名	算定式 (㎡)
専有面積	4.50 × 8.40 = 37.80
MB	1.45 × 0.70 = 1.015

室名	算定式 (㎡)
DK	2.085 × 2.65 + 0.40 × 1.90 + 2.015 × 2.65 = 11.625
洋室	3.51 × 3.35 + 0.99 × 1.55 = 13.293
居室合計	= 24.91
玄関・廊下	1.07 × 2.40 + 0.49 × 1.17 = 3.1413
洗面・脱衣	2.34 × 0.95 = 2.223
便所	1.09 × 1.60 + 0.36 × 0.38 = 1.8808
UB	1.85 × 1.45 = 2.6825
24H換気対象面積	= 34.83

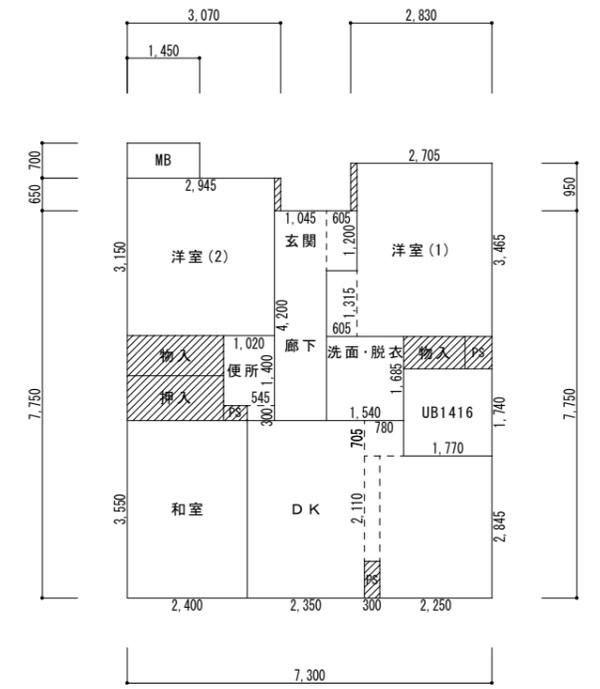
2DK



室名	算定式 (㎡)
専有面積	6.00 × 8.40 + 2.71 × 0.30 = 51.213
MB	1.45 × 0.70 = 1.015

室名	算定式 (㎡)
DK	3.24 × 2.54 + 2.40 × 0.30 + 1.01 × 1.56 + 2.23 × 2.06 + 0.90 × 0.225 = 15.3215
洋室	2.76 × 3.04 + 2.71 × 0.30 = 9.2034
和室	2.76 × 3.53 = 9.7428
居室合計	= 34.26
玄関・廊下	1.01 × 4.00 + 0.38 × 2.60 = 5.028
洗面・脱衣	1.85 × 1.325 + 0.95 × 0.525 = 2.95
洗面・脱衣 (妻側)	1.85 × 1.305 + 0.95 × 0.525 = 2.913
便所	1.00 × 1.53 + 0.70 × 0.30 = 1.74
UB	1.85 × 1.65 = 3.0525
UB (妻側)	1.85 × 1.67 = 3.0895
24H換気対象面積	= 47.02

3DK



室名	算定式 (㎡)
専有面積	7.30 × 7.75 + 3.07 × 0.65 + 2.83 × 0.95 = 61.253
MB	1.45 × 0.70 = 1.015

室名	算定式 (㎡)
DK	2.35 × 3.55 + 0.30 × 2.11 + 2.25 × 2.845 + 0.78 × 0.705 = 15.92665
洋室(1)	2.705 × 3.465 + 0.605 × 1.315 = 10.1684
洋室(2)	2.945 × 3.15 = 9.27675
和室	2.40 × 3.55 = 8.52
居室合計	= 43.87
玄関・廊下	1.045 × 4.20 + 0.605 × 1.20 = 5.115
洗面・脱衣	1.54 × 1.685 = 2.5943
便所	1.02 × 1.40 + 0.545 × 0.30 = 1.5915
UB	1.77 × 1.74 = 3.0798
24H換気対象面積	= 56.23

換気対象外範囲を示す。

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			



さくら建築設計 株式会社

広島市東区牛田早福田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

タイプ別面積表

設計図	DATE	2022/9/20
SCALE	JOB	20080
No.	A	129

共用部 採光・換気・排煙 チェックリスト

室名	室面積 (A)	採光 (L)		換気 (V)		排煙 (S)		対象建具
		A/20	計算式	A/20	計算式	A/50	計算式	
集会室	47.25	2.37	$1.77 \times 2.00 \times 2 = 7.08$	-	-	-	-	AD-17×2
集会室倉庫	5.28	-	-	-	-	-	※排煙設備は建築基準法施行令第126条の2 1項1号による。	-
給湯室	5.44	-	-	-	-	-	-	-
倉庫	4.86	-	-	-	-	-	※排煙設備は建築基準法施行令第126条の2 1項1号による。	-

有窓・無窓 チェックリスト

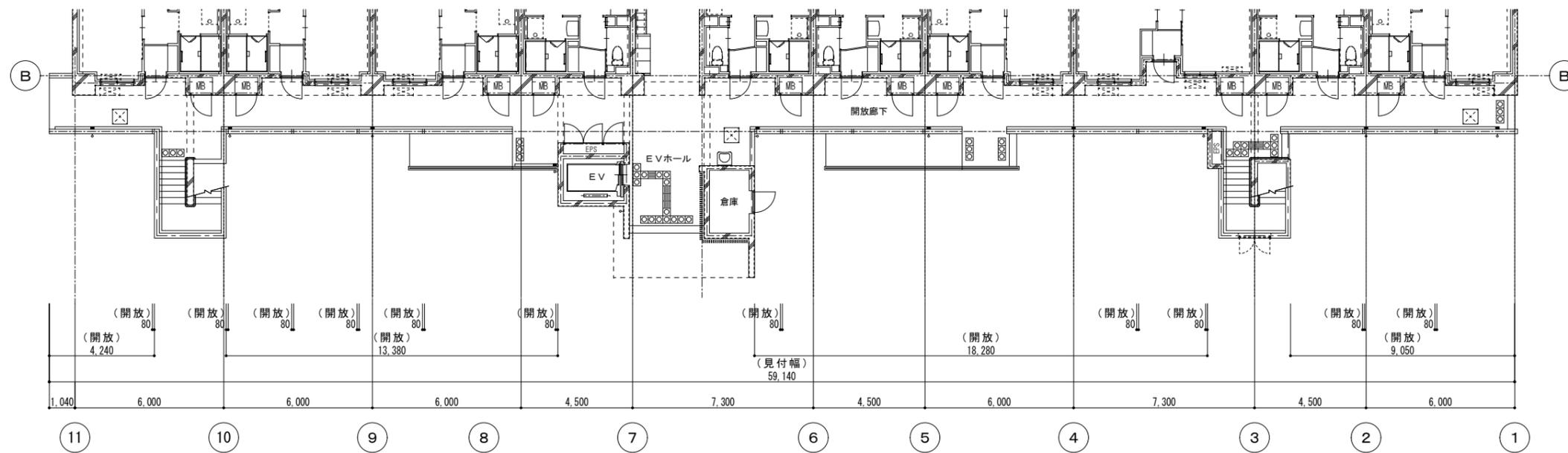
階	床面積	1/30	計算式		判定	
1階	570.20	19.01	AD-1 (4ヶ所 3DK・2DK \times 17')	$1.60 \times 1.90 \times 4 = 12.16$	有窓	
			AD-2 (5ヶ所 2DK \times 17')	$1.80 \times 1.90 \times 5 = 17.10$		
			AD-3 (4ヶ所 1DK \times 17')	$2.00 \times 1.90 \times 4 = 15.20$		
			AD-4 (1ヶ所 3DK \times 17')	$1.40 \times 1.90 \times 1 = 2.66$		
			AD-12 (1ヶ所 3DK \times 17')	$0.70 \times 1.90 \times 1 = 1.33$		
			計	48.45		
2階	532.81	17.77	AD-1 (4ヶ所 3DK・2DK \times 17')	$1.60 \times 1.90 \times 4 = 12.16$	有窓	
			AD-2 (4ヶ所 2DK \times 17')	$1.80 \times 1.90 \times 4 = 13.68$		
			AD-3 (3ヶ所 1DK \times 17')	$2.00 \times 1.90 \times 3 = 11.40$		
			AD-4 (1ヶ所 3DK \times 17')	$1.40 \times 1.90 \times 1 = 2.66$		
			AD-5 (1ヶ所 2DK \times 17')	$1.80 \times 1.90 \times 1 = 3.42$		
			AD-6 (1ヶ所 2DK \times 17')	$1.40 \times 1.90 \times 1 = 2.66$		
			AD-7 (1ヶ所 2DK \times 17')	$1.40 \times 1.90 \times 1 = 2.66$		
			AD-12 (1ヶ所 3DK \times 17')	$0.70 \times 1.90 \times 1 = 1.33$		
			AD-13 (1ヶ所 3DK \times 17')	$1.60 \times 1.90 \times 1 = 3.04$		
			AD-14 (1ヶ所 3DK \times 17')	$1.40 \times 1.90 \times 1 = 2.66$		
			AD-15 (1ヶ所 3DK \times 17')	$0.70 \times 1.90 \times 1 = 1.33$		
			計	57.00		
3~7階	532.81	17.77	AD-1 (5ヶ所 3DK・2DK \times 17')	$1.60 \times 1.90 \times 5 = 15.20$		有窓
			AD-2 (4ヶ所 2DK \times 17')	$1.80 \times 1.90 \times 4 = 13.68$		
			AD-3 (3ヶ所 1DK \times 17')	$2.00 \times 1.90 \times 3 = 11.40$		
			AD-4 (2ヶ所 3DK \times 17')	$1.40 \times 1.90 \times 2 = 5.32$		
			AD-5 (1ヶ所 2DK \times 17')	$1.80 \times 1.90 \times 1 = 3.42$		
			AD-6 (1ヶ所 2DK \times 17')	$1.40 \times 1.90 \times 1 = 2.66$		
			AD-7 (1ヶ所 2DK \times 17')	$1.40 \times 1.90 \times 1 = 2.66$		
			AD-12 (2ヶ所 3DK \times 17')	$0.70 \times 1.90 \times 2 = 2.66$		
			計	57.00		
8階	532.81	17.77	AD-1 (5ヶ所 3DK・2DK \times 17')	$1.60 \times 1.90 \times 5 = 15.20$	有窓	
			AD-2 (3ヶ所 2DK \times 17')	$1.80 \times 1.90 \times 3 = 10.26$		
			AD-3 (3ヶ所 1DK \times 17')	$2.00 \times 1.90 \times 3 = 11.40$		
			AD-4 (2ヶ所 3DK \times 17')	$1.40 \times 1.90 \times 2 = 5.32$		
			AD-8 (1ヶ所 2DK \times 17')	$1.80 \times 1.90 \times 1 = 3.42$		
			AD-9 (1ヶ所 2DK \times 17')	$1.80 \times 1.90 \times 1 = 3.42$		
			AD-10 (1ヶ所 2DK \times 17')	$1.40 \times 1.90 \times 1 = 2.66$		
			AD-11 (1ヶ所 2DK \times 17')	$1.40 \times 1.90 \times 1 = 2.66$		
			AD-12 (2ヶ所 3DK \times 17')	$0.70 \times 1.90 \times 2 = 2.66$		
			計	57.00		

専有部 採光・換気 チェックリスト

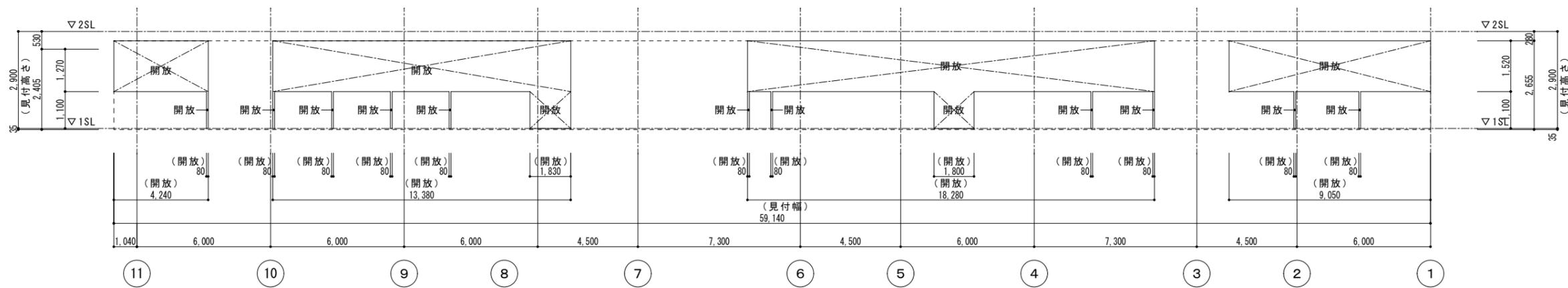
※住戸の排煙は建築基準法施行令第126条の2第1項1号による。

	室名	室面積 (A)	採光 (L)		換気 (V)		対象建具	備考
			A/7	計算式	A/20	計算式		
1DK (1階)	DK	24.91	3.56	$2.00 \times 1.90 = 3.80$	1.25	$2.00 \times 1.90 / 2 = 1.90$	AD-3	
	洋室	11.62						
	洋室	13.29						
1DK	DK	25.21	3.61	$2.00 \times 1.90 = 3.80$	1.27	$2.00 \times 1.90 / 2 = 1.90$	AD-3	
	洋室	11.92						
	洋室	13.29						
2DK	DK	15.32	2.19	$1.80 \times 1.90 = 3.42$	0.77	$1.80 \times 1.90 / 2 = 1.71$	AD-2	
	洋室	9.20	1.32	$1.30 \times 0.985 \times 3.0 = 3.84$	0.46	$1.30 \times 0.985 / 2 = 0.64$	AW-1	(A)
	和室	9.74	1.40	$1.60 \times 1.90 = 3.04$	0.49	$1.60 \times 1.90 / 2 = 1.52$	AD-1	
2DK (妻側)	DK	15.32	2.19	$1.80 \times 1.90 = 3.42$	0.77	$1.80 \times 1.90 / 2 = 1.71$	AD-2	
	洋室	9.20	1.32	$1.30 \times 0.985 \times 3.0 = 3.84$	0.46	$1.30 \times 0.985 / 2 = 0.64$	AW-1	(A)
	和室	9.74	1.40	$1.40 \times 1.90 = 2.66$	0.49	$1.40 \times 1.90 / 2 = 1.33$	AD-6	
3DK	DK	15.92	2.28	$1.60 \times 1.90 + 0.70 \times 1.90 = 4.37$	0.80	$1.60 \times 1.90 / 2 + 0.70 \times 1.90 = 2.85$	AD-1 AD-12	
	洋室(1)	10.16	1.46	$1.30 \times 0.985 \times 3.0 = 3.84$	0.51	$1.30 \times 0.985 / 2 = 0.64$	AW-1	(A)
	洋室(2)	9.27	1.33	$1.20 \times 0.985 \times 3.0 = 3.54$	0.47	$1.20 \times 0.985 / 2 = 0.59$	AW-2	(A)
	和室	8.52	1.22	$1.40 \times 1.90 = 2.66$	0.43	$1.40 \times 1.90 / 2 = 1.33$	AD-4	

(A) 1F (最も不利な階) 採光補正係数: $採光有効距離 \div 22.6625 \times 6 - 1.4 = 3.0$
 → 採光有効距離 = 16.620以上で3.0とする



1階 開放廊下平面図 1:150



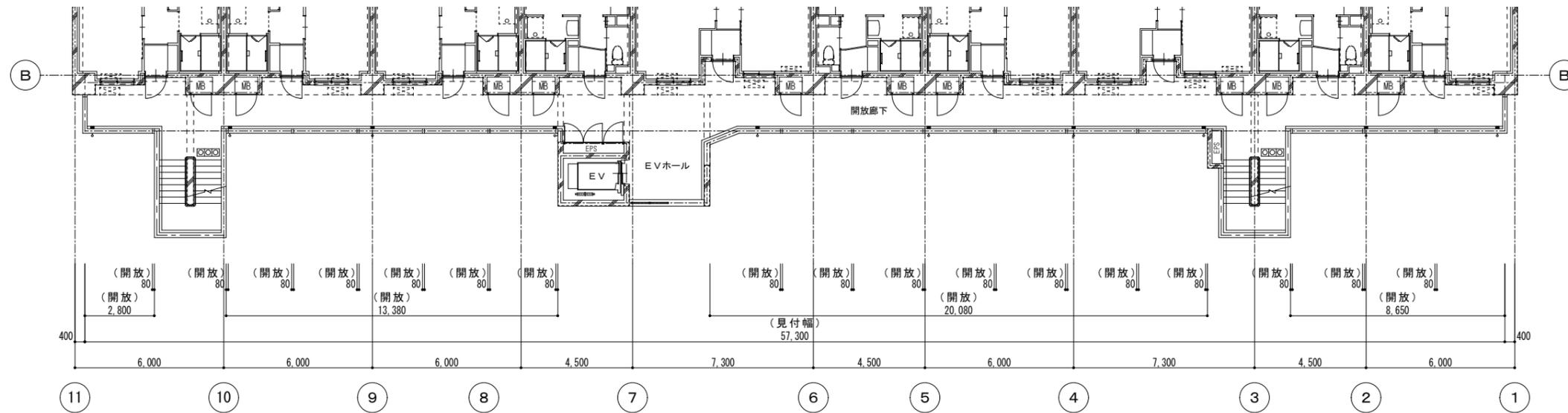
1階 開放廊下見付断面図 1:150

1階 開放廊下の開放性チェック

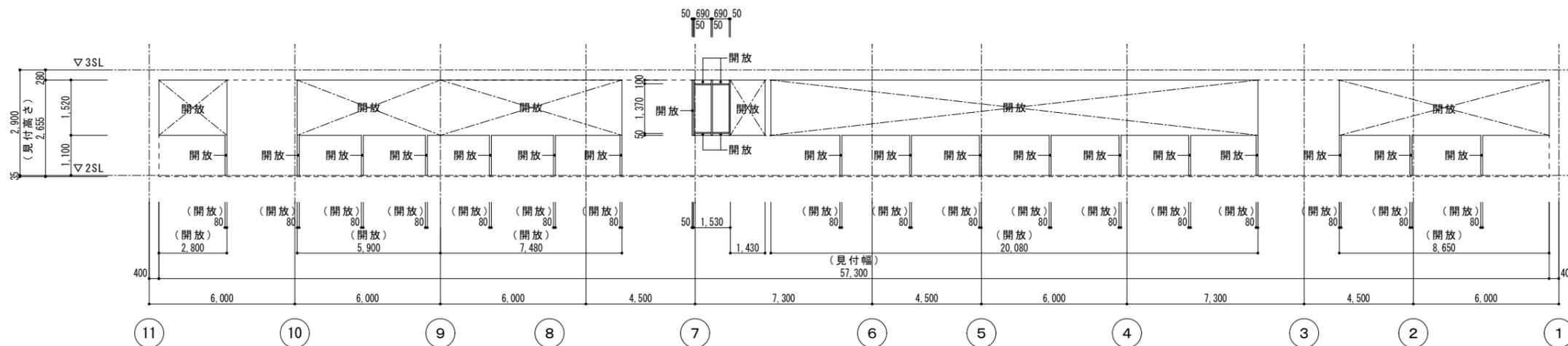
・ 見付面積 : $59.14 \times 2.655 = 157.0167$

・ 開放面積 : $(4.24 + 13.38) \times 1.52 + (18.28 + 9.05) \times 1.52 + (1.83 + 1.80) \times 1.10 + 0.08 \times 1.10 \times 11 = 72.405$

・ 見付面積の1/3 : $157.0167 \times 1/3 = 52.3389 \text{ m}^2 \leq 72.405 \text{ m}^2 \rightarrow \text{OK}$



2~8階 開放廊下平面図 1:150



2~8階 開放廊下見付断面図 1:150

2~8階 開放廊下の開放性チェック

- ・ 見付面積 : $57.30 \times 2.655 = 152.1315$
- ・ 開放面積 : $(2.80 + 5.90 + 1.43 + 20.08 + 8.65 + 7.48) \times 1.52 + 0.08 \times 1.10 \times 17 + 0.05 \times 1.52 + (0.10 \times 0.69) \times 2 + (0.05 \times 0.69) \times 2 = 72.2158$
- ・ 見付面積の1/3 : $152.1315 \times 1/3 = 50.7105 \text{ m}^2 \leq 72.2158 \text{ m}^2 \rightarrow \text{OK}$

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE
	△ /	凡例
	△ /	

SAKURA Architects Co., Ltd.	さくら建築設計株式会社
-----------------------------	-------------

広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn
---	---	-------

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)	設計図 DATE 2022/9/20
法規チェック (3)	SCALE JOB 20080
1/150 No. A	132

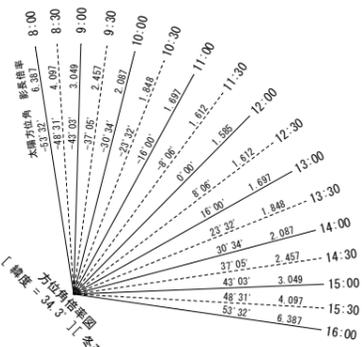
図面 : A 2 (縮尺 : A 1 → 141%、A 3 → 71%)		印刷日付 '22' 12' 8
--------------------------------------	--	-----------------

影長率表 [緯度 = 34.3°][冬至]

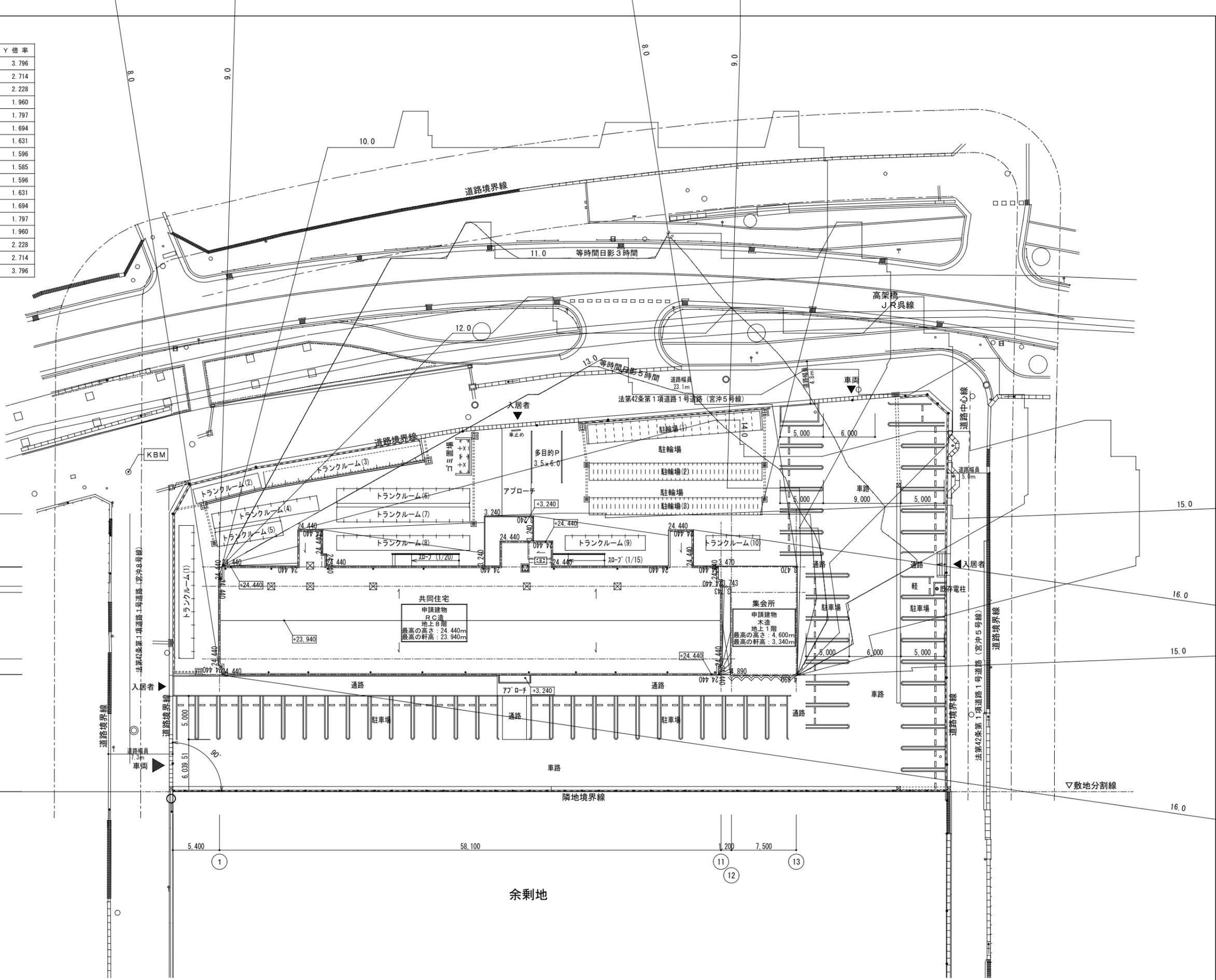
時刻	太陽高度	太陽方位角	影長倍率	X倍率	Y倍率
8:00	8°54'	-53°32'	6.387	-5.136	3.796
8:30	13°43'	-48°31'	4.097	-3.070	2.714
9:00	18°09'	-43°03'	3.049	-2.082	2.228
9:30	22°09'	-37°05'	2.457	-1.481	1.960
10:00	25°36'	-30°34'	2.087	-1.062	1.797
10:30	28°25'	-23°32'	1.848	-0.738	1.694
11:00	30°31'	-16°00'	1.697	-0.468	1.631
11:30	31°49'	-8°06'	1.612	-0.227	1.596
12:00	32°15'	0°00'	1.585	0.000	1.585
12:30	31°49'	8°06'	1.612	0.227	1.596
13:00	30°31'	16°00'	1.697	0.468	1.631
13:30	28°25'	23°32'	1.848	0.738	1.694
14:00	25°36'	30°34'	2.087	1.062	1.797
14:30	22°09'	37°05'	2.457	1.481	1.960
15:00	18°09'	43°03'	3.049	2.082	2.228
15:30	13°43'	48°31'	4.097	3.070	2.714
16:00	8°54'	53°32'	6.387	5.136	3.796

日影長さ表 [緯度 = 34.3°][冬至]
高さ = 24.440(m) 測定面高さ = 0.5(m)
計算高さ = 23.940(m)

時刻	影長倍率	日影長さ(m)
8:00	6.387	152.905
8:30	4.097	98.082
9:00	3.049	72.993
9:30	2.457	58.821
10:00	2.087	49.963
10:30	1.848	44.241
11:00	1.697	40.626
11:30	1.612	38.591
12:00	1.585	37.945
12:30	1.612	38.591
13:00	1.697	40.626
13:30	1.848	44.241
14:00	2.087	49.963
14:30	2.457	58.821
15:00	3.049	72.993
15:30	4.097	98.082
16:00	6.387	152.905



設計GL = KBM + 0.33 (H = 0.40)



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

NOTE
凡例



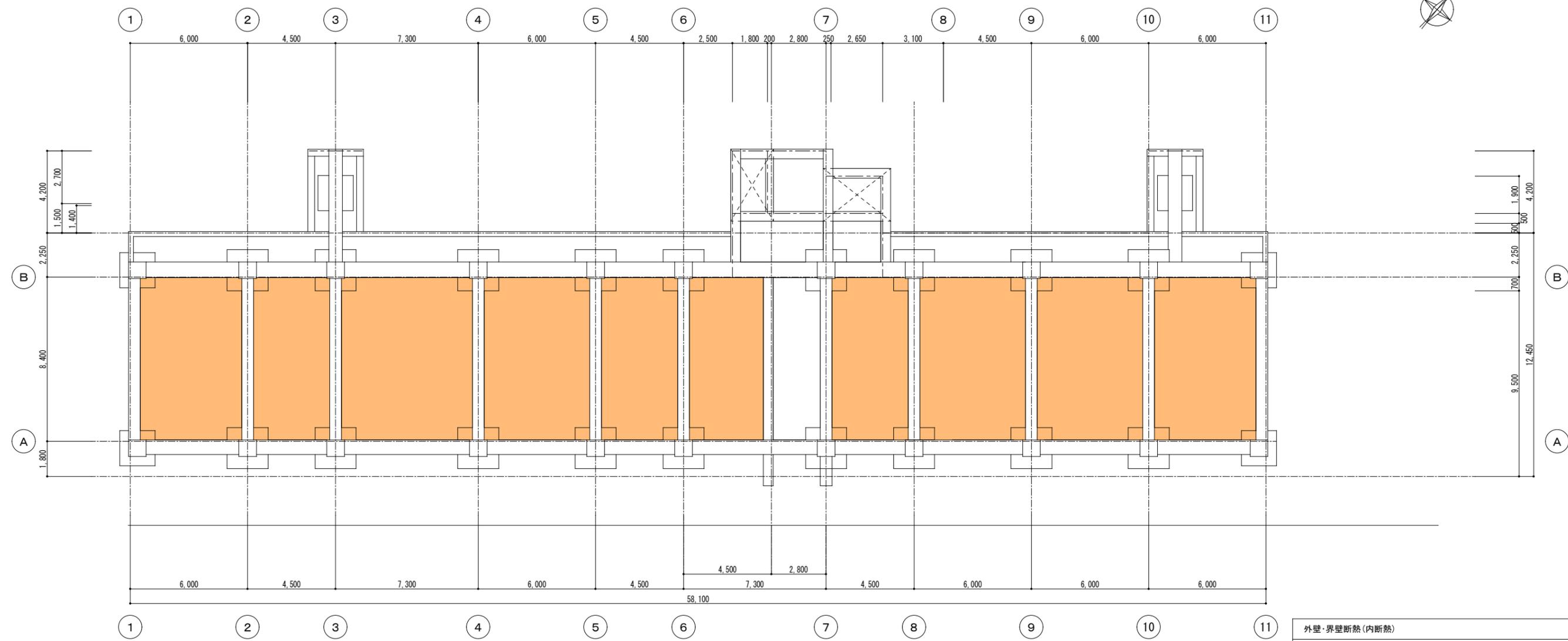
さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE
日影図	SCALE	No.	2022/9/20
	1/300	A	20080
		133	



ピット平面図 S=1/150

外壁・界壁断熱 (内断熱)	
——	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=30、梁型共
——	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=50、梁型共
.....	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=20、梁型共
天井断熱	
■	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=20、梁型共
床断熱 (外断熱)	
■	A種押出法 ^ホ リスレフォームM3種b t=50、梁型共
■	A種押出法 ^ホ リスレフォームM3種b t=70、梁型共
屋根断熱 (内断熱)	
■	A種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号 t=70
断熱補強	
——	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=20(1階見上げ)

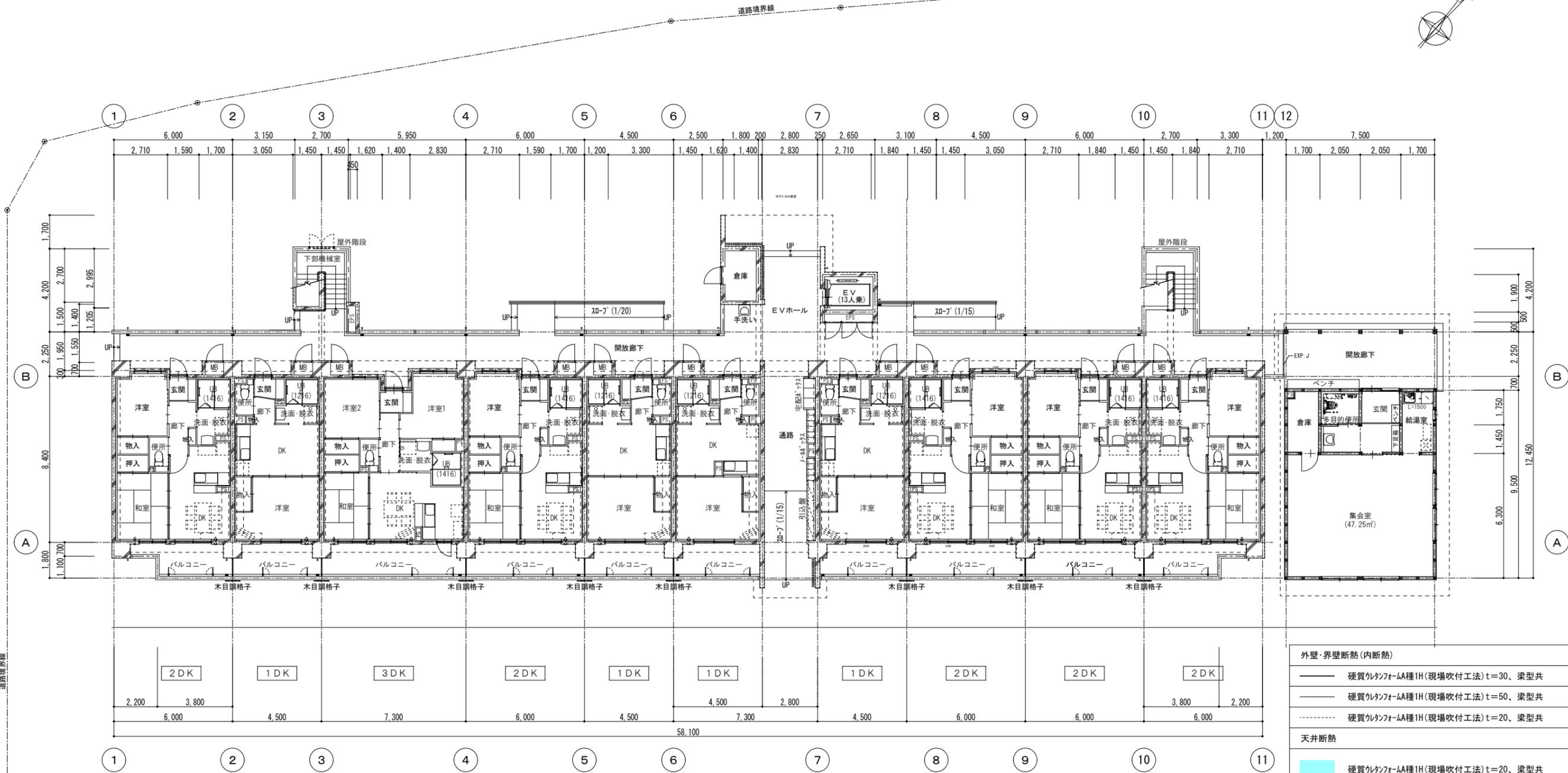
変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

SAKURA Architects Co., Ltd.	さくら建築設計 株式会社
-----------------------------	--------------

広島市東区牛田早福田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked 一級建築士登録 第243707号
 氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
断熱範囲図 ピット平面図 (見上げ図)		SCALE	JOB	20080
		No.	A	134



1階平面図 S=1/150

外壁・界壁断熱(内断熱)	
——	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法)t=30、梁型共
——	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法)t=50、梁型共
.....	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法)t=20、梁型共
天井断熱	
■	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法)t=20、梁型共
床断熱(外断熱)	
■	A種押出法 ^ホ リシテフォームL3種b t=50、梁型共
■	A種押出法 ^ホ リシテフォームL3種b t=70、梁型共
屋根断熱(内断熱)	
■	A種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号 t=70
断熱補強	
——	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法)t=20(1階見上げ)

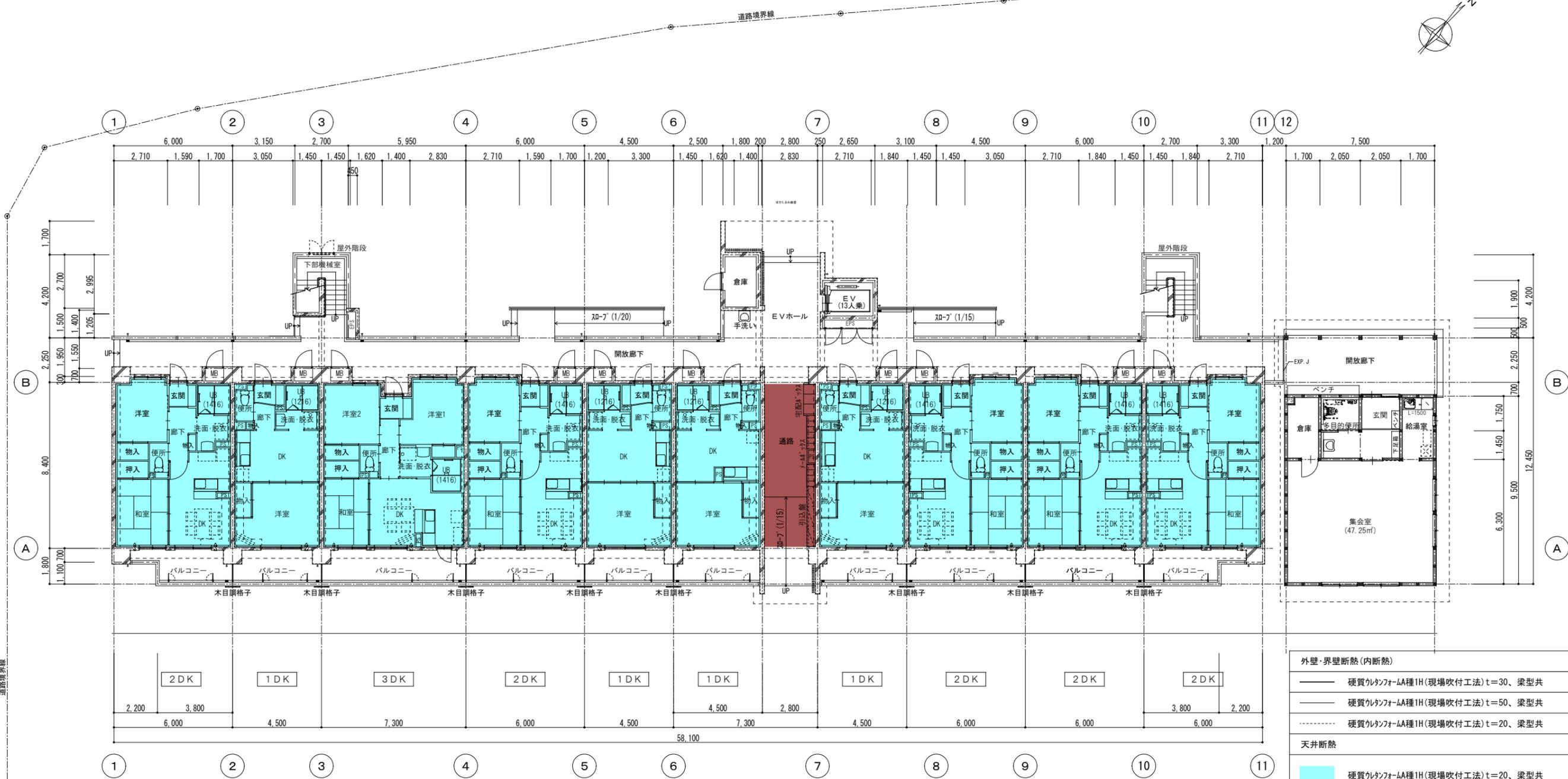
変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

SAKURA Architects Co., Ltd.	さくら建築設計株式会社
-----------------------------	-------------

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked 一級建築士登録 第243707号
 氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事(建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
断熱範囲図 1階平面図(見下げ図)		SCALE	JOB	20080
		No.	A	135



1階平面図 S=1/150

外壁・界壁断熱 (内断熱)	
——	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=30、梁型共
——	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=50、梁型共
.....	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=20、梁型共
天井断熱	
■	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=20、梁型共
床断熱 (外断熱)	
■	A種押出法 ^ホ リスチンフォームL3種b t=50、梁型共
■	A種押出法 ^ホ リスチンフォームL3種b t=70、梁型共
屋根断熱 (内断熱)	
■	A種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号 t=70
断熱補強	
——	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=20(1階見上げ)

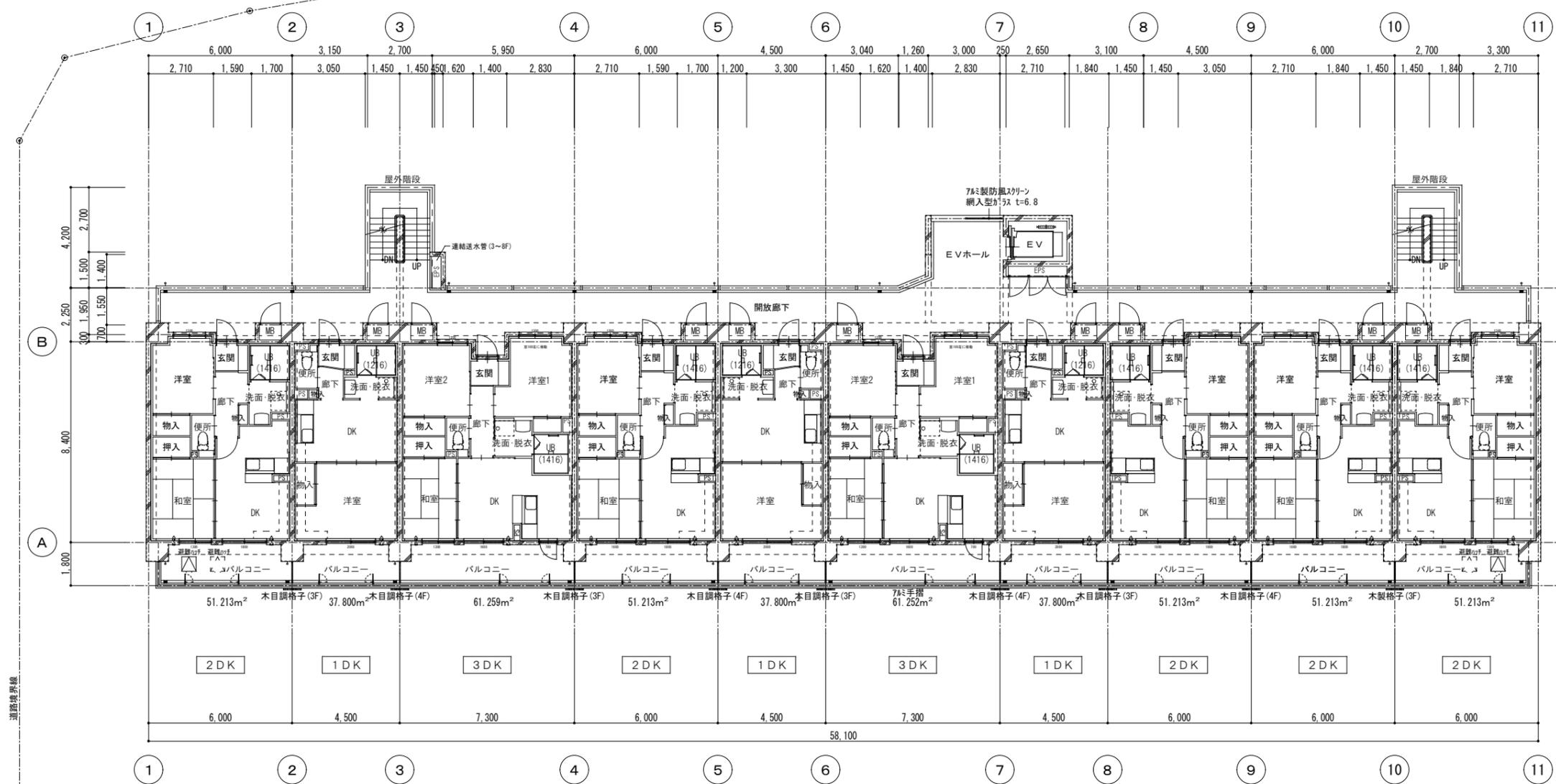
変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

SAKURA Architects Co., Ltd.	さくら建築設計株式会社
-----------------------------	-------------

広島市東区牛田早福田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked 一級建築士登録 第243707号
 氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
断熱範囲図 1階平面図 (見上げ図)		SCALE	JOB	20080
		No.	A	136



3～8階平面図 S=1/150

外壁・界壁断熱 (内断熱)	
——	硬質ウレタンフォームA種1H (現場吹付工法) t=30、梁型共
——	硬質ウレタンフォームA種1H (現場吹付工法) t=50、梁型共
.....	硬質ウレタンフォームA種1H (現場吹付工法) t=20、梁型共
天井断熱	
■	硬質ウレタンフォームA種1H (現場吹付工法) t=20、梁型共
床断熱 (外断熱)	
■	A種押出法 ^ホ リスレフォームM3種b t=50、梁型共
■	A種押出法 ^ホ リスレフォームM3種b t=70、梁型共
屋根断熱 (内断熱)	
■	A種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号 t=70
断熱補強	
——	硬質ウレタンフォームA種1H (現場吹付工法) t=20 (1階見上げ)

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

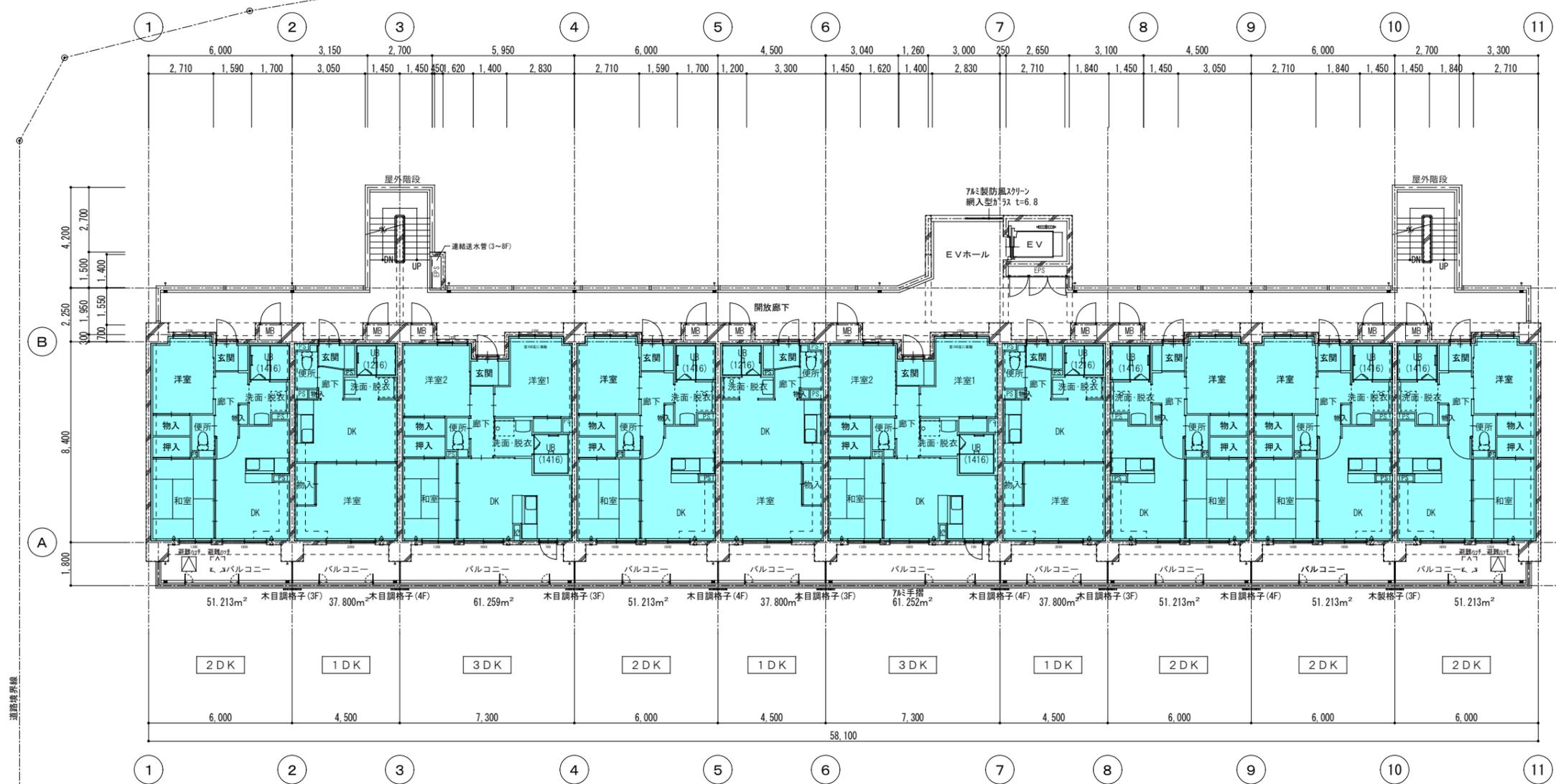
Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行
Drawn	


さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

設計図	DATE	2022/9/20
断熱範囲図 2～8階平面図 (見下げ図)	SCALE	JOB
	No.	20080
		1/150
		A
		137

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		
設計図	DATE	2022/9/20
断熱範囲図 2～8階平面図 (見下げ図)	SCALE	JOB
	No.	20080
		1/150
		A
		137



3～8階平面図 S=1/150

外壁・界壁断熱 (内断熱)	
——	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=30、梁型共
——	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=50、梁型共
.....	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=20、梁型共
天井断熱	
■	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=20、梁型共
床断熱 (外断熱)	
■	A種押出法 ^ホ リスレフォームL3種b t=50、梁型共
■	A種押出法 ^ホ リスレフォームL3種b t=70、梁型共
屋根断熱 (内断熱)	
■	A種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号 t=70
断熱補強	
——	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=20(1階見上げ)

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

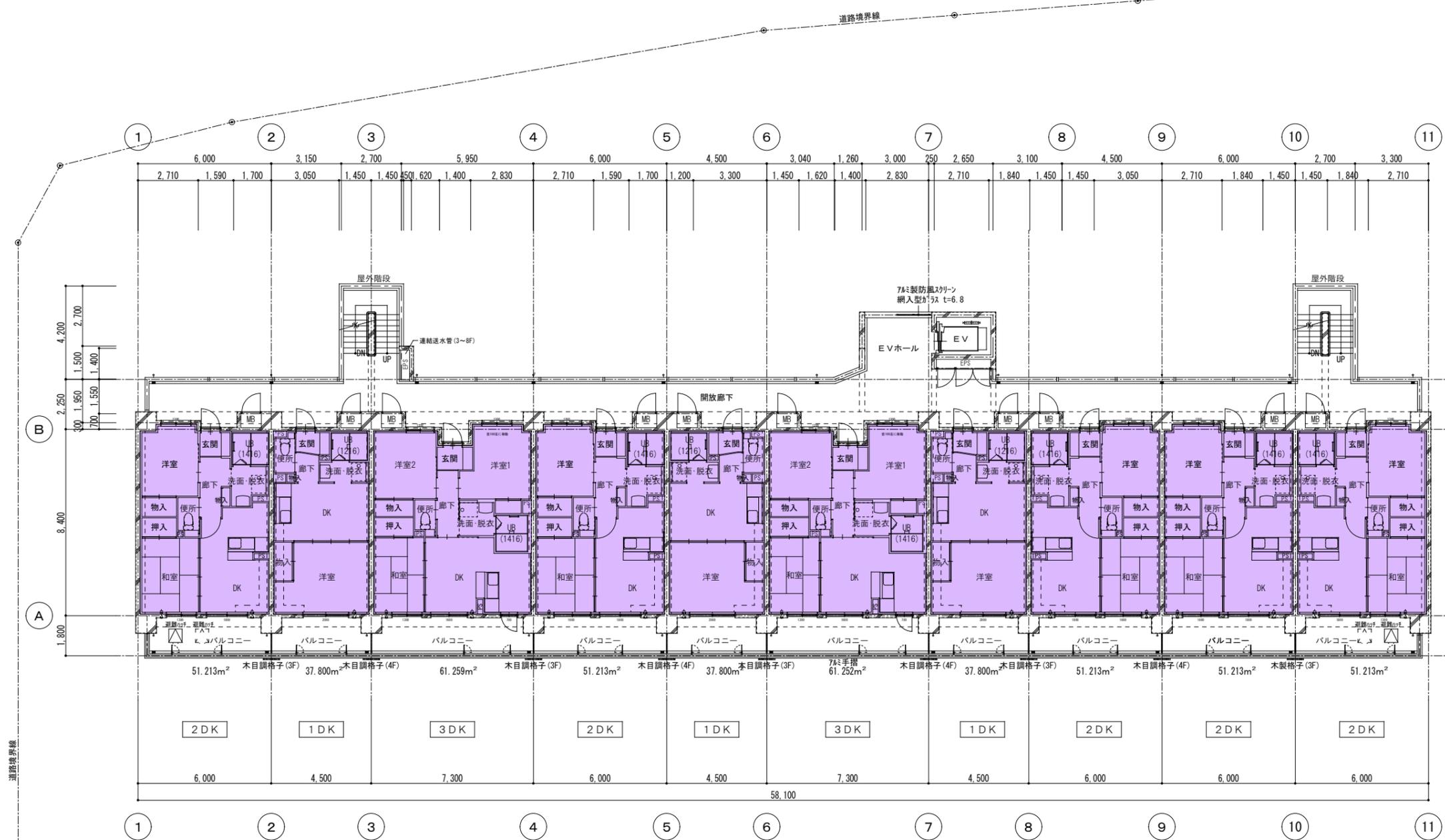
Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行
Drawn	


さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早福田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

設計図	DATE	2022/9/20
断熱範囲図 2～7階平面図(見上げ図)	SCALE	JOB
	No.	20080
		1/150
	A	138

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)	
設計図	DATE
断熱範囲図 2～7階平面図(見上げ図)	SCALE
	JOB
	No.



3～8階平面図 S=1/150

外壁・界壁断熱 (内断熱)	
——	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=30、梁型共
——	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=50、梁型共
.....	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=20、梁型共
天井断熱	
■	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=20、梁型共
床断熱 (外断熱)	
■	A種押出法 ^ホ リスレフォームM3種b t=50、梁型共
■	A種押出法 ^ホ リスレフォームM3種b t=70、梁型共
屋根断熱 (内断熱)	
■	A種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号 t=70
断熱補強	
——	硬質ウレタンフォームA種1H(現場吹付工法) t=20 (1階見上げ)

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

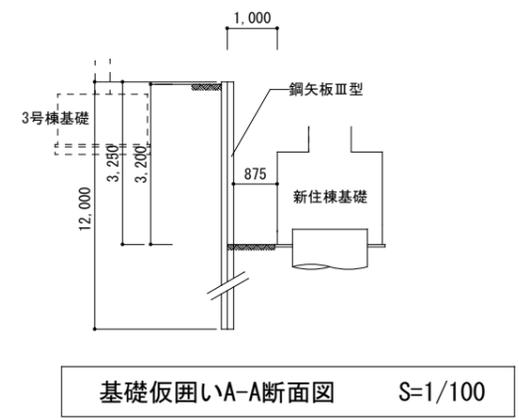
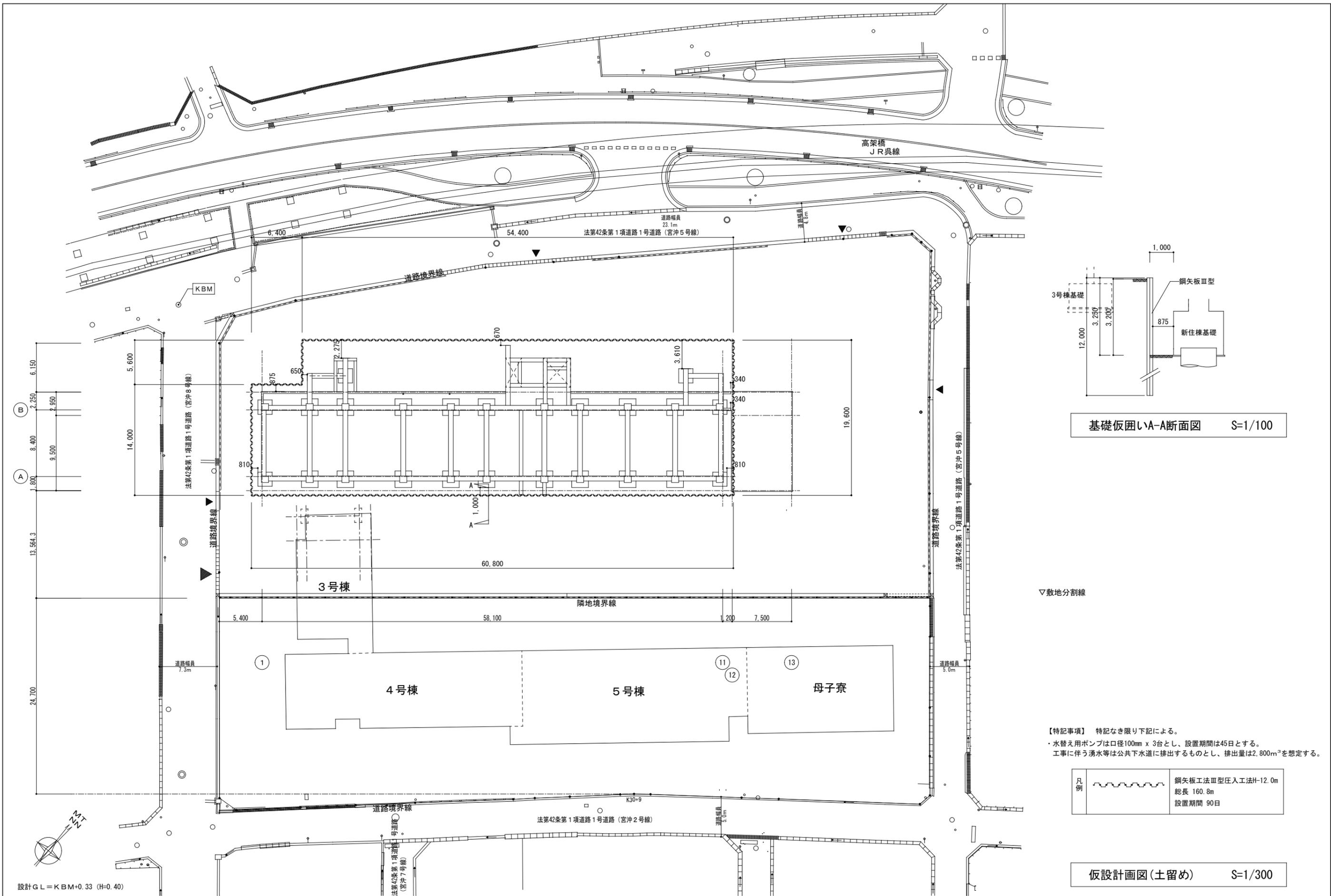
設計者	さくら建築設計株式会社
事務所	広島市東区牛田早福田1-22-13
登録番号	一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録	第188696号 正木 繁康



Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

設計図	DATE	2022/9/20
断熱範囲図 8階平面図 (見上げ図)	SCALE	20080
	No.	A
		139

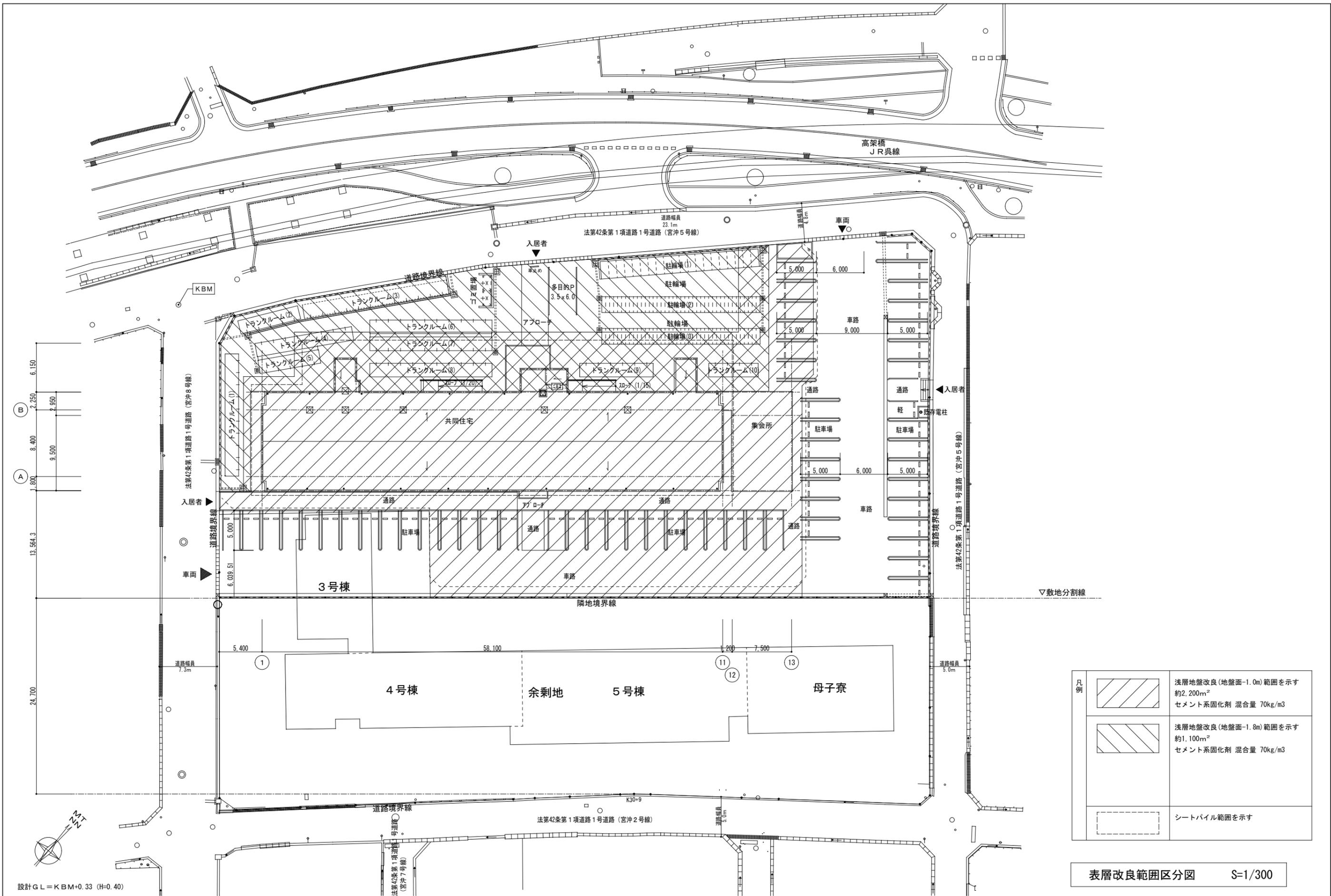


【特記事項】 特記なき限り下記による。
 ・水替用ポンプは口径100mm x 3台とし、設置期間は45日とする。
 工事に伴う湧水等は公共下水道に排出するものとし、排出量は2,800m³を想定する。



仮設計画図(土留め) S=1/300

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE	<p>さくら建築設計 株式会社</p>	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Draw 市営新宮沖住宅建設工事(建築主体工事)	設計図	DATE	2022/9/20
		凡例					SCALE	JOB	20080
							仮設計画図(土留め) 参考図	No.	A
							1/300		141



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

設計者	さくら建築設計株式会社
監理者	
確認者	
図面番	

さくら建築設計株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行
Draw	

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
仮設計画図 (表層改良範囲区分図) 参考図		SCALE	JOB	20080
		1/300	No.	A 142

建物概要等																																																																																		
1. 構造概要	<p>構造概要</p> <table border="1"> <tr> <td>構造種別</td> <td>地上 ()階~()階(R C)造 地下 ()階~()階()造</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>架構形式</td> <td>X方向 (ラーメン)構造 Y方向 (耐震壁付ラーメン)構造</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震構造方式</td> <td>○耐震構造 ・制振構造 ・免震構造(免震層の位置 ・基礎下免震 ・中間階免震()階 ・直接基礎(・地立 ・連続 ・べた ・)</td> <td>適用箇所は (示)による</td> </tr> <tr> <td>基礎方式</td> <td>○杭基礎(○場所打ちコンクリート杭 ・既製コンクリート杭 ・鋼管杭 ・)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐震安全性の分類</td> <td>・Ⅰ類(1.5) ・Ⅱ類(1.25) ○Ⅲ類(1.0)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐風に関する性能の分類</td> <td>・Ⅰ類(1.3) ・Ⅱ類(1.15) ○Ⅲ類(1.0)</td> <td></td> </tr> </table> <p>※住宅性能表示基準 耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)：等級1 劣化対策等級(構造躯体等)：等級3</p> <p>計算方法</p> <table border="1"> <tr> <td>許容応力度計算(令第82条各号+令第82条の4)【ルート1】</td> <td>X方向</td> <td>Y方向</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>許容応力度等計算【ルート2】</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保有水平耐力計算【ルート3】</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する</td> </tr> <tr> <td>限界耐力計算</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の計算法()</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別な検証法(時刻歴応答解析による)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大臣認定(認定番号)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定性能評価機関名()</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価 ・高層評価 ・免震評価 ・その他(評価番号)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>外力等</p> <table border="1"> <tr> <td>設計用一次固有周期</td> <td>(0.471)秒</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>地震地域係数(Z)</td> <td>Z_n = 1.0 ○0.9 ・0.8 ・0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地震の種類</td> <td>第()種地震 T_c=(0.6)秒</td> <td></td> </tr> <tr> <td>標準せん断力係数</td> <td>X方向 Y方向</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一次設計</td> <td>C₁=(0.2) C₂=(0.2)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二次設計</td> <td>C₁=(1.0) C₂=(1.0)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>風圧力(施行令第87条)</td> <td>地表面相区分 基準風速(V₁) 速度圧(q)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>風圧力(施行令第82条の4)</td> <td>地表面相区分 基準風速(V₁) 平均速度圧(q₀)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>積雪荷重</td> <td>区域 多雪区域 ○多雪区域以外(特定緩勾配屋根・有・無) 設計垂直積雪量(30)cm 単位荷重(20)N/m²/cm 垂直積雪量の低減 ・低減する ○低減しない</td> <td></td> </tr> </table>	構造種別	地上 ()階~()階(R C)造 地下 ()階~()階()造	備考	架構形式	X方向 (ラーメン)構造 Y方向 (耐震壁付ラーメン)構造		耐震構造方式	○耐震構造 ・制振構造 ・免震構造(免震層の位置 ・基礎下免震 ・中間階免震()階 ・直接基礎(・地立 ・連続 ・べた ・)	適用箇所は (示)による	基礎方式	○杭基礎(○場所打ちコンクリート杭 ・既製コンクリート杭 ・鋼管杭 ・)		耐震安全性の分類	・Ⅰ類(1.5) ・Ⅱ類(1.25) ○Ⅲ類(1.0)		耐風に関する性能の分類	・Ⅰ類(1.3) ・Ⅱ類(1.15) ○Ⅲ類(1.0)		許容応力度計算(令第82条各号+令第82条の4)【ルート1】	X方向	Y方向	備考	許容応力度等計算【ルート2】				保有水平耐力計算【ルート3】	○	○	X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する	限界耐力計算				その他の計算法()				特別な検証法(時刻歴応答解析による)				大臣認定(認定番号)				指定性能評価機関名()				評価 ・高層評価 ・免震評価 ・その他(評価番号)				設計用一次固有周期	(0.471)秒	備考	地震地域係数(Z)	Z _n = 1.0 ○0.9 ・0.8 ・0.7		地震の種類	第()種地震 T _c =(0.6)秒		標準せん断力係数	X方向 Y方向		一次設計	C ₁ =(0.2) C ₂ =(0.2)		二次設計	C ₁ =(1.0) C ₂ =(1.0)		風圧力(施行令第87条)	地表面相区分 基準風速(V ₁) 速度圧(q)		風圧力(施行令第82条の4)	地表面相区分 基準風速(V ₁) 平均速度圧(q ₀)		積雪荷重	区域 多雪区域 ○多雪区域以外(特定緩勾配屋根・有・無) 設計垂直積雪量(30)cm 単位荷重(20)N/m ² /cm 垂直積雪量の低減 ・低減する ○低減しない	
構造種別	地上 ()階~()階(R C)造 地下 ()階~()階()造	備考																																																																																
架構形式	X方向 (ラーメン)構造 Y方向 (耐震壁付ラーメン)構造																																																																																	
耐震構造方式	○耐震構造 ・制振構造 ・免震構造(免震層の位置 ・基礎下免震 ・中間階免震()階 ・直接基礎(・地立 ・連続 ・べた ・)	適用箇所は (示)による																																																																																
基礎方式	○杭基礎(○場所打ちコンクリート杭 ・既製コンクリート杭 ・鋼管杭 ・)																																																																																	
耐震安全性の分類	・Ⅰ類(1.5) ・Ⅱ類(1.25) ○Ⅲ類(1.0)																																																																																	
耐風に関する性能の分類	・Ⅰ類(1.3) ・Ⅱ類(1.15) ○Ⅲ類(1.0)																																																																																	
許容応力度計算(令第82条各号+令第82条の4)【ルート1】	X方向	Y方向	備考																																																																															
許容応力度等計算【ルート2】																																																																																		
保有水平耐力計算【ルート3】	○	○	X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する																																																																															
限界耐力計算																																																																																		
その他の計算法()																																																																																		
特別な検証法(時刻歴応答解析による)																																																																																		
大臣認定(認定番号)																																																																																		
指定性能評価機関名()																																																																																		
評価 ・高層評価 ・免震評価 ・その他(評価番号)																																																																																		
設計用一次固有周期	(0.471)秒	備考																																																																																
地震地域係数(Z)	Z _n = 1.0 ○0.9 ・0.8 ・0.7																																																																																	
地震の種類	第()種地震 T _c =(0.6)秒																																																																																	
標準せん断力係数	X方向 Y方向																																																																																	
一次設計	C ₁ =(0.2) C ₂ =(0.2)																																																																																	
二次設計	C ₁ =(1.0) C ₂ =(1.0)																																																																																	
風圧力(施行令第87条)	地表面相区分 基準風速(V ₁) 速度圧(q)																																																																																	
風圧力(施行令第82条の4)	地表面相区分 基準風速(V ₁) 平均速度圧(q ₀)																																																																																	
積雪荷重	区域 多雪区域 ○多雪区域以外(特定緩勾配屋根・有・無) 設計垂直積雪量(30)cm 単位荷重(20)N/m ² /cm 垂直積雪量の低減 ・低減する ○低減しない																																																																																	
2. 構造設計条件等																																																																																		
3. 地盤調査資料	<p>※当該敷地の既往調査報告書</p> <p>・構造図による</p> <p>・地盤調査資料</p> <p>●有 (●敷地内 □近隣)</p> <p>●ボリング調査 □平板載荷試験 ●水平地盤反力係数の測定</p> <p>●液状化判定 ●現場透水試験 ●土質試験</p> <p>□無(調査予定) □有 □無</p>																																																																																	
4. 液状化対策	<p>・有り (範囲・工法・仕様・計測・試験等については構造図を参照)</p> <p>・無し</p>																																																																																	

構造関係共通事項 (共通事項)																																									
1.1 適用範囲	<p>(1) 構造関係共通事項(配筋標準図)は鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立等の一般的な標準図とする。</p> <p>(2) 構造関係共通事項(鉄骨標準図)は鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄骨の加工、組立の一般的な標準図とする。</p> <p>(3) 建築構造図に特記無き事項は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)平成31年度版による。</p>																																								
1.2 用語の定義	<p>(1) 構造図とは、建築構造図のうち構造関係共通事項以外の図面をいう。</p> <p>(2) 異形鉄筋の径(本文、図、表において「D、d」で示す)は、呼び名に用いた数値とする。</p> <p>(3) 長さ、厚さ等の単位は、特記なき限りmmとする。</p>																																								
1.3 優先順位	<p>設計図書の間面のうち建築構造図に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 構造図及び構造関係共通事項(共通事項) 2. 構造関係共通事項(配筋標準図)、構造関係共通事項(鉄骨標準図) 																																								
1.4 記号等	<p>図面で使用する記号等は表1~表4を標準とする。</p>																																								
<p>表1 異形鉄筋の断面表示記号</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>径</th> <th>D10</th> <th>D13</th> <th>D16</th> <th>D19</th> <th>D22</th> <th>D25</th> <th>D29</th> <th>D32</th> </tr> <tr> <td>建築</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> <td>◇</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td>⊗</td> <td>◎</td> </tr> </table>		区分	径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	建築		○	×	◇	○	○	◎	⊗	◎																				
区分	径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32																																
建築		○	×	◇	○	○	◎	⊗	◎																																
<p>表2 各階伏図における記号</p> <table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>説明</th> <th>記号</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>○S</td> <td>スラブの配筋種別</td> <td>⊕</td> <td>杭の位置</td> </tr> <tr> <td>◇</td> <td>スラブ厚さ</td> <td>⊕</td> <td>試験杭の位置</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>階段の配筋種別</td> <td>⊗</td> <td>打増しの範囲</td> </tr> <tr> <td>○D</td> <td>土間コンクリート</td> <td>⊗</td> <td>スラブ開口</td> </tr> <tr> <td>⊕</td> <td>コンクリートブロック壁(CB壁)</td> <td>⊕</td> <td>ボリング位置</td> </tr> <tr> <td>⊗</td> <td>梁・スラブの上がりが下りの範囲</td> <td>(±)</td> <td>FLからの上りが下がり</td> </tr> <tr> <td>EW○○</td> <td>耐力壁</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>EKW○○</td> <td>片持ちスラブ階段を受け、かつ耐力壁</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ERW○○</td> <td>土圧を受け、かつ耐力壁</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		記号	説明	記号	説明	○S	スラブの配筋種別	⊕	杭の位置	◇	スラブ厚さ	⊕	試験杭の位置	○	階段の配筋種別	⊗	打増しの範囲	○D	土間コンクリート	⊗	スラブ開口	⊕	コンクリートブロック壁(CB壁)	⊕	ボリング位置	⊗	梁・スラブの上がりが下りの範囲	(±)	FLからの上りが下がり	EW○○	耐力壁			EKW○○	片持ちスラブ階段を受け、かつ耐力壁			ERW○○	土圧を受け、かつ耐力壁		
記号	説明	記号	説明																																						
○S	スラブの配筋種別	⊕	杭の位置																																						
◇	スラブ厚さ	⊕	試験杭の位置																																						
○	階段の配筋種別	⊗	打増しの範囲																																						
○D	土間コンクリート	⊗	スラブ開口																																						
⊕	コンクリートブロック壁(CB壁)	⊕	ボリング位置																																						
⊗	梁・スラブの上がりが下りの範囲	(±)	FLからの上りが下がり																																						
EW○○	耐力壁																																								
EKW○○	片持ちスラブ階段を受け、かつ耐力壁																																								
ERW○○	土圧を受け、かつ耐力壁																																								
<p>表3 梁貫通孔記号</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>径</th> <th>50</th> <th>75</th> <th>100</th> <th>125</th> <th>150</th> <th>175</th> <th>200</th> <th>225</th> <th>250</th> <th>275</th> <th>300</th> <th>325</th> <th>350</th> <th>375</th> <th>400</th> </tr> <tr> <td>建築</td> <td></td> <td>○</td> <td>✕</td> <td>+</td> <td>✕</td> <td>⊕</td> <td>✕</td> </tr> </table>		区分	径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400	建築		○	✕	+	✕	⊕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕						
区分	径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400																									
建築		○	✕	+	✕	⊕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕	✕																									
<p>表4 スリーブ材質の凡例</p> <table border="1"> <tr> <th>管名</th> <th>鋼管</th> <th>溶融亜鉛めっき鋼板</th> <th>硬質塩化ビニル管(薄肉管)</th> <th>つば付き鋼管(黒管)</th> </tr> <tr> <td>記号(建築用)</td> <td>SP(白管)</td> <td>GA</td> <td>VU</td> <td>RS</td> </tr> </table> <p>※建築用以外のスリーブ材質は各工事による。</p>		管名	鋼管	溶融亜鉛めっき鋼板	硬質塩化ビニル管(薄肉管)	つば付き鋼管(黒管)	記号(建築用)	SP(白管)	GA	VU	RS																														
管名	鋼管	溶融亜鉛めっき鋼板	硬質塩化ビニル管(薄肉管)	つば付き鋼管(黒管)																																					
記号(建築用)	SP(白管)	GA	VU	RS																																					

構-2 施工方法等計画書関連等	
1. コンクリートの単位水量測定	<p>(1) 単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。</p> <p>(2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(f) (g)による。</p> <p>(3) 単位水量の管理目標値は次の通りとする、施工する。</p> <p>1) 測定した単位水量が、配合計画書の設計値(以下「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合は、そのまま打設する。</p> <p>2) 測定した単位水量が設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、その運搬車の生コンを合格とし打設してよいが、水量変動の原因を調査し、生コン生産者に改善を指示する。その後、設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。</p> <p>3) 測定した単位水量が設計値±20kg/m³を超える場合は、その運搬車の生コンを不合格とし、打設せずに持ち帰らせるとともに、水量変動の原因を調査し、生コン生産者に改善を指示する。その後、単位水量が設計値±20kg/m³以内になるまで全運搬車の測定を行い、更に設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。</p> <p>4) 3)により不合格となった生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。</p> <p>(4) 単位水量管理についての記録を計画書(配合計画書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により監督職員に提出する。</p> <p>(5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は当該生コン生産者以外の機関とする。</p>
2. コンクリートの充填方法等	<p>(1) コンクリートの打込み、締固めについてはJASS5 7節による。</p> <p>(2) コンクリートの打継ぎ部の処理方法は、JASS5 7節による。</p> <p>(3) コンクリートの養生方法は、JASS5 8節による。</p>

使用建築材料																																																																																					
<p>□コンクリート (JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>種類</th> <th>設計基準強度 F_c = N/mm²</th> <th>スランプcm</th> <th>水セメント比 %</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>基礎・基礎梁</td> <td>●普通 □軽量</td> <td>33</td> <td>15</td> <td>50以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1F床</td> <td>●普通 □軽量</td> <td>33</td> <td>15</td> <td>50以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1F柱壁~3F梁床</td> <td>●普通 □軽量</td> <td>33</td> <td>18</td> <td>50以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3F柱壁~RF以上</td> <td>□普通 □軽量</td> <td>30</td> <td>18</td> <td>50以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>□普通 □軽量</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>廊(外構)</td> <td>●普通 □軽量</td> <td>21</td> <td>15</td> <td>65以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土間コンクリート(ヒヤ部)</td> <td>●普通 □軽量</td> <td>21</td> <td>15</td> <td>65以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土間コンクリート(建物外)</td> <td>●普通 □軽量</td> <td>21</td> <td>15</td> <td>65以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>単位水量</td> <td>●185 kg/m³以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>単位水セメント量の最小値</td> <td>●270 kg/m³</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混和材</td> <td>□AE剤 ●AE減水剤 ●高性能AE減水剤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>空気量</td> <td>●4.5%を標準とする</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>塩化物量</td> <td>●0.3 kg/m³以下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※高炉セメントを使用する場合、水セメント比は混合物の3/10を除いた部分を質量として計算すること。</p>		適用箇所	種類	設計基準強度 F _c = N/mm ²	スランプcm	水セメント比 %	備考	基礎・基礎梁	●普通 □軽量	33	15	50以下		1F床	●普通 □軽量	33	15	50以下		1F柱壁~3F梁床	●普通 □軽量	33	18	50以下		3F柱壁~RF以上	□普通 □軽量	30	18	50以下			□普通 □軽量					廊(外構)	●普通 □軽量	21	15	65以下		土間コンクリート(ヒヤ部)	●普通 □軽量	21	15	65以下		土間コンクリート(建物外)	●普通 □軽量	21	15	65以下		単位水量	●185 kg/m ³ 以下					単位水セメント量の最小値	●270 kg/m ³					混和材	□AE剤 ●AE減水剤 ●高性能AE減水剤					空気量	●4.5%を標準とする					塩化物量	●0.3 kg/m ³ 以下				
適用箇所	種類	設計基準強度 F _c = N/mm ²	スランプcm	水セメント比 %	備考																																																																																
基礎・基礎梁	●普通 □軽量	33	15	50以下																																																																																	
1F床	●普通 □軽量	33	15	50以下																																																																																	
1F柱壁~3F梁床	●普通 □軽量	33	18	50以下																																																																																	
3F柱壁~RF以上	□普通 □軽量	30	18	50以下																																																																																	
	□普通 □軽量																																																																																				
廊(外構)	●普通 □軽量	21	15	65以下																																																																																	
土間コンクリート(ヒヤ部)	●普通 □軽量	21	15	65以下																																																																																	
土間コンクリート(建物外)	●普通 □軽量	21	15	65以下																																																																																	
単位水量	●185 kg/m ³ 以下																																																																																				
単位水セメント量の最小値	●270 kg/m ³																																																																																				
混和材	□AE剤 ●AE減水剤 ●高性能AE減水剤																																																																																				
空気量	●4.5%を標準とする																																																																																				
塩化物量	●0.3 kg/m ³ 以下																																																																																				

構造関係共通事項(配筋標準図)																																									
1.1 鉄筋の加工	<p>鉄筋の折曲げ内法直径は、表1.1を標準とする。</p> <p>表1.1 鉄筋の折曲げ内法直径</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">折曲げ角度</th> <th rowspan="2">折曲げ図(余長)</th> <th rowspan="2">鉄筋の種類</th> <th colspan="3">折曲げ内法直径(D)</th> </tr> <tr> <th>呼び名</th> <th>D16以下</th> <th>D19~D38</th> <th>D19~D38</th> </tr> <tr> <td>180°</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>135°</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>90°</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>135°及び90°(幅止め筋)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>1. 片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合は、余長は4d以上とする。</p> <p>2. 90°未満の折曲げの内法直径は構造図による。</p>	折曲げ角度	折曲げ図(余長)	鉄筋の種類	折曲げ内法直径(D)			呼び名	D16以下	D19~D38	D19~D38	180°						135°						90°						135°及び90°(幅止め筋)											
折曲げ角度	折曲げ図(余長)				鉄筋の種類	折曲げ内法直径(D)																																			
		呼び名	D16以下	D19~D38		D19~D38																																			
180°																																									
135°																																									
90°																																									
135°及び90°(幅止め筋)																																									
2.1 異形鉄筋の末端部	<p>次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。</p> <p>(1) 柱及び梁(基礎を除く)の出隅部</p> <p></p> <p>ただし、最上階の柱頭の出隅部はフックを付ける。</p> <p>(2) 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)</p> <p>(3) 杭基礎のベース筋</p> <p>(4) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋</p>																																								
3.1 継手及び定着	<p>(a) 鉄筋の重ね継手</p> <p>(1) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。</p> <p>(2) 柱及び梁の主筋並びに耐力壁を除く鉄筋の重ね継手の長さは、表3.1による。</p> <p>表3.1 鉄筋の重ね継手の長さ</p> <table border="1"> <tr> <th>鉄筋の種類</th> <th>コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm²)</th> <th>L₁ (フックなし)</th> <th>L_{1n} (フックあり)</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">SD295</td> <td>18</td> <td>45d</td> <td>35d</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>40d</td> <td>30d</td> </tr> <tr> <td>24, 27</td> <td>35d</td> <td>25d</td> </tr> <tr> <td>30, 33, 36</td> <td>35d</td> <td>25d</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">SD345</td> <td>18</td> <td>50d</td> <td>35d</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>45d</td> <td>30d</td> </tr> <tr> <td>24, 27</td> <td>40d</td> <td>30d</td> </tr> <tr> <td>30, 33, 36</td> <td>35d</td> <td>25d</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">SD390</td> <td>21</td> <td>50d</td> <td>35d</td> </tr> <tr> <td>24, 27</td> <td>45d</td> <td>35d</td> </tr> <tr> <td>30, 33, 36</td> <td>40d</td> <td>30d</td> </tr> </table> <p>(注) 1. L₁、L_{1n}：重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ 2. フックありの場合のL_{1n}は、図3.1に示すようにフック部分Qを含まない。 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。</p> <p>図3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ</p> <p>図3.2 直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ</p> <p>(2) 梁主筋の柱内折曲げ定着又は小梁及びスラブの上端部の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の(i)、(ii)及び(iii)をすべて満足するものとする。</p> <p>(i) 全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上</p> <p>(ii) 余長は8d以上とする。</p> <p>(iii) 仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さL_a及びL_bは表3.4に示す長さとする。ただし、梁主筋の柱内定着においては、柱せいりの3/4倍以上とする。</p> <p>図3.3 折曲げ定着の方法</p>	鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²)	L ₁ (フックなし)	L _{1n} (フックあり)	SD295	18	45d	35d	21	40d	30d	24, 27	35d	25d	30, 33, 36	35d	25d	SD345	18	50d	35d	21	45d	30d	24, 27	40d	30d	30, 33, 36	35d	25d	SD390	21	50d	35d	24, 27	45d	35d	30, 33, 36	40d	30d
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²)	L ₁ (フックなし)	L _{1n} (フックあり)																																						
SD295	18	45d	35d																																						
	21	40d	30d																																						
	24, 27	35d	25d																																						
	30, 33, 36	35d	25d																																						
SD345	18	50d	35d																																						
	21	45d	30d																																						
	24, 27	40d	30d																																						
	30, 33, 36	35d	25d																																						
SD390	21	50d	35d																																						
	24, 27	45d	35d																																						
	30, 33, 36	40d	30d																																						

市営新宮沖住宅建設工事(建築主体工事)	
設計図	DATE 2022/9/20
SCALE	JOB 20080
構造関係共通事項(1)	
No. S	001

図面：A2 (縮尺：A1→141%、A3→71%) 印刷日付：22' 12' 12

表3.4 鉄筋の投影定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	L_a	L_b
SD295A SD295B	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24, 27	15d	15d
SD345	30, 33, 36	15d	15d
	18	20d	20d
	21	20d	20d
SD390	24, 27	20d	20d
	30, 33, 36	20d	20d
	30, 33, 36	20d	15d

(注) 1. L_a : 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ (基礎梁、片持梁及び片持スラブを含む。)
 2. L_b : 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ (片持小梁及び片持スラブを除く。)
 3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

(3) 溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。
 なお、 L_1 は表3.11に、 L_2 及び L_3 は表3.3による。

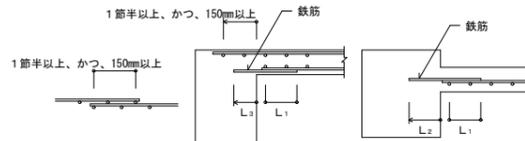


図3.4 溶接金網の継手及び定着

(4) スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による

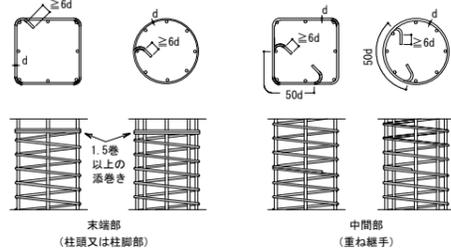


図3.5 スパイラル筋の継手及び定着

4.1 最小かぶり厚さ

(a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。
 ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

構造部分の種類	最小かぶり厚さ (mm)	
	仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	20
	柱、梁、耐力壁	30
	柱、梁、耐力壁	30
	柱、梁、耐力壁	30
土に接する部分	柱、梁、耐力壁	40
	基礎、擁壁、耐力スラブ	60
煙突等高熱を受ける部分		60

(注) 1. この表は、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。
 また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久上不利な箇所には適用しない。
 2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。
 3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含めない。
 4. 杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは、杭先端からとする。

(b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

(c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

(d) 鉄筋相互のあきは図4.11により、次の値のうち最大のものを以上とする。

- (1) 組骨材の最大寸法の1.25倍
- (2) 25mm
- (3) 隣り合う鉄筋の径の平均（呼び名の数値）の1.5倍

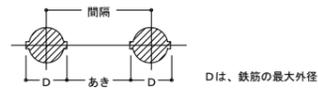


図4.1 鉄筋相互のあき及び間隔

(e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。

(f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

5.1 基礎梁

(a) 一般事項

(1) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。

(2) 梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(b)(4)による。

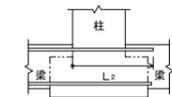
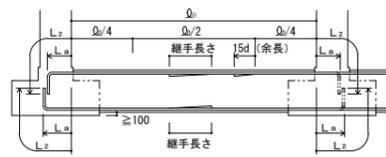


図5.1 基礎梁の鉄筋の定着

(b) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。



(注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

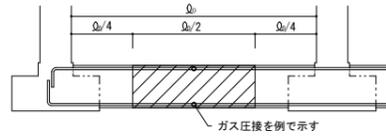
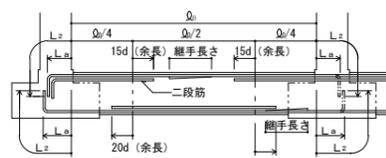


図5.2 主筋の継手、定着及び余長（その1）

(c) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。
 ただし、耐圧スラブが付く場合は、(d)による。



(注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

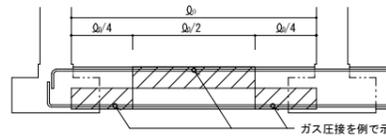
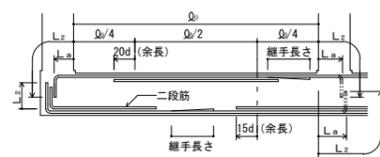


図5.3 主筋の継手、定着及び余長（その2）

(d) 連続基礎及びびた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。



(注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
 2. 印は、継手及び余長位置を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

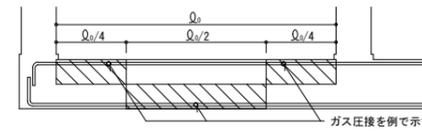


図5.4 主筋の継手、定着及び余長（その3）

5.2 基礎梁のあばら筋等

(a) 一般事項

(1) あばら筋の径および間隔は、構造図による。

(2) あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(b)による。

ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることができる。

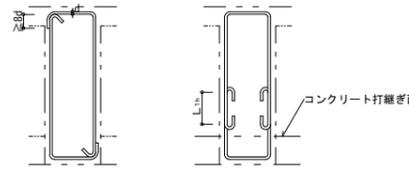


図5.5 あばら筋組立の形及びフックの位置

(b) 腹筋及び幅止め筋は、7.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は構造図による。

(c) あばら筋の割付けは、7.2(c)による。

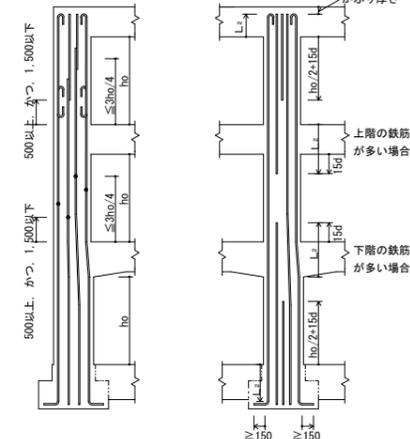
6.1 柱

(a) 一般事項

(1) 継手中心位置は、梁上端から500mm以上、1,500mm以下、かつ、3ho/4 (hoは柱の内法高さ) 以下とする。

(2) 継手、定着及び余長は、図6.1による。

ただし、柱頭定着長さL₂が確保できない場合は、構造図による。



(注) 1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
 2. 隣り合う継手の位置は、表3.2 [隣り合う継手の位置] による。
 3. 継手及び定着は、すべての階に適用できる。

図6.1 柱主筋の継手、定着及び余長

(b) 柱打増し部

(1) 打増し部分に、壁、スラブ等がとづく場合の壁、梁、スラブ筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。
 (2) 土に接する柱周囲の打増しは図6.2による。

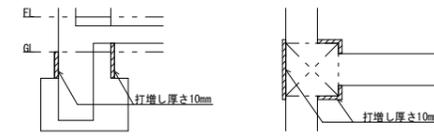


図6.2 柱打増し部

6.2 帯筋

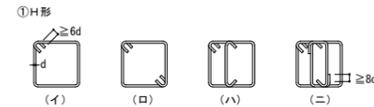
(a) 帯筋の種類及び間隔は、構造図による。

(b) 帯筋組立の形は図6.3により、適用は構造図による。

(1) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。

(2) 溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。

(3) S P形において、柱頭及び柱脚の端部は1.5巻以上の添巻きを行う。



②W-I形



注) 溶接は、鉄筋の組立前に行う。

⑤S P形 (スパイラル筋)

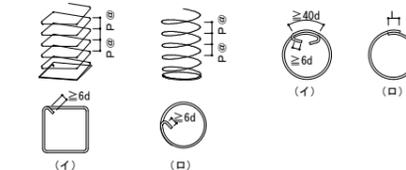
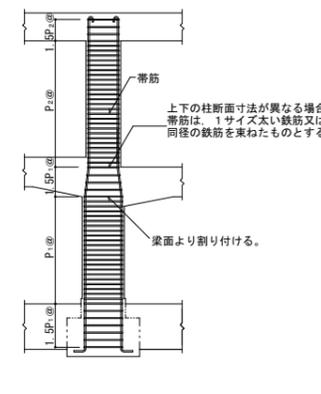


図6.3 帯筋組立の形

(c) フック及び継手の位置は交互とする。

(d) 帯筋の割付けは図6.4とし、それ以外の場合は構造図による。



(注) 1. 柱に取り付けに梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P₁@または1.5P₂@とする範囲は、その柱に取り付けすべての梁を考慮して適用する。
 2. 図中のP₁@、P₂@は、特記された帯筋の間隔を示す。

図6.4 帯筋の割付け

7.1 大梁

(a) 一般事項

(1) 梁の上り下りりはFLを基準とした寸法とする。
 (2) 地中梁下の砂利地床厚及び捨てコンクリート地床厚は構造図による。
 (3) 打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合のスラブ、壁、梁筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。

(b) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項

(1) 継手中心位置は、次による。
 上端筋: 中央 $Q_0/2$ 以内
 下端筋: 柱面より梁せい (D) 以上離し、 $Q_0/4$ を加えた範囲以内
 (2) 継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。
 (3) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。

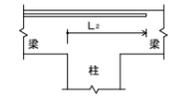


図7.1 大梁主筋の梁内定着

(4) 大梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。

なお、定着の方法は3.1(b)(2)による。

上端筋: 曲げ降ろす

下端筋: 柱面より梁せい (D) 以上離し、 $Q_0/4$ を加えた範囲以内

下端筋 (ハンチ付き): 原則、曲げ上げる。

(5) 梁にハンチをつける場合、その傾斜は構造図による。

(6) 段違い梁は、図7.2による。

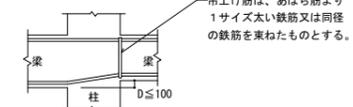
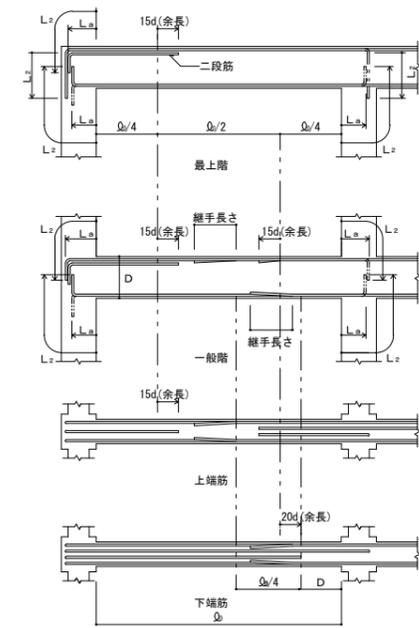


図7.2 段違い梁

(c) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図7.3による。



(注) 1. 大梁主筋の重ね継手で、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。
 2. 印は、継手及び余長を示す。
 3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
 4. 梁主筋のみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

図7.3 大梁の重ね継手、定着及び余長

(d) ハンチのある場合の定着及び余長は、図7.4による。

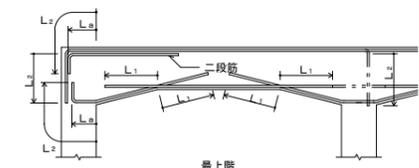


図7.4 ハンチのある場合の定着及び余長

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			



さくら建築設計 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

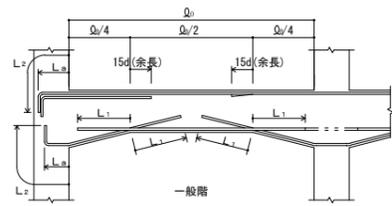
Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

設計図 DATE 2022/9/20

SCALE JOB 20080

No. S 002



- (注) 1. 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合(基礎梁を除く)には、フックを付ける。
 2. 印は、継手及び余長を示す。
 3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、 \equiv のように引き通すことができる。
 4. 破線は、柱内定着を示す。
 5. 梁主筋のみ込み長さ(柱せいの3/4倍以上)

図7.4 ハンチのある大梁の定着及び余長

7.2 あばら筋等

(a) あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項

- あばら筋の種類、径及び間隔は、構造図による。
- 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とし、定着長さは図7.6による。ただし、腹筋を計算上考慮している場合の継手長さ、定着長さは構造図による。
- 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000程度とする。

(b) あばら筋組立の形及びフックの位置

- 形は、図7.5(イ)とする。
 ただし、L形梁の場合は、(ロ)または(ハ)、T形梁の場合は(ロ)~(ニ)とすることができる。
- フックの位置
 - (イ)の場合は交互とする。
 - (ロ)の場合 L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。
 - (ハ)の場合は床版の付く側を90°折曲げとする。

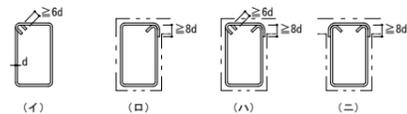
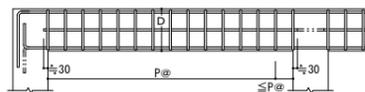


図7.5 あばら筋組立の形

(c) あばら筋の割付け

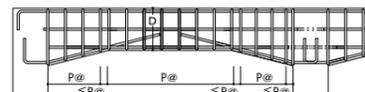
- 間隔が一律でハンチのない場合は、図7.6による。



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
 2. 図中のP@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。

図7.6 あばら筋の割付け(その1)

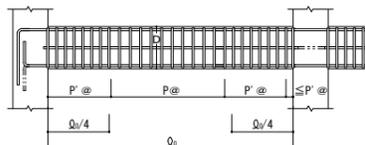
- 間隔が一律でハンチのある場合は、図7.7による。



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
 2. 図中のP@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。

図7.7 あばら筋の割付け(その2)

- 梁の端部で間隔異なる場合は、図7.8による。



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
 2. 図中のP@、P'@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。

図7.8 あばら筋の割付け(その3)

(d) 腹筋及び幅止め筋

- 一般の梁は、図7.9による。

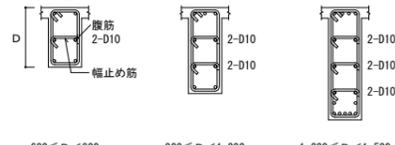
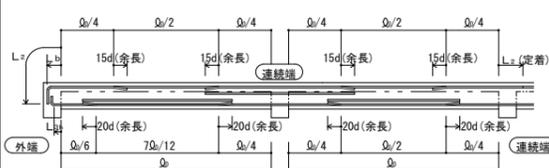


図7.9 腹筋および幅止め筋

7.3 小梁

(a) 小梁主筋の継手、定着及び余長

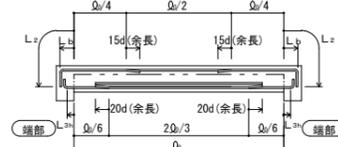
- 連続小梁の場合は、図7.10による。



- (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.11に準ずる。
 2. 印は、余長位置を示す。

図7.10 小梁主筋の継手、定着及び余長(その1)

- 単独小梁の場合は、図7.11による。



- (注) 1. 図示のない事項は、5.1及び7.11に準ずる。
 2. 印は、余長位置を示す。

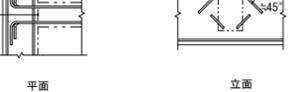


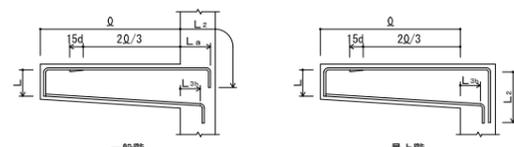
図7.11 小梁主筋の継手、定着及び余長(その2)

- あばら筋は、7.2による。

7.4 片持梁

(a) 片持梁主筋の定着及び余長

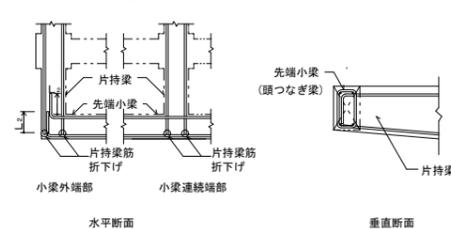
- 先端に小梁のない場合は、図7.12による。



- (注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
 2. 印は、余長位置を示す。
 3. 先端の折曲げの長さLは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。

図7.12 片持梁主筋の定着及び余長

- 先端に小梁がある場合は、図7.13による。



- (注) 1. 図示のない場合は、(1)による。
 2. 先端小梁先端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
 3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

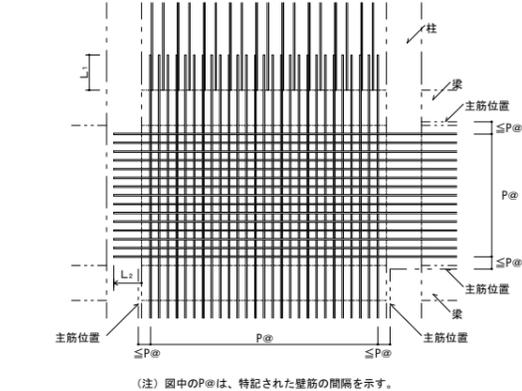
図7.13 片持梁主筋の定着

- あばら筋は、7.2による。

8.1 壁

(a) 一般事項

- 壁配筋の重ね継手の長さはL₁、定着の長さはL₂とし、鉄筋の継手位置は、柱・梁部以外とする。
- 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000程度とする。
- 打増し部分に、壁、スラブ等が取り付く場合の壁、スラブ筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。



- (注) 図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。

図8.1 壁の配筋

- 壁の配筋は表8.1により、種別は構造図による。

表8.1 壁の配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

- (注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

- 片持スラブ階段を受ける壁の配筋は表8.2により、種別は構造図による。

表8.2 片持スラブ階段を受ける壁の配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別(表10.1)
KW1	縦筋	D10-200@ダブル	KA1 KA3
	横筋	D10-200@ダブル	
KW2	縦筋	D13-150@ダブル	KA2 KA4
	横筋	D10-200@ダブル	

- (注) 壁筋は、横筋の外側に配筋する。

- 土圧を受ける壁の配筋は、構造図による。

- 壁の交差部及び端部の配筋は、図8.2による。

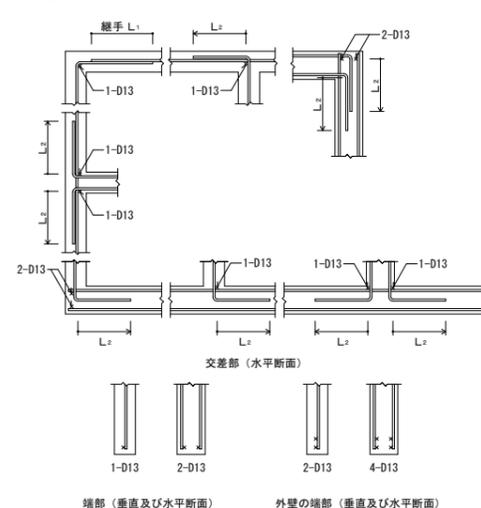


図8.2 壁の交差部及び端部の配筋

8.2 壁の補強

(a) 壁開口部の補強

- 耐力壁を除く壁開口部の補強筋は、A形は表8.3、B形は表8.4とし、適用は構造図による。なお、耐力壁の補強筋は、構造図による。

表8.3 壁開口部補強筋(A形)

壁の種別	補強筋	
	縦筋	斜め
W12、W15	1-D13	1-D13
W18、W20	2-D13	2-D13

表8.4 壁開口部補強筋(B形)

壁の種別	補強筋	
	縦筋	斜め
W12、W15	1-D13	1-D13
W18、W20	2-D13	2-D13

- 壁開口部補強の定着長さは、図8.3による。

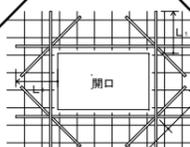


図8.3 壁開口部補強筋の定着長さ

- コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、構造図による。

9.1 スラブ

- スラブ及び土間コンクリートの上り下りがあり、FLを基準とした寸法値とする。
- 土間スラブ下の砂利地床厚及び捨てコンクリート地床厚は構造図による。
- 土間コンクリート補強筋(D[≦])の配筋及びコンクリート厚さは構造図による。
- スラブの配筋(S形配筋)は表9.1及び図9.1により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

表9.1 S形配筋

配筋種別	短辺方向(主筋) 全域		長辺方向(配力筋) 全域	
	短辺方向(主筋) 全域	長辺方向(配力筋) 全域	短辺方向(主筋) 全域	長辺方向(配力筋) 全域
S 1	D13-100#	D13-100#	S 8	D10、D13-150#
S 2	同上	D13-150#	S 9	同上
S 3	同上	D10、D13-150#	S10	D10、D13-200#
S 4	D13-150#	D13-150#	S11	同上
S 5	同上	D10、D13-150#	S12	同上
S 6	同上	D10-150#	S13	D10-200#
S 7	D10、D13-150#	D10、D13-150#	S14	同上

- (注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。

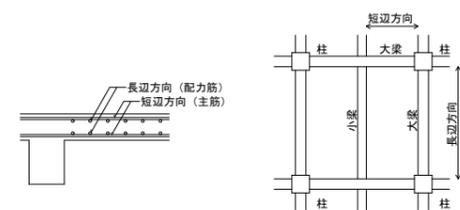


図9.1 スラブの配筋

- 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
- 鉄筋の重ね継手長さは、L₁とする。
- 定着長さ及び受け筋は、図9.2による。ただし、引き通すことができない場合は、図9.3により梁内に定着する。

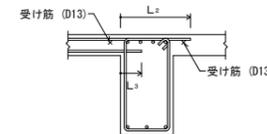


図9.2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その1)

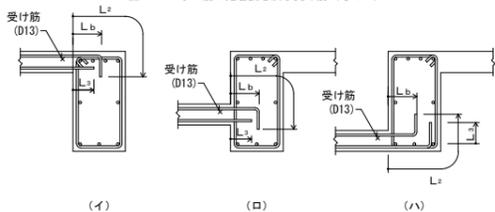


図9.2 スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その2)

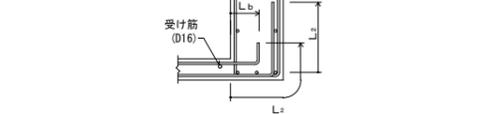


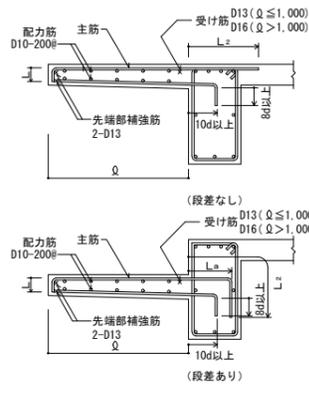
図9.3 スラブ筋の定着長さ及び受け筋(その2)

9.2 片持スラブ

- 片持スラブは、プレキャストコンクリート部材または現場打ちコンクリート部材とする。
- プレキャストコンクリート部材とする場合の部材への接続方法は、構造図による。
- 片持スラブの配筋は、次による。
 - 片持スラブの配筋(CS形配筋)は、表9.2並びに図9.4及び図9.5により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

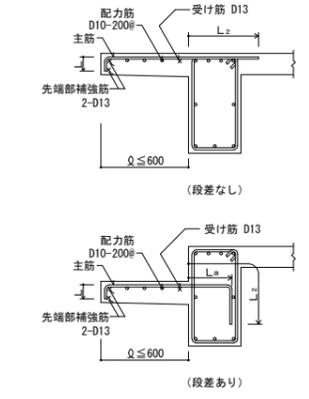
表9.2 CS形配筋

配筋種別	主筋		配筋種別	主筋	
	上	下		上	下
CS1	上	D13-100#	CS5	上	D10-200#
	下	D13-200#		下	D10-400#
CS2	上	D13-150#	CS6	上	D10、D13-200#
	下	D13-300#		下	—
CS3	上	D10、D13-150#	CS7	上	D10-200#
	下	D10、D13-300#		下	—
CS4	上	D10、D13-200#			
	下	D10-200#			



(注) 1. 先端の折り曲げ長さLは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図9.4 片持スラブの配筋 (CS1からCS5)



(注) 1. 先端の折り曲げ長さLは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図9.5 片持スラブの配筋 (CS6及びCS7)

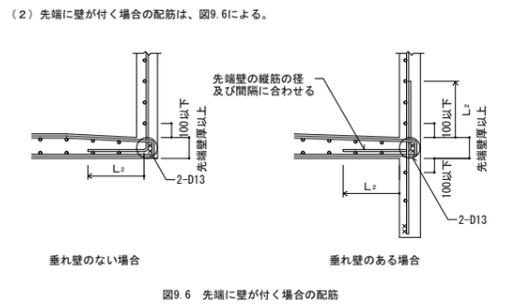


図9.6 先端に壁が付く場合の配筋

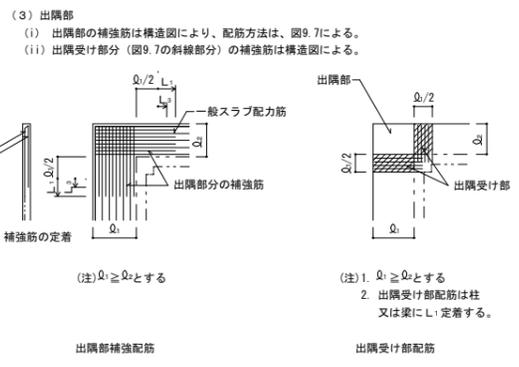


図9.7 片持ちスラブ出隅部の補強配筋

9.3 スラブ等の補強

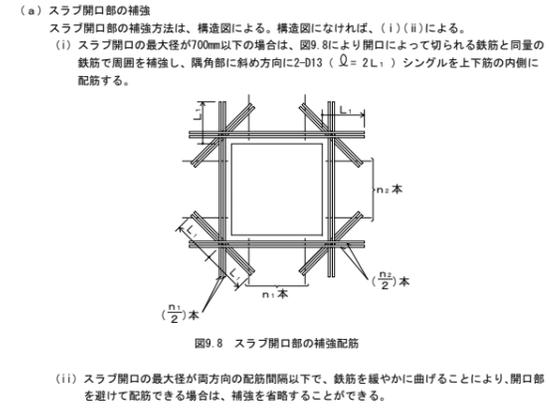


図9.8 スラブ開口部の補強配筋

(ii) スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

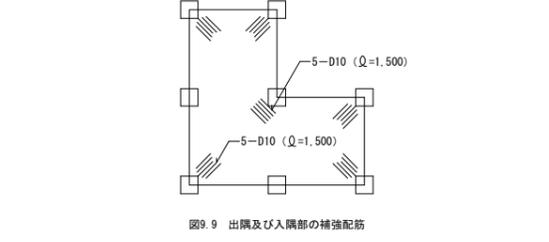


図9.9 出隅及び入隅部の補強配筋

(c) 土間スラブの打継ぎ補強
基礎梁とスラブを一体打ちとし、打継ぎを設ける場合の補強は図9.10による。ただし、土間スラブとは、土に接するスラブでS形の配筋によるものをいう。

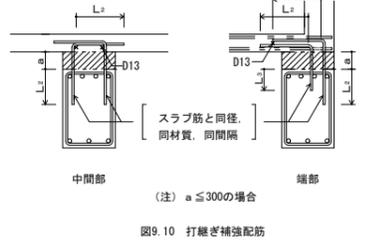


図9.10 打継ぎ補強配筋

(d) 土間コンクリートの補強
土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は、図9.11による。

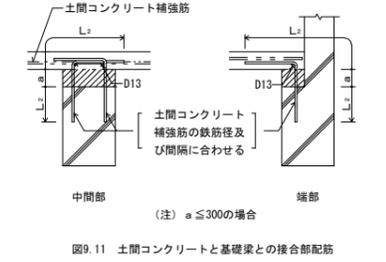


図9.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

10.1 片持スラブ形階段

片持スラブ形階段の配筋は、表10.1及び図10.11により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

配筋種別	配筋図	配筋種別	配筋図
KA1		KA2	
KA3		KA4	

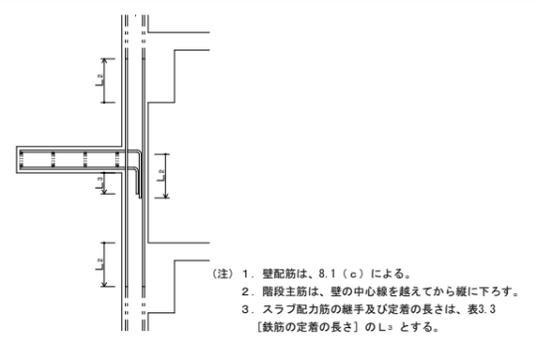


図10.1 片持スラブ形階段配筋の定着

(注) 1. 壁配筋は、8.1(c)による。
2. 階段主筋は、壁の中心線を超えてから縦に下ろす。
3. スラブ配筋筋の継手及び定着の長さは、表3.3【鉄筋の定着の長さ】のL_sとする。

10.2 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段は、プレキャストコンクリート部材または現場打ちコンクリート部材とする。プレキャストコンクリート部材とする場合の接合方法は構造図による。二辺固定スラブ形階段の配筋は表10.2並びに図10.2及び図10.3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

配筋種別	上端筋、下端筋とも(全域)
KB1	D13-200#
KB2	D13-150#
KB3	D13-100#
KB4	D13, D16-150#
KB5	D16-150#
KB6	D16-125#
KB7	D16-100#

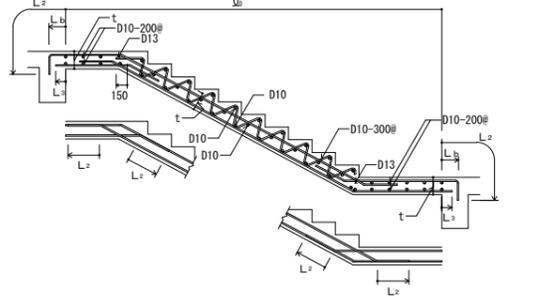


図10.2 二辺固定スラブ形階段配筋(その1)

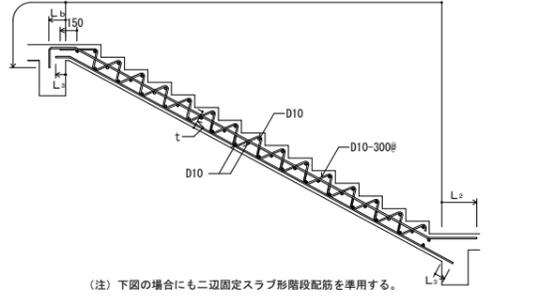


図10.3 二辺固定スラブ形階段配筋(その2)

(注) 下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

11.1 梁貫通孔

- (a) 梁貫通孔は、次による。
- 梁貫通孔補強筋の名称等は、図11.1による。
 - 孔の径は、梁せい1/3以下とする。
 - 孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲には孔を設けてはならない。
 - 孔は、柱面から原則として、1.5D以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
 - 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
 - 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
 - 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図11.2による。
 - 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
 - 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
 - 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
 - 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

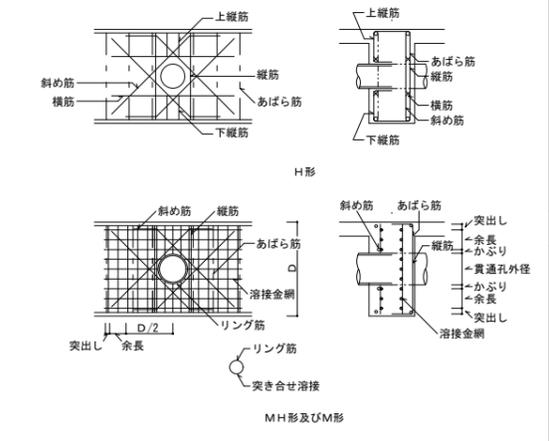


図11.1 梁貫通孔補強筋の名称等

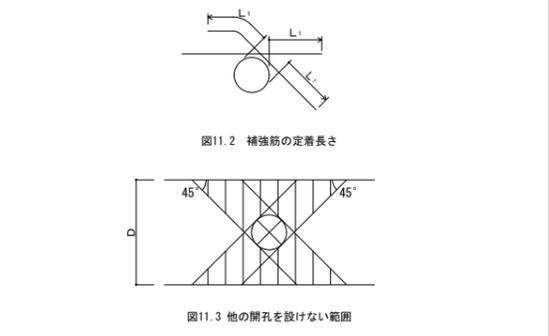


図11.2 補強筋の定着長さ

(b) 梁貫通孔の補強形式は表11.1~表11.3により、配筋種別は構造図による。

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	なし	なし	なし	なし	
H2	2-2-D13	なし	なし	なし	
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H5	4-2-D16	なし	なし	なし	
H6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H7	4-2-D22	なし	なし	なし	

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

11.2 コンクリートブロック帳壁との取合い

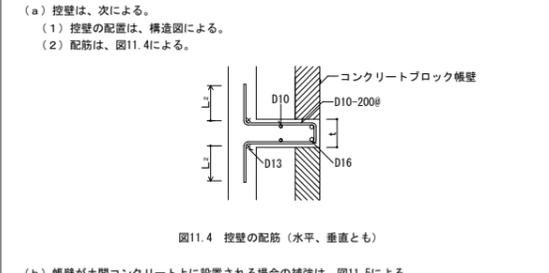


図11.4 控壁の配筋(水平、垂直とも)

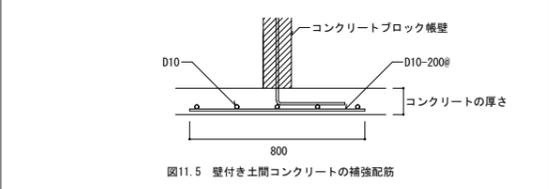


図11.5 壁付き土間コンクリートの補強配筋

11.3 パラベット

パラベットの配筋は図11.6による。

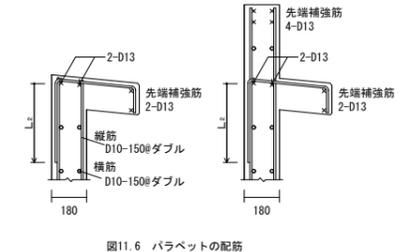
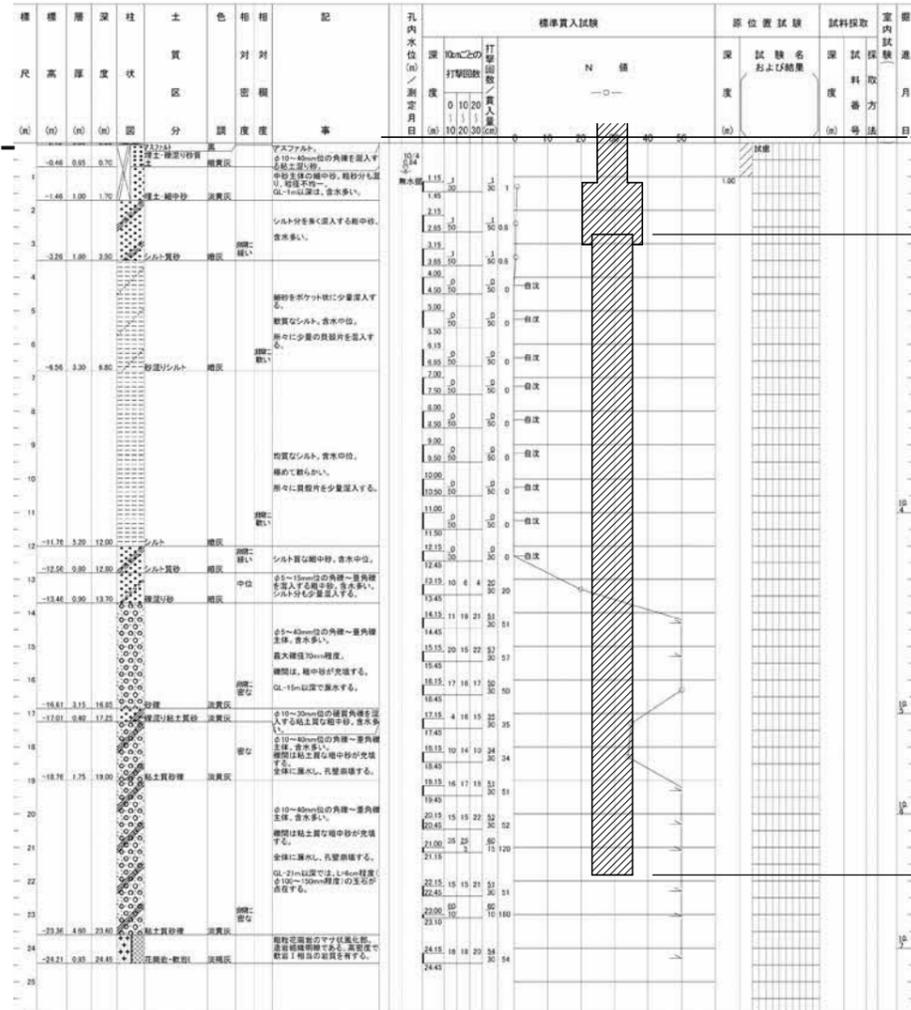


図11.6 パラベットの配筋

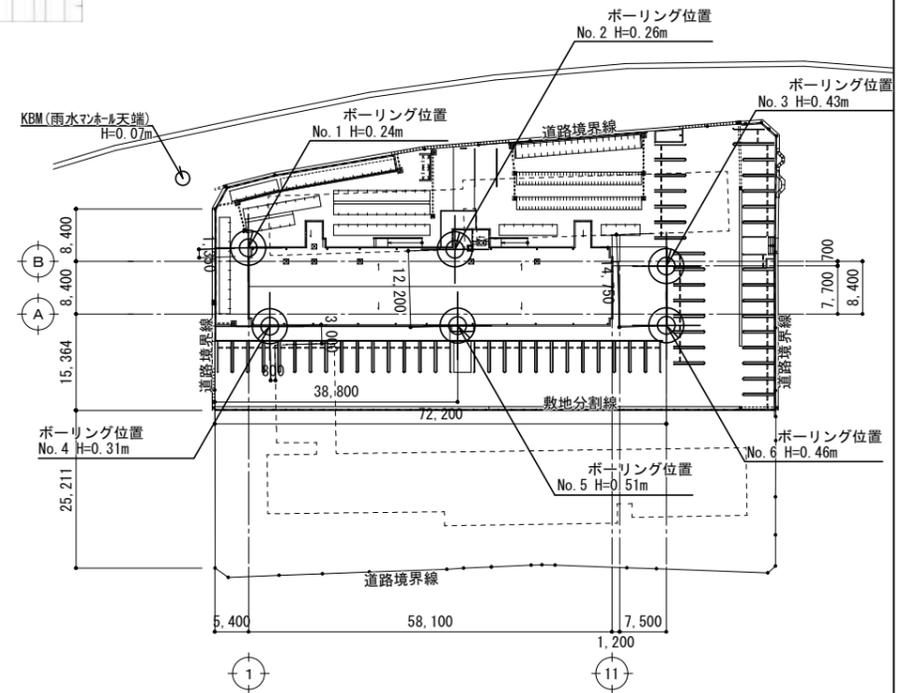
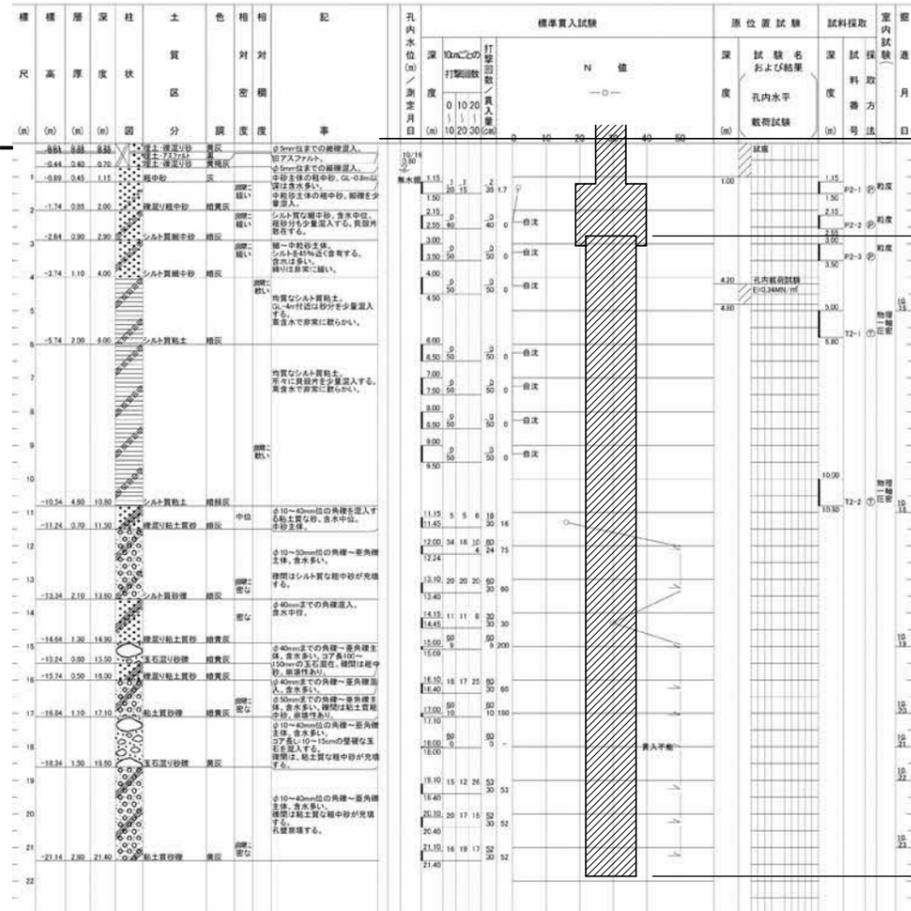
11.4 メッシュ型枠

- 使用箇所
使用部位は、基礎・地中梁及び関連する柱部分とする
(見えがかりで、仕上げのない部分及びビット部分は除く)
- 材料及び構造
・メッシュ材質 鋼板: JIS G3302、板厚0.5mm以上、めっき80kg/m²以上
・機用パイプ材質 JIS G8305、直径2.5mm以上、厚さ1.2mm以上
・締付材はボルト式又は番線式とし、付属材料は監督職員の承諾を受ける
- 組立て
・組立て機用パイプの立て込み間隔は300mm以下とする
・組立ては製造所の施工要領書に従う
- 型枠の取り外し
機用パイプの存置期間は標準仕様書6.8.4により、型枠用メッシュは取り外さない
- 鉄筋の最小かぶり厚さ
表4.1による
ただし、地中梁・柱は設計寸法に10mmを加える

ボーリング名	No.1	調査位置	広島県三原市宮沖一丁目外	北緯	°	'	''
発注機関	三原市 都市部 建築課	調査期間	2021年10月4日～2021年10月8日	東経	°	'	''
調査業者名	さくら建築設計株式会社 082-502-7720	主任技師	系井 秀利	現場代理人	文谷 健二郎	コア鑑定者	文谷 健二郎
ボーリング責任者	加藤 正明	試験機	東邦D-1	ハンマー	落下用具	半自動落下	
エンジン	ヤンマー-NFD-13	ポンプ	東邦BG-3				
孔口標高	0.24m	角	180°	方	270°	北緯	0°
総掘進長	24.00m	度	0°	向	西	東	90°



ボーリング名	No.2	調査位置	広島県三原市宮沖一丁目外	北緯	°	'	''
発注機関	三原市 都市部 建築課	調査期間	2021年10月16日～2021年10月23日	東経	°	'	''
調査業者名	さくら建築設計株式会社 082-502-7720	主任技師	系井 秀利	現場代理人	文谷 健二郎	コア鑑定者	文谷 健二郎
ボーリング責任者	加藤 正明	試験機	東邦D-1	ハンマー	落下用具	半自動落下	
エンジン	ヤンマー-NFD-13	ポンプ	東邦BG-3				
孔口標高	0.26m	角	180°	方	270°	北緯	0°
総掘進長	21.00m	度	0°	向	西	東	90°



ボーリング位置図 S=1:800 ※設計GL=KBM+0.33(H=0.40)とする。
 一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良真

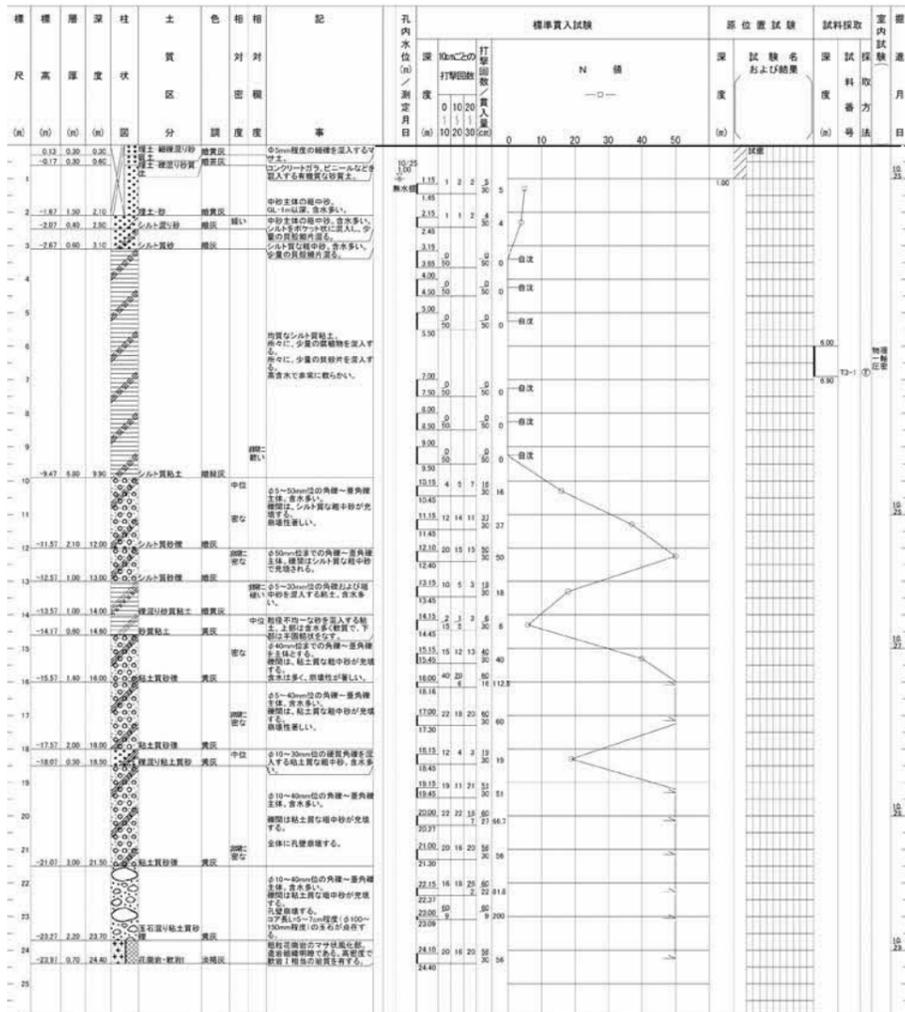
変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

さくら建築設計株式会社
 SAKURA Architects Co., Ltd.

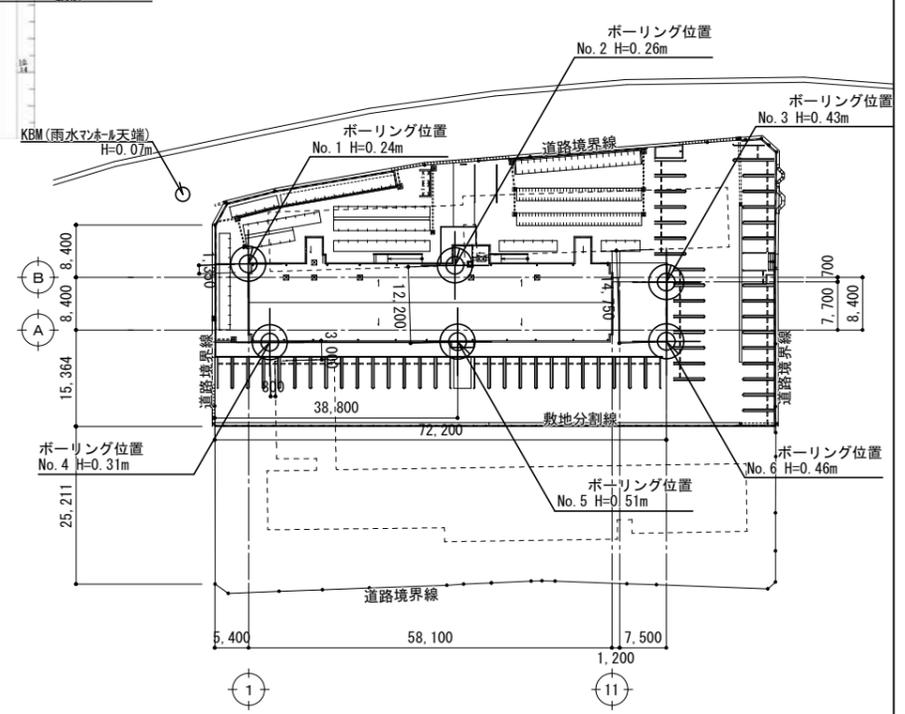
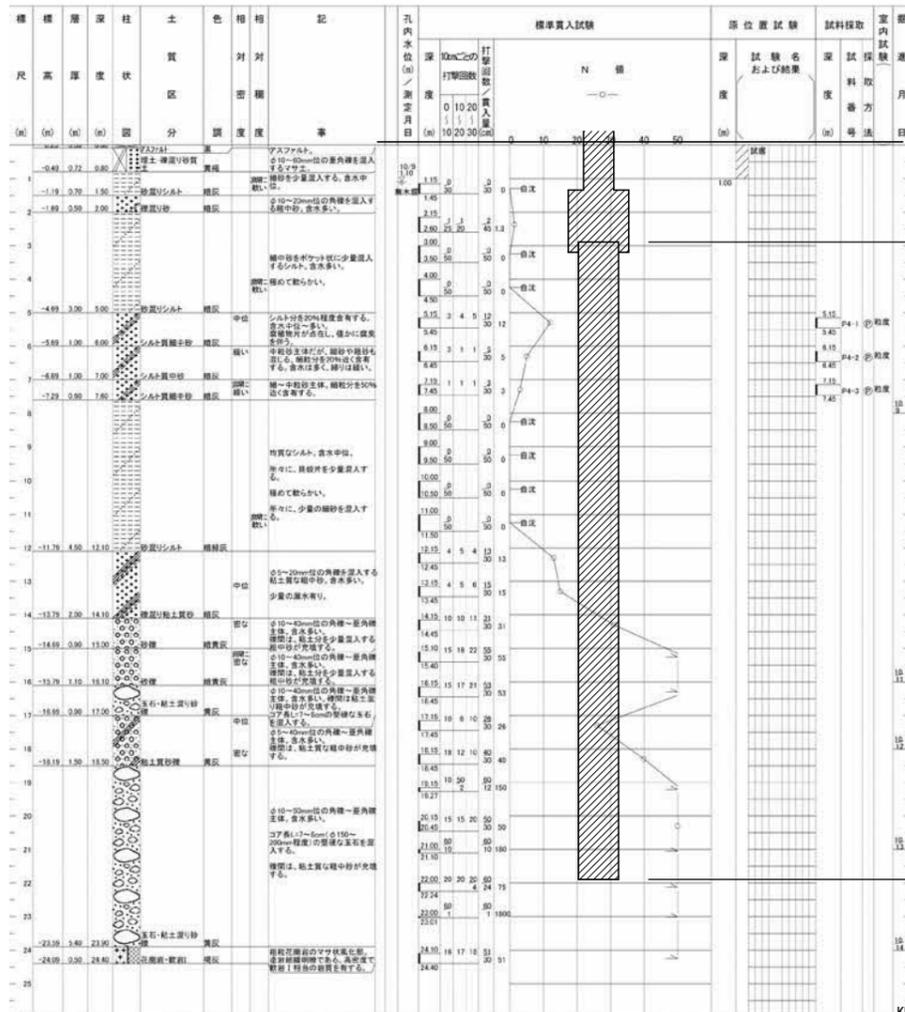
広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Design	市新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)	設計図	DATE	2022/9/20
SCALE	1/800	JOB	土質柱状図(1)	No.	S	005

ボーリング名 No.3	調査位置 広島県三原市宮沖一丁目外	北緯	東経
発注機関 三原市 都市部 建築課	調査期間 2021年10月25日～2021年10月29日	東経	
調査業者名 さくら建築設計株式会社	主任技師 系井 秀利	現場代理人 文谷 健二郎	コアラ 鑑定者 文谷 健二郎
ボーリング機 東邦D-1	ハンマー落下用具 半自動落下	ポンプ 東邦BG-3	
孔口標高 0.43m	角 180°	方 270°	地盤勾配 0°
総掘進長 24.00m	度 0°	向 180°	水頭 0°



ボーリング名 No.4	調査位置 広島県三原市宮沖一丁目外	北緯	東経
発注機関 三原市 都市部 建築課	調査期間 2021年10月9日～2021年10月14日	東経	
調査業者名 さくら建築設計株式会社	主任技師 系井 秀利	現場代理人 文谷 健二郎	コアラ 鑑定者 文谷 健二郎
ボーリング機 東邦D-1	ハンマー落下用具 半自動落下	ポンプ 東邦BG-3	
孔口標高 0.31m	角 180°	方 270°	地盤勾配 0°
総掘進長 24.00m	度 0°	向 180°	水頭 0°



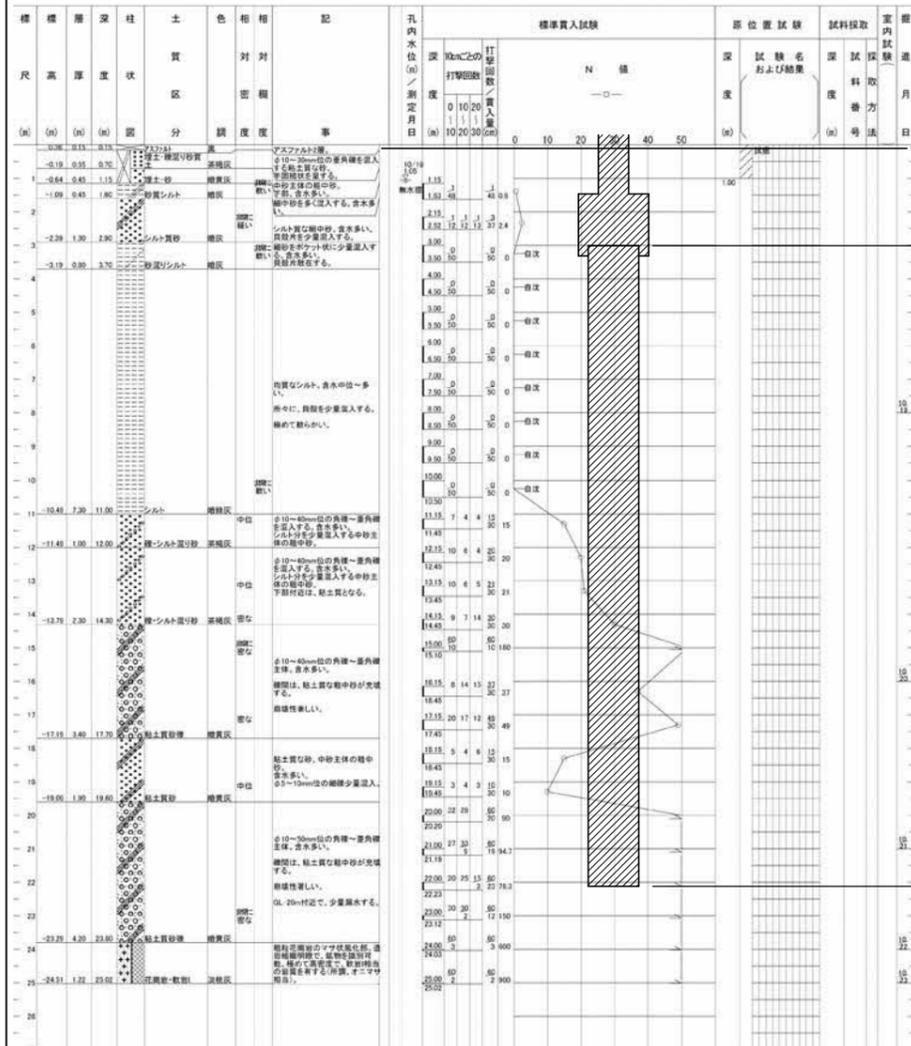
ボーリング位置図 S=1:800 ※設計GL=KBH+0.33(H=0.40)とする。
 ①: ボーリング位置

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

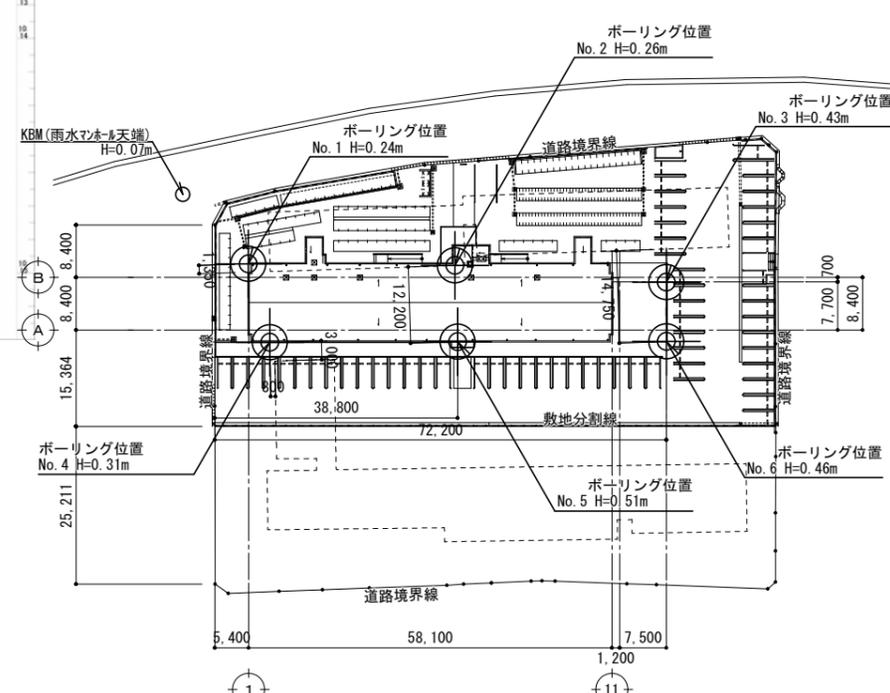
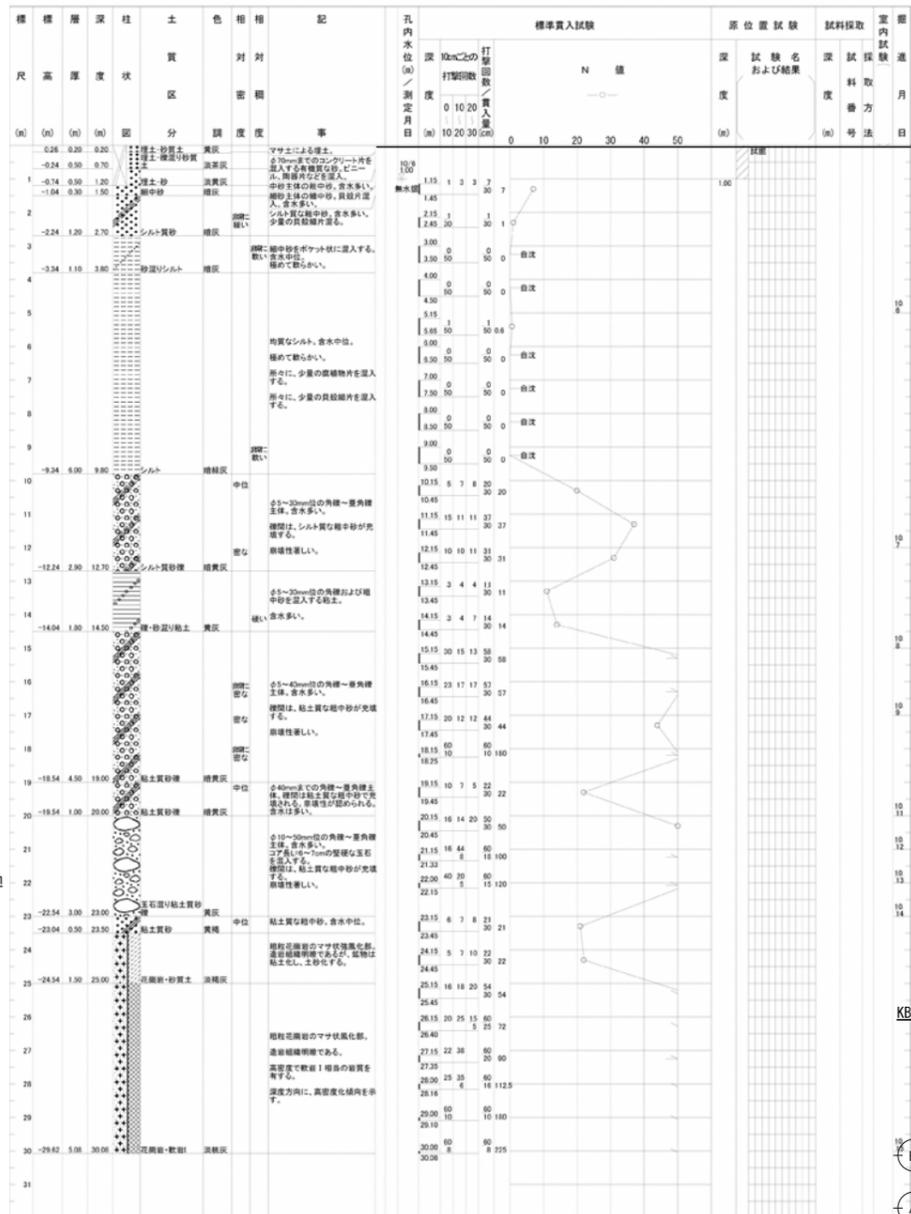
さくら建築設計株式会社
 広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21(1)第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked	一級建築士登録 第243707号	氏名	中島 義行
Drawn			
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)			
設計図	DATE	2022/9/20	
土質柱状図(2)		SCALE	JOB
		1/800	20080
No.	S	006	

ボーリング名	No.5	調査位置	広島県三原市宮沖一丁目外	北緯	° ° °
発注機関	三原市 都市部 建築課	調査期間	2021年10月19日～2021年10月23日	東経	° ° °
調査業者名	さくら建築設計株式会社 082-502-7720	主任技師	糸井 秀利	現場代理人	文谷 健二郎
孔口標高	0.51m	方位	北 0° 90° 東 西 270° 180° 南	地盤勾配	0° 水平
総掘進長	25.00m	度	0° 0'	試験機	東邦D-1
				エンジン	ヤンマー-NFD-12
				ポンプ	東邦BG-3



ボーリング名	No.6	調査位置	広島県三原市宮沖一丁目外	北緯	° ° °
発注機関	三原市 都市部 建築課	調査期間	2021年10月6日～2021年10月15日	東経	° ° °
調査業者名	さくら建築設計株式会社 082-502-7720	主任技師	糸井 秀利	現場代理人	文谷 健二郎
孔口標高	0.46m	方位	北 0° 90° 東 西 270° 180° 南	地盤勾配	0° 水平
総掘進長	30.00m	度	0° 0'	試験機	東邦D-1
				エンジン	ヤンマー-NFD-12
				ポンプ	東邦BG-3



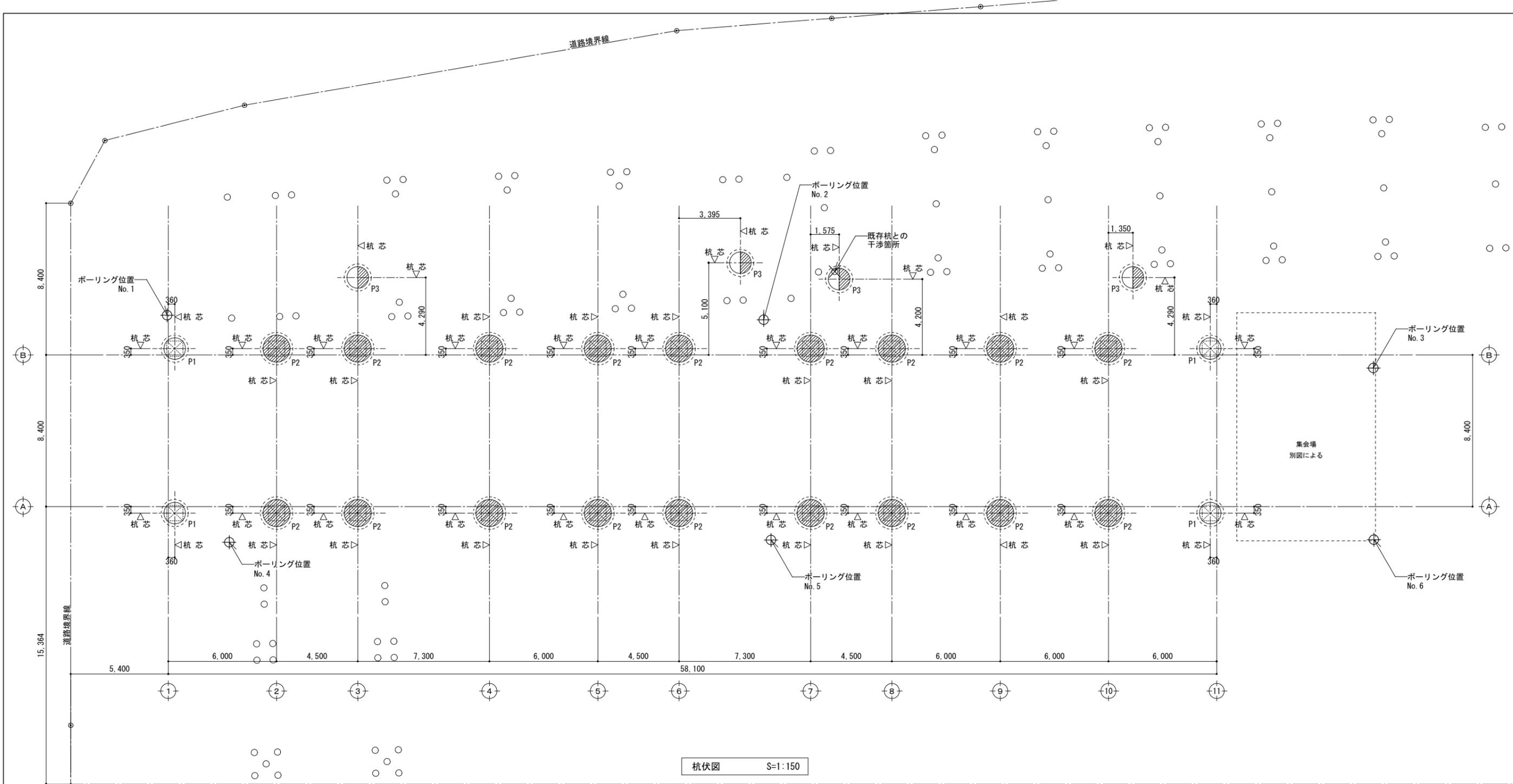
変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

さくら建築設計株式会社
SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked 一級建築士登録 第243707号
氏名 中島義行

市新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
土質柱状図(3)		SCALE	JOB	20080
		No.	S	007



杭伏図 S=1:150

杭リスト 場所打ち鋼管コンクリート杭

符号	記号	杭径	杭長期耐力 (kN/本)	本数	備考
P1	○	1,200-1,500	5,200	4	
P2	●	1,500-1,800	7,600	18	
P3	⊗	1,200-1,500	5,200	4	
合計				26	

【註記】 特記なき限り下記による
 杭天端は 設計GL-2.900 とする
 杭先端は 設計GL-22.00m とする
 施工時の杭芯のずれについては、杭位置を計測の上
 監理者に補強の有無を確認すること。
 ○ は 既存杭を示す
 ⊗ は 新設杭と干渉する既存杭を示す(1箇所)

一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良互

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

設計者	さくら建築設計 株式会社
監理者	一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康



さくら建築設計 株式会社

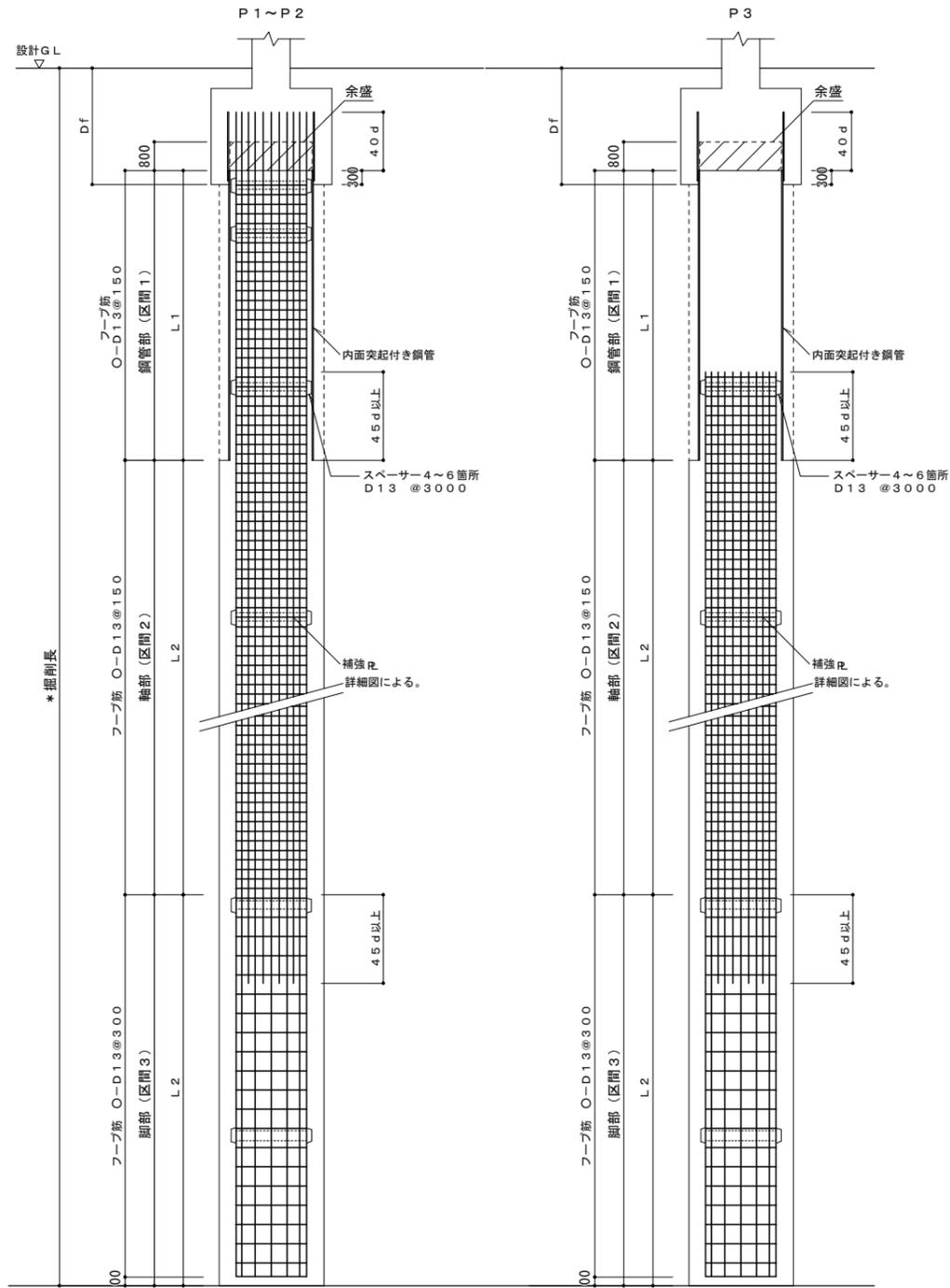
広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked 一級建築士登録 第243707号
 氏名 中島義行

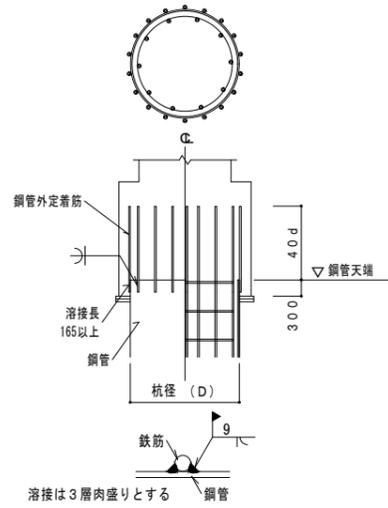
Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計日	DATE	2022/9/20
杭伏図		SCALE	JOB	20080
		1/150	No.	S 008

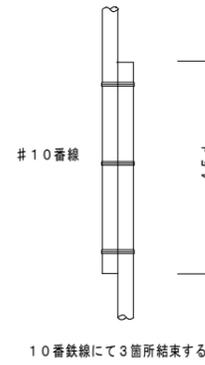
杭配筋要領図



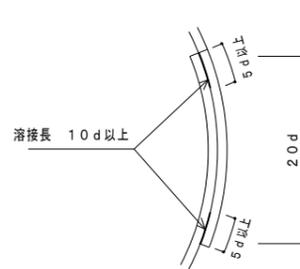
杭頭接合部詳細図



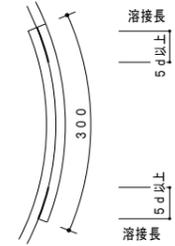
主筋継ぎ手要領



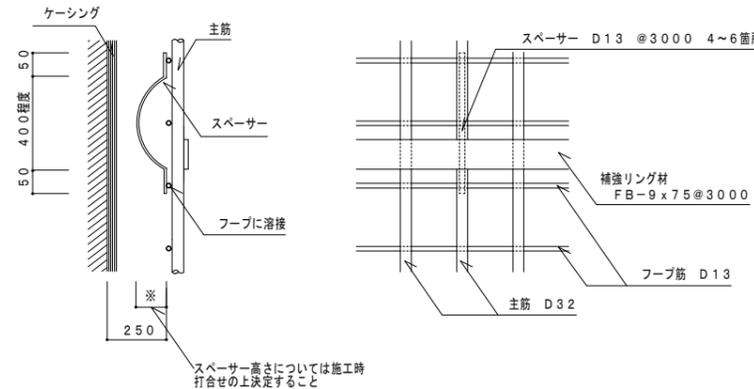
フープ筋継ぎ手要領



補強筋継ぎ手要領



スペーサー及び補強筋詳細図



場所打ち鋼管コンクリート杭工事仕様書

- 適用 建築工事共通仕様書（平成31年度版国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
- 工法 オールケーシング（振動または全周回転）工法併用
（財）日本建築センター 評定杭工法とする
場所打ち鋼管コンクリート杭工法
KCTB : BCJ-FD0356-08
施工業者 日本建築センターにおいて評定を受けた業者とし、責任施工とする。
杭の形状・施工要領は評定にもとづくものとする。
施工計画 施工に先だち施工計画書を作成し、監督係員の承認を受けること。
管理技術者 杭施工中は基礎施工士（社団法人日本基礎建設協会）を常駐させ管理すること。

- 使用材料

コンクリート	普通コンクリート : FC27N/mm ² (高炉セメントB種可とする。) (コンクリート管理材齢28日)
水セメント比	: 55%以下
所要スランプ	: 18cm
単位セメント量	: 340kg/m ³ 以上
所要空気量	: 4~6%
骨材の最大寸法	: 25mm以下 (碎石の場合は20mm以下)
鉄筋	主筋 : SD390(D32) フープ筋 : SD295 補強材 : SS400 スペーサー : SD295
鋼管	: JISA 5525 SKK490-1R

- 掘削工事
 - 掘削位置は、図示通り正しく芯出しを行い、掘削機芯と杭芯を一致させて掘削を開始する。
 - 掘削が所定の深度に達した場合は、地質調査資料との比較から地盤構成に大きな違いがない事を確認した後、監督員の承認を受け掘削終了とする。なお、支持層の試料は各杭ごとに採取し、保存すること。
- 鉄筋加工
 - 主筋の継手は重ね継手とし、継手長さは4.5d以上とする。
 - 鉄筋の組立方法は、鉄筋かごの形状を保持できる物とし事前に監督員の承認を得ること。主筋と組立筋はアーク溶接とし、主筋とフープ筋は番線にて結束する。フープ筋の継手は重ね継手2.0dとし、片面1.0d以上アーク溶接する。組立完了後、監督員の検査を受けること。
 - 鉄筋の挿入は静かに行い、変形、破損しないように所定の位置に建て込むこと。
 - 鉄筋の組立に於いてアーク溶接は鉄筋の断面欠損を生じない様充分注意する。
- コンクリート工事
 - コンクリート打設はスライム処理後速やかに実施する。(スライム処理方法は計画書に記載し承認を受けること。)
 - コンクリート打設はトレミー工法とし、底ぶた又はブランジャーを必ず使用すること。トレミーパイプの先端はコンクリート上面より2m以上下部にあるように調整し、連続的に打設すること。
 - コンクリート打設は杭頭位置より0.8m以上余盛を行う。
 - 構造体補正強度は、評定内容に準拠する。

杭カゴ筋先端浮き上がり防止筋

一級建築士 第219563号
構造一級建築士 第5499号
岡本 良互

	変更日・・・変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE	<p>さくら建築設計 株式会社</p>	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21(1)第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Draft 市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)	設計図	DATE	2022/9/20
	SCALE	JOB	20080							
杭施工要領図								No.	S	009

符号	P1	P2	P3
杭径 (D)	1200	1500	1200
断面			
鋼管	○-1200×9	○-1500×9	○-1200×9
鋼管外定着筋	16-D35	22-D35	22-D35
主筋	12-D32	14-D32	-
杭径 (D)	1200	1500	1200
断面			
鋼管	○-1200×9 (鋼管長さL1= 5.0 m)	○-1500×9 (鋼管長さL1= 5.0 m)	○-1200×9 (鋼管長さL1= 5.0 m)
主筋	12-D32	14-D32	-
フープ筋	○-D13@150	○-D13@150	○-D13@150
杭径 (D)	1500	1800	1500
断面	(軸部長さL2= 7.5 m) 	(軸部長さL2= 9.0 m) 	(軸部長さL2= 7.5 m)
主筋	18-D32	20-D32	18-D32
フープ筋	○-D13@150	○-D13@150	○-D13@150
杭径 (D)	1500	1800	1500
断面	(脚部長さL3= 6.6 m) 	(脚部長さL3= 5.1 m) 	(脚部長さL3= 6.6 m)
主筋	18-D32	20-D32	9-D32
フープ筋	○-D13@300	○-D13@300	○-D13@300

一級建築士 第219563号
構造一級建築士 第5499号
岡本 良互

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△	/		凡例
△	/		
△	/		

さくら建築設計
株式会社

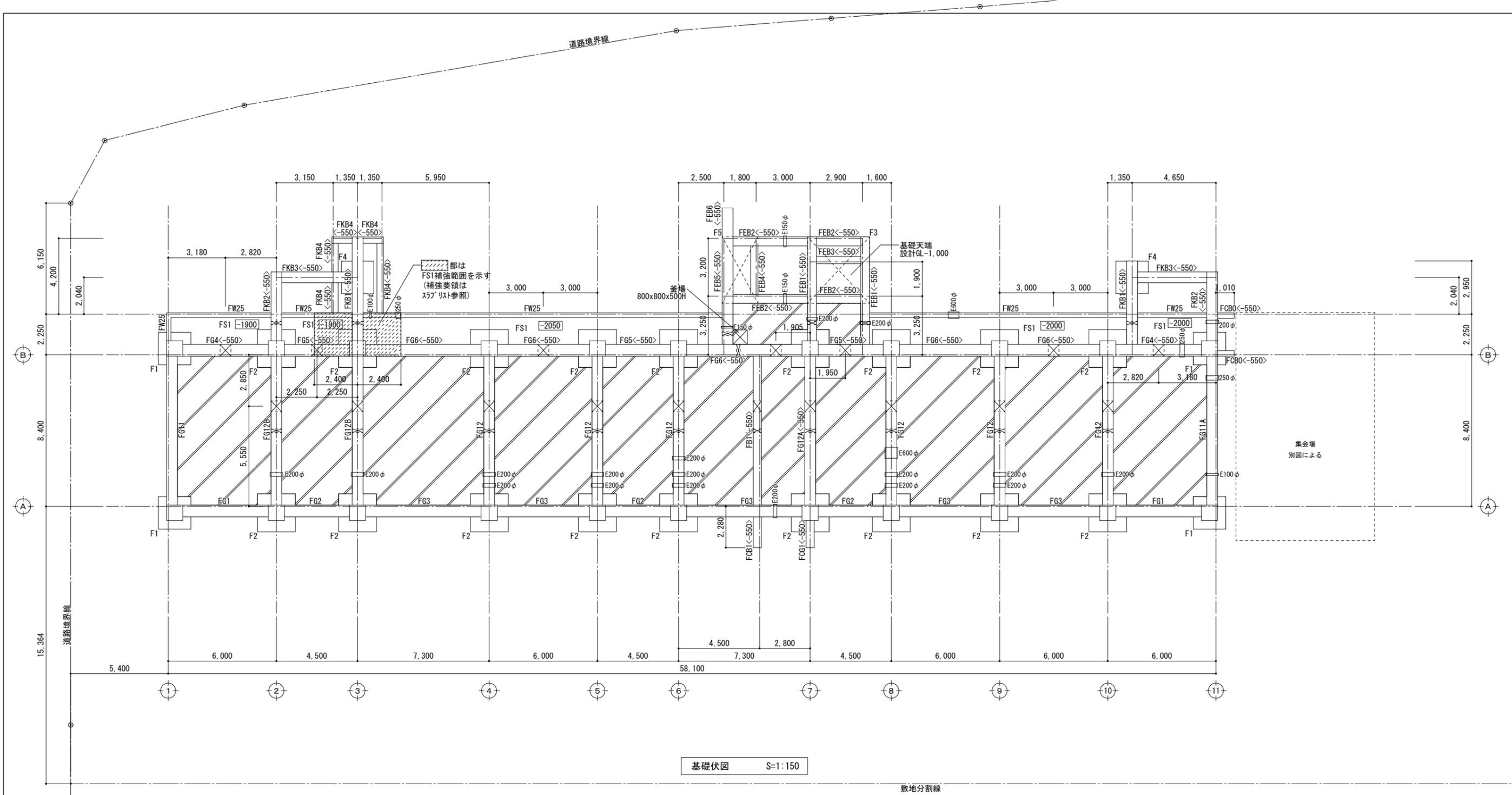
SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drafter

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
杭リスト		SCALE	JOB	20080
		1/50	No.	010
		S		



基礎伏図 S=1:150

敷地分割線

集会場
別図による

- [註記] 特記なき限り下記による
- 1SL=設計GL +340 とする
 - 基礎梁天端レベルは 設計GL-250 を示す
 - < > は 設計GLからの梁天端レベル を示す
 - 基礎下端は 設計GL-3,200 とする
 - 基礎天端は 設計GL-1,350 とする
 - [] は 設計GLからの基礎下端レベル を示す
 - + *** は 設計GLからの床天端レベル を示す
 - 打継部には止水板を設置すること
- は 増し打ち を示す
 - は 人通孔600φ を示す
 - (在来工法の貫通孔補強要領は基礎梁リスト参照)
 - は 排水連通管 W200x100 を示す
 - ***φ は スラブ位置及び径 を示す
 - は 土間コンクリート を示す
 - (t=150 D10@150 シング'約取) 土間天端は意匠図による

一級建築士 第219563号
構造一級建築士 第 5499号
岡本 良亘

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

さくら建築設計
株式会社

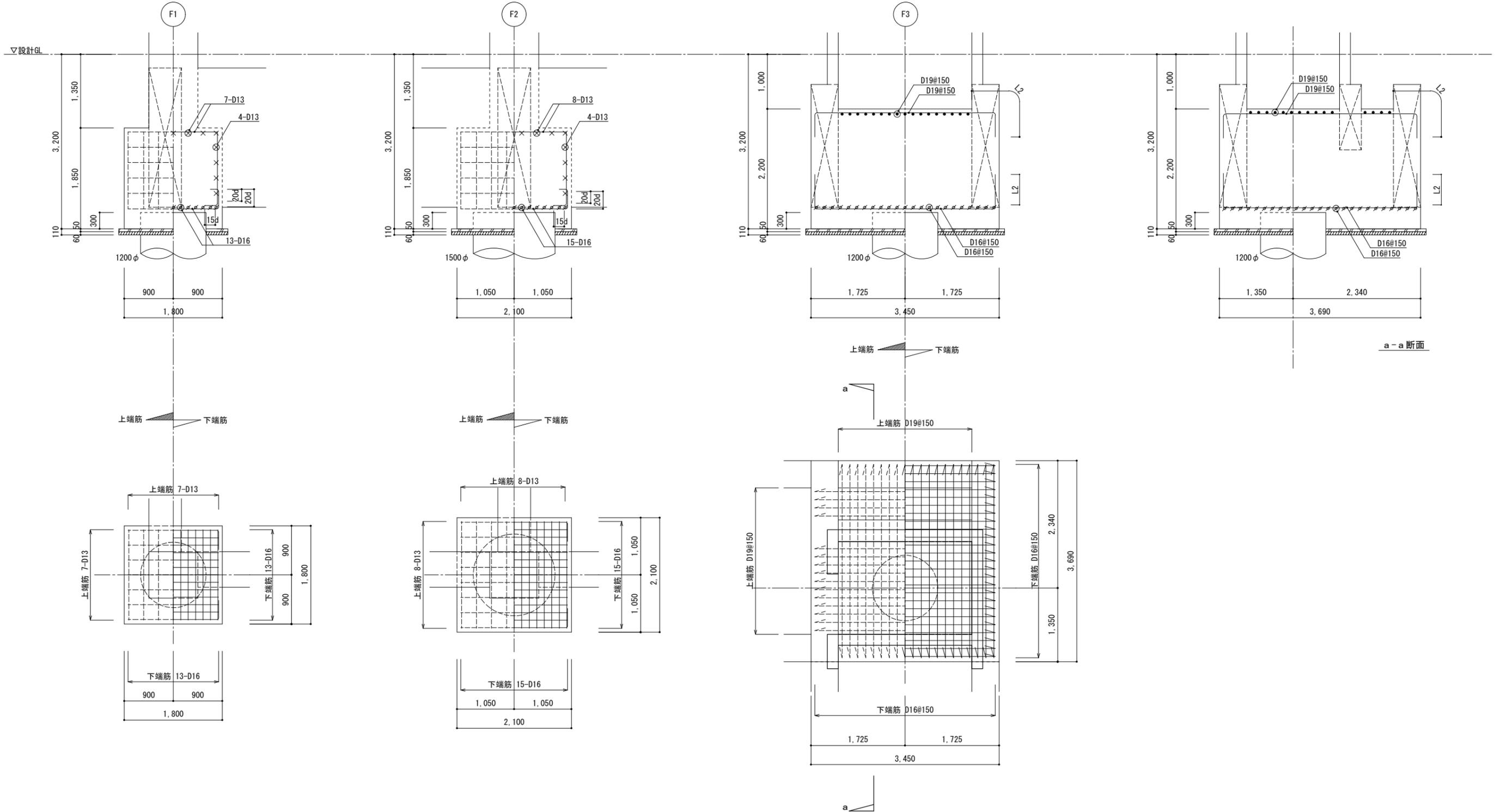
SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
基礎伏図		SCALE	JOB	20080
		1/150	No.	S 011



一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良互

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

設計図	DATE	2022/9/20
SCALE	JOB	20080
1/50	No.	S 012



さくら建築設計
 株式会社

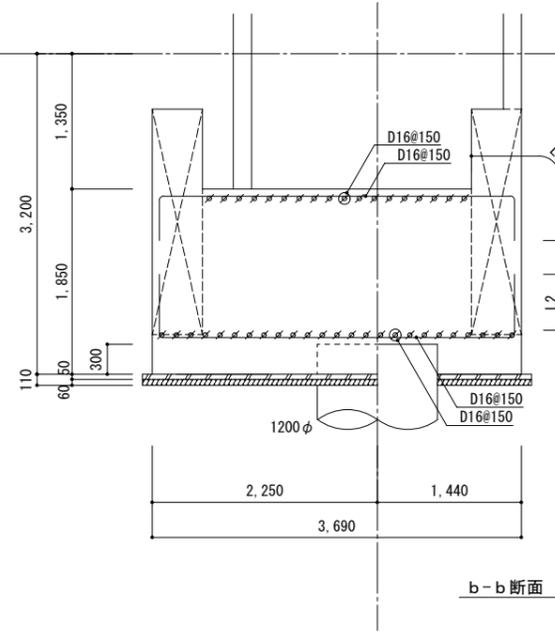
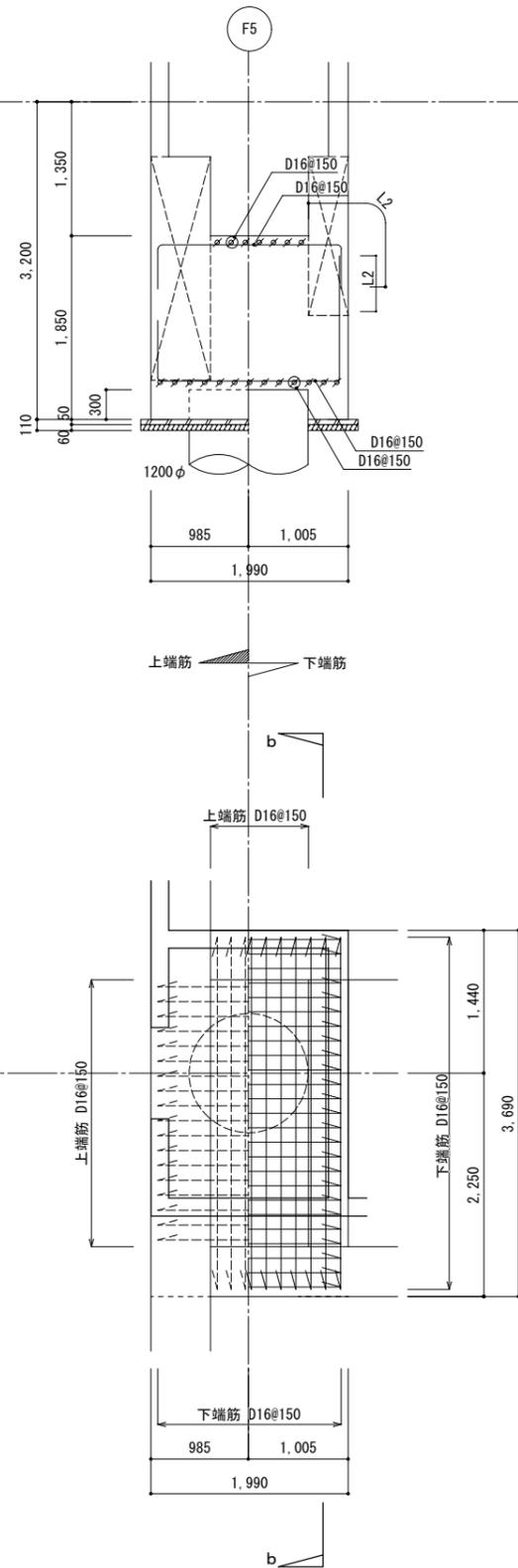
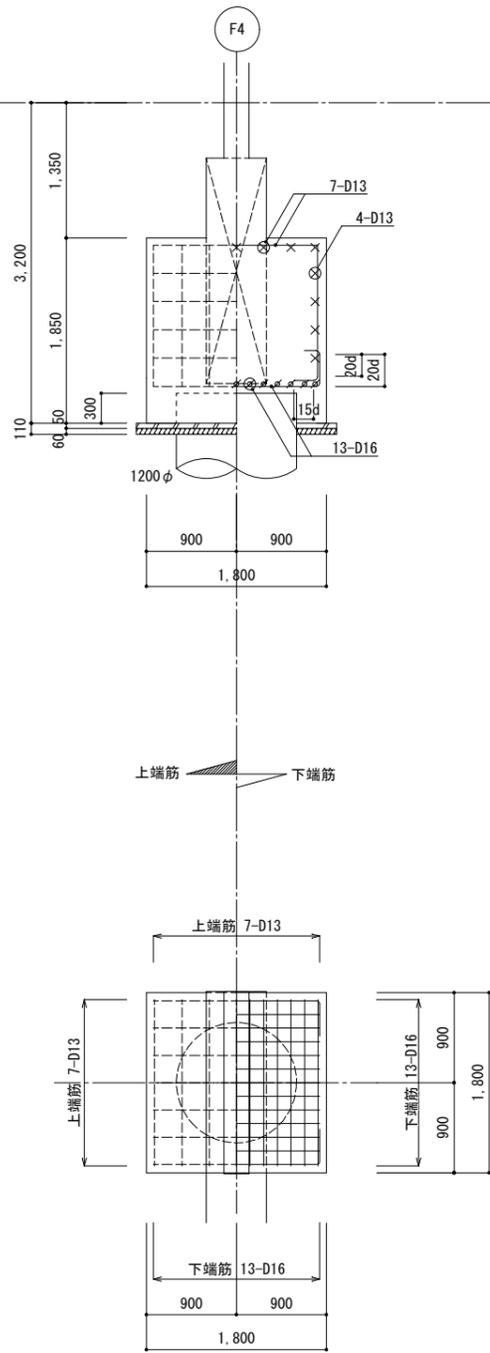
広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21(1)第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)
 基礎リスト(1)

▽設計GL



b-b 断面



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△	/		凡例
△	/		
△	/		

NOTE
凡例



さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

基礎リスト(2)

一級建築士 第219563号
構造一級建築士 第5499号
岡本 良互

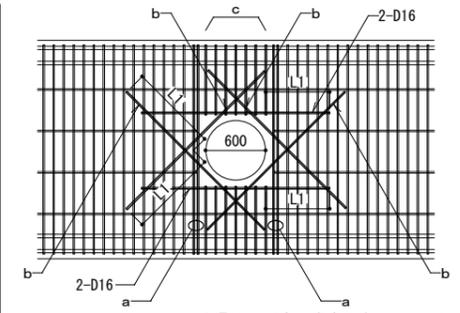
設計図	DATE	2022/9/20
SCALE	JOB	20080
1/50	No.	S 013

基礎梁リスト S=1:50

特記なき限り下記に依る
 ・幅止め筋・受け筋は B<900 の時、D10@1000内
 B≥900 の時、D13@1000内とする。

符号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG5	FG6	FG11	FG11A	FG12	FG12A	FG12B	
断面名	全断面	A端・中央	B端	全断面	A端・中央	B端						
▽設計GL												
断面												
B x D	650x2550	650x2550	650x2550	650x2250	650x2250	650x2250	600x2550	600x2550	600x2550	600x2250	600x2550	
上端筋	10-D32	10-D32	10-D32	11-D32	11-D32	11-D32	5-D29	5-D32	5-D29	5-D29	5-D32	
下端筋	10-D32	10-D32	10-D32	11-D32	11-D32	11-D32	5-D29	5-D32	5-D29	5-D29	5-D32	
スターラップ	□ D13@125	□ D13@125	□ D13@150	□ D13@125	□ D13@100	□ D13@125	□ D13@200					
腹筋	12-D13											

人通孔補強要領図(在来工法)

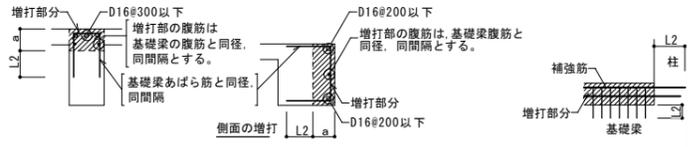


・人通孔600φ部の在来工法について、人通孔補強筋配筋表 在来工法による補強の場合を示す

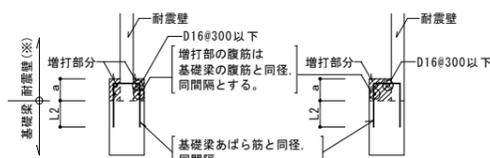
符号	a	b	c
FG4	3-□-D13	5-D25	□-D13@125
FG5	4-□-D16	5-D29	□-D13@100
FG6	3-□-D13	5-D25	□-D13@125
FG12	2-□-D13	2-D16	□-D13@200
FG12A	2-□-D13	2-D16	□-D13@200
FG12B	2-□-D13	2-D16	□-D13@200
FB1	2-□-D13	2-D16	□-D13@200

基礎梁 増打コンクリート補強筋要領図

梁の増打補強筋は下図により、増打幅 (a) が70mm以上の場合に適用する。
 なお、小梁、耐力壁及びスラブの鉄筋の定着長さは、増打部分を除いて算定する。
 (a < 70mmの場合 補強筋なし)

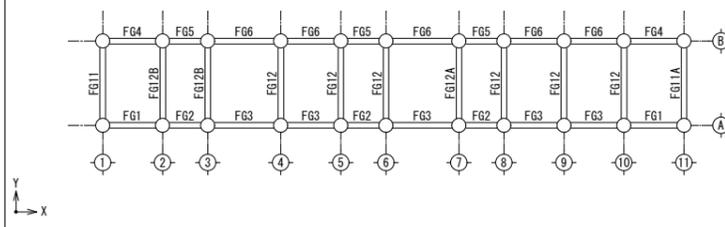


<耐震壁>



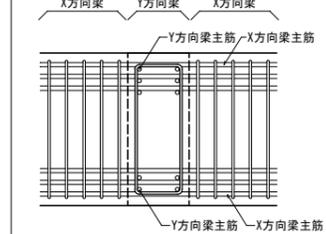
※耐震壁の配筋は梁上からとする

キープラン



基礎大梁主筋配置要領図

主筋が直交梁と干渉する場合は下図による。



基礎小梁リスト S=1:50

特記なき限り下記に依る
 ・幅止め筋・受け筋は B<900 の時、D10@1000内
 B≥900 の時、D13@1000内とする。

符号	FB1	FCG1	FCB0	FCB1	FKB1	FKB2	FKB3	FKB4	FEB1	FEB2	FEB3	FEB4	FEB5	FEB6	
断面名	両端	中央	全断面												
▽設計GL															
断面															
B x D	450x2000	450x800	450x800	300x650	450x800	600x2250	600x2250	600x2250	350x800	500x2250	500x2250	400x1200	400x1600	600x2250	600x2250
上端筋	4-D25	4-D25	3-D29	2-D19	4-D25	8-D32	8-D32	8-D32	4-D19	6-D29	6-D29	5-D29	5-D29	8-D32	4-D32
下端筋	4-D25	7-D25	3-D29	2-D19	3-D25	8-D32	8-D32	8-D32	4-D19	6-D29	6-D29	5-D29	5-D29	8-D32	3-D32
スターラップ	□ D13@200	□ D13@200	□ D13@200	□ D10@200	□ D13@200	□ D13@150	□ D13@150	□ D13@150	□ D10@200	□ D13@200	□ D13@200	□ D13@200	□ D13@200	□ D13@150	□ D13@150
腹筋	10-D13	7-D25	2-D10	2-D10	2-D10	12-D13	12-D13	12-D13	2-D10	12-D13	12-D13	6-D10	8-D13	12-D13	12-D13

一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良直

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例



さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

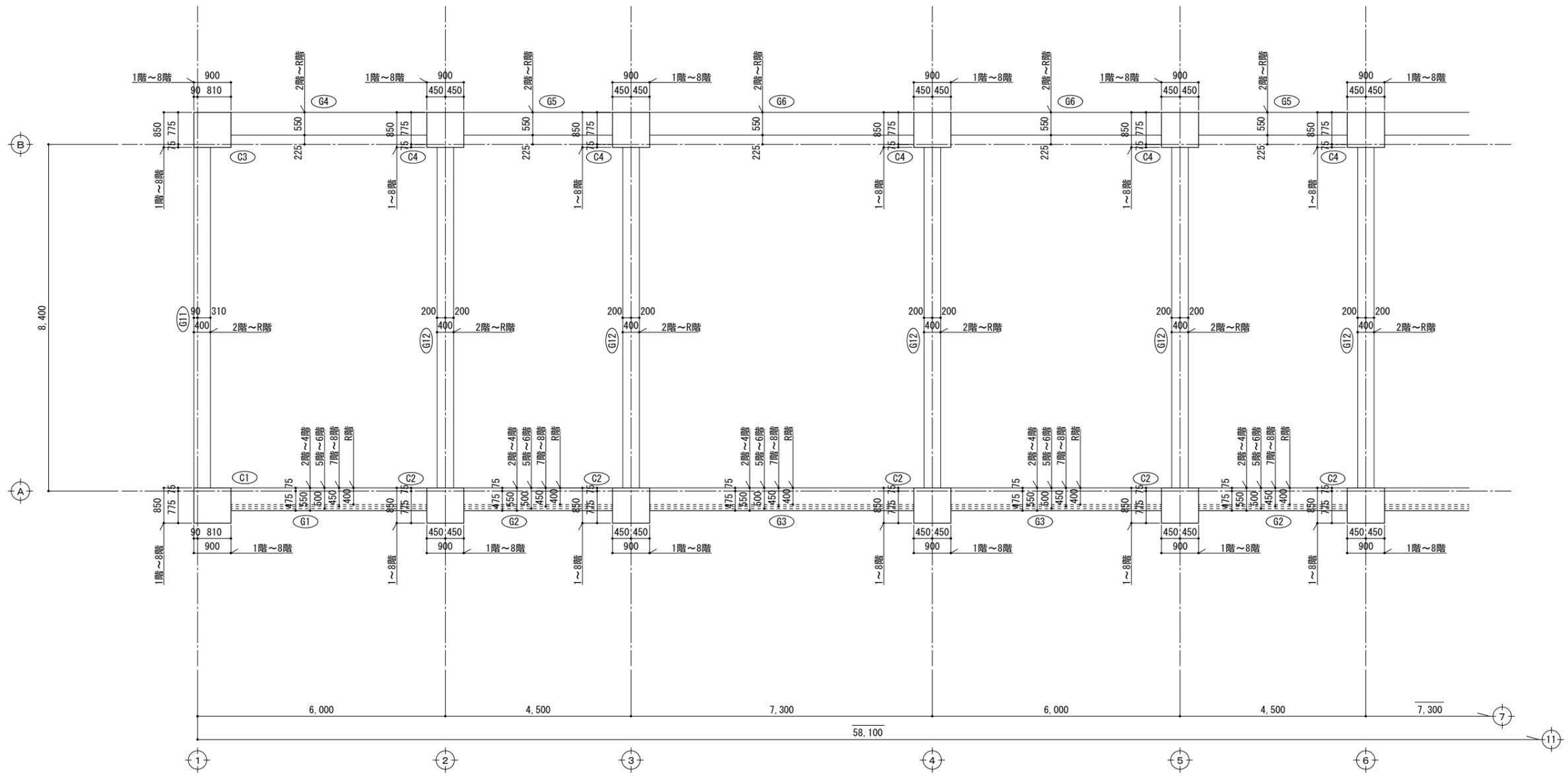
Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

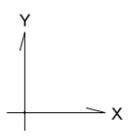
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

基礎梁、基礎小梁リスト

設計図	DATE	2022/9/20
SCALE	JOB	20080
No.	S	014

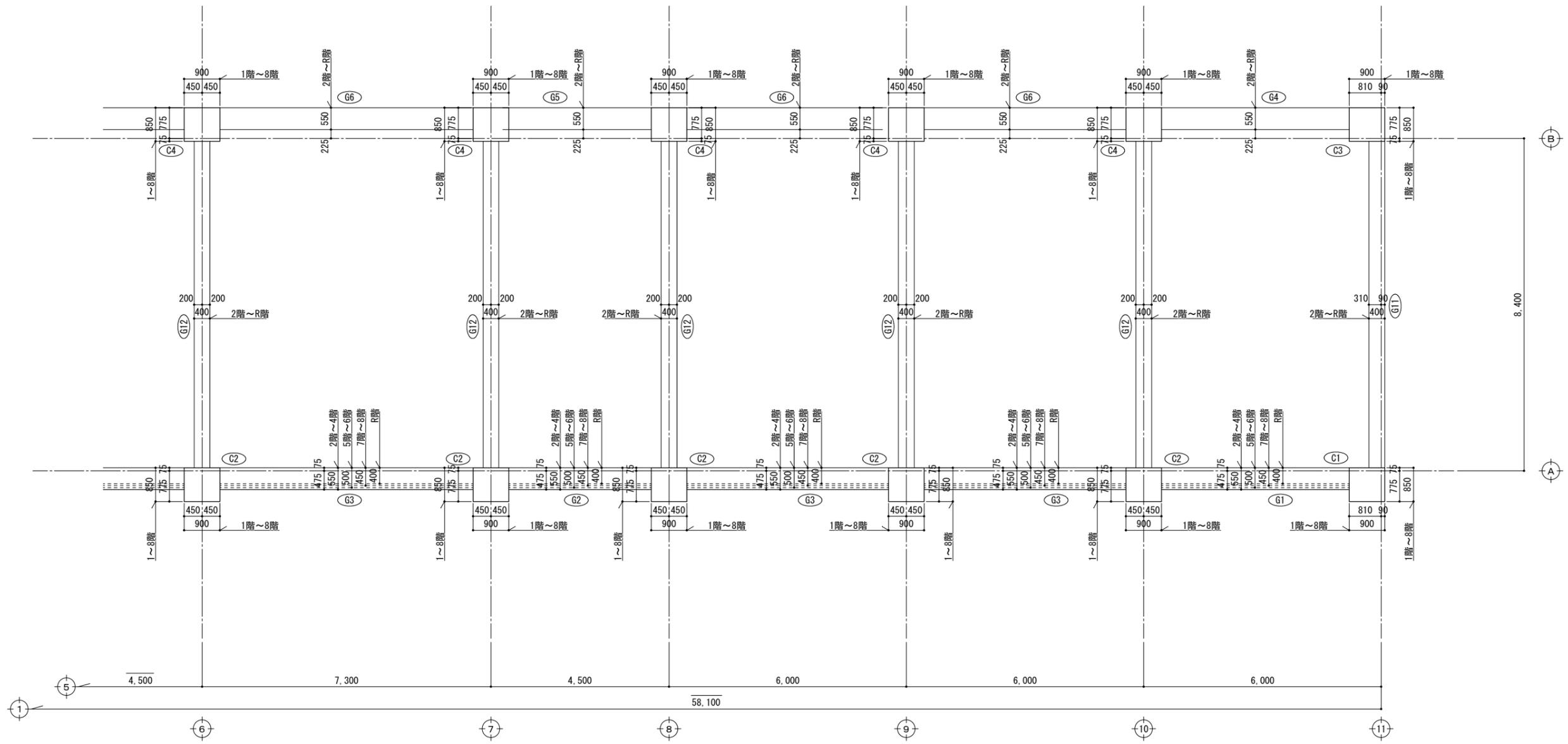


柱芯線図(1) S=1:80



一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良互

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE	さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)	設計図	DATE	2022/9/20
	△	凡例			Drawn			SCALE	JOB	20080
	△							1/80	No.	S



柱芯線図(2) S=1:80

一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良互

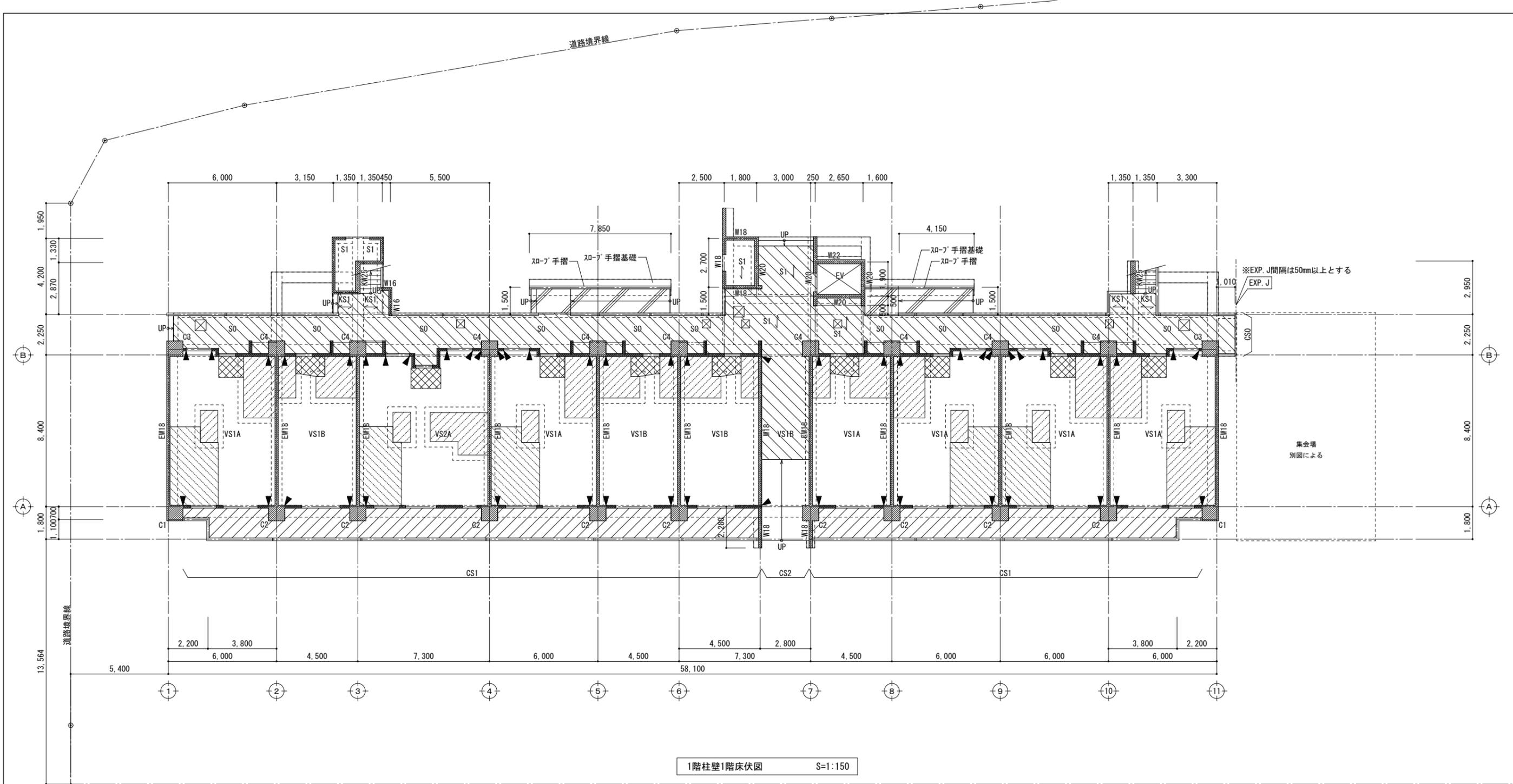
	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE
	△	凡例
	△	

さくら建築設計
 株式会社
 SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
柱芯線図(2)		SCALE	JOB	20080
1/80	No.	S	016	



1階柱壁1階床伏図 S=1:150

[註記] 特記なき限り下記による

////	は W15 を示す	□	は 1SL±0 を示す
1SL=設計GL +340 とする		▨	は 1SL-15 を示す (和室)
床天端レベルは 1SL±0 を示す		▧	は 1SL-10~-40 を示す (ハルコ)
図中の ▲ は構造スリット(鉛直)を示す		▩	は 1SL-20~-60 を示す (開放廊下)
図中の ▨ は水平スリット範囲を示す		▤	は 1SL-60 を示す (玄関)
図中の ⇨ は主筋方向を示す		▥	は 1SL-175 を示す (水廻り)
図中の ⊠ は点検口を示す		+***	は 1SLからの床天端レベルを示す
		▩	は 土間コンクリートを示す (t=150 D10@200 シックメッシュ)

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----

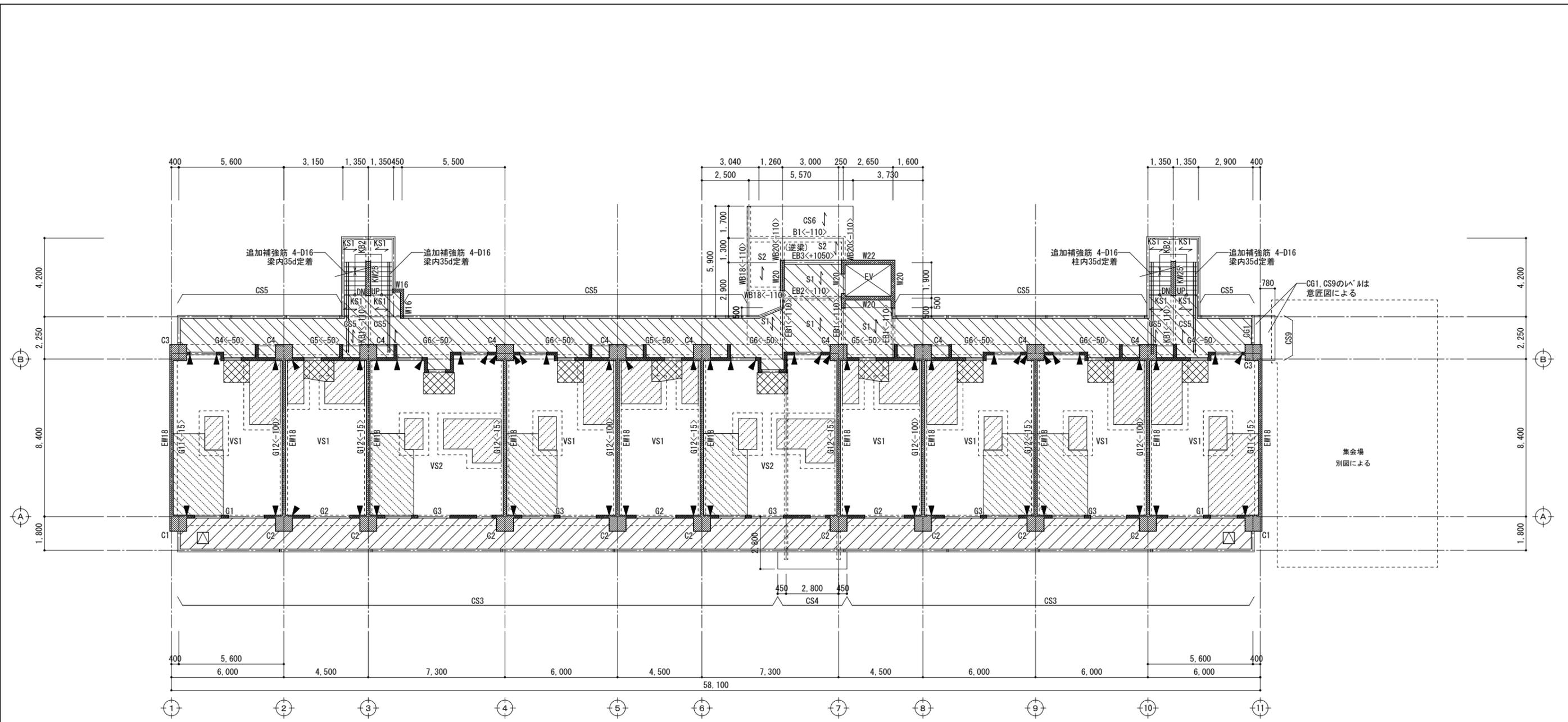
さくら建築設計
株式会社

SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

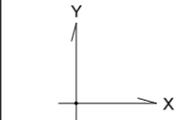
Checked 一級建築士登録 第243707号
氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
1階柱壁1階床伏図		SCALE	JOB	20080
		No.	S	017



2階柱壁2階梁床伏図 S=1:150

- [註記] 特記なき限り下記による
- //// は W15 を示す
 - 梁天端レベルは SL-30 を示す
 - < > は SLからの梁天端レベル を示す
 - 床天端レベルは SL±0 を示す
 - 図中の ← は主筋方向を示す
 - ▨ は 増し打ち を示す
 - 図中の △ は構造スリット(鉛直)を示す
 - 図中の ■ は水平スリット範囲を示す
 - 図中の □ は避難ハッチを示す
 - は SL±0 を示す
 - ▨ は SL-15 を示す (和室)
 - ▨ は SL-10~40 を示す (バルコニー)
 - ▨ は SL-20~60 を示す (開放廊下)
 - ▨ は SL-60 を示す (玄関)
 - ▨ は SL-175 を示す (水廻り)



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

一級建築士 第219563号 構造一級建築士 第5499号 岡本 良亘

さくら建築設計
株式会社

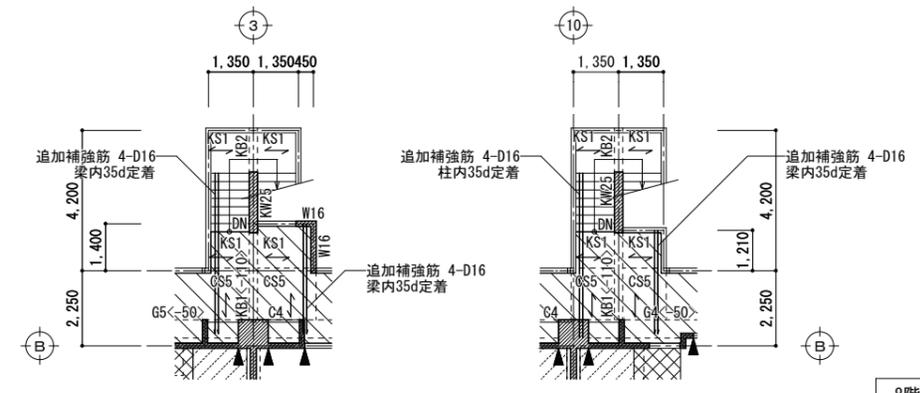
SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

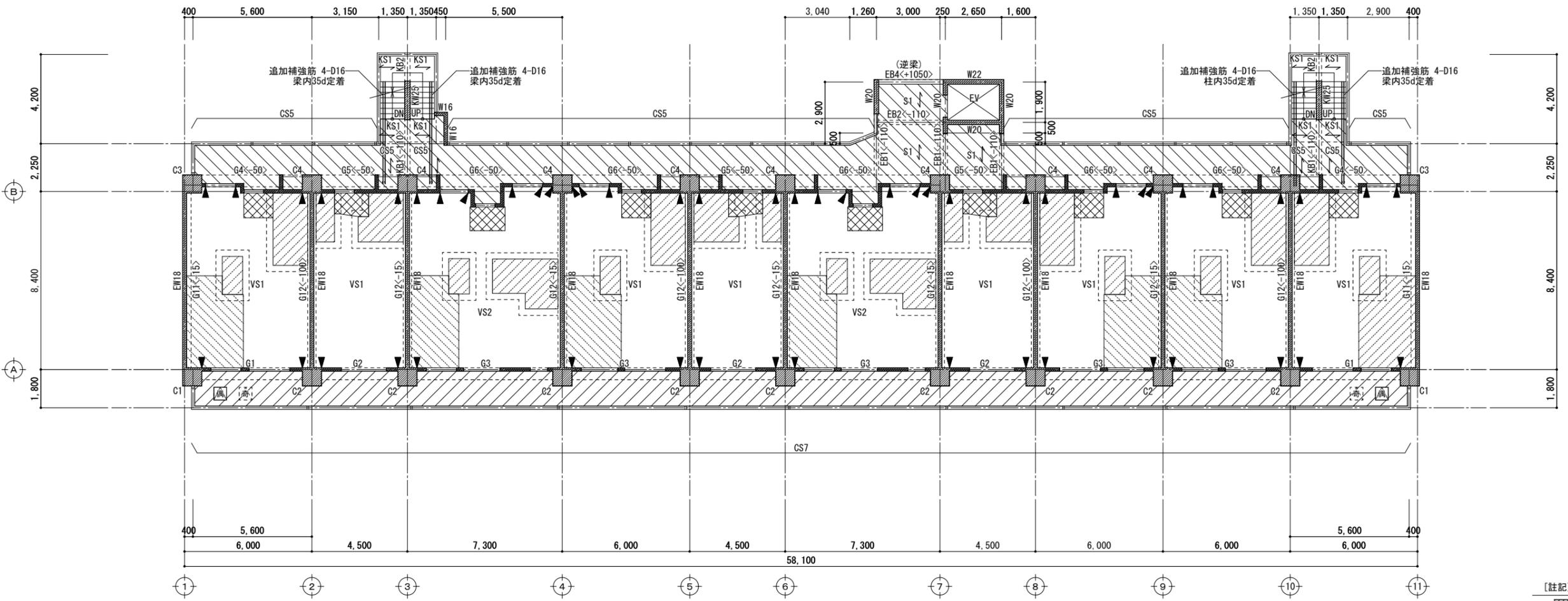
Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
2階柱壁2階梁床伏図		SCALE	JOB	20080
		No.	S	018



8階階段廻り伏図 S=1:150



3~8階柱壁3~8階梁床伏図 S=1:150

- [註記] 特記なき限り下記による
- //// は W15 を示す
 - 梁天端レベルは SL-30 を示す
 - < > は SLからの梁天端レベル を示す
 - 床天端レベルは SL±0 を示す
 - 図中の ← は主筋方向を示す
 - ⊗ は 増し打ち を示す
 - △ は 構造スリット(鉛直)を示す
 - は 水平スリット範囲を示す
 - ▽ は 避難ハッチを示す
 - は SL±0 を示す
 - ▨ は SL-15 を示す (和室)
 - ▧ は SL-10~-40 を示す (ハコ)
 - ▩ は SL-20~-60 を示す (開放廊下)
 - は SL-60 を示す (玄関)
 - は SL-175 を示す (水廻り)

一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第 5499号
 岡本 良真

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

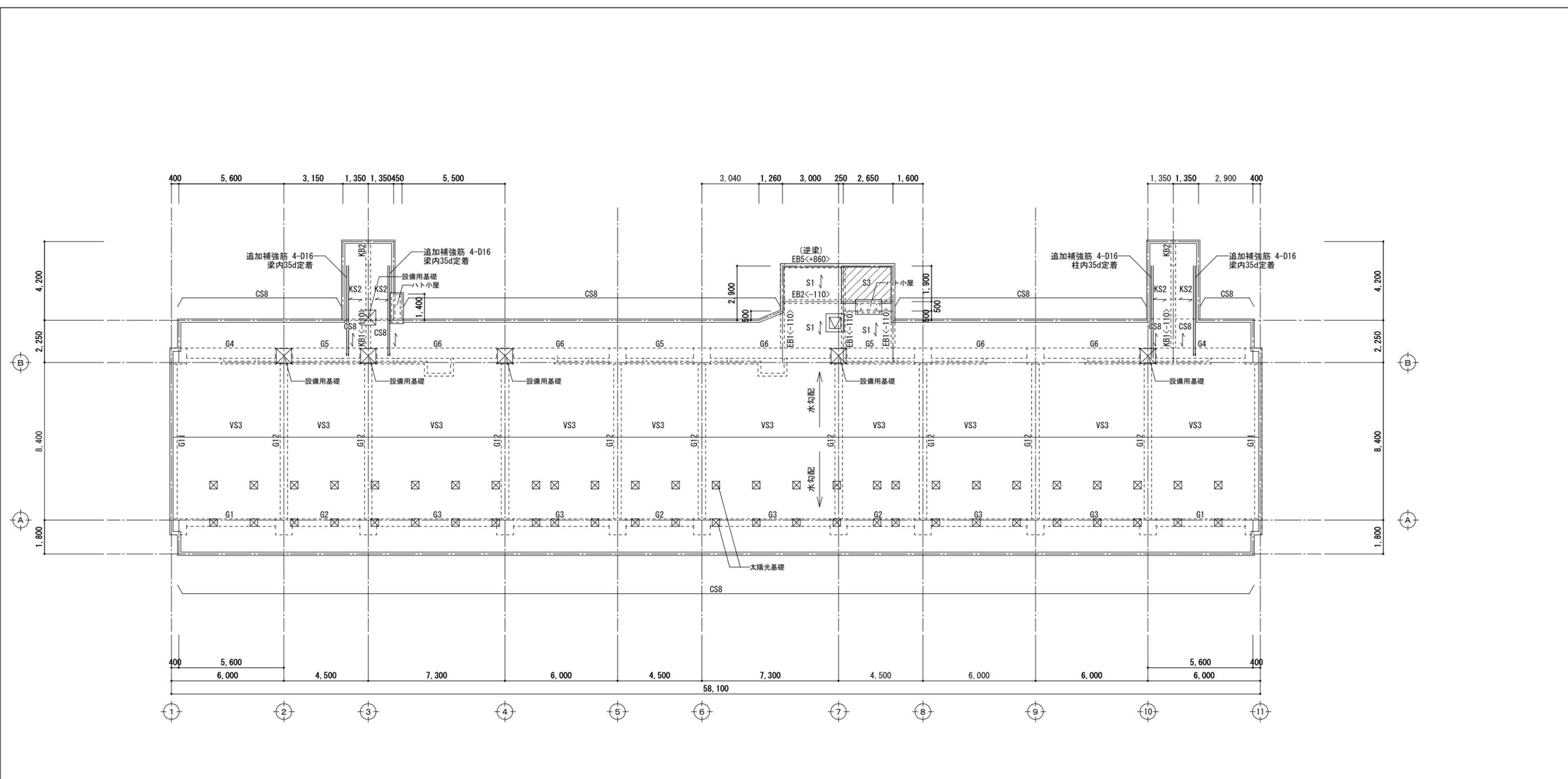
Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行
Drawn	

さくら建築設計
 株式会社
 SAKURA Architects Co., Ltd.

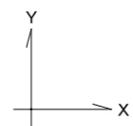
広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)
 設計図 2022/9/20
 3~8階柱壁3~8階梁床伏図
 SCALE 1/150
 No. S 019

設計図	DATE	2022/9/20
SCALE	JOB	20080
No.	S	019



R階梁床伏図 S=1:150



【註記】 特記なき限り下記による
 梁天端レベルは RSL±0 を示す
 < > は RSLからの梁天端レベル を示す
 床天端レベルは RSL±0 を示す
 // は RSL+330 を示す
 図中の ← は主筋方向を示す

一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第 5499号
 岡本 良互

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)	設計図	DATE	2022/9/20
R階梁床伏図	SCALE	JOB	20080
	1/150	No.	S 020

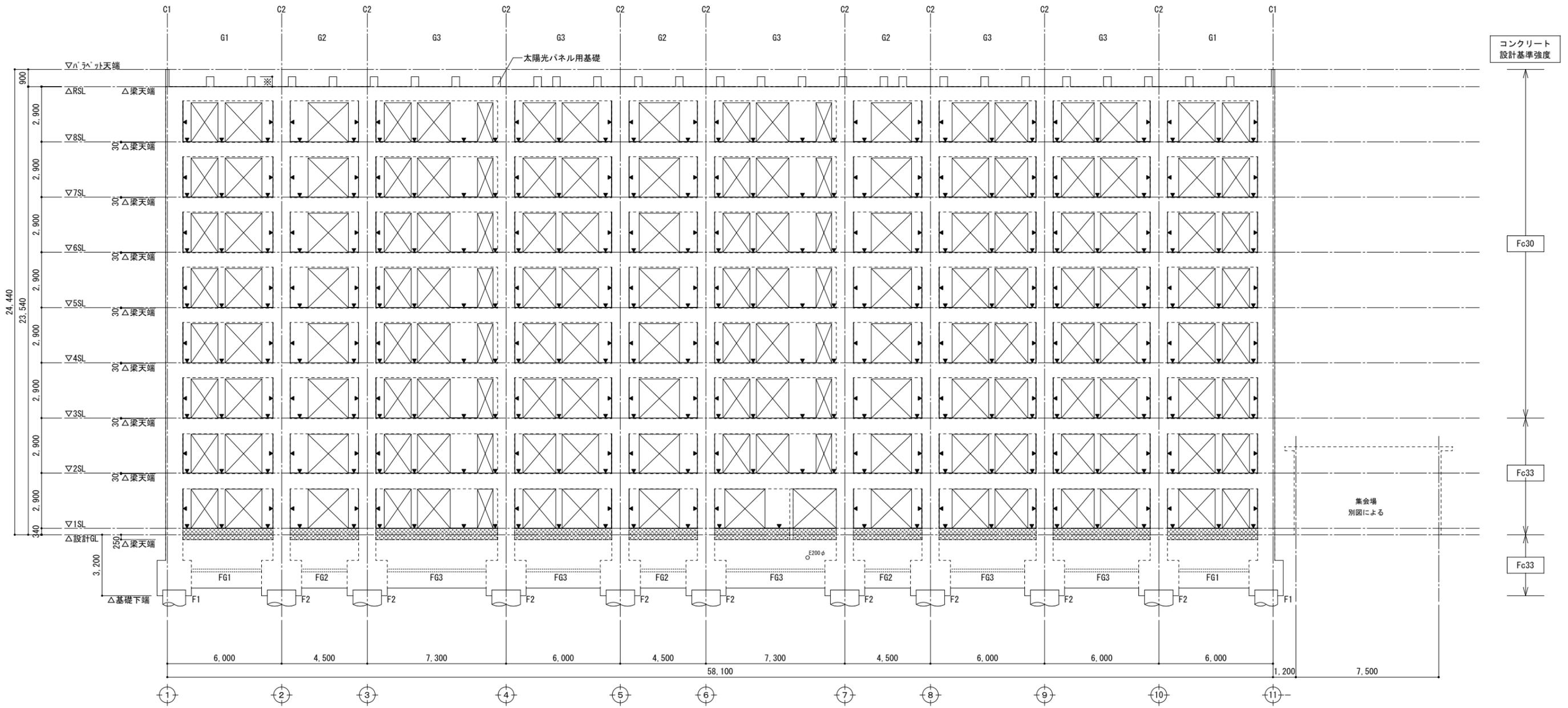
さくら建築設計
 株式会社
 SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)	設計図	DATE	2022/9/20
R階梁床伏図	SCALE	JOB	20080
	1/150	No.	S 020



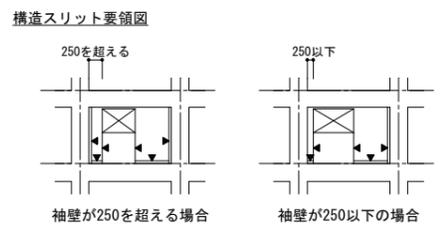
コンクリート
設計基準強度

Fc30

Fc33

Fc33

A 通り軸組図 S=1:150



【註記】 特記なき限り下記による
 壁は W15 を示す
 ◀ は 構造スリット位置を示す
 ◻◻◻ は 増打を示す
 施工時、コンクリート呼び強度は J I S 規格品を使用する。
 設計GLと平均地盤面の関連は意匠図による。
 ※部の寸法は意匠図による。

一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良互

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			



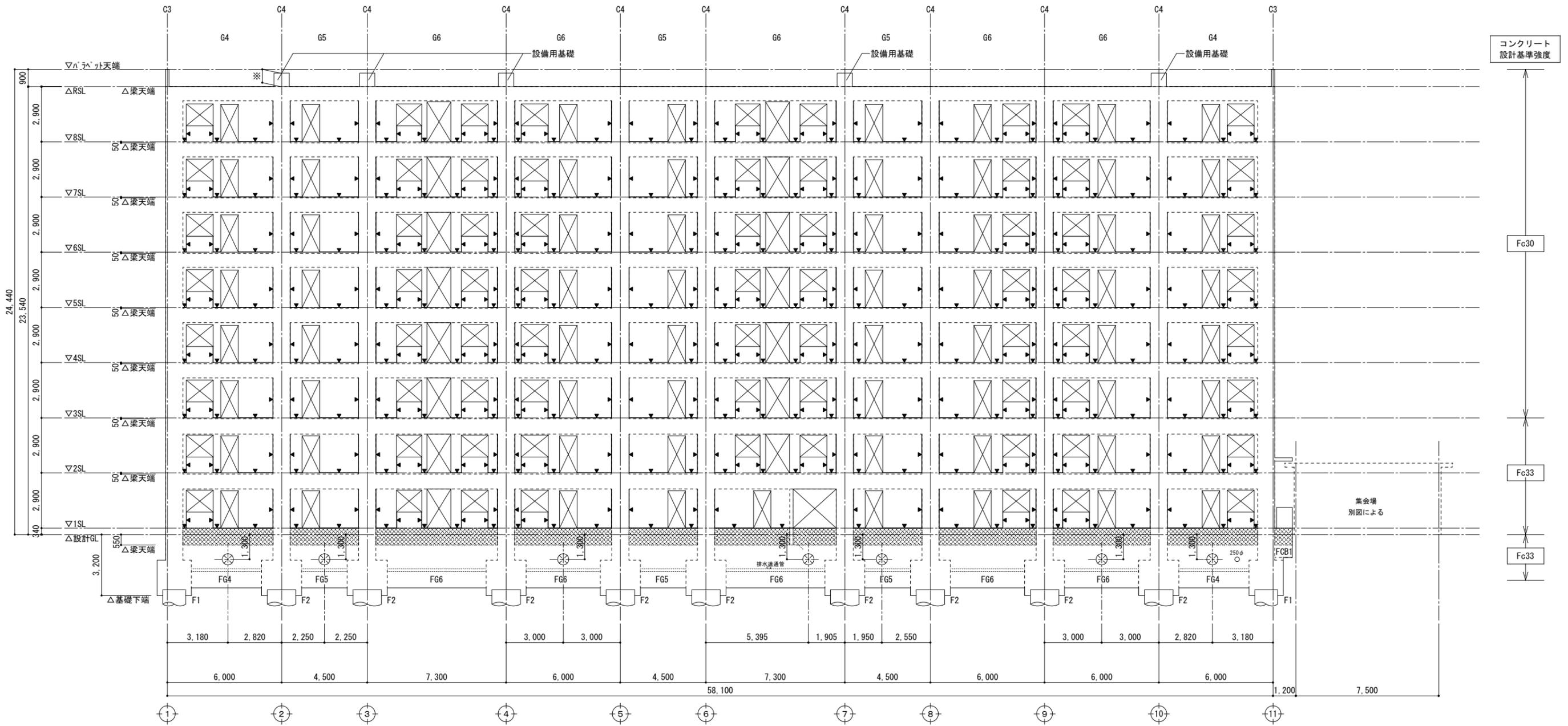
さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

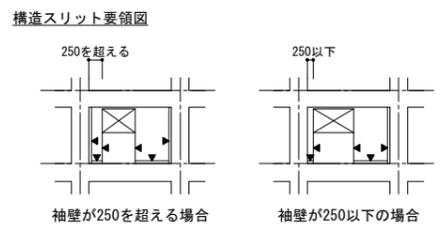
Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
軸組図(1)		SCALE	JOB	20080
		No.	S	021



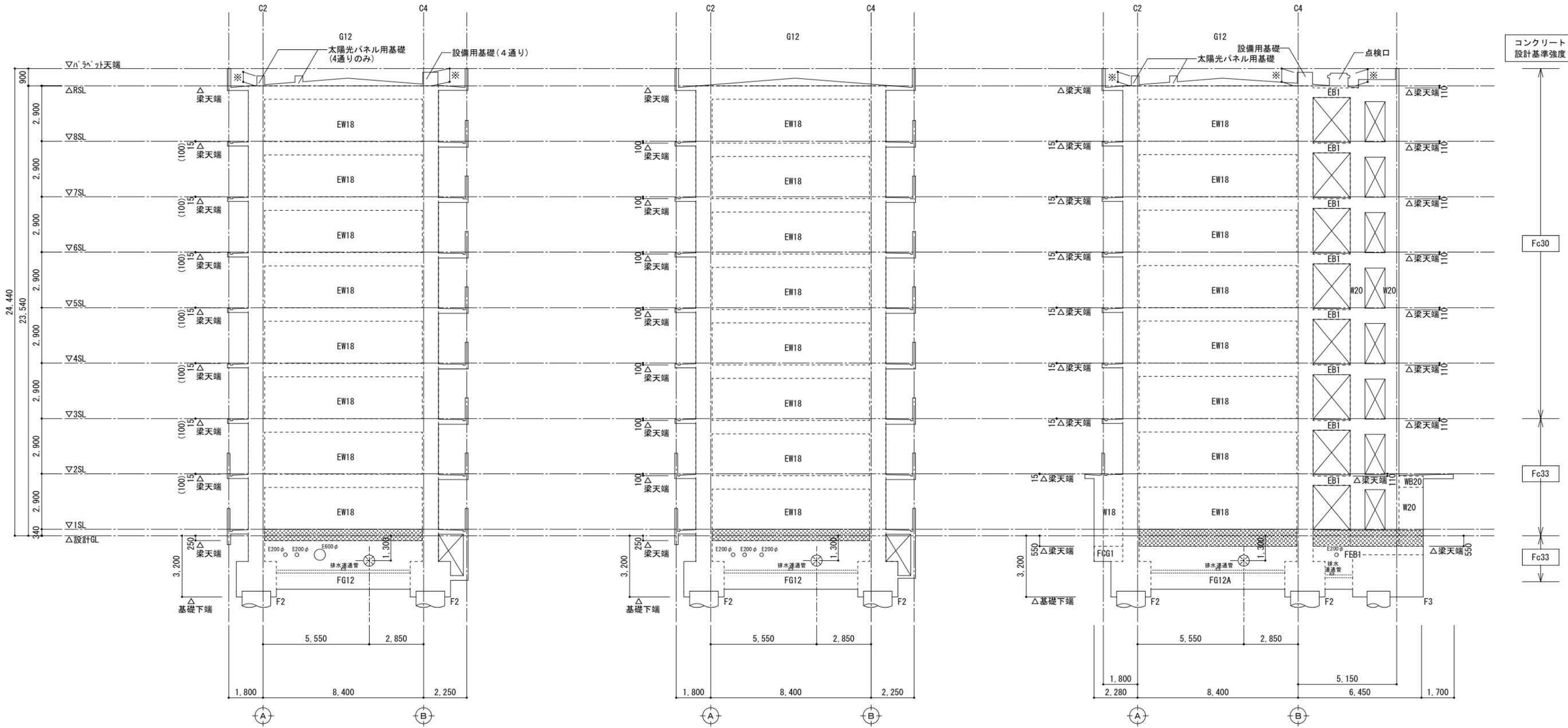
B通り軸組図 S=1:150



【註記】 特記なき限り下記による
 壁は W15 を示す
 ◀ は 構造スリット位置を示す
 ◻ は 増打を示す
 施工時、コンクリート呼び強度は JIS規格品を使用する。
 設計GLと平均地盤面の関連は意匠図による。
 ※部の寸法は意匠図による。

一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良互

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE	さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn 	市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)			設計図	DATE	2022/9/20
								軸組図(2)	SCALE	JOB	20080	
							1/150	No.	S	022		



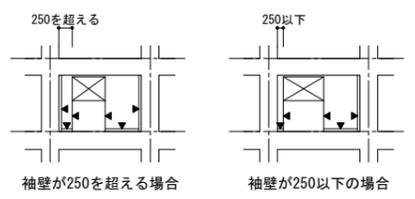
4~5, 8~9 通り軸組図 S=1:150

6 通り軸組図 S=1:150

7 通り軸組図 S=1:150

註：梁天端の()内は5, 8通りを示す
基礎スリットは8通りを示す

構造スリット要領図



【註記】 特記なき限り下記による
 壁は W15 を示す
 ◀ は 構造スリット位置を示す
 ◻ は 増打を示す
 施工時、コンクリート呼び強度は J I S 規格品を使用する。
 設計GLと平均地盤面の関連は意匠図による。
 ※部の寸法は意匠図による。

一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良真

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			



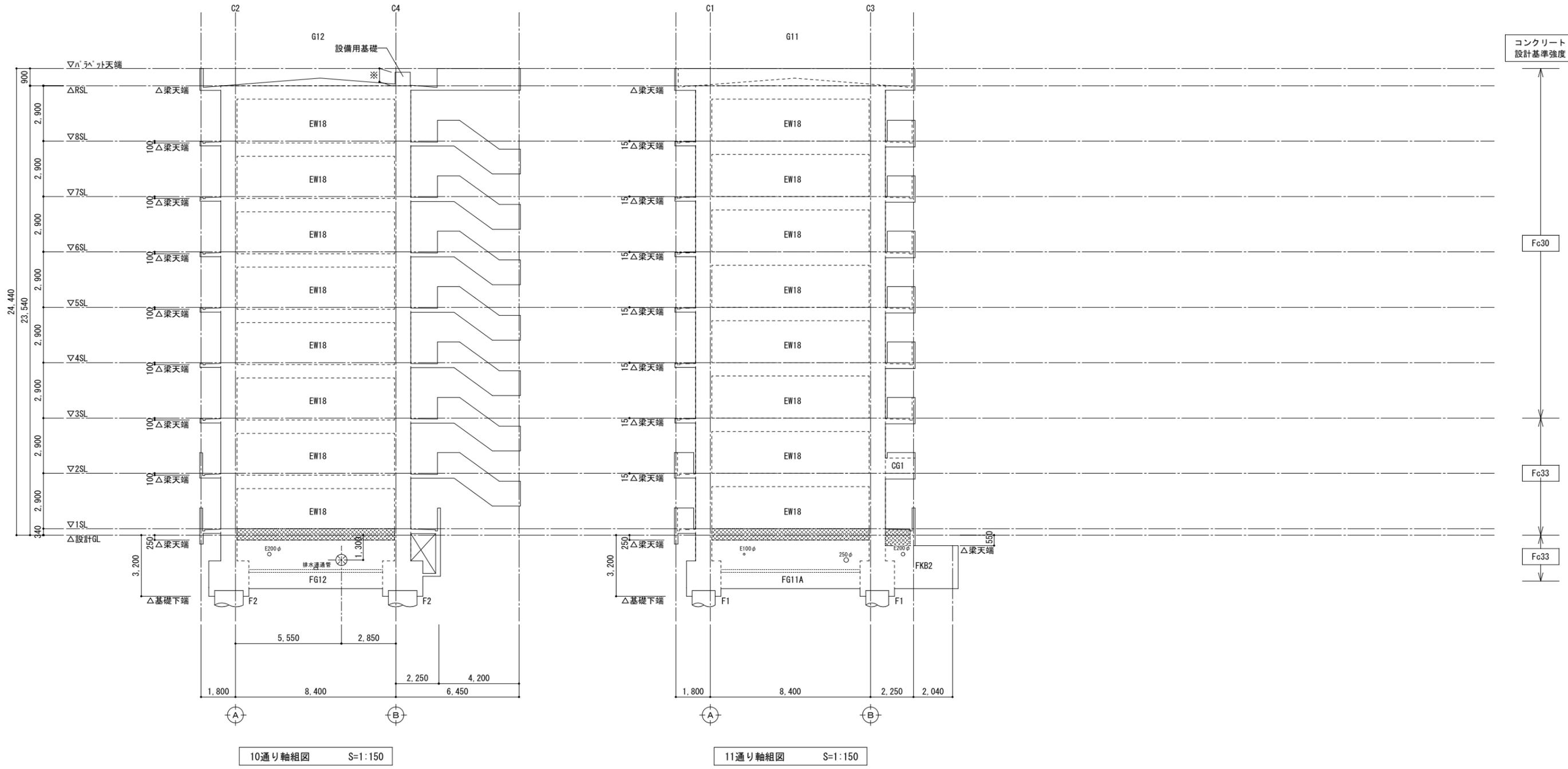
さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

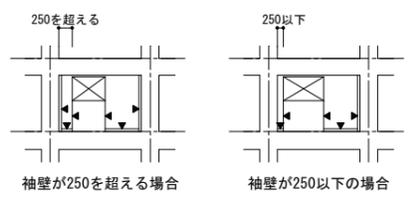
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
軸組図(4)		SCALE	JOB	20080
		No.	S	024



10通り軸組図 S=1:150

11通り軸組図 S=1:150

構造スリット要領図



【註記】 特記なき限り下記による
 壁は W15 を示す
 ◀ は 構造スリット位置を示す
 ◻ は 増打を示す
 施工時、コンクリート呼び強度は J I S 規格品を使用する。
 設計GLと平均地盤面の関連は意匠図による。
 ※部の寸法は意匠図による。

一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良亘

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

さくら建築設計
 株式会社
 SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

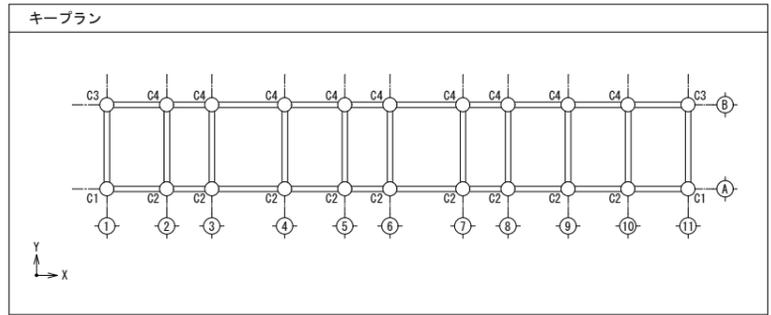
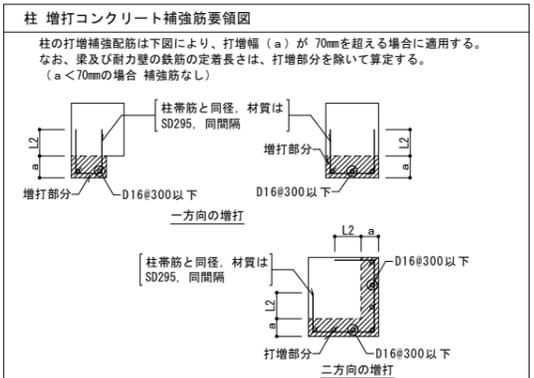
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
軸組図 (5)		SCALE	JOB	20080
		1/150	No.	S 025

柱リスト S=1:50

特記なき限り下記に依る
 ・フープは溶接閉鎖型とする(ハ'ル'→フ'・中子筋を除く) ・ タイプは D10@300 とする。
 ・フープのH表示は高強度せん断補強筋(MK785)を示す
 ・フープ中子筋は135°フック可とする

階	符号	C1	C2	C3	C4
4	柱頭パネルゾーン	- D13@90	- D13@90	- D13@90	- D13@90
	断面				
	コンクリート	900x850	900x850	900x850	900x850
	主筋	14 - D29	14 - D29	14 - D29	14 - D29
3	柱頭パネルゾーン	- D13@90	- D13@90	- D13@90	- D13@90
	断面				
	コンクリート	900x850	900x850	900x850	900x850
	主筋	14 - D29	14 - D29	14 - D29	14 - D29
2	柱頭パネルゾーン	- D13@90	- D13@90	- D13@90	- D13@90
	断面				
	コンクリート	900x850	900x850	900x850	900x850
	主筋	16 - D32	16 - D32	16 - D32	16 - D32
1	柱頭パネルゾーン	- D13@90	- D13@90	- D13@90	- D13@90
	断面				
	コンクリート	900x850	900x850	900x850	900x850
	主筋	16 - D32	16 - D32	16 - D32	16 - D32

階	符号	C1	C2	C3	C4
8	柱頭パネルゾーン	- D13@90	- D13@90	- D13@90	- D13@90
	断面				
	コンクリート	900x850	900x850	900x850	900x850
	主筋	14 - D25	14 - D25	14 - D25	14 - D25
7	柱頭パネルゾーン	- D13@90	- D13@90	- D13@90	- D13@90
	断面				
	コンクリート	900x850	900x850	900x850	900x850
	主筋	14 - D25	14 - D25	14 - D25	14 - D25
6	柱頭パネルゾーン	- D13@90	- D13@90	- D13@90	- D13@90
	断面				
	コンクリート	900x850	900x850	900x850	900x850
	主筋	14 - D29	14 - D29	14 - D29	14 - D29
5	柱頭パネルゾーン	- D13@90	- D13@90	- D13@90	- D13@90
	断面				
	コンクリート	900x850	900x850	900x850	900x850
	主筋	14 - D29	14 - D29	14 - D29	14 - D29



一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良亘

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

設計	DATE	2022/9/20
SCALE	JOB	20080
No.	S	026

さくら建築設計
 株式会社
 SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

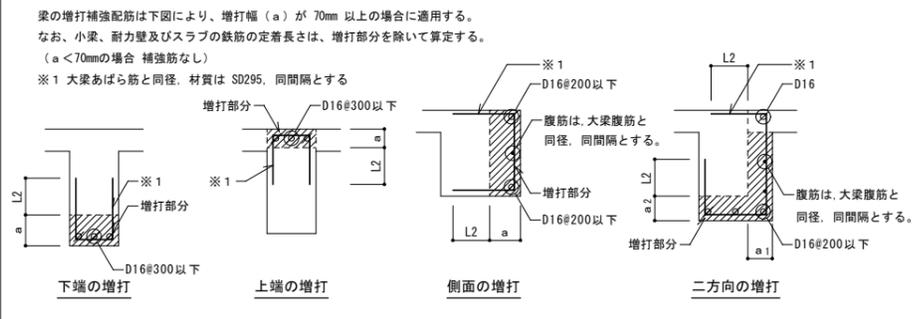
Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事（建築主体工事）		設計	DATE	2022/9/20
柱リスト		SCALE	JOB	20080
		No.	S	026

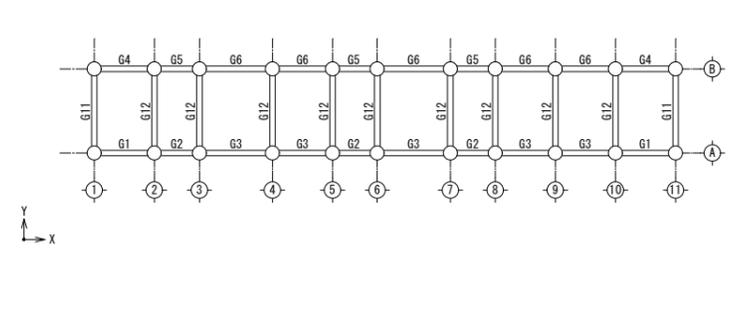
特記なき限り下記に依る
 ・ 巾止め筋・受筋はD10@1000内とする
 ・ スターラップのH表示は高強度せん断補強筋 (MK785) を示す

階	符号	G1		G2		G3		G4		G5		G6		G11	G12
		両端	中央												
5	断面														
	B x D	500x750		500x750		500x750		550x750		550x750		550x750		400x700	400x700
	上端筋	7-D29		4-D29		7-D29		4-D29		8-D29		4-D29		4-D19	4-D19
	下端筋	5-D29		4-D29		5-D29		4-D29		6-D29		4-D29		4-D19	4-D19
	スターラップ	□ H13@125		□ H13@125		□ H13@125		□ H13@125		□ H13@150		□ H13@125		□ D10@150	□ D10@150
	腹筋	VSリストによる		VSリストによる	2-D10										
	カットオフ筋の長さ LU	1900		1700		2100		2200		1700		2200			
カットオフ筋の長さ LD															
4	断面														
	B x D	550x750		400x700	400x700										
	上端筋	8-D29		4-D29		8-D29		4-D29		8-D29		4-D29		4-D19	4-D19
	下端筋	6-D29		4-D29		6-D29		4-D29		6-D29		4-D29		4-D19	4-D19
	スターラップ	□ H13@150		□ H13@125		□ H13@150		□ H13@150		□ H13@125		□ H13@150		□ D10@150	□ D10@150
	腹筋	VSリストによる		VSリストによる	2-D10										
	カットオフ筋の長さ LU	2100		1700		2200		2200		1700		2200			
カットオフ筋の長さ LD															
3	断面														
	B x D	550x800		400x700	400x700										
	上端筋	8-D29		4-D29		8-D29		4-D29		8-D29		4-D29		4-D19	4-D19
	下端筋	7-D29		4-D29		7-D29		4-D29		7-D29		4-D29		4-D19	4-D19
	スターラップ	□ H13@150		□ H13@125		□ H13@150		□ H13@150		□ H13@125		□ H13@150		□ D10@150	□ D10@150
	腹筋	VSリストによる		VSリストによる	2-D10										
	カットオフ筋の長さ LU	2200		1700		2200		2200		1700		2200			
カットオフ筋の長さ LD															
2	断面														
	B x D	550x800		400x700	400x700										
	上端筋	8-D29		4-D29		8-D29		4-D29		8-D29		4-D29		4-D19	4-D19
	下端筋	7-D29		4-D29		7-D29		4-D29		7-D29		4-D29		4-D19	4-D19
	スターラップ	□ H13@150		□ H13@125		□ H13@150		□ H13@150		□ H13@125		□ H13@150		□ D10@150	□ D10@150
	腹筋	VSリストによる		VSリストによる	2-D10										
	カットオフ筋の長さ LU	2200		1700		2200		2200		1700		2200			
カットオフ筋の長さ LD															

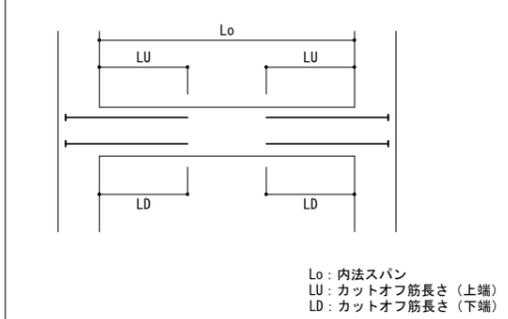
大梁 増打コンクリート補強筋要領図



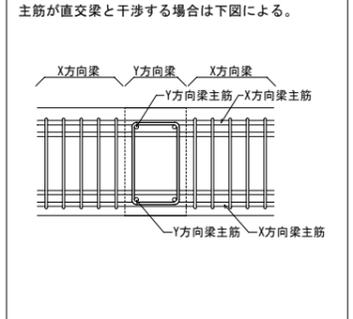
キープラン



カットオフ筋要領図



大梁主筋配置要領図



一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第 5499号
 岡本 良亘

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

さくら建築設計
 株式会社
 SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

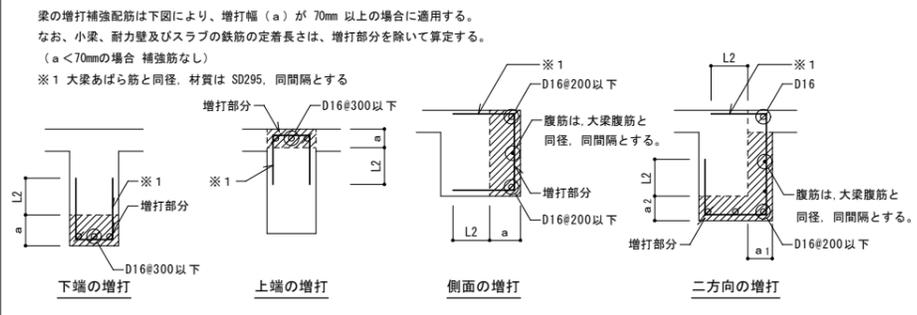
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

設計図	DATE	2022/9/20
SCALE	JOB	20080
No.	S	027

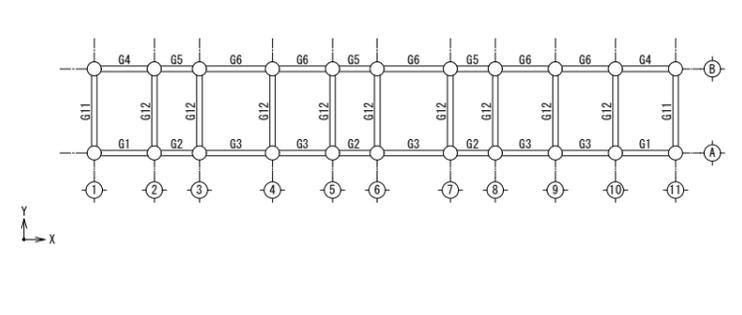
特記なき限り下記に依る
 ・ 中止め筋・受筋はD10@1000内とする
 ・ スターラップのH表示は高強度せん断補強筋 (MK785) を示す

階	符号	G1		G2	G3		G4		G5	G6		G11	G12	
		両端	中央	全断面	両端	中央	両端	中央	全断面	両端	中央	全断面	全断面	
R	断面													
	B x D	400x750		400x750	400x750		550x750		550x750	550x750		400x700	400x700	
	上端筋	4-D29		4-D29	4-D29		5-D29		5-D29	5-D29		4-D19	4-D19	
	下端筋	4-D29		4-D29	4-D29		4-D29		4-D29	4-D29		4-D19	4-D19	
	スターラップ	D13@125		D13@125	D13@150		D13@150		D13@150	D13@150		D10@150	D10@150	
	腹筋	VSリストによる		VSリストによる	VSリストによる		VSリストによる		VSリストによる	VSリストによる		VSリストによる	2-D10	
	カットオフ筋の長さ LU	1900			2100		1900			2100				
カットオフ筋の長さ LD														
8	断面													
	B x D	450x750		450x750	450x750		550x750		550x750	550x750		400x700	400x700	
	上端筋	5-D29		3-D29	5-D29	5-D29		6-D29		6-D29	6-D29		4-D19	4-D19
	下端筋	4-D29		4-D29	4-D29		4-D29		4-D29	4-D29		4-D19	4-D19	
	スターラップ	D13@125		D13@125	D13@125		D13@125		D13@125	D13@125		D10@150	D10@150	
	腹筋	VSリストによる		VSリストによる	VSリストによる		VSリストによる		VSリストによる	VSリストによる		VSリストによる	2-D10	
	カットオフ筋の長さ LU	1900			2100		1900			2100				
カットオフ筋の長さ LD														
7	断面													
	B x D	450x750		450x750	450x750		550x750		550x750	550x750		400x700	400x700	
	上端筋	5-D29		3-D29	5-D29	5-D29		6-D29		6-D29	6-D29		4-D19	4-D19
	下端筋	4-D29		4-D29	4-D29		4-D29		4-D29	4-D29		4-D19	4-D19	
	スターラップ	H13@125		H13@125	H13@125		H13@125		H13@125	H13@125		D10@150	D10@150	
	腹筋	VSリストによる		VSリストによる	VSリストによる		VSリストによる		VSリストによる	VSリストによる		VSリストによる	2-D10	
	カットオフ筋の長さ LU	1900			2100		1900			2100				
カットオフ筋の長さ LD														
6	断面													
	B x D	500x750		500x750	500x750		550x750		550x750	550x750		400x700	400x700	
	上端筋	6-D29		4-D29	6-D29	6-D29		7-D29		7-D29	7-D29		4-D19	4-D19
	下端筋	4-D29		4-D29	4-D29		4-D29		5-D29	4-D29		4-D19	4-D19	
	スターラップ	H13@125		H13@125	H13@125		H13@125		H13@125	H13@125		D10@150	D10@150	
	腹筋	VSリストによる		VSリストによる	VSリストによる		VSリストによる		VSリストによる	VSリストによる		VSリストによる	2-D10	
	カットオフ筋の長さ LU	1900			2100		1900			2100				
カットオフ筋の長さ LD						1700								

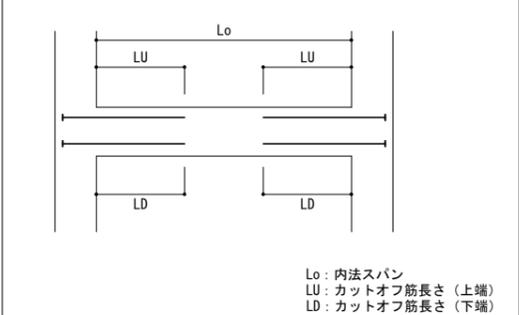
大梁 増打コンクリート補強筋要領図



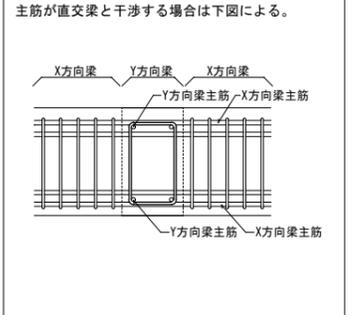
キープラン



カットオフ筋要領図



大梁主筋配置要領図



一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第 5499号
 岡本 良亘

変更日	変更事項 (△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

さくら建築設計
 株式会社
 SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
大梁リスト (2)		SCALE	JOB	20080
		No.	S	028

小梁リスト S=1:50

特記なき限り下記に依る
 ・巾止め筋・受筋はD10@1000内とする
 ・※の腹筋は柱、壁内に35d定着とする

符号	B1	KB1	KB2	EB1	EB2	EB3	EB4	EB5	WB18	WB20	CG1
断面名	全断面										
断面											
B x D	300x500	250x500	250x500	200x500	200x500	220x1300	220x1300	220x1100	180x600	200x600	450x800
上端筋	4-D16	4-D16	4-D16	4-D16	4-D16	4-D19	4-D25	3-D16	2-D16	2-D16	3-D19
下端筋	4-D16	4-D16	2-D16	4-D16	4-D16	4-D19	4-D25	3-D16	2-D16	2-D16	3-D19
スターラップ	□ D13@150	□ D10@125	□ D10@200	□ D10@125	□ D10@125	□ D10@150	□ D13@150				
腹筋						12-D10*	12-D10*	10-D10*	4-D10*	4-D10*	2-D16*

一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良互

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE
	△ /	凡例
	△ /	

さくら建築設計
 株式会社

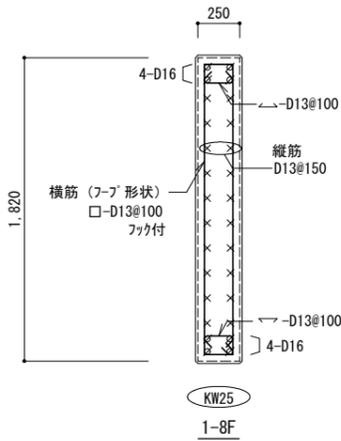
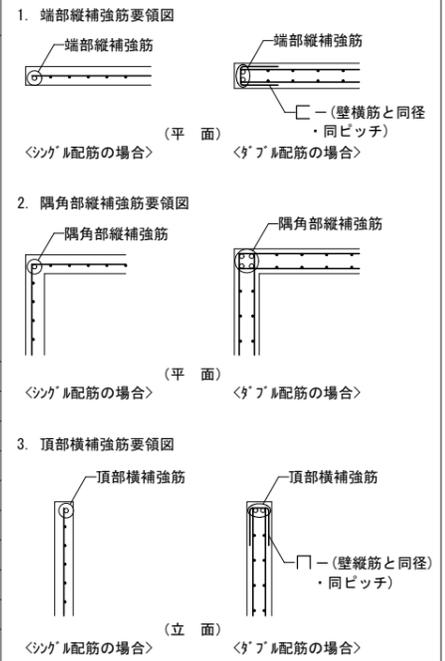
広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

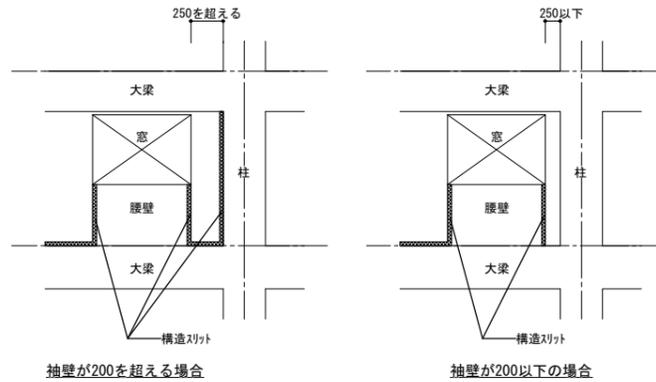
Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
小梁リスト		SCALE	JOB	20080
1/50	No.	S	029	

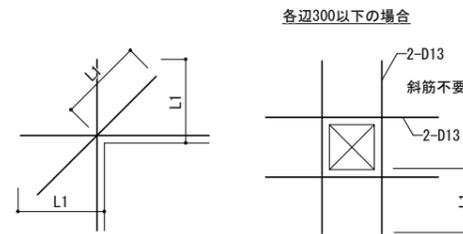
符号	EW18				W15	W16	W18	W20	W22			FW25			KW25
断面															
縦筋	D10@150 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)				D10@150 (ｼﾝｸﾞﾙ)	D10@200 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)	D10@150 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)	D13@200 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)	D13@200 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)			D13@125 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)			D13@150 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)
横筋	D10@150 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)				D10@150 (ｼﾝｸﾞﾙ)	D10@200 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)	D10@150 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)	D13@200 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)	D13@200 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)			D10@150 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)			D13@100 (ﾀﾞﾌﾞﾙ)
巾止め筋	D10@900					D10@1000	D10@900	D10@1000	D10@1000			D10@900			D10@1000
開口補強筋	縦				1-D13	2-D13	2-D13	2-D16				4-D13			
	横				1-D13	2-D13	2-D13	2-D16				4-D13			
	斜め				1-D13	2-D13	2-D13	2-D13				2-D13			
端部縦補強筋						4-D13	4-D13	4-D16	4-D19 (6-D22)					4-D16	
隅角部縦補強筋				1-D13	4-D13	4-D13	4-D16	4-D16	4-D19 (6-D22)			4-D16			
頂部横補強筋							2-D16	2-D16	2-D16			4-D16			
備考								()内は1~3階のみ				ヒット部			



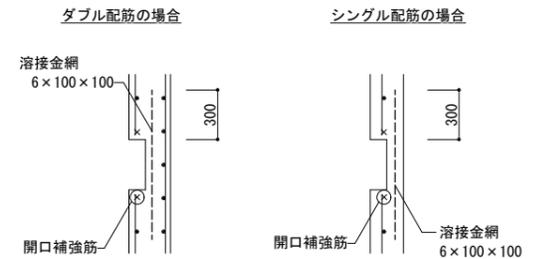
※壁筋・補強筋は基礎梁にL1定着させること
屋外階段受壁 KW25配筋要領図 S=1:30



腰壁(開口部)構造スリット要領図



壁開口補強筋要領図

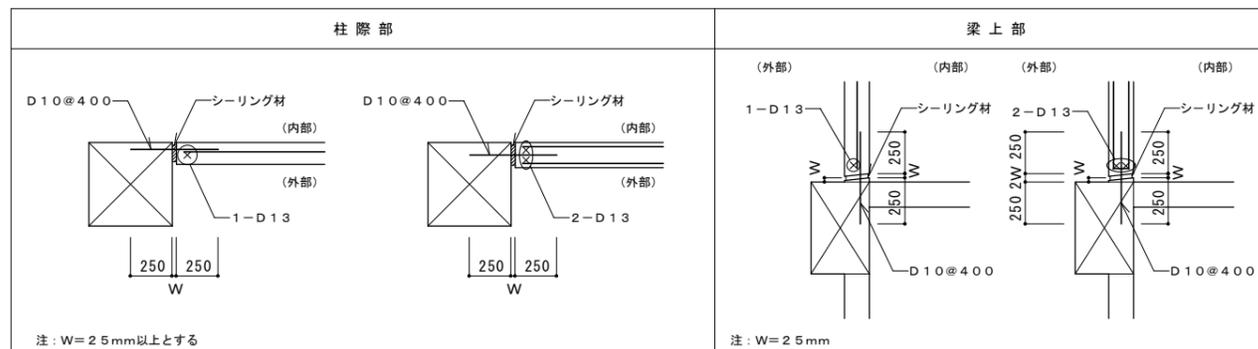


埋込みBOX部 ひび割れ補強要領図

構造スリット要領図 S=1/30

・延焼の恐れのある部分及び、区画が発生する部分の構造スリットは、耐火認定品(60分)とする

・振れ止め筋は、防錆処理とする



注: W=2.5mm以上とする

注: W=2.5mm

一級建築士 第219563号
構造一級建築士 第5499号
岡本 良亙

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			



さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

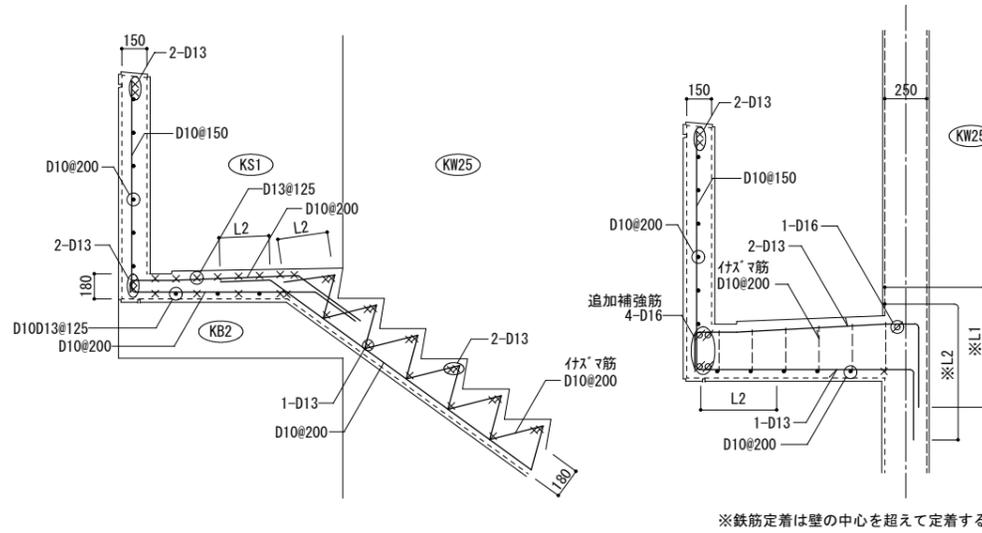
Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

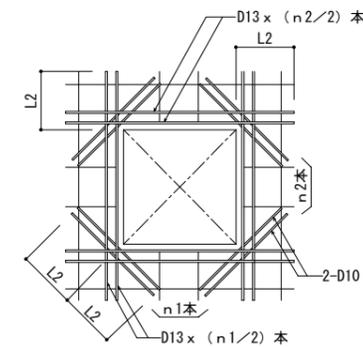
設計図	DATE	2022/9/20
SCALE	JOB	20080
壁リスト	No.	S 030
	印刷日付	22' 12' 7

スラブリスト

符号	厚さ	位置	主筋方向配筋	配力筋方向配筋	備考
S0	200	上	D13@125	D10@150	
		下	D13@125	D10@150	
S1	180	上	D10, D13@200	D10@200	
		下	D10@200	D10@200	
S2	180	上	D10, D13@150	D10@150	
		下	D10@150	D10@150	
S3	180	上	D13@150	D13@150	
		下	D13@150	D13@150	
CS0	200	上	D13@150	D10@150	
		下	D10, D13@150	D10@150	
CS1	200~210 (先) (基)	上	D13@150	D10@200	
		下	D10, D13@150	D10@200	
CS2	200~210 (先) (基)	上	D10, D13@150	D10@200	
		下	D10@150	D10@200	
CS3	200~210 (先) (基)	上	D13@150	D10@200	
		下	D10, D13@150	D10@200	
CS4	200~210 (先) (基)	上	D10, D13@150	D10@200	
		下	D10@150	D10@200	
CS5	200~210 (先) (基)	上	D13@125	D10@200	
		下	D10, D13@125	D10@200	
CS6	180	上	D10, D13@150	D10@200	
		下	D10@150	D10@200	
CS7	200~210 (先) (基)	上	D10, D13@150	D10@200	
		下	D10@150	D10@200	
CS8	150~240 (先) (基)	上	D10, D13@125	D10@200	
		下	D10@125	D10@200	
CS9	180	上	D10, D13@200	D10@200	
		下	D10@200	D10@200	
KS1	180	上	D13@125	D10@200	
		下	D10, D13@125	D10@200	
KS2	180	上	D13@150	D10@200	
		下	D10, D13@150	D10@200	
FS1	250	上	D13@125	D10@150	
		下	D13@125	D10@150	



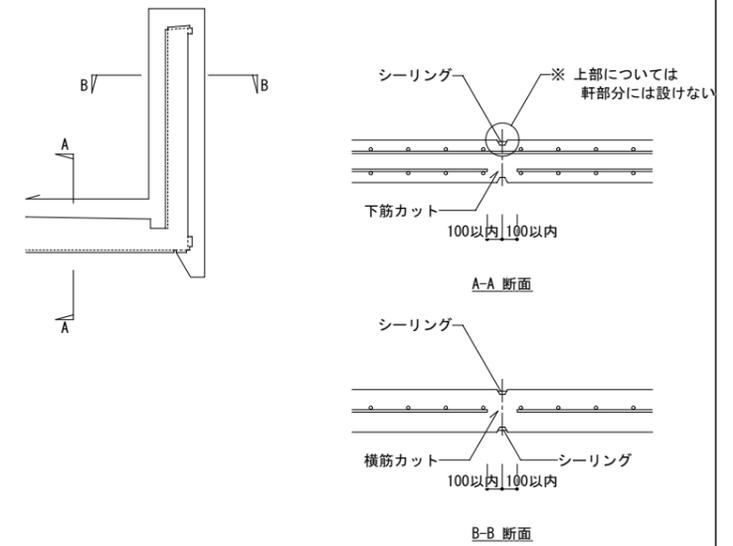
片持式階段 配筋要領図 S=1:30



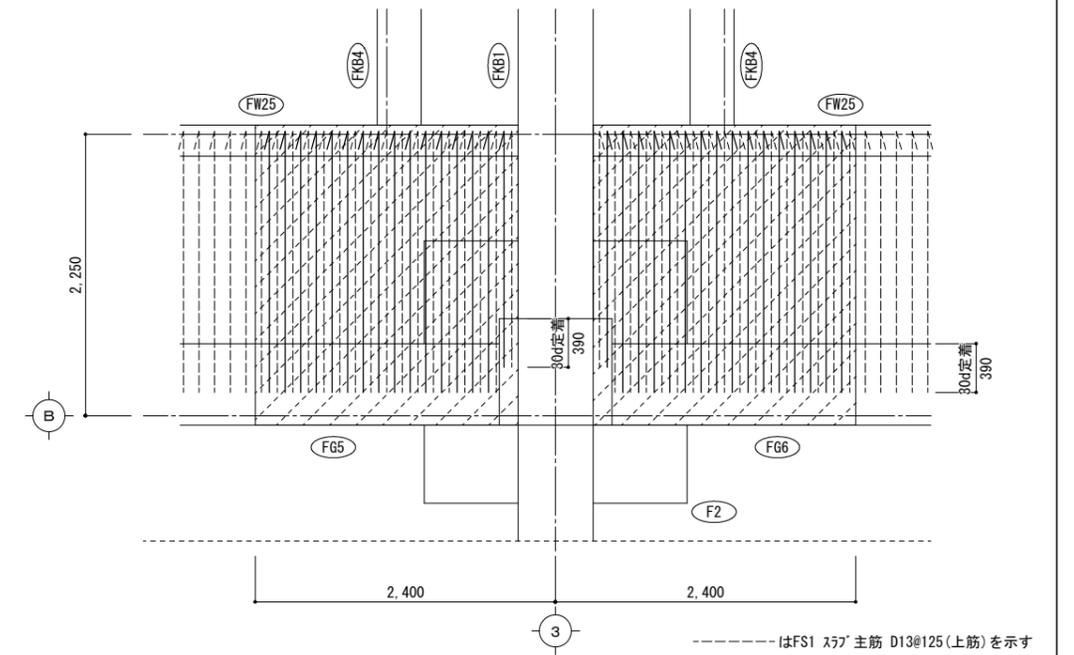
- スラブ開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (L=2L1) シングルを上下筋の内側に配筋する。
- スラブ開口の最大径が両方向の鉄筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることで、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

スラブ開口補強筋 配筋要領図 Non Scale

※スラブ開口の最大径が700mm以下の場合に限る。



バルコニー(軒部)誘発目地 配筋要領図 S=1:30



ビットFS1 3通り廻り 補強配筋要領図 S=1:40

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

さくら建築設計
株式会社
SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
スラブリスト		SCALE	JOB	20080
		1/30	No.	S 031

ポイドスラブ設計・施工標準図-2【ダイヤモンド】

アンカー・スペーサーの取付け方

アンカーの取付け ①②③
↓
下端筋の配筋 ④
↓
スペーサーの取付け ⑤
↓
上端筋の配筋 ⑥
↓
コンクリート打設後、⑦
パラシュートの取外し

アンカーを、縦・横900間隔に開けられた13.5φ、または16φの穴に挿込む

押し込んだ後、少し引上げながら閉め込む

締め付け後、グリッドラインに直角になる様に方向を調整する

アンカー取付け調整後、下端筋の配筋をする。

下端筋の配筋終了後、上端筋用スペーサーを取り付ける

スペーサー取付け後、上端筋の配筋をする

アンカー先端の六角ボルトを回しながらパラシュートを取り外す

配筋パターン

グリッドライン

短辺方向スラブ主筋

長辺方向スラブ主筋

長辺方向

短辺方向

ポイドスラブ施工要領図

一般部

【主筋方向】

【巾止メ筋加工寸法】

※掛け施工（鉄筋工事）

【配筋筋方向】

※仕様により、鉄筋筋厚さが不足する場合はアンカーかさ上げ等の対策を行う

ポイドスラブ版厚違いでの戸境部主筋納まり要領（大梁有）

主筋

配筋筋

- ・下端筋は各々梁内定着とする。
- ・下端筋を引き通す場合は、1/6以下の勾配でベンドする事。
- ・上端筋片側のみトップ補強がある場合トップ筋は梁内定着とする。

アルコーブ段差配筋要領

居室部スラブ配筋

補強筋

居室部ダイヤモンド

ダイヤモンドカット

上端筋は下端筋上端にてカット

ポイドスラブと段差スラブの戸境部定着要領

段差部スラブ配筋

※戸境部に欠損スラブがある場合は壁内定着とする（ポイド筋のみかぶり確保できれば引通し可能）

ポイドスラブ版厚違いでの戸境部主筋納まり要領

主筋

配筋筋

かぶりを確保する

勾配は1/6以下とし折曲げる

※曲げ込みができない場合は版厚が大きいほうの下端筋は壁内定着とする

壁周辺部定着要領

スぺーサー

アンカー

ダイヤモンドカット

※壁配筋とダイヤモンドが干渉する箇所はダイヤモンドカット

段差部補強配筋要領

1. 出隅部

a. 水平定着（ダイヤモンドカット）【上端筋】

b. Z型定着【下端筋】

c. 梁内定着【上端筋・下端筋】

2. 入隅部

d. 梁内定着【上端筋・下端筋】

e. Z型定着【上端筋】

f. 水平定着【下端筋】

ケース	上端筋	下端筋
ケース1	a. 水平定着	b. Z型定着
ケース2	a. 水平定着	c. 梁内定着
ケース3	c. 梁内定着	c. 梁内定着

ケース	上端筋	下端筋
ケース1	d. 梁内定着	f. 水平定着
ケース2	e. Z型定着	f. 水平定着
ケース3	d. 梁内定着	d. 梁内定着

ポイドスラブ周辺大梁振れ補強要領

位置については「ダイヤモンド配置図」参照

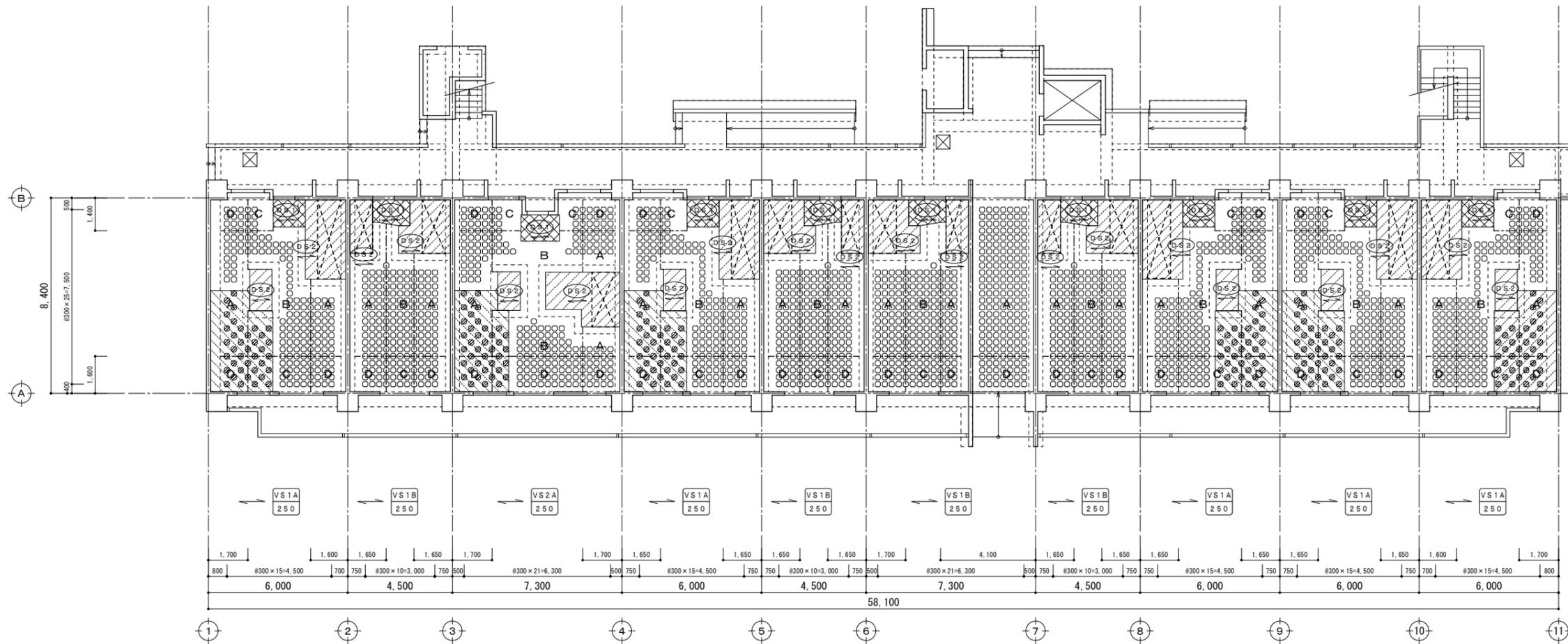
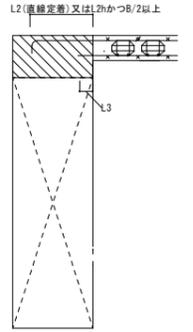
使用する補強筋

記号	補強筋
①	4-D13 (SD295A)
②	4-D16 (SD295A)

※設計図中に特記がある場合は、設計図中の大梁振れ補強要領を優先するものとする。

【スラブ筋のA通りの基礎梁への定着について】

基礎梁上の増打には補強筋が入るため、増打部分は梁と一体化するとみなし。
 ボイドスラブ筋は、増打部分に定着する。
 ※B通りの梁への定着も同様とする



1階床ダイヤモンド配置図 S=1:150

- 【註記】 特記なき限り下記による
- 梁天端レベルは SL-30 を示す
 - < > は SLからの梁天端レベル を示す
 - 床天端レベルは SL±0 を示す
 - 図中の ← は、主筋方向を示す
 - 図中の A~D は、配筋範囲を示す
 - 図中の □≡□ は、補強範囲を示す
 - 床下がり寸法は下記凡例に示す
 - は SL±0 を示す
 - (斜線) は SL-15, D=225+10 を示す (和室: ボイドスラブ)
 - (格子) は SL-60, t=190 を示す (玄関: 在来スラブ)
 - (点線) は SL-175, t=200 を示す (水廻り: 在来スラブ)
- ※ダイヤモンド配置寸法は、納まりによりダイヤモンド最多割付を優先するものとする。但し、基本的に欠損部範囲の拡大は不可。
 厳密に範囲の検討が必要な場合は、構造設計者との協議を要する。

一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良亘

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			



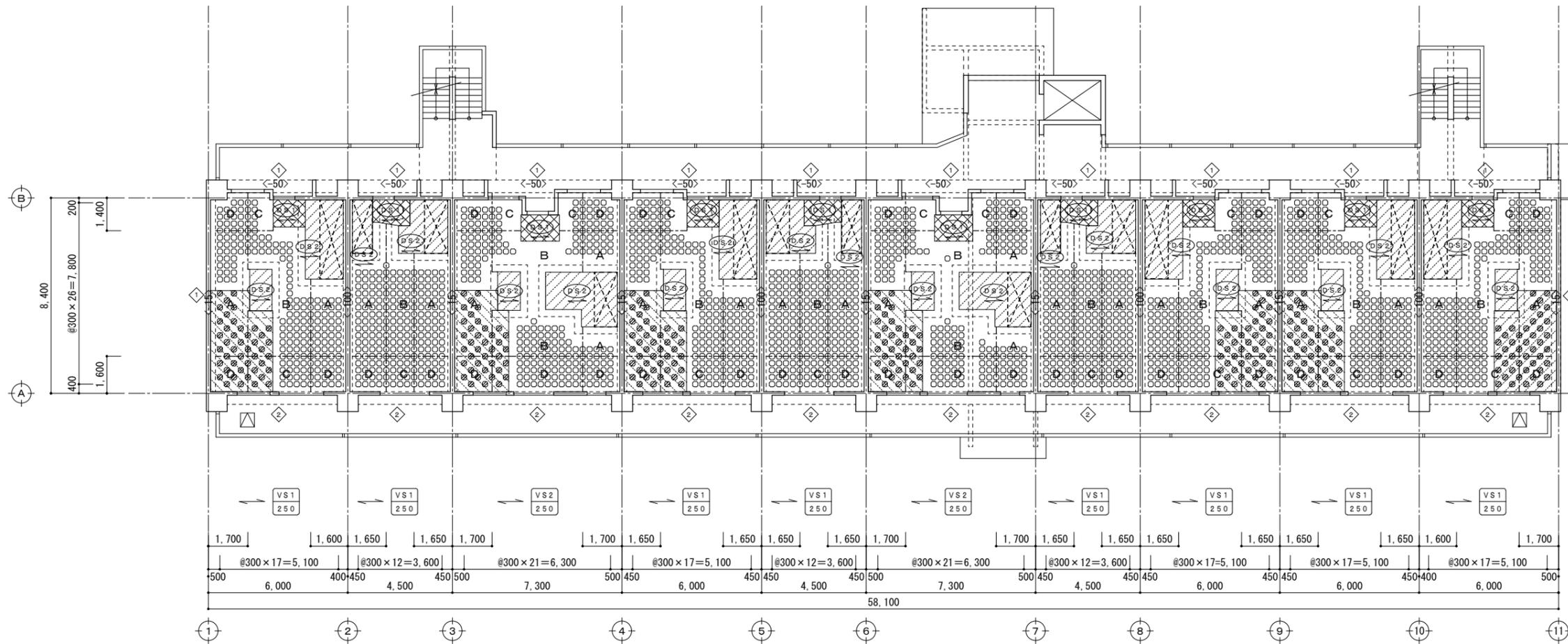
さくら建築設計
 株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
1階床ダイヤモンド配置図 (参考図)		SCALE	JOB	20080
		1/150	No.	S 034



2階床ダイヤモンド配置図 S=1:150

- 【註記】 特記なき限り下記による
- 梁天端レベルは SL-30 を示す
 - < > は SLからの梁天端レベル を示す
 - 床天端レベルは SL±0 を示す
 - 図中の ← は、主筋方向を示す
 - 図中の ◇ は、大梁の振れ補強要領を示す(大梁振れ補強要領参照)
 - 図中の A~D は、配筋範囲を示す
 - 図中の □□□ は、補強範囲を示す
 - 床下がり寸法は下記凡例に示す
 - は SL±0 を示す
 - (斜線) は SL-15, D=225+10 を示す (和室:ポイドスラブ)
 - (格子) は SL-60, t=190 を示す (玄関:在来スラブ)
 - (点線) は SL-175, t=200 を示す (水廻り:在来スラブ)
- ※ダイヤモンド配置寸法は、納まりによりダイヤモンド最多割付を優先するものとする。但し、基本的に欠損部範囲の拡大は不可。厳密に範囲の検討が必要な場合は、構造設計者との協議を要する。

一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良亙

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△	△		凡例
△	△		
△	△		



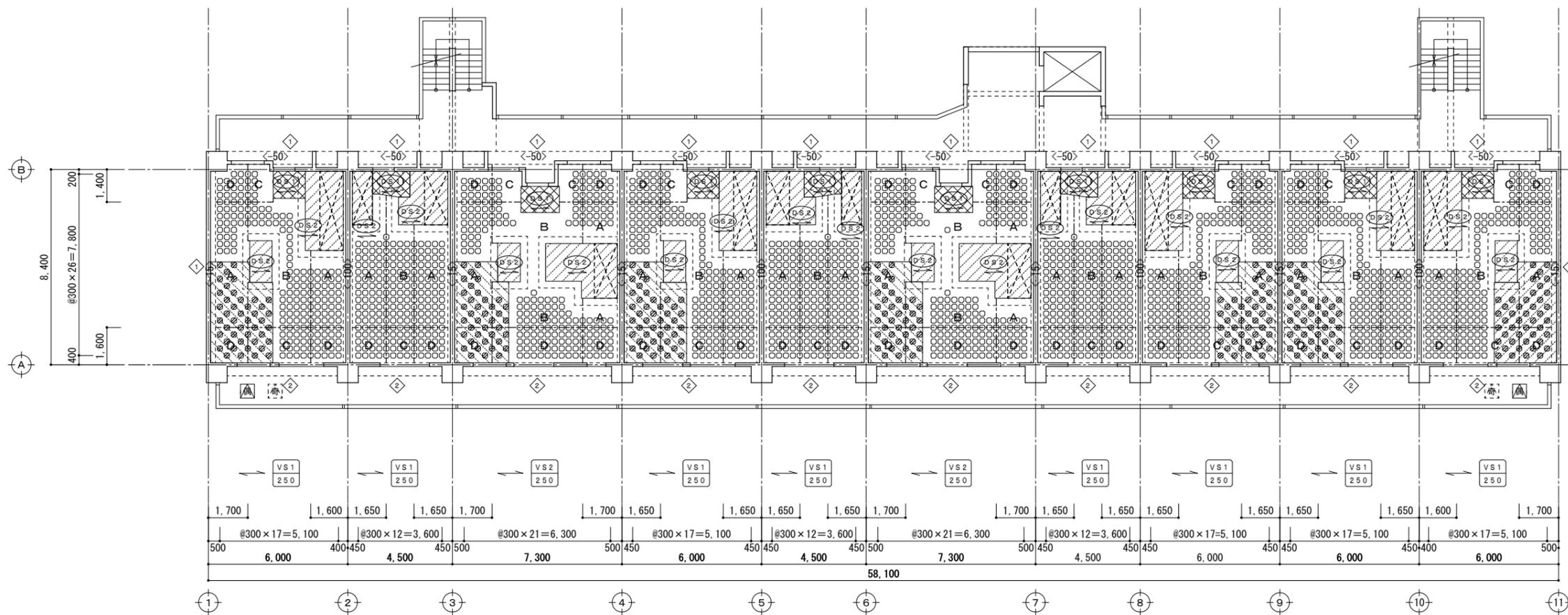
さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
2階床ダイヤモンド配置図(参考図)		SCALE	JOB	20080
		1/150	No.	S 035



3~8階床床ダイヤモンド配置図 S=1:150

- 【註記】 特記なき限り下記による
- 梁天端レベルは SL-30 を示す
 - < > は SLからの梁天端レベル を示す
 - 床天端レベルは SL±0 を示す
 - 図中の ← は、主筋方向を示す
 - 図中の ◇ は、大梁の振れ補強要領を示す(大梁振れ補強要領参照)
 - 図中の A~D は、配筋範囲を示す
 - 図中の □≡□ は、補強範囲を示す
 - 床下がり寸法は下記凡例に示す
 - は SL±0 を示す
 - ▨ は SL-15, D=225+10 を示す (和室:ポイドスラブ)
 - ▩ は SL-60, t=190 を示す (玄関:在来スラブ)
 - ▧ は SL-175, t=200 を示す (水廻り:在来スラブ)
- ※ダイヤモンド配置寸法は、納まりによりダイヤモンド最多割付を優先するものとする。但し、基本的に欠損部範囲の拡大は不可。
 厳密に範囲の検討が必要な場合は、構造設計者との協議を要する。

一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第 5499号
 岡本 良亘

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

さくら建築設計
 株式会社

SAKURA Architects Co., Ltd.

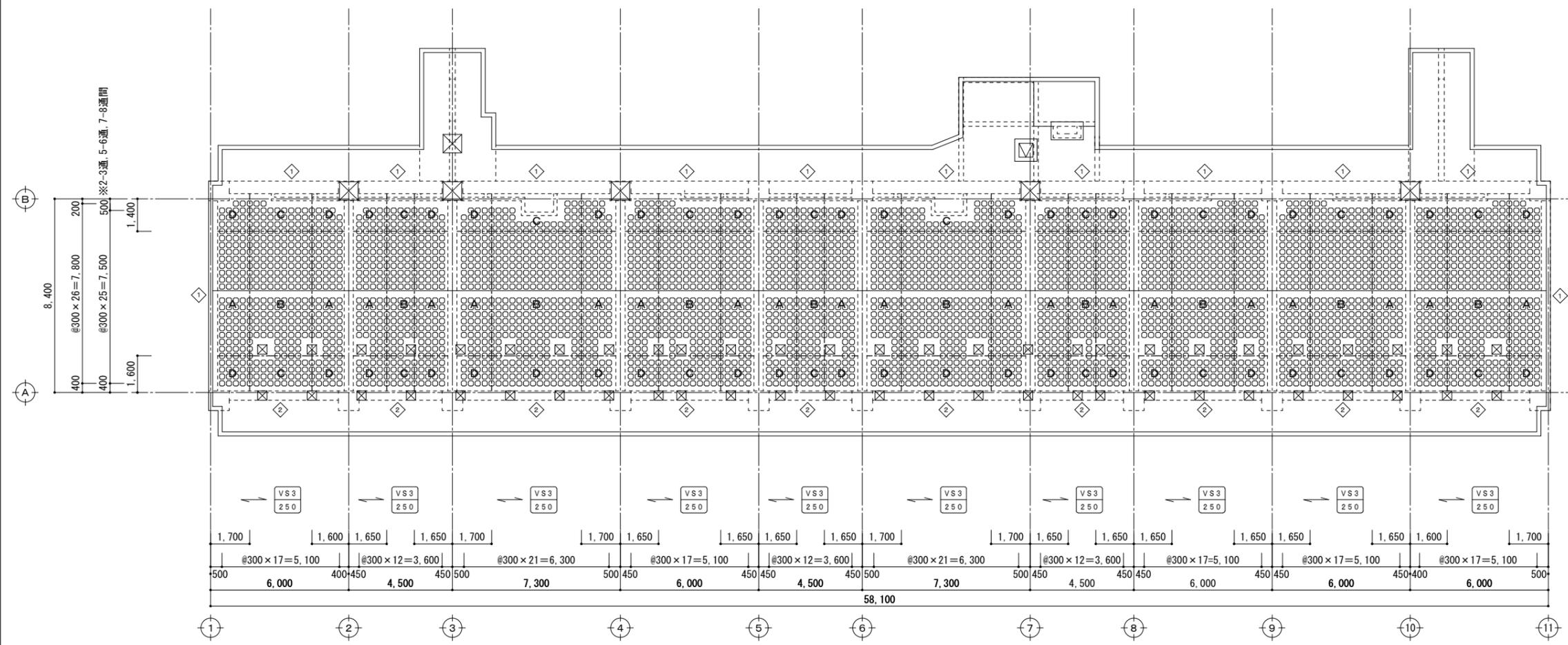
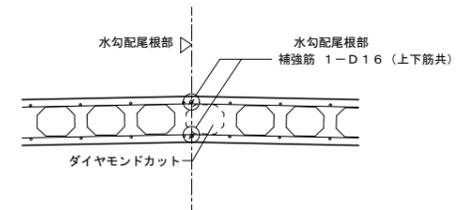
広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

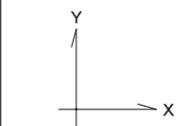
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
3~8階床ダイヤモンド配置図(参考図)		SCALE	JOB	20080
		1/150	No.	S 036

水勾配尾根部補強



R階床ダイヤモンド配置図 S=1:150

【註記】 特記なき限り下記による
 梁天端レベルは RSL±0 を示す
 < > は RSLからの梁天端レベル を示す
 床天端レベルは 水勾配による
 図中の ← は、主筋方向を示す
 図中の ◇ は、大梁の振れ補強要領を示す(大梁振れ補強要領参照)
 図中の A~D は、配筋範囲を示す
 ※ダイヤモンド配置寸法は、納まりによりダイヤモンド最多割付を優先するものとする。



一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良亘

	変更日・・・変更事項(△変更マーク 月 / 日)	NOTE	<p>さくら建築設計 株式会社</p>	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康	Checked 一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行	Drawn	市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)	設計図	DATE	2022/9/20	
	△ △ △	凡例					R階床ダイヤモンド配置図(参考図)	SCALE	JOB	20080	
								1/150	No.	S	037

◆ ダイヤモンドボイドスラブ配筋リスト

900ピッチ当りの配筋を示す。〔 〕内は、ひび割れ防止筋を示す

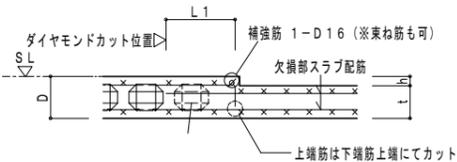
主筋方向	A				B				C				D				
	符号	上筋	断面	下筋	符号	上筋	断面	下筋	符号	上筋	断面	下筋	符号	上筋	断面	下筋	
VS1A	D=250 M	3-D16+3-D13 (+3-D10)				1-D16+2-D13 (+3-D10)				1-D16+2-D13 (+3-D10)				1-D16+3-D13 (+3-D10)			
		3-D13				4-D13				3-D13				3-D13			
和室	D=225 S	1-D16+2-D13				1-D16+2-D13				1-D16+4-D13				1-D16+4-D13			
		3-D13(+6-D10)				3-D13(+6-D10)				3-D13(+6-D10)				3-D13(+6-D10)			
VS1B	D=250 M	3-D16+3-D13 (+3-D10)				1-D16+2-D13 (+3-D10)				1-D16+2-D13 (+3-D10)				1-D16+3-D13 (+3-D10)			
		3-D13				4-D13				3-D13				3-D13			
和室	D=225 S	1-D16+2-D13				1-D16+2-D13				1-D16+3-D13				1-D16+2-D13			
		3-D13(+6-D10)				3-D13(+6-D10)				3-D13(+6-D10)				3-D13(+6-D10)			
VS2A	D=250 M	3-D16+3-D13 (+3-D10)				1-D16+2-D13 (+3-D10)				1-D16+2-D13 (+3-D10)				1-D16+3-D13 (+3-D10)			
		3-D13				5-D13				3-D13				3-D13			
和室	D=225 S	1-D16+2-D13				1-D16+2-D13				1-D16+5-D13				1-D16+3-D13			
		3-D13(+6-D10)				4-D13(+6-D10)				3-D13(+6-D10)				3-D13(+6-D10)			
VS1	D=250 M	3-D16+3-D13 (+3-D10)				1-D16+2-D13 (+3-D10)				1-D16+2-D13 (+3-D10)				1-D16+4-D13 (+3-D10)			
		3-D13				5-D13				3-D13				3-D13			
和室	D=225 S	1-D16+2-D13				1-D16+2-D13				1-D16+3-D13				1-D16+3-D13			
		3-D13(+6-D10)				3-D13(+6-D10)				3-D13(+6-D10)				3-D13(+6-D10)			
VS2	D=250 M	3-D16+3-D13 (+3-D10)				1-D16+2-D13 (+3-D10)				1-D16+2-D13 (+3-D10)				1-D16+4-D13 (+3-D10)			
		3-D13				6-D13				3-D13				3-D13			
和室	D=225 S	1-D16+2-D13				1-D16+2-D13				1-D16+5-D13				1-D16+3-D13			
		3-D13(+6-D10)				4-D13(+6-D10)				3-D13(+6-D10)				3-D13(+6-D10)			

主筋方向	A				B				C				D				
	符号	上筋	断面	下筋	符号	上筋	断面	下筋	符号	上筋	断面	下筋	符号	上筋	断面	下筋	
VS3	D=250 M	1-D16+5-D13 (+3-D10)				1-D16+2-D13 (+3-D10)				1-D16+2-D13 (+3-D10)				1-D16+3-D13 (+3-D10)			
		3-D13				5-D13				3-D13				3-D13			
配筋方向	D=250 M	1-D16+2-D13				1-D16+2-D13				1-D16+3-D13				1-D16+2-D13			
		3-D13(+6-D10)				3-D13(+6-D10)				3-D13(+6-D10)				3-D13(+6-D10)			

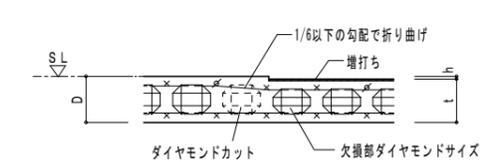
◆ ボイドスラブ欠損・段差部配筋要領

用途	TYPE	D	h	t	B	補強筋	欠損・段差部 ダイヤモンドサイズ	欠損・段差部スラブ配筋	符号
玄関	欠損部1	250	60	190	—	1-D16	—	D13@150ダブルクロス	DS1
水廻り	段差部	250	175	200	300	3-D16	—	D13@200ダブルクロス	DS2
和室	欠損部2	250	15	225 +10	—	—	Sサイズ	ボイドスラブ鉄筋と同径・同本数・同ピッチ	—

欠損部1



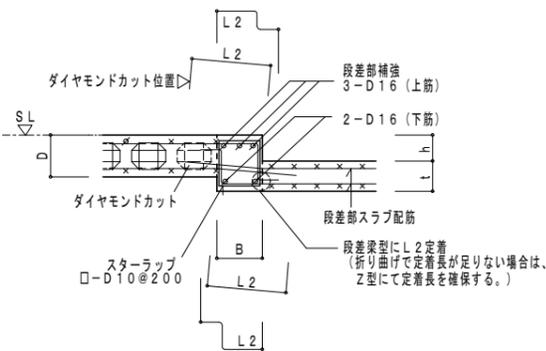
欠損部2



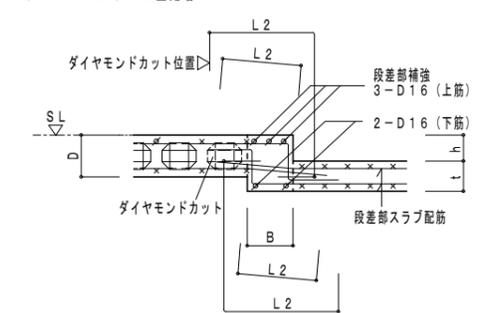
段差部

※ 段差部配筋定着方法は、< TYPE1 >又は< TYPE2 >のどちらかで施工する事とする。

< TYPE1 > : スターラップ□-D10@200



< TYPE2 > : Z型定着



一級建築士 第219563号
構造一級建築士 第5499号
岡本 良直

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例



さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

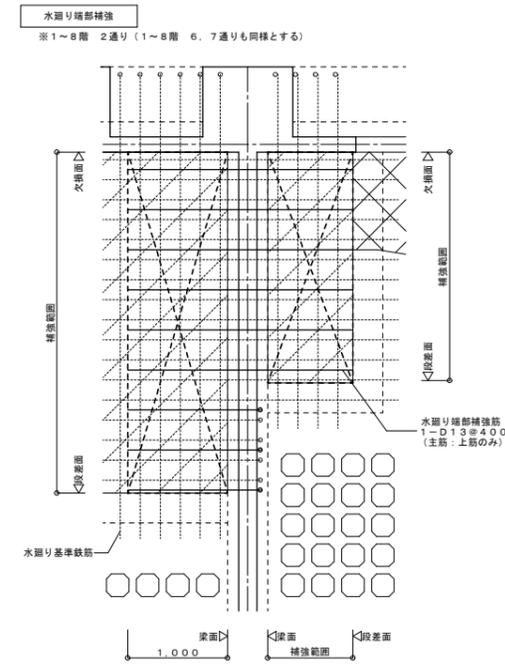
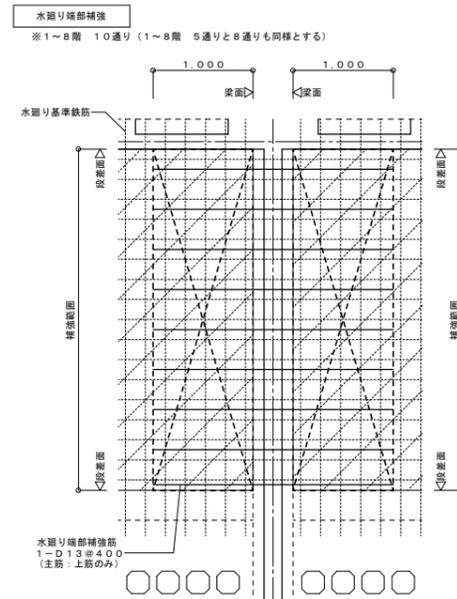
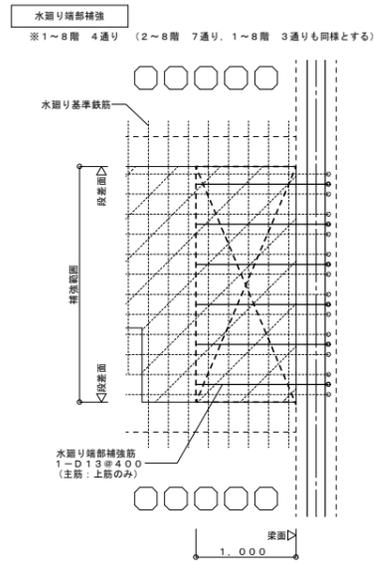
設計図 DATE 2022/9/20

配筋リスト・要領図(参考図)

SCALE JOB 20080

No. S 038

◆ スラブ補強要領 ※補強位置は、『ダイヤモンド配置図』参照の事



一級建築士 第219563号
構造一級建築士 第5499号
岡本 良互

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△	/		凡例
△	/		
△	/		



さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

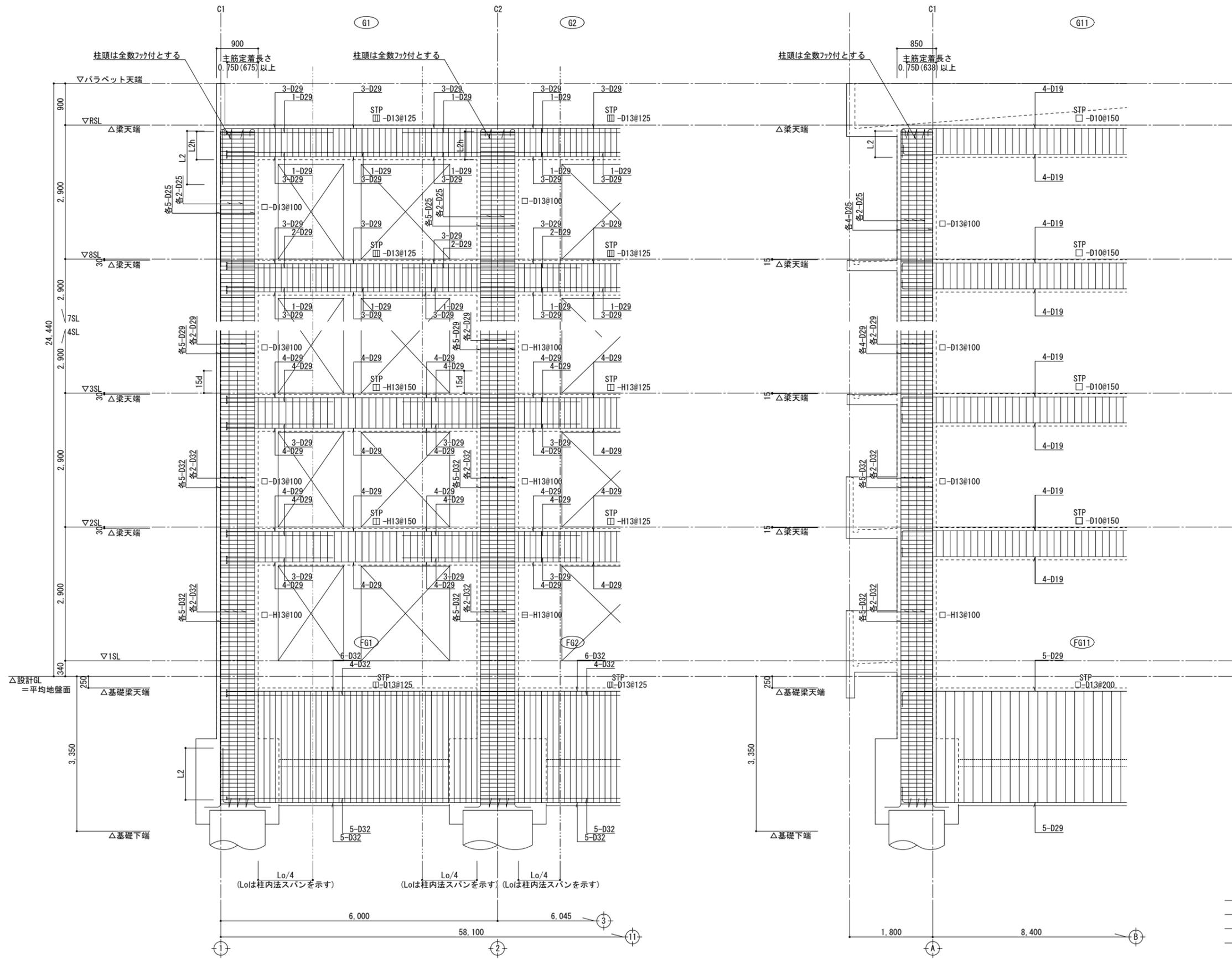
Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Draen

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

補強要領図(参考図)

設計図	DATE	2022/9/20
SCALE	JOB	20080
No.	S	039



A通り架構詳細図 1/60

1通り架構詳細図 1/60

【註記】 特記なき限り下記による
 パネルゾーンフープは柱リストによる
 大梁主筋のカットオフ長さは大梁リストによる
 大梁腹筋は、大梁リストによる
 機械式定着工法は、柱・地中小梁・小梁を除く、地中梁・大梁の外周部のみ採用する (D29以上に使用)

一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良互

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

NOTE	凡例
------	----

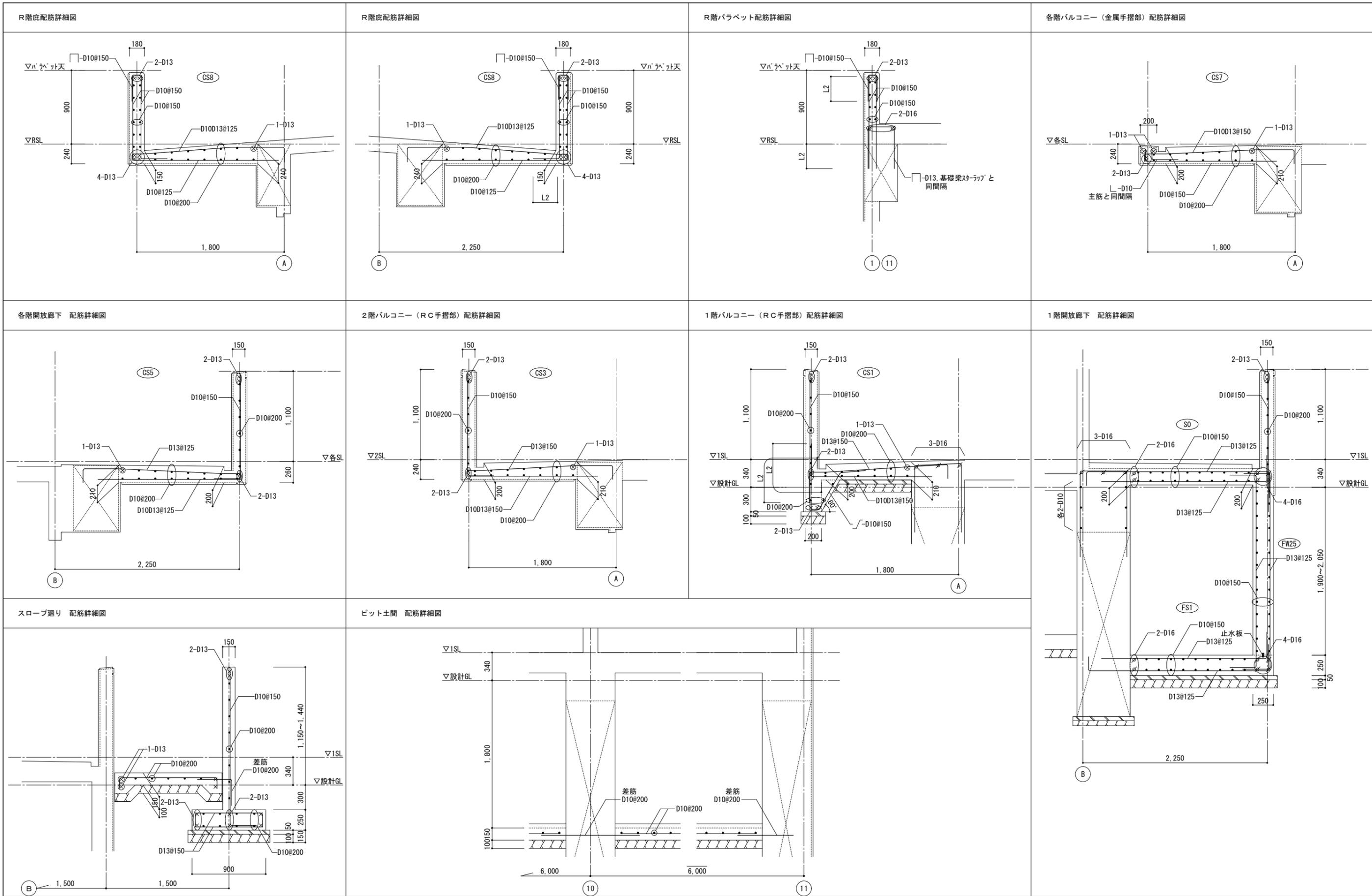
さくら建築設計
 株式会社
 SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
 一級建築士登録
 第243707号
 氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
架構詳細図		SCALE	JOB	20080
		No.	S	040



一級建築士 第219563号
 構造一級建築士 第5499号
 岡本 良互

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

設計者	DATE	2022/9/20
設計図	JOB	20080
SCALE	No.	S 041

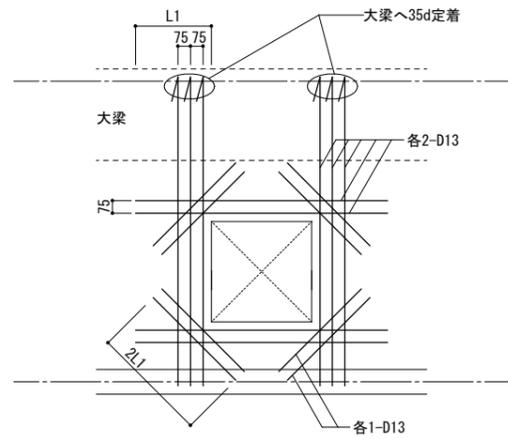
さくら建築設計 株式会社
 SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

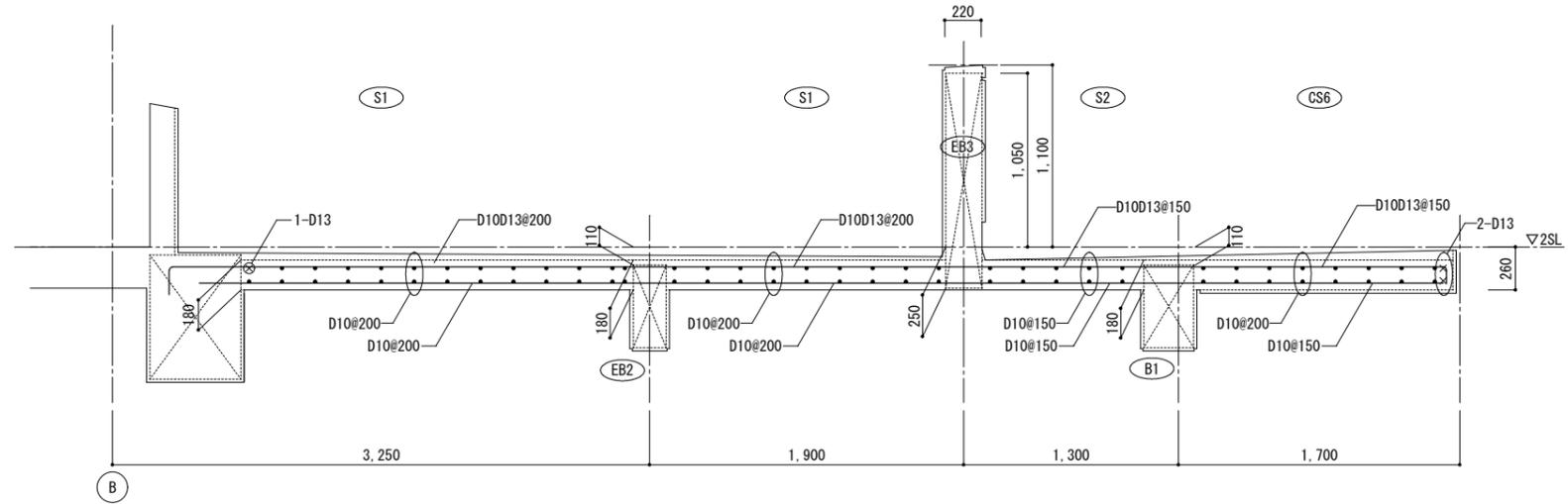
Checked 一級建築士登録 第243707号
 氏名 中島 義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)
 設計図 No. S 041
 印刷日付 22' 12' 7

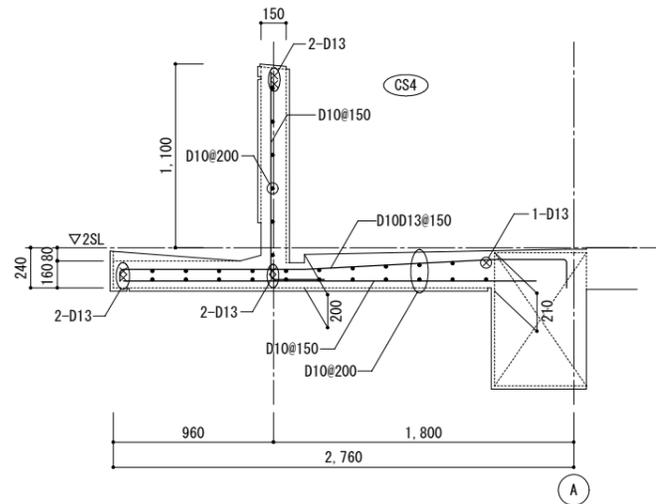
避難ハッチ開口補強 配筋要領図



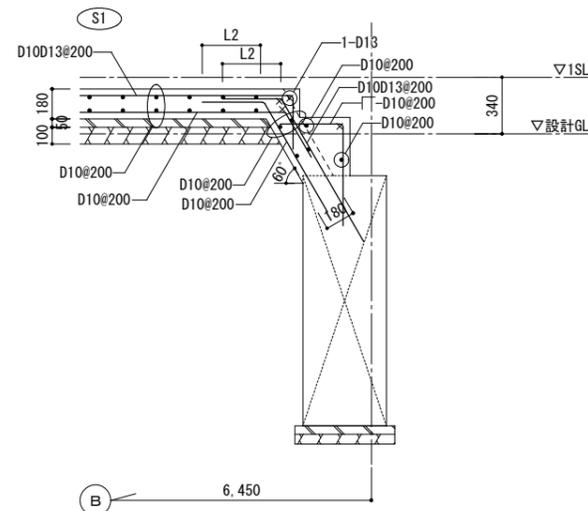
2階エントランス庇配筋詳細図



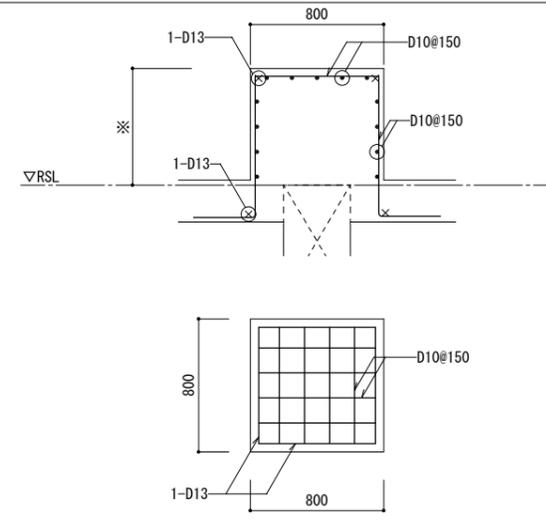
2階庇配筋詳細図



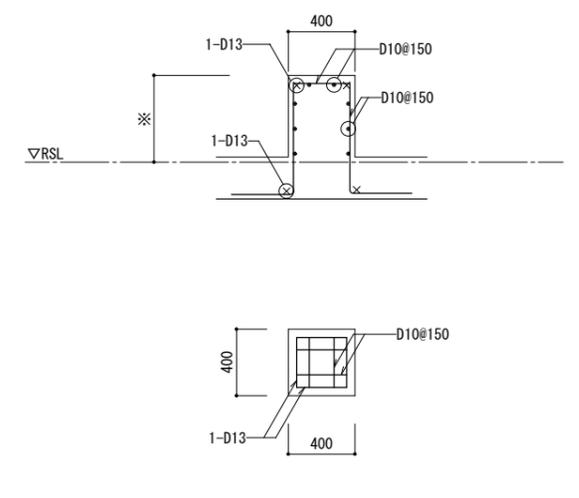
1階エントランス階段配筋詳細図



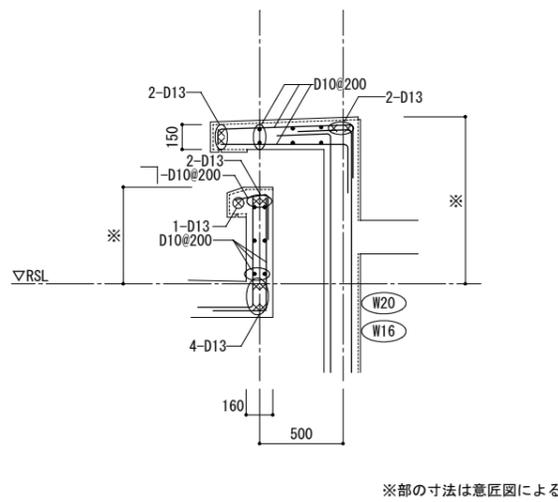
設備基礎配筋詳細図



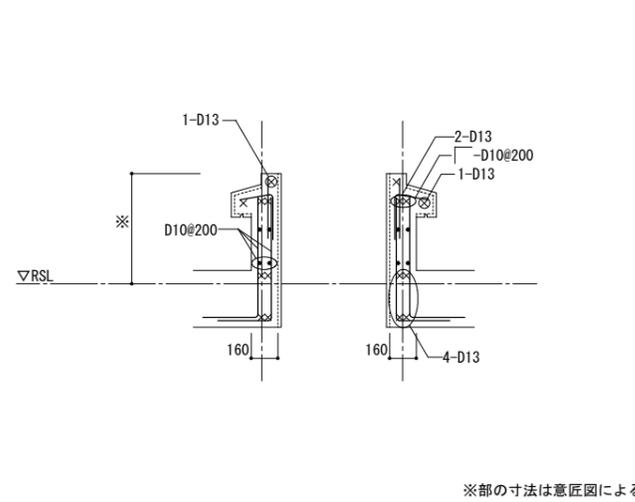
太陽光パネル基礎配筋詳細図



ハト小屋配筋詳細図



屋上点検口配筋詳細図



一級建築士 第219563号
構造一級建築士 第5499号
岡本 良互

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			



さくら建築設計
株式会社

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drafter

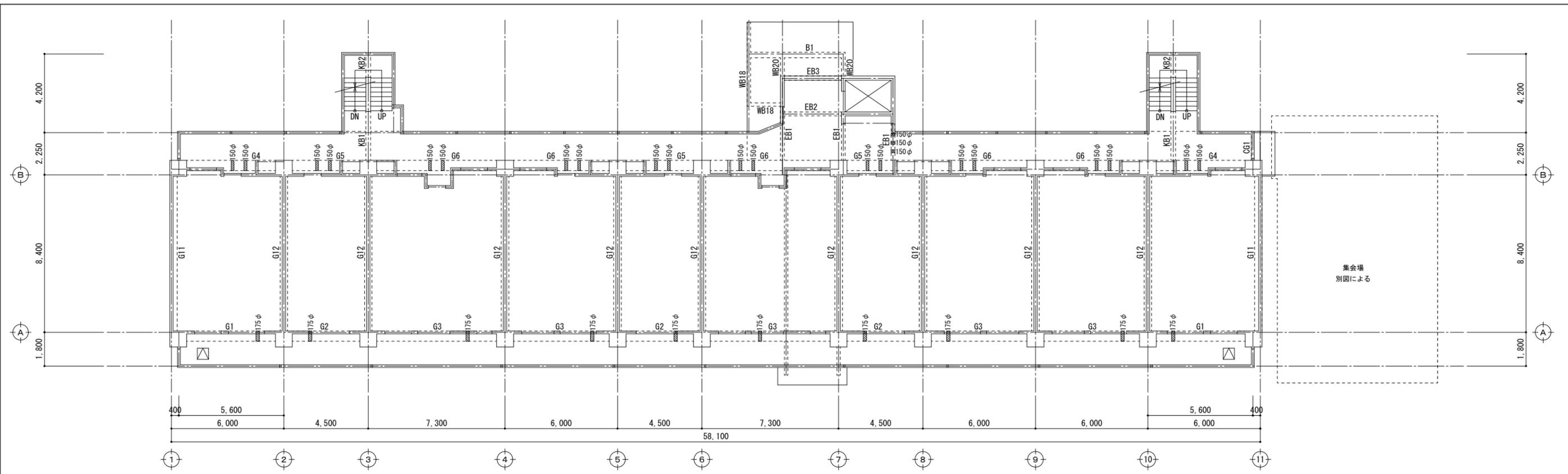
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)

設計図 DATE 2022/9/20

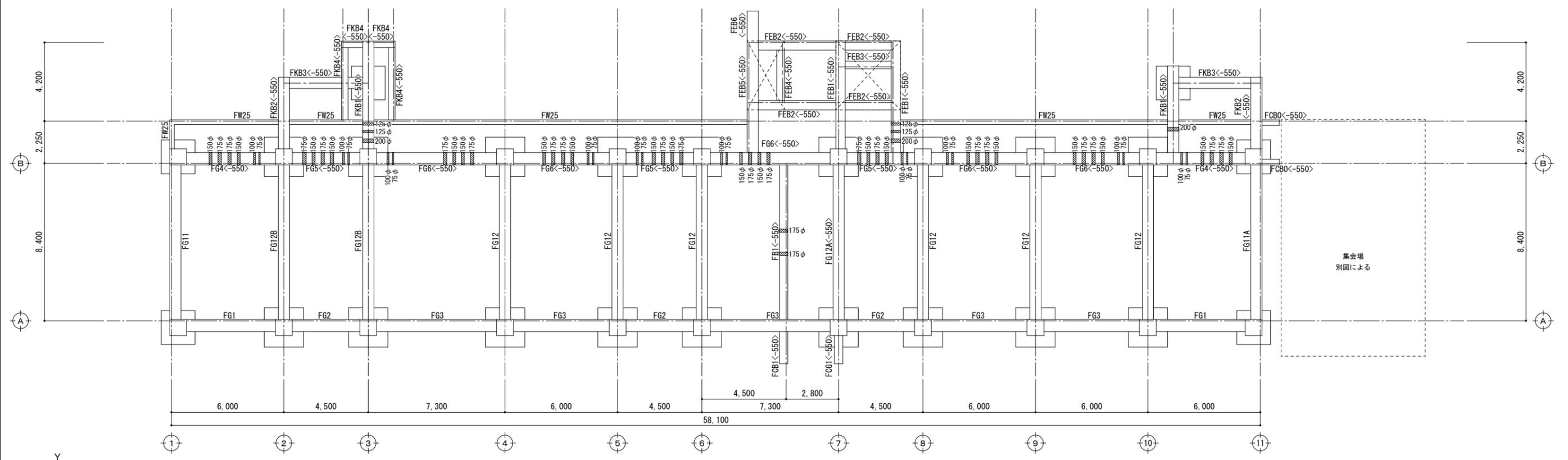
雑配筋図 2

SCALE JOB 20080

No. S 042



2階柱壁2階梁床伏図 S=1:150
(見下げ)



基礎伏図 S=1:150
※図中のスリーブは梁上増打部のものを示す
基礎梁を貫通するスリーブは基礎伏図参照

【註記】 特記なき限り下記による
ISL=設計GL+340とする
基礎梁天端レベルは 設計GL-250を示す
< > は 設計GLからの梁天端レベルを示す

一級建築士 第219563号
構造一級建築士 第5499号
岡本 良亙

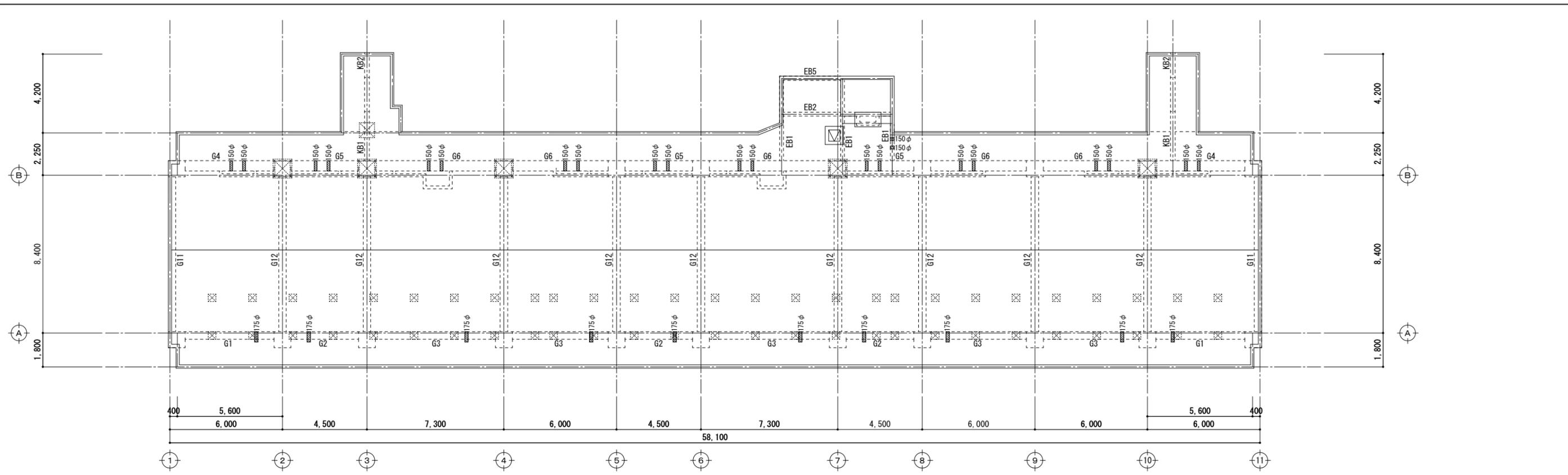
変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例

SAKURA Architects Co., Ltd.	さくら建築設計 株式会社	広島市東区牛田早稲田1-22-13 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康
-----------------------------	--------------	---

Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島 義行
Drawn	

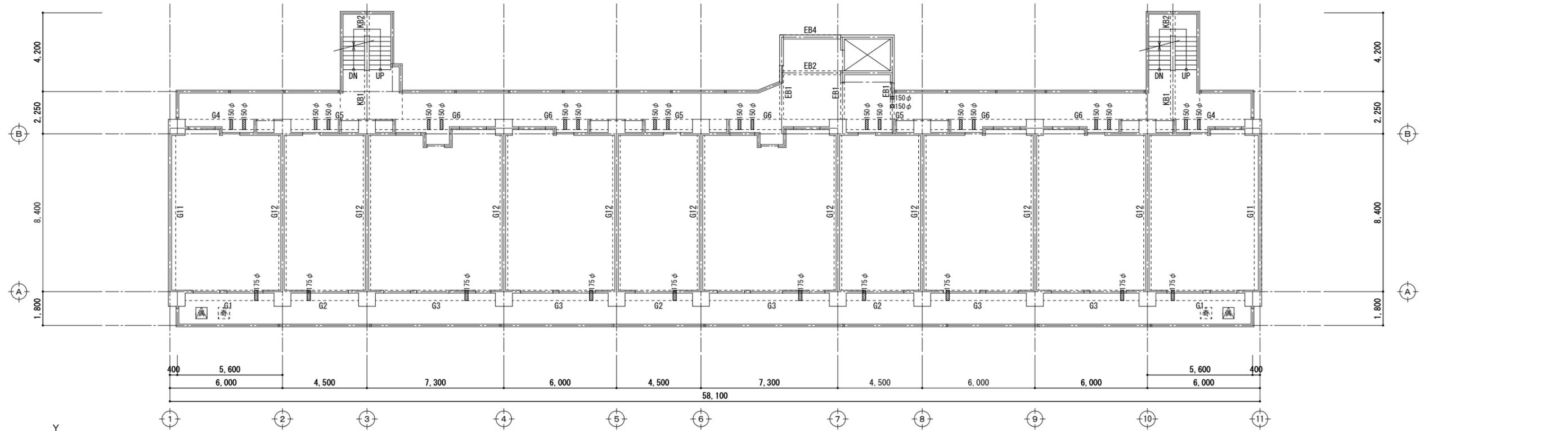
市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
梁スリーブ位置図 1		SCALE	JOB	20080
		No.	S	043

図面: A 2 (縮尺: A 1→141%, A 3→71%)		印刷日付	22' 12' 7
---------------------------------	--	------	-----------



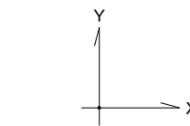
R階梁床伏図 S=1:150

(見下げ)



3~8階柱壁3~8階梁床伏図 S=1:150

(見下げ)



変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△	△		凡例

一級建築士 第219563号 構造一級建築士 第5499号 岡本 良亙

さくら建築設計
株式会社
SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

Drawn

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE	2022/9/20
梁スラブ位置図 2		SCALE	JOB	20080
		1/150	No.	S 044

建築工事特記仕様書 高強度せん断補強筋 エムケーフープ(785級)

株式会社 向山工場
BCJ評定-RC0419-04

1. 一般事項

1-1 適用範囲

本指針は、建築物の鉄筋コンクリート造梁及び柱のせん断補強筋（溶接閉鎖形筋、フック付閉鎖形筋等）として、高強度せん断補強筋用異形棒鋼 MK785（以下、MK785と呼ぶ）を使用する場合の設計・施工に適用する。

1-2 コンクリート

コンクリートの種類は普通コンクリートとし、設計基準強度の範囲は 21N/mm²以上 60N/mm²以下とする。

1-3 共通事項

本仕様書に記載無き事項についてはJASS5によるものとする。

2. MK785フープの品質

2-1 区分、種類の記号及び認定番号は下記による

区分	種類の記号	認定番号
高強度せん断補強筋用異形棒鋼	MK785	MSRB-0067 MSRB-0116

2-2 エムケーフープの化学成分(%)

種類の記号	C	Si	Mn	P	S	炭素当量
MK785	0.40 以下	0.35 以下	1.40 以下	0.035 以下	0.03 以下	0.65 以下

2-3 エムケーフープの形状・寸法、質量およびその許容差

呼び名	公称直径 (mm)	公称周長 (cm)	公称断面積 (cm ²)	単位質量 (kg/m)	質量の許容差
					(%)
MD10	9.53	3.0	0.7133	0.560	±6
MD13	12.7	4.0	1.267	0.995	±6
MD16	15.9	5.0	1.986	1.560	±5

2-4 エムケーフープの機械的性質

試験片の区分	降伏点 (N/mm ²)	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)	曲げ性	
				曲げ角度	内側直径
母材	785以上	930以上	8以上	180°	3.0d
溶接を含んだ部分			5以上		

降伏点は、降伏点または0.2%耐力とする。

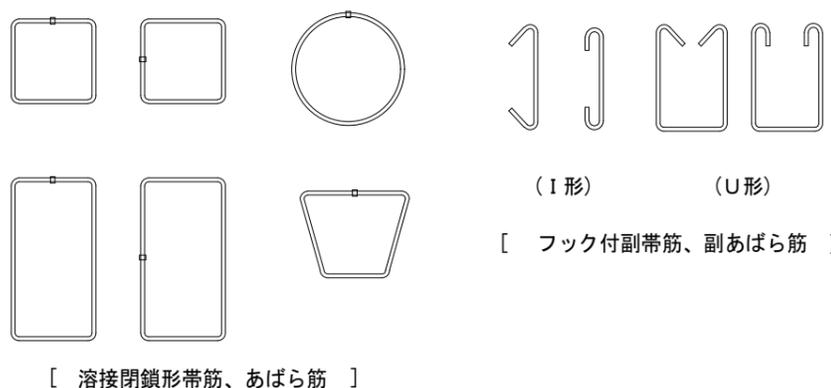
注) dは公称直径を示す

3. 加工

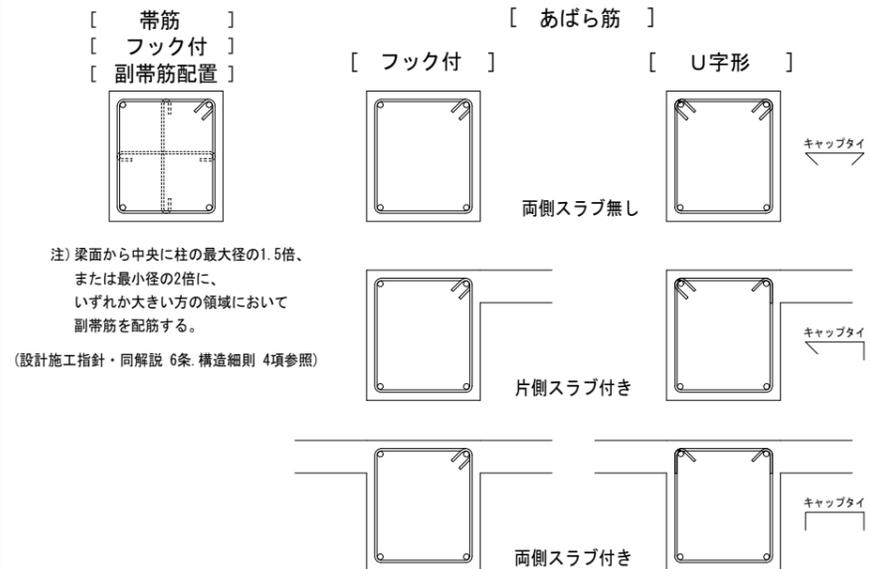
3-1 加工形状

せん断補強筋 MK785の加工形状は、溶接閉鎖形帯筋及びあばら筋、135° フック付き閉鎖形帯筋及びあばら筋、キャプタイ付きU字形あばら筋、U字形副あばら筋、I字形の副帯筋及び副あばら筋とする。

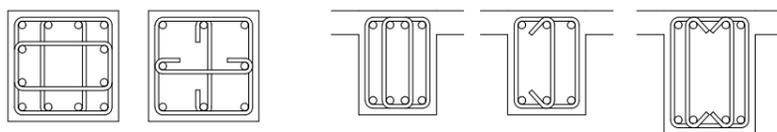
① 基本加工形状（溶接閉鎖形）



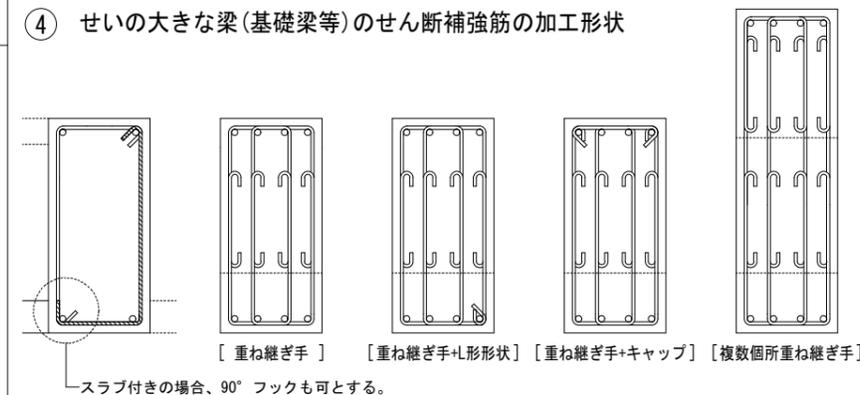
② 基本加工形状（フック付き閉鎖形）



③ 中子筋の加工形状



④ せいの大きな梁（基礎梁等）のせん断補強筋の加工形状



スラブ付きの場合、90° フックも可とする。

3-2 折曲げ部及び重ね継ぎ手の形状・寸法

せん断補強筋MK785の折曲げ部及び梁せいの大きな梁（基礎梁等）における重ね継ぎ手の形状・寸法は、下記によるものとし、冷間加工を原則とする。

種類の記号	MK785			
	折曲げ角度	180°	135°	90°
内側直径(D)	4d以上	4d以上	4d以上	4d以上
余長	6d以上	6d以上	12d以上	6d以上
重ね長さ	—	—	—	表Iによる

注) dは呼び名に用いた数値とする。

表I コンクリート強度と重ね長さ寸法

コンクリート Fc(N/mm ²)	Fc < 36	36 ≤ Fc < 45	45 ≤ Fc
重ね長さ l (mm)	50d	45d	40d

4. その他

4-1 加工は下記のメーカーによる溶接加工とする。

- (MK785によるA級継ぎ手認定企業)
- ・コーリョー建販(株)
 - ・(株)小財スチール
 - ・(株)小財昭和スチール
 - ・近藤鋼材(株)
 - ・昭和産業(株)
 - ・北興昭和(株)
 - ・宮城昭和産業(株)
 - ・(株)ワイビーテクノ

- 4-2 溶接 エムケーフープは現場溶接を行ってはならない。
- 4-3 保管 エムケーフープは直接地面に接するように置かない。
- 4-4 清掃 エムケーフープは組み立てに先立ち、コンクリートの付着を妨害する汚れ、塵や土の付着が無いことを確認し、汚れが認められる場合は取り除くこと。

変更日	変更事項(△変更マーク)	月 / 日	NOTE
△	△	△	△

さくら建築設計株式会社
 広島市東区牛田早稲田1-22-13
 一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
 一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked	一級建築士登録 第243707号 氏名 中島義行
Drawn	

市営新宮沖住宅建設工事（建築主体工事）		設計図	DATE	2022/9/20
高強度せん断補強筋特記仕様書(参考図)		SCALE	JOB	20080
		No.	S	045

一級建築士 第219563号
構造一級建築士 第5499号
岡本 良亙

1. 一般事項

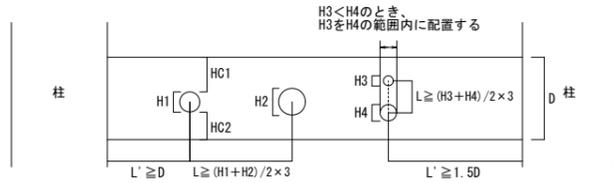
- 本仕様書は、ダイヤレンNSの標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。
- 本設計仕様に記載のない事項については、建築基準法・同施行令、(一財)日本建築センター及び(一社)日本建築学会の関連する諸指針や諸規程、ダイヤレンNS技術マニュアルによる。

2. 使用材料の適用範囲

- コンクリート
 $F_c = 21 \sim 100 \text{N/mm}^2$
- 鉄筋
 - 主筋 : 基準強度295~490N/mm²のJIS鉄筋、490を超え685N/mm²以下の大臣認定品
 - あばら筋 : 基準強度295~490N/mm²のJIS鉄筋、490を超え1275N/mm²以下の大臣認定品
 - ダイヤレンNS : KSS785-K (MSRB-0004)、MK785 (MSRB-0067)

3. 貫通孔適用範囲

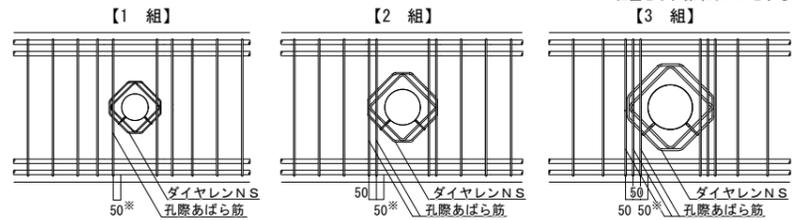
- 開口は円形または多角形とし、多角形の場合はその外接円を開口とみなす。
- 開口径(H)は開口外径とし、750mm以下かつ梁せいの1/3以下とする。ただし、上下に複数の開口を設ける場合は、当該複数開口の開口径の合計は梁せいの1/3以下とする。
- 隣接する開口の水平及び鉛直方向中心間距離(L)は開口径の3倍以上とし、隣接する開口の径が異なる場合は、両開口径の平均値の3倍以上とする。また、上下に複数の開口を設ける場合には、最大径の範囲内にその他の開口を配置することとする。
- へりあき(HC1, HC2)の最小寸法は下式による。
 へりあき \geq (ダイヤレンNSのE寸法-開口径H)/2 + ダイヤレンNSの鉄筋径/2 + あばら筋径 + かぶり厚さ(40mm以上)
 ただし、ダイヤレンNSをあばら筋の内側に施工することとする。
- 水平方向の開口位置は、柱際から開口中心までの距離(L')を梁せいの1.5倍以上とする。
- 上下に複数の開口を設ける場合の水平方向の開口位置は、L'を梁せいの1.5倍以上とする。



H3 < H4 のとき、H3をH4の範囲内に配置する

H1, H2 ≤ 750mm かつ H1, H2 ≤ D/3
 H3, H4 ≤ 750mm かつ Σ(H3, H4) ≤ D/3
 HC1, HC2 ≥ (ダイヤレンNSのE寸法-H1)/2 + ダイヤレンNSの鉄筋径/2 + あばら筋径 + かぶり厚さ(40mm以上)

4. 開口部あばら筋の配筋要領



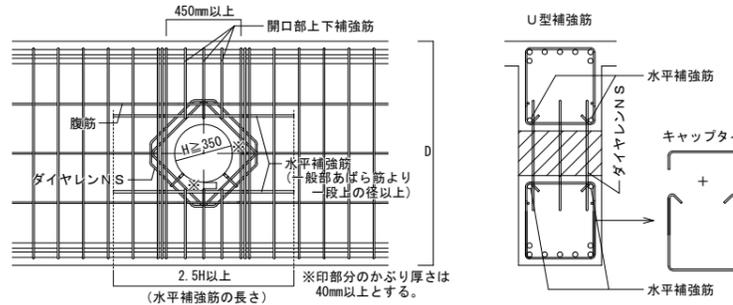
- 開口部あばら筋の組数は、開口が無いとした場合に配置されるあばら筋組数以上とする。
- 孔際あばら筋の組数は、下表の標準組数以上とする。

【開口に対して片側に配置する孔際あばら筋の標準組数】

開口径	一般部あばら筋比 (ρw)	
	1%未満	1%以上
H < 150	1組	2組
150 ≤ H < 300	2組	3組
300 ≤ H	3組	3組

5. 開口部上下補強要領 (350φ以上の場合)

- 開口の左右に配筋する1組目の孔際あばら筋の間隔が梁せいの1/2以上または450mm以上(開口径で350mm以上)になる場合は、開口部上下補強筋により主筋を拘束するための補強を行う。
- 開口部上下補強筋は、一般部あばら筋と同径以上かつ同鋼種とし、一般部あばら筋のピッチ以下となるように配筋する。(丸鋼及びインデントは不可)
- 梁幅が400mm未満もしくはコ型補強筋の梁主筋側面長さが25d (dは鉄筋の呼び径) 以下の場合は、U型またはII型の形状で補強を行う。
- 水平補強筋は、一般部あばら筋より1段上の径以上とし (SD295A程度)、開口径の2.5倍以上の長さとする。



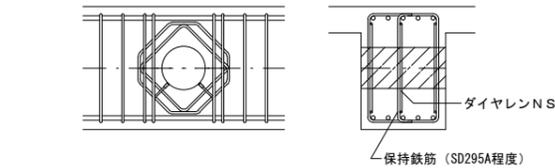
開口上下部分の補強要領 (U型補強筋で補強する場合の例)

6. 施工要領例

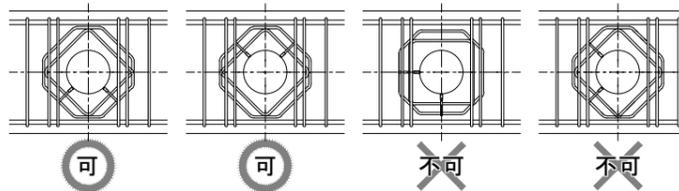
- 型枠上に開口の位置と開口径等を墨出しする。
- 補強設計に必要な孔際あばら筋と一般部あばら筋を配筋する。孔際あばら筋は、1組目は必要なかぶり厚さを確保した所定の位置に配置し、2組目以降はそれぞれ50mmピッチで配筋する。孔際あばら筋と一般部あばら筋の間隔は、設計ピッチ以下とする。
- ダイヤレンNSを左右の孔際あばら筋の間から挿入し、孔際あばら筋等に4か所以上結束する。
- スリーブをダイヤレンNSのスリーブ受け筋にセットし、針金等で固定する。
- 孔際あばら筋を配筋するのが困難な場合は、束ね配筋にすることができる。(束ね配筋は、2組までは束ねることができるが、3組以上は束ねてはならない。)
- 開口部周囲のそれぞれの鉄筋のかぶり厚さが適正に確保されていることを確認する。

7. 施工における注意事項

- 補強設計によってダイヤレンNSが3枚以上になった場合で中子筋が無い場合は下図のように保持鉄筋等に結束する。



- ダイヤレンNSはあばら筋に対して斜め45度の傾きをもって必要な耐力が期待できるため、下図の「可」のように施工すること。

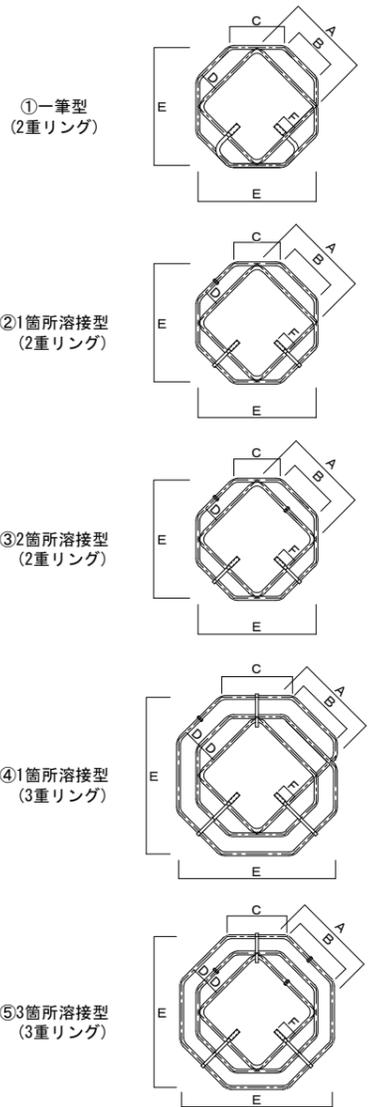


8. ダイヤレンNS標準製品寸法表

スリーブ径 (対応径)	型	サイズ	寸法						形状	重量 (kg/枚)	Ho
			A	B	C	D	E	F			
100φ (H ≤ 115)	I	6	205	115	127	45	289	45	①	0.55	204
	II	8	205	115	127	45	289	45	②	0.85	205
	III	10	205	95	155	55	289	45	③	1.14	206
	IV	13	210	80	183	65	296	48	④	2.01	211
	V	16	230	100	183	65	325	55	⑤	3.46	227
	V-3R	16	230	154	237	65	455	57	⑥	6.14	292
125φ (H ≤ 141)	I	6	230	140	127	45	325	45	①	0.60	222
	II	8	230	140	127	45	325	45	②	0.94	223
	III	10	235	125	155	55	332	48	③	1.27	227
	IV	13	240	110	183	65	339	50	④	2.26	232
	V	16	240	110	183	65	339	50	⑤	3.57	234
	V-3R	16	240	164	237	65	469	49	⑥	6.31	299
150φ (H ≤ 166)	I	6	255	165	127	45	360	45	①	0.66	239
	II	8	255	165	127	45	360	45	②	1.03	240
	III	10	260	150	155	55	367	47	③	1.38	245
	IV	13	260	130	183	65	367	47	④	2.41	246
	V	16	265	135	183	65	374	50	⑤	3.88	251
	V-3R	16	265	189	237	65	504	49	⑥	6.78	316
175φ (H ≤ 191)	I	6	280	190	127	45	395	45	①	0.71	257
	II	8	280	190	127	45	395	45	②	1.12	258
	III	10	285	175	155	55	403	47	③	1.50	263
	IV	13	285	155	183	65	403	47	④	2.61	264
	V	16	290	160	183	65	410	50	⑤	4.19	269
	V-3R	16	290	214	237	65	540	49	⑥	7.25	334
200φ (H ≤ 216)	I	6	305	215	127	45	431	45	①	0.77	275
	II	8	305	215	127	45	431	45	②	1.20	276
	III	10	310	200	155	55	438	47	③	1.61	280
	IV	13	310	180	183	65	438	47	④	2.81	282
	V	16	320	190	183	65	452	50	⑤	4.57	290
	V-3R	16	320	244	237	65	582	52	⑥	7.82	355
250φ (H ≤ 270)	I	6	360	270	127	45	509	45	①	0.89	314
	II	8	360	270	127	45	509	45	②	1.40	315
	III	10	360	250	155	55	509	45	③	1.83	316
	IV	13	370	240	183	65	523	50	④	3.29	324
	V	16	370	210	226	80	523	50	⑤	5.31	326
	V-3R	16	370	276	292	80	683	50	⑥	9.11	406
300φ (H ≤ 320)	I	6	410	320	127	45	579	45	①	1.01	349
	II	8	410	320	127	45	579	45	②	1.57	350
	III	10	410	300	155	55	579	45	③	2.05	351
	IV	13	420	290	183	65	593	50	④	3.69	359
	V	16	420	260	226	80	593	50	⑤	5.93	361
	V-3R	16	420	326	292	80	753	50	⑥	10.04	441
350φ (H ≤ 370)	I	6	460	370	127	45	650	45	①	1.12	384
	II	8	460	370	127	45	650	45	②	1.75	385
	III	10	460	350	155	55	650	45	③	2.28	386
	IV	13	470	340	183	65	664	50	④	4.09	395
	V	16	470	310	226	80	664	50	⑤	6.55	396
	V-3R	16	470	376	292	80	824	50	⑥	10.98	476
400φ (H ≤ 420)	I	8	510	420	127	45	721	45	①	1.92	421
	II	10	510	400	155	55	721	45	②	2.50	422
	III	13	520	390	183	65	735	50	③	4.48	430
	IV	16	530	370	226	80	749	55	④	7.31	439
	IV-3R	16	530	436	292	80	909	55	⑤	12.11	519
	V	16	560	470	226	80	824	50	⑥	2.10	456
450φ (H ≤ 470)	I	10	560	450	155	55	791	45	①	2.73	457
	II	13	570	440	183	65	806	50	②	4.88	466
	III	16	580	420	226	80	820	55	③	7.94	474
	IV	16	580	486	292	80	980	55	④	13.04	554
	IV-3R	16	580	550	355	55	862	45	⑤	2.95	492
	V	16	610	500	155	55	862	45	⑥	2.95	492
500φ (H ≤ 520)	I	10	660	550	155	55	933	45	①	3.17	528
	II	13	670	540	183	65	947	50	②	5.68	536
	III	16	680	520	226	80	961	55	③	9.18	545
	IV	16	630	536	292	80	1050	55	④	13.98	589
	IV-3R	16	630	600	355	55	933	45	⑤	3.17	528
	V	16	720	610	155	55	1018	45	⑥	3.44	570
550φ (H ≤ 570)	I	10	720	610	155	55	1018	45	①	3.44	570
	II	13	730	600	183	65	1032	50	②	6.16	579
	III	16	750	590	226	80	1060	60	③	10.07	594
	IV	16	750	656	292	80	1220	60	④	16.24	674
	IV-3R	16	750	706	355	55	1088	45	⑤	3.67	605
	V	16	800	640	226	80	1131	60	⑥	10.69	630
600φ (H ≤ 630)	I	10	820	710	155	55	1159	45	①	3.89	641
	II	13	830	700	183	65	1173	50	②	6.95	649
	III	16	850	690	226	80	1202	60	③	11.32	665
	IV	16	850	756	292	80	1362	60	④	18.11	745
	IV-3R	16	850	806	355	55	1230	45	⑤	4.11	676
	V	16	900	740	226	80	1272	60	⑥	11.94	700
650φ (H ≤ 680)	I	10	900	806	292	80	1432	60	①	19.05	780
	II	13	880	750	183	65	1244	50	②	7.35	685
	III	16	900	740	226	80	1272	60	③	11.94	700
	IV	16	900	806	292	80	1432	60	④	19.05	780
	IV-3R	16	900	806	292	80	1432	60	⑤	19.05	780
	V	16	900	806	292	80	1432	60	⑥	19.05	780

※対応径は、スリーブ面とダイヤレンNS内リング筋の内側面までのかぶり厚さを40mmとした場合の開口外径
 ※表中Hoは、かぶり厚さ40mm、あばら筋径16mmとした場合のコンクリート面から開口中心までの距離
 ※寸法は、鉄筋の芯-芯間とする

【ダイヤレンNS標準形状】



DBヘッド定着工法 (RC) 配筋要領図 (参考図)

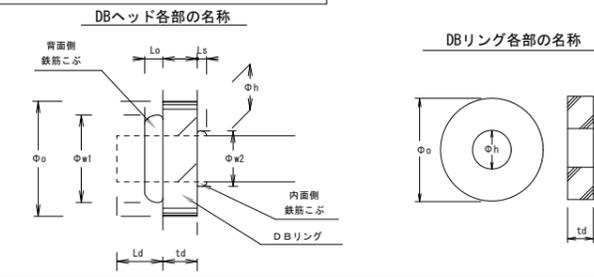
設計フロー 「置換え方式」

設計指針10章(1)(2)に示す、技術基準解説書の接合部せん断検定条件が一貫構造計算プログラムで確認されている場合に、設計指針10章(2)の構造規定を満足することを確認する検定方式を指す。

技術適用の範囲

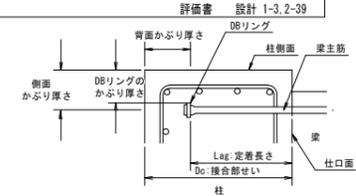
- 構造種別
① 鉄筋コンクリート(RC)造
② プレストレストコンクリート(PC)造
③ ①~②のプレキャストコンクリート造
- 使用部位
① 梁主筋および柱主筋の柱梁接合部への定着
② 梁主筋の梁への定着
③ 柱主筋の基礎部への定着
④ 基礎梁主筋の基礎部への定着
⑤ 壁筋の柱、梁および壁への定着
⑥ 小梁主筋およびスラブ筋の梁への定着
⑦ アンカーボルトの定着
- コンクリート
普通コンクリート 21~60N/mm²
- 鉄筋
(鋼種)SD295A B SD345 SD390 SD490 (呼び名) D16~D41
※ 鋼種SD490によるDBヘッドの製造には、天然ガス加熱または高周波誘導加熱による自動製造装置を用いること。
※ 本工法の使用に際しては、株式会社ディビーエスの技術検討を受けることを基本とする。

DBヘッド各部の名称、標準寸法



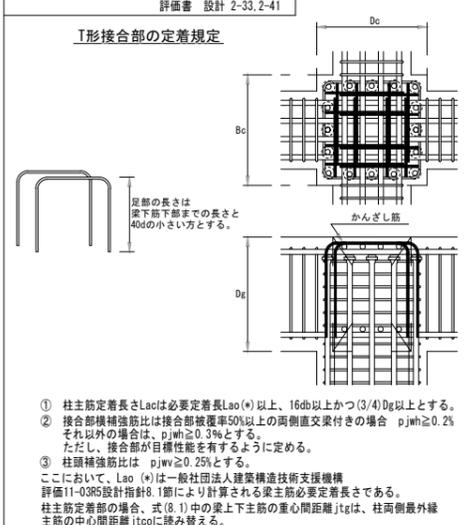
鉄筋呼び名 db	背面側鉄筋寸法				内面側鉄筋寸法				DBリング			
	突出長さ	Lo (mm)	直径 φw1 (mm)	標準寸法	標準寸法	公差	標準寸法	公差	外径 φo (mm)	孔径 φh (mm)	板厚 t (mm)	支圧比
D16	10	24	11	19	40	18.0	10	5.3	45	20.5	12	4.5
D19	11	29	13	23	45	20.5	12	4.5	55	24.0	14	5.1
D22	13	33	15	26	60	27.0	15	4.6	70	31.0	18	5.0
D25	15	38	18	30	70	32.5	18	5.0	80	34.0	20	5.3
D29	17	44	20	35	85	37.5	21	4.9	95	41.5	23	5.2
D32	19	48	22	38	100	44.5	25	4.9				
D35	21	53	24	42								
D38	23	57	26	46								
D41	25	62	28	49								

DBヘッドの定着長さ、かぶりの定義

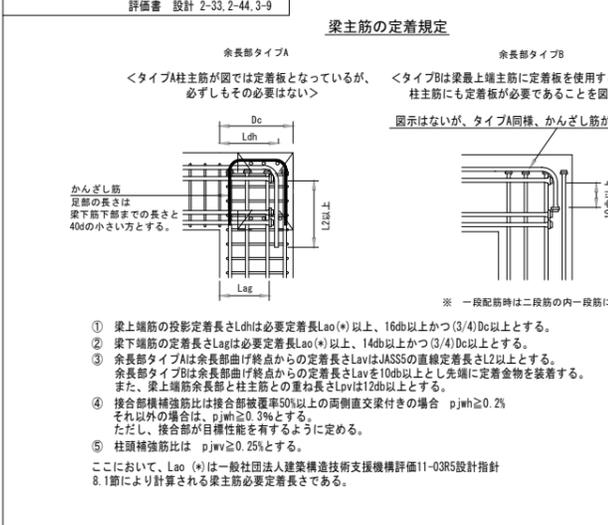


- かぶりに関する規定
① 背面かぶり厚さは4db以上を基本とする。ただし、Lag≧15dbの場合、背面かぶり厚さは3db以上。
② 側面かぶり厚さは主筋中心より3db以上とする。
③ DBリングのかぶり厚さは建築基準法施工令第79条で定める値以上とする。
※ db: 鉄筋呼び名に用いる数値

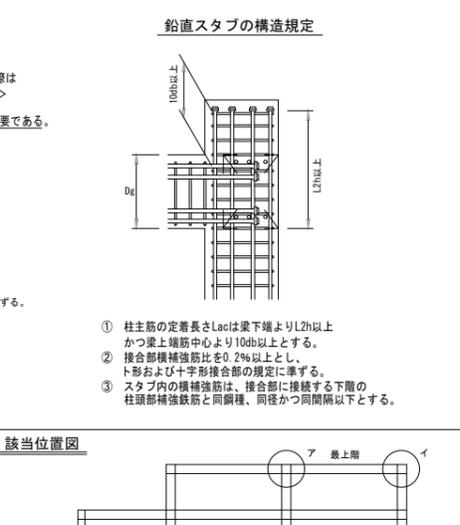
ア. T形接合部 (最上階)



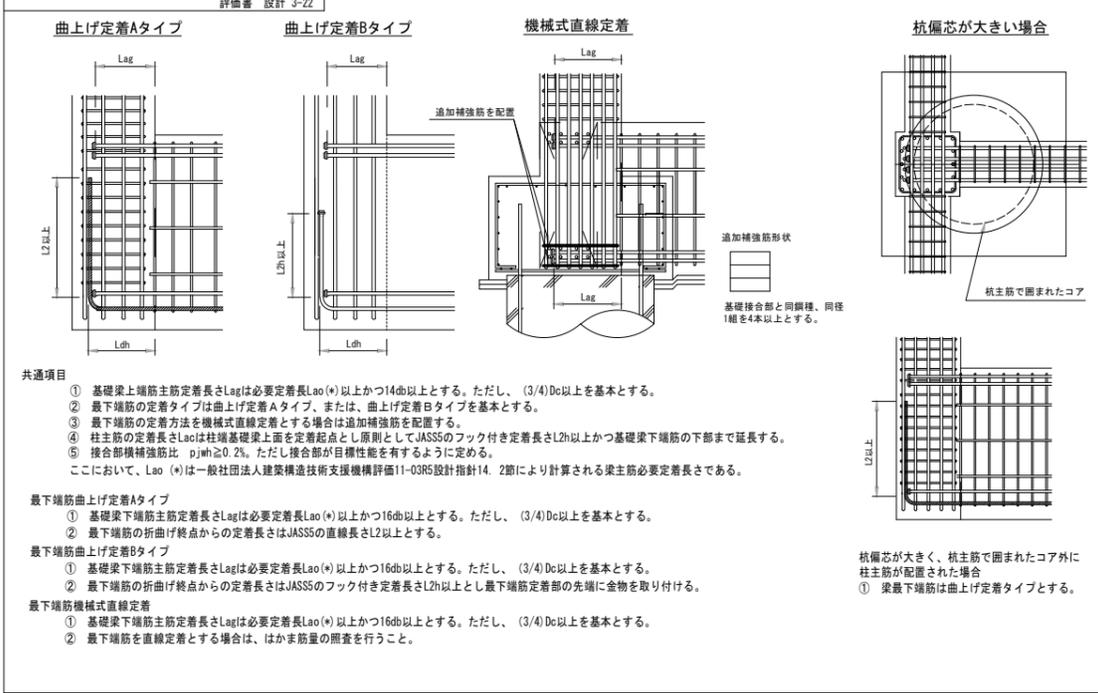
イ. L形接合部 (最上階)



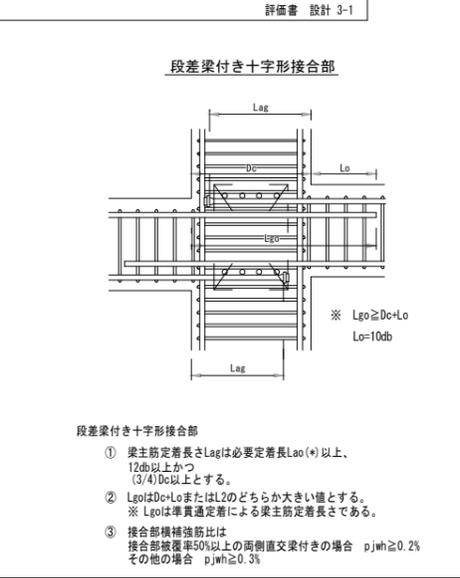
ウ. 上階柱断面が絞られた梁柱接合部



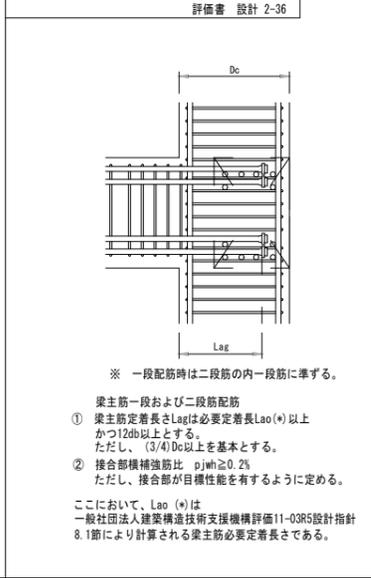
エ. 基礎梁接合部 (最下階)



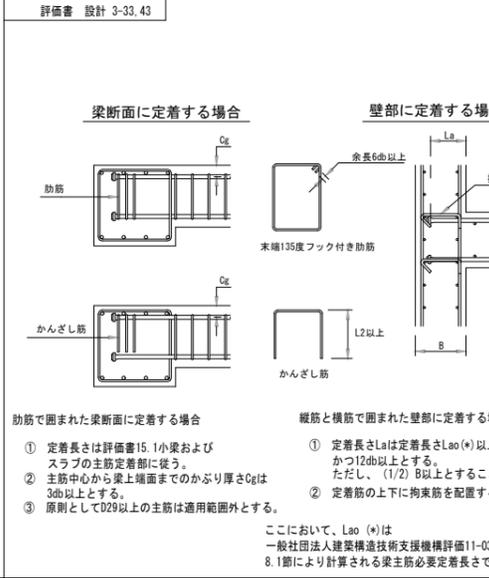
オ. 十字形接合部 (中間階)



カ. ト形接合部 (中間階)



キ. 小梁の定着



一級建築士 第219563号
構造一級建築士 第5499号
岡本 良直

変更日	変更事項(Δ変更マーク)	月 / 日	NOTE
△			凡例
△			
△			

さくら建築設計 株式会社
SAKURA Architects Co., Ltd.

広島市東区牛田早稲田1-22-13
一級建築士事務所登録 21 (1) 第0232号
一級建築士登録 第188696号 正木 繁康

Checked
一級建築士登録
第243707号
氏名 中島義行

市営新宮沖住宅建設工事 (建築主体工事)		設計図	DATE
SCALE	JOB		20080
No.	S		047

参 考 数 量 書

工 事 名 称 市営新宮沖住宅建設工事（建築主体工事）

工 事 場 所 三原市宮沖一丁目

[工 事 概 要]

用途,構造,面積	共同住宅：鉄筋コンクリート造 8階建て，床面積4,299.87㎡ 集会所：木造平屋建て，床面積 85.12㎡	
工 事 範 囲	建築主体工事	
別 途 工 事	電気設備工事，機械設備工事	
工 期	契約締結日の翌日 ～ 令和6年9月30日	
一 般 事 項		
《 工事予算内訳 》	合 計 金 額	
〈内 訳〉		
区 分	金 額	概 要
設 計 金 額		
消 費 税 額		
合 計 金 額		

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		
工事費	1	式		
調査基準価格	1	式		
調査基準価格の100/110	1	式		

建築工事 科目別内訳

共同住宅									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1		式					
土工		1		式					
地業		1		式					
コンクリート		1		式					
型枠		1		式					
鉄筋		1		式					
既製コンクリート		1		式					
防水		1		式					
タイル		1		式					
木工		1		式					
とい		1		式					
金属		1		式					
左官		1		式					
建具		1		式					
塗装		1		式					

共同住宅		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
遣り方		1	式			別紙 00-0001
墨出し		1	式			別紙 00-0002
養生		1	式			別紙 00-0003
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0004
地足場		1	式			別紙 00-0005
外部足場		1	式			別紙 00-0006
内部躯体足場		1	式			別紙 00-0007
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0008
災害防止		1	式			別紙 00-0009
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0010
計						

建築工事 細目別内訳

共同住宅		土工		土工		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
浅層地盤改良		1	式			別紙 00-0011
根切り	総掘り 自立山留め内	2,760	m3			
床付け	総掘り	494	m ²			
杭間さらい		26	本			
埋戻し(A種)	- 山砂の類	988	m3			
盛土(A種)	山砂の類	9.2	m3			
土工機械運搬 (バックホ)		1	式			別紙 00-0012
建設発生土運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.8m3 土砂 DID区間有り 19.5km以下	2,760	m3			
建設発生土処分	産廃扱い	2,760	m3			
山留め	鋼矢板工法 III型 圧入工法 H=12.0m	1	式			別紙 00-0013
水替え費	バルボント工法 公共下水道に適切排出	1	式			別紙 00-0014
計						

共同住宅		地業		場所打ち鋼管コンクリート杭		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(材料)						
異形鉄筋	SD295A D13	15.7	t			
異形鉄筋	SD295A D16	0.6	t			
異形鉄筋	SD345 D25	3.8	t			
異形鉄筋	SD390 D32	65.5	t			
異形鉄筋	SD390 D35	6.7	t			
平鋼	SS400 FB-9×75	7.3	t			
普通コンクリート	(高炉セメントB種使用) FC=27N/mm ² S=15	1,184	m ³			
P1 内面突起付鋼管	SKK490 径1200 厚9 L=5.0m	4	か所			

共同住宅		地業		場所打ち鋼管コンクリート杭		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
P2 内面突起付鋼管	SKK490 径1500 厚9 L=5.0m	18	か所			
P3 内面突起付鋼管	SKK490 径1200 厚9 L=5.0m	4	か所			
鋼管吊りビース	5-10t	52	か所			
鋼管運搬費		1	式			
(施工費)						
杭施工費	場所打鋼管コンクリート杭 ホルケーシング工法併用 (振動または全周回転)	1	式			別紙 00-0015
残土処分費	産廃扱い	1,184	m3			
汚泥処理費		70	m3			
(既存PC杭処理)						
鉄筋切断	集積共	11	m3			
コンクリート類 集積、積込み	機 械	11	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 8.5km以下	11	m3			
発生材処分	有筋コンクリート 10t車	11	m3			

共同住宅		型枠				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
型枠	普通合板型枠 基礎部	2,389	m ²			
型枠	打放合板型枠C種 ラーメン構造 基礎部	976	m ²			
型枠	普通合板型枠 ラーメン構造 地上軸部	11,491	m ²			
型枠	打放合板型枠B種 地上軸部 階高2.8m程度 ラーメン構造	8,091	m ²			
型枠運搬費	4t車 30km程度 往復	22,946	m ²			
ダクトボルト 設置		1	式			別紙 00-0020
打放し面補修		1	式			別紙 00-0021
型枠目地棒		1	式			別紙 00-0022
耐震スリット		1	式			別紙 00-0023
止水板		1	式			別紙 00-0024
人通孔		1	式			別紙 00-0025
スリーブ		1	式			別紙 00-0026
排水連通管		1	式			別紙 00-0027
屋根太陽光用基礎 アンカボルト	M12 L=140 ダブルナット 材工共	216	本			
計						

共同住宅		鉄筋				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	SD295A D10	171	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	SD295A D13	201	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	SD295A D16	77.2	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	SD345 D19	17	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	SD345 D22	0.5	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	SD345 D25	7.9	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	SD390 D32	82.3	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	SD390 D35					

共同住宅		鉄筋				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
		47.1	t			
鉄筋スクラップ 控除	H2	16.3	t			
高強度 せん断補強筋	H13 (MK785) 溶接閉鎖型	23.5	t			
溶接閉鎖型フープ	SD295A D13	6.6	t			
鉄筋加工組立	RCラーメン構造 階高3.5~4.0m程度 形状単純	581	t			
梁貫通孔補強 鉄筋加工組立	太物	0.8	t			
鉄筋組立	溶接閉鎖型	30.1	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	611	t			
DBベッド加工		1	式			別紙 00-0028
鉄筋ガス圧接		1	式			別紙 00-0029
梁貫通孔補強		1	式			別紙 00-0030
計						

共同住宅		木工			内部	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床・棚 [°] 裨		1	式			別紙 00-0033
外周壁 [°] 裨		1	式			別紙 00-0034
間仕切 [°] 裨		1	式			別紙 00-0035
天井 [°] 裨		1	式			別紙 00-0036
集成造作材		1	式			別紙 00-0037
単一造作材		1	式			別紙 00-0038
床 [°] エツト		1	式			別紙 00-0039
下地材・建材 ・その他		1	式			別紙 00-0040
大工手間		1	式			別紙 00-0041
補足材		1	式			別紙 00-0042
計						

共同住宅		金属			外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
館名文字	1500角 HL仕上げ	2	か所				
オーバーフロー管	SUS40Φ L=200	4	か所				
スロープ ステンレス製手摺	H=800 支柱HL34φ×2.0 手摺HL42.7Φ×2.0:2段	13.6	m				
屋上点検口	ステンレス製 径600	1	か所				
タラップ(足掛)	ステンレス製 8-31-1	20	か所				
床下点検口	600角 (鍵付)	3	か所				
床下点検口	450角 (鍵無)	5	か所				
床目地棒	ステンレス製 6×15	4.8	m				
集合郵便受	W280×H120×D406.2D ナスタ KS-MB6202PU-L-S 同等品以上	80	か所				
物干金物	折りたたみ式	80	セット				
エアコン ^レ ン用排水溝	既製品 L=1960	70	か所				
パ ^ル コニー カラーアルミ製 縦格子手摺	H=1115 後施工樹脂ア ^ン カー:SUSM12寸切りボ ^ル ト	356	m				
AH-1 パ ^ル コニー隔板	W910×H1800 ケイカル板t=5 避難案内ステッカー貼 (両面) 共	8	か所				
AH-1 パ ^ル コニー隔板	W930×H1800 ケイカル板t=5 避難案内ステッカー貼 (両面) 共	63	か所				
避難器具	Aタイプ ^レ 埋込ハッチ式 タスカルSPタイプ ^レ 同等品以上	14	か所				

共同住宅		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
EVメンテナンス用 吊りフック	22Φ ジノクロメートメッキ	2	か所			
タラップ(足掛)	ステンレス製 8-31-1	15	か所			
ステンレスハンドル	19Φ W400×D110	32	か所			
(1DK:25戸)						
クレー取付用 化粧ボルト	Φ10×2個所	25	か所			
給気レンジスター	150φ プッシュ式フィルター付	25	か所			
床点検口	屋内用 一般型貼物用 アルミ製枠 アルミ目地 鍵無 450角	4	か所			
壁点検口	樹脂製 250角	75	か所			
(2DK:40戸)						
クレー取付用 化粧ボルト	Φ10×2個所	120	か所			
給気レンジスター	100φ プッシュ式フィルター付	80	か所			
給気レンジスター	150φ プッシュ式フィルター付	40	か所			
床点検口	屋内用 一般型貼物用 アルミ製枠 アルミ目地 鍵無 450角	5	か所			
壁点検口	樹脂製 250角	120	か所			
(3DK:15戸)						

建築工事 細目別内訳

共同住宅		左官		外部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 防水下地	774	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	1,545	m ²			
スロープ コンクリート ほうき目仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	12.9	m ²			
床コンクリート 誘発目地切り		1,897	m			
立上り天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 幅150程度	13.9	m			
立上り天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 幅200程度	782	m			
太陽光用 基礎天端コンクリート直均し	金ごて 400×400	54	か所			
設備用 基礎天端コンクリート直均し	金ごて 1000×1000	6	か所			
ハ小屋天端 コンクリート直均し	金ごて 1700×820	1	か所			
ハ小屋天端 コンクリート直均し	金ごて 1400×820	1	か所			
ハ小屋 防水モルタル塗り	CB面 H=220	2.5	m			
排水溝 防水モルタル塗り	金ごて 糸幅200	908	m			
階段排水溝 防水モルタル塗り	金ごて 糸幅200	27.9	m			
階段防水モルタル塗り	金ごて モルタル仕上げ厚30	140	m ²			
階段段鼻 V字形溝切り		436	m			

共同住宅		左官		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	557	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 塗膜防水下地	4.2	m ²			
排水溝モルタル塗り	金ごて 幅200	62	m			
釜場底モルタル塗り	金ごて 800×800	1	か所			
壁モルタル塗り	金ごて 内壁 厚20	2.6	m ²			
(1DK:25戸)						
床モルタル塗り	厚60 金ごて ビニール系床材下地	39.1	m ²			
床セルフレベリング材塗り	セメント系 厚25	600	m ²			
(2DK:40戸)						
床モルタル塗り	厚60 金ごて ビニール系床材下地	62.7	m ²			
床セルフレベリング材塗り	セメント系 厚15	189	m ²			
床セルフレベリング材塗り	セメント系 厚25	1,046	m ²			
(3DK:15戸)						
床モルタル塗り	厚60 金ごて ビニール系床材下地	26.4	m ²			
床セルフレベリング材塗り	セメント系 厚15	113	m ²			

共同住宅		建具		アルミニウム製建具			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
AD-1 引違い窓	W1600×H1900×D70 額縁用樹脂製アングル, 網戸共	38	か所				
AD-2 引違い窓	W1800×H1900×D70 額縁用樹脂製アングル, 網戸共	32	か所				
AD-3 引違い窓	W2000×H1900×D70 額縁用樹脂製アングル, 網戸共	25	か所				
AD-4 引違い窓	W1400×H1900×D70 額縁用樹脂製アングル, 網戸共	14	か所				
AD-5 引違い窓 (防火設備)	W1800×H1900×D70 額縁用樹脂製アングル, 網戸共	6	か所				
AD-6 引違い窓	W1400×H1900×D70 額縁用樹脂製アングル, 網戸共	7	か所				
AD-7 引違い窓 (防火設備)	W1400×H1900×D70 額縁用樹脂製アングル, 網戸共	7	か所				
AD-8 引違い窓	W1800×H1900×D70 額縁用樹脂製アングル, 網戸共	1	か所				
AD-9 引違い窓 (防火設備)	W1800×H1900×D70 額縁用樹脂製アングル, 網戸共	1	か所				
AD-10 引違い窓	W1400×H1900×D70 額縁用樹脂製アングル, 網戸共	1	か所				
AD-11 引違い窓 (防火設備)	W1400×H1900×D70 額縁用樹脂製アングル, 網戸共	1	か所				
AD-12 片開き窓	W700×H1900×D70 額縁用樹脂製アングル, 網戸共	14	か所				
AD-13 引違い窓	W1600×H1900×D70 額縁用樹脂製アングル, 網戸共	1	か所				
AD-14 引違い窓	W1400×H1900×D70 額縁用樹脂製アングル, 網戸共	1	か所				
AD-15 片開き窓	W700×H1900×D70 額縁用樹脂製アングル, 網戸共	1	か所				

共同住宅		建具			木製建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
	(金物・運搬・取付含む)						
WD-1 片開き戸(カ`リ付)	W820×2000×D33 ポ`リ合板フラッシュ	40	か所				
WD-2 片引き戸(カ`リ付)	W925×2000×D33 ポ`リ合板フラッシュ	15	か所				
WD-3 片引き戸	W925×2000×D33 ポ`リ合板フラッシュ	40	か所				
WD-4 片引き戸	W925×2000×D33 ポ`リ合板フラッシュ	15	か所				
WD-5 片引き戸	W925×2000×D33 ポ`リ合板フラッシュ	15	か所				
WD-6 片引き戸(小窓付)	W875×2000×D33 ポ`リ合板フラッシュ	65	か所				
WD-7 片引き戸(小窓付)	W855×2000×D33 ポ`リ合板フラッシュ	15	か所				
WD-8 4連引き戸	W3295×2000×D33 ポ`リ合板フラッシュ-新鳥の子紙	40	か所				
WD-9 4連引き戸	W3260×2000×D33 ポ`リ合板フラッシュ	24	か所				
WD-10 4連引き戸	W3100×2000×D33 ポ`リ合板フラッシュ-新鳥の子紙	15	か所				
WD-11 両開き戸	W790×2000×D33 ポ`リ合板フラッシュ-ツ合板	40	か所				
WD-12 片開き戸	W310×2000×D33 ポ`リ合板フラッシュ-ツ合板	25	か所				
WD-13A 引違い戸	W1520×2000×D33 ポ`リ合板フラッシュ-ツ合板	24	か所				
WD-13B 引違い戸	W1540×2000×D33 ポ`リ合板フラッシュ-ツ合板	16	か所				

共同住宅		建具		木製建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
WD-14 引違い戸	W1690×2000×D33 ポリ合板フラッシュ-シ合板	25	か所			
WD-15 引違い戸	W1705×2000×D33 ポリ合板フラッシュ-シ合板	15	か所			
WD-16 引違い戸	W1120×2000×D33 ポリ合板フラッシュ-シ合板	15	か所			
WD-17 4連引き戸	W3260×2000×D33 ポリ合板フラッシュ	1	か所			
FD-1 引違い襖	W1520×1900×D21 新鳥の子-雲花紙	24	か所			
FD-1 引違い襖 (テシマ)	W1410×430×D21 新鳥の子-雲花紙	24	か所			
FD-2 引違い襖	W1685×1900×D21 新鳥の子-雲花紙	15	か所			
FD-2 引違い襖 (テシマ)	W1685×430×D21 新鳥の子-雲花紙	15	か所			
FD-3 引違い襖	W1490×1900×D21 新鳥の子-雲花紙	16	か所			
FD-3 引違い襖 (テシマ)	W1270×430×D21 新鳥の子-雲花紙	16	か所			
運搬費		1	式			
計						

共同住宅		塗装			内部	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(1DK:25戸)						
UC塗り (糸幅300以下)	木部 素地B種	26	m			
SOP塗り (糸幅300mm以下)	木部 素地A種	1,429	m			
EP塗り	ボート面 素地B種	1,615	m ²			
(2DK:40戸)						
UC塗り (糸幅300以下)	木部 素地B種	53.2	m			
SOP塗り (糸幅300mm以下)	木部 素地A種	2,427	m			
EP塗り	ボート面 素地B種	3,928	m ²			
(3DK:15戸)						
UC塗り (糸幅300以下)	木部 素地B種	14.9	m			
SOP塗り (糸幅300mm以下)	木部 素地A種	1,344	m			
EP塗り	ボート面 素地B種	1,712	m ²			
計						

共同住宅		内外装		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(1DK:25戸)						
ビニル床シート	厚さ1.8 (柄物) 多湿部	639	m ²			
ビニル床シート	厚さ1.8 (柄物) 合板面 多湿部	81.7	m ²			
ビニル幅木	高さ60	693	m			
(2DK:40戸)						
ビニル床シート	厚さ1.8 (柄物) 多湿部	1,054	m ²			
ビニル床シート	厚さ1.8 (柄物) 合板面 多湿部	154	m ²			
畳下 ポリエチレンシート	t=0.2	344	m ²			
畳敷き	一畳 t=25 標仕D種 畳床KT- I	240	枚			
ビニル幅木	高さ60	1,453	m			
(3DK:15戸)						
ビニル床シート	厚さ1.8 (柄物) 多湿部	546	m ²			
ビニル床シート	厚さ1.8 (柄物) 合板面 多湿部	53.2	m ²			
畳下 ポリエチレンシート	t=0.2	113	m ²			
畳敷き	一畳 t=25 標仕D種 畳床KT- I	90	枚			

共同住宅		仕上ユニット			外部	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
壁付手摺	ブラケットタイプ 樹脂製 Φ34	536	m			
住戸室名札	ステンレス製 W210×H74 ナスタ KS-N20AS 同等品以上	80	か所			
掲示板	アルミ製 W1200×H900 ナスタ KS-EX915A-3012A 同等品以上	1	か所			
階数表示板	H=153 ナスタ KS-EX04F-BK 同等品以上	16	か所			
階数表示プレート	H=153 ナスタ KS-EX04F-BK 同等品以上	8	か所			
住居案内板	W700×H500 ワロンアクリル板 t=5 M8 アンカーボルト止め	1	か所			
宅配ボックス	W1500×H1780×D535 ナスタ KS-TL03R, ユニットAN, B, C同等品以上	3	か所			
木目調 アルミ製縦格子	W735×H1345 □-20×40@55 アルミ手摺面:アルミ持出しブラケット	9	か所			
木目調 アルミ製縦格子	W735×H1345 □-20×40@55 RC面金属拡張アンカー:SUS M8ボルト	14	か所			
アルミ製木目彫ルバー	W2660×H2280 一部H=2450・2560 □-100×20@80 RC面金属拡張アンカー:SUS M8ボルト	1	か所			
アルミ製木目彫ルバー	W1780×H2560 □-100×20@80 RC面金属拡張アンカー:SUS M8ボルト	1	か所			
アルミ製木目彫ルバー	W1380×H2800 □-100×20@80 RC面金属拡張アンカー:SUS M8ボルト	1	か所			
消火器	ABC10型 BOX共	24	本			
計						

共同住宅		仕上ユニット		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
通気連通管	VP75Φ L=450	2	か所			
通気連通管	VP75Φ L=600	18	か所			
(1DK:25戸)						
流し台	BL型 幅1200	25	か所			
コンロ台	BL型 幅600	25	か所			
つり戸棚	BL型 幅1200 H=700	25	か所			
水切り棚	ステンレス製 幅900 (1段)	25	か所			
レンジフード	W600×H700	25	か所			
洗面化粧カウンター	W600×H1900 SHM-060MINFYEBL-1 同等品以上	25	か所			
ユニットバス	RWV1216US 同等品以上	25	か所			
下足箱	W985×D370×H(966+745) ポリ合板・金物共	25	か所			
カーテンレール	アルミニウム製 (ダブル)	50.8	m			
(2DK:40戸)						
流し台	BL型 幅1200	40	か所			
コンロ台	BL型 幅600	40	か所			

共同住宅		仕上ユニット		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
レンジフード	W600×H700	40	か所			
洗面化粧カウンター	W600×H1900 SHM-060MINFYEBL-1 同等品以上	40	か所			
ユニットバス	RWV1416US 同等品以上	40	か所			
下足箱	W1045×D370×H(966+745) ポリ合板・金物共	40	か所			
カーテンレール	アルミニウム製 (ダブル)	192	m			
(3DK:15戸)						
流し台	BL型 幅1200	15	か所			
コンロ台	BL型 幅600	15	か所			
レンジフード	W600×H700	15	か所			
洗面化粧カウンター	W600×H1900 SHM-060MINFYEBL-1 同等品以上	15	か所			
ユニットバス	RWV1416US 同等品以上	15	か所			
下足箱	W1015×D370×H(966+745) ポリ合板・金物共	15	か所			
カーテンレール	アルミニウム製 (ダブル)	95.3	m			
計						

集会所		鉄筋コンクリート				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	(型枠・鉄筋含む)					
普通コンクリート	(捨てコンクリート) FC=18N/mm ² S=15	5.7	m ³			
普通コンクリート	(基礎コンクリート) FC=21N/mm ² S=15	72.8	m ³			
構造体強度補正		1	式			別紙 00-0054
コンクリート打設手間	圧送費、基本料別途	1	式			別紙 00-0055
コンクリートポンプ圧送	圧送費、基本料	1	式			別紙 00-0056
型枠	普通合板型枠 - 基礎部 -	61.1	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	61.1	m ²			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	SD295A D10	1.6	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	SD295A D13	2.8	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	SD295A D16	0.5	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	SD345 D19					

集会所		木工				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(構造材)						
土台	105×105 4.0m以下 ひのき 無等級	0.7	m3			
大引き	90×90 4.0m以下 ひのき 無等級	0.7	m3			
管柱	105×105 4.0m以下 スプルース集成材 E65-F255	1.5	m3			
柱	105×105 5.0m以下 スプルース集成材 E65-F255	0.8	m3			
間柱	45×105 4.0m以下 スプルース集成材 E65-F255	1.5	m3			
小屋束	90×90 1.0m以下 おうしゅうあかまつ集成材 E105-F300	0.2	m3			
梁	105×180 4.0m以下 おうしゅうあかまつ集成材 E105-F300	0.3	m3			
梁	105×210 4.0m以下 おうしゅうあかまつ集成材 E105-F300	1.1	m3			
梁	105×210 5.0m おうしゅうあかまつ集成材 E105-F300	0.2	m3			
桁	105×150 4.0m以下 おうしゅうあかまつ集成材 E105-F300	1.1	m3			
桁	105×210 4.0m以下 おうしゅうあかまつ集成材 E105-F300	0.2	m3			
桁	105×420 7.0m以下 おうしゅうあかまつ集成材 E105-F300	1	m3			
垂木	杉 無等級	2.2	m3			
天井下地材	杉 無等級	1.4	m3			

集会所		木工				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
間仕切	杉 無等級	0.1	m3			
胴縁材	杉 無等級 (間仕切と同じに設定)	0.5	m3			
(造作材)						
瓦材	上り框	0.01	m3			
杉	特1等	0.4	m3			
桧	特1等	0.01	m3			
(建材)						
せっこうボード	不燃 910×2730 t=12.5	70	枚			
せっこうボード	準不燃 910×2730 t=9.5	30	枚			
せっこうボード	不燃 910×1820 t=12.5	11	枚			
けい酸カルシウム板	910×1820 t=6	8	枚			
軒裏ケイカル(木目)	910×1820 t=12 ニチハ株 軒天12 化粧ケイカル板 (木目) t=12 同等品以上	32	枚			
軒裏通気金物	FV-N1218KF-L27 同等品以上	50.4	m			
構造用合板	910×1820 t=9	90	枚			

集会所		木工				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
構造用合板	910×1820 t=12	133	枚			
構造用合板	910×1820 t=24	45	枚			
ポリエチレンフォーム	910×1820 t=50	84	枚			
ガラスウール	厚100 密度24kg/m2	152	枚			
金物費		1	式			別紙 00-0057
大工手間		1	式			別紙 00-0058
アンカーボルト埋込手間	M12	45	本			
計						

建築工事 細目別内訳

集会所		仕上ユニット			内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
ベンチ	W990×D400×H620 桧集成材 t=30	1	か所				
下足箱	W1350×D450×H910 桧集成材 t=30 棚板:桧集成材 t=20 ステンレス鋼ホーレル (ブラック)	1	か所				
掲示板	アルミ製 W1200×H900 ナスタ KS-EX915A-3012A 同等品以上	1	か所				
ミニキッチン	L=1500	1	か所				
ライニング天板	メラミンボストフォーム 120×20	4.6	m				
ベネシアアンブライト	スラット幅25 横型キア式 アルミ製	12.7	m ²				
跳ね上げ手摺	TOTO T112HK7R 同等品	1	か所				
L型手摺	TOTO T112CL9 同等品	1	か所				
背もたれ	TOTO EWC283CR#NW1 同等品	1	か所				
シーリング		1	式			別紙 00-0061	
計							

屋外付帯		屋外倉庫				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
遣り方		1	式			別紙 00-0062
墨出し		1	式			別紙 00-0063
養生		1	式			別紙 00-0064
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0065
根切り	小規模土工 -	101	m3			
埋戻し(A種)	小規模土工 山砂の類	67.2	m3			
建設発生土運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 土砂 DID区間有り 27.0km以下	101	m3			
建設発生土処分	産廃扱い	101	m3			
土工機械運搬 (バックホウ)	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.13m3	1	往復			
砂利地業	再生クラッシュラン	9.4	m3			
普通コンクリート	(捨てコンクリート) FC=18N/mm2 S=15	4.7	m3			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15~S18 - -	4.7	m3			
普通コンクリート	(基礎コンクリート) FC=21N/mm2 S=18	37.5	m3			
コンクリート打設手間	基礎コンクリート 人力打設	37.5	m3			

屋外付帯		屋外倉庫				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
CB基礎	t=150 190×190	80	か所			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	SD295A D10	1.8	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	SD295A D13	1	t			
鉄筋スクラップ 控除	H2	0.1	t			
鉄筋加工組立	RC壁式構造 階高2.8m程度 形状単純	2.7	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	2.7	t			
型枠	普通合板型枠 - 基礎部	314	m ²			
型枠	打放合板型枠B種 壁式構造 基礎部	62.2	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	377	m ²			
基礎天端 直均し仕上げ	W=120～200 金ごて 直均し仕上げ	359	m			
物置	1.53m×1.53m×2.085m 端棟 材工共 稲葉製作所FL-1515SL 同等品	20	棟			
物置	1.53m×1.53m×2.085m 中棟 材工共 稲葉製作所FL-1515SL 同等品	60	棟			
アンカーボルト	M12 L=200 フック付 ダブルナット	320	本			

屋外付帯		駐輪場				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
遣り方		1	式			別紙 00-0066
墨出し		1	式			別紙 00-0067
養生		1	式			別紙 00-0068
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0069
根切り	小規模土工 -	30.2	m ³			
埋戻し(A種)	小規模土工 山砂の類	17.4	m ³			
建設発生土運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m ³ 土砂 DID区間有り 27.0km以下	30.2	m ³			
建設発生土処分	産廃扱い	30.2	m ³			
砂利地業	再生クラッシュラン	3.3	m ³			
普通コンクリート	(基礎コンクリート) FC=21N/mm ² S=15	16.2	m ³			
コンクリート打設手間	基礎コンクリート 人力打設	16.2	m ³			
型枠	普通合板型枠 - 基礎部 -	62.8	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	62.8	m ²			
基礎天端コンクリート 直均し仕上げ	300×300 金ごて 直均し仕上げ	21	か所			

屋外付帯		困障				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
遣り方		1	式			別紙 00-0070
墨出し		1	式			別紙 00-0071
養生		1	式			別紙 00-0072
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0073
根切り	小規模土工 -	27.2	m3			
埋戻し(A種)	小規模土工 山砂の類	17.9	m3			
建設発生土運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 土砂 DID区間有り 27.0km以下	27.2	m3			
建設発生土処分	産廃扱い	27.2	m3			
土工機械運搬 (バックホウ)	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.13m3	1	往復			
砂利地業	再生クラッシュラン	2.9	m3			
普通コンクリート	(捨てコンクリート) FC=18N/mm2 S=15	1.4	m3			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15~S18 -	1.4	m3			
普通コンクリート	(基礎コンクリート) FC=24N/mm2 S=18	12	m3			
コンクリート打設手間	基礎コンクリート 人力打設	12	m3			

屋外付帯		困障				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通コンクリート	(塀コンクリート) FC=24N/mm ² S=18	3.6	m ³			
コンクリート打設手間	塀コンクリート 人力打設	3.6	m ³			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	SD295A D10	0.5	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	SD295A D13	0.3	t			
鉄筋スクラップ 控除	H2	0.02	t			
鉄筋加工組立	RC壁式構造 階高2.8m程度 形状単純	0.7	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.7	t			
型 枠	普通合板型枠 - 基礎部 -	62.5	m ²			
型 枠	打放合板型枠B種 壁式構造 基礎部 -	28.3	m ²			
型 枠	打放合板型枠B種 壁式構造 地上軸部 階高2.8m程度	28.3	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	119	m ²			
打放し面補修	B 種 コーン処理 部分目違いばらい	56.6	m ²			
基礎天端 直均し仕上げ	W=190・200程度 金ごて 直均し仕上げ	80.3	m			

建築工事 細目別内訳

屋外付帯		舗装		舗装		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
すきとり	積み込み共 H300程度	13	m3			
建設発生土運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホ0.45m3 土砂 DID区間有り 28.5km以下	13	m3			
建設発生土処分	産廃扱い	13	m3			
土工機械運搬 (フルトレーサ)	排出ガス対策型 普通 3t級	1	往復			
直接仮設 (舗装)		794	m ²			
路床整正	500~1000m ² 未満	794	m ²			
コンクリート舗装	C-15-10 (D10@200S) 再生クラッシュラン 特に狭い場所 人力	52.2	m ²			
アスファルト舗装	A-5-15 再生密粒 再生クラッシュラン 500-1000m ² 未満	600	m ²			
舗装機械運搬		1	式			別紙 00-0074
誘導用及び 注意喚起用床材	点字ブロック レジンコンクリート製 300×300 厚さ30	4.3	m ²			
駐車区画線	幅100 厚さ1.0 熔融式	6	m			
身障者マーク	1000角 トラフィックペイント t1.0	1	か所			
車止め	パーキングブロック 材工共	5	か所			
車止め (擬石)	400Φ ビンサン仕上げ 基礎ブロック:450Φ H=300 再生クラッシュラン:厚100					

屋外付帯		雨水排水設備		雨水排水		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
U形側溝	150 再生クラッシュラン グレーチング (150用 細目 ノンスリップ 付) 共	26.1	m			
ア 排水管埋設	VU管 径100	71	m			
イ 排水管埋設	VU管 径150	173	m			
重圧管	内径300×長2000	5.4	m			
① FX樹	300×300×H500 グレーチング T-25 (細目) 取付共	1	か所			
⑥ (1号集水樹) 集水樹	300角 H=500 グレーチング 蓋 (細目)	7	か所			
⑦ (2号集水樹) 集水樹	500角 H=500 グレーチング 蓋 (細目)	4	か所			
⑧ (3号集水樹) 集水樹	500角 H=539 グレーチング 蓋 (細目)	1	か所			
⑪~⑬ 集水樹	350角 H=370 (平均) グレーチング 蓋 (細目)	26	か所			
建設発生土運搬	ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 土砂 DID区間有り 27.0km以下	55.8	m3			
建設発生土処分	産廃扱い	55.8	m3			
土工機械運搬 (バックホウ)	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.13m3	1	往復			
計						

屋外付帯		構外排水溝改修		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(撤去)						
カッター入れ		1	式			別紙 00-0078
グレーチング撤去	集積共	19	m			
鉄板敷き撤去	W=450 集積共	3.5	m			
コンクリート撤去	鉄筋切断共 コンクリートブレイカ 集積共	18.3	m ³			
アスファルト舗装撤去	人力 集積共	1.5	m ³			
舗装路盤材撤去	人力 集積・積込共	6	m ³			
発生材積込み	コンクリート類 人力	20.3	m ³			
(発生材運搬費)						
建設発生土運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 土砂 DID区間有り 23.0km以下	6	m ³			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 4.5km以下	1.5	m ³			
とりこわし発生材運搬	ダンプトラック 2t積級 人力積込 無筋コンクリート類 DID区間有り 4.5km以下	18.3	m ³			
とりこわし発生材運搬 (金属くず)	ダンプトラック 2t積級 人力積込 DID区間有り	0.5	m ³			
(発生材処分費)						
舗装路盤材	2t車	6	m ³			

屋外付帯		構外排水溝改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
直接仮設		31.3	m ²			
根切り	人力土工 -	41.7	m ³			
埋戻し	人力土工 -	27.4	m ³			
建設発生土運搬	A種 (山砂の類) ダンプトラック 2t積級 人力積込 土砂 DID区間有り 23.0km以下	41.7	m ³			
建設発生土処分	砂質土	41.7	m ³			
砂利地業	再生クラッシュラン	4.3	m ³			
B プレキャストU型 可変側溝	B300-H300 標準品 取付共	10.7	m			
B プレキャストU型 可変側溝	B300-H400 標準品 取付共	62	m			
B プレキャストU型 可変側溝	B300-H500 標準品 取付共	3.3	m			
プレキャストU型 可変側溝	B300-H400 (出入口用) Lアングル 取付共	18.8	m			
ウ HP管	HP管 径250 コンクリート巻き	1.5	m			
② FX柵	300×300×H600 グレーチング T-25 (細目) 取付共	2	か所			
⑤ AS柵	300×600×H1200 グレーチング T-25 (細目) 取付共	1	か所			
コンクリート蓋	300×500×84 取付共	155	枚			
グレーチング蓋	300(T-25) 出入口用 細目・ホルト固定・取付共	18.8	m			

屋外付帯		構外排水溝改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
敷モルタル	1:3	1.2	m ³			
既存集水桝 HP管接続	HPΦ250	1	か所			
集水桝 既存HP管接続	HPΦ300	1	か所			
排水溝底コンクリート 直均し仕上げ	金ごて 幅300	94.9	m			
排水溝底コンクリート 直均し仕上げ	金ごて 309×309	2	か所			
排水溝底コンクリート 直均し仕上げ	金ごて 606×606	1	か所			
小計						
直接仮設（舗装）		30.2	m ²			
車道 アスファルト舗装	W=300 A-5-25	101	m			
舗装機械運搬 (振動ローラ)		1	往復			
小計						
計						

共同住宅		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
遣り方		1	式			別紙 00-0001
遣方	一般	695	m ²			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0002
墨出し	一般	4,300	m ²			
計	-					
養生		1	式			別紙 00-0003
養生	一般	4,300	m ²			
計	-					
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0004
整理清掃 後片付け	一般	4,300	m ²			
計	-					

共同住宅		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
地足場		1	式			別紙 00-0005
地足場	RC造標準日数 修理費含む	695	m ²			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0006
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900×1700 布枠500+240 22m以上 8階建 建築面積750m2 RC造標準日数修理費含む	4,292	m ²			
屋外階段仕上足場	RC造標準日数修理費含む	181	m ²			
計						
内部躯体足場		1	式			別紙 00-0007
内部躯体足場	RC造標準日数 修理費含む 鉄筋・型枠足場 階高4.0m以下 -	4,300	m ²			
計						

共同住宅		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0008
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 転用数 8	5,896	m ²			
シフト内足場	RC造標準日数 修理費含む	55.4	m ²			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0009
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 RC造標準日数 修理費含む 建築面積 750m ²	197	m			
ネット状養生シート張り	防災I類 RC造標準日数 修理費含む 8階建 建築面積 750m ²	3,919	m ²			
小幅ネット張り (層間塞ぎ)	防災ポリエステル RC造標準日数 修理費含む 8階建 建築面積 750m ²	1,364	m			
養生防護柵 (直線部)	枠組本足場用 RC造標準日数 修理費含む 8階建 建築面積 750m ²	345	m			
養生防護柵 (コーナー部)	枠組本足場用 RC造標準日数 修理費含む 8階建 建築面積 750m ²	22	か所			
計						

共同住宅		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0010
仮設材運搬 (地足場)		695	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	4,292	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	197	m			
仮設材運搬 (外部階段 仕上足場)		181	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	8階建	5,896	m ²			
仮設材運搬 (シャフト内足場)		55.4	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		3,919	m ²			
仮設材運搬 (小幡ネット)		1,364	m			
仮設材運搬 (養生防護棚)	枠組本足場用	394	m			
計						

共同住宅		土工		土工		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
浅層地盤改良		1	式			別紙 00-0011
浅層地盤改良	H=1.0m セメント系固化材:混合量70k/m ³	2,200	m ²			
浅層地盤改良	H=1.8m セメント系固化材:混合量70k/m ³	1,100	m ²			
計						
土工機械運搬 (バックホ)		1	式			別紙 00-0012
土工機械運搬	根切り、埋戻し	3	往復			
計						
山留め	鋼矢板工法 III型 圧入工法 H=12.0m	1	式			別紙 00-0013
土留鋼材費	鋼矢板III型 H=12.0m コーナー矢板CIII型共	161	m			
土留施工費	圧入工法 H=12.0m 鋼矢板III型 H=12.0m	161	m			
計						

共同住宅		地業		場所打ち鋼管コンクリート杭		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
杭施工費	場所打鋼管コンクリート杭 ホールディング工法併用 (振動または全周回転)	1	式			別紙 00-0015
(諸工事)						
重機往復運搬費		1	式			
機械組立解体		1	式			
鉄筋加工	通常加工	96.6	t			
掘削手間		1,236	m3			
鋼管建込工		26	本			
鉄板敷き	機械廻り	1	式			
小計						
(消耗品費)						
固化材	固化・積込	43	t			
燃料・油脂		1	式			
部品金具工具	ボルト・ワッキン他	44	日			
金物・補足材		1	式			
小計						

共同住宅		地業		場所打ち鋼管コンクリート杭		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
杭施工費	場所打鋼管コンクリート杭 ホルケーシング工法併用 (振動または全周回転)	1	式			別紙 00-0015
(機械器具損料)						
掘削機		44	日			
油圧ショベル		44	日			
クローラークレーン		44	日			
発電機		44	日			
特殊ファーストチューブ		44	日			
ケーシングチューブ		44	日			
ハンマーグラフ		44	日			
タンク		44	日			
ポンプ		44	日			
補助機器材		44	日			
トレミパイプ		44	日			
小計						
(経費)						

共同住宅		コンクリート				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート打設手間	圧送費、基本料別途	1	式			別紙 00-0018
コンクリート打設手間	捨てコンクリート ポンプ打設 30m3/回程度 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	25.1	m3			
コンクリート打設手間	土間 ポンプ打設 50m3/回程度 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	91.7	m3			
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 100m3/回以上 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	1,098	m3			
コンクリート打設手間	躯体 ポンプ打設 100m3/回以上 S15~S18 標準階高 圧送費、基本料別途	3,858	m3			
計						
コンクリートポンプ圧送	圧送費、基本料	1	式			別紙 00-0019
コンクリートポンプ圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	117	m3			
コンクリートポンプ圧送	100m3/回以上 基本料金別途加算	4,162	m3			
コンクリートポンプ圧送基本料金	30m3以上 50m3/回未満	6	回			
コンクリートポンプ圧送基本料金	100m3/回以上	21	回			
計						

共同住宅		型枠				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ダイヤモンド 設置		1	式			別紙 00-0020
ダイヤモンド 材料	225×225×150 225×225×125	3,034	m ²			
ダイヤモンド 設置費		3,034	m ²			
運搬費		3,034	m ²			
雑費		1	式			
計						
打放し面補修		1	式			別紙 00-0021
打放し面補修	B種 コーン処理 部分目違いばらい	6,353	m ²			
打放し面補修	B種 コーン処理無 部分目違いばらい	1,739	m ²			
打放し面補修	C種 コーン処理無 全面目違いばらい	976	m ²			
計						

共同住宅		型枠				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
型枠目地棒		1	式			別紙 00-0022
型枠目地棒	打継目地 幅20 ×深さ20程度	883	m			
型枠目地棒	化粧目地 幅20 ×深さ10程度	1,394	m			
型枠目地棒	水切目地 幅15 ×深さ10程度	947	m			
型枠目地棒	誘発目地 幅20 ×深さ10程度	4,926	m			
計						
耐震スリット		1	式			別紙 00-0023
耐震スリット	垂直 全貫通型 壁厚150 耐火型 防水 スリット厚25	740	m			
耐震スリット	水平 全貫通型 壁厚150 耐火型 防水 スリット厚25	466	m			
計						
止水板		1	式			別紙 00-0024
止水板	H=200 t=6 材工共	141	m			
計						

共同住宅		型枠				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
人通孔		1	式			別紙 00-0025
人通孔	600Φ D=500	1	か所			
人通孔	600Φ D=600	9	か所			
人通孔	600Φ D=650	7	か所			
計						
スリーブ		1	式			別紙 00-0026
スリーブ	200Φ L=500	2	か所			
スリーブ	100Φ L=600	1	か所			
スリーブ	200Φ L=600	15	か所			
スリーブ	200Φ L=650	1	か所			
スリーブ	250Φ L=600	1	か所			
スリーブ	250Φ L=650	1	か所			
スリーブ	600Φ L=600	1	か所			
計						

共同住宅		鉄筋				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
DBベッド加工		1	式			別紙 00-0028
DBベッド加工	D29 材工共	368	か所			
DBベッド加工	D32 材工共	64	か所			
計						
鉄筋が 圧接		1	式			別紙 00-0029
鉄筋が 圧接	D19 -D19	762	か所			
鉄筋が 圧接	D25 -D25	316	か所			
鉄筋が 圧接	D25-D29	308	か所			
鉄筋が 圧接	D29 -D29	2,046	か所			
鉄筋が 圧接	D29-D32	308	か所			
鉄筋が 圧接	D32 -D32	1,449	か所			
計						

共同住宅		鉄筋				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
梁貫通孔補強		1	式			別紙 00-0030
梁貫通孔補強 (既製)	I型150Φ (6-2R)	264	枚			
梁貫通孔補強 (既製)	II型150Φ (8-2R)	56	枚			
梁貫通孔補強 (既製)	IV型150Φ (13-2R)	36	枚			
梁貫通孔補強 (既製)	V型150Φ (16-2R)	4	枚			
梁貫通孔補強 (既製)	I型175Φ (6-2R)	130	枚			
梁貫通孔補強 (既製)	II型175Φ (8-2R)	18	枚			
梁貫通孔補強 (既製)	III型175Φ (10-2R)	6	枚			
梁貫通孔補強 (既製)	IV型175Φ (13-2R)	6	枚			
梁貫通孔補強 (既製)	I型200Φ (6-2R)	34	枚			
梁貫通孔補強 (既製)	V型200Φ (16-2R)	2	枚			
梁貫通孔補強 (既製)	I型250Φ (6-2R)	28	枚			
梁貫通孔補強 (既製)	IV型250Φ (13-2R)	2	枚			
梁貫通孔補強 (既製)	V型250Φ (16-2R)	14	枚			
梁貫通孔補強 (既製)	II型600Φ (10-2R)	22	枚			

集会所		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
遣り方		1	式			別紙 00-0044
遣方	小規模	95.5	m ²			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0045
墨出し	小規模 -	85.1	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0046
養生	小規模 -	85.1	m ²			
計						
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0047
整理清掃 後片付け	小規模 -	85.1	m ²			
計						

集会所		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部足場		1	式			別紙 00-0048
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠600×1700 布枠500×1枚 12m未満 掛払い・賃料・基本料共	201	m ²			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0049
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い・賃料・基本料共	45.2	m			
ネット状養生シート張り	防災I類 掛払い・賃料・基本料共	79	m ²			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0050
内部仕上足場 (手すり先行方式)	枠組棚足場 階高4.0m超5.0m未満 掛払い・賃料・基本料共	45.3	m ²			
内部仕上足場	脚立足場 階高4.0m以下 掛払い・賃料・基本料共	56.8	m ²			
計						

集会所		鉄筋コンクリート				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
構造体強度補正		1	式			別紙 00-0054
構造体強度補正	躯体コンクリート FC24 (21+3)N/mm2 S=15	72.8	m3			
計						
コンクリート打設手間	圧送費、基本料別途	1	式			別紙 00-0055
コンクリート打設手間	捨てコンクリート ポンプ打設 30m3/回程度 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	5.7	m3			
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 50~100m3/回 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	72.8	m3			
計						
コンクリートポンプ圧送	圧送費、基本料	1	式			別紙 00-0056
コンクリートポンプ圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	78.5	m3			
コンクリートポンプ圧送基本料金	30m3以上 50m3/回未満	3	回			
計						

集会所		木工				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
金物費		1	式			別紙 00-0057
鋼製束	H=276	59	個			
火打金物	HB	4	個			
釘費		57.6	kg			
金物費		82.3	kg			
土台アンカーボルト	M12 L=400	45	本			
土台下基礎パッキン	100×214×20	58	個			
計						
大工手間		1	式			別紙 00-0058
大工		123	人			
普通作業員		15	人			
計						

屋外付帯		屋外倉庫				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
遣り方		1	式			別紙 00-0062
遣方	一般	191	m ²			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0063
墨出し	一般 S造 バルコニー	191	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0064
養生	一般 S造 バルコニー	191	m ²			
計						
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0065
整理清掃 後片付け	一般 S造 バルコニー	191	m ²			
計						

屋外付帯		駐輪場				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
遣り方		1	式			別紙 00-0066
遣方	一般	120	m ²			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0067
墨出し	一般 S造 バルコニー	120	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0068
養生	一般 S造 バルコニー	120	m ²			
計						
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0069
整理清掃 後片付け	一般 S造 バルコニー	120	m ²			
計						

屋外付帯		困障				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
遣り方		1	式			別紙 00-0070
遣方	一般	21.7	m ²			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0071
墨出し	一般 S造 バルコニー	21.7	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0072
養生	一般 S造 バルコニー	80.5	m ²			
計						
整理清掃 後片付け		1	式			別紙 00-0073
整理清掃 後片付け	一般 S造 バルコニー	80.5	m ²			
計						

屋外付帯		雨水排水設備		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
集積、積込み		1	式			別紙 00-0075
コンクリート類 集積、積込み	機 械	1.3	m3			
内装材 積込み	機 械	0.8	m3			
計						
撤去材運搬		1	式			別紙 00-0076
撤去材運搬 (無筋コン)	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13 無筋コンクリート類 DID区間有り	1.1	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 24.0km以下	0.2	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 木材類 DID区間有り 24.0km以下	0.7	m3			
撤去材運搬 (路盤材)	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13 土砂 DID区間有り	0.5	m3			
撤去材運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 24.0km以下	0.1	m3			
計						

共通仮設費(積上) 明細

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮囲い	仮囲鉄板 H=3.0m 設置・撤去・賃料・基本料・運搬共	225	m			
仮囲い	コンパネ	101	m			
工事車輛出入口 パネルゲート	W7.2×H4.5 柱付	2	か所			
仮設鉄板敷	1524×6096×22mm 設置費・撤去費・賃料・整備費・運搬共 在置期間24か月以下	997	m ²			
仮設鉄板敷下 砕石敷き	厚100 完了時撤去・処分共	997	m ²			
交通誘導員	2人配置	1,062	人			
揚重機械費用 (躯体)	(5階まで) 25t	57	日			
揚重機械費用 (躯体)	(6階～8階建) 60t	28	日			
揚重機械費用 ロングスパンエレベータ	(8階建 7か月) 間口:7.2m H=24.64m	1	式			
監視カメラ		2	台			
夜間照明器具		2	台			
カーブミラー設置	600Φ	2	か所			
VOC室内濃度測定	厚生労働省が定める指針値以下 分析・結果報告書費含む	7	か所			
計						

